

仙台市文化財調査報告書第315集

# 長町駅東遺跡第4次調査

—仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ—

[第1分冊]

2007年3月

仙台市教育委員会

独立行政法人 都市再生機構





調査区全景(南から)



調査区全景(南西から)



SI222焼失住居炭化物検出全景(南から)



SB22全景(東から)



区画施設(SD66・SA1)全景(南西から)



SD66・通路状遺構(北から)



S181出土土器



S1230出土土器



SD66出土須恵器円面硯



長町駅東遺跡4区出土須恵器



弥生時代 埋設土器



弥生時代 石包丁・独鈷石

## 序 文

仙台市の文化財保護行政に対しまして、日ごろからご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

市内には、旧石器時代から近世にいたるまで数多くの埋蔵文化財が残っております。先人たちの残した貴重な文化遺産を保護し、保存活用を図りつつ次の世代に継承していくことは、現代に生きる私たちの大きな責務であると考えております。そうした中であって、国史跡に指定され調査・整備の進む仙台北城跡や、山田上ノ台遺跡を保存し、体験学習型施設として整備された仙台市縄文の森広場などは、市民の皆様の深いご理解とご協力のたまものといえます。

さらに昨年7月には、多賀城造営以前の陸奥国府と考えられる郡山遺跡が、本市として7番目の国史跡指定を受け、今後保存管理計画を策定しながら歴史公園として整備していくことを目指しております。

本報告書は、その郡山遺跡の西側で進められている「あすと長町土地区画整理事業」に伴う、長町駅東遺跡の調査成果をまとめたものです。長町駅東遺跡からは総数300軒近い竪穴式住居跡と、大溝と材木列による区画施設が発見されるなど、郡山遺跡の官衙を支えた集落として今後ますます注目される遺跡といえます。

今回の調査結果が、地域の歴史を解き明かしていくための貴重な資料となり、多くの方々に活用されれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から本報告書の刊行に際しまして、ご指導、ご協力くださいました皆様に深く感謝申し上げる次第です。

平成19年3月

仙台市教育委員会

教育長 奥山 恵美子



## 例 言

1. 本書は、仙台市教育委員会が実施した、「あすと長町土地区画整理事業」に伴う長町駅東遺跡第4次調査(4区)の発掘調査成果についてまとめたものである。
2. 報告書刊行にあたっては、仙台市教育委員会文化財課工藤信一郎の監督の下、遺物整理の一部については安西工業株式会社がを行い、本書の編集に至るまでの作業を国際航業株式会社が担当した。
3. 本書の執筆については、第1章・第3章を工藤、第2章・第4章を利屋勉(国際航業株式会社、以下同じ)、第5章・第7章を土岐耕司が担当した。また、第5章中の古代遺物の記載については平田貴正、石器の記載については瀬久森彬が執筆した。また、第6章の自然科学分析は株式会社古環境研究所に分析・執筆を依頼した。
4. 発掘調査及び資料の整理に際し、次の方々から多くの指導・助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である。(敬称略)  
今泉 隆雄、大谷 徹、岡田 茂弘、木本 雅康、工藤 雅樹、桑原 滋郎、進藤 秋輝、須藤 隆、早坂 春一、松本 秀明
5. 本書の調査成果については、すでに現地説明会資料などに内容の一部が紹介されているが、本書の記載内容がそれらに優先する。
6. 調査・整理に関する全ての資料は仙台市教育委員会が保管している。

## 凡 例

1. 遺構図中の座標系は、「平面直角座標第X系」を基準としている。図中及び本文記載の方位北は、全て座標北を基準としている。
2. 本書中の土色の記述には、原則として「新版標準土色帖」(小山正忠・竹原秀雄 1997)を使用している。
3. 調査において検出された遺構については以下の遺構番号を使用し、遺構ごとに番号を付した。  
SA 材木列    SB 掘立柱建物跡    SD 溝跡    SE 井戸跡    SI 堅穴住居跡  
SK 土坑    SM 小溝状遺構    SR 河川跡    SX 性格不明遺構    P ビット
4. 遺構図版に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。それ以外のものについては、その都度図中で説明している。



柱痕跡



焼土範囲



炭化物範囲



被熱範囲

5. 出土遺物の登録には以下の遺物記号を使用し、遺物ごとに番号を付した。

B 弥生土器

C 土師器(非ロクロ調整)

D 土師器(ロクロ調整)

E 須恵器

G 平瓦

K 石器・石製品

L 木製品

N 金属製品

P 土製品

6. 土器・土製品実測図に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。



7. 石器・石製品に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。



8. 遺物実測図の縮尺は、下記の通りである。但し、その縮尺では掲載が困難なものについては、適宜縮尺を変えている。各図にはそれぞれスケールを付した。

土器・瓦・金属製品・土製品 1/3      剥片石器 2/3      礫石器・石製品 1/2

9. 掲載した遺物写真の縮尺は、原則として遺物実測図と同じ縮尺とした。但し、その縮尺で掲載が困難なものについては、適宜縮尺を変えた。

# 第1分冊 目次

巻頭カラー

序文

例言

凡例

第1章 調査に至る経過	1
1. 調査事由	1
2. 調査要項	2
第2章 遺跡の立地と環境	3
1. 長町駅東遺跡の位置	3
2. 周辺の遺跡	3
第3章 調査の方法と概要	6
1. 調査の方法	6
(1) 確認調査	6
(2) 本調査	6
2. 調査概要	6
(1) 調査区の設定	6
(2) 調査経過	6
(3) 測量基準・図面の作成	7
(4) 遺物の取り上げ・調査記録の作成	7
(5) 遺構登録番号	7
(6) 調査報告書作成作業	7
第4章 基本層序	8
第5章 検出遺構と出土遺物	27
1. 古代～中世の遺構と遺物	27
(1) 小溝状遺構群	27
(2) 溝跡	33
(3) 井戸跡	52
(4) 土坑	59
(5) ビット	67
2. 古代の遺構と遺物	106
(1) 竪穴住居跡	106

(2) 掘立柱建物跡	323
(3) 区画施設	349
(4) 河川跡	364
(5) 遺構外出土遺物	369

## 第1分冊 挿図目次

第1図	長町駅東遺跡と周辺の遺跡	4	第30図	SD104溝跡断面図	44
第2図	長町駅東遺跡4区位置図・グリッド番号 及び基本土層断面位置図	9	第31図	その他の溝跡断面図(1)	44
第3図	基本層序(1)	11	第32図	その他の溝跡断面図(2)	45
第4図	基本層序(2)	13	第33図	その他の溝跡出土遺物(1)	47
第5図	長町駅東遺跡4区遺構全体図(1)	15	第34図	その他の溝跡出土遺物(2)	48
第6図	小溝状遺構群全体図	17	第35図	その他の溝跡出土遺物(3)	49
第7図	小溝状遺構群A群	19	第36図	その他の溝跡出土遺物(4)	50
第8図	小溝状遺構群B群	21	第37図	その他の溝跡出土遺物(5)	51
第9図	小溝状遺構群C群	23	第38図	SE1井戸跡(1)	52
第10図	小溝状遺構群D群	25	第39図	SE1井戸跡(2)	53
第11図	小溝状遺構群A・B群断面図	28	第40図	SE1井戸跡(3)	54
第12図	小溝状遺構群C群断面図	30	第41図	SE1出土遺物(1)	54
第13図	小溝状遺構群D群断面図	32	第42図	SE1出土遺物(2)	55
第14図	小溝状遺構群出土遺物(1)	32	第43図	SE1出土遺物(3)	56
第15図	小溝状遺構群出土遺物(2)	33	第44図	SE1出土遺物(4)	57
第16図	SD42溝跡断面図	33	第45図	SE2井戸跡	58
第17図	溝跡 4B区	34	第46図	SE2出土遺物	58
第18図	溝跡 4C東区	35	第47図	SE3井戸跡	59
第19図	溝跡 4A・4C区	36	第48図	土坑(1)	60
第20図	溝跡 4C西区	37	第49図	土坑(2)	61
第21図	SD77溝跡断面図(1)	38	第50図	土坑(3)	62
第22図	SD77溝跡断面図(2)	39	第51図	土坑(4)	63
第23図	SD77出土遺物	40	第52図	土坑(5)	64
第24図	SD80溝跡断面図	41	第53図	土坑出土遺物(1)	66
第25図	SD80出土遺物(1)	41	第54図	土坑出土遺物(2)	67
第26図	SD80出土遺物(2)	42	第55図	4A区ピット(1)	68
第27図	SD101溝跡断面図	42	第56図	4A区ピット(2)	69
第28図	SD102溝跡断面図	43	第57図	4A区ピット(3)	70
第29図	SD103溝跡断面図	43	第58図	4A区ピット(4)	71
			第59図	4A区ピット(5)	72

第60図	4A区ビット(6)……………	73	第99図	SI140竪穴住居跡(3)……………	136
第61図	4B区ビット(1)……………	82	第100図	SI140出土遺物……………	137
第62図	4B区ビット(2)……………	83	第101図	SI141竪穴住居跡(1)……………	139
第63図	4C区ビット(1)……………	86	第102図	SI141竪穴住居跡(2)……………	140
第64図	4C区ビット(2)……………	87	第103図	SI141出土遺物……………	141
第65図	ビット出土遺物……………	105	第104図	SI142竪穴住居跡(1)……………	143
第66図	長町駅東遺跡4区遺構全体図(2)……………	107	第105図	SI142竪穴住居跡(2)……………	144
第67図	SI120竪穴住居跡……………	109	第106図	SI142出土遺物(1)……………	145
第68図	SI124竪穴住居跡(1)……………	110	第107図	SI142出土遺物(2)……………	146
第69図	SI124竪穴住居跡(2)……………	110	第108図	SI143竪穴住居跡……………	147
第70図	SI124出土遺物……………	111	第109図	SI143出土遺物……………	148
第71図	SI133竪穴住居跡(1)……………	112	第110図	SI144竪穴住居跡……………	149
第72図	SI133竪穴住居跡(2)……………	113	第111図	SI144出土遺物……………	150
第73図	SI133出土遺物(1)……………	113	第112図	SI145竪穴住居跡(1)……………	152
第74図	SI133出土遺物(2)……………	114	第113図	SI145竪穴住居跡(2)……………	153
第75図	SI134竪穴住居跡(1)……………	115	第114図	SI145竪穴住居跡(3)……………	154
第76図	SI134竪穴住居跡(2)……………	116	第115図	SI145出土遺物(1)……………	154
第77図	SI134出土遺物(1)……………	116	第116図	SI145出土遺物(2)……………	155
第78図	SI134出土遺物(2)……………	117	第117図	SI145出土遺物(3)……………	156
第79図	SI135竪穴住居跡(1)……………	118	第118図	SI146竪穴住居跡(1)……………	157
第80図	SI135竪穴住居跡(2)……………	119	第119図	SI146竪穴住居跡(2)……………	158
第81図	SI135出土遺物(1)……………	120	第120図	SI146出土遺物(1)……………	159
第82図	SI135出土遺物(2)……………	121	第121図	SI146出土遺物(2)……………	160
第83図	SI136竪穴住居跡(1)……………	123	第122図	SI146出土遺物(3)……………	161
第84図	SI136竪穴住居跡(2)……………	124	第123図	SI147竪穴住居跡(1)……………	162
第85図	SI136出土遺物(1)……………	124	第124図	SI147竪穴住居跡(2)……………	163
第86図	SI136出土遺物(2)……………	125	第125図	SI147出土遺物(1)……………	163
第87図	SI137竪穴住居跡(1)……………	126	第126図	SI147出土遺物(2)……………	164
第88図	SI137竪穴住居跡(2)……………	127	第127図	SI148竪穴住居跡……………	164
第89図	SI137出土遺物(1)……………	128	第128図	SI181竪穴住居跡(1)……………	165
第90図	SI137出土遺物(2)……………	129	第129図	SI181竪穴住居跡(2)……………	166
第91図	SI138竪穴住居跡(1)……………	130	第130図	SI181竪穴住居跡(3)……………	167
第92図	SI138竪穴住居跡(2)……………	131	第131図	SI181出土遺物……………	167
第93図	SI138竪穴住居跡(3)……………	132	第132図	SI182A竪穴住居跡(1)……………	168
第94図	SI138出土遺物(1)……………	132	第133図	SI182A竪穴住居跡(2)……………	169
第95図	SI138出土遺物(2)……………	133	第134図	SI182A出土遺物……………	169
第96図	SI139竪穴住居跡……………	134	第135図	SI182B竪穴住居跡……………	170
第97図	SI140竪穴住居跡(1)……………	135	第136図	SI183竪穴住居跡(1)……………	172
第98図	SI140竪穴住居跡(2)……………	136	第137図	SI183竪穴住居跡(2)……………	173

第138回	SI184 堅穴住居跡(1)	174	第177回	SI221 堅穴住居跡(2)	208
第139回	SI184 堅穴住居跡(2)	175	第178回	SI221 出土遺物(1)	208
第140回	SI184 出土遺物(1)	175	第179回	SI221 出土遺物(2)	209
第141回	SI184 出土遺物(2)	176	第180回	SI222 堅穴住居跡(1)	210
第142回	SI185 堅穴住居跡(1)	177	第181回	SI222 堅穴住居跡(2)	211
第143回	SI185 堅穴住居跡(2)	178	第182回	SI222 出土遺物(1)	212
第144回	SI185 出土遺物(1)	178	第183回	SI222 出土遺物(2)	213
第145回	SI185 出土遺物(2)	179	第184回	SI223 堅穴住居跡	215
第146回	SI186 堅穴住居跡	180	第185回	SI223 出土遺物	216
第147回	SI187 堅穴住居跡	181	第186回	SI224 堅穴住居跡(1)	217
第148回	SI187 出土遺物	182	第187回	SI224 堅穴住居跡(2)	218
第149回	SI188 堅穴住居跡	183	第188回	SI224 出土遺物	218
第150回	SI188 出土遺物	184	第189回	SI224B 堅穴住居跡(1)	219
第151回	SI189 堅穴住居跡	185	第190回	SI224B 堅穴住居跡(2)	220
第152回	SI211 堅穴住居跡	186	第191回	SI224B 出土遺物	220
第153回	SI211 出土遺物	186	第192回	SI225 堅穴住居跡(1)	221
第154回	SI212A 堅穴住居跡(1)	187	第193回	SI225 堅穴住居跡(2)	222
第155回	SI212A 堅穴住居跡(2)	188	第194回	SI225 出土遺物	223
第156回	SI212A 出土遺物	189	第195回	SI226 堅穴住居跡(1)	224
第157回	SI212B 堅穴住居跡	190	第196回	SI226 堅穴住居跡(2)	225
第158回	SI213 堅穴住居跡	191	第197回	SI226 出土遺物(1)	225
第159回	SI213 出土遺物(1)	192	第198回	SI226 出土遺物(2)	226
第160回	SI213 出土遺物(2)	193	第199回	SI227 堅穴住居跡	227
第161回	SI214 堅穴住居跡(1)	194	第200回	SI227 出土遺物	228
第162回	SI214 堅穴住居跡(2)	195	第201回	SI228A 堅穴住居跡(1)	229
第163回	SI214 出土遺物	195	第202回	SI228A 堅穴住居跡(2)	230
第164回	SI215 堅穴住居跡	196	第203回	SI228A 堅穴住居跡(3)	231
第165回	SI216A 堅穴住居跡(1)	197	第204回	SI228A 出土遺物(1)	231
第166回	SI216A 堅穴住居跡(2)	198	第205回	SI228A 出土遺物(2)	232
第167回	SI216B 堅穴住居跡	199	第206回	SI228B 堅穴住居跡	233
第168回	SI217 堅穴住居跡	200	第207回	SI229 堅穴住居跡	234
第169回	SI218 堅穴住居跡	201	第208回	SI229 出土遺物	235
第170回	SI218 出土遺物	202	第209回	SI230 堅穴住居跡(1)	236
第171回	SI219 堅穴住居跡(1)	203	第210回	SI230 堅穴住居跡(2)	237
第172回	SI219 堅穴住居跡(2)	204	第211回	SI230 堅穴住居跡(3)	238
第173回	SI219 出土遺物	205	第212回	SI230 出土遺物(1)	238
第174回	SI220 堅穴住居跡	205	第213回	SI230 出土遺物(2)	239
第175回	SI220 出土遺物	206	第214回	SI230 出土遺物(3)	240
第176回	SI221 堅穴住居跡(1)	207	第215回	SI230 出土遺物(4)	241

第216圖	SI230出土遺物(5)·····	242	第255圖	SI242出土遺物(2)·····	276
第217圖	SI230出土遺物(6)·····	243	第256圖	SI243豎穴住居跡·····	277
第218圖	SI231豎穴住居跡(1)·····	245	第257圖	SI243出土遺物·····	278
第219圖	SI231豎穴住居跡(2)·····	246	第258圖	SI244豎穴住居跡·····	279
第220圖	SI231豎穴住居跡(3)·····	247	第259圖	SI244出土遺物·····	279
第221圖	SI231出土遺物(1)·····	247	第260圖	SI245豎穴住居跡·····	280
第222圖	SI231出土遺物(2)·····	248	第261圖	SI246豎穴住居跡·····	281
第223圖	SI231出土遺物(3)·····	249	第262圖	SI247A 豎穴住居跡(1)·····	283
第224圖	SI231出土遺物(4)·····	250	第263圖	SI247A 豎穴住居跡(2)·····	284
第225圖	SI232豎穴住居跡·····	251	第264圖	SI247A 豎穴住居跡(3)·····	285
第226圖	SI232出土遺物·····	253	第265圖	SI247A 出土遺物(1)·····	285
第227圖	SI233豎穴住居跡·····	254	第266圖	SI247A 出土遺物(2)·····	286
第228圖	SI233出土遺物(1)·····	254	第267圖	SI247A 出土遺物(3)·····	287
第229圖	SI233出土遺物(2)·····	255	第268圖	SI247B 豎穴住居跡(1)·····	288
第230圖	SI234豎穴住居跡(1)·····	256	第269圖	SI247B 豎穴住居跡(2)·····	289
第231圖	SI234豎穴住居跡(2)·····	257	第270圖	SI248出土遺物(1)·····	290
第232圖	SI234豎穴住居跡(3)·····	258	第271圖	SI248豎穴住居跡·····	291
第233圖	SI234出土遺物(1)·····	258	第272圖	SI248出土遺物(2)·····	293
第234圖	SI234出土遺物(2)·····	259	第273圖	SI249豎穴住居跡·····	294
第235圖	SI234出土遺物(3)·····	260	第274圖	SI249出土遺物·····	295
第236圖	SI235豎穴住居跡(1)·····	261	第275圖	SI250豎穴住居跡·····	296
第237圖	SI235豎穴住居跡(2)·····	262	第276圖	SI250出土遺物·····	297
第238圖	SI235出土遺物·····	263	第277圖	SI251豎穴住居跡·····	298
第239圖	SI236豎穴住居跡·····	264	第278圖	SI251出土遺物·····	299
第240圖	SI236出土遺物·····	264	第279圖	SI252豎穴住居跡·····	299
第241圖	SI237豎穴住居跡(1)·····	265	第280圖	SI253A 豎穴住居跡(1)·····	301
第242圖	SI237豎穴住居跡(2)·····	266	第281圖	SI253A 豎穴住居跡(2)·····	302
第243圖	SI237出土遺物·····	266	第282圖	SI253A 出土遺物(1)·····	304
第244圖	SI238豎穴住居跡(1)·····	267	第283圖	SI253A 出土遺物(2)·····	305
第245圖	SI238豎穴住居跡(2)·····	268	第284圖	SI253B 豎穴住居跡(1)·····	306
第246圖	SI238豎穴住居跡(3)·····	268	第285圖	SI253B 豎穴住居跡(2)·····	307
第247圖	SI238出土遺物·····	269	第286圖	SI254豎穴住居跡·····	309
第248圖	SI239豎穴住居跡·····	270	第287圖	SI254出土遺物·····	309
第249圖	SI239出土遺物·····	271	第288圖	SI255豎穴住居跡(1)·····	310
第250圖	SI240豎穴住居跡·····	272	第289圖	SI255豎穴住居跡(2)·····	311
第251圖	SI241豎穴住居跡·····	273	第290圖	SI255出土遺物·····	312
第252圖	SI242豎穴住居跡(1)·····	274	第291圖	SI256豎穴住居跡·····	313
第253圖	SI242豎穴住居跡(2)·····	275	第292圖	SI256出土遺物·····	314
第254圖	SI242出土遺物(1)·····	275	第293圖	SI257豎穴住居跡(1)·····	315

第294回	SI257 堅穴住居跡(2)……………	316	第321回	SB23 掘立柱建物跡……………	343
第295回	SI257 出土遺物(1)……………	316	第322回	SB24 掘立柱建物跡……………	344
第296回	SI257 出土遺物(2)……………	317	第323回	SB25 掘立柱建物跡……………	345
第297回	SI258 堅穴住居跡……………	318	第324回	SB26 掘立柱建物跡……………	346
第298回	SI258 出土遺物……………	319	第325回	SB27 掘立柱建物跡……………	348
第299回	SI259 堅穴住居跡……………	320	第326回	SB28 掘立柱建物跡……………	349
第300回	SI259 出土遺物……………	321	第327回	SD66 溝跡(1)……………	350
第301回	SI260 堅穴住居跡……………	321	第328回	SD66 溝跡(2)……………	351
第302回	SI260 出土遺物……………	322	第329回	SD66 溝跡(3)……………	352
第303回	SI261 堅穴住居跡……………	323	第330回	SD66 溝跡(4)……………	353
第304回	SB11 掘立柱建物跡……………	324	第331回	SD66 出土遺物(上層①)……………	354
第305回	SB11 出土遺物……………	325	第332回	SD66 出土遺物(上層②)……………	355
第306回	SB12 掘立柱建物跡……………	325	第333回	SD66 出土遺物(4層①)……………	356
第307回	SB13 掘立柱建物跡……………	327	第334回	SD66 出土遺物(4層②)……………	357
第308回	SB13 出土遺物……………	328	第335回	SD66 出土遺物(4層③)……………	358
第309回	SB14 掘立柱建物跡(1)……………	328	第336回	SD66 出土遺物(4層④)……………	359
第310回	SB14 掘立柱建物跡(2)……………	329	第337回	SD66 出土遺物(4層⑤)……………	360
第311回	SB15 掘立柱建物跡……………	330	第338回	SD66 出土遺物(4層⑥)……………	361
第312回	SB16 掘立柱建物跡……………	331	第339回	SD66 出土遺物(下層①)……………	361
第313回	SB17 掘立柱建物跡……………	332	第340回	SD66 出土遺物(下層②)……………	362
第314回	SB18 掘立柱建物跡……………	333	第341回	SD66 出土遺物(下層③)……………	363
第315回	SB19 掘立柱建物跡(1)……………	335	第342回	SA1 材木列・SD131 溝跡(1)……………	365
第316回	SB19 掘立柱建物跡(2)……………	336	第343回	SA1 材木列・SD131 溝跡(2)……………	366
第317回	SB20 掘立柱建物跡……………	337	第344回	SR1 河川跡……………	367
第318回	SB21 掘立柱建物跡(1)……………	338	第345回	遺構外出土遺物(1)……………	370
第319回	SB21 掘立柱建物跡(2)……………	339	第346回	遺構外出土遺物(2)……………	371
第320回	SB22 掘立柱建物跡……………	341			

## 第2分冊

3. 弥生時代の遺構と遺物	375
(1) 土器埋設遺構	375
(2) 土壙墓	381
(3) 土坑・ピット・性格不明遺構	382
(4) IV・V層の出土遺物	387
(5) 水田跡	420
(6) 水田跡出土遺物	435
(7) その他の弥生時代出土遺物	442
(8) 下層調査(IV層～Ⅷ層)	444
第6章 自然科学分析	467
第7章 まとめ	481
写真図版	
報告書抄録	
付図	

## 第2分冊 挿図

第347図 弥生時代遺構全体図	373	第363図 IV・V層出土遺物(5)	397
第348図 弥生時代(先行調査)4A-A~E区基本層序	376	第364図 IV・V層出土遺物(6)	398
第349図 SK212・213土器埋設遺構	377	第365図 IV・V層出土遺物(7)	399
第350図 SK212埋設土器実測図	378	第366図 IV・V層出土遺物(8)	400
第351図 SK213埋設土器実測図・出土遺物	379	第367図 IV・V層出土遺物(9)	401
第352図 SK215土器埋設遺構	380	第368図 個別別資料1出土地点分布図	402
第353図 SK215埋設土器実測図	380	第369図 IV・V層出土遺物(10)	403
第354図 SK214土壙墓・出土遺物	381	第370図 IV・V層出土遺物(11)	404
第355図 SX18性格不明遺構	382	第371図 IV・V層出土遺物(12)	405
第356図 4A区土坑・ピット・性格不明遺構(弥生時代)	383	第372図 IV・V層出土遺物(13)	406
第357図 4C区土坑(弥生時代)	384	第373図 IV・V層出土遺物(14)	407
第358図 4C区ピット(弥生時代)	385	第374図 IV・V層出土遺物(15)	408
第359図 IV・V層出土遺物(1)	392	第375図 IV・V層出土遺物(16)	409
第360図 IV・V層出土遺物(2)	393	第376図 IV・V層出土遺物(17)	410
第361図 IV・V層出土遺物(3)	394	第377図 IV・V層出土遺物(18)	411
第362図 IV・V層出土遺物(4)	395	第378図 IV・V層出土遺物(19)	412

第379図	IV・V層出土遺物20 <sup>a</sup> ……………	413	第417図	その他の弥生時代出土遺物18……………	462
第380図	IV・V層出土遺物20 <sup>b</sup> ……………	414	第418図	その他の弥生時代出土遺物19……………	463
第381図	IV・V層出土遺物22……………	415	第419図	その他の弥生時代出土遺物20……………	464
第382図	IV・V層出土遺物23……………	416	第420図	その他の弥生時代出土遺物21……………	465
第383図	IV・V層出土遺物24……………	417	第421図	その他の弥生時代出土遺物22……………	466
第384図	4 A区石器出土地点分布図……………	418	第422図	プラント・オパール分析試料採取地点……………	468
第385図	4 A・B区石器出土地点分布図……………	419	第423図	(図1) 4 A区東壁地点における プラント・オパール分析結果……………	474
第386図	IV d層擬似畦畔 A……………	421	第424図	(図2) 4 A区西壁地点における プラント・オパール分析結果……………	475
第387図	IV f層擬似畦畔 A……………	423	第425図	(図3) 4 B区東壁地点における プラント・オパール分析結果……………	476
第388図	V a層水田跡……………	425	第426図	(図4) 4 B区中央地点における プラント・オパール分析結果……………	477
第389図	V b層水田跡……………	427	第427図	(図5) 4 B区西壁地点における プラント・オパール分析結果……………	478
第390図	水田跡断面図1)……………	429	第428図	(図6) 4 B区河川跡地点における プラント・オパール分析結果……………	479
第391図	水田跡断面図2)……………	431	第429図	区画施設西側(4 C区)遺構重複状況……………	482
第392図	水田跡断面図3)……………	433	第430図	区画施設東側(4 A・4 B区)遺構重複状況……………	482
第393図	SD105溝跡(弥生時代)……………	434	第431図	竪穴住居跡カマド付設方向……………	485
第394図	水田跡出土遺物(1)……………	436	第432図	SD66各層からの出土遺物(1)……………	487
第395図	水田跡出土遺物(2)……………	437	第433図	SD66各層からの出土遺物(2)……………	489
第396図	水田跡出土遺物(3)……………	438	第434図	区画施設周辺遺構配置図……………	490
第397図	水田跡出土遺物(4)……………	439	第435図	区画施設西側1～IV群住居……………	492
第398図	水田跡出土遺物(5)……………	440	第436図	長町駅東遺跡4区遺構重複関係模式図……………	495
第399図	水田跡出土遺物(6)……………	441	第437図	各期竪穴住居跡出土土器(1)……………	498
第400図	その他の弥生時代出土遺物(1)……………	445	第438図	各期竪穴住居跡出土土器(2)……………	500
第401図	その他の弥生時代出土遺物(2)……………	446	第439図	各期竪穴住居跡出土土器(3)……………	502
第402図	その他の弥生時代出土遺物(3)……………	447	第440図	各期竪穴住居跡出土土器(4)……………	504
第403図	その他の弥生時代出土遺物(4)……………	448	第441図	各期竪穴住居跡出土土器(5)……………	506
第404図	その他の弥生時代出土遺物(5)……………	449	第442図	各期竪穴住居跡出土土器(6)……………	508
第405図	その他の弥生時代出土遺物(6)……………	450	第443図	各期竪穴住居跡出土土器(7)……………	510
第406図	その他の弥生時代出土遺物(7)……………	451	第444図	長町駅東遺跡全体図と郡山遺跡(1期官衙)……………	511
第407図	その他の弥生時代出土遺物(8)……………	452			
第408図	その他の弥生時代出土遺物(9)……………	453			
第409図	その他の弥生時代出土遺物10……………	454			
第410図	その他の弥生時代出土遺物11……………	455			
第411図	その他の弥生時代出土遺物12……………	456			
第412図	その他の弥生時代出土遺物13……………	457			
第413図	その他の弥生時代出土遺物14……………	458			
第414図	その他の弥生時代出土遺物15……………	459			
第415図	その他の弥生時代出土遺物16……………	460			
第416図	その他の弥生時代出土遺物17……………	461			
			付図1	長町駅東遺跡4区遺構全体図(1)	
			付図2	長町駅東遺跡4区遺構全体図(2)	

## 第1章 調査に至る経過

### 1. 調査事由

長町駅東遺跡は、仙台市太白区長町に計画された「長町地区新都市整備計画」に伴い実施された試掘調査によって発見された遺跡である。この整備計画では、長町地区に副都心の創生、国際化・情報化に対応したビジネス拠点の形成、新しい文化を創造する交流拠点、国際都市にふさわしい都心型居住空間の提供、歴史と風土を生かした街づくりなどを方針とし、その基盤整備として幹線道路の整備、鉄道の高架化などが計画されている。その後この事業は、「長町副都心土地区画整理事業」と呼称されることとなった。

この計画地域82haの中にあつて、長町貨物ヤード跡地を含む国鉄清算事業団所有地は約30haの面積があり、整備計画の立案、実施のうえで重要な位置を占めていた。計画地の東には郡山遺跡、西台畑遺跡が隣接しているが、この地はこれまで遺跡の発見などがされなかった所である。そこで、今後この地域で副都心整備が進められるにあたり、遺跡の存在の有無、範囲の広がり等を早急に把握する必要がある。

平成2年11月に、仙台市文化財課・仙台市都市整備局整理課・国鉄清算事業団の三者により、長町貨物ヤード跡地に立ち入り、現地を観察を行った。その後の協議により、平成3年度に、今後の調査の実施方法を検討するため、遺構の密度、様相、基本層序などをみる試掘調査を実施することとした。平成3年6月「長町駅構内における埋蔵文化財調査に伴う覚書」を、仙台市教育委員会と国鉄清算事業団東北支社仙台事務所との間に取り交わし、平成3年度及び4年度に試掘調査を実施した。その結果、竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝跡などが検出されたことから、「長町駅東遺跡」として登録した。遺構の年代については、検出時に出土した土器類が隣接する郡山遺跡と同じ状況を示していることから、7世紀後半から8世紀の年代が考えられた。

以上の調査成果をもとに、仙台市文化財課・都市整備局整理課と事業主体者である住宅・都市整備公団は協議を行い、以下のような協定等を取り交わし、計画路線にかかる西台畑遺跡・長町駅東遺跡・郡山遺跡について発掘調査を実施することとなった。この間、事業主体者である住宅・都市整備公団は、組織変更等に伴う名称の変更により都市基盤整備公団となり、現在は独立行政法人都市再生機構となっている。同時に事業名称の変更も行われ、現在は「あすと長町土地区画整理事業」となっている。

平成8年10月31日	仙台市と住宅・都市整備公団との締結文書 「仙台市長町副都心土地区画整理事業に関する基本協定」 「仙台市長町副都心土地区画整理事業に関する基本協定に係る確認書」
平成8年11月19日	仙台市教育委員会と住宅・都市整備公団との締結文書 「仙台市長町副都心土地区画整理事業の施行に伴う埋蔵文化財包蔵地の取り扱いに関する覚書」
平成10年2月13日	仙台市教育委員会と住宅・都市整備公団との締結文書 「仙台市長町副都心土地区画整理事業の施行に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査に関する協定書」
平成18年3月16日	仙台市教育委員会と独立行政法人都市再生機構との締結文書 「仙台市長町副都心土地区画整理事業の施行に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査に関する協定書の一部を変更する協定書」

発掘調査対象面積が広大であることから、事業計画の進行に合わせて調査を実施することとし、平成10年から13

年及び17年に西台畑遺跡、平成13年及び16年から郡山遺跡、平成13年から長町駅東遺跡の調査を行っている。

長町駅東遺跡については、今回の事業の中心となる副都心大通り線を対象として、計画路線の南側から調査を開始した。平成15年度に事業計画区域全域を対象に確認調査を実施し、計画地内における遺構密度、様相、基本層序などを確認した。その結果、長町駅東遺跡については、4区よりも北側については河川跡および擾乱により遺構面は消失している可能性の高いことが確認された。

#### 長町駅東遺跡年度別調査成果一覧

調査年度	調査回数	調査区	調査成果
平成13年	1次調査	1区・2A区・2B区	住居跡24軒・掘立柱建物跡2棟・溝跡・土坑
平成14年	2次調査	2B区下層調査・3A区	住居跡53軒・掘立柱建物跡3棟・溝跡・土坑
平成15年	3次調査	3A区下層調査・3B区	住居跡60軒・掘立柱建物跡5棟・区画施設
平成16年	4次調査	4区	住居跡78軒・掘立柱建物跡18棟・区画施設
平成17年	5次調査	5A区	住居跡11軒・溝跡11条・土坑・河川跡
平成18年	6次調査	5B区	住居跡21軒・溝跡42条・土坑・河川跡

## 2. 調査要項

遺跡名：長町駅東遺跡(仙台市文化財登録番号C-317)

所在地：仙台市太白区長町六丁目

調査期間：2004年(平成16年)4月15日～2005年(平成17年)2月4日

調査主体：仙台市教育委員会

調査担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 工藤信一郎 佐藤 淳 大倉秀之 浅野克樹

派遣調査員 秋山重美 株式会社玉川文化財研究所

### ○4A区 国際航業株式会社

主任調査員 竹内俊之 調査員 土 任隆(5月～7月) 土岐耕司(7月～) 土橋尚起  
調査補助員 川又理枝 計測員 北口吉光 計測補助員 七役充範 桜井 毅

### ○4B区 株式会社シン技術コンサル

主任調査員 藤田亮一 調査員 松本欣士 北村 淳 調査補助員 小川長尊  
計測員 倉田季幸 計測補助員 松田秀貴

### ○4C区 安西工業株式会社

主任調査員 千喜良 淳(5月～10月) 小泉信吾(10月～) 調査員 吉岡 宏 龍野一也  
久富正登(1月～) 計測員 榑 孝浩 計測補助員 西本英二

#### 整理体制

##### 平成17年度

整理担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 工藤信一郎

整理室：安西工業株式会社東大阪営業所内整理室

整理体制：統括責任者・主任調査員 岡田 哲 調査員 吉岡 宏 龍野一也 計測員 榑 孝浩  
計測補助員 中北敦子

##### 平成18年度

整理担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 工藤信一郎

整理室：国際航業株式会社東北調査事務所六丁の目北町分室

整理体制：統括責任者 竹内俊之 主任調査員 土岐耕司 調査員 平田貴正 利屋 勉

計測員 佐藤 寛 石器実測 嶋久森 彬

## 第2章 遺跡の立地と環境

### 1. 長町駅東遺跡の位置(第1図)

長町駅東遺跡は、宮城県のはほぼ中央に位置する仙台市の南東部、太白区長町六丁目付近に広がる遺跡である。JR東北本線の東側に沿っており、線路と太白区郡山六丁目の住宅地に挟まれる格好となっている。遺跡の範囲は南北480m、東西200mの約90,000㎡に及んでいる。遺跡から約1.5km北には北西→南東方向に広瀬川が、同じく約1.5km南には東西に名取川が流れ、この両河川は遺跡から南東約2.5kmの地点で合流している。長町駅東遺跡が立地するのは、この両河川と、西の長町-利府構造線によって画されている郡山低地内の、標高10m前後の自然堤防と後背湿地上である。

### 2. 周辺の遺跡(第1図)

#### 旧石器時代

郡山低地の後背湿地上にある富沢遺跡からは、焚火跡とその周囲から出土した100点以上の石器から、当時の人々の生活痕跡が窺える他、樹木・葉・昆虫・動物の糞等の自然遺物も発見され、仙台における2万年前の環境復元資料として、非常に重要である。

#### 縄文時代

早期のものとして、下ノ内浦遺跡から早期前半の堅穴住居跡2軒、落し穴7基や押型文土器が見つかった。昭和56年と57年に調査された山口遺跡では、早期末の土器片を含む遺物包含層が発見され、当時としては沖積地上の遺跡としては最古の例であった。

前期の遺跡としては三神峯遺跡があり、前期前葉の堅穴住居跡8軒が見つかった。

中期のものとして、六反田遺跡からは中期中葉(大木8b式)の堅穴住居跡が2軒、下ノ内浦遺跡からは複式炉を持つ末葉の堅穴住居跡が見つかった。

後期のものとしては、六反田遺跡からは後期初頭の集落と、多量の土器を含む遺物包含層を検出した。炭化植物の年代測定から、約3800~3900年前の年代が考えられている。下ノ内浦遺跡からは後期前葉の、大野田遺跡でも後期前半の墓塚が検出された。

晩期のものとしては、山口遺跡で河川跡が発見され、植生環境が復元されている。

#### 弥生時代

前期のものとして、安久東遺跡出土の壺片は、西日本の弥生土器の影響を受けたものとして特記される。

中期のものとして、昭和58年(1983)の富沢遺跡における水田跡検出が、東北地方では青森県田舎館村垂柳遺跡に次ぐ発見として名高い。また、郡山遺跡でも中期中葉以前の水田跡が発見され、隣接する西台畑遺跡からも中期中頃の墓塚が見つかった。

後期のものとしては、下ノ内浦遺跡では土壇墓や土器棺墓が発見され、墓塚であったことが確認された。



第1図 長町駅東遺跡と周辺の遺跡

#### 古墳時代

前期後半の遠見塚古墳は全長100mを超える前方後円墳で、名取市雷神山古墳とともに県内最大級の規模を誇る。中期になると裏町古墳・兜塚古墳などの帆立貝形古墳や、剣り貫き石棺の出土した二塚古墳、舟形石棺の一塚古墳などが築かれるようになる。中期後半から後期にかけては小規模な円墳や前方後円墳からなる大野田古墳群が名取川の北岸にも造られ、埴輪の多用とともに富沢窯跡が5世紀後半に採業している。

長町駅東遺跡と周辺の遺跡

No	遺跡名	種別	立地	年代	No	遺跡名	種別	立地	年代
1	長町駅東遺跡	集落跡・水田跡	自然堤防 後背溜地	鎌生～中世	28	浅見塚古墳	前方後円墳	自然堤防	古墳
2	郡山遺跡	官衙・寺院	自然堤防	縄文～中世	29	南小泉遺跡	集落跡	自然堤防	鎌生～中世
3	西合田遺跡	包含地	自然堤防	鎌生～古墳	30	若林城跡	城跡	自然堤防	中世～近世
4	北目城跡	城跡	自然堤防	中世	31	在・駒城跡	城跡	丘陵	古墳
5	富沢遺跡	包含地・集落跡	後背溜地	旧石器～近世	32	成塚古墳	前方後円墳	自然堤防	中世
6	泉崎浦遺跡	包含地	自然堤防	縄文・奈良 平安	33	一塚古墳	前方後円墳	自然堤防	古墳
7	山口遺跡	包含地・水田跡	自然堤防	縄文・鎌生 奈良～平安	34	二塚古墳	前方後円墳	自然堤防	古墳
8	下ノ内浦遺跡	集落跡	自然堤防	縄文～平安	35	神野古墳	前方後円墳	自然堤防	古墳
9	元袋遺跡	集落跡	自然堤防	奈良～平安	36	土子内溝穴群	横穴古墳・家跡	丘陵斜面	古墳
10	大野田遺跡	墓域	自然堤防	縄文・鎌生	37	芦ノ口遺跡	集落跡	段丘	平安
11	袋前遺跡	集落跡・官衙	自然堤防	縄文～平安	38	三ツ手遺跡	集落跡	段丘	縄文
12	六反田遺跡	集落跡	自然堤防	縄文～平安	39	富沢家跡	家跡	丘陵斜面	古墳～平安
13	下ノ内遺跡	集落跡	自然堤防	縄文～平安	40	金山遺跡	家跡	丘陵斜面	古墳
14	伊古田遺跡	集落跡	自然堤防	縄文～平安	41	武野古墳	前方後円墳	自然堤防	古墳
15	鳥居塚古墳	古墳	自然堤防	古墳	42	西合田跡	家跡	丘陵斜面	奈良
16	王ノ壇遺跡	墓域	自然堤防 後背溜地	縄文～中世	43	富沢跡跡	城跡	自然堤防	中世
17	釣池遺跡	集落跡	自然堤防	奈良～平安	44	松木遺跡	集落跡	自然堤防	平安～中世
18	籠ノ瀬遺跡	集落跡	自然堤防	古墳～平安	45	開場遺跡	包含地	自然堤防	平安
19	穴ノ上ノ遺跡	水田跡	自然堤防	平安～中世	46	富東遺跡	包含地	自然堤防	平安
20	穴ノ上ノ遺跡	集落跡	自然堤防	古墳～平安	47	東遺跡	集落跡	自然堤防	古墳
21	安久東遺跡	集落跡・古墳	自然堤防	鎌生～近世	48	安久遺跡	集落跡	自然堤防	鎌生～平安 中世
22	穴ノ上ノ遺跡	包含地	自然堤防	古墳～平安	50	中田南遺跡	集落跡	自然堤防	縄文～中世
23	久東遺跡	藁布地	自然堤防	古墳～古代	51	長河原遺跡	水田跡	自然堤防 後背溜地	鎌生～近世
24	河原池遺跡	包含地	自然堤防	古墳～平安	52	中田畑中遺跡	集落跡	自然堤防	古墳～平安
25	神野上遺跡	包含地	自然堤防	古墳～平安	53	太塚山古墳	円墳	自然堤防	古墳
26	中瀬南遺跡	包含地	自然堤防	鎌生～平安	54	日笠遺跡	集落跡	河川敷	古墳
27	神樂遺跡	包含地	自然堤防	縄文～平安	55	日笠跡跡	城跡	自然堤防	中世
27	神野上遺跡	包含地	自然堤防	古墳～平安					

後期も7世紀半ばになると、郡山の地に官衙が成立し、それに伴って寺院造営のための瓦が供給されるようになる。現在は遺跡が失われ確認することができないが、西台窟跡で焼成したものと考えられている。またこの頃、土手内窟跡で須恵器の生産が開始された。

奈良時代

奈良時代前葉まで機能していた郡山官衙は、陸奥国府多賀城の成立に伴い終末を迎えることになり、この後この周辺には名取郡衙があったと推定されている。位置の特定には至っていないものの、袋前遺跡と大野田遺跡からは真北方向の建物跡4棟が溝跡で区画されるような状態で発見されており、その規模・内容から官衙と推定されている。この他、下ノ内遺跡・伊古田遺跡・下ノ内浦遺跡・六反田遺跡・山口遺跡・元袋遺跡・中田南遺跡などから竪穴住居跡が検出され、集落が形成されたことも明らかになっている。

平安時代

集落遺跡としては、下ノ内遺跡・伊古田遺跡・下ノ内浦遺跡・六反田遺跡・山口遺跡・安久遺跡・安久東遺跡・中田畑中遺跡・南小泉遺跡・芦ノ口遺跡などがある。また生産遺跡としては、富沢遺跡・山口遺跡・郡山遺跡で水田跡が検出されている。

中世・近世

屋敷跡が発見された遺跡として、山口遺跡・富沢遺跡・南小泉遺跡・中田南遺跡・王ノ壇遺跡などがあり、城跡としては、北目城跡・富沢館跡・日笠館跡・若林城跡などが挙げられる。北目城は、仙台城築城以前の関が原合戦の折、会津の上杉に対峙するために伊達政宗が拠点としたことで知られる。若林城はその政宗の隠居所として築城され、周辺一帯は城下町として整備された。しかし政宗の死後、城の建物は移築ないしは取り壊され、城下町を衰退の途を辿り、近世村落に姿を変えていく。

## 第3章 調査の方法と概要

### 1. 調査の方法

#### (1) 確認調査

長町貨物ヤード跡地内は、旧国鉄時代に貨物ヤード造成に伴う大規模な攪乱を受けていることから、本調査区の設定にあたっては、事前に試掘トレンチによる確認調査を行い遺構面の遺存状況を確認し、調査計画をたてることとしていた。

4区を対象とした確認調査は平成15年度に実施しており、計画路線幅50m内にセンターラインを基準として、直交する3×20mの東西トレンチを15m間隔で設定し調査を行った。

調査は、重機により遺構確認面であるIV層上面まで掘り下げを行い、その後人力により遺構検出作業を行った。調査記録としては、遺構検出状況写真の撮影、遺構配置図の作成、レベル記入を行った。

その結果以下のような知見が得られた。

- ①北側に河川跡に伴う堆積土が確認され、15年度に計画区域内を対象に実施した確認調査成果とあわせて、大通り路線線内においては、4区より北側については遺構面が存在しないと判断される。
- ②北半部については、削平により遺構面の遺存状態が悪く、遺構密度についても疎となる傾向がみられる。また、北西側部分については、攪乱により遺構面は消失している。
- ③南半部及び西側環状線部分については、前年度の3B区同様に密集した状態での住居跡の検出が想定される。

#### (2) 本調査

確認調査の結果を受け、4区の調査対象面積は約7,000㎡となることが明らかとなり、都市基盤整備公団と本調査の実施について協議し、平成16年度内に全城の調査を実施することとなった。

仙台市では、16年度から発掘調査の円滑な進行を図るため、仙台市担当職員の指導監督によりこれまでの調査精度を維持させることを前提として、発掘調査の一部を委託業務として民間発掘会社に委託することとなった。今回の長町駅東道跡4区調査についても、調査面積が広く、遺構密度も高いことが想定されたことから、仙台市文化財課による調査体制では16年度内での調査終了は難しいと判断され、調査委託により実施することとした。

### 2. 調査概要

#### (1) 調査区の設定

調査対象区域は、確認調査によって遺構面が確認された大通り線計画路線幅50m、南北110m、及び環状線計画路線幅18m、東西80mを含む面積約7,000㎡である。

調査区の設定にあたっては、古代から中世面での遺構密度の高さや下層調査の実施を想定し、調査区を3分割し、南側を4A区(2,000㎡)、北側を4B区(2,800㎡)、東西の環状線部分を4C区(2,200㎡)と呼称した。

#### (2) 調査経過

平成16年3月に重機による本調査区の表土除去作業を開始した。4月15日から仙台市文化財課により遺構検出作業および一部の遺構の掘り込み作業を実施した。その後6月14日から各調査会社に引き継いだ。それぞれの担当は、4A区国際航業株式会社、4B区株式会社シン技術コンサル、4C区安西工業株式会社である。

それぞれの調査区の接する部分の遺構の調査については、原則として、主体となる部分が大きく占める方が調査を担当することとした。さらに、週1回月曜日の調査終了後に、西台畑遺跡調査事務所において全体での打ち合わ

せを行い、調査の進捗状況の報告や今後の予定、問題点などについて協議しながら調査を進めた。

7月以降竪穴住居跡の調査を開始し、区画溝SD66に通路状遺構を伴うことを確認した。この間SD77以南のエリアについては、施工計画の関係から先行して引き渡すことになったため、8月中旬から4A区に下層調査区を設定し、弥生面の調査を開始した。

今回の調査成果の公開のため、10月21日区画施設(SD66・SA1)を持つ集落として報道発表を行い、同23日に現地説明会を開催し、300名を超える参加者があった。

11月に入り、4A・4B区では下層調査区の検討から水田遺構の存在が明らかになり、全面調査へと切り替え本格的に水田遺構調査を開始し、1月下旬に弥生面の調査を終了した。

4C区では、1月中旬に古代面の調査が終了し、弥生面の調査を開始した。埋設土器遺構や管玉を伴う土坑が検出され、平成17年2月4日に全ての調査を終了した。

### (3) 測量基準・図面の作成(第2回)

測量は、「平面直角座標系第X系」を基準としている。5×10mを単位とする平面区配図を作成し、1～182までの番号を付した。本文中で遺構の所在位置を示す場合は、この番号をグリッド番号として使用している。

遺構図面の作成にあたっては、各社ともにトータルステーションを主としながら、写真実測または手実測により行った。調査区が重複する部分の図面については、各社間で整合性が得られるように協議しながら作成した。

トータルステーションによる図面の表現方法などの基本的な仕様については、仙台市沼向遺跡のものを参考資料として作成することにした。しかし、各社で用いた図化ソフトに違いがあったことから、線号や図面の表現方法にも相違が生じ、次年度からの整理作業の段階に課題を残した。

### (4) 遺物の取り上げ・調査記録の作成

遺物の取り上げにあたっては、測量基準とした平面区配図の番号をグリッド名として利用した。原則として、5×10m単位で取り上げている。特に必要と認められた遺物については、出土状況とレベルを記録している。

調査が三社により行われることになったことから、調査内容の共通理解が得られるよう、主な遺構については遺構観察カードを作成し、事実記載及び調査時の所見を記録している。

### (5) 遺構登録番号

遺構登録番号については、長町駅東遺跡調査開始時からの通し番号であり、前年度検出された遺構の延長部分と判断された場合は前年度の遺構番号を用いた。調査開始前の協議により、各調査区ごとに想定される遺構数から事前に登録番号を振り分け、その後調査区間の調整を行わなかったことから遺構番号に空白が生じることになった。

今回の報告においても、調査時に付した遺構番号をそのまま使用している。

竪穴住居跡：SI133～ 掘立柱建物跡：SB11～ 溝跡：SD78～ 土坑：SK82～

小溝状遺構群：SM190～ 性格不明遺構：SX6～ ビット(小柱穴)各調査区P1～

### (6) 調査報告書作成作業

調査報告書作成に伴う整理作業についても、委託業務により実施することとした。整理作業は、出土遺物の水洗作業までを仙台市が行い、その後委託会社に作業を引き継いだ。

平成17年度の整理は安西工業株式会社が担当し、大阪府東大阪市に所在する整理室で行った。調査成果データ(遺構図・遺構写真・記録台帳等)の整理、出土遺物の整理、土師器・須恵器・土製品・瓦の実測図作成及び拓本作成を行っ

たが、整理が遠隔地での作業となったことから、整理作業の進捗状況の確認及び遺構図面・実測図面などの点検に支障をきたすこととなった。この間7～9月にかけて、仙台に遺物を搬入し、土師器実測図・石器実測図について点検したほか、期間中3回(6月・12月・3月)、担当職員が大阪に出張し、現地での整理作業内容の確認・協議を行った。

当初は、17年度での調査報告書刊行を目的としたが、当初の想定よりも実測遺物点数が多くなったことから、整理作業の一部を18年度に引き継ぐことになった。平成18年度は国際航業株式会社が担当し、仙台市若林区内の整理室で行い、遺構・遺物図版の作成、石器・弥生土器実測図の作成及び原稿執筆を行なった。遺物図版のうち土器については、デジタルトレースにより図版を作成している。

## 第4章 基本層序(第2～4図)

国鉄貨物ヤードとして利用されていた遺跡周辺の調査前標高は10～11m間にあり、その整地土である厚さ40～100cmの土層を表土とし、以下を遺跡の基本層位として設定・分層した。但し、調査区の西側には広範囲で石炭ガラを埋めた不定形な掘乱痕跡がみられ、北側には大規模な建物基礎が残る等、調査区全域にわたっての基本層位観察は充分に行うことのできない箇所が多かった。ここでは残存の良い調査区壁面のうち、4C区で作成された土層図を基に基本層位について記述する。4A・4B区については、表土からIVc層までの様相は大差ないが、IVd層以下において水田土壌と考えられる互層状の堆積が確認されている。これらの堆積状況については第5章「弥生時代の遺構と遺物」にて再度図示・記述する。

- I層 ぶい黄褐色シルト或いは粘土質シルトで、北側ほど色調が灰色味を帯びる。
- II層 褐色シルトを基調とするが箇所によって色調の明暗が異なる。調査区南東側では暗褐色(IIa)とぶい黄褐色(IIb)に細分された。小溝状遺構の一部はIIa層上面から掘り込まれている。
- III層 調査区南側では暗褐色・ぶい黄褐色・黒褐色の各層に区別することができ、更に混入物の違いからIIIa～IIIc層に細分された。IIIb上面からはSD80が掘り込まれており、その出土遺物から8世紀後半より遡らない。IIIc上面からはSI214・SD77・SE2が掘り込まれている。
- IV層 箇所によってIVa～IVg層に細分された。IVa層は暗褐色シルトで、褐色シルト粒を少量含む。IVb層は黒褐色シルトで、黄褐色シルト粒を少量含む。IVc層はぶい黄褐色シルトで、褐色シルトを多量に含む。殆どの堅穴住居はこの各層上面からの掘り込みであり、堆積時期は8世紀前半を下らない。IVd層以下は水田関連土壌である。
- V層 4C区ではぶい黄褐色～褐色を呈するが、水田土壌とした4A・4B区では黒味と粘性が増し、黒褐色のVa層と暗褐色のVb層に細分される。弥生時代中期中葉に比定される樹形開式の遺物を包含する。
- VI層 ぶい黄褐色～褐色を呈する砂質シルト。西から東へ向かって僅かに傾斜している。VI層以下は無遺物層で、鉄分沈着が目立つ。
- VII層 調査区西側では黒褐色シルトであるが、東側では褐色粘土質シルトへと漸移していく。
- VIII層 明黄褐色～ぶい黄褐色砂質シルト。
- IX層 ぶい黄褐色シルト。
- X層 黄褐色砂質シルト。

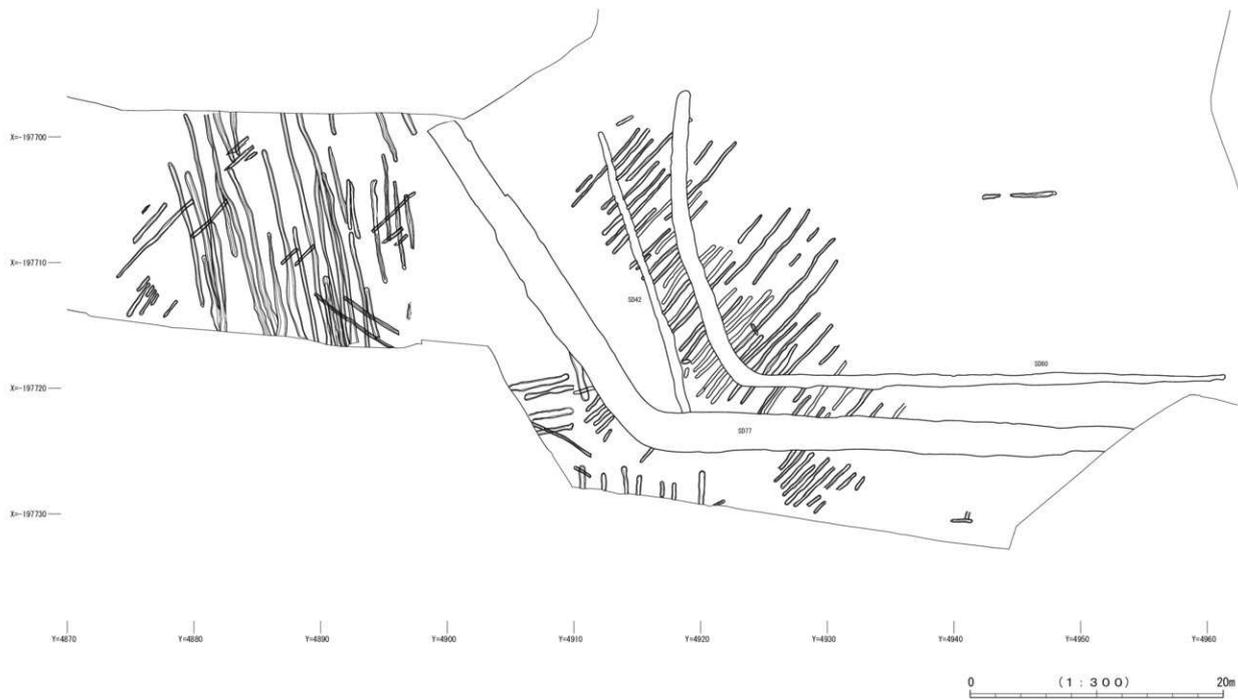




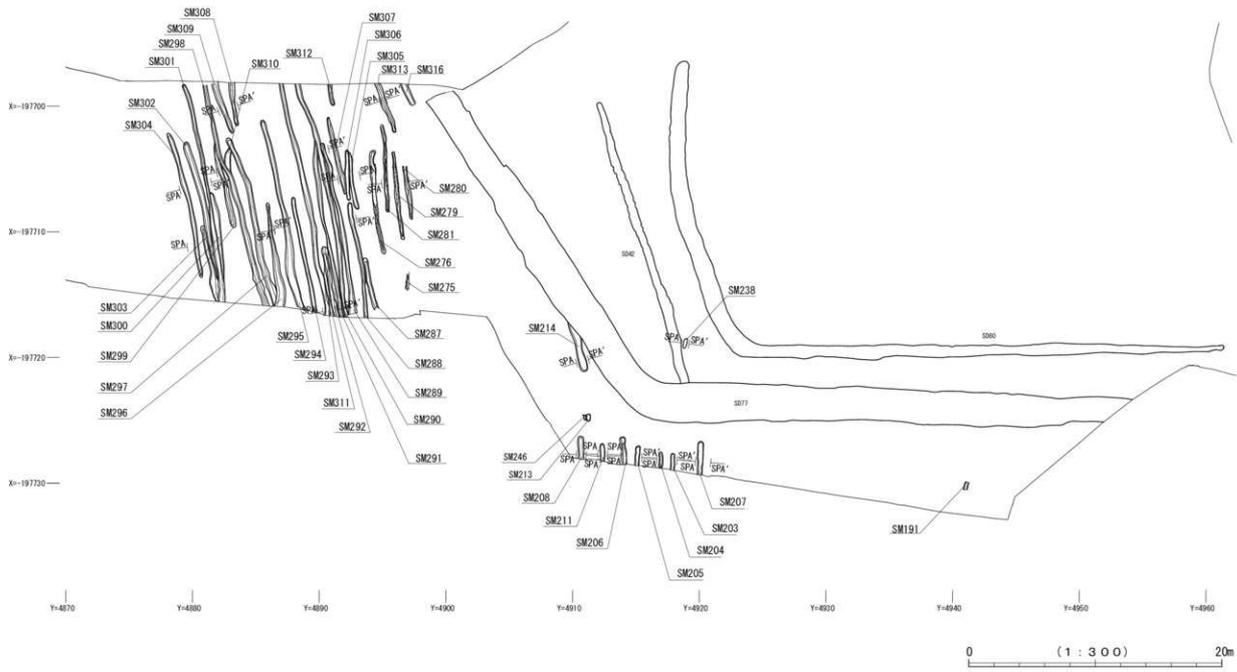




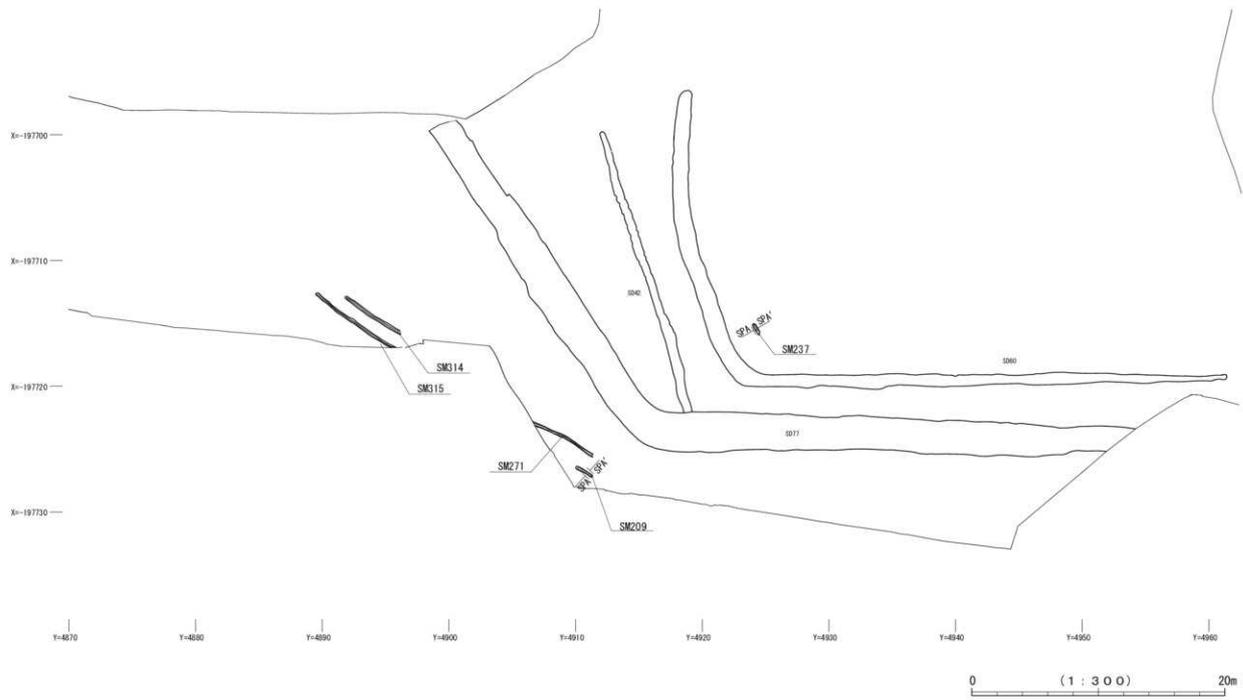
第5図 長可駅東遺跡4区遺構全体図(1)



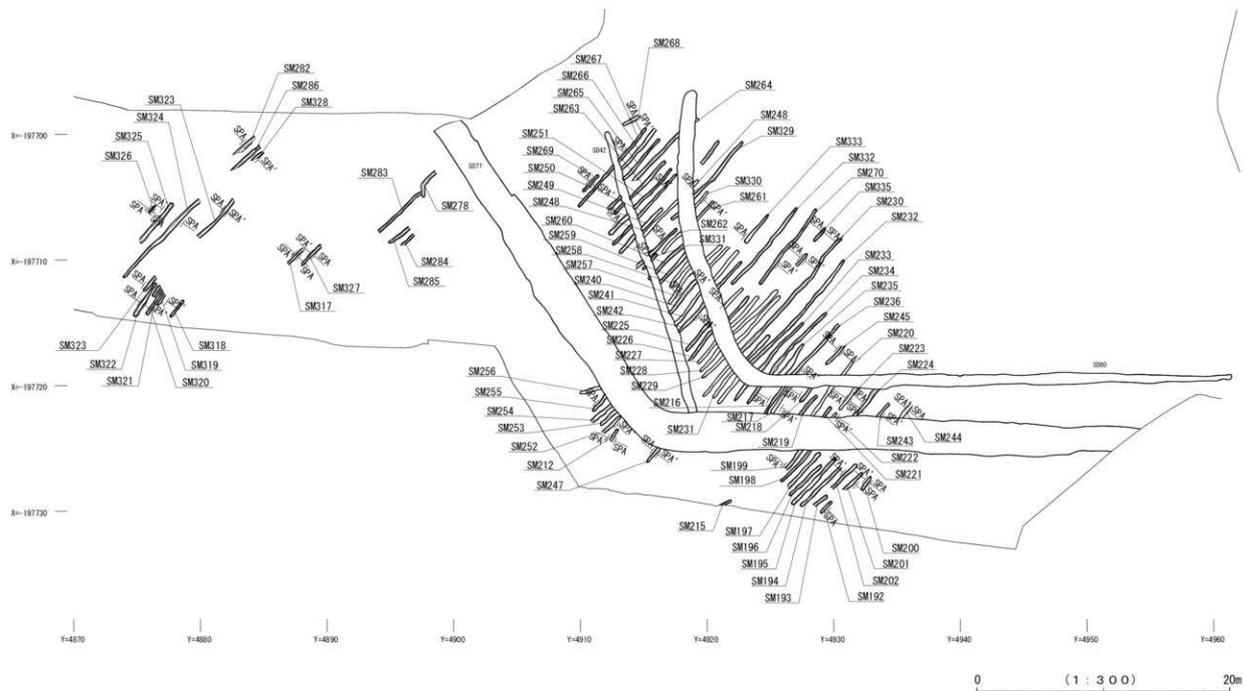
第6図 小溝状遺構群全体図



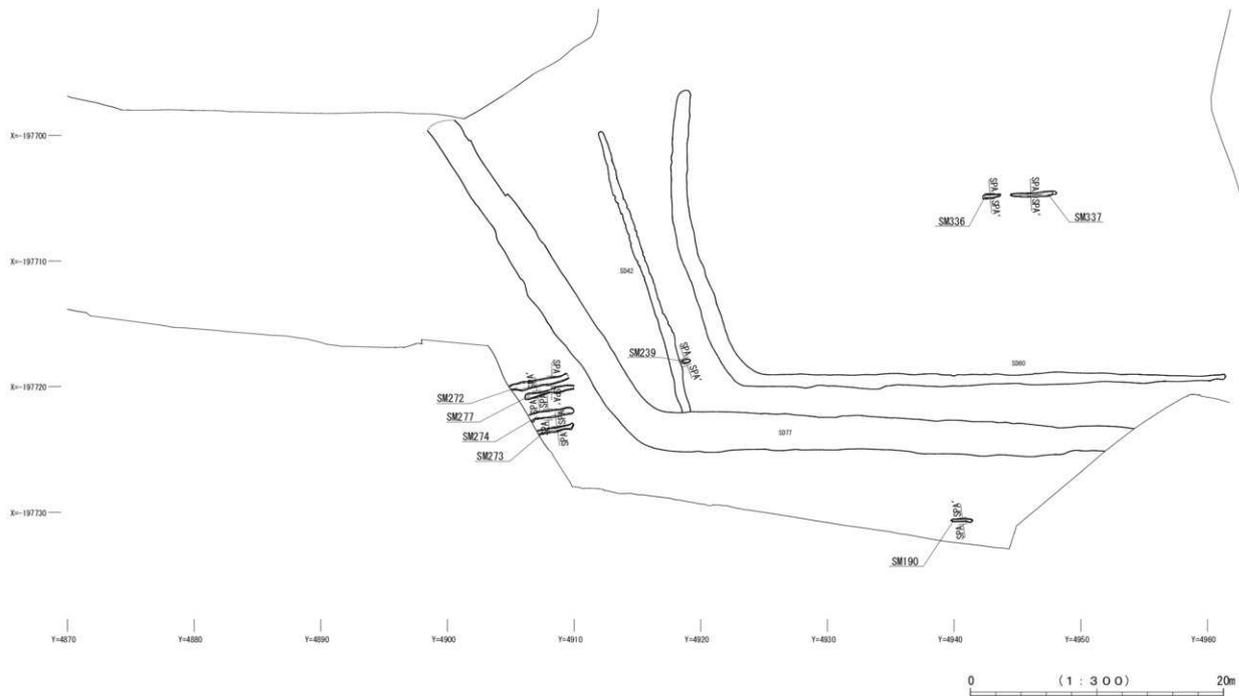
第7図 小溝状遺構群A群



第8図 小溝状遺構群B群



第9図 小溝状遺構群C群



第10圖 小溝状遺構群D群

## 第5章 検出遺構と出土遺物

### 1. 古代～中世の遺構と遺物

今回の調査では、基本層Ⅳc層上面を遺構検出面として調査を開始した。遺構の検出状況を概観すると、まず小溝状遺構群・溝跡・土坑・ピットが検出され、それらに切られる形で堅穴住居跡・掘立柱建物跡・区画施設が検出されるという傾向があった。そのため調査段階においては遺構検出面を古代面上面・下面と区別し、前年度までの調査成果も踏まえ、上面のものは古代から中世前半に、下面のものは郡山官衙が造営される7世紀半ば前後から8世紀に帰属するものとみなし、本節においても両者を区別する形で報告した。但し、溝跡・土坑・ピットに関しては、帰属時期の厳密な区別が困難であるため、殆どのものを一括記載している。

#### (1) 小溝状遺構群

耕作の痕跡を示すものと考えられる遺構群であり、この区域において居住(集落)→生産(耕作地)という土地空間利用の変遷があったことが窺える。検出された遺構数は147条を数え、4A区南西～4C西区で検出されている。その並びと方向性からA～D群に分類し、重複関係からB・C→A→Dの3時期の変遷が認められた。

##### A群(第6・7・11・14・15図)

SM191を除き、ほぼ35m四方の範囲内で検出され、前年度調査区である3B区から連続している。SM191・203～208・211・213・214・238・246・275・276・279～281・287～313・316の45条で構成されている。調査区壁面の土層観察からⅢ層直下からの掘り込みであることがわかる。方向はN-0°-20°-W程度で、検出長40～1910cm、上端幅10～86cm、下端幅6～53cm、深さ5～24cm、溝間幅60～180cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色土が主体である。遺物はSM294・297から須恵器片、SM295から土師器鉢、SM298からは鉄製刀子が出土している。

##### B群(第6・8・11図)

SM209・237・271・314・315の5条で構成され、27×18mの範囲で検出した。重複関係からA群に切られることが確認されている。方向はN-45°-65°-W、検出長100～750cm、上端幅18～30cm、下端幅4～14cm、深さ10～24cm、溝間幅80～120cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色土が主体である。

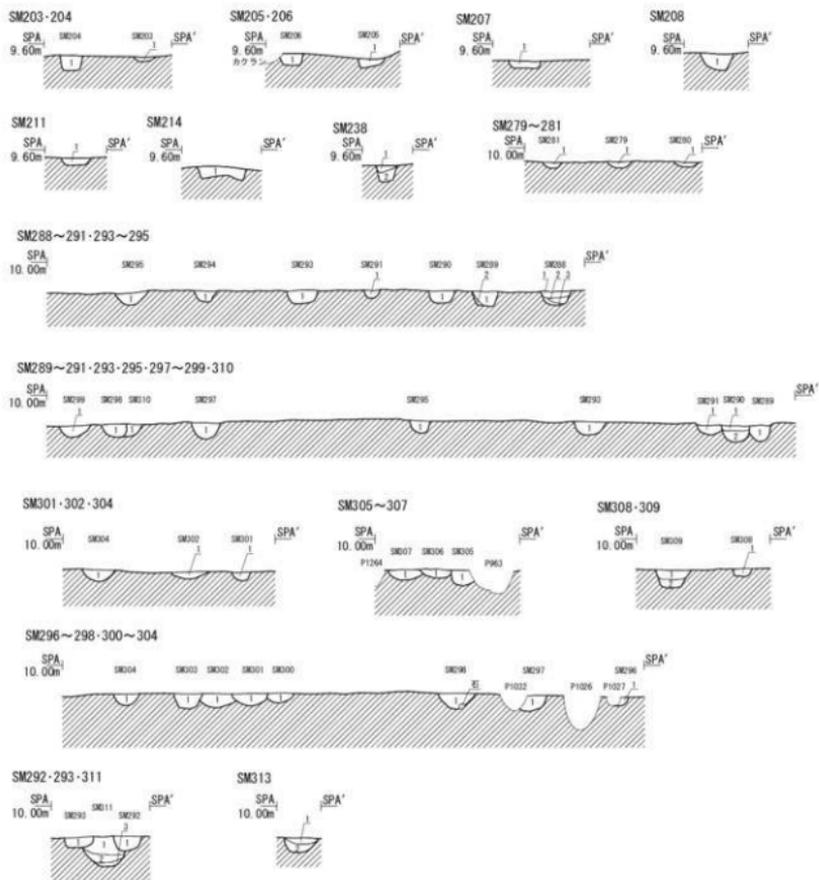
##### C群(第6・9・12図)

55×45mの範囲に広がる小溝群で、A～D群中最も広い分布域を持つ。SM192～202・212・215～236・240～245・247～270・278・282～286・317～335の89条で構成され、SD77に切られる。方向はN-30°-55°-Eで、特に密集している4A区での測定値は、検出長44～1612cm、上端幅10～45cm、下端幅6～24cm、深さ3～21cm、溝間幅50～120cm程度の値を示す。堆積土は黒褐色土・暗褐色土を主体としている。遺物はSM307から土師器片が出土している。

##### D群(第6・10・13図)

方向N-70°-90°-Eのものを一括した。SM190・239・272～274・277・336・337の8条で構成される。重複関係からA～D群中最も新しく、調査区壁面の土層観察からⅡa層上面からの掘り込みであることが確認されている。このことは直接的切り合いはないにしても、A・C群を切るSD77より新しい遺構と言える。検出長70～472cm、上端幅18～58cm、下端幅9～39cm、深さ10～31cm、溝間幅50～120cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色・褐色土を主体としている。

小溝状遺構群A群



小溝状遺構群B群



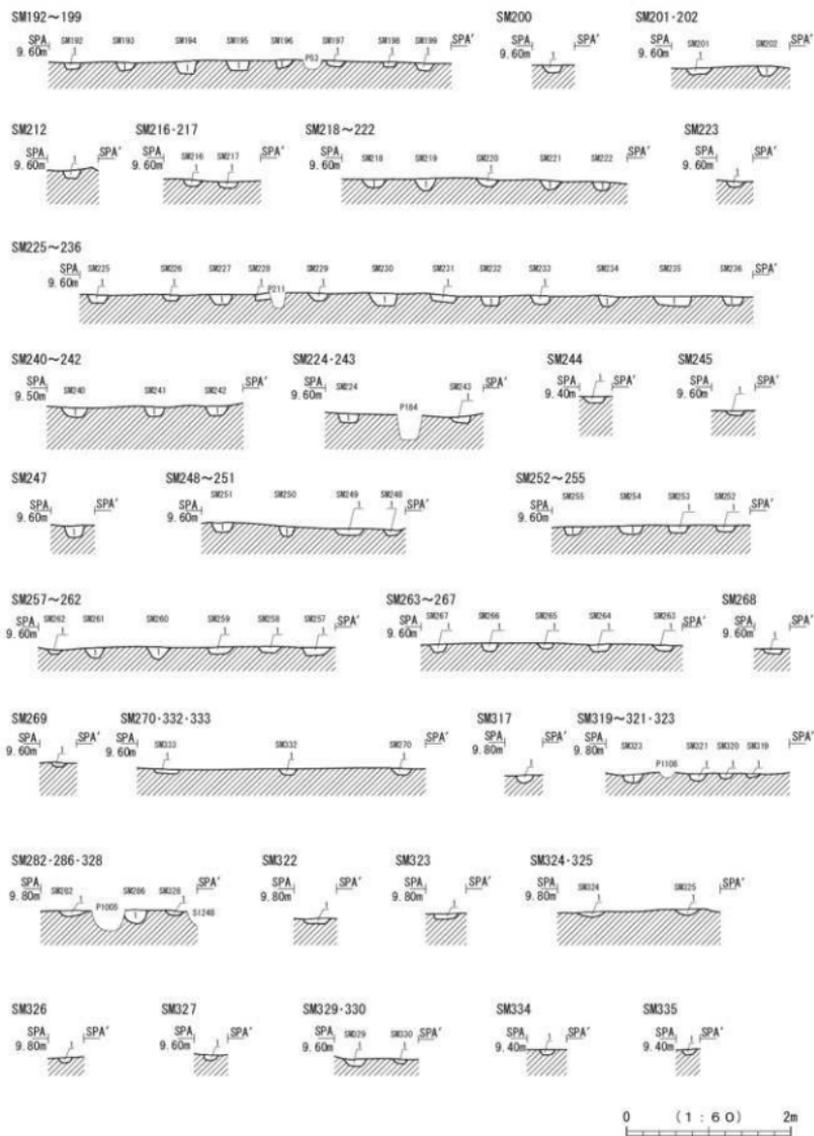
第11図 小溝状遺構群A・B群断面図

小浜林道横断A群 観察表

観測日 SM	アジッド	方向	植 被 (cm)				解位	樹 上		備 考
			長さ	上層	下層	深さ		土 色	土 性	
191	3	N-15°-E	60	30	18	8	-	-	-	SD78, SM190に切られる
203	5	N-2°-E	134	30	20	9	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	-
204	5	N-3°-E	128	28	16	12	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	-
205	5	N-5°-E	158	34-36	18-28	17	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	-
206	5	N-3°-W	228	40	12-28	13	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	-
207	6	N-1°-E	266	38-40	34	11	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	SD42を切る
208	5	N-1°-W	178	42-46	22-26	23	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	P260, SM209を切る
211	5	N-1°-E	139	34-38	18	9	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	P167を切る P11に切られる
213	12	N-2°-E	56	32	24	12	-	-	-	P123に切られる
214	12-22	N-15°-W	172	62	24-50	11	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	SM236を切る SD77に切られる
238	23	N-21°-E	80	28	18	22	2	2.5Y5-1 暗褐色	粘土質シルト	SD85を切る
246	12	N-21°-W	40	16	10	6	-	-	-	SK89に切られる
275	35	N-5°-E	809	16-25	8-17	14	-	10YR4-4 褐色	シルト	P379に切られる
276	51	N-5°-E	720	24-44	6-26	14	-	10YR3-4 暗褐色	シルト	SD126-127-167, P430-431, SM283を切る
279	35-51-67	N-6°-W	700	28-35	8-15	14	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	SD126-128, SK166, P244, SM283-286-316を切る P247-330-377に切られる
280	51-67	N-6°-W	440	28-40	7-17	13	1	10YR4-4 褐色	シルト	SD126-127, SM283を切る
281	51-67	N-6°-W	690	22-28	6-18	12	1	10YR4-3 暗褐色	シルト	SD126-128-132, SM283-286-316を切る
287	21-35	N-11°-W	4430	32-40	14-21	16	-	10YR3-4 暗褐色	シルト	SK198, P907に切られる SM144を切る
288	21-35	N-7°-W	625	30-33	10-15	14	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	SD167, P945-1121-1154, SM314を切る
							2	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
							3	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	
289	21-35-51-67	N-7°-W	0410	25-72	15-45	15	1	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	SD128, P1422-1174, SM284-315を切る SM290, SK191, P966に切られる
							2	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
290	21-35-51-66-67-80	N-11°-W	0910	30-43	13-23	18	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	P180-1125-1159-1170-1171-1227, SM289-291を切る SK189-191, P946-963-966-988に切られる
							2	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	
291	21-35-50-51-66	N-11°-W	0420	25-38	13-20	22	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	SD128-166, P949-958-959-1173-1123-1267を切る SK190-191, SM280に切られる
292	21-35	N-12°-W	615	31-60	12-21	19	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	SD127-166, P1109を切る P941に切られる
293	20-34-50-66-80	N-9°-W	0780	30-40	14-23	13	1	10YR4-4 褐色	シルト	SD127-166, P994-1242, SM315-317-318を切る P124-SK190に切られる
294	20-34-50	N-11°-W	0400	30-40	14-21	16	1	10YR4-1 褐色	シルト	SD127-166-167, P1018を切る P1241に切られる
295	20-34-50-66	N-11°-W	0530	30-86	15-53	18	1	10YR4-4 褐色	シルト	SD127-128-167, P1017-1125-1128, SM338を切る
296	20-34-50	N-8°-W	8330	30-67	8-36	19	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	SD127-128-167, P1025, SM297を切る P1027に切られる
297	20-34-50-66	N-11°-W	0380	30-52	11-28	20	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	SD127-128, SM310を切る P1029-1032, SM286-310に切られる
298	20-34-50-66-80	N-15°-W	0830	21-40	7-14	24	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	SD127-128-166-162-160, SK211, P1100-1101-1111-1136-1382, SM310-323を切る P1027に切られる
299	50-66	N-13°-W	690	35-40	18-32	13	1	10YR4-4 褐色	シルト	P101-1104-1110-1111-1191, SM323を切る SM286に切られる
300	20-34-50	N-6°-W	720	24-55	15-30	12	1	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	P1219-1245, SM301に切られる
301	20-34-50-66-79	N-7°-W	0555	18-20	8-12	11	1	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	SD161-163-168-169, P1042-1064-1069-1114, SM300-302を切る P1027-1048に切られる
302	34-50-65	N-13°-W	0200	30-47	17-25	20	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	SD127-161-169, P1148-1109-1185-1196-1211-1212, 1219-1248-1252-1253, SM303-324を切る SM300-301に切られる
303	20-34-50	N-12°-W	040	30-70	9-41	23	1	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	SM300-302に切られる
304	33-49-65	N-9°-W	0180	30-42	17-25	11	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	SD161-169, SM323-324を切る P1030に切られる
305	51-67	N-8°-W	450	24-30	16-22	12	1	10YR4-6 褐色	シルト	SD128, P1137-1152を切る P954-963-964, SM300に切られる
306	51-67	N-2°-E	490	30-38	18-25	10	1	10YR4-4 褐色	シルト	SD128, P970-1117, SM365-307を切る
307	51-67	N-12°-W	610	35-42	19-30	6	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	P982-1118を切る P968, SM307に切られる
308	66-80	N-9°-W	0360	20-45	8-20	12	1	10YR4-4 褐色	シルト	SD169, P1132-1117-1130, SM282を切る
309	66-80	N-20°-W	0430	35-50	12-20	20	1	10YR4-4 褐色	シルト	SD162-168-169, P117-1129, SM282を切る
							2	10YR3-4 暗褐色	シルト	
310	66	N-4°-E	070	35-45	23-32	12	1	10YR4-4 褐色	シルト	P1113-1044を切る SM297-298に切られる
							2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
							3	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
311	21-35	N-7°-W	620	10-55	25-30	33	1	10YR5-6 明黄褐色	シルト	SD127-166を切る P941, SM282-293に切られる
							2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
							3	10YR6-6 明黄褐色	シルト	
312	81	N-9°-W	070	28-30	10-14	5	-	10YR3-4 暗褐色	シルト	SD160, P980に切られる
313	67-81	N-20°-W	0310	25-40	10-19	17	1	10YR4-4 褐色	シルト	P1232を切る P422に切られる
							2	10YR5-6 黄褐色	シルト	
316	81	N-23°-W	090	40-51	18-35	16	-	10YR4-4 褐色	シルト	SA1, P1289を切る

小浜林道横断B群 観察表

観測日 SM	アジッド	方向	植 被 (cm)				解位	樹 上		備 考
			長さ	上層	下層	深さ		土 色	土 性	
209	5	N-61°-W	153	18-24	6-8	10	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	SM206に切られる
237	24	N-45°-W	100	18-26	12	24	1	10YR3-2 赤褐色	粘土質シルト	SM230を切る
271	5-11-12	N-46°-W	650	20-25	7-12	15	-	10YR2-3 暗褐色	シルト	SM275に切られる
314	21-35	N-46°-W	650	23-26	8-14	12	-	10YR4-4 褐色	シルト	SD215を切る
315	21-35	N-44°-W	730	20-30	4-11	14	-	10YR4-4 褐色	シルト	SK191-198, SM287-288に切られる



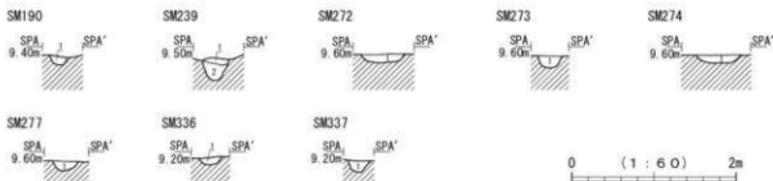
第12図 小溝状遺構群C群断面図

小浜洋産橋脚C群 観覧表(1)

観覧 SM	ドリッド	方向	橋 脚 (m)				欄 干	主 上			備 考
			長さ	上幅	下幅	深さ		種別	土 色	土 性	
192	1-6	N-43°-E	127	22	14	21	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	-
193	6	N-52°-E	123	28	14	10	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SK98Cに切られる
194	6-7	N-46°-E	439	20-28	12-20	17	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SK86, P47Iに切られる
195	6-7	N-44°-E	504	16-34	14-24	13	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P55を切る
196	6	N-36°-E	348	20-28	10-16	11	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P54を切る P71に切られる
197	6	N-43°-E	363	20-30	14-18	11	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P42-52を切る P30-82Iに切られる
198	6	N-43°-E	348	20-28	8-10	10	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P46-83-149-164Iに切られる
199	6	N-37°-E	202	28	16	10	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P41-218Iに切られる
200	7	N-36°-E	63	22-28	14-18	8	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P152を切る P151に切られる
201	7	N-47°-E	197	20-34	6-20	8	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P153を切る P158-159, SK83Cに切られる
202	6-7	N-46°-E	291	26-28	8-12	14	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SK86, P156-160Cに切られる
212	12	N-52°-E	110	20-24	10-16	7	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	-
215	6	N-63°-E	44	20	10	9	-	-	-	-	SK03, P96-137Iに切られる
216	13	N-36°-E	262	16-26	6-14	6	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD77-80Iに切られる
217	13	N-35°-E	258	20-24	14-16	11	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD77-80Cに切られる
218	13	N-36°-E	204	24-28	14	10	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD80Cに切られる
219	13	N-41°-E	210	26-30	8-14	15	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	P176を切る SD77Iに切られる
220	13-25	N-35°-E	540	20-30	8-14	5-14	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD77-80Iに切られる
221	13	N-34°-E	100	24	12	12	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD77Iに切られる
222	13-14	N-38°-E	47	18	8	11	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD77Iに切られる
223	14	N-33°-E	224	20-36	10-20	7	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD80Cに切られる
224	14	N-41°-E	272	24-38	16-22	12	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD80, P335Iに切られる
225	23-24-38	N-41°-E	665	22-30	10-16	16	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD84を切る SD80, P12-190Cに切られる
226	23-24-38	N-27°-E	671	20-28	10-16	8-9	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD84, P189-222を切る SD88, SM293Iに切られる
227	23-24-38	N-49°-E	631	20-28	8-18	8-15	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD84, P189-222を切る SD88, SM293Iに切られる
228	23-24-38	N-36°-E	890	20-30	10-16	8-12	1	IVYK3-1	泥褐色	粘土質シルト	SD84を切る SD80, P211Iに切られる
229	23-24-38	N-46°-E	890	20-30	8-16	12-17	1	IVYK3-1	泥褐色	粘土質シルト	SD84-86を切る SD80Cに切られる
230	12-13-24-38-54	N-42°-E	1612	22-36	12-18	8-15	1	IVYK3-1	粘褐色	粘土質シルト	SD87, P96-182を切る SD80C, P219-400-415-418-421, SM237Iに切られる
231	13-24	N-43°-E	610	22-36	8-12	6-17	1	IVYK3-1	粘褐色	粘土質シルト	SD86を切る SD80Cに切られる
232	13-24-38-20	N-39°-E	1504	18-32	10-20	4-15	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD86を切る SD80, P181に切られる
233	13-24-38	N-38°-E	823	22-28	8-20	4-6	1	25Y3/1	泥褐色	シルト	SD86, P316を切る SD80Cに切られる
234	13-24-38	N-38°-E	947	20-36	8-12	4-14	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD80, P204-210Iに切られる
235	24	N-36°-E	415	28-44	16-32	11	1	25Y2/1	泥褐色	シルト	SD80Cに切られる
236	24-25	N-43°-E	557	22-24	14-16	8	1	IVYK3-2	にぶい黄褐色	シルト	SD80Cに切られる
240	37-38-54	N-39°-E	708	22-34	12-18	8-11	1	IVYK3-2	泥褐色	シルト	SD42を切る SD80, SK100Iに切られる
241	25-37-38-54	N-39°-E	750	26	12-18	8-15	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD42-84を切る SD80, P9Iに切られる
242	25-37-38	N-43°-E	703	20-30	10-14	7-10	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD42-84, P302を切る SD80Cに切られる
243	14	N-36°-E	132	28	10-16	9	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD77, P19Iに切られる
244	14	N-38°-E	138	24-28	16-20	6	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	P10Iを切る SD77Iに切られる
245	24-25	N-44°-E	204	22-24	14	6	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SK93Cに切られる
247	5-12	N-41°-E	154	20-26	14-18	14	1	IVYK3-1	粘褐色	シルト	SD77Iに切られる
248	53-69	N-44°-E	872	20-28	8-18	5	1	IVYK3-4	粘褐色	シルト	SD42-80Iに切られる
249	53	N-43°-E	486	30	20	9	1	IVYK3-4	粘褐色	シルト	SD42Iに切られる
250	53-69	N-41°-E	752	16-20	6-12	4-11	1	IVYK3-4	粘褐色	シルト	SD42, P283Iに切られる
251	53-69	N-43°-E	715	16-32	6-22	4-8	1	IVYK3-4	粘褐色	シルト	SD42, P283Iに切られる
252	12	N-47°-E	186	26-30	18-20	8	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	P7-35Iに切られる
253	12	N-47°-E	168	24-32	14-20	9	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD77Iに切られる
254	12	N-50°-E	206	30-36	18-24	11	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD77, P36Iに切られる
255	12	N-39°-E	162	26	16	10	1	IVYK3-1	泥褐色	シルト	SD77, P39を切る
256	12	N-77°-E	168	28	16	4	-	-	-	-	SD77, SM214Iに切られる
257	37-54	N-36°-E	632	24-32	10-20	8-10	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD80Cに切られる
258	37	N-52°-E	346	20	10	8	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD80Cに切られる
259	37-53	N-43°-E	321	22-24	8-20	7-8	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42-80Iに切られる
260	37-53	N-46°-E	360	24-30	10-14	5-17	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42-80, P281Iに切られる
261	53-54	N-47°-E	573	16-24	6-14	7-9	1	IVYK3-4	粘褐色	粘土質シルト	SD42を切る SD80, SK93Iに切られる
262	37-53	N-45°-E	448	18-30	8-18	6-8	1	IVYK3-4	粘褐色	粘土質シルト	P32Iを切る SD42, SK93Iに切られる
263	53-69	N-41°-E	577	22-30	8-16	5-8	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42Iに切られる
264	53-69-83	N-42°-E	877	20-30	8-16	9-12	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42を切る SD80-81Iに切られる
265	69	N-41°-E	436	20	10	12	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42, P286-290を切る
266	69-83	N-41°-E	415	20	10	10	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42を切る
267	52-53-69-83	N-41°-E	817	20-22	10	9	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	SD42-81, P287Iに切られる
268	83	N-63°-E	152	20-24	12-18	6	1	IVYK3-1	泥褐色	粘土質シルト	P29Iを切る
269	69	N-43°-E	180	18	10	3	1	IVYK3-4	粘褐色	粘土質シルト	-
270	54	N-38°-E	744	24-30	8-14	7	1	IVYK3-3	粘褐色	シルト	-
278	67	N-45°-E	2180	30-35	13-18	16	-	-	-	-	SD128-SM280を切る P249-251-257-273-274Iに切られる
282	66	N-49°-E	2108	35-38	16-18	9	-	-	-	-	SD239, SD149を切る
283	51-67	N-46°-E	6000	22-45	8-19	9	-	-	-	-	SD122を切る P248-484, SM276-278-281に切られる
284	51	N-52°-E	2000	20-28	13-18	23	-	-	-	-	SD220を切る P245-377, SM280-279Iに切られる
285	51	N-47°-E	1220	20-23	10-12	23	-	-	-	-	SD220を切る P89I, SM279Iに切られる
286	66	N-51°-E	2000	23-30	9-16	11	1	IVYK4-4	褐色	シルト	SD248-259を切る P1004-1005, SM297-308Iに切られる
317	34-50	N-50°-E	1170	20-25	11-14	10	1	IVYK4-4	褐色	シルト	P1015-1163-1242, SM293-294Iに切られる
318	33	N-43°-E	170	10-22	7-15	7	-	-	-	-	-
319	33	N-34°-E	1100	20-23	11-14	6	1	IVYK3-4	粘褐色	シルト	SD27Iに切られる
320	33	N-34°-E	2220	20-26	7-14	11	1	IVYK3-4	粘褐色	シルト	SD27Iに切られる

小溝状遺構群C群 観断面2)

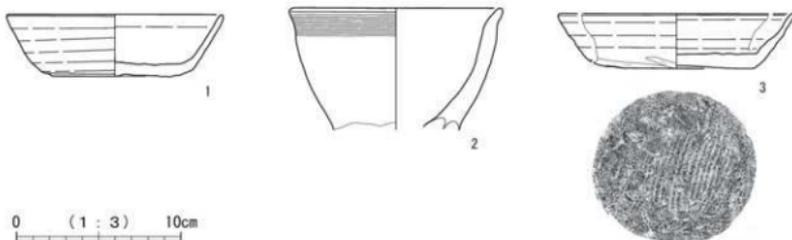
遺構ID	SM	グリッド	方向	縦横 (m)				埋土			備 考	
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土色	土性		
321	33		N-32°-E	650	22-30	8-14	30	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	SM247を切る
322	33		N-34°-E	6150	20-28	6-21	30	1	10YR3-4	にぶい黄褐色	シルト	P1108-1139を切る P1097に切られる
323	33		N-42°-E	6180	25-28	12-17	33	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	SM247-248, P1141を切る
324	33		N-42°-E	6180	20-23	9-13	14	1	10YR3-4	にぶい黄褐色	シルト	SM204, P1092-1096-1098-1106に切られる
325	49		N-40°-E	1000	20-40	14-24	9	1	10YR4-4	褐色	シルト	SD172, P1191を切る P1097に切られる
326	49		N-41°-E	6180	16-30	4-6	16	1	10YR4-6	褐色	シルト	SD169-172を切る
327	34-50		N-45°-E	6200	18-30	9-13	7	1	10YR4-4	褐色	シルト	P1103, SM203-294に切られる
328	66		N-49°-E	6180	20-25	10-14	8	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	SM248-259, P1009を切る
329	53-69-70		N-41°-E	832	22-28	12-18	8-10	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	SD801に切られる
330	53-69		N-49°-E	140	18-20	8-12	6	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	SD801に切られる
331	37-53		N-43°-E	166	16-20	8-12	5	-	-	-	-	SD42を切る
332	38-54		N-41°-E	790	20-26	14-18	6-9	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	-
333	54		N-39°-E	289	20-30	12-24	5	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	-
334	38-54		N-42°-E	128	18-20	10-12	7	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	-
335	54		N-41°-E	141	18-26	10	7	1	10YR3-1	黒褐色	粘土質シルト	-



第13図 小溝状遺構群D群断面図

小溝状遺構群D群 観断面

遺構ID	SM	グリッド	方向	縦横 (m)				埋土			備 考	
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土色	土性		
190	3		N-89°-W	170	20-28	10-16	13	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	SD79, SM191を切る
239	23		N-77°-E	70	36	12	31	1	2.5Y2/1	灰色	シルト	SD85, SM236を切る
								2	10YR4-3	にぶい黄褐色	シルト	
272	22		N-73°-E	1470	45-56	29-38	17	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	SA1を切る P333-334に切られる
273	11		N-72°-E	6200	34-38	15-19	13	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	SM271を切る
274	11		N-79°-E	6200	48-58	31-39	12	1	10YR4-4	褐色	シルト	SM271を切る
277	11		N-84°-E	6290	24-48	9-35	17	1	10YR4-4	褐色	シルト	SA1を切る
336	72		N-83°-E	149	18-30	12-16	10	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	-
337	72		N-87°-E	300	24-40	10-26	35	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	-



第14図 小溝状遺構群出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径・底径・器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	E-43	SM294	埋土	須恵器	杯	13.0×7.8×3.8	研削調整、底面回転削切面→研削	研削調整	内外面大摩面	98
2	C-418	SM295	埋土	土師器	鉢	(12.7)×××(7.5)	磨削、口縁部削切、胴部研削	磨削		98
3	E-44	SM297	埋土	須恵器	杯	(14.3)×9.5×3.3	研削調整、底面削切面→研削削切面→底面削切面研削	研削調整		98



第15図 小溝状遺構群出土遺物(2)

採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考	写真図版				
1	N-003	SM206	埋土	鉄製品	刀子	両端、刃部遺存長36、最大幅1.2、幅厚0.3cm、基部長6.5、最大幅0.9、幅厚0.3cm	98			
採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版	
2	C-419	SM307	埋土	土器類	杯	口径20×→66φ	磨耗、口縁部のみ、底部→底面のみ	口縁部→底面のみ	内面黒色処理	98

## (2) 溝跡

溝跡は前年度調査区である3B区から連続するものを含め71条検出し、うち69条を本項で報告する。検出状況や遺構重複関係から、これらの殆どが堅穴住居跡や掘立柱建物跡等の集落関連遺構より新しく、中には小溝状遺構群よりも新しいものもみられる。平面形状は直線的なもの、弧状を呈するもの、屈折するもの、矩形を呈するもの等が認められ、長さ・幅・深さも様々である。本項では、規模の大きなものや特異性の認められる7条の溝跡に限り個別の記述を行い、その他のものについては断面図及び頂末の遺構観察表のみの記載とした。

### SD42 溝跡(第16・19図)

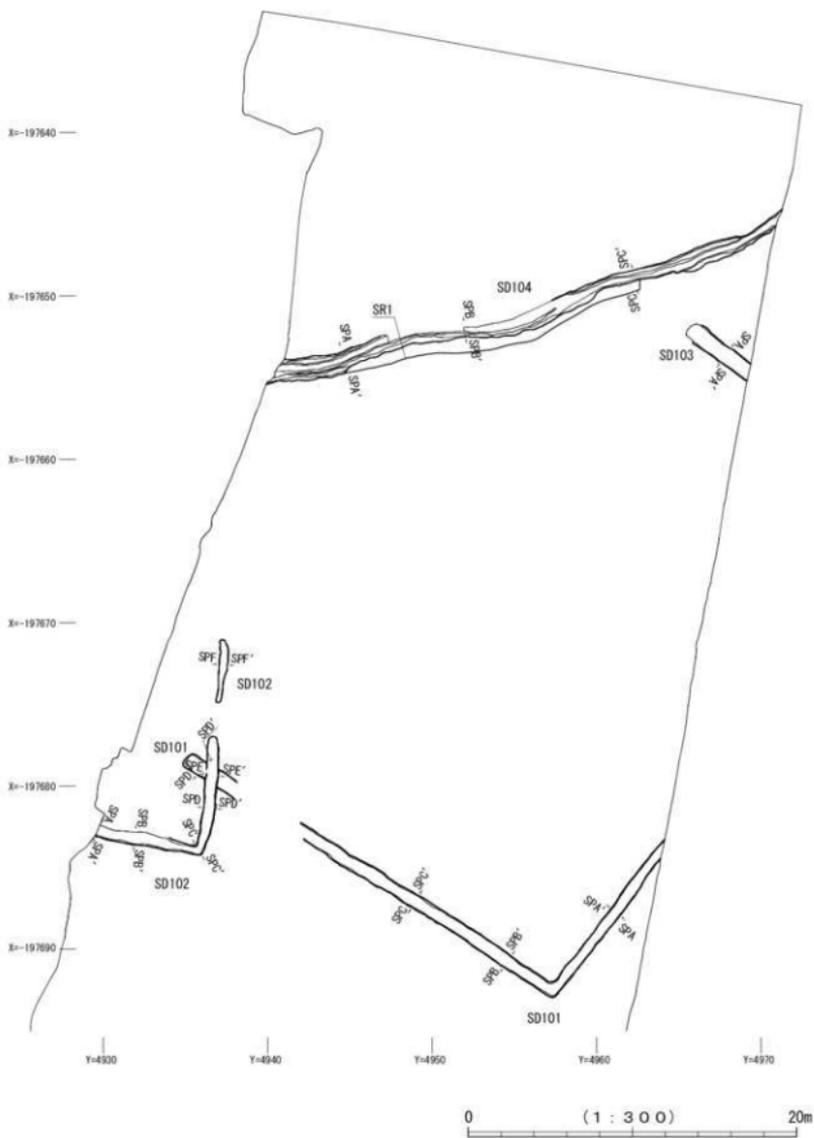
3B区から連続する溝で、4A区西側、5・6・12・23・37・53・69・83グリッドに位置する。SD77、SK88に切られ、SD66・81・84～86を切る。検出長31.8m、上端幅60～88cm、下端幅20～30cm、深さは21～35cmである。側面は緩やかに立ち上がり、断面形は台形状を呈する。底面レベルは北に向かって僅かに高くなっている。N-18°-Wの方向に走り、ほぼ直線的に延びている。堆積土は5層に分層した。1～3層が黒褐色シルト、4・5層が暗褐色のシルト質である。埋土中から土器片・石器類が出土したが、掲載遺物はない。



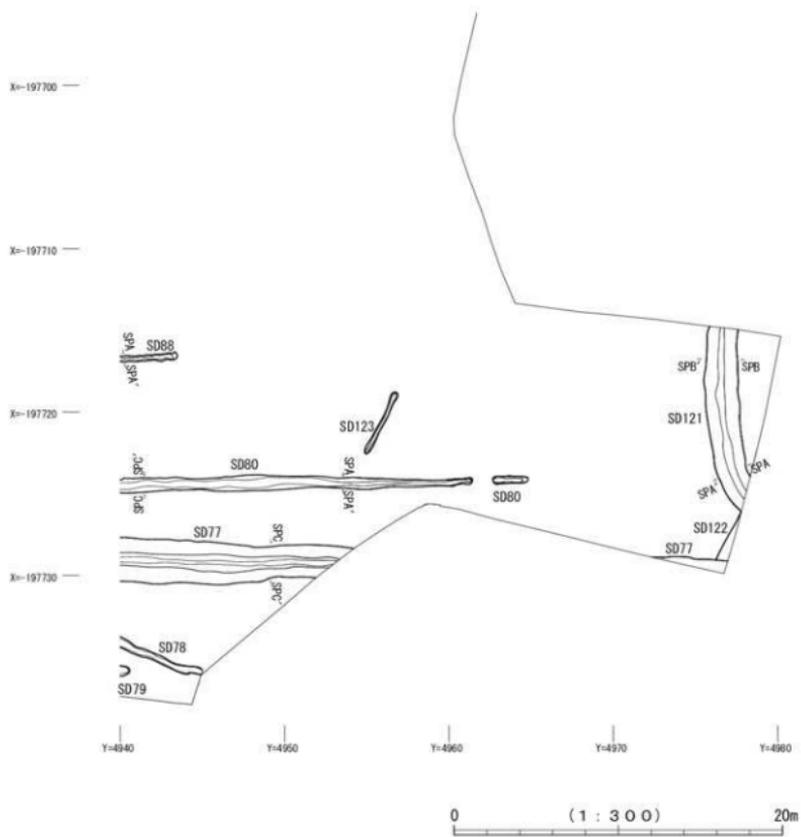
第16図 SD42溝跡断面図

### SD42溝跡 観察表

遺構名	グリッド	産 産	方 向	尺 規 (cm)				層 土			備 考
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土 色	土 性	
SD42	5・6・12・23・37・53・69・83	SD66・81・84～86、SK88を切る SD77、SK88に切られる	N-18°-W	3180	60～88	20～30	21～35	1	2.5V3-1	黒褐色	シルト
								2	2.5V3-1	黒褐色	シルト
								3	2.5V3-1	黒褐色	シルト
								4	10YR3-4	暗褐色	シルト
								5	10YR3-4	暗褐色	シルト



第17図 溝跡 4B区



第18回 清跡 4C東区

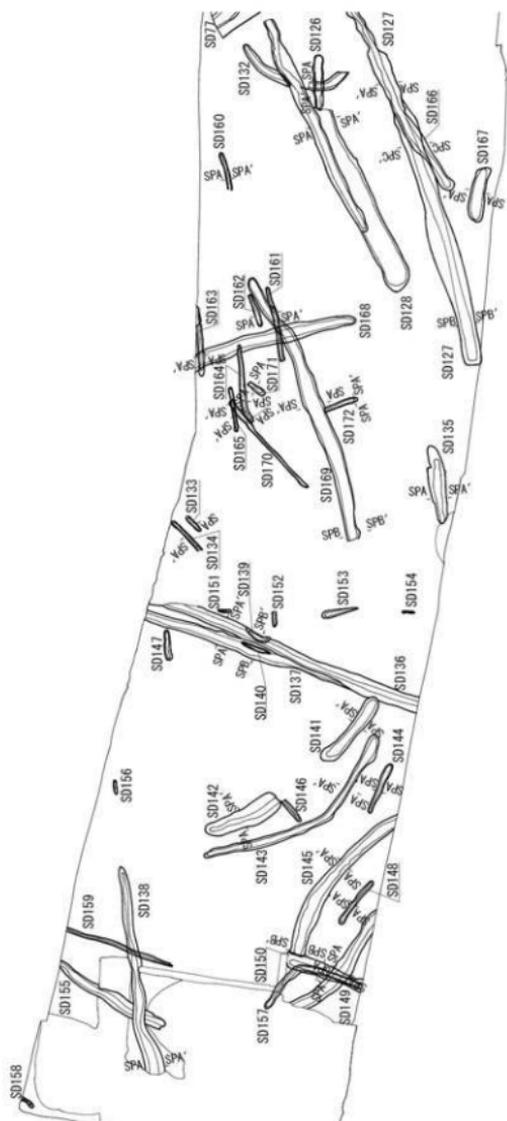


X=197690

X=197700

X=197710

X=197720



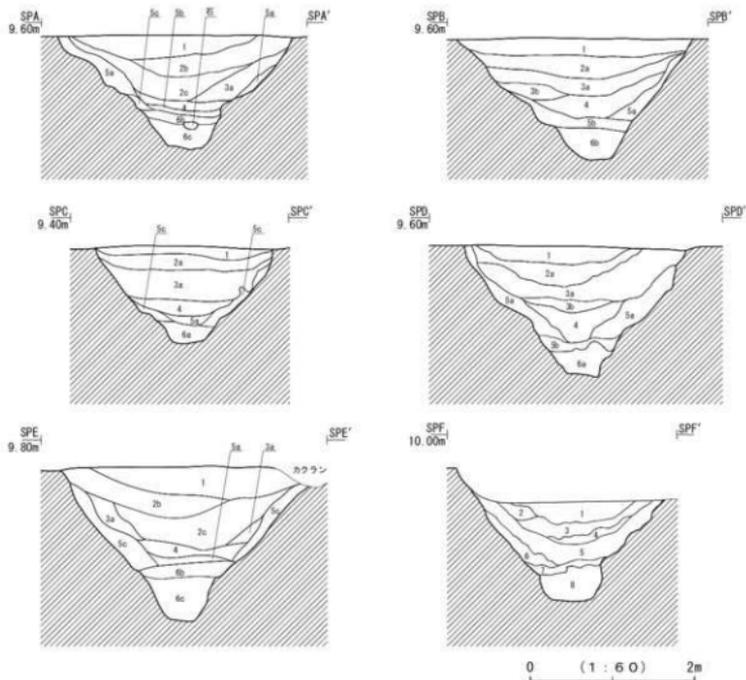
第20区 溝跡 4C西区

SD77 溝跡(第19・21～23図)

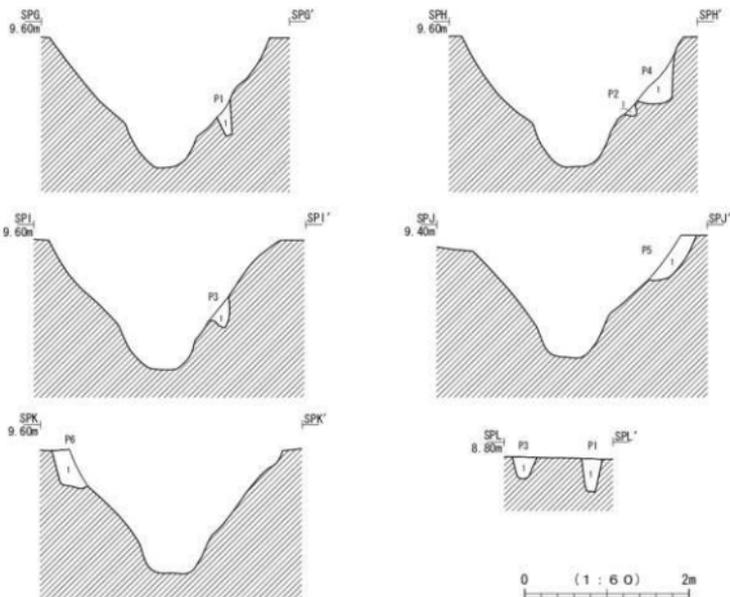
4 A及び4 C区の5・9・12・16・22・23・36・37・52・67・68・81・82グリッドに位置する。直接の重複関係では、SD42・124・125・127・129・130等を切ることが確認されており、検出状況や調査区壁面の土層観察から、小溝状遺構群D群、SE2、SD80に次いで新しい遺構と考えられる。総検出長約89m、上端幅230～320cm、下端幅32～53cm、深さ150～160cmを測る。断面形は、平坦な底面から40cm程の高さまで直立気味に立ち上がり、そこから緩やかに広がっていく。調査区南半をほぼ真東西に走り、12グリッド付近で方向を変えて北西に走行する。東西の直進部分はN-88°-W、斜行部分ではN-33°-Wで、底面は屈曲部分で最も低くなる。堆積土は、4 A区では大別6層(断面図A-A'～E-E')に、4 C区では8層に分層した(断面図F-F')。4 A区での分層に基づいた所見では、1～4層は掘り直し後の堆積土である可能性があり、5・6層とは時期差が考えられる。

溝立ち上がり側面及び肩付付近において、本溝跡に伴う可能性がある6基のピットを検出した。P1～4はT字状に配列されている。またP5～7は、7・14グリッドの溝肩付近に位置し、平面長方形を呈する。

出土物は土師器・須恵器・土製品13点を図示したが、混入と捉えられる遺物が大半で、SD77の所属時期を明確にできなかった。また、下層からは種実類・自然木・炭化物も出土している。



第21図 SD77溝跡断面図(1)



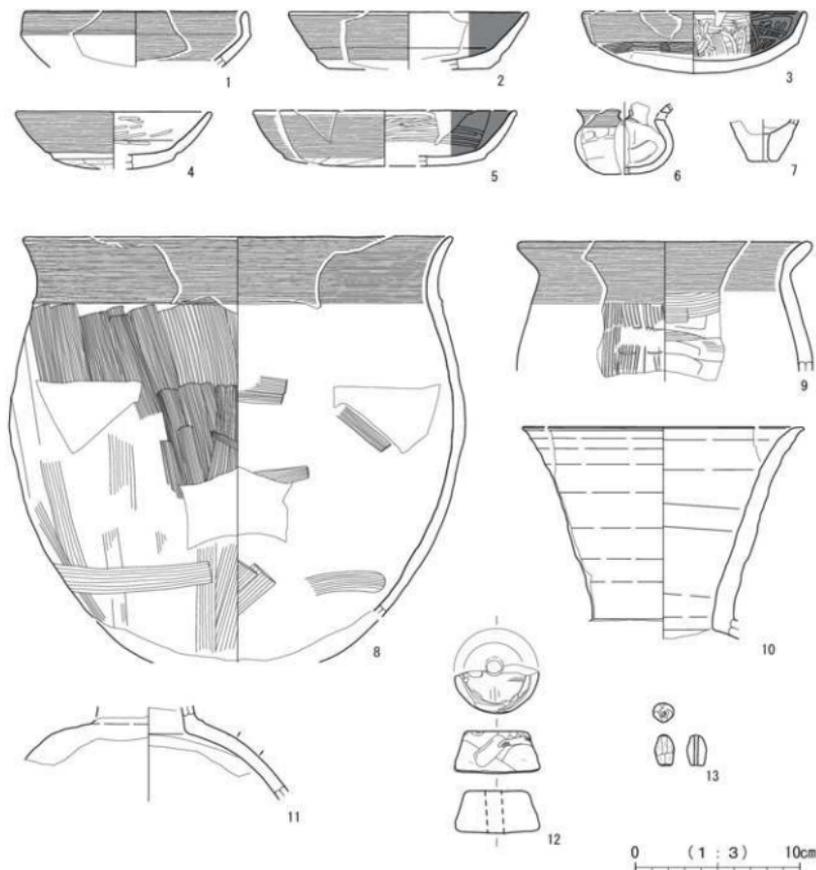
第22図 SD77溝跡断面図(2)

SD77溝跡 観察表

遺構名	グリッド	座 標	方 向	規 格 (cm)				埋 土		備 考	
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土 色		土 性
SD77 (A-D)	5-9-12-16-22-23-36-37-32-67-68-81-82	SU33-136-221, SD42-124-125-127-129-130, SK28地を切る	N-8°-E S-37°-E	8000	230-320	32-53	130-160	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト
								2a	10YR3/2	暗褐色	シルト
								2b	10YR4/2	灰黄褐色	シルト
								2c	10YR2/2	暗褐色	シルト
								3a	10YR4/2	灰黄褐色	シルト
								3b	7.5Y3/1	オリーブ灰色	シルト
								4	7.5YR4/1	褐色	粘土質シルト
								5a	7.5YR4/2	灰褐色	シルト
								5b	5YR4/4	にぶい赤褐色	シルト
								5c	7.5YR4/1	褐色	シルト
								6a	10YR4/1	褐色	粘土質シルト
								6b	N5/0	灰色	粘土質シルト
								6c	10YR4/1	褐色	粘土質シルト
SD77 (F)								1	10YR3/3	暗褐色	シルト
								2	10YR3/4	暗褐色	シルト
								3	10YR4/1	褐色	粘土質シルト
								4	10YR3/4	暗褐色	シルト
								5	10YR3/3	暗褐色	シルト
								6	10YR2/3	暗褐色	粘土質シルト
								7	10YR4/4	褐色	シルト
								8	7.5YR3/2	暗褐色	シルト

SD77-P1~6 観察表

遺構名	平面形	規格 (cm)	深さ (cm)	層位	土 色	土 性	備 考
SD77-P1	楕円形	25×17	45	1	-	暗褐色	砂質シルト 地山アワサ(深30-40cm)多量に含む
SD77-P2	長方形	29×13	14	1	-	暗褐色	砂質シルト 地山アワサ(深30-40cm)多量に含む
SD77-P3	楕円形	29×20	37	1	-	暗褐色	砂質シルト 地山アワサ(深30-40cm)多量に含む
SD77-P4	楕円形	46×34	55	1	-	暗褐色	砂質シルト 地山アワサ(深30-40cm)多量に含む
SD77-P5	長方形	61×68	57	1	-	暗褐色	シルト 地山アワサ多量に含む、しまり強い
SD77-P6	長方形	37×42	46	1	-	暗褐色	シルト 地山アワサ多量に含む、しまり強い



第23図 SD77出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-058	SD77	5層	土師器	杯	(13.0) × × (3.3)	口縁部×××、底部×××	口縁部-体部×××		98
2	C-066	SD77	4層	土師器	杯	(14.0) × × (3.5)	口縁部×××、体部×××	口縁部×××、体部×××	内面黑色処理	98
3	C-057	SD77	4層	土師器	杯	(13.0) × × 3.8	口縁部×××、体部×××××××	口縁部×××、体部×××	口縁部×××	98
4	C-059	SD77	3a層	土師器	杯	(15.9) × × (3.5)	口縁部×××、体部×××、底部×××	口縁部×××、体部×××、底部×××	体部×××の縦に施す	98
5	C-060	SD77	3a層	土師器	杯	(15.9) × (12.0) × 3.4	口縁部×××、体部×××、底部×××	口縁部×××、体部×××、底部×××	口縁部×××	98
6	C-064	SD77	1層	土師器	杯	× × × (4.4)	×××	×××	内面黑色処理	98
7	C-063	SD77	5層	土師器	杯	× × × 1.6 × (2.5)	×××	×××	口縁部×××の施す	98
8	C-061	SD77	4層	土師器	甕	(26.0) × × (26.1)	口縁部×××、胴部×××下半部×××	口縁部-胴部×××		98
9	C-062	SD77	3a層	土師器	甕	(17.4) × × (7.6)	口縁部×××、胴部×××	口縁部×××、胴部×××		98
10	E-29	SD77	4層	須恵器	甕	(17.1) × × (13.0)	口縁部×××	口縁部×××		98
11	E-30	SD77	6層	須恵器	甕	× × × (5.7)	口縁部×××	口縁部×××	口縁部×××の施す	98
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真掲載	
12	P-06	SD77	6層	土製品	鉄線串	2.6 × 径(5.2) × 孔径(1.0)	33.2	表面調整、×××	98	
13	P-05	SD77	3層	土製品	蓋玉	1.9 × 径1.1 × 孔径0.2	2.5	表面調整、黑色処理	98	

SD80 溝跡(第19・24～26図)

4 A区24～26・37・38・53・69・83グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察からⅢb層上面からの掘り込みであることが確認されたため、本調査区では新しい遺構の1つであることがわかる。SD86・87を切る。検出長は49.25mを測り、その他の計測値は上端幅43～130cm、下端幅14～67cm、深さ20～50cmと幅がみられ、東に向かうほど幅が狭くなり、且つ浅くなる傾向がある。東側からN-89°-Wのほぼ真西方向に直線的に進み、24グリッド付近でN-25°-Wに方向を変え、更に53グリッドでN-1°-Eと、ほぼ真北に向かって進む。堆積土は4層に層別した。

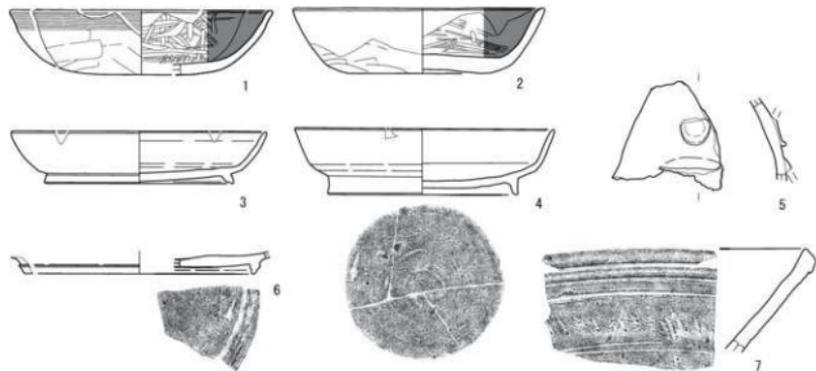
屈曲部付近で土師器片・須恵器片が多く出土した。稜を持たない土師器坏は平底ないしはそれに近く、黒色処理される。また図示した須恵器高台付坏は盤状で、高台は底部外端よりも内側に貼付される。第25図-4は、底部中央に回転糸切り痕を残す。これらは本道跡内において、比較的新しい時代に属す遺物である。



第24図 SD80溝跡断面図

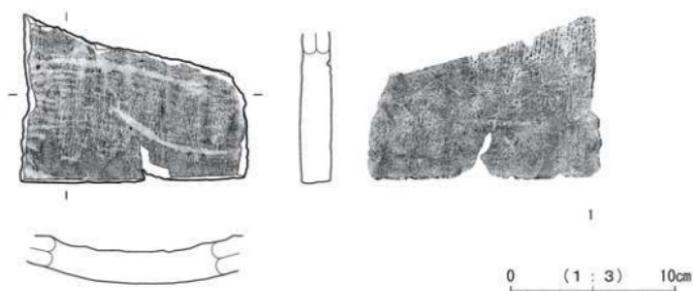
SD80溝跡 観察表

遺構名	グリッド	産 産	方 向	距 隔 (m)			層 土				備 考
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土 色	土 性	
SD80	24～26・37・38・53・69・83	S115-137-138-141-214-215、SD80-86-87、SK36を切る P385-切られる	N-89°-W N-25°-W N-1°-E	49.25	43-130	14-67	20-30	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	
								2	10YR3/1 黒褐色	シルト	
								3	10YR2/3 黒褐色	シルト	
								4	10YR2/3 黒褐色	シルト	



第25図 SD80出土遺物(1)

探検番号	登録番号	出土遺構	層位	種 別	器 種	口径×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真掲載
1	C-066	SD80	1層	土師器	坏	(15.7) × × (3.8)	口縁部2???, 底部???	口縁部-底部21F 4	西面黒色処理	99
2	C-065	SD80	1層	土師器	坏	(15.2) × 8.0 × 3.9	帯状, 底部?? → 21F 4, 底部21F 9 → 21F 4	口縁部-底部21F 4	西面黒色処理	99
3	E-32	SD80	埋土	須恵器	高台付坏	15.5 × 11.5 × 3.2	21F調整, 底部割転21F 1 → 高台貼付	21F調整	西面大摩痕	99
4	E-33	SD80	1層	須恵器	高台付坏	15.8 × 11.5 × 4.1	21F調整, 底部割転21F 9 → 高台貼付	21F調整		99
5	E-35	SD80	埋土	須恵器	瓶	× × × (5.1)	21F調整	21F調整	把手部消磨	99
6	E-31	SD80	埋土	須恵器	高台付盤	× × (14.8) × (1.3)	21F調整, 底部割転21F 9 → 高台貼付	21F調整		99
7	E-34	SD80	1層	須恵器	蓋	× × × 高6	21F調整, 底部外縁ギザ状文	21F調整		99



第26図 SD80出土遺物(2)

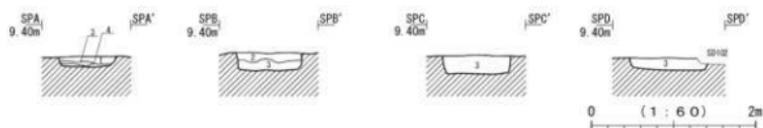
図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	四面	凸面	備考	写真図版
1	G-1	SD80	1層	瓦	平瓦	(10.6×13.8)×1.9	布目肌、横管直、広端面～凹面99°	両91°～99°	粘土き作り	99

#### SD101 溝跡(第17・27図)

4 B区南側、106・111～113・116・117・119・122グリッドに位置する。SB16、SD102に切られ、SI185を切る。調査区東壁の観察から、II層上面から掘り込まれているのを確認した。

検出長は、北西-南東26.8m、南西-北東11.9mで、上端幅62～100cm、下端幅48～86cm、深さ20cmを測る。L字状の屈曲部分を持ち、屈曲部より西側でN-58°-W、北側でN-38°-Eとなり、ほぼ直角に屈曲する。底面はほぼ平坦で、底面レベルに差は認められない。断面形はコ字形或いは台形状を呈し、底面から直立気味に立ち上がる。

堆積土は4層に分層したが、全て自然堆積と考えられる。溝西側では第3層のみの単層となる。その形状から区画目的の強い性格が考えられ、本遺構の北東約30mに位置するSD103は、その配置・方向から本遺構と同一である可能性が考えられたが、調査区外に位置するため確認はできなかった。同一遺構であるならば、37×18mの範囲を区画していることになる。遺物は土師器片が少量出土しているのみで、掲載遺物はない。



第27図 SD101溝跡断面図

#### SD101溝跡 観察表

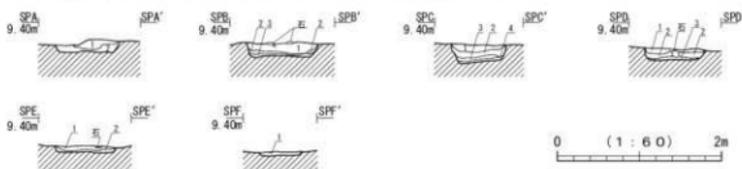
遺構名	グリッド	重 観	方 向	規 模 (cm)			層 位		備 考		
				長さ	上幅	下幅	深さ	土色		土性	
SD101	106・111～113・116・117・119・122	SI185、P26・27を切る SB16、SD102、P33に切られる	N-58°-W N-38°-E	1100	62～100	48～86	20	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山7コア(5cm程度)含む 地山粒多量含む 地山7コア(10～30cm程度)・地山粒含む 地山7コア(5cm程度)含む
								2	10YR3/3 暗褐色	シルト	
								3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
								4	10YR5/6 黄褐色	シルト	

### SD102 溝跡(第17・28図)

4 B区 南西、115・116・122・128グリッドに位置する。SB16に切られ、SH82・185、SD101を切る。北側の残存状況は悪い。

L字状の屈曲部分を持ち、それより西側ではN-78°-Wの方向に直線的に走り、北側ではN-4°-Eの方向を指しながらやや湾曲する。検出長は東西6.6m、南北では一部途切れるが13.1mを測る。残存状態の良い南側での計測値は上端幅51～90cm、下端幅34～74cm、深さ24cmである。底面はほぼ平坦で、底面レベルに目立った高低差は認められない。断面形はコ字形或いは台形状を呈し、底面から直立気味に立ち上がる。

堆積土は4層に分層した。1・2層には10～15cm前後の礫が含まれており、これは近在するSE1井戸跡廃棄時に投げ込まれた可能性がある。このSE1を囲むような配置であることから、両者は互いに関連する遺構である可能性も考えられる。遺物は1層から土師器片・礫石器が出土したが、掲載遺物はない。



第28図 SD102溝跡断面図

SD102溝跡 観察表

遺構名	グリッド	重 観	方 向	規 格 (cm)				層 土			備 考
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土 色	土 性	
SD102	115-116-122-128	SH82・185、SD101、SK119を切る。SB16に切られる	N-78°-W N-4°-E	1970	51-90	34-74	24	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	堆山ア(0+)(50cm程度)少量含む
								2	10YR3/4 暗褐色	シルト	堆山ア(0+)(50cm程度)少量含む
								3	10YR4/4 褐色	シルト	堆山ア(0+)(50cm程度)炭化物粒少量含む
								4	10YR4/6 褐色	シルト	堆山ア(0+)(50cm程度)炭化物粒少量含む

### SD103 溝跡(第17・29図)

4 B区 北東、149・155グリッドに位置する。調査区東壁の観察から、SD101同様Ⅱ層上面から掘り込まれているのを確認した。N-53°-Wに走り、東側は調査区外に延びる。調査区内では上端幅102～124cm、下端幅88～104cm、深さ4～20cmを測るが、掘り込み面以下が残る調査区東壁での測定値は、上端幅128cm、下端幅92cm、深さ36cmである。底面はほぼ平坦で、底面レベルは西側が10cm程低くなっている。断面形はコ字形或いは台形状を呈し、底面から直立気味に立ち上がる。

2層に分層した埋土は、いずれも自然堆積と考えられる。遺物は土師器片・須恵器片が出土したが、掲載遺物はない。



第29図 SD103溝跡断面図

SD103溝跡 観察表

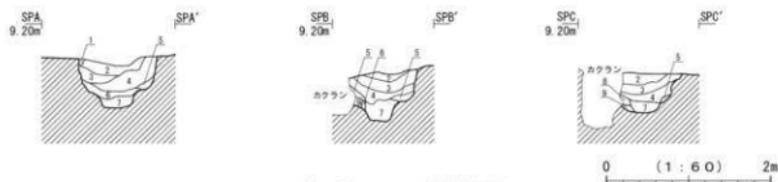
遺構名	グリッド	重 観	方 向	規 格 (cm)				層 土			備 考
				長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土 色	土 性	
SD103	149-155	-	N-53°-W	660	102-124	88-104	4-20	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	堆山ア(0+)(50cm程度)含む
								2	10YR5/4 灰黄褐色	シルト	堆山ア(0+)(50cm程度)少量含む

### SD104 溝跡 (第17・30図)

4B区北側、153~155・159・160グリッドに位置し、遺構上面をSR1河川跡の堆積土2層に覆われた状態で検出した。西側は擾乱により失われる。

SR1河川跡南側立ち上がりにはほぼ平行する形で、僅かに蛇行しながらN-73°-Eに走る。調査区内での長さは32.5mで、上端幅56~144cm、底面幅30~52cm、深き50~70cm程を測る。底面レベルには10~15cm程の起伏が認められるものの、全体的な底面傾斜は認められない。溝立ち上がりの途中では幅20cm前後のテラス状を呈する。

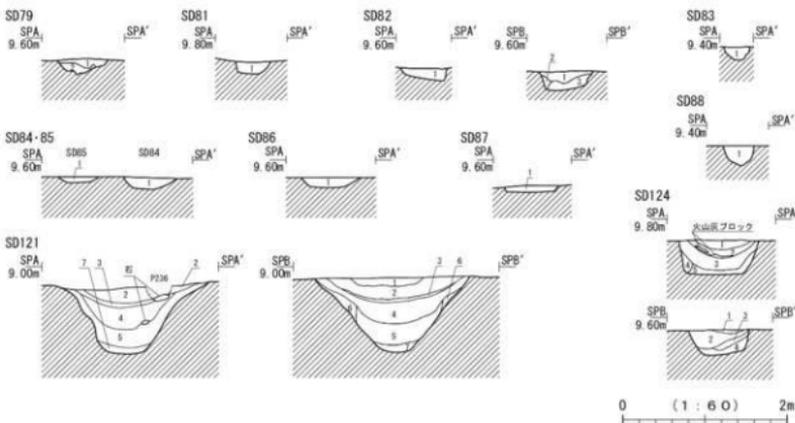
堆積土は9層に分層した。1~3層には二次堆積と考えられる灰白色火山灰を含み、7層では透水したような堆積状況を示している。遺物は土師器片・須恵器片・鉄滓・自然木が出土したが、掲載遺物はない。



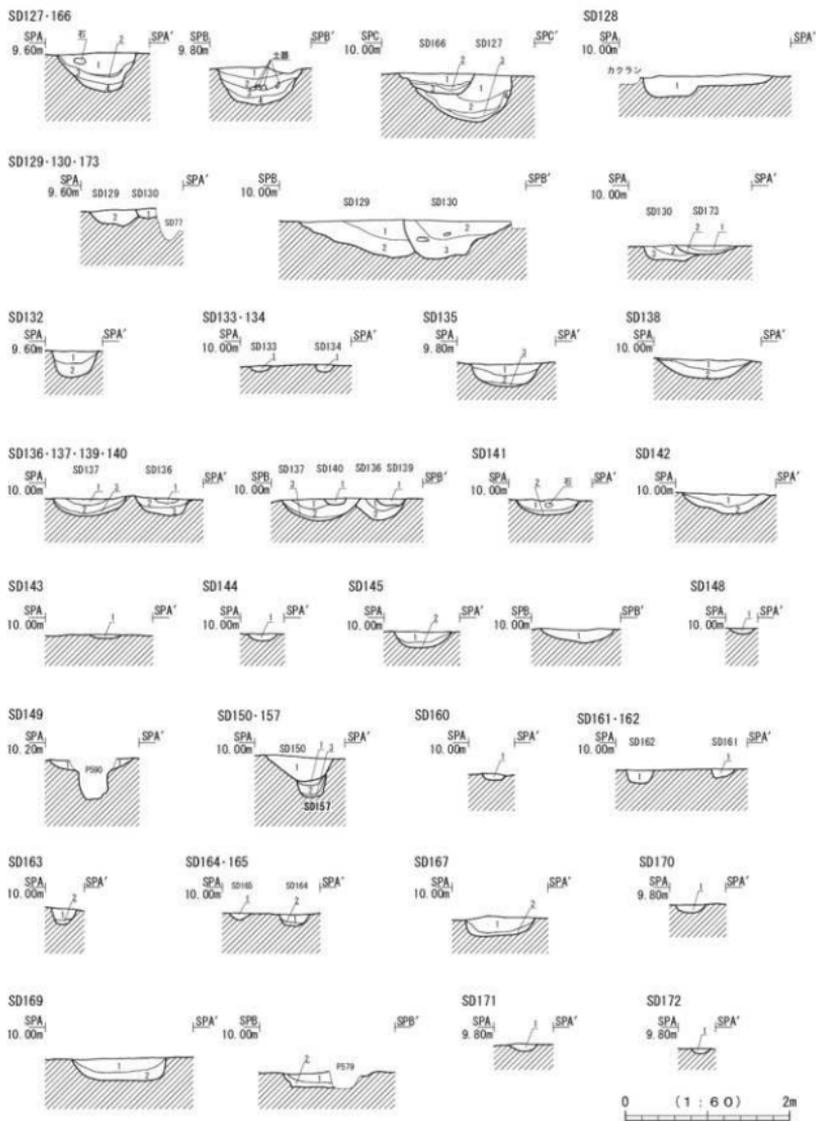
第30図 SD104溝跡断面図

SD104溝跡 観測表

遺構名	グリッド	重 複	方 向	規 模 (cm)				層 上		備 考		
				長さ	上幅	下幅	深さ	層 上	土 性			
SD104	153~155・159・160		N-73°-E	3250	56~144	30~52	50~70	1	2.5YR3-2	暗赤褐色	シルト	灰白色火山灰を含む
								2	2.5YR4-2	灰赤色	シルト	灰白色火山灰・焼山灰の少量を含む
								3	2.5YR3-2	暗赤褐色	シルト	灰白色火山灰多量を含む
								4	2.5YR3-2	暗赤褐色	粘(質)シルト	
								5	2.5YR3-1	暗赤灰色	粘(質)シルト	
								6	10YR6-1	暗灰色	砂質シルト	
								7	10YR17-1	黒色	粘土	灰白色粘土を含む
								8	10YR6-1	暗灰色	砂質シルト	
								9	2.5YR6-3	濃い褐色	粘(質)シルト	焼山灰のを含む



第31図 その他の溝跡断面図(1)



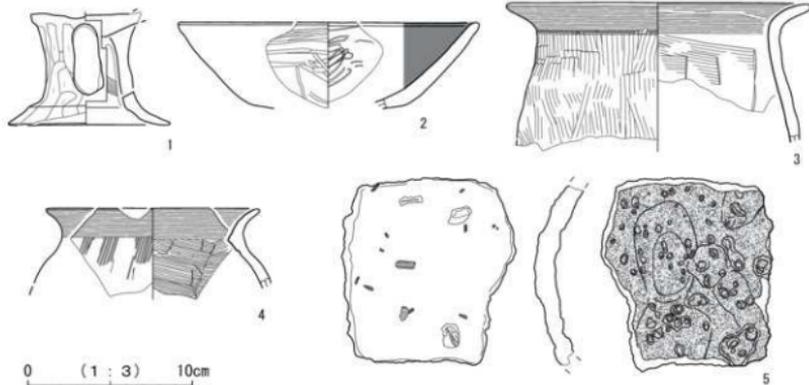
第32図 その他の溝跡断面図(2)

漢語 観音表(1)

漢語名	グリッド	重	観	方向	観 測 (m)			方位	土 上			備考	
					長さ	上観	下観		深さ	土色	土性		
SD78	3-7-8	SK83を切る	SK82に切られる	N-59°-W	1300	44-68	20-50	10-17	-	10YR4/2	灰青褐色	シルト	
SD79	2-3	-	-	N-75°-E	202	60-68	28-32	17	1	25Y3/2	黒褐色	粘土質シルト	
SD81	52-53-69	SD42に切られる	-	N-63°-E	637	44-66	20-34	12-22	1	10YR4/3	12.5Y-黄褐色	粘土質シルト	
SD82	39-55-71	S114, SD88を切る	-	N-4°-W	1025	32-76	34-60	3-21	1	10YR3/1	黒褐色	シルト	
									2	25Y4/3	オリーブ褐色	シルト	
									3	10YR3/3	暗褐色	シルト	
SD83	14-25	SD80, P248に切られる	-	N-49°-E	130	38	13	16	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	
SD84	23-24	SD42に切られる	-	N-37°-W	430	66-68	20-30	39	1	10YR3/2	暗褐色	シルト	
SD85	23	SD42に切られる	-	N-34°-W	280	72	30	23	1	10YR3/1	暗褐色	粘土質シルト	
SD86	23-24	SD42に切られる	-	N-49°-W	422	54-74	20-48	11	1	10YR3/1	暗褐色	粘土質シルト	
SD87	25-29-54	S117, S115を切る	SD80に切られる	N-34°-W	678	40-80	52-66	6-10	1	10YR3/3	暗褐色	粘土質シルト	
SD88	39-49	SD82に切られる	-	N-83°-E	558	16-30	10-18	14-18	1	10YR4/3	12.5Y-黄褐色	シルト	
SD121	29-43	SK100を切る	P236に切られる	N-10°-W	1120	180-210	17-35	90	1	25Y4/2	暗灰黄色	シルト	
									2	10YR4/1	暗灰色	シルト	
									3	10YR5/6	黄褐色	シルト	
									4	25Y3/1	暗褐色	シルト	
									5	5Y4/1	灰色	粘土質シルト	
									6	10YR5/6	黄褐色	粘土質シルト	
									7	5Y4/1	灰色	粘土質シルト	
SD122	18	SK100を切る	-	N-28°-E	630	30	-	15	-	暗褐色	シルト		
SD123	27-41	SD215を切る	-	N-27°-E	410	30	17	14	-	暗褐色	シルト		
SD124	22-36-32-62	S180, S41, SD129-131を切る	SD77に切られる	N-18°-E	1450	80-105	39-67	32	1	10YR4/4	褐色	シルト	火山灰?Pの中含む
									2	10YR4/3	12.5Y-黄褐色	シルト	
									3	10YR3/3	暗褐色	シルト	
SD125	22	SA1を切る	SD77, P237に切られる	N-52°-E	630	80	18-30	37	-	-	暗褐色	シルト	
									1	10YR4/4	褐色	シルト	
									2	10YR3/3	暗褐色	シルト	
									3	10YR3/3	暗褐色	シルト	
									4	10YR5/6	黄褐色	シルト	
SD126	51	SD132, SM280を切る	SM278-279-281に切られる	N-89°-E	630	60	20-40	16	-	-	暗褐色	シルト	
									1	10YR4/4	褐色	シルト	
									2	10YR3/3	暗褐色	シルト	
									3	10YR3/3	暗褐色	シルト	
SD127	33-35-51-52	SD122-223を切る	SD06, SK15, P24-238-479-484-10-23-1265, SM276-279-280-280-280-280-300-300-311に切られる	N-60°-E	1500	40-110	14-51	53	1	10YR4/4	褐色	シルト	
									2	10YR3/3	暗褐色	シルト	
									3	10YR3/3	暗褐色	シルト	
									4	10YR5/6	黄褐色	シルト	
SD128	14-50-51	S12, S10, P100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124	-	N-66°-E	1230	30-150	127-130	16	1	10YR4/3	12.5Y-黄褐色	シルト	
SD129	36-52-66	SD130を切る	SD77-124に切られる	N-7°-W	1630	40-66	30-36	28	1	10YR4/4	褐色	シルト	
SD130	52-68	SD128と切り合う	SD77に切られる	N-14°-E	670	50-66	34-47	20	1	10YR4/4	褐色	シルト	
									2	10YR4/3	12.5Y-黄褐色	シルト	
									3	10YR3/3	暗褐色	シルト	
SD132	51-67	S84, SD128, SM268, P107-23-30, SM279-301-302-303-6.8	-	N-42°-E	630	40-80	19-30	28	1	20YR4/6	褐色	シルト	
SD133	78	PS47に切られる	-	N-46°-E	120	20-25	12-16	5	1	10YR4/4	褐色	シルト	
SD134	78	SD219を切る	PS231に切られる	N-46°-E	630	20-27	10-13	4	1	10YR4/4	褐色	シルト	
SD135	32-33	SD222-226-254-255を切る	PS32-537に切られる	N-17°-E	630	70-105	23-50	53	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	
SD136	31-47-64-78	SD222-229-238, SD47, P108-400を切る	SD139-141, P68-640-662に切られる	N-23°-E	1600	40-111	20-28	42	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	
									2	10YR3/4	暗褐色	シルト	
									3	10YR5/6	黄褐色	シルト	
SD137	63-64-78	SD222-229-238, P160を切る	-	N-18°-E	1070	10-88	24-43	20	1	10YR4/4	褐色	シルト	
SD138	75-89-90	SD222-229-238, SD136を切る	SK205に切られる	N-81°-E	1280	50-74	9-45	12	1	10YR4/4	褐色	シルト	
									2	10YR3/4	暗褐色	シルト	
									3	10YR5/4	12.5Y-黄褐色	シルト	
SD139	64	SD137を切る	-	N-27°-E	630	24-30	9-24	14	1	10YR4/4	褐色	シルト	
SD140	64	SD137を切る	-	N-18°-E	1100	20-24	7-24	9	1	10YR4/6	褐色	シルト	
SD141	47	SD136, P705-822-823を切る	-	N-50°-E	600	50-90	30-39	11	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	
SD142	63-76-77	P198-612-836-840-843-847-852-916-917-931-932を切る	-	N-22°-W	600	100-135	23-39	23	1	10YR5/3	12.5Y-黄褐色	シルト	
SD143	47-62-63-76	SM2, SM3, P69-71-72-73-80-80-82-83-84-85-86-87-118-119-120-121-122-123-124	-	N-16°-W	1280	30-82	19-50	7	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	
									2	10YR4/4	褐色	シルト	
SD144	47	P628-817を切る	P1077に切られる	N-64°-W	320	30-44	11-28	2	1	10YR4/1	暗灰色	シルト	
SD145	31-46-67-62	SD130に切られる	-	N-46°-W	1000	10-107	28-66	27	1	10YR4/1	暗灰色	シルト	
									2	10YR6/3	12.5Y-黄褐色	シルト	
SD146	63	P165-447に切られる	-	N-53°-E	120	30	7	4	-	-	褐色	シルト	
SD147	78	SD224を切る	PS52-456に切られる	N-81°-E	190	40	-	13	-	-	褐色	シルト	
SD148	46	-	-	N-51°-W	330	30-39	9-19	20	1	10YR4/4	褐色	シルト	
SD149	45-46-61	P52-38-75-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124	-	N-51°-W	630	90-110	28-50	25	1	10YR5/1	暗灰色	シルト	
SD150	46-62	SD149-145-157, P788を切る	-	N-23°-E	680	90-196	28-35	56	1	10YR4/1	暗灰色	シルト	
SD151	64-78	-	-	N-5°-E	80	17-20	4-8	3	-	-	暗褐色	シルト	

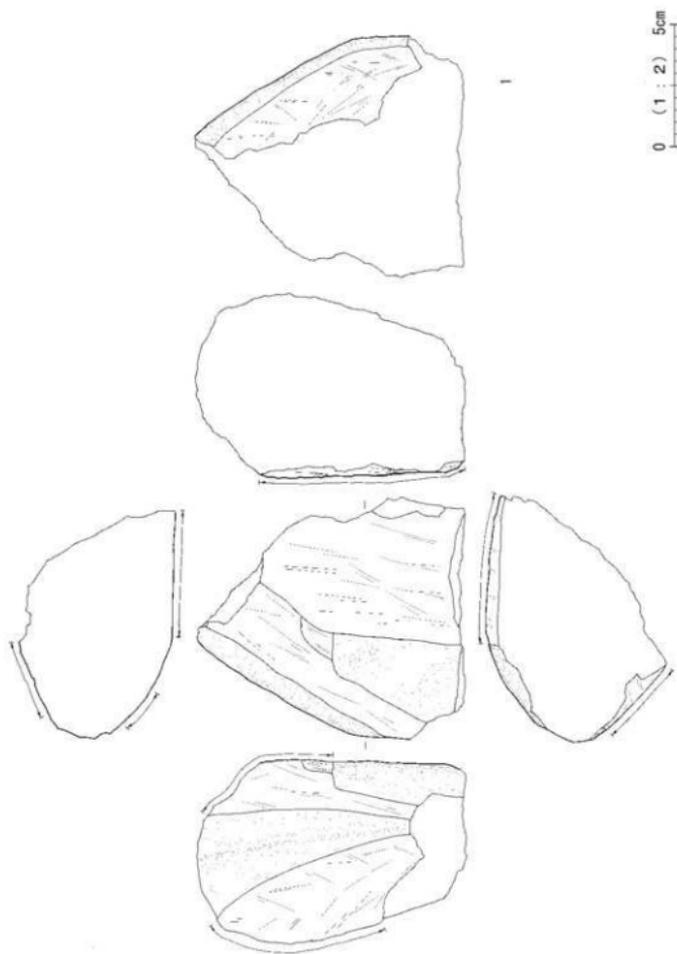
遺跡 観察表②

遺構名	グリッド	産	観	方向	幅 (m)			層位	土		備考	
					長さ	上端	下端		色	土性		
SD132	64		-	N-89°-E	600	25-30	12-25	8	-	暗褐色	シルト	
SD133	48		-	N-14°-W	6200	30-45	17-23	7	-	暗褐色	シルト	
SD134	32		-	N-1°-E	600	9-13	4-6	4	-	褐色	シルト	
SD135	89-90	SD21-27を切る	SD133に切られる	N-31°-E	6200	60-85	18-40	38	-	黒褐色	シルト	
SD136	91	T209に切られる		N-84°-E	600	13-20	9-13	1	-	褐色	シルト	
SD137	66-62	SD150, T225-810に切られる SD149と切り合う		N-50°-W N-15°-E	1800	34-90	12-18	23	1	10YR4/4	褐色	シルト
									2	10YR6/6	明黄褐色	シルト
									3	10YR7/6	明黄褐色	シルト
SD138	100	P875を切る		N-36°-E	600	20-23	6-14	9	-	褐色	シルト	
SD139	76-90	SD138, P766-903に切られる		N-19°-E	6900	17-30	3-12	13	-	灰褐色	シルト	
SD160	66-80-81	P86, SD133&4, T215, SD206に切れる		N-77°-E	6200	25-30	10-13	16	1	10YR4/4	褐色	シルト
SD161	65	SD168 100段壁と SD162に切られる		N-79°-E	6210	22-30	13-15	8	1	10YR4/4	褐色	シルト
SD162	66	SD169を切る	SM298-306に切られる	N-71°-E	6200	22-30	9-22	20	1	10YR4/4	褐色	シルト
SD163	79-80	SD168を切る SM298-301-306に切られる		N-87°-E	6280	30-37	12-20	23	1	10YR4/4	褐色	シルト
									2	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト
SD164	65	SD249, SD168-170を切る		N-85°-E	6700	30-38	9-19	14	1	10YR4/4	褐色	シルト
SD165	65	SD26, SD170を切る	PE255に切られる	N-82°-E	6270	20-23	9-19	5	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト
									1	10YR4/2	灰黄褐色	シルト
SD166	34-35	SE253, SD127を切る SK192, SM287-298-311に切られる		N-56°-E	6300	50-98	23-44	21	2	10YR4/2	灰黄褐色	シルト
									3	10YR3/4	暗褐色	シルト
									1	10YR3/4	暗褐色	シルト
SD167	20-21-35	P940-941-1040-1167, SM293-296に切られる		N-80°-W	6300	74-80	30-55	18	2	10YR4/4	褐色	シルト
									1	10YR4/4	褐色	シルト
SD168	50-65-66-79-80	SD8, SD104&4, SD8, SD10-10-18, T212-167-169-186-118, SD10-10-18に切れる		N-14°-W	10300	80	22-45	18	-	-	暗褐色	シルト
									1	10YR3/3	暗褐色	シルト
SD169	68-69-65-66	SD7, SD72, T212-169-118-120-120-124, SD10-25, SD25-28, SD10-18, T279-968-100-167, SM28-30-30-30-30-30に切られる		N-59°-E N-72°-E N-81°-E	1970	40-80	48-62	26	2	10YR5/4	にぶい黄褐色	シルト
									1	10YR5/2	灰黄褐色	シルト
SD170	65	SD1249, SD164-165, SK196, P566-183-1235に切られる		N-50°-E	6710	20-36	8-18	12	1	10YR5/2	灰黄褐色	シルト
SD171	65	SD249に切られる		N-43°-E	1300	30-38	13-20	9	1	10YR4/4	褐色	シルト
SD172	49	SM225を切る	SD169に切られる	N-21°-W	6200	23-30	11-17	16	1	10YR4/4	褐色	シルト
SD173	82	P806-811-815-853-854に切られる		N-20°-W	6300	60-75	30-50	10	2	10YR4/4	褐色	シルト
									1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト



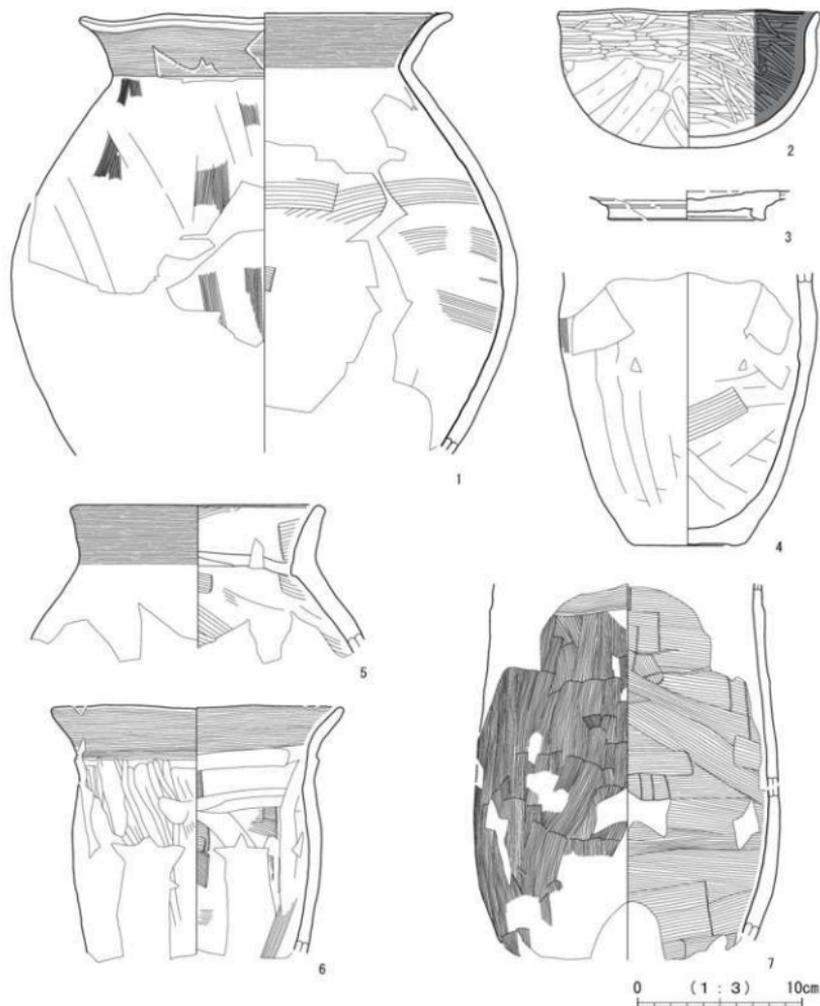
第33図 その他の溝跡出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-067	SD84	埋土	土師器	高杯	→ 口径×6.80	胸部のびり→びり、通かしびり	杯部のびり	胴に土師器が混	99
2	C-068	SD87	埋土	土師器	杯	(口径×××6.50)	口縁部一休部のびり	口縁部一休部のびり	内面黒色処理	99
3	C-070	SD88	埋土	土師器	壺	18.2×××9.11	口縁部のびり、胴部のびり	口縁部のびり、胴部のびり		99
4	C-069	SD88	埋土	土師器	壺	(口径×××6.50)	口縁部のびり、胴部のびり	口縁部のびり、胴部のびり		99
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	備考			写真掲載	
5	N-005	SD121	埋土	実体	内甲	長さ1.3cm程の炭を多数に含み、内面黒く滑潤。遺存長11.8、遺存幅10.6、最大厚1.3cm			99	



第34図 その他の溝跡出土遺物(2)

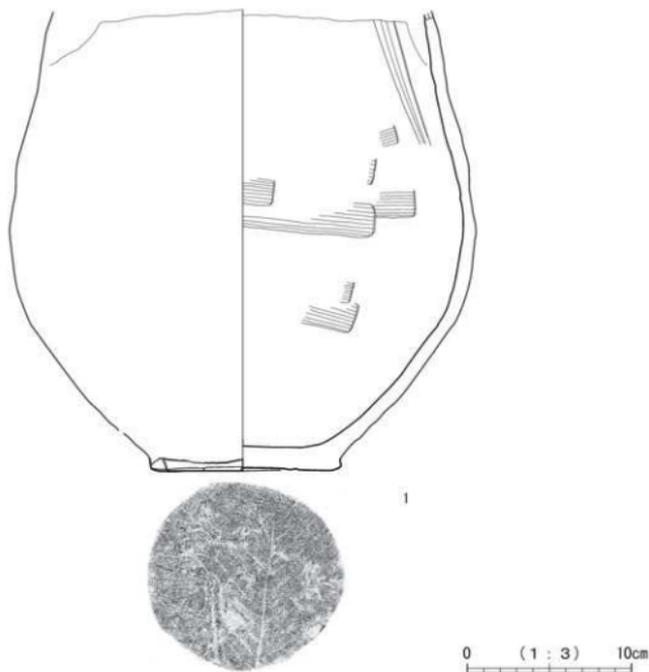
図版 番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
1	K6-013	SD67	埋土	石製品	砥石	10.8×8.8×7.6	727.5	凝灰岩	面取り。板状。欠損品	99



第35図 その他の溝跡出土遺物(3)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真掲載
1	C-071	SD127	埋土	土師器	甕	22.1×××27.0	調査済み、口縁部欠け、胴部欠け	口縁部欠け、胴部欠け		100
2	C-072	SD128	埋土	土師器	杯	45.7×××8.3	口縁部欠け、体部欠け	口縁部欠け、体部欠け	内面黒色処理	100
3	E-90	SD136	埋土	須恵器	高台付杯	××××(1.0)	990調査、黏付高台	990調査		100
4	C-074	SD143	埋土	土師器	甕	××6.8×(16.7)	胴部欠け、底部欠け	胴部欠け		100
5	C-073	SD143	埋土	土師器	甕	直径××××(10.0)	調査済み、口縁部欠け、胴部欠け	口縁部欠け、胴部欠け		100
6	C-076	SD143	埋土	土師器	甕	17.4×××(15.2)	口縁部欠け、胴部欠け	口縁部欠け、胴部欠け		100
7	C-078	SD145	埋土	土師器	甕	××××(22.0)	胴部欠け、胴部欠け	胴部欠け		100





第37図 その他の溝跡出土遺物(5)

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-084	SD169	埋土	土師器	甕	→×11.6×(28.2)	磨耗・減速面著、胴部??	底部本葉痕	胴部???	101

#### その他の溝跡(第18～20・31～37図)

その他とした溝跡は、総体的に4C西区で多く検出された。検出状況や遺構重複関係から考えると、これらの遺構は全てが集落より新しいものではなく、7～8世紀代に構築された溝跡も含まれる。

各遺構からの出土遺物は土師器が主で、それも甕類が多い。須恵器は、SD136出土の高台付坏底部破片と、SD149出土の蓋ツマミ部破片のみしか図示できなかった。また、鉄製品2点(第36図-2・3)は共にSD145から出土している。

出土量の多い甕類は長胴系が多く、球胴状を呈する甕はSD127出土の第35図-1のみである。また、両者の中間的な甕としてSD169出土の第37図-1がある。このSD169から出土した他の甕は2点(第36図-8・10)共に小振りで、胴部外面をハケメ調整される。第36図-10は口縁部に屈曲がなく、第36図-8は口縁部で短く外反する。同じく小振りと思われるSD88出土の第33図-4は、第33図-3同様に口縁部が大きく外反する。SD169出土の坏は、いずれも扁平な丸底ないし平底で、内面をミガキ調整され黒色処理は施されない。黒色処理されるのは、SD87出土の第33図-2、及びSD128出土の第35図-2の2点のみである。特異な遺物として、SD121出土の壺体破片第33図-5がある。胎土中に炭化物を含み、内面はガラス化している。

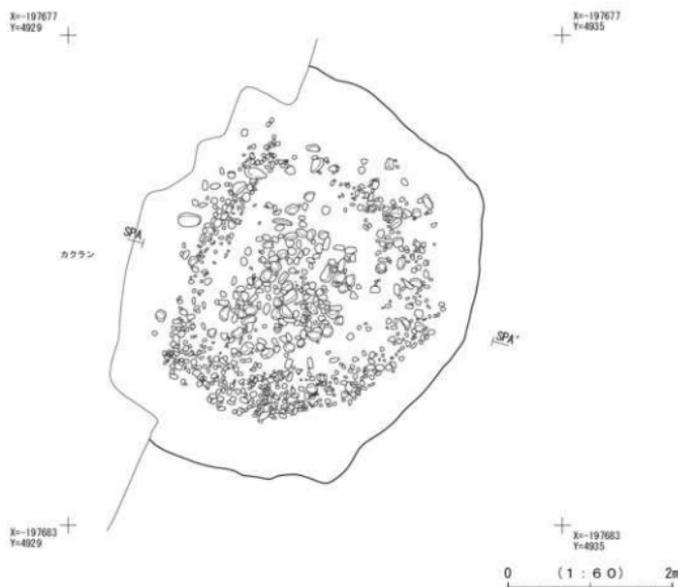
### (3) 井戸跡

井戸跡は4 B区で2基、4 C東区で1基検出している。4 B区の2基は、近在する区画性の強い溝跡SD101～103の内側で重複せずに検出されているため、計画的に配置されていることが推測される。出土遺物はいずれも井戸上層からと限られており、帰属時期を検討できるものは少ない。検出状況から何らかの関連性が感じられるSD102や、調査区南壁にかかるSE2等の掘り込み面の検討から、これらの井戸跡は竪穴住居跡等の遺構よりは新しい時期に構築されたものと推測された。

#### SE1 井戸跡(第38～44図)

4 B区南西側、116・122グリッドに位置し、西側は擾乱により失われている。

堆積土は18層に分層される。1～14層は崩落土である。7層及び11層中央部には礫が集中しており、井戸枠が崩壊し掘り方の裏込め石が流入したものであると思われる。15・16層は井戸枠内の埋土である。15層は均質の粘土質シルトが充填された状況であることから、短時間に流入したか、意図的に埋められた可能性が考えられる。16層は砂粒が主体である。この付近では、16層が確認されたレベルより上位は殆どシルト層であり、この砂層部分は透水層にあたるものと考えられ、本遺構が井戸として機能していたことを裏付ける。17・18層は掘り方埋土である。17層では部分的に井戸枠と思われる環状の石組みが認められた。石組部分とそれ以外の部分の埋土には明瞭な差異は認められず、また、内部に木枠を設けた痕跡は確認できなかった。18層では礫が充填されていて内側には木枠がはめられていた。充填された礫は木枠の倒壊防止と掘り方壁面の崩壊を防ぐためと思われる。この層からの遺物出土は殆どなかった。

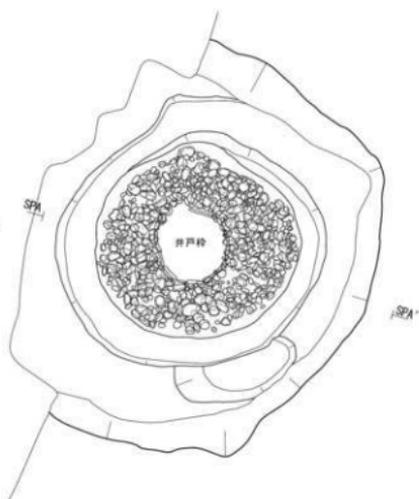


第38図 SE1井戸跡(1)

X=197677  
Y=4929

X=197677  
Y=4935

SP1  
ヨクラン



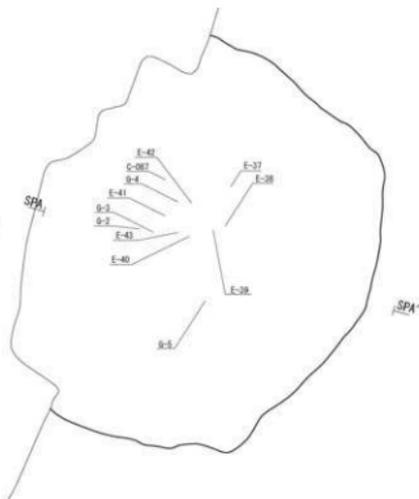
X=197683  
Y=4929

X=197683  
Y=4935

X=197677  
Y=4929

X=197677  
Y=4935

SP1  
ヨクラン

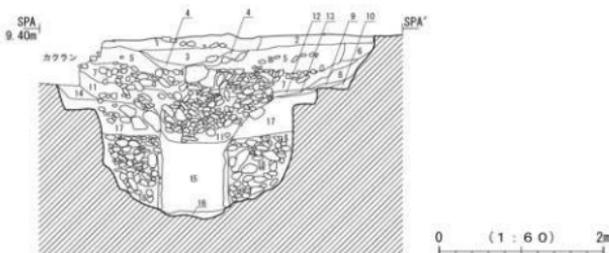


X=197683  
Y=4929

X=197683  
Y=4935

0 (1 : 60) 2m

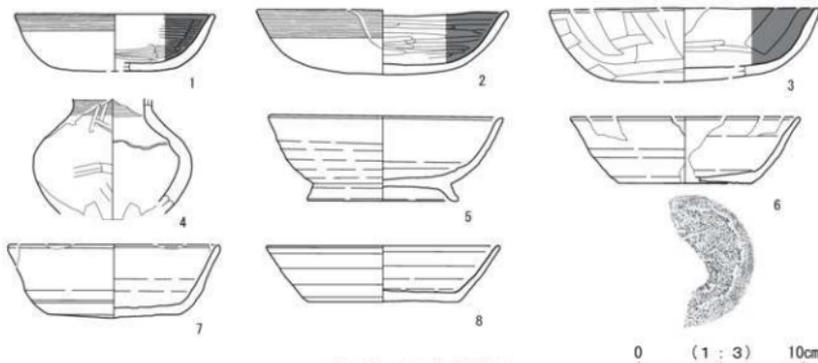
第39図 SE1井戸跡2



第40図 SE1井戸跡(3)

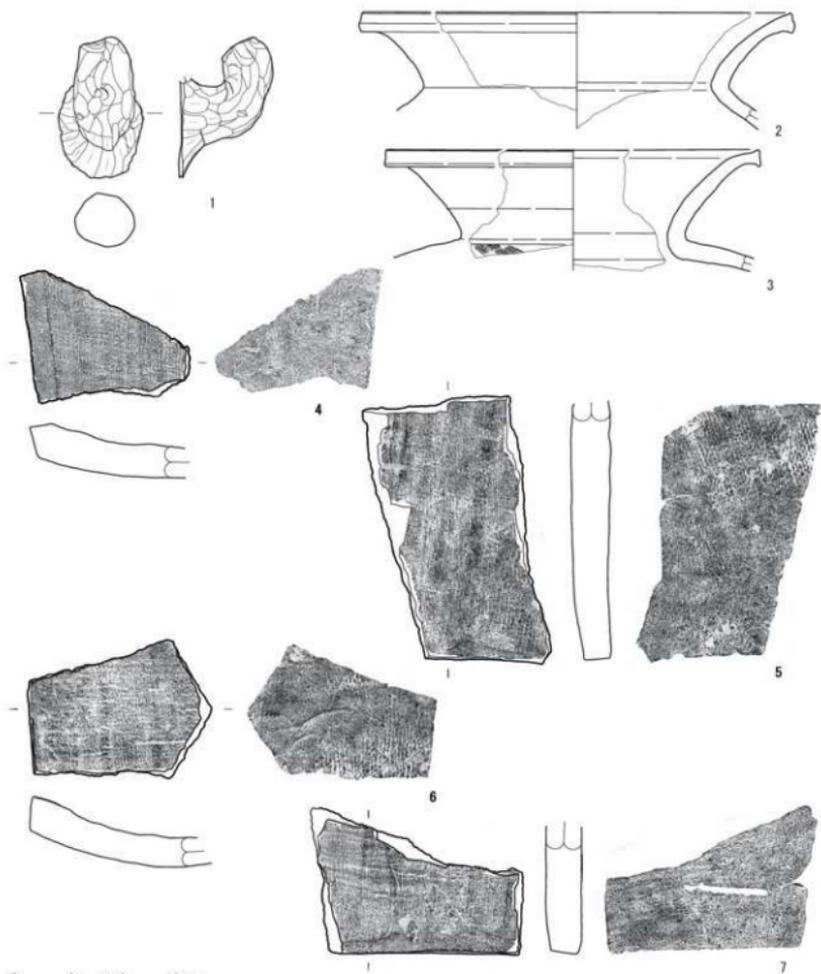
SE1井戸跡 観測表

遺構名	平面形	幅径(cm)	深さ(m)	層位	土色	土色	備考
SE1	圓丸方形	245×240	220	1	10YR4/1 褐色	シルト	
				2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				4	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				5	10YR5/2 黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				6	10YR4/1 褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				7	10YR5/2 黄褐色	シルト	礫化鉄少量含む
				8	10YR4/1 褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				9	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				10	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				11	10YR4/1 褐色	シルト	礫化鉄少量含む
				12	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)少量含む
				13	10YR4/1 褐色	シルト	地山アコナ(155cm)礫化鉄少量含む
				14	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(155cm)礫化鉄少量含む
				15	10YV4/1 暗緑灰色	粘土質シルト	
				16	10YV5/1 緑灰色	砂	
				17	10YR3/1 黄褐色	粘土質シルト	掘り方層土
				18	10YV3/1 暗緑灰色	粘土質シルト	掘り方層土



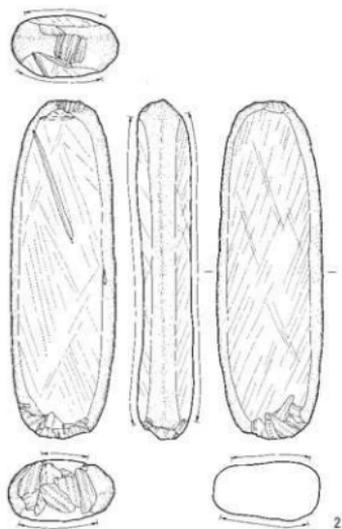
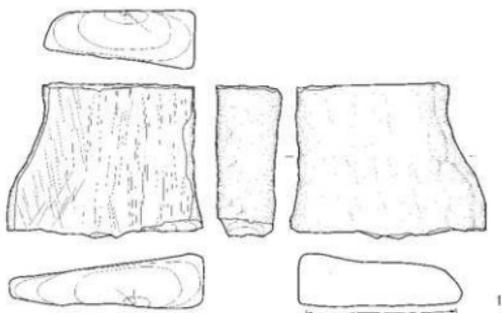
第41図 SE1出土遺物(1)

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	17E×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-087	SE1	4層	土師器	杯	12.0×××3.5	磨耗、17E部→???, 底部→底面→17E?	17E部→底面→17E?	内面黒色地層	102
2	C-088	SE1	11層	土師器	杯	15.0×××4.5	17E部→???, 底部→底面→???	17E部→底面→17E?	内面黒色地層	102
3	C-089	SE1	4層	土師器	杯	13.3×××3.7	17E部→底面→???	磨耗、17E部→底面→17E?	内面黒色地層	102
4	C-090	SE1	4層	土師器	壺	××××(7.0)	磨耗、17E部→???, 17E部→17E?, 側部→17E?	17E部→???, 側部→???		102
5	E-27	SE1	4層	灰土器	高台付杯	14.3×9.2×5.2	???, 底部→底面→切刃→高台付	???, 底部→底面→切刃→???	内面に光澤	102
6	E-28	SE1	4層	灰土器	杯	0.35×6.0×4.1	???, 底部→底面→切刃→???	???, 底部→底面→切刃→???	底径×××の前後	102
7	E-40	SE1	5層	灰土器	杯	0.27×6.0×4.5	???, 底部→底面→切刃→???	???, 底部→底面→切刃→???		102
8	E-30	SE1	5層	灰土器	杯	14.1×9.2×3.5	???, 底部→底面→切刃→???	???, 底部→底面→切刃→???	内面に光澤、土色	102



第42図 SE1出土遺物(2)

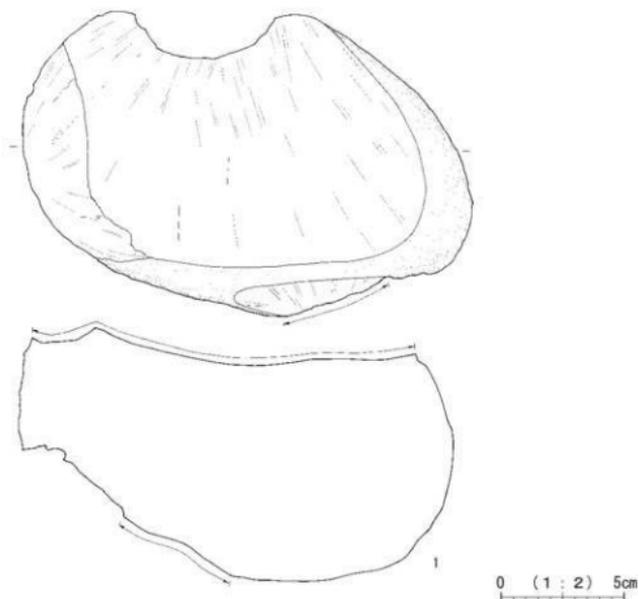
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	E-41	SE1	4層	灰窓器	瓶	- × - × 8.7	把手部前面→S調整	-	石灰多々	102
2	E-43	SE1	埋土	灰窓器	甕	(26.0) × - × (7.1)	S調整	S調整	内外面自西縁付着	102
3	E-42	SE1	埋土	灰窓器	甕	(22.0) × - × (7.0)	S調整、胴部平行型凸目	S調整、胴部??	石灰多々	102
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	凹面	凸面	備考	写真図版
4	G-2	SE1	4層	瓦	平瓦	8.2 × (10.3) × 2.4	布目肌、横脊直、側縁面～凹面→?F' → ?F'	?F'	横脊凸作り	102
5	G-4	SE1	4層	瓦	平瓦	(16.0) × (11.4) × 2.4	布目肌、横脊直、立端面～凹面→?F'	横?F' → ?F'	横脊凸作り	102
6	G-3	SE1	4層	瓦	平瓦	(10.2) × (8.6) × 2.0	布目肌、横脊直、側縁面～凹面→?F'	横?F' → ?F'	横脊凸作り	102
7	G-5	SE1	3層	瓦	平瓦	(10.8) × (12.5) × 2.2	布目肌、横脊直、立端面～凹面→?F'	?F'	横脊凸作り	103



0 (1:2) 5cm

第43図 SE1出土遺物(3)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
1	K6-026	SE1	埋土	石製品	砥石	6.1×7.9×2.5	1806	安山岩	自然、板状、欠損品	103
2	K6-027	SE1	埋土	石製品	砥石	13.9×4.2×2.2	1292	凝灰岩	自然、板状、溝状痕あり	103



第44図 SE1出土遺物(4)

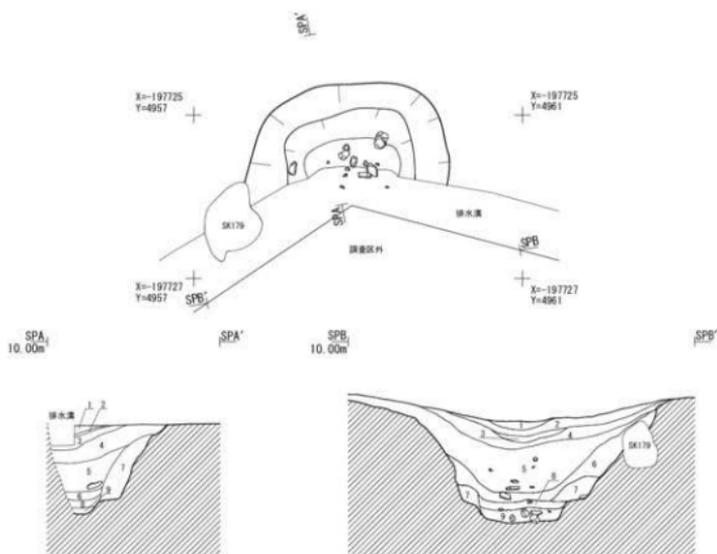
図録番号	登録番号	出土遺物	種別	種類	図様	長さ×幅×厚さ(mm)	重量(g)	石材	備考	写真図版
1	K6-028	SE1	雑土	石製品	砥石	122×179×100	1220.4	凝灰岩	自然、板状	103

壁面上位はやや斜めに立ち上がり、螺旋状の段になっている。本遺構の深さは残存しているだけで2m以上あり、井戸を掘削する際に足場を確保しながら掘り進めるための配慮と思われる。底面は径70cm程度である。井戸の木枠は幅20～40cm程度の断面凹形に加工した材を円形になるように組んでいる。材は長いもので70cm程度である。底面において木枠を支えるための構造物や木枠を下層に打ち込んでいる痕跡は確認できなかった。

遺物は4層～11層のうち礫を含む層から多く出土した。先に井戸の枠部に土を埋めた後に遺物を遺棄したと思われる。遺構内出土の礫の中に石器を転用したものは少なかった。図示したのは土師器・須恵器・平瓦・砥石等である。須恵器高台付坏である第41図-5は、底面に回転糸切り痕が残る資料である。須恵器坏第41図-6底面には、「×」字状の刻書が認められた。平瓦片は4点出土しており、凹面に模骨痕が残っている。その他、井戸枠材・鉄滓・ヒョウタン片・桃核等を出土遺物として取り上げている。

#### SE2 井戸跡(第45・46図)

4C東区南側、16・17・27グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察の結果、Ⅲb層上面からの掘り込みであることが確認されており、本調査区では最も新しい遺構の1つと考えられる。遺構南半は調査区外に位置するため平面形は定かではないが、上端径は250cm程度である。1m程の深さまで掘り下げたものの、調査区壁面際に位置しており、崩落の危険を考慮して完掘しなかった。堆積土は9層に分層し、その全てがシルト層であった。井戸枠等は検出されていない。埋土上位である3層から出土した須恵器坏第46図-11は、底部回転ヘラ切り後にヘラナデを施すものである。その他、図示できなかったが、ウマの歯も出土している。



第45図 SE2井戸跡

SE2井戸跡 観察表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土色	備 考
SE2	隅丸長方形	250 × 68	67	1	10YR3.2 黒褐色	シルト	10YR4.2 灰黄褐色)4少量含む
				2	10YR4.3 に白い黄褐色	シルト	10YR4.4 褐色)4少量含む
				3	10YR2.3 黒褐色	シルト	10YR4.2 灰黄褐色)4少量含む
				4	10YR3.3 暗褐色	シルト	10YR4.4 褐色)4少量含む
				5	10YR2.4 暗褐色	シルト	2.5Y3.3 黄褐色)4少量含む
				6	10YR2.3 暗褐色	シルト	2.5Y6.3 に白い黄褐色)4少量含む
				7	10YR2.3 暗褐色	シルト	2.5Y6.3 に白い黄褐色)4少量含む
				8	10YR2.4 暗褐色	シルト	2.5Y6.3 に白い黄褐色)4少量含む
				9	10YR2.3 暗褐色	シルト	2.5Y6.3 に白い黄褐色)4少量含む



0 (1 : 3) 10cm

第46図 SE2出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径 × 底径 × 器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	E-44	SE2	3層	須恵器	杯	(12.7 × 7.6) × 3.7	079調整、底部回転⇒切り⇒子持も079?	079調整		103

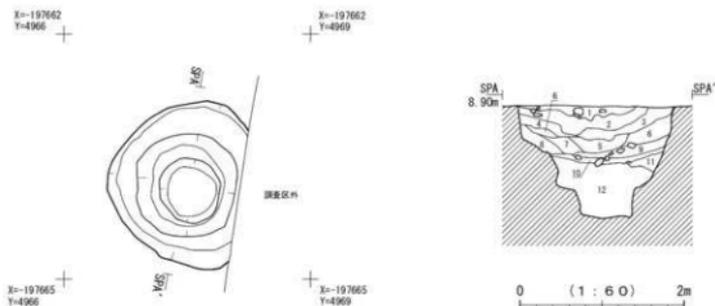
### SE3 井戸跡 (第47図)

4 B区の北東側、137-143グリッドに位置しており、遺構上位東側は調査区外に延びる。確認面での平面形は不整形円形、底面では円形を呈し、規模は確認面で200×160cm、底面で径60cm程を測る。底面から中段まではほぼ垂直に、それより上位では外傾しながら立ち上がり、確認面からの深さは138cmである。

堆積土は12層に分層した。確認面から中位(1~11層)にかけてはやや粘性の強いシルト質土である。最下層の12層は青灰色の色調を帯びる。

本遺構の上半からは拳~人頭大の礫が200点以上出土したが、これらには石組みのような配置は認められなかった。僅かではあるが底面付近から出土した木片については、井戸枠として用いられた可能性がある。

堆積土上層から土師器・須恵器片が少量出土している他、12層からヒョウタン片・桃核が出土したが、掲載遺物は無い。



第47図 SE3井戸跡

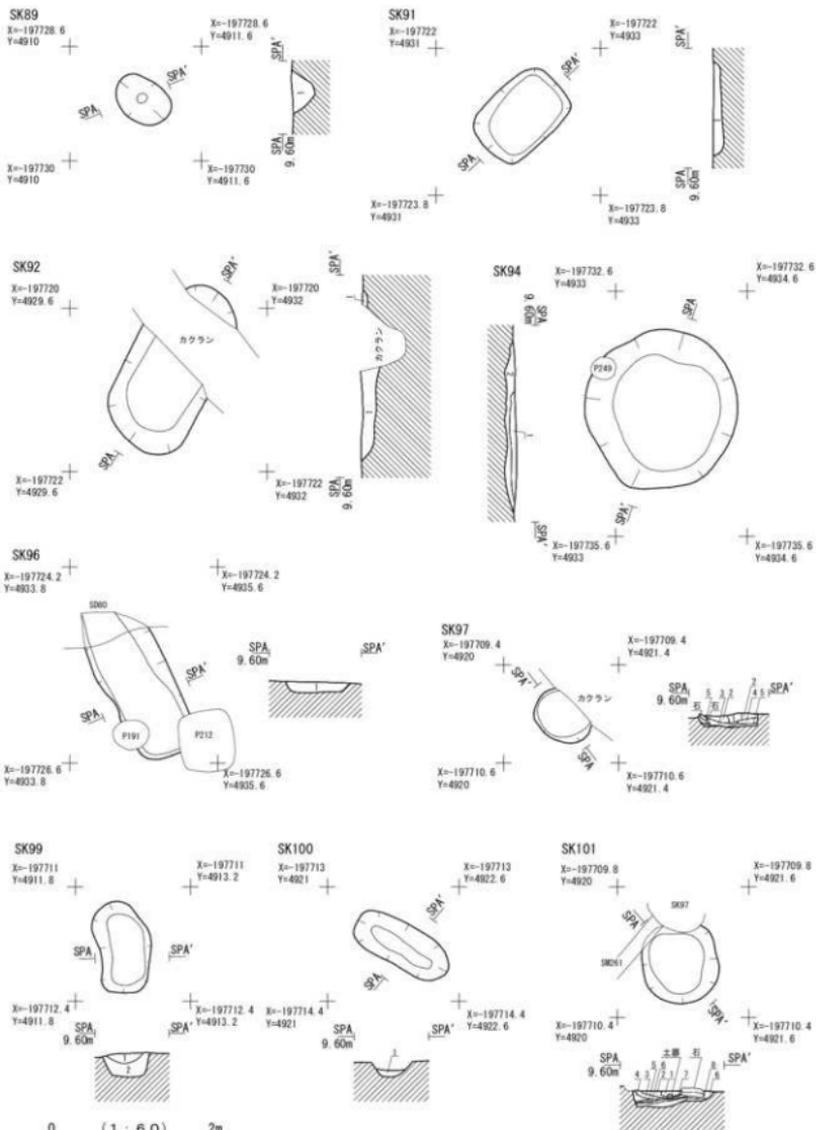
SE3井戸跡 観察表

遺構名	平面形	幅長 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備 考
SE3	不規則形	300×100	138	1	10YR5.3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アワケ(10~20mm程度)多量に含む、拳~人頭大の礫あり
				2	10YR5.4 にぶい黄褐色	シルト	地山アワケ(10~30mm程度)多量に含む、拳大の礫あり
				3	10YR3.1 黒褐色	粘土質シルト	地山アワケ多量に含む
				4	10YR4.1 褐色	粘土質シルト	地山アワケ(10~20mm程度)少量含む
				5	10YR5.1 褐色	粘土質シルト	地山アワケ多量に含む
				6	10YR6.4 にぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アワケ(5~10mm程度)少量含む
				7	10YR5.2 灰黄褐色	シルト	地山アワケ(5mm程度)多量に含む
				8	10YR5.2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山アワケ多量に含む
				9	10YR7.2 にぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アワケ(5~10mm)少量含む、人頭大の礫あり
				10	10YR6.1 褐色	粘土質シルト	人頭大の礫あり
				11	10YR7.1 灰白色	粘土質シルト	地山アワケ多量に含む
				12	5Y6.1 青灰色	粘土質シルト	地山アワケ(10mm程度)少量含む

#### (4) 土坑(第48~54図)

検出した75基の土坑のうち、半載調査を行った38基についての遺構図を掲載した。少なくとも4基(SK94・102・103・106)は検出状況や遺構重複関係から、竪穴住居跡・掘立柱建物跡等の集落遺構とほぼ同時期であると捉えられるが、その他多くの土坑は竪穴住居跡や掘立柱建物跡を切るものと思われる。

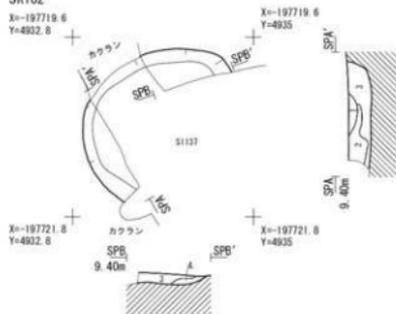
規模や形状に斉一性は認められないため、用途・目的については個々様々考えられる。底面に焼土が検出されたSK105は、焼成土坑と推測された。出土した土師器はいずれもロクロ調整されており、本調査区においては比較的新しい遺物である。



第48図 土坑(1)

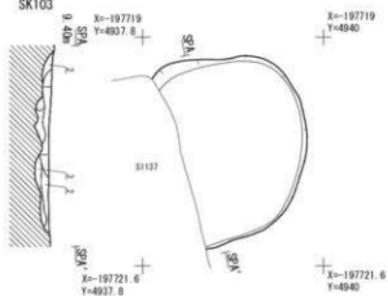
SK102

X=197719.6  
Y=4932.8



SK103

X=197719  
Y=4937.8



X=197719  
Y=4940

X=197721.6  
Y=4940

SK105

X=197706.4  
Y=4944.6



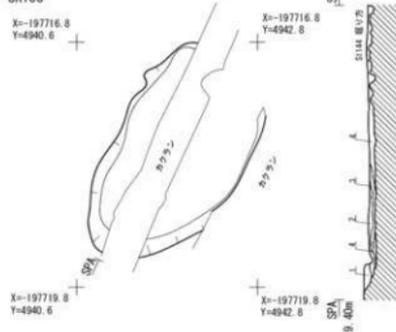
X=197706.4  
Y=4946

X=197708.8  
Y=4944.6

X=197708.8  
Y=4946

SK106

X=197716.8  
Y=4940.6



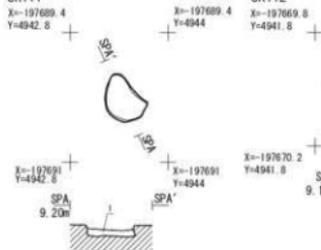
X=197716.8  
Y=4942.8

X=197719.8  
Y=4940.6

X=197719.8  
Y=4942.8

SK111

X=197689.4  
Y=4942.8



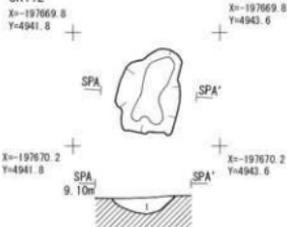
X=197689.4  
Y=4944

X=197691  
Y=4942.8

X=197691  
Y=4944

SK112

X=197669.8  
Y=4941.8



X=197670.2  
Y=4941.8

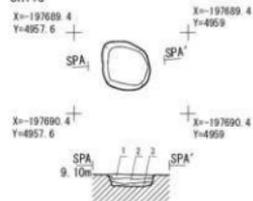
X=197670.2  
Y=4943.6

X=197669.8  
Y=4943.6

X=197670.2  
Y=4943.6

SK113

X=197689.4  
Y=4957.6



X=197689.4  
Y=4959

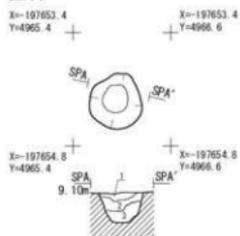
X=197690.4  
Y=4957.6

X=197690.4  
Y=4959

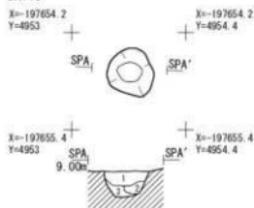
0 (1:60) 2m

第49図 土坑(2)

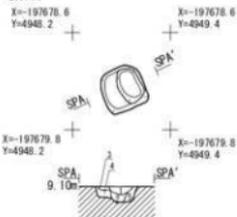
SK114



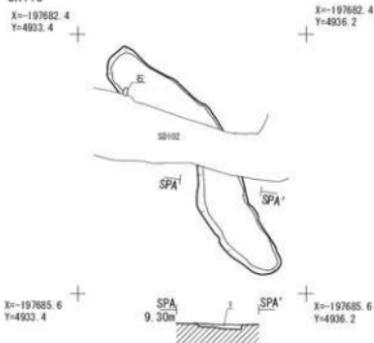
SK115



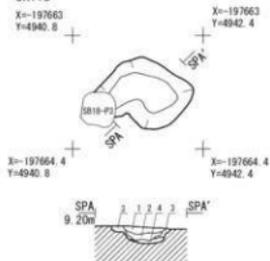
SK117



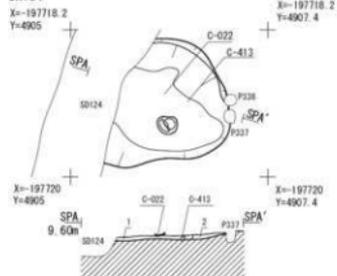
SK116



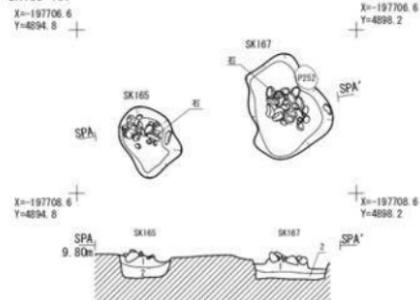
SK118



SK164

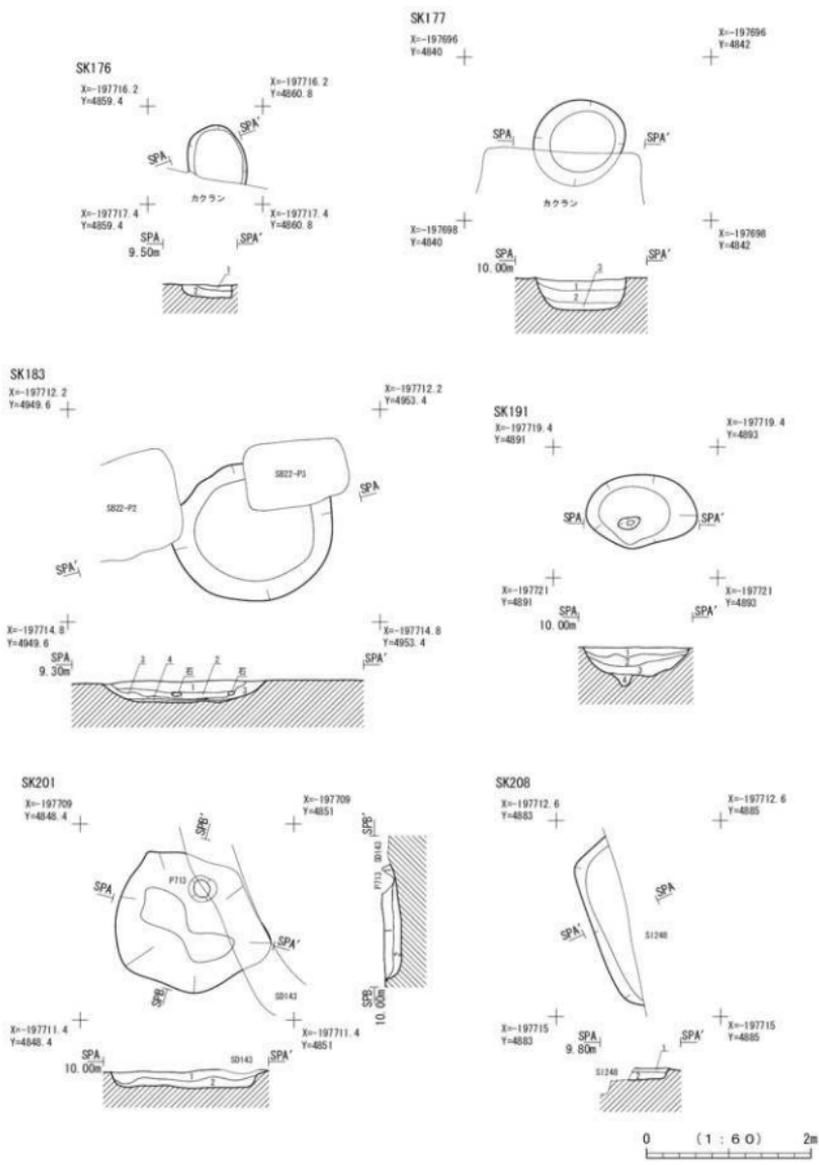


SK165·167

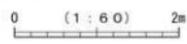


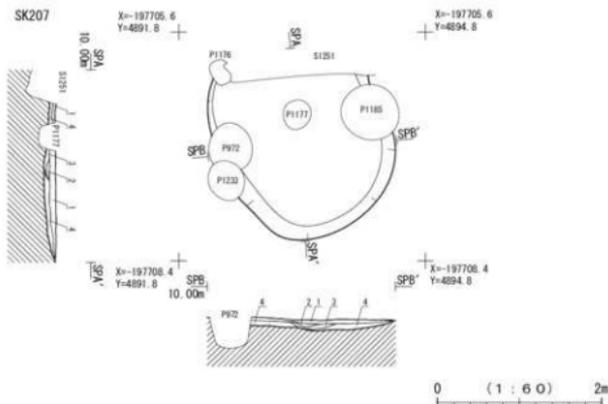
0 (1:60) 2m

第50图 土坑(3)



第51図 土坑(4)





第52図 土坑(5)

土坑 観測表(1)

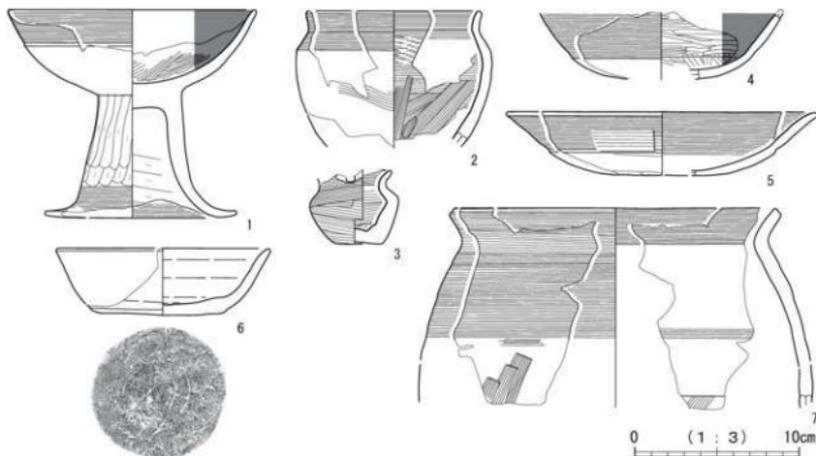
基 礎 名	平面形	幅径 (cm)	深さ (cm)	層位	土 色	土 質	備 考
SKR2	不整楕円形	216×180	19	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アツク・地山粒少量を含む。しまり強い。最下段に土器破片を若干含む
				2	10YR3-2 黒褐色	シルト	炭化物・焼土・土器破片含む
				3	10YR4-3 にふい青褐色	シルト	地山アツク少量を含む
				4	10YR4-4 褐色	シルト	
SKR3	不整長円形	185×66	15	1	2.5Y3-2 黒褐色	シルト	
				2	2.5Y3-3 暗キリーブ褐色	シルト	
SKR4	-	-	-	-	-	-	欠番(伊100)に変更
SKR5	楕円形	143×95	21	1	10YR3-1 黒褐色	粘土質シルト	地山アツク(径10-20mm)少量を含む
SKR6	不整楕円形	125×75	31	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山アツク少量。炭化物微量を含む。しまりあり
SKR7	(長楕円形)	(121)×83	33	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山土を較状に含む
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アツク少量を含む
				1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アツク少量を含む。しまり強い。炭化炭屑散見。下面に1cm厚の灰白色火山灰少量層
				2	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山土少量。白土小粒(径1-5mm)・黒褐色土アツク微量を含む
				3	10YR2-1 黒褐色	シルト	地山粒少量。黒褐色土アツク微量を含む
				4	10YR2-1 黒褐色	シルト	地山アツク・地山粒少量含む
				5	10YR2-2 黒褐色	シルト	地山土少量。灰白色粘質土微量を含む
				6	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む
SKR8	不整楕円形	(143)×(215)	109	7	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山土少量。焼土粒・灰白色粘質土微量を含む
				8	10Y4-1 灰色	粘土質シルト	砂少量。しまり強い
				1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アツク・地山粒少量を含む。しまり強い。最下段に土器破片を若干含む
				-	-	-	欠番(S266-P3)に変更
SKR9	楕円形	72×53	28	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	炭化物少量含む
SKR0	-	-	-	-	-	-	断面図なし
SKR1	楕円形	117×82	15	1	2.5Y3-2 黒褐色	シルト	炭化物少量含む
SKR2	長楕円形	215×111	18	1	2.5Y3-2 黒褐色	シルト	炭化物少量含む
SKR3	-	(幅)×(径)	30	-	-	-	断面図なし
SKR4	不整円形	200×186	14	1	10YR4-2 灰青褐色	シルト	
SKR5	不整楕円形	100×69	25	2	10YR3-1 黒褐色	シルト	
SKR6	長方形	195×85	14	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山粒少量。炭化物粒微量を含む
SKR7	楕円形	80×(52)	12	1	10YR2-3 暗褐色	シルト	地山粒少量。炭化物粒(径2-5mm)微量を含む
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒微量を含む
				3	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アツク・地山粒少量含む
				4	10YR3-4 暗褐色	粘土質シルト	黒褐色土アツク含む
				5	10YR4-3 にふい青褐色	シルト	黒褐色土粒微量を含む
SKR8	楕円形	80×51	12	-	-	-	断面図なし
SKR9	不整楕円形	113×63	25	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山粒少量。炭化物粒少量含む
2	2YR4-3 にふい青褐色	砂質シルト	炭化物粒を層状に含む				
SKR10	長楕円形	125×51	18	1	10YR4-3 にふい青褐色	砂質シルト	黒褐色土少量。炭化物粒微量を含む
2	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト					
SKR11	楕円形	(97)×93	19	2	10YR3-3 暗褐色	シルト	1層土粒含む
				3	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	地山アツク少量含む
				4	10YR4-3 にふい青褐色	シルト	暗褐色土粒微量を含む
				5	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒微量を含む
				6	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山土少量含む
				7	10YR4-3 にふい青褐色	粘土質シルト	炭化物粒微量を含む
				8	10YR4-3 にふい青褐色	シルト	
				1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山粒微量を含む
SKR12	(円形)	(181)×(52)	28	2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む
				3	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山粒少量含む
				1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アツク(径10-30mm)少量。炭化物粒微量を含む
				4	10YR3-2 黒褐色	シルト	

土坑 観音堂2)

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
SK103	(円形)	230×(157)	18	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アのフ+地山緑+地土粒微量に含む
				2	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アのフ+地山緑微量に含む
				3	10YR3-2 黒褐色	シルト	炭化物粒微量に含む
SK104	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
				1	10YR2-3 黒褐色	シルト	炭化物粒+地土粒含む
SK105	長方形	99×127	14	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	炭化物粒+地土含む
				2	10YR3-1 黒褐色	シルト	炭化物粒少量、炭化物(径30mm)+地土少量含む
				3	7.5YR3-1 黒褐色	シルト	炭化物粒少量、炭化物(径30mm)+地土少量含む
				4	10YR4-1 黄褐色	シルト	地山アのフ少量、炭化物粒+地土粒少量含む
				5	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ少量、炭化物粒少量含む
SK106	長楕円形	275×151	14	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ少量含む
				2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ少量含む
				3	10YR4-2 黒褐色	シルト	地山アのフ少量含む
SK111	不整形円形	60×46	14	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ少量含む
				2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ少量含む
SK112	不整形	108×77	23	1	10YR4-3 黒褐色	シルト	地山アのフ少量含む
				1	7.5YR4-1 黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄含む
SK113	円形	68×60	15	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)少量含む
				2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ少量含む
				3	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)少量含む
SK114	円形	68×64	37	1	10YR6-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(85mm)少量含む
				2	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(85mm)少量、炭化物微量に含む
				3	10YR5-6 黄褐色	シルト	地山アのフ(85mm)少量、炭化物微量に含む
SK115	円形	61×54	34	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ(85mm)少量、地山粒少量含む
				2	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)含む
				3	10YR4-4 褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)少量、地山粒微量に含む
SK116	楕円	236×60	6	1	10YR4-1 黄褐色	シルト	地山粒微量に含む
				1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ(810-20mm)少量含む
				2	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アのフ(810mm)少量含む
SK117	隅丸方形	53×52	19	3	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)少量含む
				4	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ(810mm)少量含む、測りより粘性が強い
				5	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(810-20mm)少量含む
				1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ(810-20mm)+地土粒少量、炭化物微量に含む
				2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)少量含む
SK118	不整形	120×84	19	3	10YR6-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ(85-10mm)少量含む
				4	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アのフ(85-20mm)少量含む
				1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アのフ(85-20mm)少量含む
				2	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アのフ(85-20mm)少量含む
SK151	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK152	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK153	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK154	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK155	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK156	楕円形	70×51	45	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK157	楕円形	101×69	40	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK158	隅丸長方形	290×56	71	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK159	隅丸長方形	329×52	31	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK160	不整形	158×(100)	19	-	褐色	シルト	断面因なし
SK161	不整形	128×23	12	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK162	不整形	73×50	6	-	黄褐色	シルト	断面因なし
SK163	不整形	87×45	37	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK164	不整形	(148×132)	8	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	10YR4.6 褐色(4)少量、炭化物に含む
				2	10YR7-2 にぶい黄褐色	砂質シルト	
SK165	不整形	79×63	32	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	径17cm大の礫含む
				2	10YR4-4 褐色	シルト	
SK166	不整形	217×70	32	-	灰黄褐色	シルト	断面因なし
SK167	不整形	127×101	30	1	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ少量、径16cm大の礫含む
				2	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アのフ少量に含む
SK168	不整形	99×75	28	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK169	不整形	130×87	19	-	褐色	シルト	断面因なし
SK170	不整形	127×30	39	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK171	隅丸長方形	106×85	74	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK172	隅丸長方形	310×85	52	-	-	-	欠番(SR22)掘り方に従って
SK173	不整形	190×28	5	-	褐色	シルト	断面因なし
SK174	不整形	94×42	24	-	褐色	シルト	断面因なし
SK175	不整形	82×68	59	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK176	(楕円形)	659×70	27	1	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物+地土微量に含む
				2	10YR2-3 黒褐色	シルト	
SK177	円形	109×106	40	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
				2	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
SK178	隅丸長方形	55×20	52	-	暗褐色	シルト	断面因なし
				-	黄褐色	シルト	断面因なし
SK179	不整形	99×69	83	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK180	不整形	73×(53)	19	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK181	(楕円形)	207×(100)	35	-	暗褐色	シルト	断面因なし
SK182	不整形	92×65	18	-	褐色	シルト	断面因なし
SK183	円形	196×170	25	1	5YR5-1 黄褐色	シルト	
				2	5YR4-1 黄褐色	シルト	
				3	5YR5-2 黄褐色	シルト	
				4	7.5YR4-1 黄褐色	シルト	

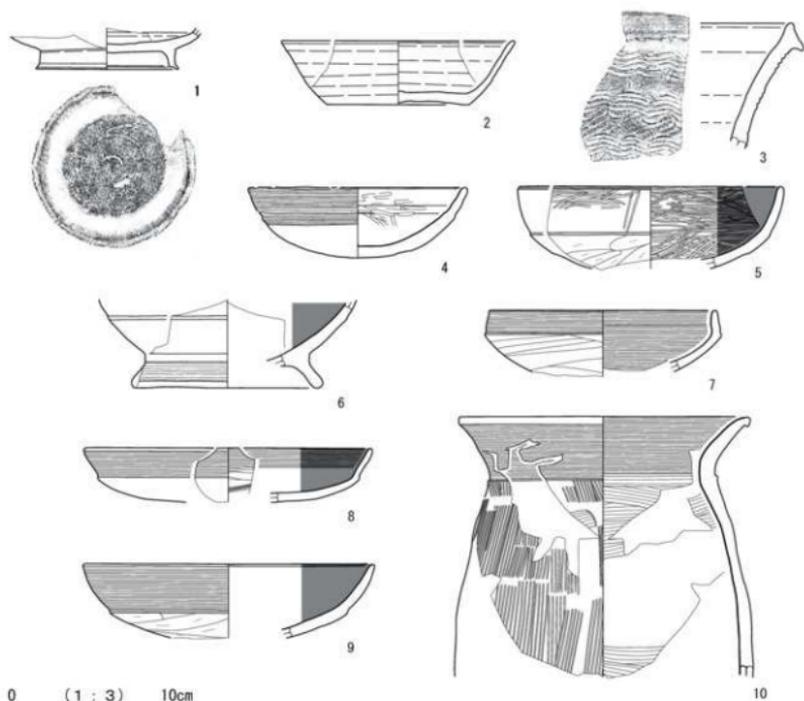
土坑 観覧表③

遺物名	平面形	縦横 (cm)	厚さ (cm)	単位	土色	土色	備考	
SK184	-	-	-	-	-	-	矢倉(SR27-P41)発見	
SK185	-	-	-	-	-	-	矢倉(SR27-P31)発見	
SK186	楕円形	44×35×13	13	-	暗褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK187	-	-	-	-	-	-	矢倉(SR27-P21)発見	
SK188	-	-	-	-	-	-	矢倉(SR27-P11)発見	
SK189	小方形	111×83×53	53	-	暗褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK190	楕丸長方形	123×107×55	55	-	黒褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK191	楕円形	137×77	53	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	
				2	10YR3/4	暗褐色	シルト	
				3	10YR2/2	黒褐色	シルト	
				4	10YR4/4	褐色	シルト	
SK192	小方形	121×58	11	-	黒褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK193	楕円形	80×69	30	-	黒褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK194	楕丸長方形	144×76	28	-	褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK195	小方形	65×35	11	-	褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK196	楕丸方形	68×48	24	-	暗褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK197	楕丸長方形	73×40	13	-	暗褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK198	(楕円形)	128×144	38	-	暗灰色	シルト	断面凹凸なし	
SK199	楕丸長方形	117×68	59	-	暗褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK200	円形	109×92	5	-	黒褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK201	円形	179×100	42	1	10YR4/4	褐色	シルト	
				2	10YR3/4	暗褐色	シルト	
SK202	楕丸長方形	90×61×36	36	-	灰黄褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK203	楕円形	113×76×7	7	-	褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK204	楕丸方形	86×85×23	23	-	灰黄褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK205	楕円形	90×68×15	15	-	灰黄褐色	シルト	断面凹凸なし	
SK206	楕円形	80×44×22	22	-	褐色	シルト	断面凹凸なし	
				1	10YR2/2	暗褐色	シルト	
SK207	(楕円形)	248×199	13	2	5YR5/8	暗赤褐色	シルト	塊土含む
				3	5YR3/2	暗赤褐色	シルト	塊土微量に含む
				4	10YR4/3	に赤い黄褐色	シルト	
				1	10YR4/1	褐色	シルト	
SK208	(楕丸方形)	238×166	11	1	10YR4/3	に赤い黄褐色	シルト	
				2	10YR4/3	に赤い黄褐色	シルト	



第53図 土坑出土遺物(1)

図号	登録番号	出土遺物	単位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-405	SK208	1層	土師器	高杯	口径×底径×器高 (149×111×12.7)	坏部1線部2???, 体部~底部2???, 脚柱状部2???, 底部2???	坏部1線部~底部2???, 脚柱状部2???, 底部2???	坏部内面 黑色処理	104
2	C-406	SK208	理1	土師器	壺	(10.4×××6.3)	磨滅, 1線部2???, 体部2???	1線部2???, 体部2???		104
3	C-407	SK207	理1	土師器	1線部	4.0×2.9×(4.5)	1線部2???, 体部2???	指圧調整		104
4	C-408	SK102	理1	土師器	杯	×××(4.1)	1線部2???, 体部~底部2???		内面黑色処理	104
5	C-409	SK102	理1	土師器	高杯?	(18.6×××13.8)	1線部2???, 体部~底部2???, 体部2???	磨滅, 1線部~底部2???		104
6	D-3	SK105	1層	???	杯	(12.8×7.5×4.1)	???	???		104
7	D-4	SK105	1層	???	壺	(9.1)×××(12.3)	???	???		104

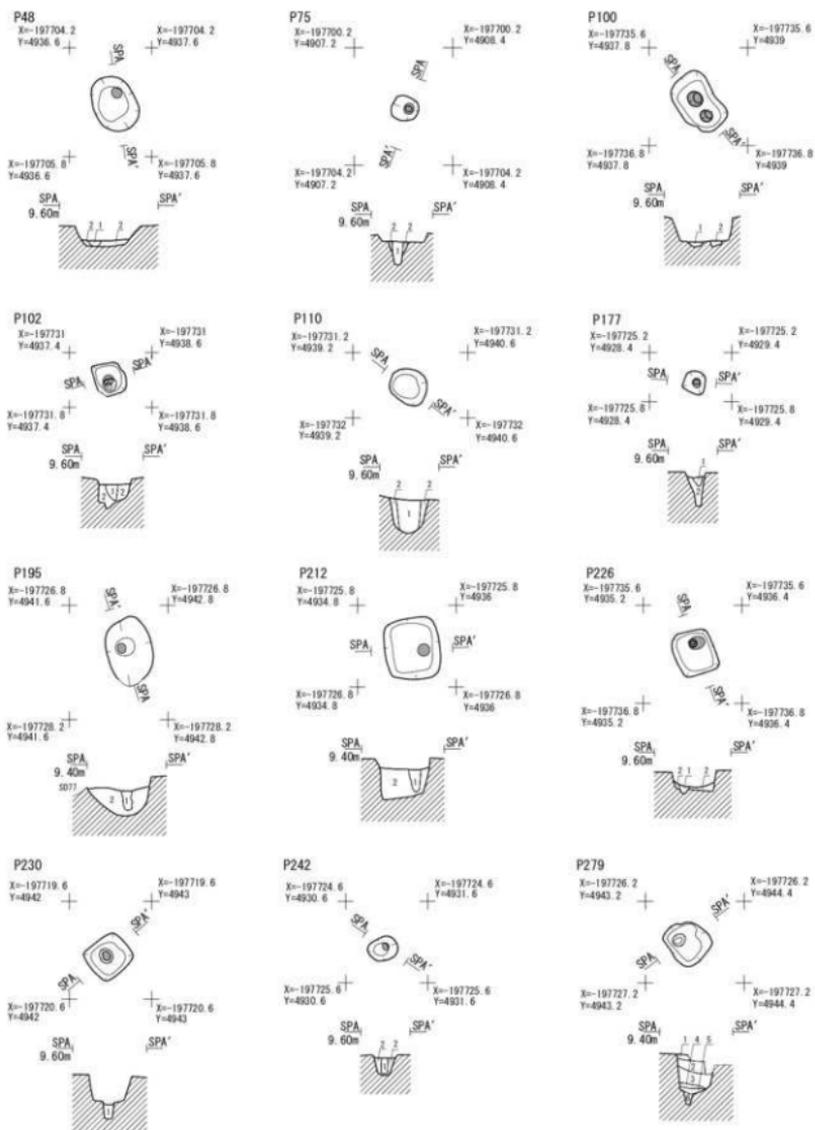


第54図 土坑出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	E-81	SK105	2層	箱型器	高台付杯	→ 8.6 × 2.5	270調整、底面斜転→91°→高台貼付	270調整	高台部外面大摩痕	104
2	E-80	SK105	1層	箱型器	杯	(3.1) × 8.6 × 3.9	270調整、底面斜転→92°→9°	270調整	内外面大摩痕	104
3	E-82	SK112	1層	箱型器	甕	→ × × (7.7)	平形叩き目→270調整、刃磨き波状文	270調整		104
4	C-022	SK164	埋土	土師器	杯	13.1 × × 4.3	11線部→18°、底部部→91°→93°	磨耗、918°		104
5	C-413	SK164	埋土	土師器	杯	13.9 × × 4.0	11線部→18°、底部部→92°	11線部→底部→18°	内面黑色処理	104
6	C-412	SK164	埋土	土師器	高台付杯	→ (11.0) × (5.4)	底部部→高台部→92°	底部部→高台部→18°、高台調整	内面黑色処理	104
7	C-415	SK186	埋土	土師器	杯	13.7 × × 4.0	11線部→9°、底部部→18°→91°	11線部→底部部→9°、底部部→18°→91°	内外面磨上上げ	104
8	C-414	SK172	1層	土師器	杯	17.3 × × 4.3	磨耗、11線部→9°、底部部→91°	11線部→底部部→18°	内面黑色処理	104
9	C-417	SK192	埋土	土師器	杯	17.5 × × 4.5	11線部→9°、底部部→91°	磨耗	内面黑色処理	104
10	C-416	SK186	埋土	土師器	甕	17.5 × × 16.0	11線部→9°、底部部→91°	11線部→9°、底部部→91°		105

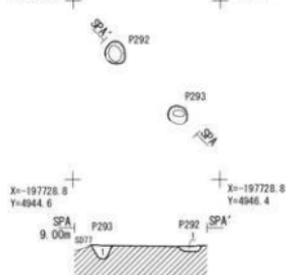
(5) ビット(第55~65図)

ビット(小穴)は4A区で472基、4B区で117基、4C区で1207基と膨大な検出量となった。検出状況や遺構重複から、大半が竪穴住居跡等の集落遺構を切るものと思われる。調査区北側では分布が疎らになる傾向がある。主に柱痕跡が認められたものについての遺構図を掲載し、その他は一覧表で示した。このビット一覧表中の埋土記載事項は、遺構検出段階で記録したものである。



第55図 4A区ビット(1)

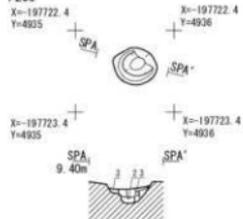
P292-293  
X=197726.6  
Y=4944.6



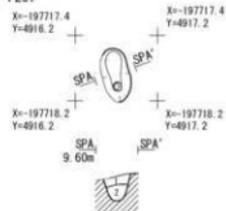
P294



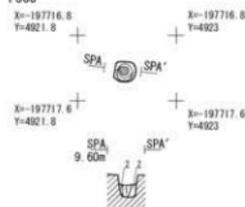
P295



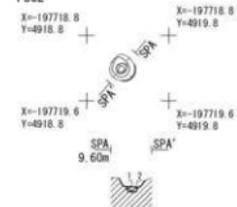
P297



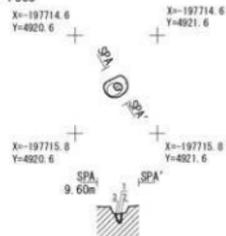
P300



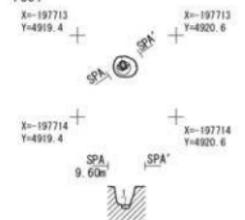
P302



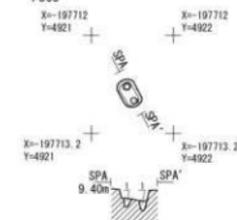
P303



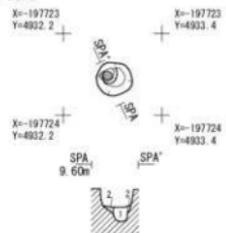
P304



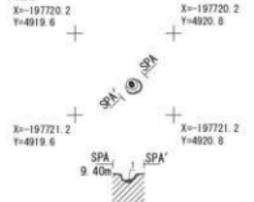
P305



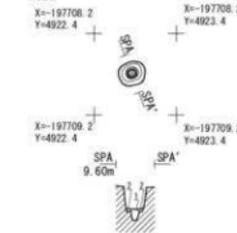
P318



P322



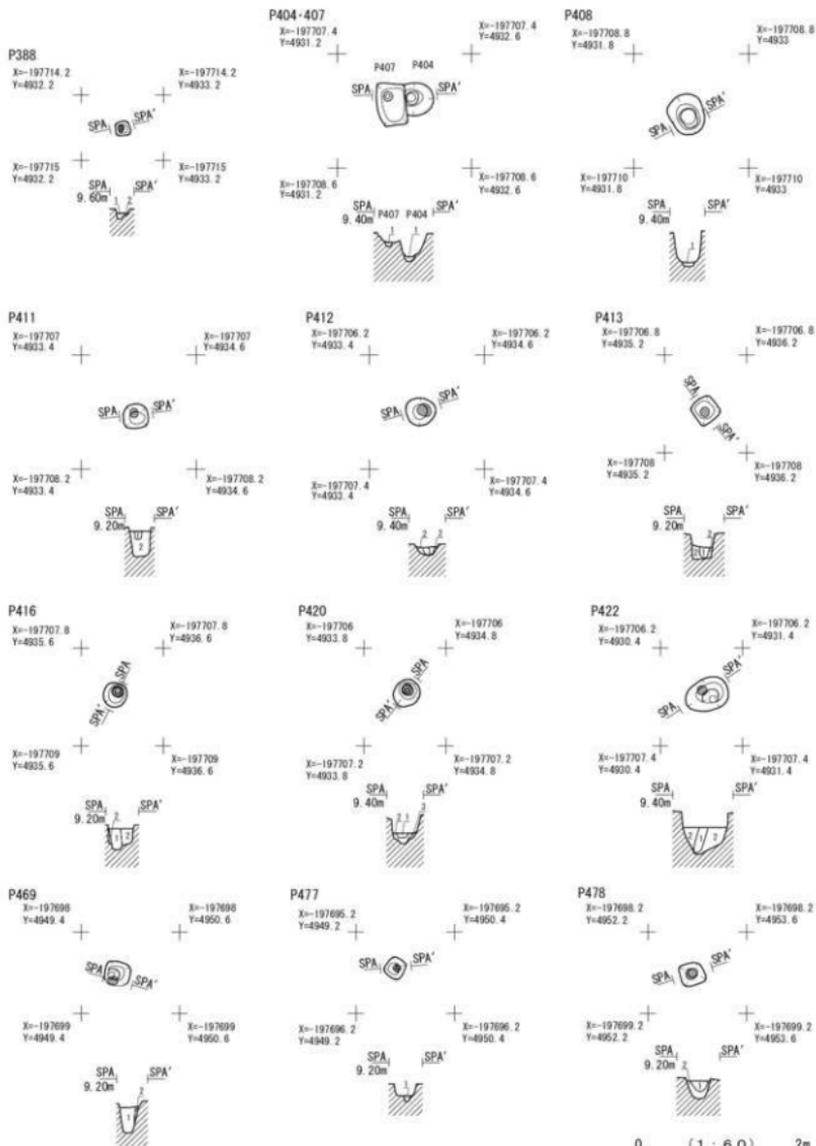
P323



第56図 4A区ビット(2)

0 (1:60) 2m





第58図 4A区ビット(4)

P480

X=197697.4  
Y=4949.4

X=197697.4

Y=4950.6



X=197696.4  
Y=4949.4

X=197696.4

Y=4950.6



P481

X=197695.6  
Y=4953.4

X=197695.6

Y=4954.6



X=197696.6  
Y=4953.4

X=197696.6

Y=4954.6



P483

X=197694.4  
Y=4953.4

X=197694.4

Y=4954.6



X=197695.4  
Y=4953.4

X=197695.4

Y=4954.6



P490

X=197704.6  
Y=4951.6

X=197704.6

Y=4952.8



X=197705.8  
Y=4951.6

X=197705.8

Y=4952.8



P493

X=197697.2  
Y=4954.8

X=197697.2

Y=4956



X=197698.2  
Y=4954.8

X=197698.2

Y=4956



P496

X=197700.2  
Y=4955.4

X=197700.2

Y=4956.6



X=197710.4  
Y=4955.4

X=197710.4

Y=4956.6



P497

X=197711.8  
Y=4948.4

X=197711.8

Y=4949.6



X=197713  
Y=4948.4

X=197713

Y=4949.6



P498

X=197711.6  
Y=4947.6

X=197711.6

Y=4948.8



X=197712.8  
Y=4947.6

X=197712.8

Y=4948.8



P499

X=197711.2  
Y=4942.2

X=197711.2

Y=4943.4



X=197712.4  
Y=4942.2

X=197712.4

Y=4943.4



P513-514

X=197724.4  
Y=4936

X=197724.4

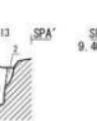
Y=4937.6



X=197725.6  
Y=4936

X=197725.6

Y=4937.6



X=197724.6  
Y=4936

X=197724.6

Y=4937.6



P515

X=197723.6  
Y=4937.6

X=197723.6

Y=4937.6



X=197724.6  
Y=4937.6

X=197724.6

Y=4937.6



P521

X=197715.4  
Y=4936.6

X=197715.4

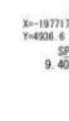
Y=4937.8



X=197717  
Y=4936.6

X=197717

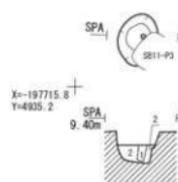
Y=4937.8



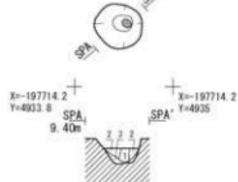
0 (1 : 60) 2m

第59図 4A区ビット(5)

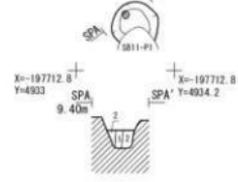
P522

X=197714.4  
Y=4935.2

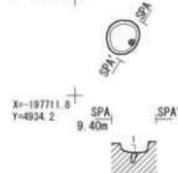
P523

X=197712.8  
Y=4933.8

P524

X=197711.6  
Y=4933

P525

X=197710.6  
Y=4934.2X=197710.6  
Y=4935.6X=197711.8  
Y=4934.2X=197711.8  
Y=4935.6

0 (1:60) 2m

第60図 4A区ビット(6)

4A区ビット (観察面1)

点検名	平面形	風筒 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備	考
P48	楕円形	86×64	30	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク含む	
P75	方形	200×250	18	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	炭化物含む、柱状跡	
				2	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色	シルト		
P100	隅丸方形	74×48	30	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色	シルト	柱状跡	
P102	方形	48×45	35	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク含む	
P110	楕円形	46×42	43	1	10YR3/1 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR3/1 暗褐色	シルト	地山アロク含む	
P177	方形	27×27	41	1	10YR2/2 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR2/3 暗褐色	シルト		
P195	楕円形	83×55	48	1	10YR3/1 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR3/1 暗褐色	シルト	地山多量に含む	
P212	隅丸方形	75×56	51	1	10YR3/1 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	2.5Y3/2 暗褐色	シルト	地山アロク含む	
P226	隅丸方形	54×49	28	1	2.5Y4/1 黄灰色	粘土質シルト	地山アロク含む、柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロク多量に含む	
P230	方形	49×47	33	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒少量含む、柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト	柱状跡	
P242	楕円形	36×28	25	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR3/2 暗褐色	シルト		
				3	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク(約5mm)少量含む	
				4	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク(約5mm)互層状に少量含む	
				5	10YR3/3 暗褐色	シルト	黒褐色土少量含む	
				6	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト		
P292	円形	23×229	17	1	-	暗褐色	シルト	
				2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク多量に含む	
P294	円形	20×20	8	1	-	黄灰色	シルト	
				2	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物少量含む、柱状跡	
P295	楕円形	54×44	25	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク炭化物少量含む、柱状跡	
				2	2.5Y3/2 暗褐色	シルト	炭化物少量含む	
				3	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物少量含む	
				4	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物少量含む	
P297	長楕円形	66×220	35	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量含む	
				2	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト		
P300	方形	36×25	36	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量含む	
P302	円形	211×200	27	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト	柱状跡	

## 4A区ビッド 観覧表2

通称名	平面形	規模(m)	深さ(m)	層位	土色	土性	備考
P303	楕円形	29×23	22	1	75YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	赤褐色土層含む、柱状跡
				2	10YR5-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				3	10YR3-4 暗褐色	粘土質シルト	地山アのわず少量含む、柱状跡
P304	円形	27×25	27	1	10YR5-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
P305	長楕円形	36×22	26	1	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	赤土層量を含む、柱状跡
P318	円形	43×41	42	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P322	(円形)	(19)×(18)	10	1	10YR5-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
P323	楕丸方形	32×28	42	1	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山土少量、褐色土層量を含む
P325	不整形方形	31×22	24	1	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P328	(楕円形)	(28)×(22)	30	1	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	地山アのわず少量含む、柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	地山アのわず少量含む(柱より多い)
P334	不整形円形	(37)×(36)	46	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アの(柱径10~20mm)少量含む、柱状跡
				1	10YR3-2 黒褐色	シルト	柱状跡
P341	楕丸方形	53×52	45	2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P342	円形	17×17	14	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	暗褐色土との混合土
P343	不整形円形	21×18	13	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	暗褐色土上との混合土
P344	楕円形	21×19	19	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P353	不整形円形	31×28	21	1	10YR3-2 暗褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P354	楕円形	30×26	19	1	10YR3-2 暗褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒少量を含む
P356	円形	39×37	24	1	10YR3-2 暗褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P365	方形	29×29	30	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アのわず少量含む、柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	暗褐色土(柱径10mm)少量含む
P366	円形	32×31	26	1	10YR3-1 黒褐色	粘土質シルト	地山粒少量を含む、柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	炭化物粒少量を含む
P367	不整形円形	34×31	41	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	炭化物多量を含む、柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P381	円形	36×34	28	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	1層より粘り強い
P388	方形	17×17	13	1	10YR2-3 暗褐色	シルト	地山土、炭化物粒少量を含む、柱状跡
				2	10YR4-3 土いり黄褐色	シルト	
P404 (楕円形)	34×(29)	32	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	柱状跡	
P407	方形	45×29	36	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	柱状跡
P408	楕円形	44×36	38	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	柱状跡
P411	不整形円形	25×25	33	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山粒多量を含む
P412	不整形円形	30×29	13	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	暗褐色土アのわず少量含む
P413	方形	30×29	28	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	混入含む、しまり強い
P416	円形	30×28	28	1	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	地山粒多量を含む、しまりなし、柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	しまり強い
P420	楕円形	35×30	29	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR4-3 土いり黄褐色	シルト	黄白色砂少量を含む
				3	10YR4-3 土いり黄褐色	シルト	黄白色砂少量を含む
P422	楕円形	54×39	50	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む、しまり強い
P469	方形	31×30	34	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	炭化物粒・炭土粒少量を含む、柱状跡
P477	方形	25×23	20	1	10YR3-4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物粒少量、炭土少量含む
				1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡
P478	方形	28×28	21	1	10YR3-2 暗褐色	粘土質シルト	地山粒・地山粒少量を含む、柱状跡
				2	10YR4-3 土いり黄褐色	シルト	暗褐色土Aとの混合土
P480	不整形円形	32×32	31	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	しまり強い、柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
				3	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	褐色土Aとの互層
P481	方形	31×26	27	1	10YR3-2 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山粒多量を含む
P483	方形	19×(15)	14	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	炭化物粒・炭土多量を含む
				2	10YR4-3 土いり黄褐色	シルト	炭分が沈着
P490	円形	32×28	17	1	10YR3-2 暗褐色	粘土質シルト	地山アのわず少量含む、柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山粒少量含む
P493	円形	45×45	35	1	10YR3-2 暗褐色	シルト	層下面に炭化物が層状に堆積、炭土アの(柱径10mm)少量含む
				2	10YR3-2 暗褐色	シルト	暗褐色土Aとの混合土、炭土アの(柱径10mm)多量を含む
				3	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む
P496	楕円形	24×20	10	1	10YR2-1 灰色	シルト	炭化物粒・炭土多量を含む
				2	2.5Y4-2 暗灰黄色	シルト	灰色土粒多量を含む
P497	円形	27×25	14	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒少量を含む、柱状跡
				2	10YR3-2 暗褐色	シルト	暗褐色土Aとの混合土
P498	不整形円形	24×24	18	1	10YR3-3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物粒・炭土少量を含む、柱状跡
				2	10YR3-2 暗褐色	シルト	地山アのわず少量含む

## 4 A区ピット 観測表(2)

遺構名	平面形	風長 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P499	円形	32×32	22	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山粒少量含む、柱状跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山粒多量含む
P513 (格鬥形)	44×40	41	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂(径10~40mm)少量含む、しまりなし、柱状跡	
			2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂(径10mm)多量、炭化物粒・焼土粒少量含む	
P514 (格鬥形)	47×49	41	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の少量、炭化物粒少量含む、柱状跡	
P515	円形	28×29	14	1	5YR3-4 暗黒褐色	シルト	焼土粒多量含む、柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒多量、炭化物粒・焼土粒少量含む
P521	-	56×49	33	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂含む
P522	格鬥形	45×49	38	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂含む
P523	格鬥形	58×54	30	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂含む
				3	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂含む
P524	-	58×41	38	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	炭化物含む、柱状跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山(7)の砂含む
P525	格鬥形	44×40	25	1	10YR3-1 黒褐色	粘土質シルト	柱状跡

## 4 A区ピット 集計表(1)

遺構名	グリッド	平面形	風長 (cm)	深さ (cm)	土色	土性	備考
P1	5	円形	32×30	24	-	暗褐色	砂質シルト
P2	5	円形	30×28	18	-	暗褐色	地山粒微量、炭化物粒・焼土粒少量含む、底面に方形の小孔あり
P3	5-12	格鬥形	30×22	26	-	暗褐色	砂質シルト
P4	5	円形	27×26	32	-	暗褐色	地山粒微量、炭化物粒少量含む
P5	5	格鬥形	30×22	20	-	暗褐色	砂質シルト
P6	12	-	49×116	5	-	暗褐色	シルト
P7	12	銅丸方形	33×29	26	-	暗褐色	シルト
P8	12	不整形	40×30	29	-	暗褐色	シルト
P9	37	長方形	42×22	13	-	黒褐色	シルト
P10	5	長方形	38×22	23	-	暗褐色	シルト
P11	6	格鬥形	48×42	31	-	暗褐色	シルト
P12	23	-	25×17	31	-	黒褐色	シルト
P13	6	格鬥形	28×24	11	-	暗褐色	砂質シルト
P14	6	格鬥形	26×24	15	-	暗褐色	シルト
P15	-	-	-	-	-	-	欠番
P16	5	格鬥形	18×16	16	-	暗褐色	シルト
P17	6	円形	23×22	15	-	暗褐色	シルト
P18	6	格鬥形	34×28	48	-	暗褐色	シルト
P19	6	格鬥形	28×24	19	-	暗褐色	シルト
P20	6	円形	30×26	15	-	暗褐色	シルト
P21	6	円形	28×26	26	-	暗褐色	シルト
P22	6	円形	30×29	17	-	暗褐色	シルト
P23	6	円形	25×22	17	-	暗褐色	シルト
P24	6	円形	30×28	22	-	暗褐色	シルト
P25	5	不整形	35×30	18	-	暗褐色	シルト
P26	5	格鬥形	48×33	37	-	暗褐色	シルト
P27	6	方形	22×20	38	-	暗褐色	シルト
P28	6	格鬥形	26×24	29	-	暗褐色	砂質シルト
P29	5	格鬥形	22×19	8	-	暗褐色	シルト
P30	6	円形	39×37	29	-	暗褐色	砂質シルト
P31	6	円形	43×38	3	-	暗褐色	シルト
P32	-	-	-	-	-	-	欠番
P33	6	格鬥形	18×16	22	-	暗褐色	砂質シルト
P34	6	格鬥形	38×26	27	-	暗褐色	シルト
P35	12	銅丸方形	32×30	29	-	暗褐色	砂質シルト
P36	12	格鬥形	37×32	62	-	暗褐色	砂質シルト
P37	-	-	-	-	-	-	欠番
P38	5	不整形	42×39	18	-	暗褐色	シルト
P39	12	銅丸方形	30×25	26	-	暗褐色	シルト
P40	-	-	-	-	-	-	欠番
P41	6	円形	27×24	36	-	暗褐色	シルト
P42	6	-	44×49	35	-	暗褐色	シルト
P43	-	-	-	-	-	-	欠番
P44	-	-	-	-	-	-	欠番(SB15-P5に重畳)
P45	4-5	格鬥形	28×24	37	-	暗褐色	砂質シルト
P46	6	格鬥形	31×24	28	-	暗褐色	シルト
P47	7	円形	20×17	4	-	暗褐色	シルト
P48	2-7	格鬥形	86×64	20	-	観察表参照	断面図参照
P49	-	-	-	-	-	-	欠番
P50	6	円形	32×32	11	-	暗褐色	シルト
P51	-	-	-	-	-	-	欠番
P52	6	円形	15×14	9	-	暗褐色	シルト
P53	6	格鬥形	36×22	17	-	暗褐色	砂質シルト
P54	6	円形	36×34	47	-	暗褐色	シルト
P55	6	-	18×16	14	-	暗褐色	砂質シルト
P56	6	円形	26×24	7	-	暗褐色	シルト
P57	6	円形	25×20	23	-	暗褐色	砂質シルト
P58	53	格鬥形	26×21	39	-	暗褐色	シルト

4A区ビット 集計表②

連番	ドリット	平面形	風船 (mm)	深さ (mm)	土色	土性	備	考
P59	7	円形	24×24	14	-	黒褐色	シルト	-
P60	24	円形	(19)×(18)	13	-	黒褐色	シルト	地山アロク層に含まむ
P61	7	楕円形	24×19	23	-	暗褐色	シルト	-
P62	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P63	7	楕丸方形	32×29	25	-	黒褐色	砂質シルト	地山段・地土段含む
P64	7	楕円形	30×24	11	-	黒褐色	シルト	-
P65	7	円形	33×30	23	-	暗褐色	砂質シルト	地山段・地土段含む
P66	7	楕円形	28×24	6	-	黒褐色	砂質シルト	-
P67	7	楕円形	23×18	14	-	暗褐色	砂質シルト	-
P68	7	楕円形	30×24	25	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク・地土段含む
P69	7	方形	24×23	23	-	黒褐色	砂質シルト	地山段・地土段含む
P70	7	楕円形	24×20	9	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P71	7	楕丸方形	39×30	43	-	黒褐色	砂質シルト	地山結合含む
P72	7	楕円形	38×30	33	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P73	7	楕円形	38×24	11	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P74	6	円形	17×15	5	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P75	7	方形	(20)×(25)	18	-	観察表参照	-	新面同属
P76	7	楕円形	20×18	14	-	黒褐色	砂質シルト	地山結合含む
P77	7	円形	26×25	15	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P78	7	円形	20×18	12	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P79	7	楕円形	25×20	16	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク・地土段含む
P80	7	不整形円形	36×31	29	-	暗褐色	砂質シルト	地山段・炭化物結合含む
P81	3	方形	19×16	11	-	暗褐色	シルト	地山アロク・地土段含む
P82	6	円形	30×30	25	-	暗褐色	砂質シルト	-
P83	6	長方形	(28)×14	5	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P84	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P85	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P86	13	-	22×(18)	13	-	黒褐色	砂質シルト	地山段・地土段含む
P87	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P88	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P89	3	楕丸方形	31×28	31	-	黒褐色	砂質シルト	地山結合含む
P90	24	-	(28)×26	23	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物微量を含む
P91	23	方形	24×22	18	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物微量を含む
P92	8	円形	18×16	17	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P93	7	楕円形	28×25	13	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P94	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P95	6	楕丸方形	22×20	32	-	黒褐色	シルト	地山段・地土段含む
P96	6	不整形円形	40×29	40	-	暗褐色	シルト	地山結合含む
P97	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P98	7	楕円形	28×25	9	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P99	7	方形	28×24	37	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク少量、新面形跡状
P100	2	楕丸方形	74×48	39	-	観察表参照	-	柱状土、部SK84、新面同属
P101	20	楕円形	24×(18)	12	-	暗褐色	シルト	炭化物微量を含む
P102	7	方形	48×45	35	-	観察表参照	-	新面同属
P103	14	不整形円形	(29)×(20)	13	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量含む
P104	7	円形	30×27	20	-	暗褐色	砂質シルト	地山段・地土段含む
P105	8	円形	31×31	39	-	黒褐色	砂質シルト	地山結合含む
P106	8	楕円形	39×28	17	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む、新面形跡状
P107	8	円形	24×23	11	-	黒褐色	砂質シルト	地山段・地土段含む
P108	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P109	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P110	7-8	楕円形	46×42	43	-	観察表参照	-	新面同属
P111	7	方形	24×21	29	-	暗褐色	シルト	地山アロク・炭化物・地土段少量含む
P112	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P113	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P114	8	楕円形	(29)×(20)	13	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P115	8	-	(29)×(24)	25	-	暗褐色	砂質シルト	地山段・炭化物・地土段少量含む、攪乱を受ける
P116	8	円形	22×20	11	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク・炭化物・地土段少量含む
P117	8	円形	18×17	23	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P118	8	-	29×(29)	25	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む、攪乱を受ける
P119	8	不整形円形	32×29	41	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P120	8	楕円形	32×27	22	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P121	8	方形	22×20	30	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P122	8	楕円形	33×29	14	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P123	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P124	8	楕円形	38×33	37	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P125	8	円形	25×(21)	12	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む、攪乱を受ける
P126	5-12	方形	26×24	22	-	暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量含む
P127	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P128	7	長方形	38×18	34	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P129	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P130	8	楕丸方形	37×32	20	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P131	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P132	8	円形	20×19	17	-	暗褐色	砂質シルト	地山結合含む
P133	8	円形	36×32	58	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物少量含む

## 4A区ピット 集計表①

番 号	アグリッド	平面形	幅 (cm)	長さ (cm)	土 色	土 色	備 考	
P134	5	長方形	36×25	23	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物粒微量に含む
P135	5	円形	24×24	23	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物粒微量に含む
P136	3	楕円形	(19)×(12)	4	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P137	6	-	(17)×14	9	-	暗褐色	シルト	-
P138	6	楕円形	31×22	16	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P139	6	楕円形	26×18	14	-	暗褐色	シルト	-
P140	5	楕円形	25×22	34	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒、白色粒含む
P141	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P142	5	円形	24×(22)	32	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む、覆土を受ける
P143	5	楕円形	(28)×(23)	41	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む、覆土を受ける
P144	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P145	12	方形	22×20	29	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む、覆土を受ける
P146	5	方形	28×24	19	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P147	6	楕円形	28×24	25	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P148	5	円形	18×14	11	-	暗褐色	シルト	地山粒含む
P149	6	楕円形	(22)×18	30	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒含む
P150	6	-	31×20	38	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒含む
P151	7	楕円形	23×20	10	-	暗褐色	シルト	地山粒含む
P152	7	方形	(33)×(30)	25	-	暗褐色	シルト	地山粒含む
P153	7	長方形	25×14	24	-	暗褐色	シルト	地山粒含む
P154	7	楕円形	23×18	10	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P155	7	-	(28)×(26)	36	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒含む
P156	7	楕円形	25×22	27	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒、炭化物・焼土粒含む
P157	7	楕円形	30×42	32	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P158	7	楕円形	29×42	32	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒含む
P159	7	円形	33×30	4	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P160	6	円形	28×28	27	-	暗褐色	シルト	地山粒含む
P161	6	円形	26×23	23	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒含む
P162	6	楕円形	34×30	8	-	暗褐色	砂質シルト	-
P163	12	長方形	(26)×(20)	31	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量、焼土粒含む、覆土を受ける
P164	6	-	(32)×25	32	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P165	5	楕円形	36×26	12	-	暗褐色	シルト	地山粒含む
P166	5	楕円形	24×22	32	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P167	5	-	(28)×(26)	13	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P168	5	円形	24×22	11	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P169	6	楕円形	30×13	19	-	暗褐色	砂質シルト	-
P170	5	楕円形	22×17	7	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P171	5	円形	23×22	24	-	黒褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P172	13	方形	25×23	14	-	黒褐色	粘土質シルト	暗褐色土少量を含む、しまり強い
P173	12	円形	22×19	13	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P174	13	長方形	(28)×(23)	33	-	灰褐色	シルト	覆土を受ける
P175	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P176	13	方形	32×31	14	-	灰褐色	砂質シルト	白色粒微量に含む
P177	13	方形	27×27	41	観察未参照	-	-	新断面調査
P178	14	楕円形	45×41	17	-	暗褐色	シルト	-
P179	14	楕円形	49×41	22	-	にぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アロク少量、炭化物粒少量含む
P180	14	方形	34×29	42	-	暗褐色	粘土質シルト	-
P181	13-24	楕円形	23×22	9	-	暗褐色	シルト	-
P182	24	円形	28×(26)	28	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
P183	14	不整形	30×28	18	-	暗褐色	シルト	-
P184	14	方形	36×30	32	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量含む、しまり強い
P185	6	楕円形	35×30	38	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P186	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P187	12	円形	22×20	34	-	暗褐色	シルト	灰褐色土アロク少量を含む
P188	23	楕円形	41×28	29	-	黒褐色	シルト	-
P189	23	方形	(23)×(23)	29	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量含む
P190	23	長方形	51×34	62	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物粒を含む
P191	14	楕円形	44×36	12	-	暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒含む
P192	14	楕円形	(28)×(23)	11	-	灰褐色	粘土質シルト	覆土を受ける
P193	14-25	楕円形	60×54	42	-	暗褐色	シルト	灰褐色土アロク少量、炭化物粒・焼土少量含む
P194	15	楕円形	34×30	15	-	黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土少量含む
P195	15	楕円形	(33)×35	48	観察未参照	-	-	新断面調査
P196	15	円形	29×28	25	-	暗褐色	シルト	炭化物粒少量含む、しまり強い
P197	25	方形	29×28	45	-	にぶい黄褐色	シルト	-
P198	24	方形	34×(23)	13	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量を含む、しまり強い
P199	24	円形	21×18	12	-	暗褐色	シルト	炭化物粒微量を含む
P200	24	円形	21×18	20	-	暗褐色	シルト	炭化物粒微量を含む
P201	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P202	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P203	38	方形	19×19	25	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P204	24	方形	23×21	16	-	暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量、炭化物粒微量を含む
P205	37	方形	30×28	24	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P206	37	円形	23×21	23	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
P207	37	円形	30×28	9	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
P208	36	縦長方形	54×50	55	-	暗褐色	粘土質シルト	地山アロク微量、炭化物・焼土少量を含む、しまり強い

4A区ビット 集計表(4)

連番	アリット	平面形	風速 (m/s)	深さ (m)	土色	土性	備考	
P209	26	方形	30×25	14	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量を含む。しまり強い
P210	24	隅丸方形	53×36	35	-	暗灰黄褐色	砂質シルト	しまり強い
P211	24-38	円形	24×24	17	-	暗褐色	粘土質シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P212	14	隅丸方形	75×56	51	観察表参照	-	-	前面国府藏
P213	7	円形	36×24	14	-	黒褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P214	7	楕円形	63×(25)	15	-	黒褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P215	14	-	50×46	51	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量を含む。履乱を受ける
P216	38	方形	27×23	33	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量含む
P217	6	楕円形	25×20	23	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P218	6	円形	38×36	49	-	黒褐色	シルト	-
P219	38	円形	50×49	20	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
P220	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P221	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P222	7	方形	28×25	12	-	黒褐色	砂質シルト	地山アロク含む
P223	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P224	14	円形	30×(20)	11	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P225	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P226	2	隅丸方形	54×49	28	観察表参照	-	-	前面国府藏
P227	6	-	(25)×(25)	36	-	暗褐色	シルト	-
P228	3	方形	18×17	27	-	黒褐色	砂質シルト	地山粒・焼土粒含む
P229	6	楕円形	40×(32)	23	-	暗褐色	シルト	焼土粒少量を含む
P230	26-40	方形	49×47	33	観察表参照	-	-	前面国府藏
P231	26	楕円形	36×22	38	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P232	26	隅丸方形	25×20	12	-	黒褐色	シルト	-
P233	26	円形	37×35	31	-	黒褐色	シルト	-
P234	15	-	54×42	30	-	暗褐色	シルト	-
P235	15	隅丸方形	19×16	33	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P236	5	楕円形	22×16	22	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P237	8-13	-	(60)×(40)	45	-	黒褐色	シルト	地山アロク少量を含む
P238	14	円形	20×19	31	-	黒褐色	粘土質シルト	しまり強い
P239	14	楕円形	35×27	10	-	暗褐色	シルト	地山アロク・炭化物粒少量含む。しまり強い
P240	8	-	(44)×(32)	30	-	暗褐色	シルト	しまり強い
P241	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P242	14	楕円形	36×28	25	観察表参照	-	-	前面国府藏
P243	8	楕円形	22×(15)	18	-	暗灰黄褐色	砂質シルト	鉄分沈着あり
P244	6	-	31×(24)	23	-	黒褐色	シルト	地山粒含む
P245	6	-	30×(18)	19	-	暗灰黄褐色	シルト	地山アロク含む
P246	8	-	(28)×(20)	22	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト	しまり強い
P247	6	-	(29)×(21)	11	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト	粘土下に灰色粘土あり。しまり強い。他のビットより古い
P248	14	不整形円形	40×66	16	-	暗褐色	シルト	他のビットより古い
P249	7	円形	30×27	16	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量を含む。他のビットより古い
P250	14-25	楕円形	42×38	27	-	暗灰黄褐色	シルト	地山アロク少量を含む。他のビットより古い
P251	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD77-P1に欠番)
P252	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD77-P2に欠番)
P253	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD77-P3に欠番)
P254	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD77-P4に欠番)
P255	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD77-P5に欠番)
P256	6	円形	(29)×23	47	-	暗褐色	砂質シルト	地山粒含む
P257	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD77-P6に欠番)
P258	5	楕円形	28×22	11	-	暗褐色	シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P259	5	不整形円形	26×26	18	-	暗褐色	シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P260	5	-	26×(20)	10	-	暗褐色	シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P261	5	楕円形	33×28	12	-	暗褐色	シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P262	5	-	40×(29)	24	-	暗褐色	シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P263	23	円形	33×30	28	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク・焼土粒少量含む
P264	12	円形	20×19	31	-	暗褐色	シルト	地山粒少量含む
P265	12	-	26×(13)	14	-	暗褐色	シルト	地山粒少量含む
P266	23	-	(34)×(29)	19	-	暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量含む
P267	23	円形	(31)×(31)	26	-	暗褐色	砂質シルト	-
P268	22	円形	40×36	34	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量。炭化物微量を含む
P269	11-12	円形	31×30	28	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量。炭化物微量を含む
P270	8	方形	36×25	22	-	暗褐色	シルト	地山土含む
P271	8	-	23×(44)	13	-	暗褐色	シルト	土器片を含む
P272	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P273	23	-	(44)×(30)	17	-	暗褐色	シルト	-
P274	23	-	(42)×(22)	24	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロク少量含む
P275	8	楕円形	(28)×25	36	-	にんい黄褐色	シルト	暗褐色土含む。履乱を受ける
P276	7	楕円形	36×(20)	19	-	暗褐色	シルト	地山アロク含む
P277	7	不整形円形	32×29	22	-	暗灰黄褐色	シルト	地山アロク含む
P278	25	不整形円形	75×57	27	-	暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む
P279	15	不整形方形	54×50	61	観察表参照	-	-	前面国府藏
P280	6	楕円形	30×18	14	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量含む。しまりなし
P281	37	楕円形	44×31	48	-	暗褐色	シルト	暗褐色土アロク少量を含む
P282	53	楕円形	32×28	18	-	暗褐色	シルト	地山アロク少量。炭化物粒・焼土粒微量を含む
P283	53	楕円形	34×31	12	-	暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む

4A区ビット 集計表5

集積名	アグリ	平面形	幅(mm)	深さ(mm)	土色	土色	備考
P204	53	不整円形	35×25	38	-	黒褐色	炭化物少量、焼土粒微量に含む
P205	69	楕円形	37×20	20	-	黒褐色	砂質シルト
P206	69	-	24×20	13	-	黒褐色	シルト
P207	69	不整楕円形	35×25	23	-	黒褐色	シルト
P208	69	楕円形	26×21	8	-	黒褐色	シルト
P209	69	楕円形	29×25	24	-	黒褐色	シルト
P200	69	楕円方形	29×29	23	-	黒褐色	シルト
P201	83	方形	27×20	15	-	黒褐色	シルト
P202	15	円形	23×23	17	観察表参照	-	炭化物・焼土少量含む
P203	15	楕円形	27×24	8	観察表参照	-	他のビットより古い、断面同層載
P204	15	円形	20×20	8	観察表参照	-	他のビットより古い、断面同層載
P205	25	楕円形	34×44	25	観察表参照	-	断面同層載
P206	-	-	-	-	-	-	欠番
P207	37	長楕円形	66×23	35	観察表参照	-	断面同層載
P208	-	-	-	-	-	-	欠番
P209	38	楕円方形	23×18	14	-	黒褐色	シルト
P300	38	方形	36×25	26	観察表参照	-	断面同層載
P301	37	円形	26×25	27	-	黒褐色	粘土質シルト
P302	37	円形	33×30	27	観察表参照	-	断面同層載
P303	38	楕円形	29×23	22	観察表参照	-	断面同層載
P304	33-54	円形	27×25	27	観察表参照	-	断面同層載
P305	54	長楕円形	36×22	26	観察表参照	-	断面同層載
P306	53	楕円形	23×19	13	-	黒褐色	シルト
P307	54-70	方形	30×19	7	-	黒褐色	シルト
P308	53	長楕円形	69×35	15	-	黒褐色	シルト
P309	53	不整楕円形	23×19	12	-	黒褐色	シルト
P310	53	円形	17×16	23	-	黒褐色	粘土質シルト
P311	69	不整円形	31×30	23	-	黒褐色	粘土質シルト
P312	24	楕円方形	22×18	7	-	黒褐色	シルト
P313	24	円形	27×24	22	-	黒褐色	シルト
P314	24	楕円形	23×19	8	-	黒褐色	シルト
P315	24	-	25×19	23	-	黒褐色	粘土質シルト
P316	24	-	27×23	14	-	黒褐色	シルト
P317	25	不整円形	24×20	11	-	黒褐色	シルト
P318	25	円形	43×41	42	観察表参照	-	断面同層載
P319	13-24	-	23×20	21	-	黒褐色	シルト
P320	54	楕円方形	27×23	17	-	黒褐色	粘土質シルト
P321	53	楕円形	19×16	27	-	黒褐色	粘土質シルト
P322	53	楕円方形	49×18	10	観察表参照	-	断面同層載
P323	70	楕円方形	32×28	42	観察表参照	-	断面同層載
P324	54	不整円形	26×26	44	-	黒褐色	シルト
P325	54	不整方形	31×22	24	観察表参照	-	断面同層載
P326	13	円形	17×16	9	-	黒褐色	シルト
P327	54-70	楕円形	31×21	22	-	黒褐色	粘土質シルト
P328	24	-	29×23	20	観察表参照	-	断面同層載
P329	3	-	24×20	30	-	黒褐色	砂質シルト
P330	8	-	16×16	14	-	黒褐色	シルト
P331	7	円形	14×14	15	-	黒褐色	シルト
P332	8	円形	17×17	15	-	黒褐色	シルト
P333	70	楕円形	31×24	18	-	黒褐色	シルト
P334	14	-	27×24	46	観察表参照	-	断面同層載
P335	14	-	29×24	28	-	黒褐色	シルト
P336	15	円形	24×23	9	-	黒褐色	シルト
P337	25	不整楕円形	33×18	23	-	黒褐色	シルト
P338	15	不整楕円形	34×43	17	-	黒褐色	シルト
P339	15	不整方形	28×25	12	-	黒褐色	シルト
P340	15	楕円形	37×34	12	-	黒褐色	シルト
P341	25-38	楕円方形	53×52	45	観察表参照	-	断面同層載
P342	53	円形	17×17	14	観察表参照	-	SD600深さか、断面同層載
P343	53	不整円形	21×18	13	観察表参照	-	SD600深さか、断面同層載
P344	53	楕円形	21×19	19	観察表参照	-	SD600深さか、断面同層載
P345	-	-	-	-	-	-	欠番
P346	26	方形	62×60	42	-	黒褐色	シルト
P347	25	楕円形	29×20	19	-	黒褐色	シルト
P348	26-40	楕円形	68×47	38	-	黒褐色	シルト
P349	25	楕円方形	34×30	41	-	黒褐色	シルト
P350	6-13	不整楕円形	29×23	17	-	黒褐色	シルト
P351	12	円形	22×22	22	-	黒褐色	シルト
P352	12	楕円形	23×17	13	-	黒褐色	シルト
P353	26	不整円形	31×28	21	観察表参照	-	断面同層載
P354	40	楕円形	30×26	19	観察表参照	-	断面同層載
P355	40	楕円方形	22×20	18	-	黒褐色	シルト
P356	41	円形	39×37	24	観察表参照	-	断面同層載
P357	40	-	36×16	17	-	黒褐色	シルト
P358	54	不整円形	26×25	16	-	黒褐色	シルト

## 4A区ビット 集計表(1)

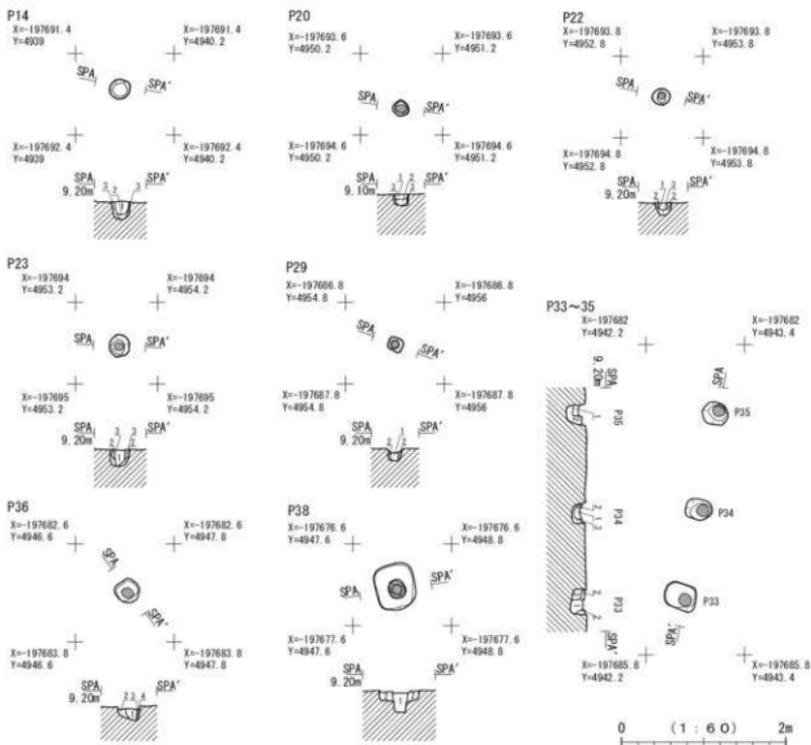
集積名	ビット	平面形	規格(mm)	深さ(mm)	土色	土性	備考	
P359	70	楕円形	33×27	17	-	暗褐色	シルト	炭化物粒・機土の少量含む
P360	70	円形	21×19	10	-	暗褐色	シルト	炭化物粒少量を含む
P361	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P362	54	楕円形	21×16	11	-	暗灰黄褐色	シルト	
P363	54	円形	22×20	8	-	暗褐色	シルト	炭化物少量含む
P364	54	円形	23×21	20	-	暗灰黄褐色	シルト	暗褐色土粒少量含む
P365	54	方形	29×29	30	観察表参照			前面図掲載
P366	70	円形	32×31	36	観察表参照			前面図掲載
P367	54	不整形円形	34×31	41	観察表参照			
P368	70	楕円形	17×14	20	-	黒褐色	粘土質シルト	
P369	70	円形	16×13	14	-	黒褐色	粘土質シルト	
P370	70	円形	16×15	10	-	黒褐色	粘土質シルト	
P371	70	円形	13×14	11	-	にじい・黄褐色	シルト	
P372	85	円形	24×23	24	-	暗緑褐色	粘土質シルト	
P373	70	不整形	46×31	19	-	黒褐色	シルト	
P374	96	長楕円形	37×22	13	-	黒褐色	シルト	しまりなし
P375	96	楕丸方形	33×27	33	-	にじい・黄褐色	シルト	暗褐色土含む
P376	96	円形	21×21	16	-	暗灰黄褐色	シルト	しまりなし
P377	96	円形	16×15	10	-	暗褐色	粘土質シルト	
P378	96	楕円形	34×30	21	-	にじい・黄褐色	シルト	鉄分沈着目立つ
P379	83	円形	15×13	10	-	黒褐色	シルト	
P380	83	円形	17×17	11	-	黒褐色	シルト	
P381	95	円形	36×34	38	観察表参照			前面図掲載
P382	95	楕円形	29×24	16	-	暗灰黄褐色	シルト	
P383	96-104	長楕円形	73×41	18	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト	鉄分沈着あり
P384	96	円形	38×36	33	-	にじい・黄褐色	シルト	
P385	39	楕円形	22×19	14	-	黒褐色	粘土質シルト	炭化物粘土の少量含む
P386	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD15-19に転写)
P387	39	楕円形	29×24	20	-	暗褐色	シルト	
P388	55	方形	17×17	13	-	にじい・黄褐色	シルト	
P389	38-39	円形	20×20	4	-	暗褐色	シルト	炭化物粒少量を含む
P390	39	楕円形	20×18	18	-	暗褐色	粘土質シルト	地山粒少量を含む
P391	38	-	54×44	24	-	暗褐色	シルト	地山7の少量を含む、擾乱を受ける
P392	55	方形	18×14	10	-	黒褐色	シルト	棕色土の少量を含む
P393	55	方形	18×18	15	-	暗褐色	シルト	地山7の少量を含む
P394	55	円形	24×22	9	-	暗褐色	シルト	炭化物粒少量含む
P395	55	楕丸方形	24×22	7	-	暗褐色	シルト	炭化物粘土質土を含む
P396	55	円形	18×17	6	-	暗褐色	シルト	炭化物粒少量を含む、鉄分沈着あり
P397	39	円形	19×17	22	-	暗褐色	シルト	地山7の少量を含む
P398	39	楕円形	31×25	14	-	暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒の少量含む
P399	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD15-19に転写)
P400	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD15-19に転写)
P401	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD15-19に転写)
P402	71	楕円形	29×22	21	-	暗褐色	粘土質シルト	炭化物粒少量を含む
P403	71	円形	17×14	7	-	暗灰黄褐色	シルト	
P404	71	-	34×29	32	観察表参照			前面図掲載
P405	71	円形	25×23	9	-	暗灰黄褐色	シルト	
P406	54-55	円形	41×33	23	-	暗褐色	粘土質シルト	地山7の少量含む
P407	71	方形	45×29	16	観察表参照			前面図掲載
P408	71	楕円形	44×36	38	観察表参照			前面図掲載
P409	55	円形	18×16	11	-	暗褐色	シルト	地山粒少量を含む
P410	71	楕円形	32×28	21	-	暗褐色	シルト	暗褐色土の少量含む
P411	71	不整形円形	25×25	33	観察表参照			前面図掲載
P412	71	不整形円形	30×29	13	観察表参照			前面図掲載
P413	71	方形	30×29	28	観察表参照			前面図掲載
P414	71	楕円形	36×27	36	-	黒褐色	シルト	地山7の少量含む
P415	34-55	楕円形	71×54	15	-	暗褐色	シルト	炭化物粒・機土の少量を含む
P416	71	円形	30×28	28	観察表参照			前面図掲載
P417	54	円形	18×18	6	-	にじい・黄褐色	シルト	鉄分の沈着あり
P418	38-54	円形	16×15	25	-	黒褐色	シルト	地山粒少量含む
P419	38	円形	18×18	11	-	暗褐色	シルト	機土粒少量を含む
P420	71	楕円形	35×30	29	観察表参照			前面図掲載
P421	54	楕円形	41×35	20	-	にじい・黄褐色	シルト	
P422	71	楕円形	54×39	50	観察表参照			前面図掲載
P423	55-71	円形	32×29	32	-	黒褐色	シルト	地山粒少量含む
P424	39	円形	29×26	17	-	暗褐色	シルト	地山7の機土粒少量含む
P425	55	不整形円形	33×27	30	-	暗褐色	シルト	地山7の少量を含む
P426	55	円形	25×24	30	-	暗褐色	シルト	地山7の少量を含む
P427	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SD15-19に転写)
P428	-	-	-	-	-	-	-	欠番
P429	39	楕円形	22×18	38	-	黒褐色	シルト	地山粒少量を含む、しまりなし
P430	39-55	円形	16×15	16	-	暗褐色	シルト	
P431	55	方形	23×22	21	-	暗褐色	シルト	地山粒少量含む
P432	72	不整形円形	31×30	29	-	暗褐色	シルト	地山粒少量を含む
P433	56-72	楕円形	24×18	18	-	黒褐色	シルト	地山粒少量を含む

## 4A区ビット 集計表

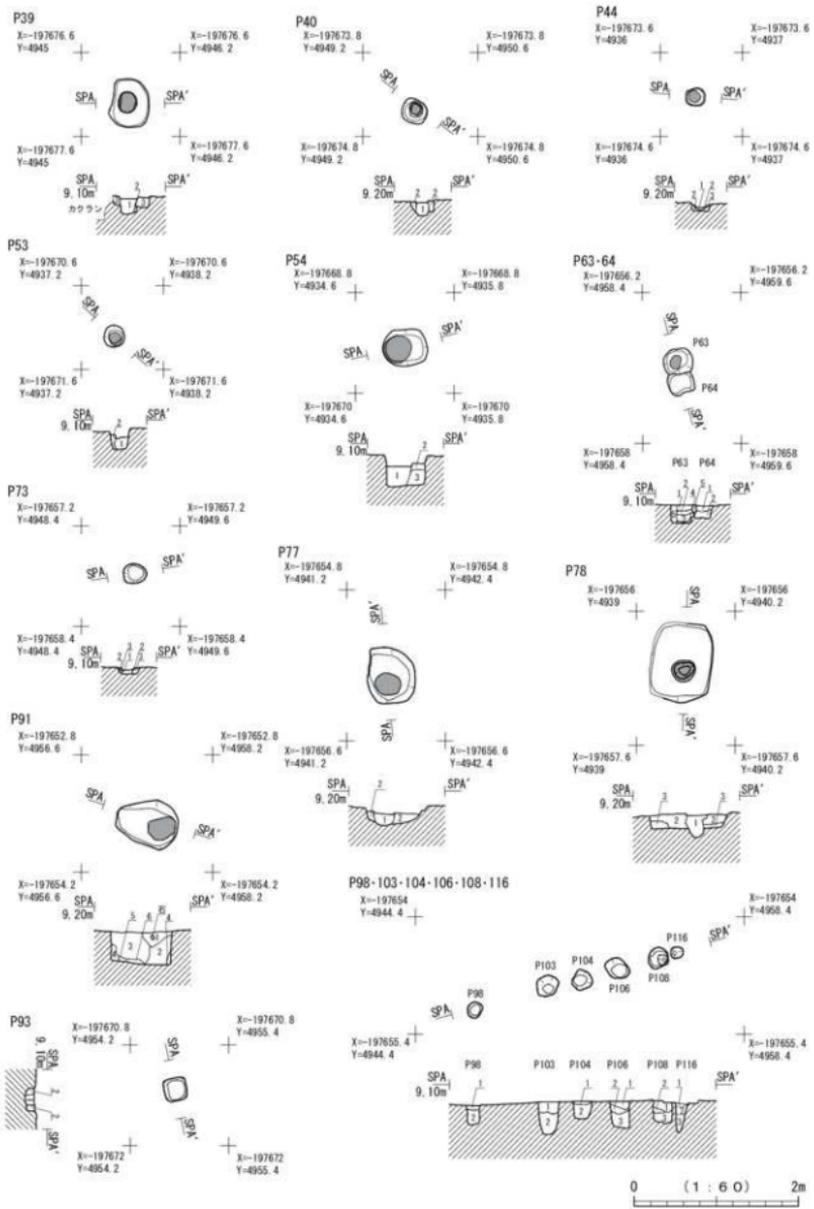
番 号	アトリッド	平面形	幅 (mm)	深さ (mm)	上 色	上 色	備 考
P424	71	楕円形	22×20	20	-	黒褐色	地山粒少量を含む
P425	72	楕円形	40×28	26	-	黒褐色	地山粒少量を含む
P426	72	楕円方形	25×20	16	-	黒褐色	地山アコが少量含む
P427	72	円形	26×25	22	-	黒褐色	地山粒少量を含む
P428	86	円形	22×20	17	-	黒褐色	シルト
P429	86	方形	22×21	31	-	黒褐色	シルト
P440	85-86	楕円形	31×24	12	-	黒褐色	シルト
P441	71	長楕円形	32×24	33	-	黒褐色	シルト
P442	71	楕円形	24×20	21	-	黒褐色	シルト
P443	71	楕円形	23×19	15	-	黒褐色	シルト
P444	71	楕円形	19×16	20	-	黒褐色	シルト
P445	71	円形	22×20	15	-	黒褐色	シルト
P446	71	円形	21×20	17	-	黒褐色	シルト
P447	71	楕円方形	27×27	29	-	黒褐色	シルト
P448	71	円形	18×17	16	-	黒褐色	シルト
P449	72	円形	23×21	27	-	黒褐色	シルト
P450	39	円形	35×34	14	-	黒褐色	シルト
P451	39	円形	29×29	18	-	黒褐色	シルト
P452	85	不整形円形	35×31	21	-	暗灰黄褐色	シルト
P453	85	円形	14×14	7	-	暗灰黄褐色	シルト
P454	85	不整形円形	36×34	28	-	黒褐色	シルト
P455	85	楕円形	26×21	28	-	黒褐色	シルト
P456	85	楕円方形	31×26	17	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト
P457	85	楕円形	24×22	10	-	黒褐色	シルト
P458	96	楕円形	27×28	20	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト
P459	86	円形	32×28	21	-	黒褐色	シルト
P460	96	方形	27×25	26	-	暗灰黄褐色	シルト
P461	97	円形	30×29	23	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト
P462	-	-	-	-	-	-	欠番
P463	97	方形	31×30	24	-	灰黄褐色	粘土質シルト
P464	97	楕円形	33×26	30	-	黒褐色	シルト
P465	97	方形	22×18	17	-	黒褐色	シルト
P466	86-97	楕円形	33×22	20	-	黒褐色	シルト
P467	86-97	楕円形	40×18	13	-	黒褐色	シルト
P468	97	方形	17×17	19	-	黒褐色	シルト
P469	97	方形	31×30	34	観察表参照	-	視孔を受ける、新面同様
P470	97	楕円形	30×22	11	-	黒褐色	シルト
P471	98	方形	25×23	18	-	黒褐色	シルト
P472	98	円形	25×22	10	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト
P473	98	円形	26×22	16	-	暗灰黄褐色	シルト
P474	98	円形	17×16	13	-	黒褐色	シルト
P475	97	円形	19×19	13	-	黒褐色	シルト
P476	97	不整形円形	34×34	13	-	暗灰黄褐色	粘土質シルト
P477	97	方形	25×23	20	観察表参照	-	新面同様
P478	98	方形	28×28	21	観察表参照	-	新面同様
P479	98	楕円形	26×22	20	-	黒褐色	シルト
P480	97-98	不整形円形	32×32	31	観察表参照	-	新面同様
P481	98	方形	31×26	27	観察表参照	-	新面同様
P482	98-106	円形	26×24	13	-	黒褐色	シルト
P483	98-106	方形	19×19	14	観察表参照	-	新面同様
P484	98-106	楕円形	28×24	11	-	黒褐色	シルト
P485	99	円形	19×18	18	-	黒褐色	シルト
P486	-	-	-	-	-	-	欠番
P487	-	-	-	-	-	-	欠番
P488	86	円形	24×23	19	-	黒褐色	シルト
P489	86	円形	24×33	17	-	黒褐色	シルト
P490	73	円形	32×28	17	観察表参照	-	炭化物粒少量含む
P491	-	-	-	-	-	-	新面同様
P492	-	-	-	-	-	-	欠番
P492	86	楕円形	42×20	16	-	黒褐色	シルト
P493	98	円形	45×45	35	観察表参照	-	炭化物粒少量含む
P494	53	楕円形	42×37	20	-	黒褐色	シルト
P495	37	楕円形	26×21	8	-	黒褐色	シルト
P496	73	楕円形	24×20	10	観察表参照	-	新面同様
P497	56	円形	27×25	14	観察表参照	-	新面同様
P498	56	不整形円形	24×24	18	観察表参照	-	新面同様
P499	56	円形	32×32	22	観察表参照	-	新面同様
P500	106	円形	24×24	25	-	黒褐色	シルト
P501	97	-	24×12	8	-	黒褐色	シルト
P502	-	-	-	-	-	-	欠番
P503	57	円形	45×42	22	-	黒褐色	シルト
P504	73	円形	35×33	21	-	黒褐色	シルト
P505	98	円形	35×33	27	-	暗灰黄褐色	シルト
P506	72	円形	34×22	24	-	黒褐色	シルト
P507	56	円形	29×27	21	-	黒褐色	シルト
P508	97-98	円形	42×42	29	-	黒褐色	シルト

4A区ビット 集計表

機種名	ビット	平面形	風程 (mm)	深さ (mm)	主色	主径	備 考
PS09	39	-	21 × (15)	21	-	暗褐色	シルト 地山粉少量を含む
PS10	39	-	20 × (14)	8	-	灰黄褐色	粘土質シルト
PS11	-	-	-	-	-	-	欠番(S188の一部分)
PS12	86	不整形円形	51 × 38	14	-	暗褐色	シルト 地山アロケ少量を含む
PS13	14-25	-	(14) × (10)	44	-	-	断面図参照
PS14	25	-	(27) × (26)	41	-	-	断面図参照
PS15	25	円形	28 × (25)	14	-	-	断面図参照
PS16	-	-	-	-	-	-	欠番(S188の一部分)
PS17	86	不整形円形	32 × 29	25	-	暗褐色	シルト 地山粉少量、機土粒微量を含む
PS18	86	方形	32 × 27	20	-	暗褐色	シルト 地山粉少量、機土粒微量を含む
PS19	86	楕円形	30 × (18)	10	-	暗褐色	シルト 地山粉少量、機土粒微量を含む
PS20	56	楕円形	38 × 24	19	-	暗褐色	シルト
PS21	39	-	80 × (68)	33	-	-	断面図参照
PS22	39-55	楕円形	45 × (45)	38	-	-	断面図参照 他のビットより古い、風化を受ける。断面図参照
PS23	55	楕円形	58 × 54	30	-	-	断面図参照 他のビットより古い、断面図参照
PS24	55	-	58 × (31)	38	-	-	断面図参照 他のビットより古い、断面図参照
PS25	55	楕円形	44 × 40	25	-	-	断面図参照 他のビットより古い、断面図参照
PS26	56	長楕円形	52 × 20	10	-	暗褐色	シルト
PS27	56	不整形円形	48 × 44	14	-	暗褐色	シルト 地山粉少量、炭化物粒微量を含む。他のビットより古い
PS28	56	不整形円形	22 × 20	10	-	暗褐色	粘土質シルト 暗褐色土アロケ少量含む
PS29	40	長楕円形	44 × 27	18	-	暗褐色	シルト 炭化物粒・機土粒少量含む。しまり弱い
PS30	40	楕円形	45 × 38	21	-	暗褐色	シルト 地山アロケ・炭化物・機土粒・暗褐色土アロケ含む



第61図 4B区ビット(1)



第62図 4B区ビット(2)

## 4 区ビッド 観察表(1)

通称名	平面形	規模(m)	深さ(m)	層位	土色	土性	備	考
P14	円形	24×23	21	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	柱状跡	
				3	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト		
P20	円形	18×17	13	1	10YR5/1 褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR4/1 褐色	シルト	柱状跡	
				3	10YR5/4 土赤黄褐色	シルト		
P22	円形	20×20	14	1	10YR4/1 褐色	シルト	柱状跡	
				2	10YR5/1 褐色	シルト		
				3	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト		
P23	円形	28×25	20	1	10YR2/1 灰色	シルト	柱状跡	
				2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
				3	10YR4/1 褐色	シルト		
P29	長方形	19×16	15	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付含む、柱状跡	
				2	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト		
P33	方形	40×31	18	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山小アの付・堆土粒微量を含む、柱状跡	
				2	10YR4/4 褐色	シルト	堆土小アの付・炭化物微量を含む	
				3	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P34	方形	33×25	16	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物多量、堆土粒少量含む、柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト		
				3	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト		
P35	方形	31×28	23	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山小アの付・堆土粒少量含む、柱状跡	
				2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄含む	
P36	円形	28×28	27	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山小アの付含む、柱状跡	
				2	10YR5/3 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径10cm)少量含む	
				3	10YR6/4 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)少量含む	
P38	方形	57×49	26	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アの付(径5cm)微量を含む	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付・堆土アの付含む、柱状跡	
				3	10YR5/4 土赤黄褐色	シルト	地山アの付少量を含む	
				4	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)多量を含む、柱状跡	
P39	方形	58×45	21	1	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト	地山アの付多量を含む、柱状跡	
				2	10YR6/1 褐色	シルト	柱状跡	
				3	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アの付多量を含む	
P40	円形	32×28	20	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アの付(径10cm)多量を含む、柱状跡	
				2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)少量含む	
P44	円形	23×21	10	1	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	炭化物微量、前面に酸化鉄沈着、柱状跡	
				2	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト	柱状跡	
				3	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P53	円形	36×25	25	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒含む、柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付多量、炭化物少量含む	
P54	隅丸方形	54×44	38	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山小アの付少量含む、柱状跡	
				2	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付多量を含む	
				3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付少量含む	
P63	長方形	36×30	19	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)多量を含む、柱状跡	
				2	10YR6/3 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径5cm)含む、柱状跡	
				3	10YR4/1 褐色	シルト	地山アの付多量を含む、柱状跡	
				4	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	地山アの付(径5cm)少量含む、柱状跡	
				5	10YR5/4 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径5cm)少量含む	
P64	長方形	32×	14	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アの付少量含む	
				2	10YR3/1 暗褐色	シルト	地山アの付多量を含む	
P73	円形	29×23	8	1	10YR4/1 褐色	シルト	上面に炭化物含む、柱状跡	
				2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	酸化鉄含む	
				3	10YR4/3 土赤黄褐色	シルト		
P77	不整形円形	66×58	25	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付・堆土粒少量含む、柱状跡	
P78	長方形	96×74	29	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付多量を含む	
				2	10YR4/1 褐色	砂質シルト	地山アの付・堆土粒含む、柱状跡	
				3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アの付含む	
P91	不整形円形	76×56	39	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アの付(径5-5cm)少量含む、柱状跡	
				2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	地山アの付(径5-10cm)多量を含む、柱状跡	
				3	10YR5/6 黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)多量を含む	
				4	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	地山アの付・酸化鉄微量を含む	
				5	10YR5/4 土赤黄褐色	シルト	地山アの付含む	
				6	10YR6/6 黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄含む	
P93	円形	28×28	13	1	10YR6/3 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)多量を含む、柱状跡	
				2	10YR5/3 土赤黄褐色	シルト	地山アの付(径5-10cm)・地山粒少量含む	
P98	円形	19×17	23	1	10YR4/1 褐色	シルト	地山粒微量を含む	
				2	10YR3/1 暗褐色	シルト	地山粒少量含む	
P103	円形	26×24	38	1	10YR4/1 褐色	シルト	地山粒微量を含む	
				2	10YR3/1 暗褐色	シルト	地山粒少量含む	
P104	円形	24×24	21	1	10YR4/1 褐色	シルト		
				2	10YR3/1 暗褐色	シルト		
P106	円形	31×24	32	1	10YR4/1 褐色	シルト	地山粒微量を含む	

## 4B区ビッド 観音橋2)

登録名	平面形	幅尺 (cm)	深さ (cm)	層数	土色	土性	備考
P108	円形	26×25	28	1	10YR5/2 黒灰色	シルト	地山砂礫層を含む
				2	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山砂少量含む
				3	10YR3/1 黒褐色	シルト	
P116	円形	16×12	34	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	
				2	10YR2/1 黒色	粘土質シルト	
				3	10YR1/1 黒色	粘土質シルト	

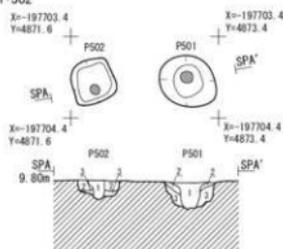
## 4B区ビッド 集計表(1)

登録名	グリップ	平面形	幅尺 (cm)	深さ (cm)	土色	土性	備考
P1	103	円形	24×23	6	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク少量含む
P2	103	円形	29×28	11	10YR3/2 黒褐色	シルト	
P3	103	円形	27×24	8	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
P4	104-105	円形	23×22	4	10YR4/1 黒灰色	シルト	3層に分層
P5	104	円形	22×22	10	10YR5/1 黒灰色	シルト	
P6	104	円形	28×24	7	10YR4/1 黒灰色	シルト	
P7	104-105-110-111	円形	18×14	9	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アーク少量含む
P8	105	円形	20×16	16	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アーク少量含む
P9	104	円形	25×23	14	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	4層に分層
P10	104	円形	38×29	19	10YR4/1 黒灰色	シルト	3層に分層
P11	104	円形	21×20	10	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山小アーク含む
P12	104	円形	16×15	25	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山小アーク含む。2層に分層
P13	104	円形	30×26	12	10YR3/2 黒褐色	シルト	3層に分層
P14	104	円形	34×23	21	観察表参照		前面図掲載
P15	105	円形	16×13	8	7.5YR5/1 黒灰色	シルト	
P16	105	円形	24×23	11	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アーク(50%)少量含む。前面に小ビッドあり。2層に分層
P17	105	円形	15×14	10	10YR4/1 黒灰色	シルト	
P18	105	円形	30×26	6	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク(50%程度)少量含む
P19	105	円形	28×21	5	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク(50%程度)少量含む
P20	106	円形	18×17	13	観察表参照		前面図掲載
P21	106	円形	21×19	13	10YR4/1 黒灰色	シルト	3層に分層
P22	106	円形	26×20	14	観察表参照		前面図掲載
P23	106	円形	28×25	20	観察表参照		前面図掲載
P24	106	円形	21×21	10	10YR3/1 黒褐色	シルト	酸化鉄少量含む。2層に分層
P25	112	長方形	19×15	11	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山小アーク少量含む
P26	112	円形	19×18	8	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山小アーク少量含む
P27	113	円形	30×17	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アーク含む
P28	112	方形	32×32	10	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アーク含む。2層に分層
P29	112	長方形	19×16	15	観察表参照		前面図掲載
P30	111	円形	28×22	13	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	酸化鉄含む。2層に分層
P31	111	円形	25×22	13	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	2層に分層
P32	111	方形	22×20	14	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山小アーク少量含む。2層に分層
P33	111-117	方形	40×31	18	観察表参照		前面図掲載
P34	117	方形	33×25	16	観察表参照		前面図掲載
P35	117	方形	31×28	23	観察表参照		前面図掲載
P36	117	円形	28×28	27	観察表参照		前面図掲載
P37	124	楕円形	35×31	10	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アーク含む。2層に分層
P38	123	方形	37×49	26	観察表参照		前面図掲載
P39	123	方形	28×45	21	観察表参照		前面図掲載
P40	129	円形	32×28	20	観察表参照		前面図掲載
P41	123	楕円形	24×18	10	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アーク少量含む
P42	123	円形	27×20	13	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アーク少量含む
P43	136	円形	30×18	8	10YR6/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク含む。2層に分層
P44	128	円形	25×21	10	観察表参照		前面図掲載
P45	128	方形	28×27	19	10YR3/3 暗褐色	シルト	塊上段-炭化物多量を含む
P46	130	円形	28×26	6	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク多量を含む。2層に分層
P47	130-136	円形	22×21	8	10YR6/6 明黄褐色	シルト	地山アーク含む。2層に分層
P48	135	円形	20×20	8	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アーク少量含む。2層に分層
P49	135	円形	25××	10	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク(3-10%程度)少量含む。3層に分層
P50	135	円形	26×26	10	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク少量含む
P51	135-136-141-142	円形	25×22	10	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク含む。2層に分層
P52	128	円形	18×15	13	10YR3/4 暗褐色	シルト	2層に分層
P53	128	円形	26×25	25	観察表参照		前面図掲載
P54	134	狭長方形	54×44	38	観察表参照		前面図掲載
P55	155	不整形円形	35×28	18	10YR6/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク含む。3層に分層
P56	155	円形	30×18	11	10YR5/1 黒灰色	シルト	地山アーク多量を含む。2層に分層
P57	155	方形	18×16	7	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク(5-10%程度)少量含む
P58	155	円形	18×16	16	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アーク(10%程度)少量含む
P59	154	楕円形	24×22	25	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	2層に分層
P60	155	楕円形	25×19	10	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	地山アーク少量含む。3層に分層
P61	149-155	方形	17×17	26	10YR5/1 黒灰色	シルト	地山アーク(50%程度)-白色粘土多量を含む。2層に分層
P62	149	長方形	17×15	23	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アーク(5-15%程度)少量含む
P63	148	長方形	36×30	19	観察表参照		前面図掲載
P64	148	長方形	32××	14	観察表参照		前面図掲載
P65	148	楕円形	29×17	18	10YR6/2 灰黄褐色	シルト	地山アーク(3-50%程度)多量を含む。2層に分層
P66	148	楕円形	20×16	9	10YR6/1 黒灰色	シルト	地山アーク(10%程度)少量含む

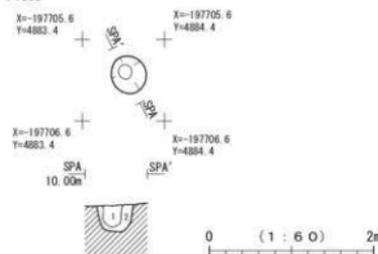
4区ビット 集計表②

通称名	ドリット	平面形	風径 (mm)	深さ (mm)	土色	土性	備考
P67	154	楕円形	26×22	12	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アツク5~10mm程度少量含む
P68	135	楕円形	53×25	5	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山粘含む、2層に分層
P69	135	円形	21×19	45	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む
P70	135	円形	24×24	10	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む
P71	135	円形	37×37	19	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アツク含む、2層に分層
P72	147	楕丸方形	39×29	10	10YR4/1 黒灰色	砂質シルト	地山アツク含む、2層に分層
P73	147	円形	29×23	8	観察表参照		前面図記載
P74	147	円形	28×18	11	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	
P75	147	円形	40×27	23	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト	
P76	147	円形	21×20	14	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	2層に分層
P77	147	不規則円形	66×58	25	観察表参照		前面図記載
P78	146	長方形	96×74	29	観察表参照		前面図記載
P79	147	楕円形	40×27	16	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アツク5~10mm程度含む、3層に分層
P80	147	円形	22*-	11	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アツク含む
P81	147	円形	27*-	22	10YR3/3 濃い黄褐色	シルト	地山アツク含む、2層に分層
P82	147-153	円形	18×16	30	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む
P83	147	円形	23×21	21	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山粘含む、2層に分層
P84	147	円形	26×22	22	10YR3/4 暗褐色	シルト	2層に分層
P85	147	楕円形	32×26	14	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P86	147	円形	34×31	11	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山粘含む
P87	154	円形	36×34	23	10YR3/3 濃い黄褐色	シルト	地山アツク5mm程度含む
P88	154	方形	22×19	10	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アツク5~5mm程度含む、2層に分層
P89	154	不規則円形	20×17	13	10YR5/1 黒灰色	シルト	地山アツク含む、2層に分層
P90	148-154	方形	19×16	15	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	地山アツク5~5mm程度含む、2層に分層
P91	154	不規則円形	76×56	39	観察表参照		前面図記載
P92	122	円形	28*-	10	10YR5/1 黒灰色	シルト	
P93	130	円形	28×28	13	観察表参照		前面図記載
P94	109	円形	32×27	13	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アツク5mm程度少量含む、2層に分層
P95	136	円形	35×32	14	10YR5/4 濃い黄褐色	シルト	地山アツク含む、4層に分層
P96	135-141	円形	32×28	6	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アツク5~10mm程度少量含む、2層に分層
P97	147	円形	32×28	24	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	地山土含む、3層に分層
P98	147	円形	19×17	23	観察表参照		前面図記載
P99	153	円形	18×14	18	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、2層に分層
P100	153	円形	22*-	14	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、3層に分層
P101	153	円形	23*-	12	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、3層に分層
P102	153	円形	22*-	30	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、3層に分層
P103	153	円形	26×24	18	観察表参照		前面図記載
P104	153	円形	24×24	21	観察表参照		前面図記載
P105	153	円形	21*-	15	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、3層に分層
P106	153	円形	31×24	32	観察表参照		前面図記載
P107	153	円形	29*-	15	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、3層に分層
P108	153	円形	26×25	28	観察表参照		前面図記載
P109	153	円形	22*-	15	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、2層に分層
P110	153	楕円形	22*-	19	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、2層に分層
P111	153	円形	26*-	25	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、4層に分層
P112	153	円形	20*-	27	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘少量含む、3層に分層
P113	153	円形	49×45	18	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘含む、3層に分層
P114	153	円形	21×19	14	10YR4/1 黒灰色	シルト	
P115	153	楕円形	37×19	7	10YR4/1 黒灰色	シルト	
P116	153	円形	16×12	34	観察表参照		前面図記載
P117	153	円形	15*-	17	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山粘含む、3層に分層

P501-502

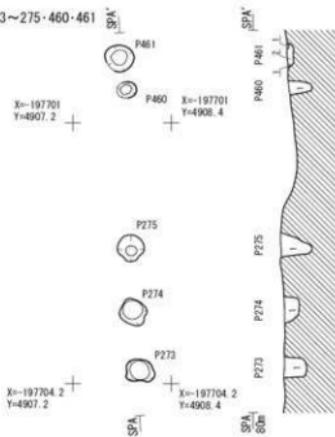


P1005

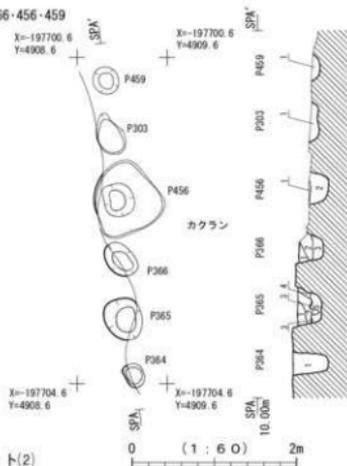


第63図 4C区ビット(1)

P273~275、460-461



P303、364~366、456-459



第64図 4C区ビット(2)

## 4C区ビット 観察表

遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考	
P273	不整形	38×24	25	1	-	暗褐色	シルト	
P274	隅丸方形	36×28	17	1	-	褐色	シルト	
P275	隅丸方形	32×30	15	1	-	暗褐色	シルト	
P303	不整形	52×34	30	1	-	褐色	シルト	
P364	楕円形	30×22	26	1	-	暗褐色	シルト	
P365	円形	52×46	37	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	
				2	10YR4/2	灰黄褐色	砂	
				3	10YR3/4	暗褐色	シルト	
				4	10YR4/4	褐色	シルト	
				5	10YR6/4	にぶい黄褐色	シルト	
P366	楕円形	48×34	34	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	
				2	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂	
				3	10YR4/4	褐色	シルト	
P456	隅丸方形	44×38	21	1	2.5Y4/3	オリーブ褐色	砂	
				2	10YR4/4	褐色	シルト	
P459	円形	34×32	14	1	-	褐色	シルト	
P460	円形	36×32	18	1	-	暗褐色	シルト	
P461	円形	34×32	18	1	10YR4/2	灰黄褐色	砂	
				2	10YR4/4	褐色	シルト	
P501	円形	74×60	33	1	10YR4/2	灰黄褐色	シルト	地山(ア)の隙間に含む、柱状跡
				2	10YR5/2	灰黄褐色	シルト	
				3	10YR4/2	灰黄褐色	シルト	
P502	円形	64×52	22	1	10YR4/2	灰黄褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む、柱状跡
				2	10YR5/2	灰黄褐色	シルト	
				3	10YR5/4	にぶい黄褐色	シルト	
P1005	円形	45×42	3	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	柱状跡
				2	10YR4/4	褐色	シルト	

## 4C区ビット 集計表(1)

遺構名	グリッド	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	土色	土性	備考
P1	43	円形	18×16	18	-	暗褐色	シルト
P2	29	楕円形	28×26	30	-	暗褐色	シルト
P3	29	楕円形	30×26	26	-	暗褐色	シルト
P4	18	円形	12×12	17	-	暗褐色	シルト
P5	18	円形	20×18	20	-	暗褐色	シルト
P6	29	楕円形	28×22	19	-	暗褐色	シルト
P7	29	円形	16×16	29	-	暗褐色	シルト
P8	29	楕円形	28×22	4	-	暗褐色	シルト
P9	29	円形	26×24	11	-	暗褐色	シルト
P10	29	円形	26×24	20	-	褐色	シルト
P11	29	楕円形	10×8	5	-	褐色	シルト
P12	29	円形	8×8	2	-	褐色	シルト
P13	28	楕円形	36×14	22	-	褐色	シルト

## 4C区ビット 集計表2

通称名	サイズ	平面形	風速 (m)	高さ (m)	土色	土性	備	考
P14	17	円形	20×16	17	-	褐色	シルト	
P15	28	楕円形	22×14	22	-	暗褐色	シルト	
P16	28	楕円形	22×16	23	-	暗褐色	シルト	
P17	28	円形	22×20	22	-	暗褐色	シルト	
P18	28	不整形	32×22	7	-	褐色	シルト	
P19	28	円形	20×20	23	-	暗褐色	シルト	
P20	17	円形	20×16	20	-	褐色	シルト	
P21	28	楕円形	34×26	20	-	暗褐色	シルト	
P22	17	円形	20×20	24	-	暗褐色	シルト	
P23	28	円形	40×32	18	-	暗褐色	シルト	
P24	17	不整形	24×22	25	-	褐色	シルト	
P25	17	円形	18×18	18	-	暗褐色	シルト	
P26	17	円形	30×28	25	-	褐色	シルト	
P27	28	円形	34×20	32	-	暗褐色	シルト	
P28	28	楕円形	34×30	31	-	暗褐色	シルト	
P29	28	円形	32×22	32	-	暗褐色	シルト	
P30	28	円形	20×24	30	-	暗褐色	シルト	
P31	28	楕円形	56×44	25	-	暗褐色	シルト	
P32	28	円形	22×18	14	-	暗褐色	シルト	
P33	28	楕円形	26×20	32	-	暗褐色	シルト	
P34	29	不整形	34×16	5	-	褐色	シルト	
P35	29	円形	26×22	30	-	暗褐色	シルト	
P36	29	楕円形	44×30	8	-	暗褐色	シルト	
P37	43	円形	18×14	15	-	暗褐色	シルト	
P38	43	円形	20×18	16	-	暗褐色	シルト	
P39	43	不整形	22×12	19	-	暗褐色	シルト	
P40	43	不整形	18×14	13	-	暗褐色	シルト	
P41	43	円形	14×14	13	-	暗褐色	シルト	
P42	43	円形	18×14	15	-	暗褐色	シルト	
P43	59	不整形	34×32	23	-	暗褐色	シルト	
P44	59	円形	14×10	15	-	褐色	シルト	
P45	59	円形	16×12	14	-	暗褐色	シルト	
P46	43	円形	16×14	21	-	暗褐色	シルト	
P47	58	(円形)	60×46	24	-	暗褐色	シルト	
P48	42	不整形	22×20	9	-	暗褐色	シルト	
P49	42	円形	16×16	26	-	暗褐色	シルト	
P50	42	円形	22×18	26	-	暗褐色	シルト	
P51	42	不整形	36×34	9	-	暗褐色	シルト	
P52	42	円形	20×16	17	-	暗褐色	シルト	
P53	42	円形	24×20	16	-	暗褐色	シルト	
P54	42	(楕円形)	20×20	19	-	暗褐色	シルト	
P55	42	円形	24×20	5	-	暗褐色	シルト	
P56	42	楕円形	24×18	17	-	暗褐色	シルト	
P57	42	楕円形	32×20	21	-	暗褐色	シルト	
P58	42	楕円形	36×18	27	-	暗褐色	シルト	
P59	42	不整形	40×14	14	-	暗褐色	シルト	
P60	28	円形	30×30	28	-	暗褐色	シルト	
P61	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR21-P71に変更)
P62	28	不整形	24×22	19	-	暗褐色	シルト	
P63	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR21-P171に変更)
P64	28	楕円形	26×20	21	-	暗褐色	シルト	
P65	28	楕円形	28×24	5	-	暗褐色	シルト	
P66	28	楕円形	26×18	17	-	褐色	シルト	
P67	28	円形	24×22	23	-	暗褐色	シルト	
P68	28	円形	28×26	23	-	褐色	シルト	
P69	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR21-P161に変更)
P70	42	円形	10×10	34	-	暗褐色	シルト	
P71	28	円形	18×18	30	-	褐色	シルト	
P72	42	円形	20×18	19	-	暗褐色	シルト	
P73	42	円形	18×16	18	-	暗褐色	シルト	
P74	28	不整形	44×30	39	-	暗褐色	シルト	
P75	42	楕円形	16×10	27	-	暗褐色	シルト	
P76	42	不整形	34×16	4	-	暗褐色	シルト	
P77	42	円形	14×12	13	-	暗褐色	シルト	
P78	42	円形	20×20	7	-	暗褐色	シルト	
P79	58	円形	16×14	16	-	暗褐色	シルト	
P80	42	円形	20×18	4	-	暗褐色	シルト	
P81	42	円形	20×20	3	-	暗褐色	シルト	
P82	42	円形	28×22	19	-	暗褐色	シルト	
P83	28	円形	32×28	30	-	暗褐色	シルト	
P84	28	円形	24×20	21	-	暗褐色	シルト	
P85	28	円形	20×18	33	-	暗褐色	シルト	
P86	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR21-P141に変更)
P87	28	円形	18×16	21	-	暗褐色	シルト	
P88	27	円形	20×20	25	-	褐色	シルト	

## 4C区ビット 集計表3)

通集名	グリッド	平面形	幅径 (cm)	深さ (cm)	土色	土質	備考
P89	27	不整形	50×30	21	-	暗褐色	シルト
P90	17	(円形)	36×28	39	-	褐色	シルト
P91	27	円形	42×42	20	-	暗褐色	シルト
P92	27	円形	28×26	22	-	暗褐色	シルト
P93	27	楕円形	32×30	20	-	暗褐色	シルト
P94	27	楕円形	26×20	8	-	褐色	シルト
P95	27	円形	22×20	20	-	暗褐色	シルト
P96	42	円形	28×26	17	-	暗褐色	シルト
P97	41	円形	40×34	2	-	褐色	シルト
P98	27	円形	50×48	25	-	暗褐色	シルト
P99	41	円形	20×20	4	-	褐色	シルト
P100	41	円形	44×26	3	-	褐色	シルト
P101	27	円形	40×40	3	-	暗褐色	シルト
P102	27	楕円形	40×30	3	-	褐色	シルト
P103	27	円形	40×34	7	-	褐色	シルト
P104	41	楕円形	40×30	3	-	褐色	シルト
P105	41	円形	30×22	22	-	暗褐色	シルト
P106	41	楕円形	48×40	54	-	褐色	シルト
P107	41	(不整形)	40×28	14	-	暗褐色	シルト
P108	41	(楕円形)	46×18	3	-	褐色	シルト
P109	41	円形	40×34	20	-	暗褐色	シルト
P110	41	円形	24×24	6	-	暗褐色	シルト
P111	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P11)変更)
P112	41	円形	28×14	17	-	暗褐色	シルト
P113	42	楕円形	32×32	25	-	暗褐色	シルト
P114	42	楕円形	18×8	19	-	暗褐色	シルト
P115	42	楕円形	18×14	18	-	暗褐色	シルト
P116	42	円形	16×14	19	-	暗褐色	シルト
P117	58	円形	22×20	3	-	褐色	シルト
P118	58	不整形	20×12	17	-	暗褐色	シルト
P119	58	円形	22×20	17	-	暗褐色	シルト
P120	58	不整形	24×16	19	-	褐色	シルト
P121	58	不整形	16×10	13	-	暗褐色	シルト
P122	58	楕円形	30×26	17	-	暗褐色	シルト
P123	58	楕円形	16×10	24	-	暗褐色	シルト
P124	58	不整形	30×20	19	-	暗褐色	シルト
P125	57	円形	16×14	9	-	暗褐色	シルト
P126	57	不整形	60×30	12	-	暗褐色	シルト
P127	57	円形	6×6	15	-	暗褐色	シルト
P128	28	円形	20×14	21	-	暗褐色	シルト
P129	29	円形	14×14	3	-	褐色	シルト
P130	57	円形	10×9	5	-	暗褐色	シルト
P131	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P13)変更)
P132	57	不整形	26×24	7	-	暗褐色	シルト
P133	57	円形	20×18	6	-	暗褐色	シルト
P134	57	円形	48×42	5	-	暗褐色	シルト
P135	57	円形	42×42	11	-	暗褐色	シルト
P136	57	円形	14×14	6	-	暗褐色	シルト
P137	57	円形	40×38	10	-	暗褐色	シルト
P138	57	(円形)	34×18	8	-	暗褐色	シルト
P139	57	円形	40×38	8	-	暗褐色	シルト
P140	57	円形	42×30	62	2.5V6.3	にぶい黄褐色	欠番(SR22-P14)変更)
P141	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P14)変更)
P142	41	(円形)	42×40	3	-	褐色	シルト
P143	42	円形	24×20	23	-	暗褐色	シルト
P144	58	円形	22×18	12	-	暗褐色	シルト
P145	28	円形	18×18	4	-	褐色	シルト
P146	-	-	-	-	-	-	欠番(SR21-P14)変更)
P147	18	楕円形	30×22	25	-	暗褐色	シルト
P148	18	円形	20×18	19	-	暗褐色	シルト
P149	18	円形	18×16	20	-	暗褐色	シルト
P150	42	円形	48×40	5	-	暗褐色	シルト
P151	42	円形	16×16	14	-	暗褐色	シルト
P152	42	楕円形	34×24	27	-	暗褐色	シルト
P153	57	円形	34×28	14	-	暗褐色	シルト
P154	57	円形	18×12	17	-	暗褐色	シルト
P155	57	楕円形	48×30	23	-	暗褐色	シルト
P156	58	楕円形	22×16	26	-	暗褐色	シルト
P157	57	不整形	56×28	24	-	暗褐色	シルト
P158	57	円形	22×20	1	-	暗褐色	シルト
P159	57	楕円形	26×18	5	-	暗褐色	シルト
P160	57	円形	22×20	29	-	暗褐色	シルト
P161	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P16)変更)
P162	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P16)変更)
P163	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P16)変更)

## 4C区ビッド 集計表(4)

通称名	サイズ	平面形	風貌 (mm)	深さ (mm)	主色	主性	備考
P164	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P9)に変更
P165	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)に変更
P166	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22)に変更
P167	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P8)に変更
P168	4	(円形)	34×14	18	暗褐色	シルト	
P169	4	円形	14×14	13	暗褐色	シルト	
P170	4	円形	30×26	21	暗褐色	シルト	
P171	4	円形	14×14	18	褐色	シルト	
P172	4	他円形	40×26	21	暗褐色	シルト	
P173	11	円形	30×28	19	暗褐色	シルト	
P174	42	円形	26×24	28	暗褐色	シルト	
P175	11	(円形)	22×17	13	暗褐色	シルト	
P176	11	不整形	34×26	22	暗褐色	シルト	
P177	11	円形	22×20	24	暗褐色	シルト	
P178	11	(他円形)	69×20	15	暗褐色	シルト	
P179	11	他円形	28×20	12	暗褐色	シルト	
P180	11	他円形	40×28	45	暗褐色	シルト	
P181	11	円形	20×18	14	褐色	シルト	
P182	11	円形	22×14	12	褐色	シルト	
P183	11	円形	22×20	14	暗褐色	シルト	
P184	11	円形	34×26	15	暗褐色	シルト	
P185	11	円形	20×18	17	褐色	シルト	
P186	11	円形	40×28	14	暗褐色	シルト	
P187	11	円形	18×16	10	褐色	シルト	
P188	11	円形	20×20	11	暗褐色	シルト	
P189	22	(円形)	30×14	13	褐色	シルト	
P190	22	円形	30×28	11	暗褐色	シルト	
P191	22	円形	28×28	11	暗褐色	シルト	
P192	22	他円形	30×22	10	暗褐色	シルト	
P193	11	(円形)	22×68	21	暗褐色	シルト	
P194	22	円形	18×16	14	褐色	シルト	
P195	22	円形	34×32	18	暗褐色	シルト	
P196	22	不整形	38×32	23	褐色	シルト	
P197	11	円形	28×20	16	暗褐色	シルト	
P198	11	円形	28×24	12	暗褐色	シルト	
P199	22	円形	20×20	16	暗褐色	シルト	
P200	22	隅丸方形	34×30	12	暗褐色	シルト	
P201	22	円形	20×20	22	暗褐色	シルト	
P202	22	他円形	22×18	11	褐色	シルト	
P203	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P3)に変更
P204	67	不整形	20×16	78	暗褐色	シルト	
P205	41	円形	30×26	38	暗褐色	シルト	
P206	41	円形	14×14	11	暗褐色	シルト	
P207	27	不整形	54×34	31	暗褐色	シルト	
P208	27	他円形	40×28	7	褐色	シルト	
P209	16	他円形	44×32	26	暗褐色	シルト	
P210	58	他円形	22×14	15	褐色	シルト	
P211	58	円形	18×16	15	暗褐色	シルト	
P212	58	円形	28×22	22	暗褐色	シルト	
P213	58	不整形	18×12	16	褐色	シルト	
P214	58	他円形	24×18	18	暗褐色	シルト	
P215	43	円形	20×20	18	暗褐色	シルト	
P216	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P3)に変更
P217	42	円形	34×21	8	褐色	シルト	
P218	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P1)に変更
P219	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P2)に変更
P220	42	不整形	38×30	20	暗褐色	シルト	
P221	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P4)に変更
P222	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P5)に変更
P223	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P6)に変更
P224	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P8)に変更
P225	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P9)に変更
P226	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P10)に変更
P227	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P11)に変更
P228	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P12)に変更
P229	-	-	-	-	-	-	欠番(SR22-P13)に変更
P230	28	円形	22×20	22	暗褐色	シルト	
P231	28	円形	16×14	14	褐色	シルト	
P232	28	円形	30×22	17	暗褐色	シルト	
P233	17	隅丸方形	38×30	24	暗褐色	シルト	
P234	17	他円形	18×12	15	暗褐色	シルト	
P235	43	円形	14×12	16	褐色	シルト	
P236	29	(円形)	34×14	16	仁白・黄褐色	シルト	
P237	22	(不整形)	76×44	43	暗褐色	シルト	
P238	22	円形	24×24	19	暗褐色	シルト	

## 4C区ピット 集計表5

番 号 名	グリッド	平面形	幅径 (cm)	深さ (cm)	土 色	土 色	備 考
P220	22	円形	30×22	9	-	暗褐色	シルト
P240	22	円形	12×10	11	-	褐色	シルト
P241	22	楕円形	34×28	17	-	暗褐色	シルト
P242	33	円形	42×36	26	-	暗褐色	シルト
P243	51	(楕円形)	84×60	38	-	黒褐色	シルト
P244	51	(楕円形)	44×30	29	-	暗褐色	シルト
P245	51	円形	34×48	14	-	暗褐色	シルト
P246	51	円形	54×50	48	-	暗褐色	シルト
P247	67	楕円形	36×30	27	-	暗褐色	シルト
P248	-	-	-	-	-	-	-
P249	67	円形	44×44	17	-	暗褐色	シルト
P250	-	-	-	-	-	-	欠番(SB24-P11)変更)
P251	67	円形	30×40	25	-	暗褐色	シルト
P252	-	-	-	-	-	-	欠番(SB24-P61)変更)
P253	67	(不整形)	72×14φ	34	-	暗褐色	シルト
P254	-	-	-	-	-	-	欠番(SB24-P41)変更)
P255	52	扇丸方形	38×20	17	-	暗褐色	シルト
P256	52	扇丸方形	30×24	10	-	暗褐色	シルト
P257	52	円形	32×30	12	-	暗褐色	シルト
P258	52	(円形)	42×30	22	-	暗褐色	シルト
P259	52	(不整形)	32×12	20	-	暗褐色	シルト
P260	52	楕円形	32×20	15	-	暗褐色	シルト
P261	52	円形	30×12	16	-	暗褐色	シルト
P262	52	円形	30×28	16	-	暗褐色	シルト
P263	68	不整形	14×12	2	-	暗褐色	シルト
P264	68	円形	18×16	31	-	暗褐色	シルト
P265	68	円形	28×32	43	-	暗褐色	シルト
P266	68	円形	26×30	47	-	暗褐色	シルト
P267	68	楕円形	50×32	48	-	暗褐色	シルト
P268	68	円形	30×8	48	-	暗褐色	シルト
P269	68	円形	34×30	42	-	暗褐色	シルト
P270	52	楕円形	24×20	22	-	暗褐色	シルト
P271	68	円形	26×24	67	-	暗褐色	シルト
P272	68	円形	26×24	47	-	暗褐色	シルト
P273	82	不整形	38×24	25	観察表参照		前面採得載
P274	82	扇丸方形	36×28	17	観察表参照		前面採得載
P275	82	扇丸方形	32×30	15	観察表参照		前面採得載
P276	67	円形	26×24	32	-	褐色	シルト
P277	-	-	-	-	-	-	-
P278	67	(不整形)	54×42	7	-	暗褐色	シルト
P279	36	楕円形	32×22	9	-	暗褐色	シルト
P280	36	円形	40×30	16	-	暗褐色	シルト
P281	36	楕円形	40×32	11	-	暗褐色	シルト
P282	51	楕円形	58×44	39	-	暗褐色	シルト
P283	-	-	-	-	-	-	欠番(SB23-P21)変更)
P284	52	円形	44×36	20	-	暗褐色	シルト
P285	52	楕円形	30×26	15	-	暗褐色	シルト
P286	-	-	-	-	-	-	欠番(SB23-P11)変更)
P287	52	楕円形	30×18	5	-	暗褐色	シルト
P288	52	楕円形	24×16	6	-	暗褐色	シルト
P289	52	円形	16×14	10	-	暗褐色	シルト
P290	52	楕円形	62×50	17	-	暗褐色	シルト
P291	57	円形	18×16	6	-	暗褐色	シルト
P292	-	-	-	-	-	-	-
P293	33	円形	24×22	26	-	暗褐色	シルト
P294	32	円形	24×20	10	-	暗褐色	シルト
P295	35	円形	34×32	26	-	暗褐色	シルト
P296	32	円形	26×24	18	-	暗褐色	シルト
P297	52	楕円形	42×30	33	-	暗褐色	シルト
P298	68	円形	26×24	52	-	褐色	シルト
P299	52	楕円形	48×36	22	-	暗褐色	シルト
P300	67	円形	48×42	13	-	暗褐色	シルト
P301	67	不整形	84×50	14	-	暗褐色	シルト
P302	68	円形	22×20	5	-	暗褐色	シルト
P303	82	不整形	52×34	20	観察表参照		前面採得載
P304	82	円形	14×14	6	-	暗褐色	シルト
P305	82	扇丸方形	42×32	8	-	暗褐色	シルト
P306	56	円形	54×50	4	-	暗褐色	シルト
P307	-	-	-	-	-	-	欠番(SB22-P11)変更)
P308	-	-	-	-	-	-	欠番(SB22-P111)変更)
P309	27	楕円形	44×32	57	-	暗褐色	シルト
P310	11	不整形	14×14	31	-	暗褐色	シルト
P311	52	円形	40×34	13	-	暗褐色	シルト
P312	11	円形	26×14	11	-	暗褐色	シルト
P313	11	円形	32×28	9	-	暗褐色	シルト

## 4C区ビット 集計表①

集積名	サイズ	平面形	規格 (mm)	厚さ (mm)	土色	土性	備	考
P314	11	楕円形	24×14	22	-	暗褐色	シルト	
P315	36	円形	34×30	13	-	暗褐色	シルト	
P316	36	不整形	32×24	27	-	暗褐色	シルト	
P317	36	不整形	32×24	38	-	暗褐色	シルト	
P318	36	不整形	24×22	30	-	暗褐色	シルト	
P319	52	楕円形	40×28	18	-	暗褐色	シルト	
P320	52	楕円形	58×36	23	-	暗褐色	シルト	
P321	52	不整形	30×30	17	-	暗褐色	シルト	
P322	52	楕円形	46×26	12	-	暗褐色	シルト	
P323	52	円形	32×30	16	-	暗褐色	シルト	
P324	68	円形	44×38	18	-	暗褐色	シルト	
P325	68	不整形	30×22	43	-	暗褐色	シルト	
P326	68	円形	30×28	49	-	暗褐色	シルト	
P327	67	楕円形	70×50	28	-	暗褐色	シルト	
P328	67	円形	28×30	26	-	暗褐色	シルト	
P329	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR01-P5)に変更
P330	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR01-P2)に変更
P331	4	円形	19×18	14	-	暗褐色	シルト	
P332	22	円形	40×38	11	-	暗褐色	シルト	
P333	22	楕円形	28×18	13	-	暗褐色	シルト	
P334	22	不整形	40×30	14	-	暗褐色	シルト	
P335	22	不整形	20×18	19	-	暗褐色	シルト	
P336	11	円形	30×22	16	-	暗褐色	シルト	
P337	36	円形	14×14	18	-	暗褐色	シルト	
P338	36	円形	14×14	27	-	暗褐色	シルト	
P339	64	楕円形	46×42	42	-	暗褐色	シルト	
P340	-	-	-	-	-	-	-	欠番(SR02-P4)に変更
P341	36	円形	60×54	7	-	暗褐色	シルト	
P342	36	不整形	30×26	22	-	暗褐色	シルト	
P343	36	楕円形	52×28	12	-	暗褐色	シルト	
P344	52	円形	34×32	17	-	暗褐色	シルト	
P345	52	不整形	28×26	10	-	暗褐色	シルト	
P346	52	円形	18×18	8	-	暗褐色	シルト	
P347	52	円形	26×24	6	-	暗褐色	シルト	
P348	68	(楕円方形)	38×10	42	-	暗褐色	シルト	
P349	68	円形	38×36	39	-	暗褐色	シルト	
P350	68	円形	18×16	48	-	褐色	シルト	
P351	68	(楕円形)	24×(18)	6	-	暗褐色	シルト	
P352	68	円形	22×20	10	-	暗褐色	シルト	
P353	68	円形	22×20	1	-	暗褐色	シルト	
P354	68	(不整形)	30×(18)	30	-	褐色	シルト	
P355	68	円形	28×22	17	-	暗褐色	シルト	
P356	68	楕円方形	24×30	14	-	暗褐色	シルト	
P357	68	楕円形	22×30	42	-	暗褐色	シルト	
P358	68	不整形	22×30	21	-	暗褐色	シルト	
P359	68	楕円形	30×22	9	-	暗褐色	シルト	
P360	82	不整形	36×34	25	-	暗褐色	シルト	
P361	82	楕円方形	30×22	34	-	暗褐色	シルト	
P362	82	不整形	10×8	1	-	暗褐色	シルト	
P363	82	楕円方形	26×22	3	-	暗褐色	シルト	
P364	82	楕円形	30×22	28	観察表参照		新断面図載	
P365	82	円形	32×46	37	観察表参照		新断面図載	
P366	82	楕円形	48×34	34	観察表参照		新断面図載	
P367	82	(楕円方形)	38×24	21	-	暗褐色	シルト	
P368	82	円形	28×20	4	-	暗褐色	シルト	
P369	82	(不整形)	20×19	11	-	暗褐色	シルト	
P370	82	不整形	30×24	18	-	暗褐色	シルト	
P371	82	(楕円形)	28×22	23	-	暗褐色	シルト	
P372	67	(円形)	30×28	24	-	暗褐色	シルト	
P373	67	円形	22×22	8	-	暗褐色	シルト	
P374	67	円形	32×14	11	-	暗褐色	シルト	
P375	51	(楕円形)	40×22	18	-	暗褐色	シルト	
P376	51	円形	28×22	16	-	暗褐色	シルト	
P377	51	楕円形	31×30	14	-	暗褐色	シルト	
P378	51	不整形	40×36	51	-	暗褐色	シルト	
P379	35	円形	15×11	16	-	暗褐色	シルト	
P380	35	不整形	42×32	24	-	暗褐色	シルト	
P381	47	円形	22×16	25	-	暗褐色	シルト	
P382	21	不整形	72×50	21	-	暗褐色	シルト	
P383	36	楕円形	24×18	11	-	褐色	シルト	
P384	67	(楕円形)	58×12	21	-	暗褐色	シルト	
P385	68	(円形)	73×70	38	-	暗褐色	シルト	
P386	43	楕円形	28×22	6	-	褐色	シルト	
P387	43	楕円形	20×16	22	-	暗褐色	シルト	
P388	43	楕円形	16×14	9	-	暗褐色	シルト	

## 4C区ピット 集計表

連番名	グリッド	平面形	幅径 (cm)	深さ (cm)	土色	土質	備考
P289	43	円形	14×12	6	-	褐色	シルト
P290	29	楕円形	30×24	7	-	褐色	シルト
P291	29	楕円形	28×20	3	-	褐色	シルト
P292	29	円形	26×24	6	-	褐色	シルト
P293	29	不整形	24×18	9	-	褐色	シルト
P294	29	円形	20×16	5	-	暗褐色	シルト
P295	29	円形	18×14	3	-	褐色	シルト
P296	18	円形	20×16	5	-	褐色	シルト
P297	18	楕円形	28×24	5	-	褐色	シルト
P298	18	円形	14×10	10	-	暗褐色	シルト
P299	18	円形	20×16	3	-	褐色	シルト
P300	18	円形	18×18	5	-	褐色	シルト
P301	37	円形	8×6	5	-	暗褐色	シルト
P302	18	円形	22×20	4	-	褐色	シルト
P303	41	円形	30×20	27	-	暗褐色	シルト
P304	43	楕円形	30×24	3	-	暗褐色	シルト
P305	42	円形	16×16	1	-	暗褐色	シルト
P306	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR22-P121) (変更)
P307	41	円形	14×12	21	-	暗褐色	シルト
P308	42	円形	14×12	15	-	暗褐色	シルト
P309	42	円形	18×18	3	-	暗褐色	シルト
P310	42	円形	18×16	10	-	暗褐色	シルト
P311	41	円形	20×17	2	-	褐色	シルト
P312	41	円形	16×16	19	-	暗褐色	シルト
P313	41	円形	18×16	12	-	暗褐色	シルト
P314	41	円形	30×20	16	-	暗褐色	シルト
P315	41	円形	16×16	19	-	暗褐色	シルト
P316	41	円形	12×(10)	2	-	暗褐色	シルト
P317	43	(円形)	10×8	11	-	暗褐色	シルト
P318	41	不整形	10×8	46	-	暗褐色	シルト
P319	41	(不整形)	30×24	3	-	褐色	シルト
P320	41	円形	38×30	27	-	暗褐色	シルト
P321	67	円形	20×16	11	-	暗褐色	シルト
P322	67	円形	26×20	26	-	暗褐色	シルト
P323	67	円形	28×20	20	-	暗褐色	シルト
P324	67	楕円形	38×26	38	-	暗褐色	シルト
P325	67	円形	24×24	16	-	暗褐色	シルト
P326	51	円形	44×36	26	-	暗褐色	シルト
P327	67	円形	46×38	11	-	暗褐色	シルト
P328	67	円形	30×28	33	-	暗褐色	シルト
P329	51	円形	26×20	27	-	暗褐色	シルト
P330	51	円形	34×26	3	-	暗褐色	シルト
P331	51	円形	30×12	1	-	暗褐色	シルト
P332	35	楕円形	22×18	13	-	暗褐色	シルト
P333	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR23-P33) (変更)
P334	52	円形	42×32	15	-	暗褐色	シルト
P335	21	円形	28×22	21	-	暗褐色	シルト
P336	22	円形	40×30	22	-	暗褐色	シルト
P337	4	(円形)	24×(28)	18	-	暗褐色	シルト
P338	4	楕円形	30×20	17	-	暗褐色	シルト
P339	68	円形	20×16	13	-	暗褐色	シルト
P340	68	円形	32×26	35	-	暗褐色	シルト
P341	82	円形	42×30	36	-	暗褐色	シルト
P342	-	-	-	-	-	-	欠番
P343	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR23-P34) (変更)
P344	68	円形	20×14	5	-	暗褐色	シルト
P345	68	隅丸方形	44×22	8	-	暗褐色	シルト
P346	52	円形	22×14	6	-	暗褐色	シルト
P347	52	円形	34×22	23	-	暗褐色	シルト
P348	52	楕円形	30×18	22	-	暗褐色	シルト
P349	52	円形	22×(10)	4	-	暗褐色	シルト
P350	52	円形	40×(16)	30	-	暗褐色	シルト
P351	52	円形	48×(10)	34	-	暗褐色	シルト
P352	52	半円形	28×24	23	-	暗褐色	シルト
P353	68	半円形	42×14	16	-	暗褐色	シルト
P354	68	半円形	40×36	13	-	暗褐色	シルト
P355	68	半円形	34×26	14	-	暗褐色	シルト
P356	82	隅丸方形	44×26	21	観察表参照		新山岡岡蔵
P357	52	円形	54×42	24	-	暗褐色	シルト
P358	52	円形	24×18	18	-	暗褐色	シルト
P359	82	円形	34×32	14	観察表参照		新山岡岡蔵
P360	82	円形	36×32	18	観察表参照		新山岡岡蔵
P361	82	円形	34×32	18	観察表参照		新山岡岡蔵
P362	27	円形	22×22	35	-	暗褐色	シルト
P363	28	円形	20×20	11	-	暗褐色	シルト

## 4C区ビッド 集計表(前)

通標名	ポイント	平面形	電積 (sqm)	深さ (m)	土色	土性	備	考
P464	41	円形	18×14	19	-	暗褐色	シルト	
P465	57	不整形	24×20	15	-	暗褐色	シルト	
P466	27	円形	18×16	19	-	褐色	シルト	
P467	57	円形	16×14	59	-	暗褐色	シルト	
P468	41	円形	18×18	15	-	暗褐色	シルト	
P469	82	円形	20×16	21	-	暗褐色	シルト	
P470	11	楕円形	34×26	12	-	暗褐色	シルト	
P471	42	円形	18×16	29	-	暗褐色	シルト	
P472	41	楕円形	20×16	29	-	暗褐色	シルト	
P473	11	(楕円形)	30×(22)	19	-	暗褐色	シルト	
P474	11	円形	20×20	11	-	暗褐色	シルト	
P475	11	楕円形	40×30	15	-	暗褐色	シルト	
P476	11	楕円形	20×16	11	-	褐色	シルト	
P477	41	円形	18×14	4	-	暗褐色	シルト	
P478	51	円形	34×30	27	-	暗褐色	シルト	
P479	51	円形	40×34	31	10YR3/4	暗褐色	シルト	2層に分層
P480	51	円形	20×20	1	-	暗褐色	シルト	
P481	41	円形	16×14	5	-	暗褐色	シルト	
P482	51	長方形	50×34	1	-	暗褐色	シルト	
P483	57	円形	20×20	24	-	暗褐色	シルト	
P484	51	円形	54×169	22	-	暗褐色	シルト	
P485	51	円形	30×30	28	-	暗褐色	シルト	
P486	57	円形	10×8	21	-	暗褐色	シルト	
P487	41	円形	14×14	8	-	暗褐色	シルト	
P488	41	円形	30×44	11	-	暗褐色	シルト	
P489	41	円形	20×20	7	-	暗褐色	シルト	
P490	41	楕円形	32×26	7	-	暗褐色	シルト	
P491	41	円形	22×22	4	-	暗褐色	シルト	
P492	57	不整形	14×14	18	-	暗褐色	シルト	
P493	41	円形	20×20	4	-	暗褐色	シルト	
P494	57	円形	20×18	2	-	暗褐色	シルト	
P495	57	不整形	20×16	1	-	暗褐色	シルト	
P496	57	円形	16×14	2	-	暗褐色	シルト	
P497	57	楕円形	40×30	2	-	暗褐色	シルト	
P498	57	円形	18×14	2	-	暗褐色	シルト	
P499	43	円形	18×18	7	-	暗褐色	シルト	
P500	18	円形	14×10	2	-	褐色	シルト	
P501	79	円形	74×60	33	観察表参照			前面同附載
P502	79	円形	64×52	22	観察表参照			前面同附載
P503	79	楕円形	64×40	31	-	暗褐色	シルト	
P504	79	円形	28×26	6	-	褐色	シルト	
P505	79	円形	20×18	6	-	暗褐色	シルト	
P506	36	円形	30×22	23	-	暗褐色	シルト	
P507	79	楕円形	24×18	13	-	褐色	シルト	
P508	79	(黒丸方形)	36×28	14	-	暗褐色	シルト	
P509	79	円形	14×12	16	-	暗褐色	シルト	
P510	65	(円形)	40×40	23	-	暗褐色	シルト	
P511	65	(円形)	40×38	22	-	褐色	シルト	
P512	65	楕円形	54×40	42	-	暗褐色	シルト	
P513	78	円形	24×20	22	-	褐色	シルト	
P514	46	(楕円形)	30×38	18	-	暗褐色	シルト	
P515	65	楕円形	36×30	29	-	暗褐色	シルト	
P516	79	円形	44×38	22	-	暗褐色	シルト	
P517	78	円形	20×16	16	-	暗褐色	シルト	
P518	78	不整形	40×32	4	-	褐色	シルト	
P519	78	(円形)	54×18	6	-	褐色	シルト	
P520	78	円形	20×20	22	-	暗褐色	シルト	
P521	78	円形	14×12	5	-	褐色	シルト	
P522	78	(楕円形)	46×28	6	-	暗褐色	シルト	
P523	78	不整形	66×58	41	-	暗褐色	シルト	
P524	78	円形	32×29	8	-	褐色	シルト	
P525	64	円形	56×54	43	-	暗褐色	シルト	
P526	64	円形	18×18	19	-	暗褐色	シルト	
P527	64	円形	16×14	8	-	暗褐色	シルト	
P528	64	円形	24×22	31	-	暗褐色	シルト	
P529	64	円形	34×34	12	-	暗褐色	シルト	
P530	64	円形	24×22	10	-	暗褐色	シルト	
P531	64	円形	44×42	52	-	青灰色	シルト	
P532	33	円形	28×28	30	-	暗褐色	シルト	
P533	33	円形	42×38	30	-	暗褐色	シルト	
P534	33	円形	36×30	32	-	暗褐色	シルト	
P535	33	楕円形	40×30	21	-	暗褐色	シルト	
P536	32	楕円形	30×26	36	-	暗褐色	シルト	
P537	32	円形	28×24	24	-	暗褐色	シルト	
P538	65	(円形)	46×12	22	-	褐色	シルト	

## 4C区ピット 集計表

遺構名	グリッド	平面形	幅横(m)	深さ(m)	土色	土質	備考
P539	65	円形	26×22	5	-	凝褐色	シルト
P540	65	円形	16×14	13	-	灰褐色	シルト
P541	64	円形	18×16	13	-	凝褐色	シルト
P542	65	(楕円方形)	88×56	1	-	褐色	シルト
P543	65	不整形	30×28	10	-	凝褐色	シルト
P544	65	楕円形	32×14	12	-	凝褐色	シルト
P545	65	円形	18×14	13	-	灰褐色	シルト
P546	65	円形	62×50	22	-	凝褐色	シルト
P547	78	楕円形	76×60	10	-	凝褐色	シルト
P548	78	不整形	42×34	28	-	凝褐色	シルト
P549	64	(楕円形)	64×58	21	-	凝褐色	シルト
P550	64	不整形	64×44	26	-	凝褐色	シルト
P551	64	円形	32×32	21	-	凝褐色	シルト
P552	65	(楕円形)	66×56	34	10YR3/4	凝褐色	シルト
P553	65	円形	18×16	11	-	凝褐色	シルト
P554	65	円形	20×16	15	-	凝褐色	シルト
P555	65	円形	24×20	7	-	凝褐色	シルト
P556	65	楕円形	62×50	38	-	凝褐色	シルト
P557	49	楕円形	60×46	51	-	褐色	シルト
P558	49	(円形)	20×18	14	-	凝褐色	シルト
P559	49	(円形)	36×30	39	-	凝褐色	シルト
P560	49	円形	36×32	31	-	凝褐色	シルト
P561	49	円形	24×20	15	-	凝褐色	シルト
P562	64	円形	24×22	15	-	凝褐色	シルト
P563	-	-	-	-	-	-	欠番
P564	64	楕円形	16×12	8	-	褐色	シルト
P565	64	楕円形	66×54	45	-	凝褐色	シルト
P566	64	楕円形	24×18	15	-	凝褐色	シルト
P567	66	楕円形	28×22	43	-	凝褐色	シルト
P568	48	円形	12×12	11	-	凝褐色	シルト
P569	48	不整形	102×44	46	10YR3/3	凝褐色	シルト
P570	64	円形	52×50	50	-	凝褐色	シルト
P571	48	楕円形	44×30	10	-	凝褐色	シルト
P572	48	(楕円形)	20×16	5	-	褐色	シルト
P573	48	楕円形	24×16	14	-	凝褐色	シルト
P574	64	円形	26×26	15	-	凝褐色	シルト
P575	32	楕円形	40×22	7	-	青灰色	シルト
P576	48	楕円形	54×36	27	-	凝褐色	シルト
P577	48	円形	38×36	27	-	凝褐色	シルト
P578	49	円形	28×26	15	-	凝褐色	シルト
P579	48	円形	42×40	11	-	褐色	シルト
P580	48	円形	42×38	41	-	凝褐色	シルト
P581	48	楕円形	56×46	32	-	凝褐色	シルト
P582	49	円形	50×48	36	-	凝褐色	シルト
P583	64	円形	30×30	18	-	凝褐色	シルト
P584	48	(円形)	42×38	21	-	褐色	シルト
P585	48	(円形)	42×38	21	-	凝褐色	シルト
P586	65	円形	32×18	22	-	凝褐色	シルト
P587	32	円形	36×30	4	-	凝褐色	シルト
P588	32	(楕円形)	80×58	18	-	凝褐色	シルト
P589	32	楕円形	28×24	21	-	凝褐色	シルト
P590	46	円形	36×49	41	-	黄灰色	シルト
P591	32	円形	26×22	7	-	凝褐色	シルト
P592	32	円形	26×24	3	-	黄灰色	シルト
P593	32	円形	24×24	23	-	凝褐色	シルト
P594	32	楕円形	60×52	23	-	凝褐色	シルト
P595	32	円形	48×40	7	-	凝褐色	シルト
P596	64	円形	20×18	18	-	褐色	シルト
P597	31	円形	30×18	11	-	凝褐色	シルト
P598	47	(楕円形)	60×46	18	-	凝褐色	シルト
P599	48	円形	12×8	6	-	褐色	シルト
P600	48	円形	32×30	21	-	凝褐色	シルト
P601	47	(楕円形)	54×58	31	-	凝褐色	シルト
P602	48	楕円形	20×12	12	-	凝褐色	シルト
P603	48	楕円形	72×46	28	-	青灰色	シルト
P604	48	楕円形	92×70	39	-	凝褐色	シルト
P605	48	円形	42×34	28	-	凝褐色	シルト
P606	48	楕円形	79×64	51	-	凝褐色	シルト
P607	48	円形	34×32	14	-	凝褐色	シルト
P608	48	円形	44×40	62	-	凝褐色	シルト
P609	48	円形	40×38	24	-	凝褐色	シルト
P610	48	円形	24×22	17	-	褐色	シルト
P611	48	不整形	50×24	21	-	凝褐色	シルト
P612	63	不整形	40×18	12	-	灰褐色	シルト
P613	48	不整形	54×38	20	-	凝褐色	シルト

4C区ビッド 集計表00

通称名	サイズ	平面形	規格 (mm)	深さ (mm)	主色	主性	備	考
P614	48	円形	34×32	25	-	褐色		シルト
P615	48	円形	40×32	25	-	暗褐色		シルト
P616	48	小楕円形	20×14	8	-	暗褐色		シルト
P617	31	円形	28×24	11	-	暗褐色		シルト
P618	31	円形	30×28	31	-	暗褐色		シルト
P619	31	円形	18×16	6	-	暗褐色		シルト
P620	31	円形	30×24	15	-	暗褐色		シルト
P621	31	楕円形	42×28	12	-	暗褐色		シルト
P622	63	円形	58×52	32	-	暗褐色		シルト
P623	47	円形	44×40	56	-	褐色		シルト
P624	63	円形	30×26	34	-	暗褐色		シルト
P625	47	円形	16×16	8	-	暗褐色		シルト
P626	31	円形	20×20	10	-	暗褐色		シルト
P627	47	楕円形	26×24	13	-	暗褐色		シルト
P628	47	楕円形	38×32	27	-	暗褐色		シルト
P629	63	円形	26×22	6	-	褐色		シルト
P630	47	円形	54×48	44	-	暗褐色		シルト
P631	63	円形	30×30	14	-	暗褐色		シルト
P632	63	円形	36×34	18	-	暗褐色		シルト
P633	63	円形	113×(90)	49	-	暗褐色		シルト
P634	63	円形	34×(25)	49	-	褐色		シルト
P635	63	円形	40×32	14	-	暗褐色		シルト
P636	47	円形	40×36	56	-	暗褐色		シルト
P637	47	楕円形	42×36	32	-	暗褐色		シルト
P638	47	円形	38×36	21	-	暗褐色		シルト
P639	64	楕円形	64×44	31	-	暗褐色		シルト
P640	64	円形	26×24	14	-	暗褐色		シルト
P641	63	円形	44×42	10	-	暗褐色		シルト
P642	63	円形	30×30	46	-	暗褐色		シルト
P643	63	円形	56×50	38	-	暗褐色		シルト
P644	63	円形	24×20	23	-	暗褐色		シルト
P645	63	円形	88×66	21	-	暗褐色		シルト
P646	63	円形	36×36	12	-	暗褐色		シルト
P647	63	円形	26×26	15	-	暗褐色		シルト
P648	63	円形	28×26	11	-	暗褐色		シルト
P649	63	円形	42×26	22	-	暗褐色		シルト
P650	63	円形	30×30	14	-	暗褐色		シルト
P651	63	円形	40×40	22	-	暗褐色		シルト
P652	78	円形	18×16	12	-	暗褐色		シルト
P653	63	円形	22×18	18	-	暗褐色		シルト
P654	63	円形	28×26	24	-	暗褐色		シルト
P655	63 (円形)		28×(29)	28	-	暗褐色		シルト
P656	63	円形	30×26	17	-	暗褐色		シルト
P657	78	楕円形	48×38	28	-	暗褐色		シルト
P658	63	円形	72×62	49	-	暗褐色		シルト
P659	78	円形	26×24	35	-	暗褐色		シルト
P660	64	楕円形	42×(30)	22	-	暗褐色		シルト
P661	78	円形	32×28	22	-	暗褐色		シルト
P662	77	円形	70×62	52	-	暗褐色		シルト
P663	78	円形	60×58	59	-	暗褐色		シルト
P664	78	円形	22×20	35	-	暗褐色		シルト
P665	78 (円形)		34×(32)	19	-	褐色		シルト
P666	61	円形	30×24	14	-	暗褐色		シルト
P667	78	円形	31×30	32	-	褐色		シルト
P668	78 (円形)		22×(20)	38	-	褐色		シルト
P669	78	円形	24×28	27	-	暗褐色		シルト
P670	78	円形	38×34	32	-	暗褐色		シルト
P671	78	円形	46×40	11	-	暗褐色		シルト
P672	77	円形	26×26	47	-	暗褐色		シルト
P673	78 (円形)		42×(20)	23	-	褐色		シルト
P674	78	円形	80×70	34	-	暗褐色		シルト
P675	78	円形	30×30	18	-	褐色		シルト
P676	78	楕円形	40×28	27	-	暗褐色		シルト
P677	91	楕円形	60×54	37	-	暗褐色		シルト
P678	78	円形	28×24	33	-	褐色		シルト
P679	77	円形	40×36	44	-	暗褐色		シルト
P680	91	楕円形	46×42	15	-	褐色		シルト
P681	77	円形	50×48	46	-	暗褐色		シルト
P682	90	円形	30×18	13	-	暗褐色		シルト
P683	77	円形	56×36	37	-	暗褐色		シルト
P684	63	円形	24×22	24	-	暗褐色		シルト
P685	77	楕円形	46×44	28	-	暗褐色		シルト
P686	48 (円形)		20×(10)	2	-	暗褐色		シルト
P687	77	円形	30×30	32	-	褐色		シルト
P688	77	円形	40×36	24	-	暗褐色		シルト

## 4C区ビット 集計表①

品番名	タワシ	平面形	幅(mm)	長さ(mm)	色	上性	備	考
P689	77	円形	34×30	34	-	緑褐色	シルト	
P690	64	楕円方形	52×48	34	-	緑褐色	シルト	
P691	66	円形	30×30	19	-	緑褐色	シルト	
P692	66	円形	28×26	16	-	緑褐色	シルト	
P693	66	円形	28×26	16	-	緑褐色	シルト	
P694	66	円形	20×18	20	-	緑褐色	シルト	
P695	66	円形	24×20	9	-	褐色	シルト	
P696	66	円形	20×24	10	-	緑褐色	シルト	
P697	66	円形	22×20	15	-	緑褐色	シルト	
P698	66	円形	40×40	27	-	緑褐色	シルト	
P699	66	円形	28×24	19	-	緑褐色	シルト	
P700	66	楕円形	26×20	13	-	緑褐色	シルト	
P701	66	(楕円形)	60×(20)	14	-	緑褐色	シルト	
P702	66	円形	36×30	21	-	緑褐色	シルト	
P703	66	円形	26×24	13	-	緑褐色	シルト	
P704	66	楕円形	30×30	17	-	緑褐色	シルト	
P705	47	円形	32×31	11	-	緑褐色	シルト	
P706	60	円形	64×60	21	-	緑褐色	シルト	
P707	66	楕円形	30×20	24	-	緑褐色	シルト	
P708	66	楕円形	74×58	17	-	緑褐色	シルト	
P709	11	円形	20×18	22	-	緑褐色	シルト	
P710	62	円形	40×38	11	-	緑褐色	シルト	
P711	62	円形	38×36	56	-	緑褐色	シルト	
P712	66	円形	34×30	32	-	緑褐色	シルト	
P713	62	円形	28×30	26	-	緑褐色	シルト	
P714	62	円形	20×14	19	-	緑褐色	シルト	
P715	62	楕円形	48×40	24	-	緑褐色	シルト	
P716	64	楕円方形	70×60	45	-	緑褐色	シルト	
P717	64	円形	54×(36)	42	-	緑褐色	シルト	
P718	62	楕円形	32×24	33	-	緑褐色	シルト	
P719	62	円形	30×28	11	-	緑褐色	シルト	
P720	62	円形	20×18	21	-	緑褐色	シルト	
P721	62	円形	28×26	20	-	緑褐色	シルト	
P722	62	円形	36×30	19	-	緑褐色	シルト	
P723	47	円形	24×22	13	-	緑褐色	シルト	
P724	62	円形	36×32	22	-	緑褐色	シルト	
P725	66	円形	34×34	27	-	緑褐色	シルト	
P726	66	円形	28×24	19	-	緑褐色	シルト	
P727	62	円形	24×22	14	-	緑褐色	シルト	
P728	62	円形	30×(22)	26	-	褐色	シルト	
P729	62	円形	30×46	42	-	緑褐色	シルト	
P730	62	不整形	40×32	30	-	緑褐色	シルト	
P731	62	円形	60×60	45	-	緑褐色	シルト	
P732	62	円形	50×46	46	-	緑褐色	シルト	
P733	62	不整形	30×28	42	-	緑褐色	シルト	
P734	62	楕円形	40×30	43	-	緑褐色	シルト	
P735	62	楕円形	38×34	22	-	緑褐色	シルト	
P736	62	円形	40×34	41	-	緑褐色	シルト	
P737	62	円形	14×12	11	-	緑褐色	シルト	
P738	62	楕円形	38×34	34	-	緑褐色	シルト	
P739	62	円形	30×30	33	-	緑褐色	シルト	
P740	62	円形	40×34	13	-	緑褐色	シルト	
P741	62	円形	36×32	46	-	緑褐色	シルト	
P742	62	円形	42×40	23	-	緑褐色	シルト	
P743	62	円形	20×20	21	-	緑褐色	シルト	
P744	62	楕円形	32×28	12	-	緑褐色	シルト	
P745	62	円形	30×28	42	-	緑褐色	シルト	
P746	78	楕円形	16×12	2	-	緑褐色	シルト	
P747	78	楕円形	16×14	4	-	緑褐色	シルト	
P748	-	-	-	-	-	-	次巻	
P749	11	円形	30×30	6	-	緑褐色	シルト	
P750	62	円形	60×56	26	-	緑褐色	シルト	
P751	76	円形	38×30	33	-	緑褐色	シルト	
P752	4	円形	10×8	18	-	褐色	シルト	
P753	68	楕円形	42×(22)	15	-	緑褐色	シルト	
P754	76	楕円形	54×46	45	-	緑褐色	シルト	
P755	76	円形	30×24	20	-	緑褐色	シルト	
P756	76	方形	40×40	32	-	緑褐色	シルト	
P757	76	方形	82×50	58	-	緑褐色	シルト	
P758	68	方形	40×28	33	-	緑褐色	シルト	
P759	76	円形	36×34	45	-	緑褐色	シルト	
P760	76	円形	30×28	17	-	緑褐色	シルト	
P761	76	円形	12×12	17	-	緑褐色	シルト	
P762	76	楕円形	28×22	11	-	緑褐色	シルト	
P763	76	円形	40×38	10	-	緑褐色	シルト	

## 4C区ビット 集計表②

番 号	アキド	平面形	規格 (mm)	深さ (mm)	主 色	主 性	備 考
P764	76	楕円形	34×26	8	暗褐色	シルト	
P765	76	円形	20×18	8	褐色	シルト	
P766	76	円形	26×26	26	暗褐色	シルト	
P767	90	円形	74×60	42	暗褐色	シルト	
P768	90	方形	50×44	46	暗褐色	シルト	
P769	90	方形	24×22	3	暗褐色	シルト	
P770	90	円形	34×28	22	暗褐色	シルト	
P771	90	円形	26×24	16	暗褐色	シルト	
P772	90	円形	36×32	22	暗褐色	シルト	
P773	45	(楕円形)	(24×22)	17	暗褐色	シルト	
P774	45	円形	26×(22)	20	暗褐色	シルト	
P775	45	円形	26×22	17	暗褐色	シルト	
P776	45	楕円形	38×30	24	褐色	シルト	
P777	45	不整形	60×28	35	暗褐色	シルト	
P778	45	楕円形	26×(24)	17	暗褐色	シルト	
P779	45	円形	22×30	19	暗褐色	シルト	
P780	45	(円形)	(20×16)	31	褐色	シルト	
P781	45	円形	38×32	23	黒褐色	シルト	
P782	68	方形	28×14	49	暗褐色	シルト	
P783	62	(円形)	30×(18)	46	褐色	シルト	
P784	76	円形	30×26	26	暗褐色	シルト	
P785	46	円形	30×28	26	暗褐色	シルト	
P786	46	楕円形	38×34	16	褐色	シルト	
P787	-	-	-	-	-	-	欠番(SRD-PS)に変更)
P788	62	(円形)	20×(18)	5	暗褐色	シルト	
P789	91	円形	24×24	25	暗褐色	シルト	
P790	62	(楕円形)	34×(28)	31	暗褐色	シルト	
P791	47	円形	24×24	14	暗褐色	シルト	
P792	91	円形	40×40	18	暗褐色	シルト	
P793	77	円形	24×20	17	暗褐色	シルト	
P794	31	楕円形	32×28	12	暗褐色	シルト	
P795	77	円形	46×42	17	褐色	シルト	
P796	77	円形	28×24	18	暗褐色	シルト	
P797	77	円形	30×28	26	暗褐色	シルト	
P798	90	円形	24×22	26	暗褐色	シルト	
P799	76	楕円形	24×18	31	暗褐色	シルト	
P800	47	円形	36×30	25	暗褐色	シルト	
P801	62	円形	46×38	20	暗褐色	シルト	
P802	63	円形	30×26	17	暗褐色	シルト	
P803	62	円形	30×28	29	褐色	シルト	
P804	62	円形	30×22	24	暗褐色	シルト	
P805	62	楕円形	38×30	31	暗褐色	シルト	
P806	82	円形	20×18	11	暗褐色	シルト	
P807	62	隅丸方形	74×64	45	暗褐色	シルト	
P808	62	(円形)	24×(18)	16	褐色	シルト	
P809	62	円形	40×38	15	暗褐色	シルト	
P810	62	楕円形	40×36	24	暗褐色	シルト	
P811	82	楕円形	22×18	12	暗褐色	シルト	
P812	82	不整形	16×12	8	暗褐色	シルト	
P813	82	不整形	18×14	11	暗褐色	シルト	
P814	82	円形	20×20	15	暗褐色	シルト	
P815	82	楕円形	18×14	7	暗褐色	シルト	
P816	31	円形	30×24	7	暗褐色	シルト	
P817	47	円形	42×18	14	暗褐色	シルト	
P818	47	不整形	40×40	18	暗褐色	シルト	
P819	47	楕円形	26×24	17	暗褐色	シルト	
P820	47	円形	30×30	35	暗褐色	シルト	
P821	47	円形	24×24	13	暗褐色	シルト	
P822	47	円形	38×36	36	暗褐色	シルト	
P823	63	円形	38×34	18	暗褐色	シルト	
P824	63	円形	14×14	9	暗褐色	シルト	
P825	47	円形	14×14	17	暗褐色	シルト	
P826	47	円形	28×28	17	暗褐色	シルト	
P827	47	楕円形	24×18	13	暗褐色	シルト	
P828	47	楕円形	34×28	27	暗褐色	シルト	
P829	63	円形	20×20	13	褐色	シルト	
P830	63	円形	28×28	35	暗褐色	シルト	
P831	62	(楕円形)	50×38	32	暗褐色	シルト	
P832	62	円形	30×26	29	暗褐色	シルト	
P833	31	楕円形	22×22	10	暗褐色	シルト	
P834	63	(楕円形)	26×(22)	35	暗褐色	シルト	
P835	63	楕円形	34×24	37	暗褐色	シルト	
P836	63	円形	20×18	24	暗褐色	シルト	
P837	63	円形	36×30	35	暗褐色	シルト	
P838	63	円形	20×20	22	暗褐色	シルト	

## 4C区ビット 集計表③

番 号 名	アトリフ	平面形	幅径 (mm)	深さ (mm)	上 色	下 色	備 考
P839	63	円形	20×20	18	-	顔色	シルト
P840	63	円形	22×20	27	-	顔色	シルト
P841	62	円形	20×20	10	-	顔色	シルト
P842	76	円形	60×54	56	-	顔色	シルト
P843	63	円形	26×22	26	-	顔色	シルト
P844	77	楕円形	26×26	41	-	顔色	シルト
P845	63	不整形	48×44	49	-	顔色	シルト
P846	63	(円形)	34×49	28	-	顔色	シルト
P847	77	楕円形	42×32	31	-	顔色	シルト
P848	63	不整形	26×22	24	-	顔色	シルト
P849	63	楕円形	28×24	29	-	顔色	シルト
P850	63	円形	18×16	9	-	顔色	シルト
P851	63	不整形	24×20	32	-	顔色	シルト
P852	63	円形	20×18	19	-	顔色	シルト
P853	82	楕円形	34×26	2	-	顔色	シルト
P854	82	楕円形	34×30	26	-	顔色	シルト
P855	82	楕円形	26×20	11	-	顔色	シルト
P856	64	楕円形	38×28	22	-	顔色	シルト
P857	64	楕円形	48×40	4	-	顔色	シルト
P858	64	楕円形	20×18	19	-	顔色	シルト
P859	64	円形	34×28	12	-	顔色	シルト
P860	64	楕円形	30×22	21	-	顔色	シルト
P861	64	楕円形	18×14	14	-	顔色	シルト
P862	64	楕円形	44×32	26	-	顔色	シルト
P863	64	円形	22×20	11	-	顔色	シルト
P864	64	楕円形	32×26	14	-	顔色	シルト
P865	64	楕円形	28×22	16	-	顔色	シルト
P866	64	(楕円形)	28×18	11	-	顔色	シルト
P867	64	(円形)	20×20	13	-	顔色	シルト
P868	66	不整形	28×28	18	-	顔色	シルト
P869	62	楕円形	28×20	18	-	顔色	シルト
P870	89	楕円形	54×38	34	-	顔色	シルト
P871	89	(楕円形)	64×22	11	-	顔色	シルト
P872	100	(楕円形)	14×12	7	-	顔色	シルト
P873	100	(楕円形)	14×12	16	-	顔色	シルト
P874	100	円形	34×32	17	-	顔色	シルト
P875	100	(不整形)	30×44	28	-	顔色	シルト
P876	100	円形	38×34	25	-	顔色	シルト
P877	100	円形	20×18	13	-	顔色	シルト
P878	100	(楕丸方形)	90×28	21	10YR4/1	顔色	3層に分層
P879	100	不整形	26×26	20	-	顔色	シルト
P880	91	円形	40×36	6	-	顔色	シルト
P881	45	不整形	52×50	57	-	顔色	シルト
P882	45	楕丸方形	60×52	7	-	顔色	シルト
P883	46	不整形	49×44	45	-	顔色	シルト
P884	46	円形	26×22	12	-	顔色	シルト
P885	90	円形	40×38	9	-	顔色	シルト
P886	90	楕丸方形	32×28	5	-	顔色	シルト
P887	46	(円形)	42×28	19	-	顔色	シルト
P888	91	円形	44×42	26	-	顔色	シルト
P889	77	円形	36×32	34	-	顔色	シルト
P890	77	円形	42×40	20	-	顔色	シルト
P891	54	円形	28×26	3	-	顔色	シルト
P892	76	(円形)	44×28	22	-	顔色	シルト
P893	48	円形	26×26	22	-	顔色	シルト
P894	90	(楕丸方形)	64×56	11	-	顔色	シルト
P895	90	円形	40×36	12	-	顔色	シルト
P896	90	(楕丸方形)	36×30	12	-	顔色	シルト
P897	90	楕円形	44×32	10	-	顔色	シルト
P898	90	円形	30×28	8	-	顔色	シルト
P899	90	楕円形	26×22	27	-	顔色	シルト
P900	90	円形	64×62	30	-	顔色	シルト
P901	90	円形	34×32	6	-	顔色	シルト
P902	90	楕円形	40×32	8	-	顔色	シルト
P903	90	(楕円形)	48×28	15	10YR4/3	に濃い黄褐色	掘削の少量含む。3層に分層
P904	76	円形	74×70	26	-	顔色	シルト
P905	76	円形	36×34	8	-	顔色	シルト
P906	76	(楕円形)	20×26	29	-	顔色	シルト
P907	76	楕丸方形	40×32	29	-	顔色	シルト
P908	76	(楕丸方形)	42×28	10	-	顔色	シルト
P909	76	円形	26×26	28	-	顔色	シルト
P910	76	円形	50×44	41	-	顔色	シルト
P911	76	楕円形	50×44	41	-	顔色	シルト
P912	76	楕丸方形	50×40	29	-	顔色	シルト
P913	76	(不整形)	18×12	1	-	顔色	シルト

## 4C区ビッド 集計表④

通標名	サイズ	平面形	規格 (mm)	厚さ (mm)	主色	主性	備	考
P914	76	(不整形)	56×34	25	-	暗褐色	シルト	
P915	79	円形	40×34	25	-	暗褐色	シルト	
P916	76	不整形	40×28	38	-	暗褐色	シルト	
P917	76	円形	28×26	55	-	暗褐色	シルト	
P918	76	円形	36×34	34	-	暗褐色	シルト	
P919	62	楕円形	40×28	18	-	暗褐色	シルト	
P920	76	円形	32×30	48	-	褐色	シルト	
P921	76	円形	38×32	35	-	暗褐色	シルト	
P922	76	楕円形	34×30	26	-	暗褐色	シルト	
P923	76	円形	42×40	22	-	暗褐色	シルト	
P924	77	(楕円形)	28×(20)	12	-	褐色	シルト	
P925	77	(不整形)	30×28	45	-	暗褐色	シルト	
P926	63	円形	14×14	13	-	暗褐色	シルト	
P927	63	円形	16×12	20	-	暗褐色	シルト	
P928	63	円形	31×28	5	-	暗褐色	シルト	
P929	63	楕円形	34×20	9	-	褐色	シルト	
P930	63	円形	12×12	10	-	暗褐色	シルト	
P931	63	不整形	24×22	13	-	暗褐色	シルト	
P932	63	円形	24×20	6	-	暗褐色	シルト	
P933	48	(円形)	8×8	10	-	暗褐色	シルト	
P934	47	楕円形	24×20	15	-	褐色	シルト	
P935	21	楕円形	32×25	17	-	褐色	シルト	
P936	21	楕円形	38×32	22	-	褐色	シルト	
P937	21	楕円形	39×35	17	-	暗褐色	シルト	
P938	21	楕円形	37×28	36	-	暗褐色	シルト	
P939	21	不整形	62×46	36	-	暗褐色	シルト	
P940	21	円形	25×25	27	-	暗褐色	シルト	
P941	21	円形	73×68	34	-	暗褐色	シルト	
P942	35	円形	45×45	29	-	褐色	シルト	
P943	35	円形	32×31	16	-	褐色	シルト	
P944	35	円形	65×56	23	-	暗褐色	シルト	
P945	35	楕円形	70×58	37	-	褐色	シルト	
P946	35	円形	31×31	26	-	暗褐色	シルト	
P947	35	円形	68×48	14	-	褐色	シルト	
P948	51	円形	23×18	21	-	暗褐色	シルト	
P949	51	円形	45×39	26	-	褐色	シルト	
P950	51	円形	34×27	13	-	褐色	シルト	
P951	51	(円形)	41×(32)	26	-	暗褐色	シルト	
P952	51	円形	34×25	23	-	褐色	シルト	
P953	51	(円形)	25×(20)	24	-	暗褐色	シルト	
P954	51	楕円形	73×59	22	-	褐色	シルト	
P955	51	円形	59×(50)	18	-	褐色	シルト	
P956	51	楕円形	58×51	42	-	暗褐色	シルト	
P957	51	円形	48×44	16	-	褐色	シルト	
P958	51	円形	62×51	43	-	褐色	シルト	
P959	50	楕円形	54×42	48	-	褐色	シルト	
P960	50	円形	27×24	40	-	暗褐色	シルト	
P961	51	円形	48×44	55	-	褐色	シルト	
P962	51	不整形	51×44	45	-	暗褐色	シルト	
P963	51	(円形)	50×(40)	28	-	褐色	シルト	
P964	51	円形	48×41	30	-	暗褐色	シルト	
P965	50	円形	28×25	17	-	褐色	シルト	
P966	67	円形	34×32	47	-	褐色	シルト	
P967	67	楕円形	30×59	40	-	暗褐色	シルト	
P968	67	円形	33×34	54	-	褐色	シルト	
P969	67	円形	45×39	32	-	暗褐色	シルト	
P970	67	円形	38×32	14	-	褐色	シルト	
P971	67	楕円形	32×25	18	-	暗褐色	シルト	
P972	67	(楕円形)	64×48	34	-	褐色	シルト	
P973	67	円形	42×39	34	-	褐色	シルト	
P974	67	円形	58×52	41	-	暗褐色	シルト	
P975	81	楕丸方形	76×59	43	-	褐色	シルト	
P976	67	円形	56×56	44	-	暗褐色	シルト	
P977	81	楕円形	65×54	43	-	暗褐色	シルト	
P978	81	円形	38×34	45	-	褐色	シルト	
P979	81	楕丸方形	63×58	44	-	褐色	シルト	
P980	81	円形	46×45	29	-	褐色	シルト	
P981	81	円形	28×27	23	-	褐色	シルト	
P982	80	楕丸方形	38×31	15	-	褐色	シルト	
P983	80	円形	30×28	45	-	褐色	シルト	
P984	81	楕円形	90×77	11	-	褐色	シルト	
P985	67	円形	41×59	29	-	暗褐色	シルト	
P986	67	(円形)	66×(33)	17	-	褐色	シルト	
P987	67	円形	52×51	24	-	暗褐色	シルト	
P988	66	楕円形	62×39	27	-	褐色	シルト	

## 4C区ピット 集計表05

道標名	グリッド	平面形	幅員(m)	深さ(m)	土色	土色	備考
P989	66	円形	59×56	66	-	褐色	シルト
P990	66	円形	39×34	13	-	明緑灰色	シルト
P991	80	円形	55×46	33	-	褐色	シルト
P992	66	円形	23×23	37	-	褐色	シルト
P993	66	円形	45×39	64	-	褐色	シルト
P994	66	円形	42×39	36	-	暗褐色	シルト
P995	66	円形	23×23	36	-	暗褐色	シルト
P996	66	円形	39×37	17	-	褐色	シルト
P997	66	円形	42×37	28	-	暗褐色	シルト
P998	80	円形	32×28	53	-	暗褐色	シルト
P999	80	円形	56×51	49	-	褐色	シルト
P1000	80	円形	38×54	3	10YR6/3	にぶい黄褐色	5層に分層
P1001	80	(隅丸方形)	34×17	16	-	褐色	シルト
P1002	80	楕円形	83×62	11	-	褐色	シルト
P1003	66	円形	32×27	30	-	暗褐色	シルト
P1004	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR26-P9C) 変更)
P1005	66	円形	45×42	3	観察表参照	-	新田岡崎
P1006	66	円形	24×32	29	-	褐色	シルト
P1007	66	円形	42×39	27	-	暗褐色	シルト
P1008	66	楕円形	46×37	56	-	暗褐色	シルト
P1009	66	楕円形	54×41	43	-	暗褐色	シルト
P1010	66	円形	49×46	56	-	暗褐色	シルト
P1011	66	円形	48×51	55	-	暗褐色	シルト
P1012	50	円形	42×35	48	-	褐色	シルト
P1013	50	円形	38×37	53	-	褐色	シルト
P1014	50	円形	27×34	15	-	褐色	シルト
P1015	50	楕円形	73×56	47	-	褐色	シルト
P1016	34	円形	23×20	29	-	暗褐色	シルト
P1017	34	円形	27×25	39	-	暗褐色	シルト
P1018	34	楕円形	48×39	27	-	暗褐色	シルト
P1019	35	円形	21×20	14	-	暗褐色	シルト
P1020	34	円形	51×51	25	-	暗褐色	シルト
P1021	-	-	-	-	-	-	欠番
P1022	20	楕円形	30×25	12	-	暗褐色	シルト
P1023	34	円形	56×48	3	-	褐色	シルト
P1024	34	円形	23×23	53	-	暗褐色	シルト
P1025	34	円形	49×46	50	-	暗褐色	シルト
P1026	50	円形	59×54	33	-	暗褐色	シルト
P1027	50	円形	20×20	15	-	褐色	シルト
P1028	50	円形	23×23	20	-	褐色	シルト
P1029	50	円形	42×38	30	-	暗褐色	シルト
P1030	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P1C) 変更)
P1031	50	円形	82×77	39	-	暗褐色	シルト
P1032	50	円形	51×48	33	-	暗褐色	シルト
P1033	66	円形	51×45	33	5Y3.2	オリーブ灰色	3層に分層
P1034	50	円形	34×32	46	-	暗褐色	シルト
P1035	50	(円形)	45×(21)	30	-	褐色	シルト
P1036	50	(楕円形)	75×(15)	27	-	褐色	シルト
P1037	50	円形	42×37	27	-	褐色	シルト
P1038	50	円形	32×30	34	-	暗褐色	シルト
P1039	50	(円形)	79×(59)	36	-	黒褐色	シルト
P1040	50	(円形)	41×(39)	25	-	暗褐色	シルト
P1041	50	円形	39×37	25	-	褐色	シルト
P1042	50	楕円形	86×76	23	-	褐色	シルト
P1043	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P2C) 変更)
P1044	66	円形	85×79	24	-	褐色	シルト
P1045	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR26-P1C) 変更)
P1046	66	楕円形	62×42	29	-	にぶい黄褐色	シルト
P1047	66	楕円形	34×28	27	-	褐色	シルト
P1048	66	円形	20×17	15	-	褐色	シルト
P1049	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR26-P2C) 変更)
P1050	76	楕円形	73×51	27	-	暗褐色	シルト
P1051	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR26-P9C) 変更)
P1052	80	円形	34×31	18	-	褐色	シルト
P1053	80	円形	73×59	51	-	褐色	シルト
P1054	79	円形	38×55	43	10YR5/3	にぶい黄褐色	4層に分層
P1055	79	楕円形	42×37	53	-	暗褐色	シルト
P1056	79	円形	56×48	3	-	褐色	シルト
P1057	65	円形	23×20	24	-	暗褐色	シルト
P1058	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR26-P1C) 変更)
P1059	65	円形	56×54	74	-	明緑灰色	シルト
P1060	66	楕円形	65×49	11	-	暗褐色	シルト
P1061	-	-	-	-	-	-	欠番
P1062	65	円形	21×20	10	-	暗褐色	シルト
P1063	65	円形	51×45	32	-	褐色	シルト

4C区ビット 集計表⑥

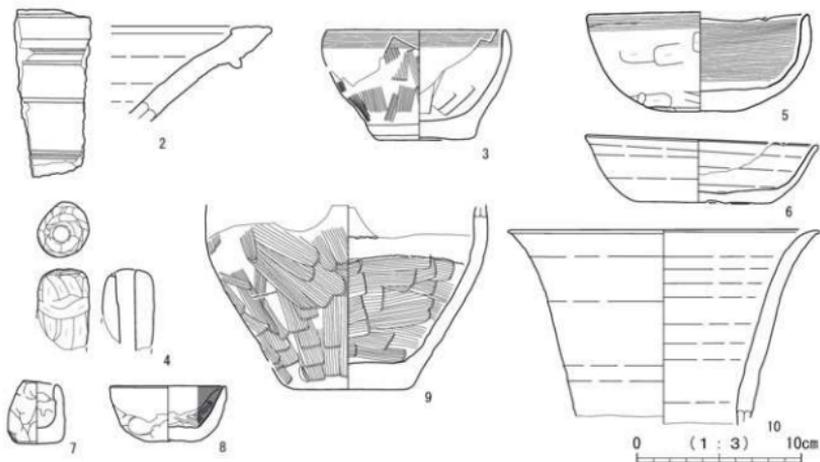
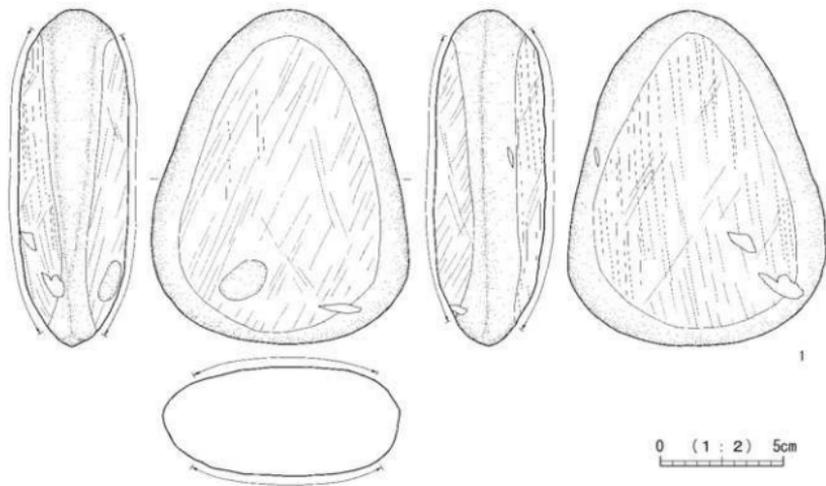
集計名	サイズ	平面形	規格 (mm)	深さ (mm)	土色	土性	備	考
P1064	65	円形	39×37	7	褐色	シルト		
P1065	65	円形	56×45	40	暗褐色	シルト		
P1066	65	隅丸方形	62×62	51	暗褐色	シルト		
P1067	65	円形	46×45	30	暗褐色	シルト		
P1068	49	円形	41×37	43	暗褐色	シルト		
P1069	49	円形	31×25	30	暗褐色	シルト		
P1070	49	楕円形	39×34	5	褐色	シルト		
P1071	49	円形	51×44	29	暗褐色	シルト		
P1072	49	円形	52×51	12	暗褐色	シルト		
P1073	49	楕円形	42×37	46	褐色	シルト		
P1074	49	円形	45×39	18	褐色	シルト		
P1075	49	円形	60×56	7	褐色	シルト		
P1076	49	楕円形	56×46	47	暗褐色	シルト		
P1077	47	円形	70×42	11	暗褐色	シルト		
P1078	50	楕円形	32×23	28	褐色	シルト		
P1079	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P7)に変更	
P1080	49	円形	62×56	12	明緑灰色	シルト		
P1081	33	円形	70×69	55	暗褐色	シルト		
P1082	33	円形	59×56	50	褐色	シルト		
P1083	34	円形	38×37	21	暗褐色	シルト		
P1084	33	円形	28×25	33	暗褐色	シルト		
P1085	33	円形	39×37	16	暗褐色	シルト		
P1086	33	円形	37×34	48	褐色	シルト		
P1087	33	楕円形	25×20	19	褐色	シルト		
P1088	33	円形	30×30	15	暗褐色	シルト		
P1089	33	円形	27×25	8	褐色	シルト		
P1090	33	楕円形	20×17	21	暗褐色	シルト		
P1091	33	円形	18×17	8	暗褐色	シルト		
P1092	49	楕円形	28×21	16	暗褐色	シルト		
P1093	33	円形	37×32	11	暗褐色	シルト		
P1094	33	円形	48×48	36	暗褐色	シルト		
P1095	49	円形	73×69	16	褐色	シルト		
P1096	49	円形	48×41	47	暗褐色	シルト		
P1097	49	円形	56×46	50	暗褐色	シルト		
P1098	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P8)に変更	
P1099	65	円形	56×51	60	暗褐色	シルト		
P1100	66	円形	45×37	1	暗褐色	シルト		
P1101	34	円形	28×25	17	暗褐色	シルト		
P1102	67	円形	32×32	21	暗褐色	シルト		
P1103	80	隅丸方形	34×34	42	暗褐色	シルト		
P1104	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P9)に変更	
P1105	33	円形	54×51	15	褐色	シルト		
P1106	33	円形	63×58	12	暗褐色	シルト		
P1107	33	円形	62×54	10	暗褐色	シルト		
P1108	33	楕円形	45×39	11	暗褐色	シルト		
P1109	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P10)に変更	
P1110	50	(円形)	54×42	48	暗褐色	シルト		
P1111	50	(円形)	73×69	31	黒褐色	シルト		
P1112	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P10)に変更	
P1113	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P11)に変更	
P1114	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P8)に変更	
P1115	67	円形	45×42	61	暗褐色	シルト		
P1116	67	楕円形	42×38	2	暗褐色	シルト		
P1117	67	隅丸方形	39×27	31	暗褐色	シルト		
P1118	67	楕円形	82×65	36	暗褐色	シルト		
P1119	77	円形	45×42	15	褐色	シルト		
P1120	80	円形	70×61	18	暗褐色	シルト		
P1121	51	円形	66×56	53	暗褐色	シルト		
P1122	51	隅丸方形	85×59	15	暗褐色	シルト		
P1123	51	楕円形	107×82	26	暗褐色	シルト		
P1124	34	楕円形	83×55	55	暗褐色	シルト		
P1125	34	円形	55×48	28	暗褐色	シルト		
P1126	34	円形	37×28	7	暗褐色	シルト		
P1127	34	楕円形	45×32	25	暗褐色	シルト		
P1128	34	円形	17×17	7	褐色	シルト		
P1129	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P11)に変更	
P1130	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P12)に変更	
P1131	66	円形	24×23	24	暗褐色	シルト		
P1132	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P7)に変更	
P1133	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P13)に変更	
P1134	79	隅丸方形	73×45	18	暗褐色	シルト		
P1135	-	-	-	-	-	-	欠番 (SR25-P4)に変更	
P1136	50	円形	32×31	21	暗褐色	シルト		
P1137	50	(円形)	59×32	28	褐色	シルト		
P1138	33	楕円形	85×51	59	暗褐色	シルト		

## 4C区ピット 集計表

番 号	グリッド	平面形	幅 (cm)	深さ (cm)	土 色	土 色	備 考
P1130	33	円形	66×59	45	-	暗褐色	シルト
P1140	33	円形	45×41	22	-	暗褐色	シルト
P1141	33	円形	25×18	12	-	暗褐色	シルト
P1142	51	円形	31×31	29	-	暗褐色	シルト
P1143	76	円形	27×24	32	-	暗褐色	シルト
P1144	76	円形	28×27	19	-	暗褐色	シルト
P1145	76	円形	48×37	23	-	暗褐色	シルト
P1146	76	円形	55×37	41	-	褐色	シルト
P1147	79	円形	51×37	8	-	褐色	シルト
P1148	34	円形	41×34	17	-	黒褐色	シルト
P1149	76	円形	46×46	70	-	暗褐色	シルト
P1150	49	円形	59×59	23	-	褐色	シルト
P1151	49	円形	55×54	49	-	褐色	シルト
P1152	51	楕円形	62×55	55	-	暗褐色	シルト
P1153	51	円形	39×30	30	-	暗褐色	シルト
P1154	51	円形	31×25	35	-	褐色	シルト
P1155	35	円形	25×14	15	-	褐色	シルト
P1156	54	(楕円形)	17×(17)	4	-	褐色	シルト
P1157	76	円形	27×24	19	-	褐色	シルト
P1158	62	円形	48×39	10	-	褐色	シルト
P1159	51	楕丸方形	51×45	48	-	暗褐色	シルト
P1160	51	円形	34×31	27	-	褐色	シルト
P1161	51	円形	31×28	30	-	褐色	シルト
P1162	50	円形	27×27	18	-	褐色	シルト
P1163	34	円形	26×25	20	-	褐色	シルト
P1164	76	楕丸方形	25×23	15	-	暗褐色	シルト
P1165	62	楕円形	52×27	12	-	黒褐色	シルト
P1166	62	円形	31×25	15	-	褐色	シルト
P1167	34	円形	25×23	15	-	黒褐色	シルト
P1168	21	(円形)	56×50	21	-	黒褐色	シルト
P1169	21	楕丸方形	34×30	16	-	暗褐色	シルト
P1170	35	楕円形	56×45	16	-	暗褐色	シルト
P1171	35	円形	25×24	16	-	暗褐色	シルト
P1172	35	円形	32×30	18	-	暗褐色	シルト
P1173	21	円形	31×31	27	-	暗褐色	シルト
P1174	21	円形	35×34	14	-	暗褐色	シルト
P1175	21	(楕円形)	34×(23)	18	-	黒褐色	シルト
P1176	67	円形	31×25	19	-	黒褐色	シルト
P1177	67	円形	37×34	26	-	褐色	シルト
P1178	51	円形	23×23	28	-	褐色	シルト
P1179	41	楕円形	25×20	22	-	暗褐色	シルト
P1180	61	楕円形	27×20	18	-	暗褐色	シルト
P1181	66	円形	42×41	36	-	褐色	シルト
P1182	65	円形	76×69	46	19YR3/4	暗褐色	シルト 3層に分離
P1183	65	楕円形	48×38	50	-	暗褐色	シルト
P1184	65	楕円形	49×37	15	-	暗褐色	シルト
P1185	67	円形	70×68	70	-	暗褐色	シルト
P1186	65	円形	28×27	16	-	暗褐色	シルト
P1187	46	円形	37×30	40	-	暗褐色	シルト
P1188	49	楕円形	59×54	26	-	暗褐色	シルト
P1189	49	円形	54×45	23	-	暗褐色	シルト
P1190	49	円形	34×23	12	-	暗褐色	シルト
P1191	49	円形	39×38	41	-	暗褐色	シルト
P1192	49	円形	46×45	15	-	暗褐色	シルト
P1193	65	楕円形	27×32	17	-	暗褐色	シルト
P1194	49	(円形)	18×15	12	-	暗褐色	シルト
P1195	50	円形	44×39	24	-	暗褐色	シルト
P1196	50	円形	34×34	26	-	暗褐色	シルト
P1197	49	円形	30×18	11	-	暗褐色	シルト
P1198	49	円形	23×23	15	-	暗褐色	シルト
P1199	50	円形	56×48	23	-	暗褐色	シルト
P1200	50	(円形)	23×15	4	-	暗褐色	シルト
P1201	50	円形	17×15	17	-	褐色	シルト
P1202	50	円形	39×37	46	-	暗褐色	シルト
P1203	46	円形	25×23	18	-	暗褐色	シルト
P1204	45	円形	39×37	30	-	暗褐色	シルト
P1205	19	円形	34×32	64	-	黒褐色	シルト
P1206	34	楕丸方形	59×56	24	-	暗褐色	シルト
P1207	33	円形	28×23	30	-	暗褐色	シルト
P1208	34	楕円形	28×23	32	-	暗褐色	シルト
P1209	33	円形	34×31	22	-	暗褐色	シルト
P1210	33	円形	25×24	15	-	暗褐色	シルト
P1211	34	円形	31×15	11	-	暗褐色	シルト
P1212	34	円形	25×21	20	-	暗褐色	シルト
P1213	33	円形	28×25	29	-	暗褐色	シルト

4C区ビット 集計表⑥

番 号	ア リ ト	平 面 形	風 税 (mm)	深 さ (mm)	主 色	主 性	備 考
P1214	33	(円形)	31×28	17	-	暗褐色	シルト
P1215	100	(円形)	68×42	12	-	褐色	シルト
P1216	33	円形	45×42	5	-	褐色	シルト
P1217	33	円形	27×27	13	-	暗褐色	シルト
P1218	33	楕円形	70×56	35	-	暗褐色	シルト
P1219	50	(楕円形)	69×34	47	-	暗褐色	シルト
P1220	65	(楕円形)	67×28	24	-	暗褐色	シルト
P1221	65	(楕円形)	49×34	25	-	暗褐色	シルト
P1222	65	楕円形	28×20	25	-	暗褐色	シルト
P1223	65	(楕円形)	48×38	21	-	暗褐色	シルト
P1224	48	円形	21×21	37	-	暗褐色	シルト
P1225	48	楕円形	41×34	26	-	暗褐色	シルト
P1226	32	楕円形	6×6	18	-	暗褐色	シルト
P1227	33	円形	23×21	25	-	暗褐色	シルト
P1228	100	(楕円形)	62×51	24	-	暗褐色	シルト
P1229	100	(楕円形)	79×70	24	-	暗褐色	シルト
P1230	61	楕円形	56×45	14	-	暗褐色	シルト
P1231	61	円形	51×48	12	-	暗褐色	シルト
P1232	67	円形	31×25	41	-	暗褐色	シルト
P1233	67	楕円形	46×45	21	-	暗褐色	シルト
P1234	67	円形	31×31	7	-	暗褐色	シルト
P1235	65	(楕円形)	61×42	31	-	暗褐色	シルト
P1236	35	円形	20×20	23	-	暗褐色	シルト
P1237	35	円形	25×23	6	-	暗褐色	シルト
P1238	21	円形	18×17	51	-	暗褐色	シルト
P1239	21	円形	15×11	10	-	暗褐色	シルト
P1240	21	(楕円形)	99×69	51	-	暗褐色	シルト
P1241	34	不整形	20×18	17	-	暗褐色	シルト
P1242	50	楕円形	25×23	18	-	褐色	シルト
P1243	50	楕円形	20×15	17	-	暗褐色	シルト
P1244	-	-	-	-	-	-	欠番
P1245	50	円形	39×39	52	-	暗褐色	シルト
P1246	50	円形	32×30	21	-	暗褐色	シルト
P1247	50	楕円形	20×20	16	-	褐色	シルト
P1248	50	(楕円形)	32×25	30	-	褐色	シルト
P1249	50	円形	28×25	14	-	褐色	シルト
P1250	50	円形	23×18	13	-	暗褐色	シルト
P1251	50	円形	27×23	20	-	褐色	シルト
P1252	50	円形	15×14	6	-	褐色	シルト
P1253	50	円形	54×45	29	-	暗褐色	シルト
P1254	49	円形	28×27	13	-	暗褐色	シルト
P1255	79	不整形	89×56	43	-	暗褐色	シルト
P1256	65	(円形)	31×21	24	-	暗褐色	シルト
P1257	45	(円形)	31×23	22	-	暗褐色	シルト
P1258	45	(円形)	25×21	32	-	褐色	シルト
P1259	45	(円形)	28×17	31	-	暗褐色	シルト
P1260	47	円形	47×45	19	-	暗褐色	シルト
P1261	-	-	-	-	-	-	欠番
P1262	49	不整形	34×24	43	-	暗褐色	シルト
P1263	49	円形	42×32	29	-	暗褐色	シルト
P1264	51	不整形	59×51	57	-	褐色	シルト
P1265	51	円形	73×61	7	-	暗褐色	シルト
P1266	51	円形	34×30	11	-	暗褐色	シルト
P1267	79	円形	27×25	14	-	暗褐色	シルト
P1268	75	楕円形	39×28	6	-	暗褐色	シルト
P1269	81	円形	82×70	36	-	暗褐色	シルト
P1270	65	(方形)	56×28	32	-	暗褐色	シルト
P1271	65	楕円形	31×25	25	-	暗褐色	シルト
P1272	66	円形	21×20	26	-	暗褐色	シルト
P1273	46	楕円形	28×23	26	-	暗褐色	シルト
P1274	65	楕円形	43×32	45	-	暗褐色	シルト
P1275	78	楕円形	36×28	34	-	暗褐色	シルト
P1276	78	楕円形	20×16	11	-	暗褐色	シルト
P1277	78	円形	19×17	11	-	暗褐色	シルト
P1278	78	円形	39×34	12	-	暗褐色	シルト



第65図 ビット出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備	考	写真 採撮	
1	K6-037	P236(8C)	埋土	石製品	砥石	13.7×10.4×4.5	807.6	燧石岩		自然、板状	105	
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整		内面調整	備	考	写真 採撮
2	E-01	P62(4B)	1層	灰磁器	壺	—×—×6.8	070調整、裏部外縁き成状文		070調整		口縁内面に有1筋	105
3	C-001	P245(8C)	埋土	土師器	鉢	10.0×5.9×6.7	口縁部→F、体部→F→F、底部→F		口縁部→F、体部→F			105
5	C-002	P631(8C)	埋土	土師器	杯	13.2×4.6×6.0	口縁部→F、体部→F、底部→F		口縁部→F、体部→F			105
6	E-02	P672(8C)	埋土	灰磁器	杯	14.0×8.0×3.9	070調整、裏部回転→切り→体部下端→底部→F		070調整			105
7	C-003	P711(8C)	埋土	土師器	1F+7	2.0×2.3×3.7	指染調整		指染調整			105
8	C-004	P809(8C)	埋土	土師器	1F+7	縦溝×3.3×3.3	指染調整		指染調整→→1F+7		内面着色処理	105
9	C-005	P930(8C)	埋土	土師器	壺	—×6.5×(11.2)	胴部→F→→F、底部→F		胴部→F			105
10	E-03	P933(8C)	埋土	灰磁器	壺	(13.6)×—×(11.9)	070調整		070調整			105
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備		考	写真 採撮	
4	P-01	P508(8C)	埋土	土製品	土師	4.9×4.1×孔径1.1	50.1	指染調整、→F				105

## 2. 古代の遺構と遺物

この項では、古代面下面遺構として調査を進めたものを報告する。遺構内出土遺物を概観すると、最古のものとして住社時期のものが一部に認められたものの、概ね郡山遺跡に官衙が造営される7世紀半ば前後から、官衙としての終焉を迎える8世紀代の間に帰属するものと考えられる。遺構の配置や方向には、官衙造営の強い影響を感じさせるものが多い。

検出された遺構は、竪穴住居跡78軒、掘立柱建物跡18棟、材木列1条、溝跡5条、性格不明遺構2基、河川跡1ヶ所を数える。竪穴住居跡や材木列・区画溝の一部には、調査区南側の3B区調査時に検出・調査されたものも含まれており、その調査時に得られた所見も今回報告する内容の一助となった。

### (1) 竪穴住居跡

竪穴住居跡は、調査区中央(4A・4B区界付近)を除く北側及び南側で多く検出された。この分布は、後述する区画溝(SD66)に付設されている通路状遺構や材木列(SA1)の配置と非常に密接な関連性があるものと思われる。また、区画溝・材木列より西の区域(4C西区)に、竪穴住居跡のやや高い密集性が認められ、住居同士の重複関係だけで最大6時期の変遷があることが確認された。

平面形状は方形を呈するものが圧倒的に多く、長方形のものがそれに混じる。上部構造は基本的に4本の主柱穴によるものが殆どであるが、棟持柱構造と考えられるものも3軒検出されている。

カマドに関しては、付設場所が住居北半となるものが53軒58例と、カマド位置を推定できるものの約83%を占める。カマド燃焼部は、壁面の外側に張り出した形で構築されるのが1例(S1124)ある他は、ほぼ全ての竪穴住居跡において壁面の内側に造られている。煙道部の長さについては、住居上位に削平を受けるものが多いため断じ難いが、残存状況の良いものを見る限り1m以上となる傾向が強い。煙道部底面は、煙出しに向かって上がっていくものとはほぼ水平のもの、下がっていくものがみられる。また、煙出し部分にビット状を呈する明瞭な窪みが認められたものが12例、煙道部途中にビット状の窪みを有するものが2例あった。

床面で検出された付属遺構としては、間仕切りの痕跡が検出されたものが2例、張り出し部を持つものが3例、埋土に焼土や炭化物を多量に含み、「灰溜め」目的として利用されたと思われるビットを持つものが21例認められ、貯蔵穴と推定される土坑を持つものも散見される。

文中における住居各辺の表現については、真北から東西45°以内の方向に対して直交する辺を「北辺」と設定し、それに倣った形で他辺も呼称している。床面で検出した遺構はそれぞれ土坑・ビット・性格不明遺構とし、SK・P・SXの略号を付した。発掘調査段階で設定したものをそのまま踏襲しているが、土坑とビットの区別はあまり厳密ではなく、比較的規模の大きいものを土坑、柱穴と思われるものや小穴をビットとした。

#### S1120 竪穴住居跡(第67図)

【位置・確認面】4A区南側、1-6グリッドに位置する。本住居の大半は昨年度の調査区である3B区で検出されており、詳細な報告はそちらに譲るものとする(報告書未刊)。

【規模・形態】3B区での調査成果から、1辺約5m前後の方形を呈する。

【重複】SD66に切られる。

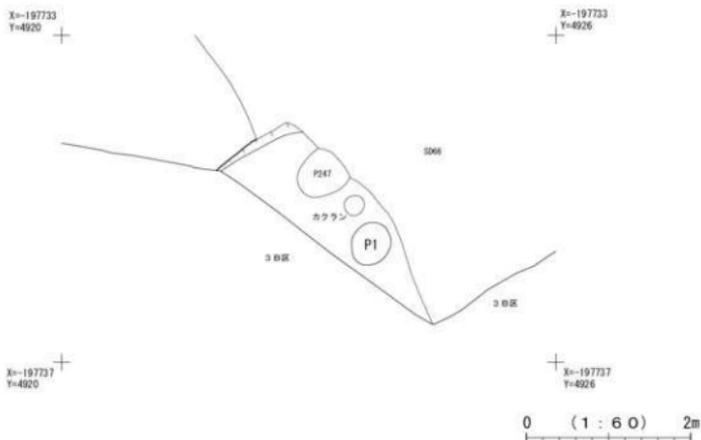
【カマド】北辺中央に位置する。

【その他の施設】今回調査区内ではビット1基(P1)を検出した。このビットも3B区調査時に調査・完掘されているため、プランのみを図示した。

【出土遺物】今回の調査では埋土中より土師器片が出土したが、掲載遺物はない。



第66図 長町駅東遺跡4区遺構全体図(2)



第67図 SI120竪穴住居跡

#### SI124 竪穴住居跡(第68～70図)

〔位置・確認面〕4A区南側、2・7グリッドに位置する。本遺構もSI120同様、住居南半が昨年度調査区である3B区に位置している。

〔規模・形態〕3B区での調査成果と合わせて考えると、ほぼ方形を呈するものと思われる。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-42°-Eである。

〔堆積土・構築土〕11層に分層した。1～3層は住居埋土、4層以下はカマド関連層位である。今回調査部分の掘り方埋土は非常に薄い、或いは殆どない状態であったため、土層断面図に反映できなかった。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁30cm、北壁35cmである。

〔床面〕今回調査区(住居北半)では地山近くを床面としており、僅かに南への傾斜が認められた。

〔周溝〕カマド部分を除いて残存する2辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。北側のカマド部分で途切れている。幅7～14cm、深さ2～4cmで、断面形はU字形に近い。

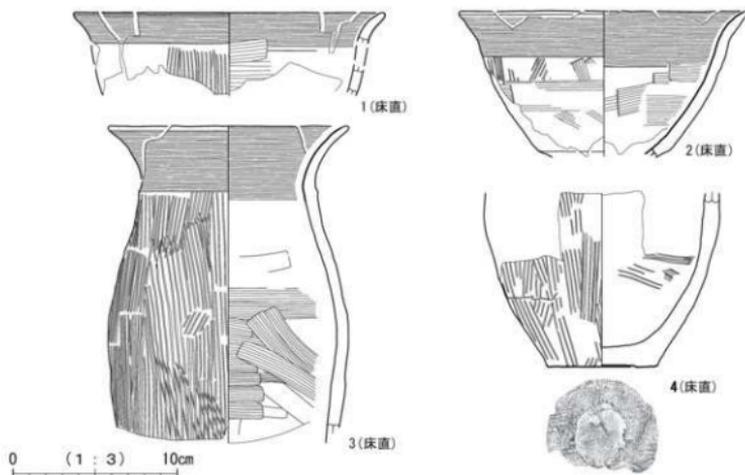
〔カマド〕北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。被熱痕跡の位置から考えると、袖部は壁面の外側を掘り込むことで造り出されており、燃焼部は奥行60cm、幅15～47cmを測る。また、焚口右方に認められたしまりの強い土層についても袖構築材の一部と判断した。被熱範囲後方には支脚と考えられる自然礫が、両脇には袖石と考えられるやや扁平な自然礫が、それぞれ検出されている。煙道部は残存長84cm、幅20～23cm、深さ19cmを測り、その先端はSK94に切られるが、ビット状の窪みはないものと思われる。

〔その他の施設〕ビット1基(P1)を検出した。

〔掘り方〕先述した通り、今回調査区内では掘り方埋土が殆どみられなかった。前回調査においても、住居北側はあまり掘り込まれていた形跡はみられないようである。

〔出土遺物〕床面から出土した土師器を4点図示した。第70図-2は、底面から口縁部にかけて大きく開く器形である。





第70図 SI124出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	種別	器形	口径×口径×器高cm	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-094	SI124	床直	土師器 甕	(18.9) × (8.5)	白緑部×???, 胴部×??	白緑部×???, 胴部×???		106
2	C-091	SI124	床直	土師器 鉢	(17.4) × (8.9)	白緑部×???, 胴部×??×???	白緑部×???, 胴部×???		106
3	C-093	SI124	床直	土師器 甕	14.5 × (19.5)	白緑部×???, 胴部×??	白緑部×???, 胴部×???		106
4	C-092	SI124	床直	土師器 甕	→6.7 × (10.5)	胴部×?, 底部×???	胴部×???		106

### SI133 竪穴住居跡(第71~74図)

[位置・確認面] 4 A区南西、5・12グリッドに位置する。

[規模・形態] 規模は東西・南北ともに2.9mと小型で、ほぼ正方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-133°-Wである。

[堆積土・構築土] 14層に分層した。1~8層は住居埋土で、黒褐色~暗褐色土を主体としており、西側の一部では炭化物層(6層)も確認できた。この炭化物層周辺からの遺物出土が顕著である。9~11層はカマド内堆積土、12層は周溝内埋土、13層はカマド袖構築土、14層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁20cm、西壁22cm、南壁23cm、北壁22cmである。

[床面] 14層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

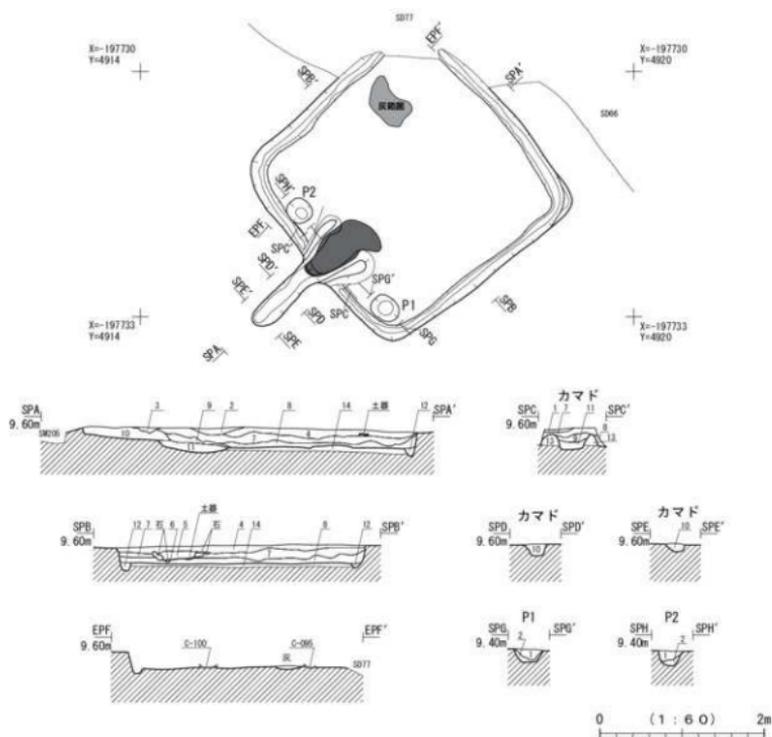
[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を壁面直下で検出した。僅かにカマド袖部下に潜り込んでいるため、周溝掘削後にカマドを構築したことがわかる。幅12~23cm、深さ4~7cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 西辺中央で検出した。両袖部がハ字状に開いており、壁面からの長さ約65cm、高さ10~15cmを測る。西壁下の周溝が埋められた後に、IV層類似土を用いて構築されている。また、それぞれの袖前方に袖石と思われる被熱した細長の自然礫が検出されている。燃焼部は奥行63cm、幅24~39cmを測り、中央で細長の土製支脚が直立した状態で検出されたが、底面の被熱痕跡は明瞭ではなかった。煙道部は長さ90cm、幅24~27cm、深さ14cmで、先端は窪まずに立ち上がる。

[その他の施設] ビット2基(P1・2)を検出した。

[掘り方] 周溝底面より浅い掘り込みで、底面はほぼ平坦である。

[出土遺物] 坏類はいずれもその内面が黒色処理されている。床面からの出土は第73図-3、第74図-1である。



第71図 S1133竪穴住居跡(1)

S1133 埋土誌記表

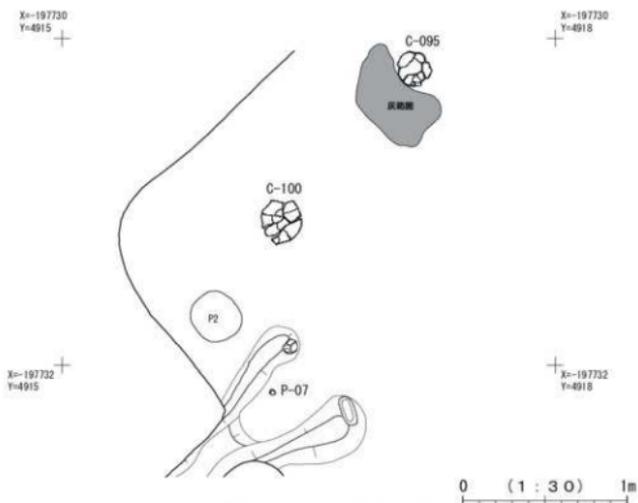
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	2.5Y3/1 黒褐色	粘土質シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む、火山灰少層状に堆積	埋土	8	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト		
	2	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量含む		9	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	焼土?中(厚5~30mm)含む	
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒微量に含む		10	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物多量に含む	
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼山?中(厚10mm)含む		11	10YR3/1 黒褐色	炭化物粒・焼土多量に含む		
	5	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼山?中(厚10mm)含む		12	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼山?中(厚10~20mm)に少量に含む	
	6	10YR2/1 棕色	炭化物	非常に多い		中層材	13	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
	7	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼山多量、炭化物微量に含む		掘り方	14	10YR4/3 濃い黄褐色	粘土質シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む

S1133 施設埋土誌記表

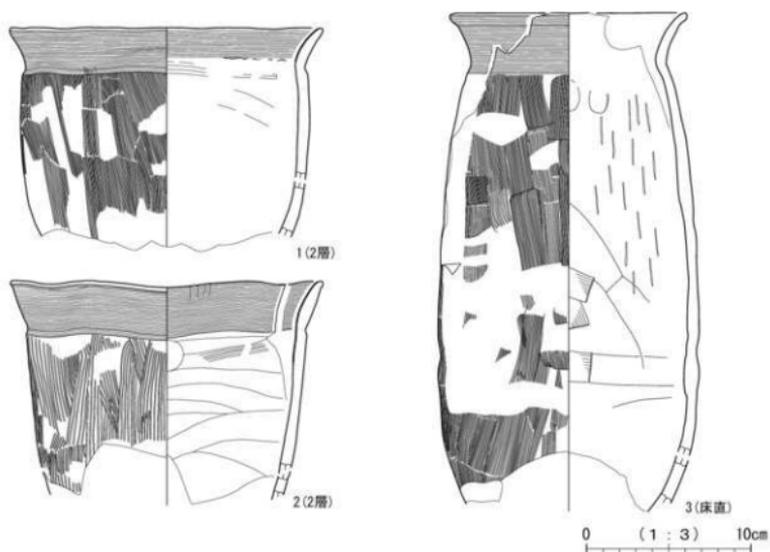
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	焼山多量、炭化物粒・焼土粒微量に含む	P2	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	焼山多量、炭化物粒・焼土粒微量に含む
	2	10YR4/3 濃い黄褐色	粘土質シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む		2	10YR4/3 濃い黄褐色	粘土質シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む

S1133 施設概要表

遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考
P1	楕円形	36×28	16		P2	円形	31×29	17	

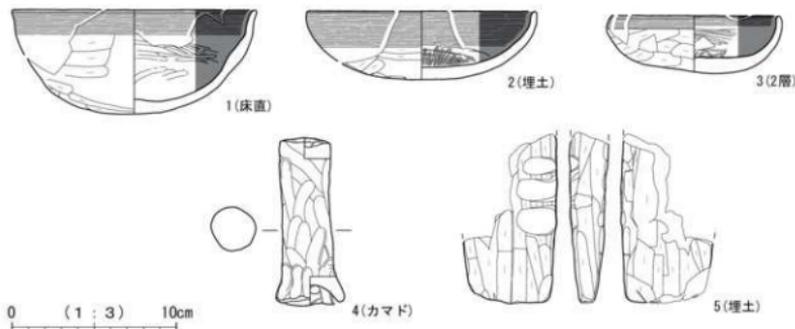


第72図 SI133竪穴住居跡(2)



第73図 SI133出土遺物(1)

図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-098	SI133	2層	土師器	甕	18.8××(13.5)	白縁部×???, 胴部→A→下部×???	白縁部×???, 胴部×???		106
2	C-099	SI133	2層	土師器	甕	18.8××(13.5)	白縁部×???, 胴部→A	白縁部×???, 胴部→A→???		106
3	C-100	SI133	床直	土師器	甕	(14.2)××(30.4)	白縁部×???, 胴部→A	白縁部×???, 胴部→???		106

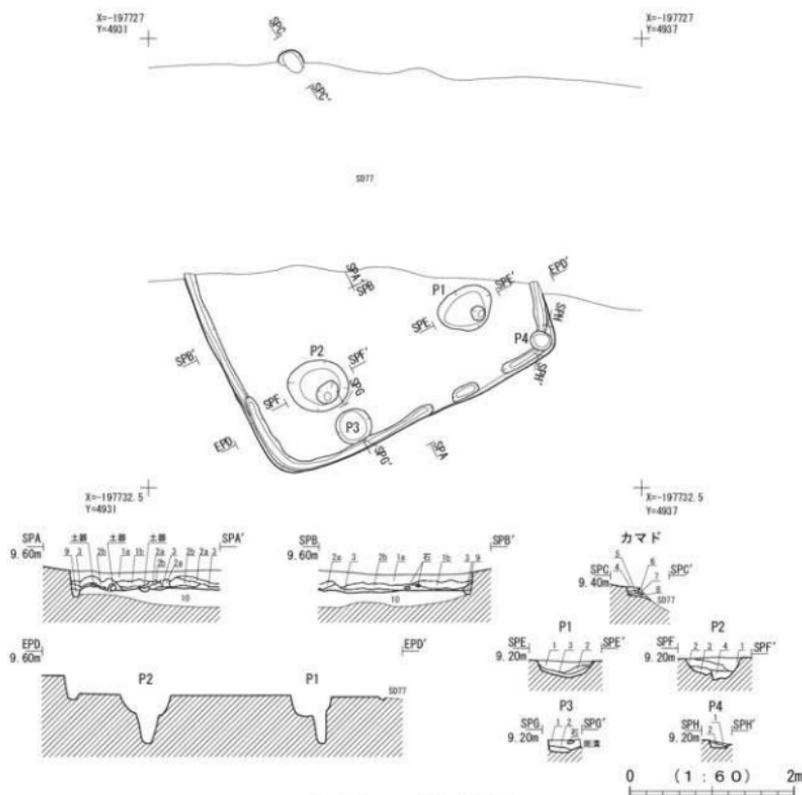


第74図 SI133出土遺物(2)

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-095	SI133	床直	土脚器	坪	14.8××6.4	口縁部を削り、底部へ底部へ削り	口縁部を削り、底部へ底部へ削り	内面黒色処理、小森様多数に见人	106
2	C-096	SI133	埋土	土脚器	坪	13.8××4.2	口縁部を削り、底部へ底部へ削り	口縁部を削り、底部へ底部へ削り	内面黒色処理	106
3	C-097	SI133	2層	土脚器	坪	10.2××3.4	磨耗、口縁部を削り、底部へ底部へ削り	口縁部を削り、底部へ底部へ削り	内面黒色処理	106
図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真 図版
4	P-07	SI133	中層	土製品	支脚	10.3×径3.0×底部径4.2	125.5	縦断面削い、断面調整		107
5	P-08	SI133	埋土	土製品	不明	(10.4)×(6.8)×(2.6)	96.0	を削り		107

#### SI134 竪穴住居跡(第75～78図)

- [位置・確認面] 4A区南側、7-14グリッドに位置する。住居北半をSD77に切られる。
- [規模・形態] 東西3.7mを測る。全体形は不明であるが、ほぼ方形を呈するものと思われる。
- [方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-27°-Wである。
- [堆積土・構築土] 10層に分層した。1～3層は住居埋土で、遺物は2層全体から多く出土している。4～8層は煙道部内堆積土である。9層は周溝内堆積土、10層は掘り方埋土である。
- [壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁24cm、西壁23cm、南壁24cmである。
- [床面] 10層上面を床面とする。床上にはクリーム色の粘土質シルトのごく薄い堆積が見られ、貼床と考えられる。
- [柱穴] 配置・形状・規模からP1-2が主柱穴と考えられ、両者ともに柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.1m内外で、ビット上端径が70cm前後の楕円形を呈する。深さは約60cmである。
- [周溝] 残存する全辺の壁面直下を巡るが、南辺では一部途切れる。幅9～16cm、深さ3～13cmで、断面形はU字形に近い。西壁では造り替えが行われた可能性がある。
- [カマド] 重複するSD77を挟んで250cm程離れたところに煙道部の先端が検出されたため、カマドは住居北辺に構築されていたものと考えられた。煙道部先端の底面は住居床面より7～8cm程度高い位置にある。
- [その他の施設] ビット2基(P3-4)を検出した。
- [掘り方] 住居跡の南西がやや浅くなり、底面には緩やかな起伏が認められる。
- [出土遺物] 遺物は2層からの出土が多く、その出土状態図を掲載した。床面から出土したのも含め、住社式期に属すると考えられることから、今回調査された古代集落遺構としては最も古い遺物の一群である。第77図-3の内面には、底部中央から体部にかけて放射状のヘラミガキが施される。第77図-5は須恵器の模倣と考えられる。



第75図 S1134竪穴住居跡(1)

S1134 埴土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
竪土	1a	10YR3/3 暗褐色	シルト		カマド	5	10YR2/3 暗褐色	シルト	地山土・炭化物・粘土多量に含む
	1b	10YR3/3 暗褐色	シルト			6	10YR2/3 暗褐色	シルト	地山多量、炭化物多量に含む
	2a	10YR3/2 黒褐色	シルト			7	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物・暗褐色土多量に含む
	2b	10YR3/3 暗褐色	シルト			8	10YR4/4 褐色	砂質シルト	暗褐色土多量に含む
	3	10YR4/4 褐色	シルト	層位2a-b暗褐色土4層位に含む。下面に 赤・黄褐色粘土質土層(草履、遺物多量)	9	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト		
カマド	4	10YR3/3 暗褐色	シルト		側方	10	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色土4層位に含む

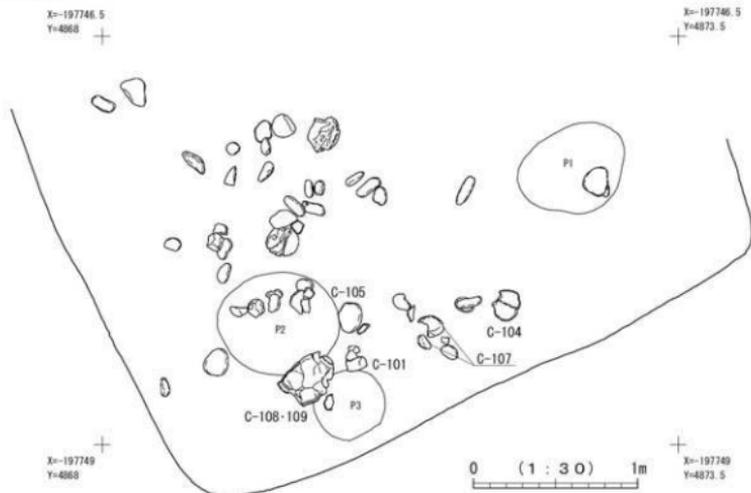
S1134 陶器目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/3 赤い黄褐色	シルト	炭化物・粘土・磁土を含む。シガリ痕・ シガリ面あり	P2	4	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	柱痕跡
	2	10YR4/3 赤い黄褐色	シルト			P3	1	10YR4/4 褐色	シルト
	3	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	3層土多量に含む	P4	1	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	
P2	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・磁土・粘土を含む		2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	
	2	10YR4/3 赤い黄褐色	シルト	シガリ面あり		3	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト						

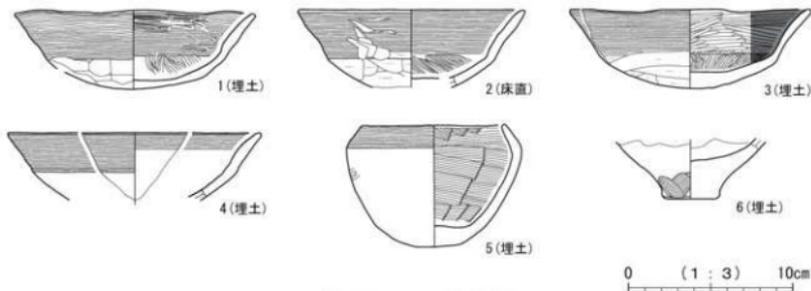
S1134 施設目録表

遺構名	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	不整形円形	68×53	57			P3	円形	43×41	16		
P2	楕円形	74×63	60			P4	楕円形	26×22	7		

SI134(2層)

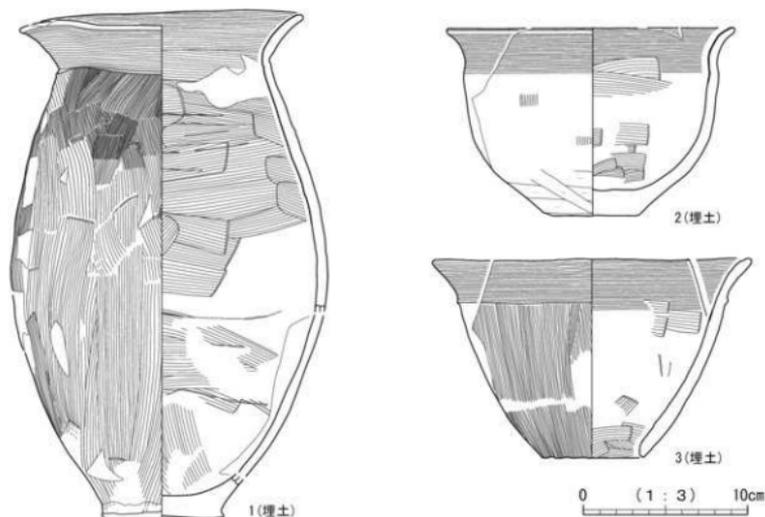


第76図 SI134竪穴住居跡(2)



第77図 SI134出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-101	SI134	埋土	土師器	坏	14.9×××4.8	口縁部2???, 底部~底部4???	口縁部2???, 底部~底部4?1?4		107
2	C-102	SI134	床面	土師器	坏	13.9×××4.9	口縁部2???, 底部~底部4?1?4	口縁部2???, 底部~底部4?1?4		107
3	C-106	SI134	埋土	土師器	坏	14.5×××4.8	口縁部2???, 底部~底部4???	口縁部~底部4?1?4	内面灰色地層	107
4	C-103	SI134	埋土	土師器	坏	15.2×××4.1	滑滅, 口縁部2???, 底部~4???	口縁部2???, 底部~4???		107
5	C-107	SI134	埋土	土師器	鉢	8.7×2.6×7.4	口縁部2???, 胴部~底部4???	口縁部2???, 胴部~底部4???		107
6	C-108	SI134	埋土	土師器	壺	××3.2×3.6	胴部~底部4???	底部4???		107



第78図 SI134出土遺物(2)

図録番号	登録番号	出土遺物	層位	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-109	SI134	埋土	土師器 壺	17.3×7.3×30.5	口縁部×???, 胴部×?, 底部×???	口縁部×???, 胴部×???		107
2	C-104	SI134	埋土	土師器 壺	17.4×5.2×11.5	口縁部×???, 胴部×?→下平基-底部×???	口縁部×???, 胴部×???		107
3	C-105	SI134	埋土	土師器 瓶	(19.2×6.1)×12.1	口縁部×???, 胴部×?	口縁部×???, 胴部×???, 乳孔部×???		107

### SI135 竪穴住居跡(第79～82図)

〔位置・確認〕 4 A区南東、15・26グリッドに位置する。住居北側及び南側をSD77・80に切られる。

〔重複〕 SI138・141を切る。

〔規模・形態〕 東西4.3mを測る。全体形は不明であるが、ほぼ正方形を呈するものと思われる。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-6°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 11層に分層した。1～4層は住居埋土である。5・6層はカマド関連層位、7～9層は離れたところで検出された煙道～煙出し部分の堆積である。10層は周溝内堆積土、11層は掘り方埋土である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁11cm、西壁23cmである。

〔床面〕 11層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、P1～3内には同様の堆積がみられたが、P4埋土には焼土が目立つ。またP1からは遺物出土が多くみられた。柱間寸法は2.0～2.4mで、ビット上端径が60cm前後の楕円形・不整楕円形を呈する。深さは70cm前後である。

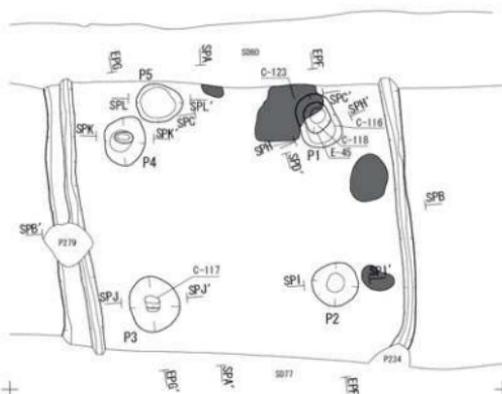
〔周溝〕 東辺では壁面直下で、西辺では壁面から13～23cm内側で検出された。幅12～22cm、深さ11～15cmで、断面形はU字形に近い。

〔カマド〕 床面検出範囲から北側約160cm離れたところで煙道部の先端が検出されており、その位置から住居北辺中央よりやや東に寄ったところに構築されたものと考えられるが、カマド施設の大部分はSD80との重複で失われている。煙道部の先端には深さ30cm程のビット状の煙出しが認められた。

X=197722.5  
Y=4943

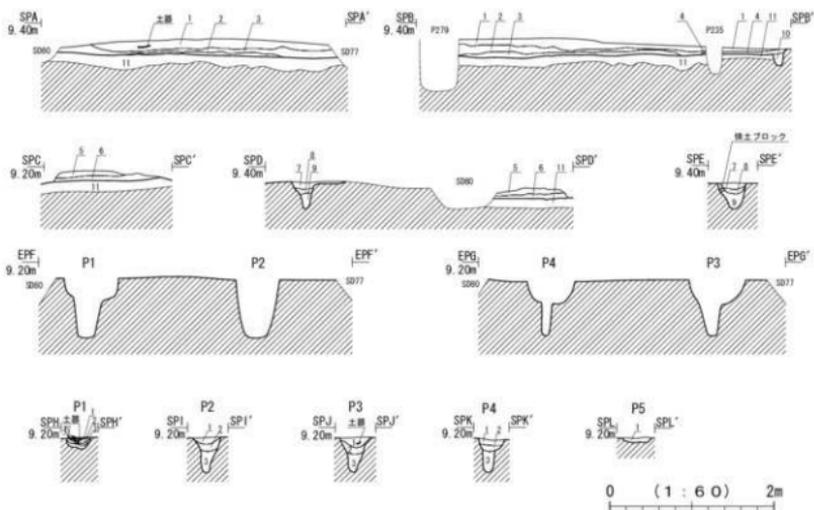


X=197722.5  
Y=4949



X=197728.5  
Y=4943

X=197728.5  
Y=4949



第79図 S1135竪穴住居跡(1)

SI135 埋土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒(径2-5mm)多量、炭化物粒少量含む。	カマド	6	2.5YR3/3 暗赤褐色	シルト	炭化物(径5-10mm)少量、焼土多量、焼灰黄色(4)少量含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山土(径1-10mm)多量に含む、上面に炭化層(厚さ3-5mm)あり		7	2.5YR2/2 暗赤褐色	シルト	赤褐色焼土(径10-20mm)地山粒多量に含む。
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山粒(径0.5-1mm)少量、炭化物粒少量に含む。		8	2.5YR2/1 赤褐色	シルト	地山土(径5-10mm)少量、炭化物(径5mm)少量、焼土アフリク少量含む。
	4	7.5YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒(径0.5-1mm)少量、焼土アフリク(径5-10mm)多量に含む。		9	10YR1/2 灰黄色	シルト	赤褐色焼土(径5-20mm)少量含む。
カマド	5	2.5Y3/2 暗灰黄色	シルト	地山粒-焼土粒多量、地山アフリク少量、炭化物粒少量に含む。大層崩壊土。	10	2.5Y3/2 黒褐色	シルト	地山粒多量に含む。	
					11	2.5Y4/3 オリーブ褐色	シルト		

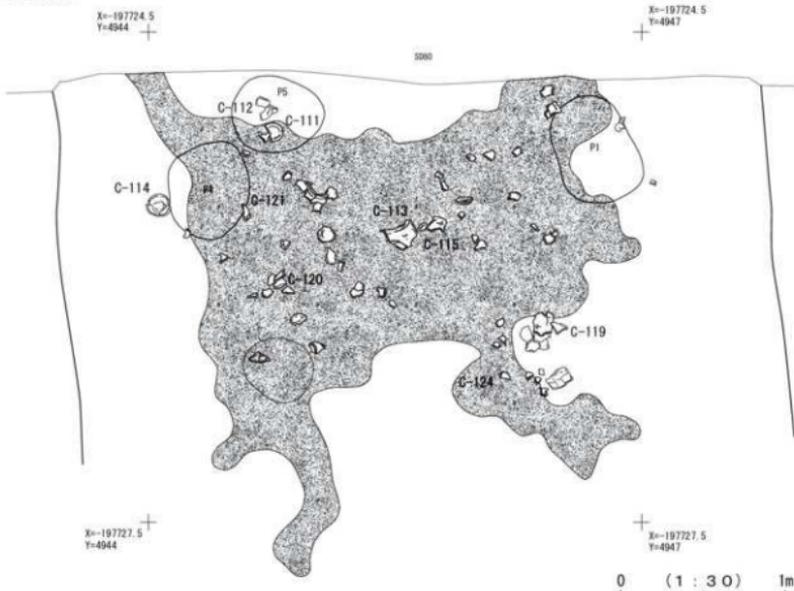
SI135 施設埋土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	2.5Y3/2 黒褐色	シルト	地山粒(径2-3mm)多量、焼土粒少量に含む。下面に炭層あり	P3	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アフリク(径5-10mm)多量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アフリク(径5-10mm)多量に含む。		3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アフリク含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アフリク含む。	P4	1	2.5Y3/2 黒褐色	シルト	地山粒-炭化物(径10-15mm)多量、焼土アフリク少量に含む。下面に炭層あり
P2	1	2.5Y3/2 黒褐色	シルト	地山粒(径2-3mm)多量、焼土粒少量に含む。下面に炭層あり		2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山多量、炭化物少量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アフリク(径5-10mm)多量に含む。	3	7.5YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	炭化物(径5-10mm)多量に含む。	
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アフリクに含む。	P5	1	5YR3/3 暗赤褐色	シルト	地山粒少量、炭化物(径10mm)少量、焼土アフリク(径5-20mm)多量に含む。
P3	1	2.5Y3/2 黒褐色	シルト	地山粒(径2-3mm)多量、焼土粒少量に含む。下面に炭層あり					

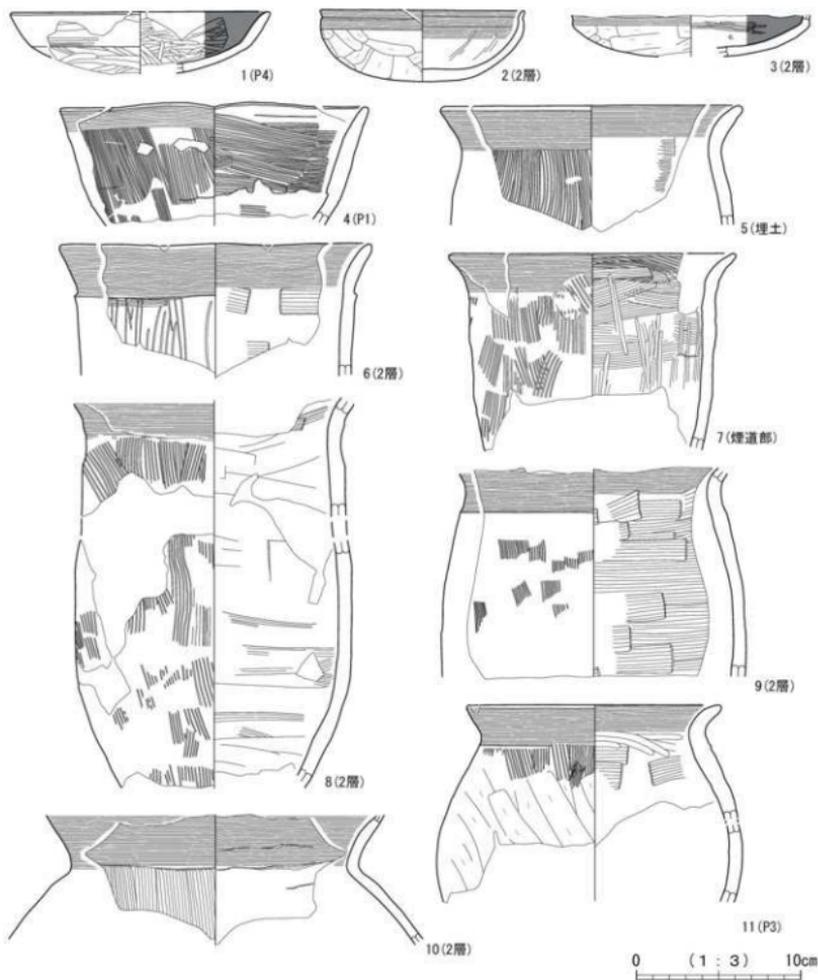
SI135 施設概観表

遺構名	平面形	短径(cm)	長さ(cm)	備考	遺構名	平面形	短径(cm)	長さ(cm)	備考
P1	不整形円形	66×48	70		P4	不整形円形	58×49	66	
P2	不整形円形	56×53	70		P5	楕円形	55×46	7	灰器のビツ
P3	楕円形	42×59	67						

SI135(2層)

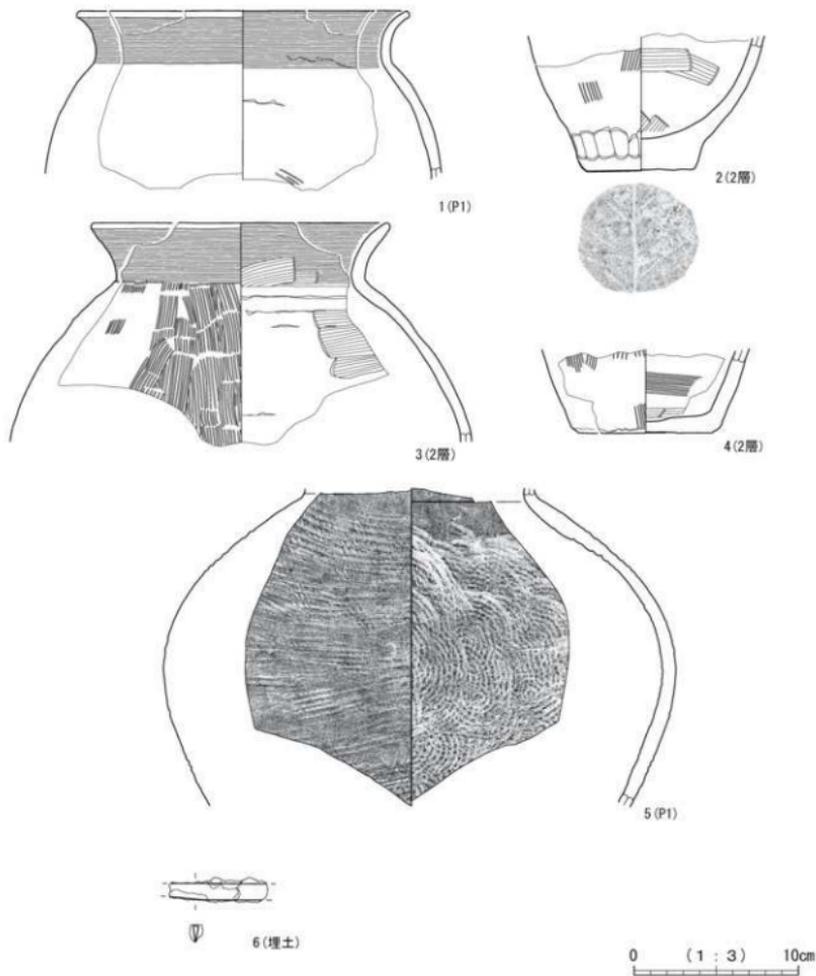


第80図 SI135竪穴住居跡(2)



第81図 SI135出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版	
1	C-110	SI135	P4	土師器	坏	05.9 × × (3.8)	口縁部→992' 9→918' 8	口縁部→底部→18' 6		内面原色処理	108
2	C-111	SI135	2層	土師器	坏	12.8 × × 4.3	口縁部829', 唇部→底部→992' 9	口縁部829', 唇部→底部→918' 8		内面原色処理	108
3	C-112	SI135	2層	土師器	坏	× × × 2.5	底部→992' 9→939'	底部→18' 6		内面原色処理	108
4	C-116	SI135	P1	土師器	鉢	18.0 × × (7.2)	口縁部829', 胴部829'	口縁部829'			108
5	C-123	SI135	埋土	土師器	甕	07.8 × × (7.6)	口縁部829', 胴部829'	口縁部829', 胴部829'			108
6	C-120	SI135	2層	土師器	甕	18.6 × × (8.1)	口縁部829', 胴部829'	口縁部829', 胴部829'			108
7	C-122	SI135	燻道部	土師器	甕	17.4 × × (12.1)	口縁部829', 胴部829'	口縁部829', 胴部829'			108
8	C-119	SI135	2層	土師器	甕	× × × (25.8)	胴部829', 口縁部829', 胴部829'→下部829'	胴部829', 胴部829'			108
9	C-113	SI135	2層	土師器	甕	× × × (12.7)	口縁部829', 胴部829'	口縁部829', 胴部829'			108
10	C-121	SI135	2層	土師器	甕	× × × 8.6	口縁部829', 胴部829'	口縁部829', 胴部829'			108
11	C-117	SI135	P3	土師器	甕	15.2 × × (12.1)	口縁部829', 胴上半部829'→992' 9	口縁部829'→829', 胴部829'		小の継ぎ目を含む	108



第82図 SI135出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-118	SI135	P1	土師器	甕	(19.8) × × (11.0)	滑滅、口縁部△???, 胴部△???	滑滅、口縁部△???, 胴部△???		100
2	C-114	SI135	2層	土師器	甕	→ 6.6 × 8.3	胴下部△?→△???, 底部本葉巻	胴部→底部△???		100
3	C-113	SI135	2層	土師器	甕	(17.8) × × (13.7)	口縁部△???, 胴部△???	口縁部△???, 胴部△???		100
4	C-124	SI135	2層	土師器	甕	→ 8.0 × (5.1)	胴下部△?△, 底部△???	胴部△?△→△???, 底部△???		100
5	E-45	SI135	P1	土師器	甕	→ × (19.3)	格子明き目→△???	滑滅後文→△???		100
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	備考			写真掲載	
6	N-013	SI135	埋土	鉄製品	刀子	遺存長6.0, 最大幅1.0, 棟厚0.3cm			100	

[その他の施設] 埋土に焼土ブロックを多量に含むビット(P5)を検出した。灰溜めビットとしての用途が考えられる。

[掘り方] 住居中央が深くなる形状であり、底面には起伏が多く認められる。

[出土遺物] 掲載した遺物出土状態図は2層上面に広がる炭化物範囲上での状況であり、これらの遺物は住居廃絶後の窪みに廃棄されたものと考えられた。P4埋土中からは内面黒色処理された土師器坏が1点(第81図-1)出土しているが、高坏である可能性もある。

#### SI136 竪穴住居跡(第83~86図)

[位置・確認面] 4A区南側、6・13グリッドに位置する。住居跡の大半がSD66・77との重複により失われる。

[重複] SD66に切られる。

[規模・形態] 東西4.5mを測る。全体形は不明であるが、ほぼ正方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・41°・Eである。

[堆積土・構築土] 20層に分層した。1~4層は住居埋土で、2層上面には厚さ3~5mmの炭化物層が広く堆積する。5~9層はカマド(新)、10~14層はカマド(古)の関連層位、15層は周溝内堆積土である。16~20層は掘り方埋土で、20層は掘り方掘削中に検出された溝状遺構の堆積土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁23cm、西壁28cm、北壁39cmである。

[床面] 16・17層の上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1が主柱穴と考えられ、柱痕跡が認められた。

[周溝] 北辺を除く3辺の壁面直下で検出した。幅11~23cm、深さ4~10cmで、断面形は逆台形に近い。

[カマド] カマドの大部分は削平されているが、北辺に左袖部が僅かに残存している。煙道部は長さ112cm、幅24~28cm、深さ12cmを測り、先端には窪み状の起伏が認められた。またSD77を扶む形で、西辺から40cm程離れたところで煙出し状の遺構を検出している。深さ35cmのビット状を呈する。掘り方埋土除去後に検出された床面遺構もあることから、この遺構をカマド(古)とし、前者をカマド(新)とした。

[その他の施設] 掘り方埋土除去後に、土坑1基(SK1)及びビット1基(P2)を検出した。この検出状況から、カマド(古)に伴うものと考えられる。

[掘り方] 住居北側では底面に大きな起伏が認められるが、南側では平坦な掘り込みとなっている。

[出土遺物] 掲載した出土状態図は掘り方埋土掘削中のもので、掘り方埋土中から第85図-1・2、第86図-2が出土している。第85図-1・2は住式に比定されるもので、本遺跡においてSI134とともに本住居が古いことを示している。他の土師器坏には新しい様相を示すものも認められるが、いずれも埋土中からの破片資料であり、住居廃絶後の混入と考えられる。

#### SI137 竪穴住居跡(第87~90図)

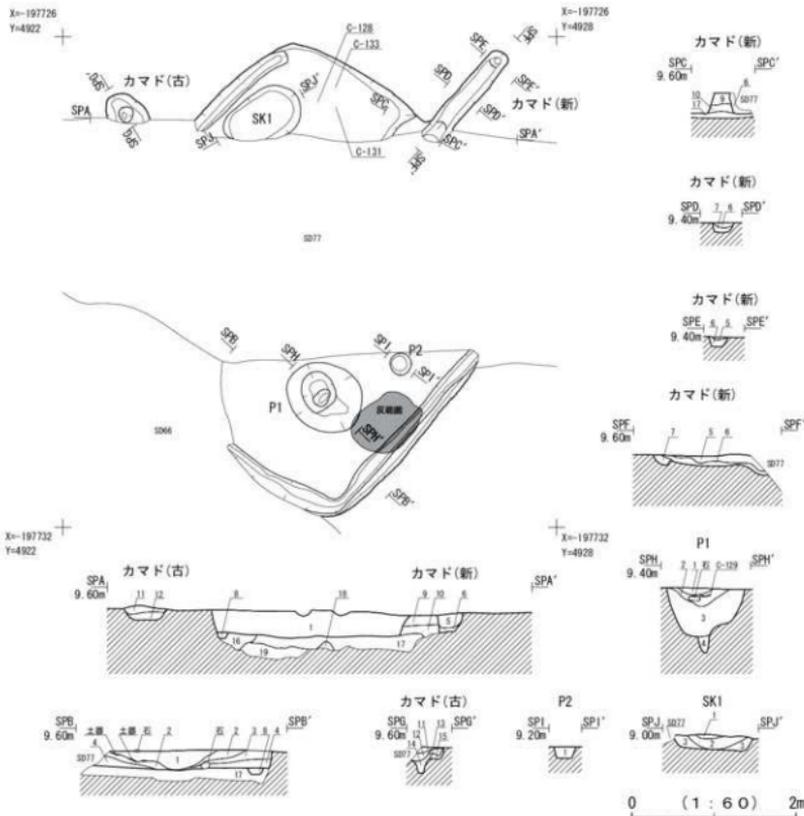
[位置・確認面] 4A区南側、25・39グリッドに位置する。住居北西側に溝状の攪乱を受ける。

[重複] SI138・141を切る。

[規模・形態] 東西4.2~4.7m、南北3.8mを測り、やや長方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・20°・Wである。

[堆積土・構築土] 20層に分層した。1~4層は住居埋土である。床面直上の4層には粘性がややあり、床面土に近い色調である。堆積状況・土質から床面の一部である可能性もある。5~15層は関連層位、6~8層はカマド構築土の崩落と考えられた。16層は周溝、17・18層はカマド袖の構築材。19層は床面貼り替えの構築土、20層は古段階の床面



第83図 S1136竪穴住居跡(1)

S1136 埋土誌記表

部号	層位	土色	土性	備考	部号	層位	土色	土性	備考
竪土	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物アコハ(径10mm)焼土粒少量含む	カマド	11	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼山粒・炭化物粒少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物アコハ(径10~30mm)多量。焼土粒少量含む		12	10YR4/3 にいり濃褐色	シルト	焼山アコハ(径10~30mm)層状に多量に含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼山アコハ多量。炭化物アコハ(径20mm)・焼土粒少量含む		13	7.5YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物アコハ(径10mm)・焼土アコハ(径10~50mm)多量に含む
	4	7.5YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒微量。白色粘土層状に少量含む		14	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼山アコハ(径10mm)少量含む
カマド(新)	5	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒多量に含む	15	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	焼山土アコハ少量含む。しまりあり	
	6	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土アコハ(径20mm)多量に含む	16	10YR3/1 黒褐色	シルト	焼山粒・焼土アコハ少量含む	
回濠	7	10YR2/1 黒色	シルト	黒褐色土アコハ(径20~30mm)少量含む	17	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	焼山アコハ微量。黒褐色土多量に含む	
	8	10YR3/2 黒褐色	シルト	焼山アコハ(径10mm)少量含む	18	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼山アコハ多量に含む	
附属材	9	10YR4/3 にいり濃褐色	シルト	黒褐色アコハ多量に含む	19	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物アコハ(径10mm)少量。黒褐色土アコハ微量に含む。しまり弱い	
	10	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質土粒多量に含む。しまり弱い	20	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	焼土粒微量。暗灰黄色粘土質土粒多量に含む。しまり弱い	

SI136 発跡埋土記録書

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む	SK1	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	白色土粒少量含む。炭分浸透がみられる
	2	7.5YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒少量。炭粒微量を含む		2	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼土・灰土多量。炭化物?土(径10~40mm)少量。焼土粒微量を含む。しまり強い
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物微量を含む。灰層(厚3mm)層下にみられる。しまり弱い		3	2.5YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	炭化物粒微量を含む。しまり弱い
	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼土?土?多量を含む。しまり強い。柱状跡					
P2	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	焼土?土?土(径10~20mm)多量。焼土粒・炭粒微量を含む。しまり強い					

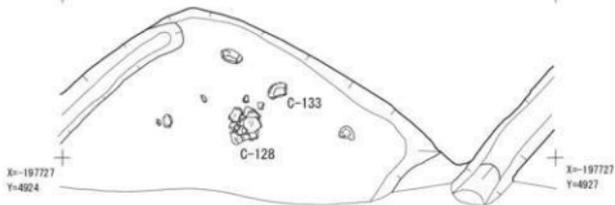
SI136 発跡観察書

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	95×83	80		SK1	楕円形	98×63	13	掘り方埋土除去後に検出
P2	円形	25×25	14	掘り方埋土除去後に検出					

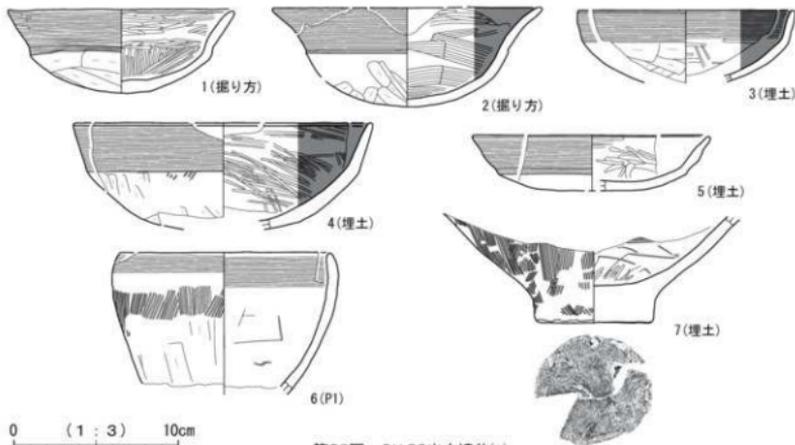
SI136(掘り方)

X=197726  
Y=4924

X=197726  
Y=4927

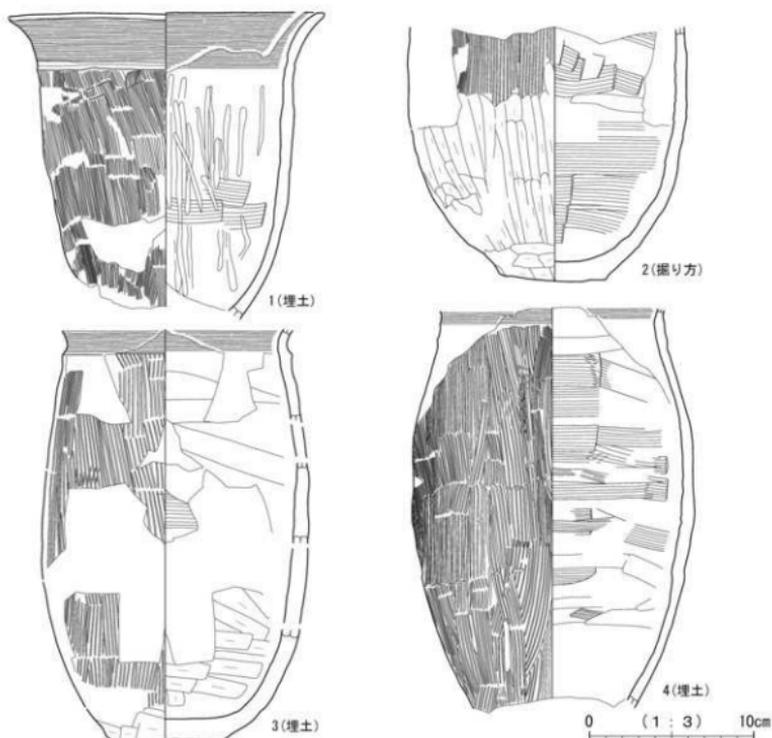


第84図 SI136竅穴住居跡(2)



第85図 SI136出土遺物(1)

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-128	SI136	掘り方	土師器	杯	136×××5.1	口縁部~底部>91°±	口縁部~底部>91°±		100
2	C-126	SI136	掘り方	土師器	杯	16.2×××6.0	口縁部>92°±, 底部~底面>92°±	口縁部>92°±, 底部~底面>92°±	内面黒色処理	100
3	C-125	SI136	埋土	土師器	杯	13.0×××4.4	口縁部>92°±, 底部~底面>92°±	口縁部>92°±, 底部~底面>92°±	内面黒色処理	100
4	C-127	SI136	埋土	土師器	杯	18.0×××6.5	口縁部>92°±~>91°±±; 底部~底面>92°±	口縁部~底面>91°±	内面黒色処理	100
5	C-132	SI136	埋土	土師器	杯	14.3×××3.4	口縁部>92°±, 底部~底面>92°±	口縁部~底面>91°±		100
6	C-129	SI136	P1	土師器	甕	12.8×××6.7	甕底。口縁部>92°±, 胴部>91°~>92°±	口縁部>92°±, 胴部>92°±		100
7	C-134	SI136	埋土	土師器	甕	>×7.0×底径	胴下半部>94°, 底部>92°±	胴下半部~底部>18°±91°±		110



第86図 SI136出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-135	SI136	埋土	土師器	甕	19.0××(口8.7)	口縁部2ツツ、胴部4ツツ→3ツツ	口縁部2ツツ、胴部3ツツ→2ツツ		110
2	C-131	SI136	掘り方	土師器	甕	→6.1×(口5.5)	胴下半部4ツツ→3ツツ、底部3ツツ	胴部3ツツ		110
3	C-131	SI136	埋土	土師器	甕	→6.8×(口5.1)	胴部2ツツ、胴部4ツツ、底部3ツツ	胴部2ツツ、胴部3ツツ		110
4	C-130	SI136	埋土	土師器	甕	→×(口4.8)	胴部2ツツ、胴上半部4ツツ→下半部胴口1ツツ1ツツ	胴部4ツツ→3ツツ、胴部3ツツ		110

及びその掘り方埋土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁22cm、南壁22cm、北壁20cmである。

〔床面〕本遺構は床面の状況及びカマド内堆積土の観察から、改築による新・古2段階が認められ、新段階の床面を床面(新)、古段階の床面を床面(古)とした。19層上面が床面(新)であり、20層上面が床面(古)である。床面(古)は硬く締まった状態で検出されており、カマド前面の2枚の炭化物層の間にこの層が挟まれている。

〔柱穴〕床面(新)においては、配置・形状・規模からP1～3・6が主柱穴と考えられ、柱間寸法は2.4～2.8mである。P1・3には柱痕跡が認められた。P10も柱痕跡状の堆積土を持ち、またその位置はP1の柱痕跡の位置と殆ど変わらないことからみて、抜き取り穴の可能性が高いが、床面(古)における主柱穴の可能性もある。また、P12は南壁中央付近で検出した小型のピットで、柱痕跡が認められた。

〔周溝〕カマド部分を除き、ほぼ全周する周溝を検出した。2重に巡る箇所もみられ、造り替えの痕跡と考えられた。周溝検出時には床面が2枚あることを確認できていなかったため、全て床面(新)に伴う施設として完掘している。幅8～24cm、深さ5～11cmで、断面形はU字形に近い。

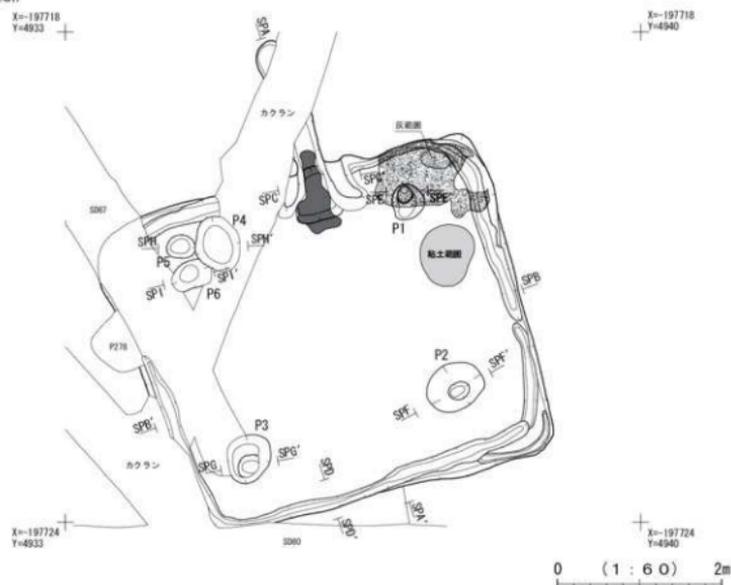
〔カマド〕北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部はハ字状に開いており、袖部の長さは50～65cm、高さは15cm前後を測る。この袖の下にも焼土が薄く堆積しているため、カマドの造り替えがあったものと思われる。燃焼部は奥行60cm、幅24～74cmを測る。煙道部は長さ140cm、幅31～33cm程で、煙道部先端付近は攪乱により失われる。

〔その他の施設〕床面(新)ではP4・5を、またその掘り下げ過程においてP7・8、SK1を検出した。灰溜めビットの用途が考えられるP8の埋土最上層は床面(新)と同質土であり、床面(新)使用時に開口していなかったことが考えられる。床面(古)ではビット7基(P9～15)を検出した。

〔掘り方〕周溝底面レベル付近までの掘り込みで、住居中央がやや高まる形状を呈する。

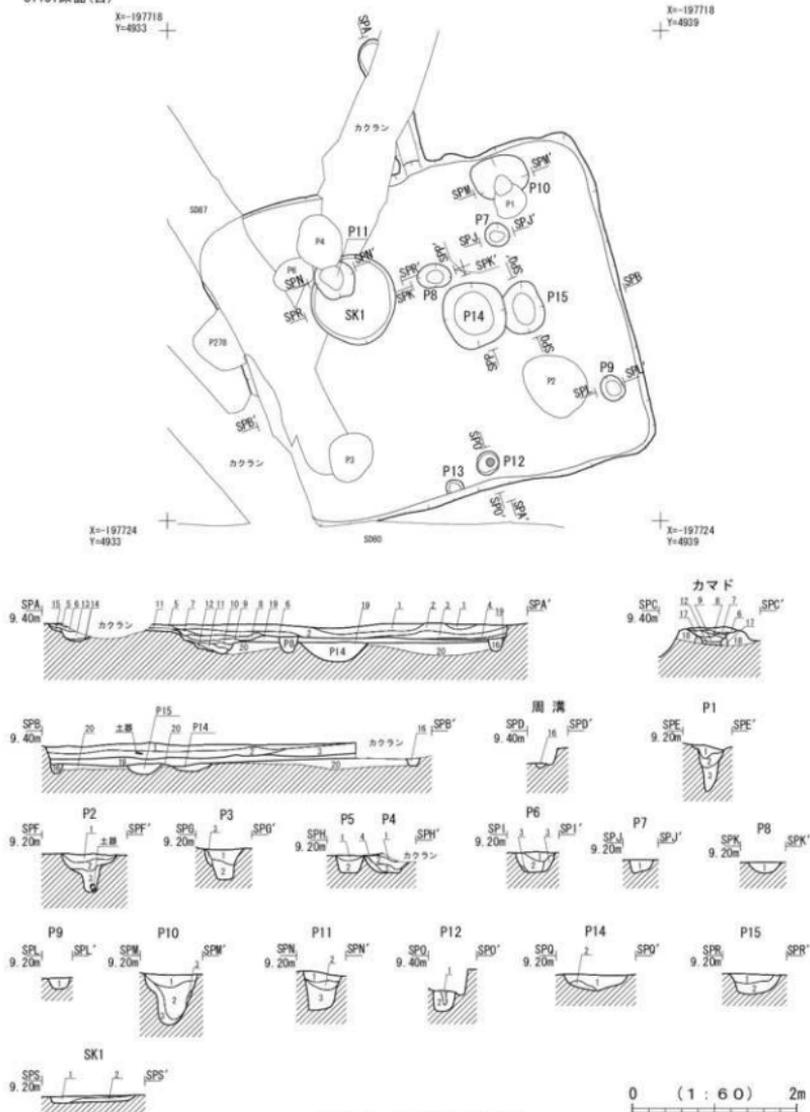
〔出土遺物〕床面から出土したのは第89図-1、第90図-1・4である。第89図-1は口縁部がS字状に屈曲する坏で、関東系土師器と呼ばれるものの範疇に含まれる。「郡山遺跡」(2005)では、I期官衙期の遺構とされるSX2093から同様のものが出土している。第90図-1は、当初円筒形土製品として扱っていたが、口縁部や外面の調整が丁寧であること等から、壺形土器とした。「郡山遺跡」(2005)にて、「漆の運搬用と見られるもの」として報告された資料(C-79-30)が類似した資料として挙げられるが、第90図-1の内面に漆の付着は確認できなかった。

#### S1137床面(新)



第87図 S1137竪穴住居跡(1)

S1137床面(古)



第88図 S1137竪穴住居跡(2)

SI137 埴土柱記述

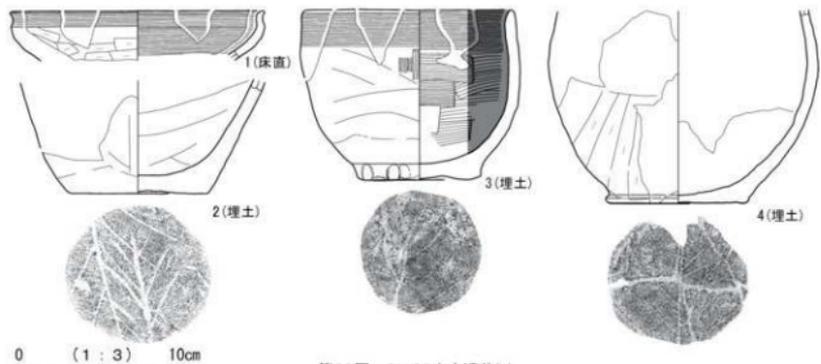
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埴土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山粒多量、炭化物粒・焼土粒少量含む	キマフ	11	10YR4/2 暗褐色	シルト	地山土多量、焼土粒少量含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロパ少量、焼土アロパ少量含む		12	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒少量、焼土多量を含む
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	2層より地山アロパの割合が高い		13	10YR4/4 暗褐色	シルト	地山土多量、焼土アロパ(15%)少量含む
	4	2.5Y4/2 暗灰黄色	粘土質シルト	床面上に部分的に堆積		14	10YR4/4 暗褐色	シルト	地山土多量、焼土粒少量含む
キマフ	5	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒・焼土粒(15%-10%)含む	15	10YR4/4 暗褐色	シルト	地山土多量、焼土粒少量含む	
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山土多量、焼土アロパ(15-20%)少量含む	P19 無刺	16	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山土多量を含む
	7	10YR4/4 暗褐色	シルト	地山土・炭化物・焼土アロパ(15%)多量を含む		17	10YR4/3 灰黄褐色	シルト	炭化物粒・焼土少量を含む、焼取り痕し多し
	8	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山土・炭化物・焼土アロパ(15%)多量を含む		18	10YR4/4 暗褐色	シルト	焼土アロパ・暗褐色土少量を含む、焼土
	9	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロパ少量、炭化物・焼土粒多量を含む		19	10YR3/2 暗褐色	シルト	焼土アロパ少量を含む
	10	2.5Y2/1 灰黄色	泥	焼土アロパ含む		20	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロパ多量を含む、しまり強い

SI137 雑踏埴土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒・焼土少量含む	P8	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	上面に炭化物が堆く薄積
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒・焼土粒少量含む		9	10YR4/3 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR4/3 灰黄褐色	シルト			P10	1	10YR4/4 暗褐色	シルト
P2	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物少量含む	2		10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土アロパ少量を含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒含む	3		10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	地山アロパ少量、炭化物少量、焼土少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒・焼土粒少量含む	P11	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
P3	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロパ・炭化物少量含む		2	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト			3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物少量を含む
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト	暗褐色アロパ少量、焼土粒少量を含む		P12	1	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト
P4	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロパ含む	2		10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロパ少量を含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土粒含む	P13	-	-	-	
	3	10YR4/3 灰黄褐色	シルト	焼土粒含む	P14	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロパ少量含む
	4	10YR4/3 灰黄褐色	シルト	地山アロパ少量、焼土粒少量を含む		2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロパ少量を含む
P5	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロパ少量含む	P15	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロパ少量、炭化物粒・白色アロパ少量を含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	焼土粒少量含む		2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロパ少量含む
P6	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼土粒少量含む	SK1	1	2.5Y4/2 暗灰黄色	粘土質シルト	地山アロパ少量、SK1層全アロパで含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	焼土粒少量含む		2	10YR3/3 暗褐色	シルト	

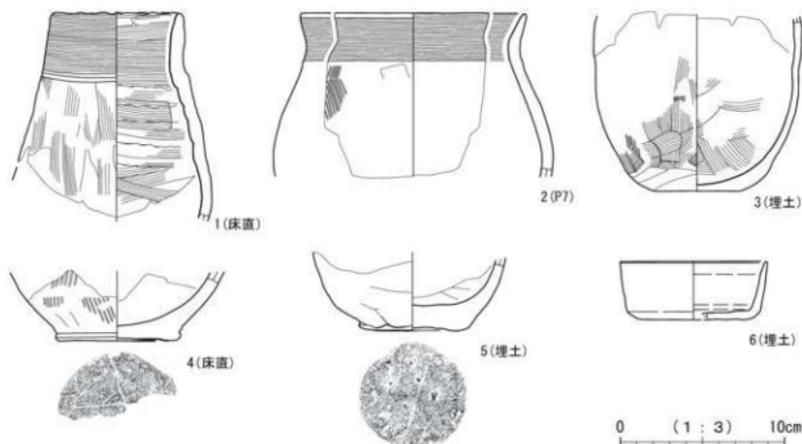
SI137 雑踏軒巻断面

遺構名	平面形	風乾径(mm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	風乾径(mm)	深さ(cm)	備考
P1	不整形円形	43×37	35	床面(黄)	P10	楕円形	32×27	13	床面(黄)
P2	不整形円形	43×37	35	床面(黄)	P11	不整形円形	34×46	47	床面(黄)
P3	不整形円形	61×53	37	床面(黄)	P12	円形	30×27	25	床面(黄)
P4	不整形円形	60×56	36	床面(黄)	P13	楕円形	21×15	7	床面(黄)
P5	楕円形	35×28	21	床面(黄)	P14	楕円形	29×25	20	床面(黄)
P6	不整形円形	50×34	20	床面(黄)	P15	不整形円形	64×40	25	床面(黄)
P7	円形	29×28	14	掘り方埋土断面中に抽出	SK1	円形	110×104	6	掘り方埋土断面中に抽出
P8	楕円形	41×38	14	掘り方埋土断面中に抽出、灰道のピット					



第89図 SI137出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真掲載
1	C-136	SI137	床面	土師器	杯	(15.0) × (8.0) × (3.0)	口縁部2??. 体部2??. 底部2??.	口縁部2??.		110
2	C-141	SI137	埋土	土師器	壺	→8.5×7.0	胴下半部2??. 底部本葉直	胴部-底部2??.		110
3	C-137	SI137	埋土	土師器	壺	(23.0) × (7.3) × (10.4)	口縁部2??. 胴部2??. 底部本葉直	口縁部2??. 胴部-底部2??.		110
4	C-138	SI137	埋土	土師器	壺	→8.2×(11.8)	胴下半部2??. 底部本葉直	胴部直。胴部2??.		111



第90図 SI137出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-144	SI137	床面	土師器	壺	8.7××(12.7)	口縁部のみ、胴部のみ	口縁部のみ、胴部のみ	接合痕跡あり	111
2	C-142	SI137	P7	土師器	壺	(13.5)××(10.1)	唇託、口縁部のみ、胴部のみ	口縁部のみ、胴部のみ		111
3	C-140	SI137	埋土	土師器	壺	××6.0(10.8)	胴部のみのみ	胴部～底部のみ		111
4	C-129	SI137	床面	土師器	壺	××(7.1)(14.3)	胴下半部のみのみ、底部木製痕	胴部～底部のみ		111
5	C-143	SI137	埋土	土師器	壺	××6.5(14.7)	唇託、胴下半部のみ、底部木製痕	胴部のみ		111
6	E-46	SI137	埋土	土師器	杯	径約×6.6×3.6	口調整、底面回転のみ、体部下部のみ	口調整		111

### SI138 竪穴住居跡(第91～95図)

SI138とSI141は北・西壁を共有する住居跡である。SI141を版築状に埋めることでSI138の床面を構築していることから、SI138はSI141の拡張と考えられる。

〔位置・確認〕 4 A区中央、14・15・25・26・40グリッドに位置する。溝状の擾乱を受けている。

〔検出状況〕 SD80北側においては、周溝部分を検出することでその範囲を確認することができた。SD80以南では、床まで3～5cm程の高さを残しての検出となったが、溝との重複付近には広範囲に炭化物質が堆積していた。この炭化物質除去後に床面及び柱穴が検出された。

〔重複〕 SI135・137に切られる。

〔規模・形態〕 東西6.7m、南北6.7mとかなりの大型で、ほぼ正方形を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-10°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 5層に分層した。1層は床面上に堆積する炭化物主体層で、一部は床を欠損させている。2層は周溝内堆積土、3～5層はSI138拡張時にSI141を埋めた版築状の層である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁4cm、西壁9cm、北壁6cmである。

〔床面〕 3・4層上面を床面としており、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕 配置・形状・規模からP1・3・5・8が主柱穴と考えられ、P1・8は建て替え時の新旧関係にあるものと思われる。

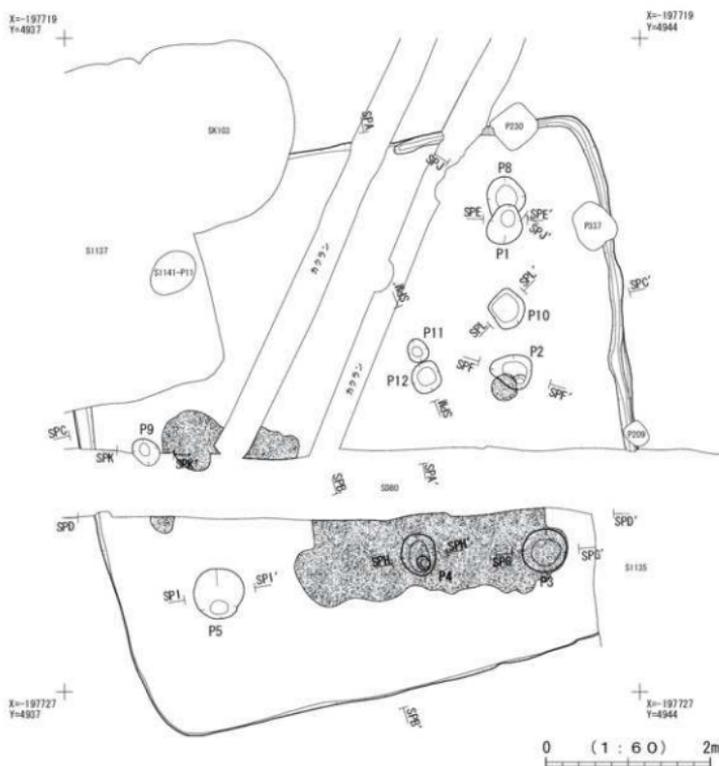
また、S1141-P11としたものも、配置から本住居跡の主柱穴としても使用された可能性が高い。柱間寸法は4.1～4.3mである。補助柱穴としてはP2・4・10が考えられる。これらは主柱穴間を結ぶ直線上に並んでいる。SD80以南で検出されたP3～5には柱痕跡が認められた。

[周溝] 東辺及び北辺東側で検出している。幅9～16cm、深さ7～10cmで、断面形はU字形に近い。

[その他の施設] ビット3基(P9・11・12)を検出した。

[掘り方] S1138床面以下はS1141を人為的に埋めることで構築されている。

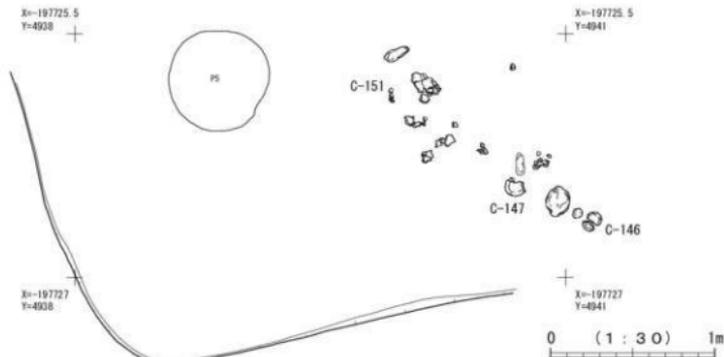
[出土遺物] 掲載した遺物出土状態図は、炭化物層(1層)上における状況で、そこから第94図-1・2・7が出土している。堆積状況から考えて住居跡絶直後のものであろう。第94図-7の類例資料としては名取市清水遺跡出土遺物が挙げられ、栗円式として報告されている。床面からはミニチュア土器(第94図-9)と丸玉(第94図-10)が出土している。



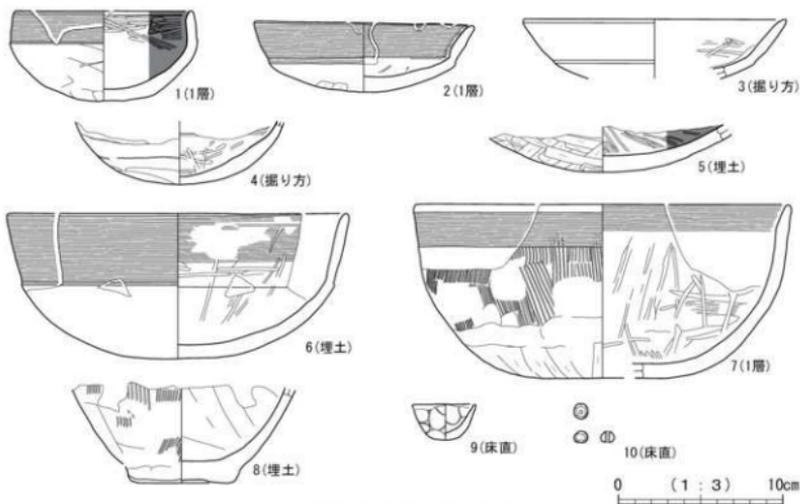
第91図 S1138竪穴住居跡(1)



S1138(1層)

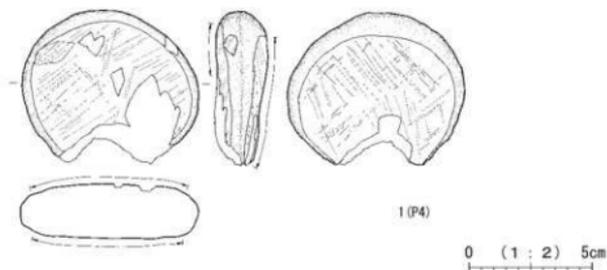


第93図 S1138竪穴住居跡(3)



第94図 S1138出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図説
1	C-146	S138	1層	土胎器	杯	10.6××5.5	口縁部×???, 底部~底部×???	口縁部~底部×?1? ?	内面黒色処理	111
2	C-147	S138	1層	土胎器	杯	13.2××4.3	口縁部×???, 底部~底部×???	口縁部×???, 底部~底部×?1? ?		111
3	C-148	S138	掘り方	土胎器	杯	(16.2××(3.6)	磨耗, 口縁部×???, 底部~底部×???	口縁部~底部×?1? ?		111
4	C-145	S138	掘り方	土胎器	杯	×××(3.8)	底部~底部×???	底部~底部×???		111
5	C-150	S138	埋土	土胎器	杯	×××(2.8)	底部×???' ?→×???'	底部×???' →×?1? ?	内面黒色処理	111
6	C-149	S138	埋土	土胎器	杯	(20.5×××(8.5)	磨耗, 口縁部×???, 底部~底部×???' ?	磨耗, 口縁部~底部×?1? ?		111
7	C-151	S138	1層	土胎器	鉢	(22.4×××(10.6)	口縁部×???, 底部×? ?→? ?	口縁部~底部×???		111
8	C-152	S138	埋土	土胎器	壺	×××6.4×(6.0)	胴下部×??'→×???, 底部×???	胴部~底部×???		111
9	C-153	S138	床直	土胎器	土坪?	(3.3×××(2.5)	磨耗, 面調整			111
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真図説	
10	P-09	S138	床直	土製品	瓦片	0.7×?0.8×?1.0?2	0.5	磨損調整→?1? ?, 黒色処理		111



第95図 SI138出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真図版
1	Kd-014	SI138	P4	石製品	砥石	7.3×6.8×3.7	67.8	凝灰岩	自然、取戻、欠損品	111

#### SI139 竪穴住居跡(第96図)

[位置・確認面] 4 A区南西、24・38グリッドに位置する。

[規模・形態] 東西3.0m、南北2.6mと小型で、ほぼ正方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・25°・Wである。

[堆積土・構築土] 16層に分層した。1～8層にはIV層土の混入がみられ、炭化物や焼土粒も散見されることから人為堆積と考えられるが、遺物は殆ど含まない。9～11層はカマド天井部の破壊或いは崩落に関連する層位である。12層は支脚石より前面にのみ検出され、下位には薄く炭化物層が認められた。カマド内堆積の残存と考えられる。13層は煙道部の堆積土で、煤状炭化物・焼土粒を含んでいる。14層は周溝内堆積土、15層は袖構築土である。16層は掘り方埋土で、床面近くの褐色土の混入量が多い箇所は硬くしまる。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁17cm、西壁13cm、南壁14cm、北壁21cmである。

[床面] 16層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[周溝] 全周する周溝を壁面直下で検出した。北辺ではカマド袖の下をくぐるような状態で検出されている。幅8～25cm、深さ2～11cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部が残存しており、IV層類似土を用いて周溝上に構築される。長さ約60cmの右袖は壁面から住居内に向かって真っ直ぐに、長さ約50cmの左袖は間き気味に延びている。残存する袖部の高さは5～18cmである。燃焼部は奥行60cm、幅14～55cmを測り、中央には支脚と考えられる被熱した細長の自然礫が、直立した状態で検出されている。煙道部は削平されており、僅かに変色範囲を残すのみである。推定長は115cmである。

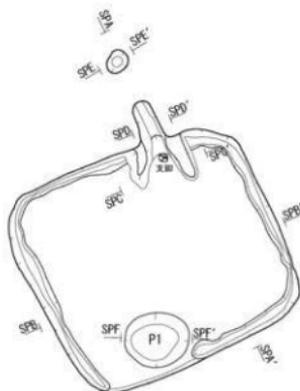
[その他の施設] ビット1基(P1)を検出した。

[掘り方] 周溝底面レベル付近までの掘り込みで、底面には起伏が認められる。

[出土遺物] 土器細片・自然礫が僅かに出土したのみで、掲載遺物はない。

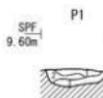
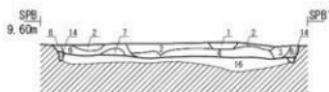
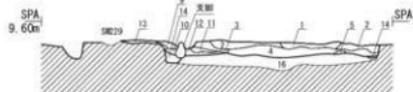
X=19717  
Y=4923

X=19717  
Y=4929



X=19722  
Y=4923

X=19722  
Y=4929



0 (1:60) 2m

第96図 S1139竪穴住居跡

S1139 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考		
相土	1	10YR3-2	暗褐色	シルト	灰化物が形状に散在、機土貯蔵量に含む	カマド	9	10YR3/4	暗褐色	シルト	灰化物微量、機土少量含む、天井跡跡上
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山灰・機土貯蔵量に含む		10	10YR2-3	暗褐色	シルト	9層に阻るが機土がやや多い
	3	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山灰少量含む		11	10YR3-4	暗褐色	シルト	機土多量に含む
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山アーク・地山灰少量、機土微量に含む		12	7.5YR3-4	暗褐色	シルト	機土貯蔵量に含む、下部に濃い・炭化層あり
	5	10YR3-2	暗褐色	粘土質シルト			13	10YR2-3	暗褐色	シルト	塊状炭化土、機土貯蔵量に含む
	6	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山アーク少量含む、木炭炭目立つ		14	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山アーク少量含む
	7	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山アーク少量含む		15	10YR4-4	褐色	シルト	焼熱程度で暗褐色・赤褐色を呈する
	8	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山貯蔵量に含む		16	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山アーク多量に含む

S1139 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考		
P1	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	灰褐色土微量に含む	P1	3	10YR4-4	褐色	シルト	P1-2層土少量含む
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト	地山アーク少量含む						

S1139 施設輪郭表

遺構名	平面形	規模 (m)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (m)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	7.9×6.6	33						

SI140 竪穴住居跡(第97～100図)

[位置・確認面] 4 A区北西、83・94グリッドに位置する。大規模な擾乱を受けており、検出できたのは住居西側の一部のみであった。

[規模・形態] 残存値は西辺3.6m、南辺2.9mで、全体形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-30°-Wである。

[堆積土・構築土] 9層に分層した。1・2層は住居埋土、3～6層はカマド関連層位である。ともに上部は擾乱により、その大半が失われている。6層は周溝内堆積土、7層はカマド袖構築土、8・9層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁10cmである。

[床面] 8層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 支柱穴の可能性のあるものとしてP1があるが、柱痕跡は確認できなかった。上端径47×38cm、深さ40cmを測る。

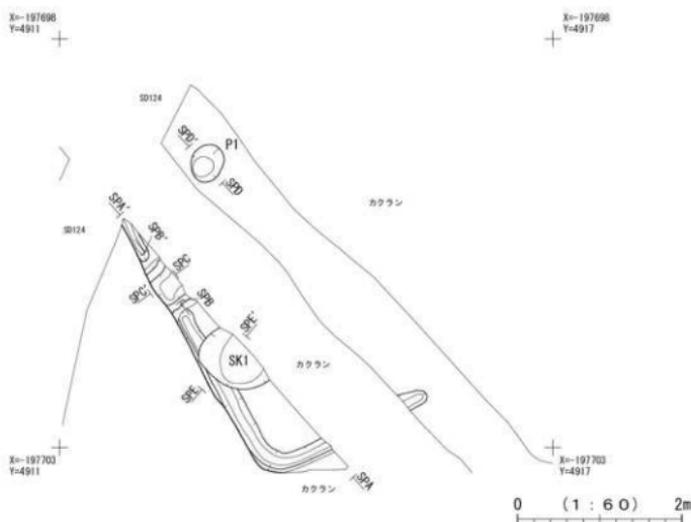
[周溝] 残存する2辺を巡る周溝を検出した。西辺ではカマド部分を除く壁面直下に検出されたが、南辺では壁面からやや離れる傾向がある。幅12～24cm、深さ9～11cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 西辺で検出したが、擾乱により大半を失っている。両袖部が僅かに残存しており、その高さは5～8cmである。燃焼部の幅は18～24cmを測る。

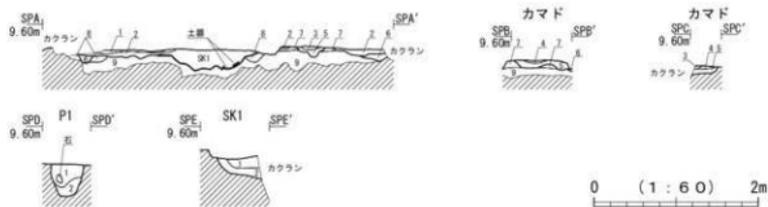
[その他の施設] 土坑1基(SK1)を検出した。

[掘り方] 床面以下を8～30cm程掘り込んでおり、底面には激しい起伏が認められる。

[出土遺物] 第100図-1はSK1内から、その他の掲載遺物はいずれも床面からの出土である。第100図-1・2は関東系土師器と呼ばれるものであるが、他の住居出土のものに比べると屈曲部の稜が緩い。



第97図 SI140竪穴住居跡(1)



第98図 SI140竪穴住居跡②

SI140 埋土柱記表

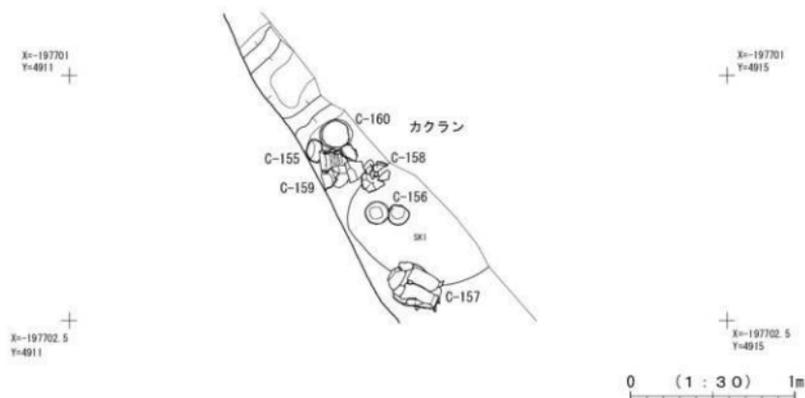
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	2.5Y4-3	サラリ粉色	砂質シルト	河溝	6	10YR3-3	暗褐色	炭化物粒・白色粘土少量を含む。	
	2	10YR3-3	暗褐色	シルト		7	2.5Y3-3	暗サリ粉色	シルト	堆山アノコ(径10~20mm)多量を含む。しまり強い。
カマド	3	10YR4-3	にじみ黄褐色	シルト	掘り方	8	2.5Y3-3	暗サリ粉色	シルト	堆山炭・炭化物微量を含む。しまり強い。
	4	10YR3-3	暗褐色	シルト		9	10YR3-3	暗褐色	シルト	堆山アノコ多量を含む。
	5	10YR3-3	暗褐色	シルト						

SI140 施設埋土柱記表

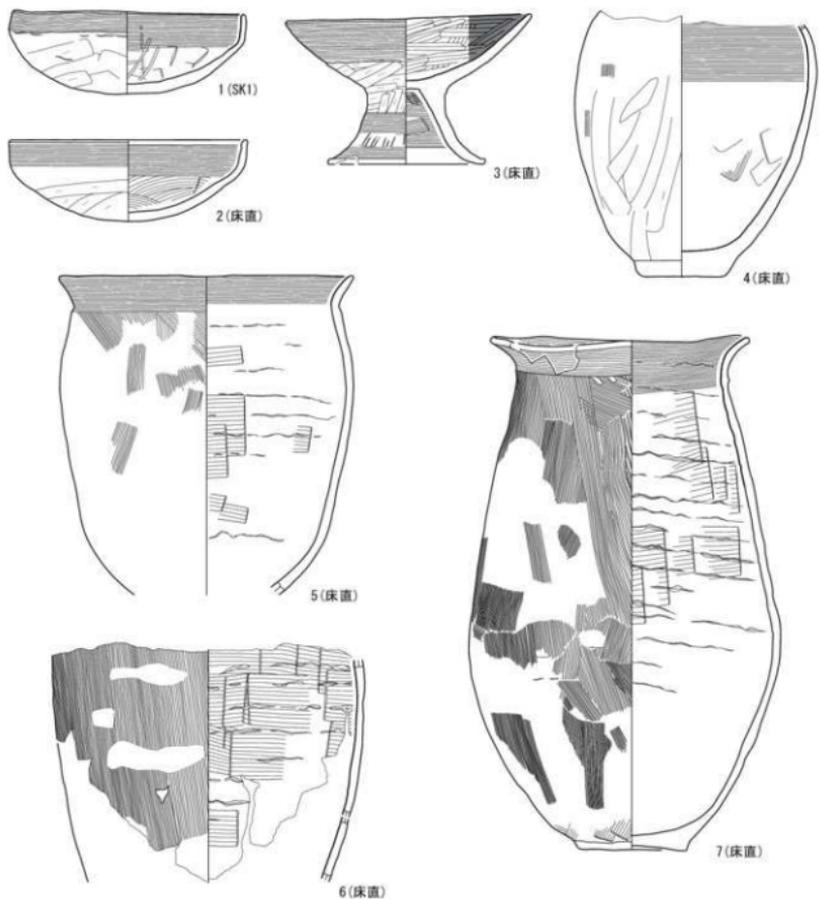
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
PI	1	10YR3-3	暗褐色	粘土質シルト	SK1	1	10YR3-1	赤褐色	粘土質シルト	堆山アノコ少量含む。
	2	10YR3-4	暗褐色	シルト		2	10YR3-1	赤褐色	粘土質シルト	堆山アノコ・炭化物粒少量含む。

SI140 施設精華表

遺構名	平面形	幅尺(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	幅尺(cm)	深さ(cm)	備考
PI	楕円形	47×28	28		SK1	(楕円形)	90×45	27	



第99図 SI140竪穴住居跡③



0 (1:3) 10cm

第100図 SI140出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺物	形状	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考
1	C-154	SI140	SK1	土師器	杯	13.9××5.1	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???	
2	C-155	SI140	床直	土師器	杯	14.3××5.0	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???	
3	C-156	SI140	床直	土師器	高杯	14.7×9.4×9.3	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 脚部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???	杯部 $\Delta$ ???, 脚部 $\Delta$ ???
4	C-158	SI140	床直	土師器	甕	××5.1×16.3	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???	
5	C-159	SI140	床直	土師器	甕	(17.8××(9.4)	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	
6	C-160	SI140	床直	土師器	甕	×××(13.0)	体部 $\Delta$ ???	体部 $\Delta$ ???	
7	C-157	SI140	床直	土師器	甕	15.4×6.5×31.3	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???	

#### SI141 竪穴住居跡(第101～103図)

〔位置・確認面〕4A区中央、14・15・25・26グリッドに位置する。SI138の項でも述べた通り、本住居はSI138拡張前の住居跡と考えられ、SI138掘り方埋土除去後に検出し、調査を開始した。溝状攪乱や遺構重複により失われた部分が多い。

〔重複〕SI135・137・138に切られる。

〔規模・形態〕東西5.0m、南北4.8mを測り、ほぼ正方形を呈するが、東辺北側には1.4×0.9mの張り出し部分も確認された。

〔方向〕住居跡の南北軸は、東辺基準でN-10°-Wである。

〔堆積土・構築土〕20層に分層した。1・2層は住居跡北側カマド付近にのみ堆積する。3～7層はカマド(新)内の堆積土で、3～5層は崩落土と考えられる。6層は炭化物と焼土を主体とする燃焼部内堆積土で、カマド前面にまでその範囲が広がっている。カマド内堆積物掻き出しの形跡であろう。8層は周溝埋土である。燃焼部外側に位置し被熱痕跡の残る9・10層は、その位置からカマド袖構築材と考えられる。11層は床面構築土。12・13層はカマド(新)左袖下に堆積する焼土と炭化物の薄い層である。14～16層はカマド(新)の下に堆積する掘り方埋土で、15層直下ではSK1が検出されている。17～19層はカマド(古)燃焼部内の堆積土、20層はカマド(古)に先行する掘り方埋土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がり、残存する壁高は西壁22cm、北壁8～15cmである。

〔床面〕10層上面が床面となるが、10層下位からカマド(古)が検出されたことから、床面の張り替えが行われた可能性が考えられる。しかし10層下で検出された住居付属遺構はカマド(古)にとどまり、全面的な張り替えが行われたのかは不明である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1・3・6・10・11が主柱穴と考えられる。P1・10は建て替え時の新旧関係にあるものと思われ、カマドの移築の際にその位置も移動したことが考えられる。

〔周溝〕東・南辺で検出されており、幅9～20cm、深さ8～11cmである。

〔カマド〕北辺東側で検出されているが、付設位置としては、他の住居に比べて壁面中央から隅方向への寄り具合が大きい感がある。P1とP10の切り合い関係(建て替え)や、すぐそばで検出された張り出し部の存在は、このカマドの位置に関連があるものではないかと考えられる。このカマドの袖石は、SI138検出面上で既に露呈していたこと、更にこのカマドがSI138北辺のほぼ中央に位置することから考えて、SI138でも使用された可能性はある。このカマドの左袖下には、更に住居北辺のほぼ中央付近まで広がりをみせる炭化物・焼土層が堆積しており、これをカマド(古)とした。

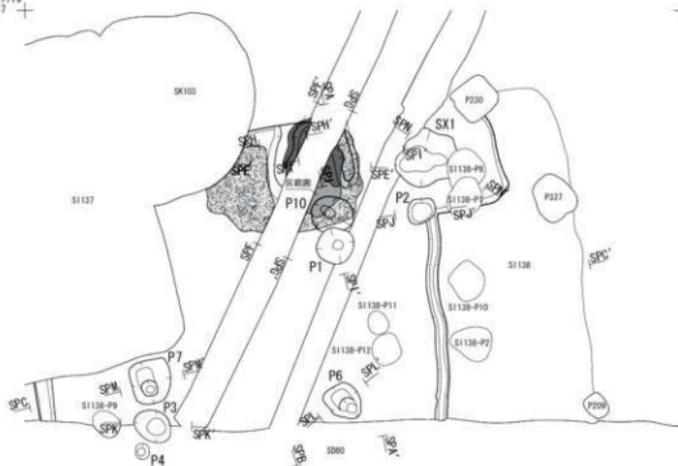
〔その他の施設〕東辺で135×90cmを測る張り出し部を検出し、更にこの底面から不整形な窪みであるSX1を検出した。カマド(新)のほぼ直下からは土坑1基(SK1)を検出したが、カマドとの関連については不明である。

〔掘り方〕住居中央が高まる形状を呈する。

〔出土遺物〕その大半がカマド(新)周囲の床面付近から出土した。また、張り出し部の底面から出土した土師器片が、カマド(新)の左袖に張り付くような形で出土した第103図-5と接合している。

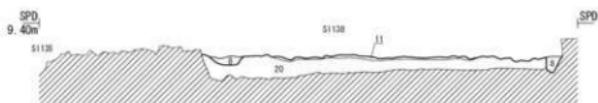
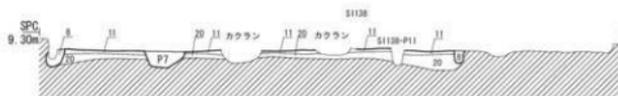
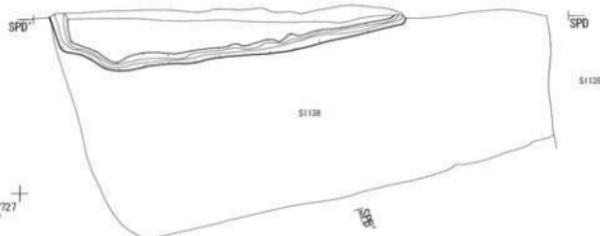
X=197719  
Y=4937

X=197719  
Y=4945



X=197727  
Y=4937

X=197727  
Y=4945



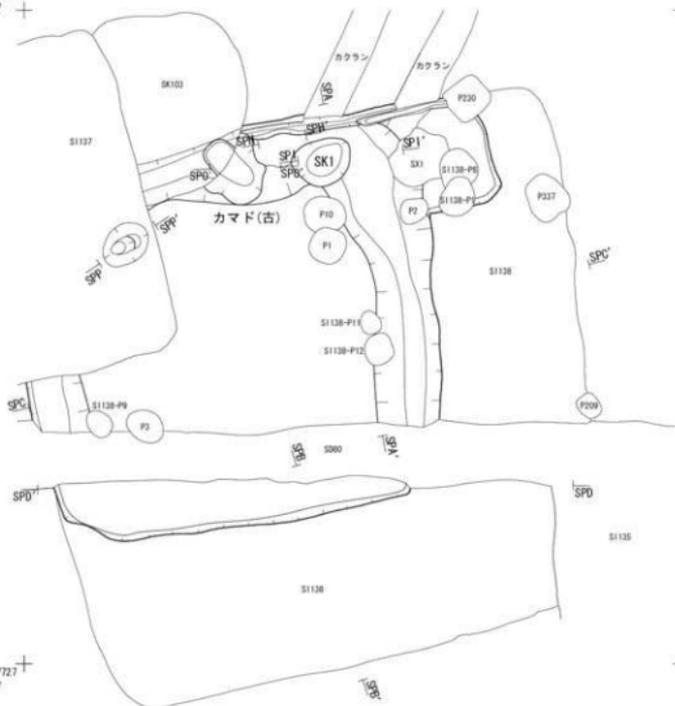
0 (1 : 60) 2m

第101図 SI141 竪穴住居跡(1)

S1141(掘り方)

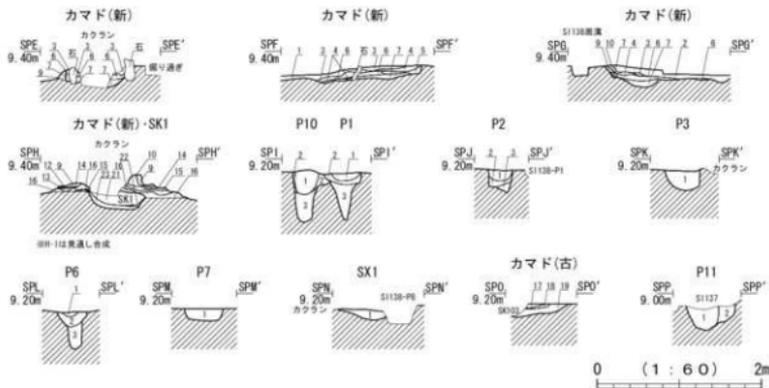
X=197719  
Y=4937

X=197719  
Y=4945



X=197727  
Y=4937

X=197727  
Y=4945



第102図 S1141竪穴住居跡(2)

SI141 埴土柱記述

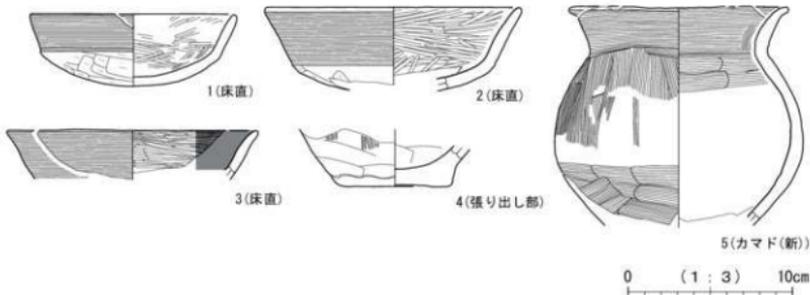
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考			
カマド (新)	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	炭化物粒を含む	カマド (古)	13	7.5YR2/2	黒褐色	シルト	炭化物多量を含む	
	2	10YR4/4	褐色	シルト	焼土粒・縮菊土を含む		14	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト		
	3	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	縮菊土		15	10YR3/2	黒褐色	粘土質シルト		
	4	5YR3/4	暗赤褐色	シルト	8層土の焼熱部分と思われる		16	10YR4/4	褐色	シルト		
	5	10YR3/3	暗褐色	シルト	炭化物粒微量を含む		17	5YR3/2	暗赤褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む	
	6	7.5YR2/2	黒褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土多量、骨片微量を含む		18	5YR4/8	赤褐色	シルト		
	7	7.5YR3/4	暗褐色	シルト	炭化物粒微量を含む、下面が焼熱		19	5YR4/4	にぶい赤褐色	シルト	地山土含む、下面が焼熱	
	8	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山土含む		20	10YR4/3	にぶい黄褐色	粘土質シルト	縮菊土少量含む	
	9	5YR3/8	明赤褐色	シルト	焼熱部分がみられる		SK1	21	10YR3/2	黒褐色	シルト	地山アコサ・黒褐色土アコサを含む
	10	10YR3/4	暗褐色	シルト	地山土多量に含み、内側は焼熱		22	10YR6/2	灰黄褐色	粘土質シルト	灰白色粘土アコサを含む	
	11	10YR3/3	暗褐色	シルト			23	10YR3/2	黒褐色	シルト	地山アコサを含む	
	12	10YR3/3	暗褐色	シルト	焼土多量に含み、軸下に焼熱							

SI141 焼土埴土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考		
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山アコサ少量含む	P6	2	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山アコサ少量含む
	2	10YR4/4	褐色	粘土質シルト	3		10YR4/4	褐色	シルト		
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山アコサ少量含む		P7	1	10YR3/3	暗褐色	粘土質シルト
P2	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	地山アコサ・焼土粒含む、しまり強い	P10	1	10YR4/4	褐色	シルト	地山土少量含む、しまり強い
	2	10YR4/3	にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰褐色粒を含む		2	10YR4/6	褐色	シルト	地山土多量を含む
	3	10YR4/4	褐色	シルト			3	10YR4/4	褐色	シルト	暗褐色土含む
P3	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	地山アコサ多量、クリーム色粘土粒微量を含む、しまり強い	P11	1	10YR4/4	褐色	シルト	暗褐色土含む
	-	5Y5/2	灰オリーブ色	粘土			2	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	(層土21-23に対応)
P6	1	10YR4/4	褐色	粘土質シルト	焼土粒微量を含む	SK1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山アコサ多量を含む

SI141 焼土製餅

遺構名	平面形	直径(cm)	高さ(cm)	備考	遺構名	平面形	直径(cm)	高さ(cm)	備考
P1	円形	66×44	38		P8	-	-	-	欠番
P2	不整形円形	57×31	34		P9	-	-	-	欠番
P3	楕円形	100×57	30		P10	楕円形	50×30	47	
P4	楕円形	109×117	14		P11	楕円形	60×48	41	
P5	-	-	-	欠番	SK1	楕円形	71×58	23	カマド(新)直下で検出
P6	不整形円形	47×38	46		SK1	不整形	77×65	10	張り出し部で検出
P7	楕円形	92×49	43						



第103図 SI141出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-161	SI41	床面	土師器	杯	122×→44	白緑部299', 体部299', 底部292'	白緑部-底部291' 4		113
2	C-162	SI41	床面	土師器	杯	43高→→44底	白緑部299', 体部299' 1'	白緑部-底部291' 4		113
3	C-163	SI41	床面	土師器	杯	44高→→43底	白緑部299'	白緑部291' 4	内面着色処理	113
4	C-164	SI41	断面直上	土師器	羹	→67×43.5	胴下199', 底部299'	底部291' 4		113
5	C-165	SI41	断面直上	土師器	羹	131×→113.0	白緑部299', 胴部294'→下199'	白緑部291' 4, 胴部299'		113

#### SI142 竪穴住居跡(第104～107図)

本住居跡ではカマドや床面遺構の検出状況から改築があったものと思われる。改築後の住居床面を検出することはできなかったが、床面遺構の掘り込み面が古段階のものより上位にあることは確実にあったため、新しい方を(新)、古い方を(古)と呼称し、それぞれ区別することとした。

〔位置・確認面〕 4A区東側、26・27・40・41グリッドに位置する。住居南側が攪乱により失われ、また床面の大半が削平されている等、残存状況は極めて悪い。

〔重複〕 SB22に切られ、SI215を切る。

〔規模・形態〕 残存状況が悪く、正確な規模や平面形状は不明であるが、少なくとも東西5.5m以上、南北5.6m以上とやや大型を呈す。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド(古)基準でN-23°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 21層に分層した。1・2層はカマド(新)部分の上位に、僅かに残存していた堆積土である。3～5層はカマド(新)に伴う煙出し内の堆積土である。6～8層は(新)に伴う堆積土であり、6層はP9内の堆積土とも共通している。カマドから掻き出されたものと考えて良い。7層はカマド(古)燃焼部内に堆積し、掘り切った形状が溝状を呈した。焼土・灰が互層状になっていたため、使用時の原位置を保っているものと考えられる。10～12層はカマド(古)煙道部内に堆積していた土層であり、13層は煙出し底に残存する土層である。14～20層はカマド(古)に伴う堆積土で、17・18層は袖土である。20層は支脚の前面に位置し、カマド燃焼部底面の被熱部分である。21層は掘り方埋土で、カマドに近い程混入物が少ない傾向が認められた。

〔壁面〕 残存する壁面(古)の高さは、北壁10cmである。

〔床面〕 21層上面を床面(古)とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕 検出時に上位を削平されていたため、調査現場においては住居跡範囲内のビットを全て本住居跡に伴うものと仮定して登録を行った経緯があり、登録されたビット総数は29基にのぼる。よって、住居東側のビットの中には、本住居跡に関連しない遺構も含まれる可能性が高い。また、西側の柱穴群はなかなかプランを確定できず、掘り方埋土をかなり掘り下げてから判別できたため、計測段階で遺構上位をかなり失ってしまった。配置や形状からP4・11・6・19が主柱穴になるものと推測され、それらと切り合うP5・27も柱の建て替えに伴う可能性が高い。またP2・7・23の配置から、住居の拡張があった可能性も考えられる。これらの主柱穴が床面(新)・(古)のいずれに対応するのかわからない。

〔カマド〕 カマド(新)・(古)ともに北辺で検出されている。カマド(新)は残存状況が極めて悪いので、詳細不明である。カマド(古)では両袖が残存しており、壁面から住居内に向かって平行に延びている。残存長は右袖約70cm、左袖約50cm、高さは8cm程である。燃焼部は奥行85cm、幅38～70cmを測り、住居辺外へ僅かに突出する。燃焼部中央では支脚と考えられる扁平な自然礫が検出された。煙道部は長さ200cm、幅34～46cmで、先端部には深さ46cmのビット状の窪みが認められる。

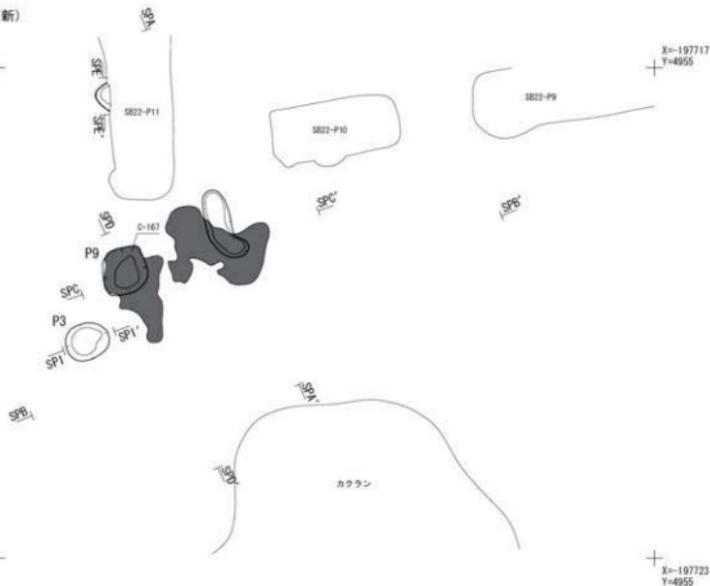
〔その他の施設〕 床面(新)におけるP3・9、床面(古)におけるP17・18、帰属する床面が不明であるP7・12の埋土は、カマド内堆積土を起源とする焼土・炭化物を多く含むため、灰溜めビットとしての用途が考えられる。

〔掘り方〕 カマド付近は平坦であるが、住居西側と南東隅付近に幅約50～80cmを測る溝状の掘り込みが認められた。また底面上では、局所的に工具痕跡が認められた。カマド付近での床面から掘り方底面までの深さは約10cmである。

〔出土遺物〕 掲載した土師器2点は、カマド(新)及びP9上位に広がる焼土上から出土した。いずれも小破片である。

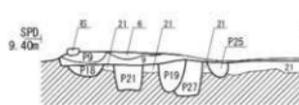
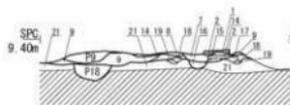
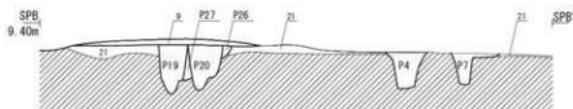
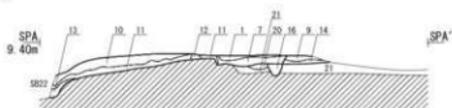
S1142床面(新)

X=197717  
Y=4947

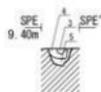


X=197723  
Y=4947

X=197723  
Y=4955



カマド(新)



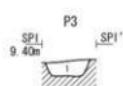
カマド(古)



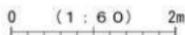
カマド(古)



カマド(古)



カマド(古)

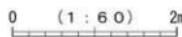
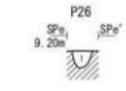
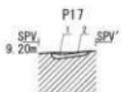
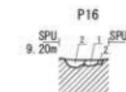
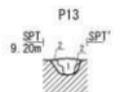
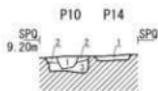
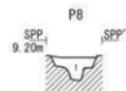
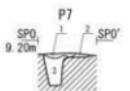
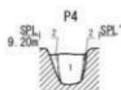
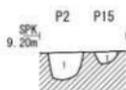
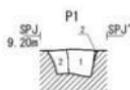
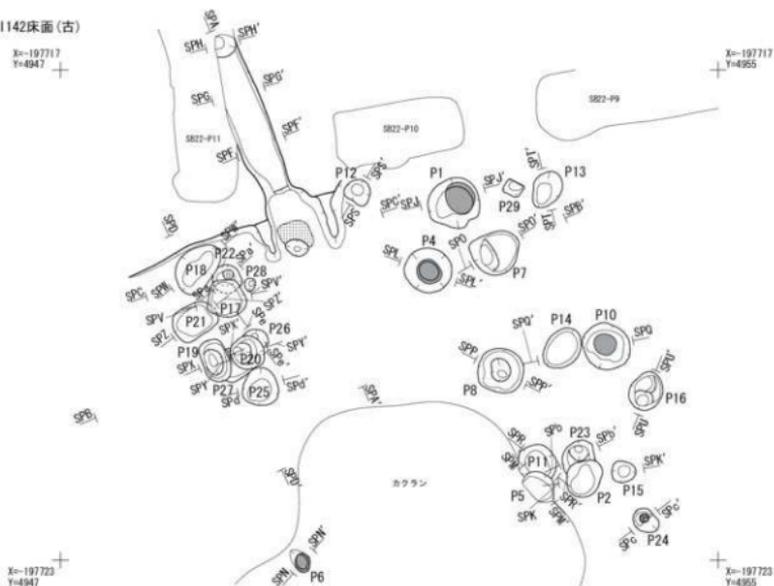


第104図 S1142竪穴住居跡(1)

SI142床面(古)

X=197717  
Y=4947

X=197717  
Y=4955



第105図 SI142竪穴住居跡(2)

SI142 埴土記取票

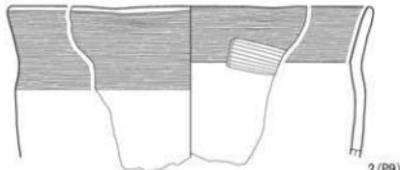
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
カマド (新)	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む	カマド (古)	12	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	5YR5/6 明赤褐色	砂質シルト			13	10YR2/3 黒褐色	シルト	地山粒・12層土アツク少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒微量、黒褐色土アツク少量含む		14	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒微量、焼土(径2~10mm)少量含む、天井崩落土
	4	10YR2/2 黒褐色	シルト	10YR2/2 黒褐色土・暗褐色土多量を含む		15	7.5YR2/3 暗褐色	シルト	地山粒・焼土粒微量を含む
	5	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒、4層土アツク少量含む		16	10YR2/1 黒色	シルト	炭化物粒微量、黒褐色土アツク少量含む
	6	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒微量、焼土(径2~40mm)多量を含む		17	5YR4/4 二色・赤褐色	シルト	18層の焼熱部分、焼土
	7	10YR2/1 黒色	シルト	炭褐色土少量含む、上部に炭化物がみられる		18	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色土微量を含む、焼土
	8	7.5YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物少量、焼土(径1~40mm)多量を含む		19	10YR3/4 暗褐色	シルト	17~18層土微量を含む
カマド (古)	9	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土少量含む	20	5YR5/6 明赤褐色	シルト	上部2層化、5YR4/4に二色・赤褐色に濃縮	
	10	10YR2/3 黒褐色	シルト	焼土粒少量、白色砂粒微量を含む	21	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アツク・地山粒少量、炭化物粒・焼土粒微量を含む	

SI142 灰器埴土記取票

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/3 二色・赤褐色	粘土質シルト	柱状跡	P15	1	10YR5/4 二色・赤褐色	粘土質シルト	
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山粒少量、焼土粒微量を含む		P16	1	10YR3/2 黒褐色	シルト
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト		2	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒微量を含む	
	3	7.5YR3/2 黒褐色	シルト	焼土(径2~40mm)多量、炭化物粒微量を含む	P17	1	2.5Y2/1 黒色	炭化物粒	
P4	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む	
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山粒微量を含む	P18	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	焼土(径1~10mm)、炭化物粒少量含む
P5	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む	
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物粒微量、焼土アツク少量含む、柱状跡	P19	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒微量を含む
P7	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒微量、焼土粒・暗褐色土粒少量含む	P20	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒微量を含む
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒微量を含む	P21	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む、焼土粒微量を含む	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物粒微量を含む	
P8	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山土少量含む	P22	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	焼土粒少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒微量、焼土(径2~40mm)多量を含む	P23	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒少量含む
P10	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	柱状跡	P24	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	柱状跡
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	地山粒微量を含む	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む	
	3	10YR2/3 黒褐色	シルト	地山アツク少量含む	P25	1	10YR4/3 二色・赤褐色	粘土質シルト	
P11	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アツク少量含む	P26	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒微量を含む
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒微量、焼土アツク少量含む	P27	-	-	-	
P13	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	焼土粒微量を含む	P28	-	-	-	
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アツク少量含む	P29	-	-	-	
P14	1	10YR4/3 二色・赤褐色	粘土質シルト						

SI142 灰器執照票

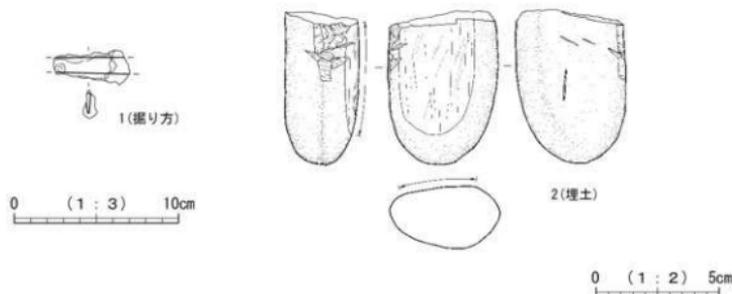
遺構名	平面形	直径(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	直径(cm)	深さ(cm)	備考
P1	不整形円形	64×60	31		P16	楕円形	47×38	12	
P2	楕円形	50×42	34		P17	不整形円形	48×46	7	底面(古)、灰器のビツ
P3	楕円形	54×45	20	底面(新)、灰器のビツ	P18	楕円形	57×44	21	底面(古)、灰器のビツ
P4	円形	57×54	44		P19	楕円形	54×32	48	底面(古)
P5	(楕円形)	46×(30)	32		P20	円形	43×42	48	
P6	(楕円形)	63×(19)	3		P21	隅丸方形	54×40	29	底面(古)
P7	不整形円形	58×53	39	灰器のビツ	P22	円形	37×34	21	底面(古)
P8	円形	56×55	29		P23	(楕円形)	38×(29)	44	
P9	不整形楕円形	58×52	12	底面(新)、灰器のビツ	P24	楕円形	34×28	19	
P10	楕円形	59×53	19		P25	楕円形	46×44	18	底面(古)
P11	楕円形	49×(44)	32		P26	(楕円形)	29×(12)	21	底面(古)
P12	不整形円形	31×27	6	灰器のビツ	P27	(楕円形)	40×(37)	28	底面(古)
P13	楕円形	48×34	18		P28	楕円形	16×13	14	底面(古)
P14	楕円形	55×40	8		P29	方形	22×18	34	
P15	楕円形	38×26	15						



0 (1:3) 10cm

第106図 SI142出土遺物(1)

調査番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	形状	口径×底径×高径(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-166	SI142	977	土器	灰	(33.7)×××(33)	口縁部だけ、体部だけ	口縁部～底部だけ		113
2	C-167	SI142	79	土器	壺	(21.8)×××(10.2)	口縁、口縁部だけ、胴部だけ	口縁部だけ、胴部だけ		113



第107図 SI142出土遺物(2)

図録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考				写真掲載	
1	N-016	SI142	掘り方	鉄製品	刀子	遺存長47、最大幅1.1、幅厚0.3cm				111
図録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚5(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載	
2	SI1-016	SI142	埋土	石製品	砥石	6.1×4.5×3.0	626	凝灰岩	自然、板状、欠損品	111

#### SI143 竪穴住居跡(第108・109図)

〔位置・確認面〕4A区北西、84・95・103グリッドに位置する。大規模な攪乱を受けており、検出部分は住居東南側の一部のみであった。また上位も大きく削平されているため、残存状況は極めて悪い。

〔規模・形態〕東西6.65mと大型で、方形を呈するものと思われる。

〔方向〕住居跡の南北軸は、東辺基準でN-35°-Wである。

〔堆積土・構築土〕3層に分層した。1層は住居埋土、2層は周溝内堆積土で、両者ともに鉄分の沈着が目立つ。3層は掘り方埋土である。

〔床面〕3層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP2・3が主柱穴と考えられる。いずれも上端径45cm前後、深さ40～50cmと住居の規模の割には小型で、柱間寸法は4.2mである。またP1は、その配置から補助柱穴としての可能性が考えられる。

〔周溝〕残存する全辺で検出した。幅10～18cm、深さ8～11cmで、断面形は逆台形に近い。

〔掘り方〕壁際を溝状に掘り窪めており、鳥状になる中央底面はほぼ平坦である。

〔出土遺物〕床面や掘り方埋土中から土製品が多数出土した。管玉や丸玉は丁寧に磨かれ、黒色処理されている。

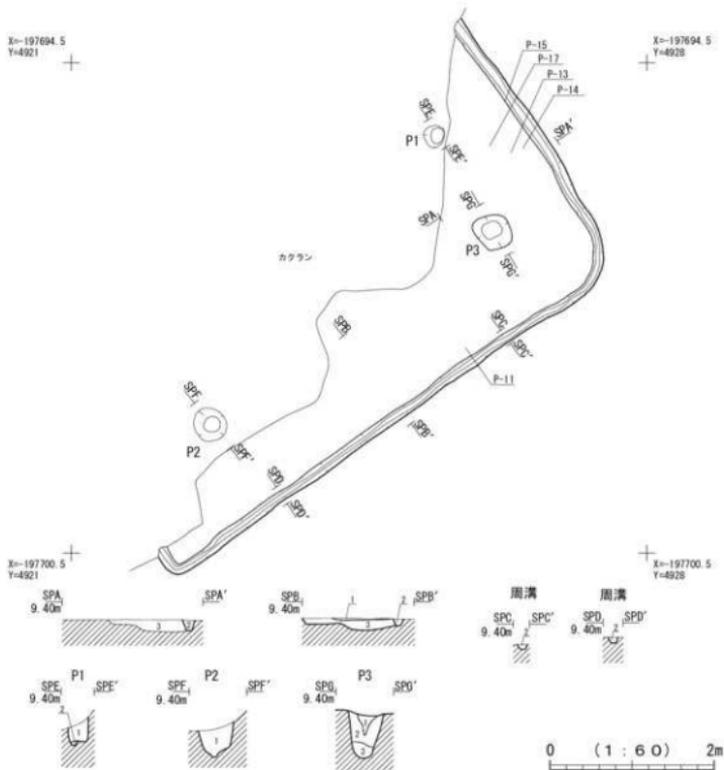
#### SI144 竪穴住居跡(第110・111図)

〔位置・確認面〕4A区中央、39・40・55・56グリッドに位置する。

〔重複〕SB13を切る。また住居南西隅をSK103に切られるものとして調査を進めたが、出土遺物を検討した結果、この重複関係は逆転するものと判断した。

〔規模・形態〕東西4.9m、南北4.7mを測り、ほぼ正方形を呈する。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-67°-Eである。



第108図 SI143竪穴住居跡

SI143 埋土証記録

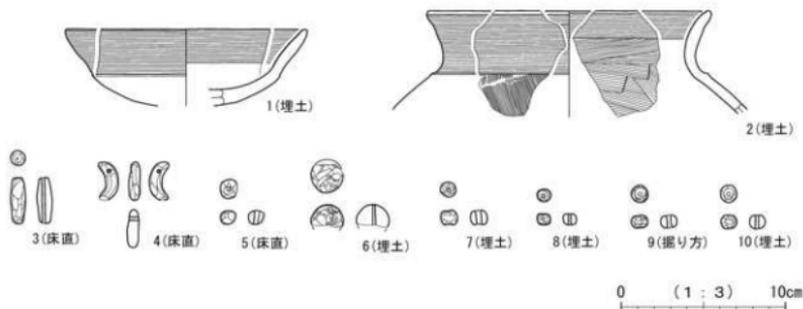
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	地山7'から7(厚10~20mm)多量、炭化物 少量含む。炭分沈着が見立つ	掘り方	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	地山7'から多量、黒褐色土少量含む
河溝	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山7'から(厚10mm)少量、炭化物粒散 在を含む。炭分沈着が見立つ					

SI143 検出埋土証記録

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	に高濃褐色(厚10~20mm)の炭層、炭化物粒散在を含む	P3	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	火山灰粒・炭層を含む、しまりなし
	2	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	炭かき		2	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色土との互層
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	暗褐色土多量を含む、炭分沈着がみられる		3	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	暗褐色土多量を含む、しまりなし

SI143 検出観測表

遺構名	平面形	風程(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	風程(cm)	深さ(cm)	備考
P1	不規則円形	27×25	22		P3	不規則円形	31×45	30	
P2	楕円形	43×37	41						



第109図 SI143出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-168	SI143	埋土	土師器	坏	114.5×××14.7	1埋部×2??, 体部-底部磨耗, 4??×???	1埋部×2???, 体部-底部×???		112
2	C-169	SI143	埋土	土師器	壺	17.0×××16.5	1埋部×2???, 胴部×???	1埋部×2???, 胴部×???		113
図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真掲載
3	P-10	SI143	床直	土製品	管玉	2.8×19.0×孔径0.2	26	断面調整, 染色処理		112
4	P-11	SI143	床直	土製品	勾玉	2.3×19.7×孔径0.2	1.8	断面調整		113
5	P-12	SI143	床直	土製品	丸玉	0.9×径約9×孔径0.3	0.9	断面調整→2?4, 染色処理		113
6	P-13	SI143	埋土	土製品	丸玉	1.0×径2.0×孔径0.2	4.7	断面調整→2?4, 染色処理		113
7	P-14	SI143	埋土	土製品	丸玉	0.9×径1.0×孔径0.3	1.0	断面調整→2?4, 染色処理		113
8	P-15	SI143	埋土	土製品	丸玉	0.7×径0.8×孔径0.2	0.5	断面調整→2?4, 染色処理		113
9	P-16	SI143	掘り方	土製品	丸玉	0.8×径1.0×孔径0.2	0.8	断面調整→2?4, 染色処理		113
10	P-17	SI143	埋土	土製品	丸玉	0.8×径1.0×孔径0.2	0.6	断面調整→2?4, 染色処理		113

〔堆積土・構築土〕10層に分層した。1層は住居埋土、2～7層はカマド関連層位、8層は周溝内堆積土、9・10層は掘り方埋土である。

〔壁面〕残存する壁高は東壁3cm、西壁6cm、南壁6cm、北壁3cmである。

〔床面〕9層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられる。いずれも上端径55cm以上、深さ30～40cmで、柱間寸法は2.1～2.5mである。また、南辺周溝底面に5基の連続した小穴が認められ、これらは壁柱穴である可能性がある。

〔周溝〕カマド部分を除き全周する周溝を壁面直下で検出した。幅8～18cm、深さ5～12cmで、断面形は半円形に近い。

〔カマド〕西辺中央で多量の焼土と煙道部を検出した。煙道部は幅27～39cmを測り、先端部は攪乱により失われる。

〔その他の施設〕カマドのある住居東半でピット5基(P5～9)を検出した。P6は炭化物を多量に含み柱痕跡状の堆積も確認されているが、やや不整形な掘り方を持つ。P8の埋土は焼土を多量に含み単層である。

〔掘り方〕カマド付近以外では、周溝底面レベル付近までの掘り込みとなっている。底面には僅かに起伏が認められる。

〔出土遺物〕殆どはカマド周囲に点在する土器片である。埋土下層から出土した第111図-1・2は、やや丸みを持つ平底の土師器坏である。



SI144 埋土証書

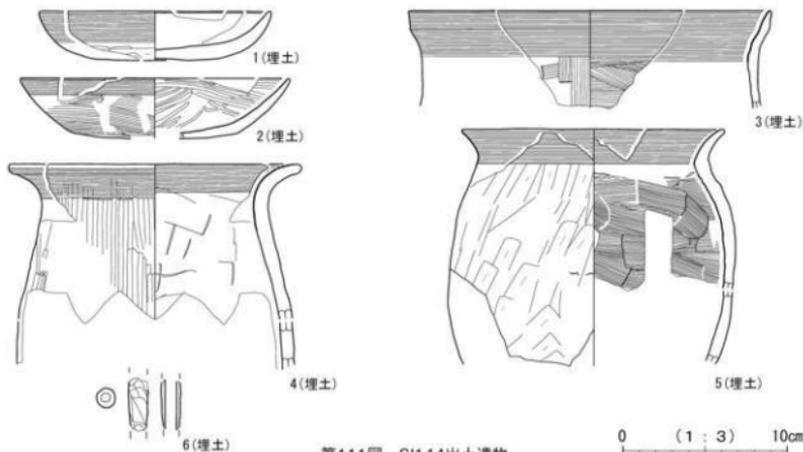
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考		
ホマド	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	地山アの少量、炭化物・焼土粒少量含む	ホマド	6	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物・焼土アの少量を含む
	2	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物粒・焼土アの少量を含む		7	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒を含む
	3	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物粒・焼土アの少量が多い		8	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	焼土アの少量を含む
	4	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物少量含む		9	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	地山アの少量、焼土粒少量含む
	5	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物・焼土粒少量含む		10	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	焼土粒少量含む

SI144 施設埋土証書

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考			
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	焼土粒少量含む、しまり強い	P6	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	炭化物・焼土アの少量含む	
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト			2	10YR3/3	暗褐色	シルト	炭化物・焼土アの少量を含む	
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山粒少量含む		3	10YR3/1	暗褐色	シルト	炭化物・焼土粒・焼土アの少量を含む	
	4	10YR3/3	暗褐色	シルト	焼土粒少量含む		4	10YR3/1	暗褐色	シルト	焼土粒少量を含む	
P2	1	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト	焼土粒少量含む、しまり強い	P7	1	10YR3/2	暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む	
	2	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト			2	10YR3/1	暗褐色	シルト	炭土質シルト	
	3	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト	地山アの少量含む		3	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山粒・地山アの少量含む	
P3	1	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト		4	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト			
	2	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト	地山アの少量含む	5	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山粒・焼土粒少量含む		
P4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	焼土粒・焼土アの少量含む	P8	1	10YR3/2	暗褐色	シルト	地山粒少量、炭化物・焼土少量を含む	
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山アの少量・焼土粒・焼土アの少量含む		P9	1	10YR3/2	暗褐色	シルト	地山粒少量含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト				2	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト	地山粒少量含む
P5	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山粒少量、焼土粒少量を含む	3	10YR4/2	にぶい黄褐色	シルト	地山アの少量含む		
	2	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	地山アの少量を含む	4	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト			

SI144 施設観察表

遺構名	平面形	風船 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風船 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	58×486	42		P6	楕円形	489×40	16	
P2	楕円形	83×75	31		P7	楕円形	78×61	33	
P3	楕円形	56×50	32		P8	不整形	83×44	13	灰泥めビット
P4	円形	59×59	35		P9	楕円形	77×65	22	
P5	楕円形	48×44	26						



第111図 SI144出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	外面調整		内面調整		備考	写真掲載
						口径×底径×器高(cm)					
1	C-171	SI144	埋土	土師器	杯	口径φ×××30	口縁部23°、底部49°、底面92°9'→99°	磨滅			113
2	C-170	SI144	埋土	土師器	杯	口径φ×××43	口縁部23°、底部49°、底面92°9'				113
3	C-172	SI144	埋土	土師器	甕	口径φ×××45	口縁部23°、腹部49°				113
4	C-174	SI144	埋土	土師器	甕	口径φ×××110	口縁部23°、腹部49°				113
5	C-173	SI144	埋土	土師器	甕	15.8×××14.5	頸口、口縁部23°、腹部49°				113
図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚5(cm)	重量(g)	備考		写真掲載	
6	P-18	SI144	埋土	土製品	土師	口径φ×厚12×孔φ0.6	39	断面調整		113	

#### SI145 竪穴住居跡(第112～117図)

[位置・確認面] 4A区東側、56・57・72・73グリッドに位置する。

[規模・形態] 東西4.9m、南北4.8mを測り、ほぼ正方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-40°-Wである。

[堆積土・構築土] 41層に分層した。1～8層は住居埋土である。2層の上には炭化物が散在し、1・2層からは遺物の出土が多かった。IVc層に由来するものと思われる4層は、住居東側と南側に1箇所ずつマウンド状に堆積していた。5・6層は住居西側の張り出し部分にのみ認められる堆積土で、5層には黒褐色～暗赤褐色の砂が多量に含まれていた。7・8層は住居床面直上の堆積土である。カマド周辺にみられる8層には炭化物粒が目立つ。カマド周辺の床面ではかなりのしまりが認められ、その使用頻度の高さが窺えた。9・10層はカマド上位の堆積土であるが、天井崩落土の特徴はみられない。11～26層はいずれも煙道・煙出し内の堆積である。非常に細かく分層したが、概ね共通するのは煤状炭化した土が含まれることである。27～35層はカマド内の堆積土で、カマド内残存灰と被熱した土が互層状にみられる。27～29層には白色化した獣骨片が多く含まれ、中には部位を同定できる程度の大きさのものも含まれている。36層は周溝内堆積土で、IVc層土ブロックが少量混入している。37～39層はカマド袖構築土で、内側の37層は被熱痕跡が明瞭である。40層は残存する袖両前方に検出した小坑内の堆積土で、袖石と考えられる板状礫を覆っていた。41層は掘り方埋土で、IVc層由来の地山ブロックとともに、IVd層に比定できる黒褐色土が混入していた。

[壁面] 残存する壁高は東壁20cm、西壁14cm、南壁5cm、北壁7cmである。

[床面] 41層上面を床面とし、南に向かって僅かに傾斜する。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられる。このうち柱痕跡が認められたのはP3のみで、全てのピットには住居埋土1・2層がレンズ状に流入していた。このことから考えると、住居廃絶の段階では柱が抜き取られていた可能性が極めて高い。P3の柱痕跡はピット底面最深部から少しずれた位置での確認であり、柱の建て替えがあったものと思われる。柱間寸法は2.5～2.7mで、ピット上端径が70cm前後の円形・楕円形を呈する。深さは58～71cmで、壁面は直立せず、底面が狭い。

[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。明瞭ではなかったものの、西側張り出し部分の内側にも検出されている。幅17～36cm、深さ7～20cmで、断面形はU字～逆台形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。カマド上位には天井崩落土がみられず、炭化物を多く含む2層がすぐ上から堆積しているため、廃棄段階で意図的にカマド構築材が除去された可能性がある。長さ約50cm、高さ15cm程の両袖部を検出したが、更にこの袖部前方には、板状の自然礫が直立して検出された小坑が認められた。この礫は袖石(床面下に埋められていたため、袖石根部を固定するためのものか)の可能性が高く、恐らくはこの位置まで袖が延びていたものと思われる。燃焼部は奥行77cm、幅38～72cmを測る。煙道部は長さ160cm、幅23～49cmで、先端に向かって底面が低くなる。

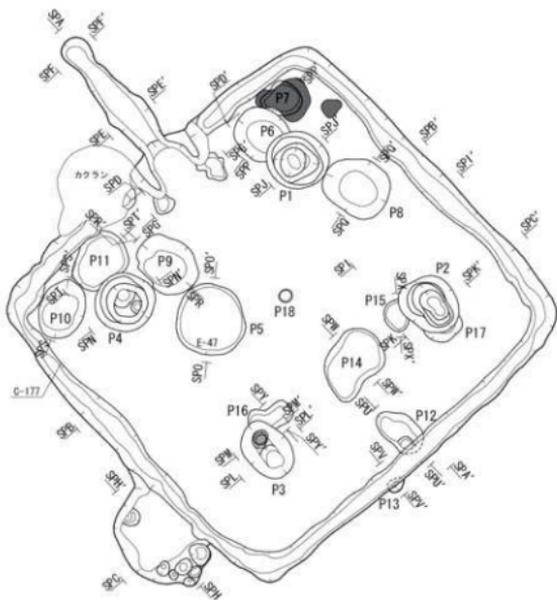
[その他の施設] 灰溜めピットとしての用途が考えられるピット4基(P7・8・10・11)を、いずれもカマドがある住居北半で検出された。カマド内堆積土と同様、白色化した骨片を多く含んでいる。また、西壁のやや南に寄ったところで、130×90cm程の張り出し部が検出されている。用途・機能は不明であるが、堆積土に砂が多く混じる、周囲に杭痕のような小ピットが認められること等が特徴的である。

[掘り方] カマド周辺から住居跡中央にかけて舌状の高まりを残しており、住居跡東・南・西側に溝状の掘り込みが認められる。床面からの深さは住居跡中央では9cm、周囲の深いところで11～17cmである。

[出土遺物] 出土した土師器坏は、いずれも扁平な器形で内面黒色処理される。また、1・2層出土の土器は住居廃絶後の窪みへの一括廃棄と考えられ、須臾器高台付坏が2点出土している。

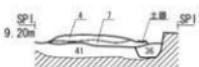
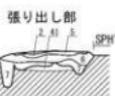
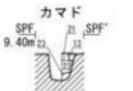
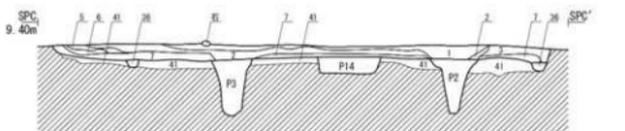
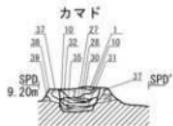
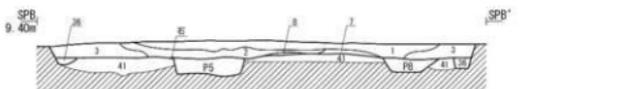
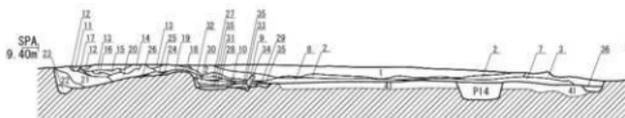
X=197705  
Y=4946

X=197705  
Y=4954

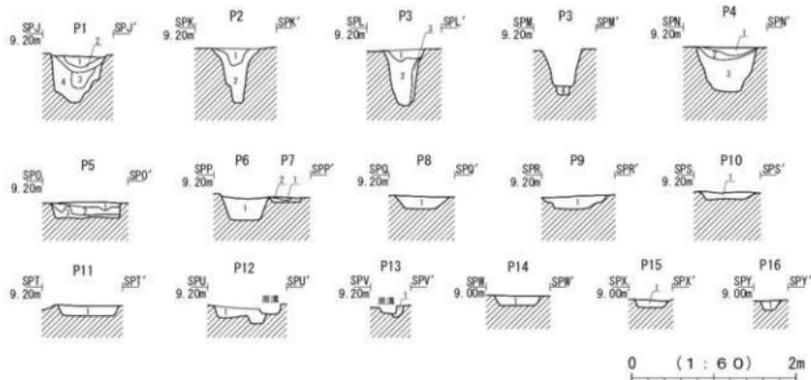


X=197712  
Y=4946

X=197712  
Y=4954



第112図 SI145竪穴住居跡(1)



第113図 SI145壁穴住居跡(2)

SI145 埋土柱記簿

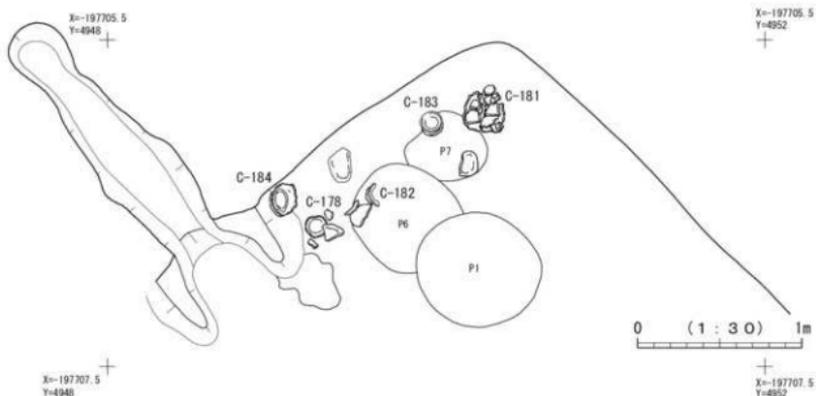
部位	層段	土色	土性	備考	部位	層段	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	地山粒・炭化物・焼土粒少量を含む	合マド	22	5YR12/1 灰色	粘土質シルト	地山土・焼土粒少量を含む
	2	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山粒・焼土粒・炭化物アロク少量含む、上面に炭化物が散在		23	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	2層土粒を含む
	3	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山粒・炭化物粒散在を含む		24	10YR4/4 褐色	シルト	
	4	10YR4/3 濃い赤褐色	シルト	黒褐色土少量含む		25	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼土アロク少量含む
	5	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量、黒褐色～暗赤褐色砂多量を含む		26	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	地山粒少量を含む
	6	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒・白色土粒少量を含む		27	10YR2/1 黒色	シルト	煤炭灰化粒・焼土アロク少量、白色骨片少量を含む
	7	10YR3/2 黒褐色	シルト	焼土アロク・地山粒少量、炭化物粒少量を含む		28	10YR4/1 暗褐色	シルト	焼土粒少量、白色骨片少量を含む
	8	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物粒少量含む、しまり強い		29	2.5Y2/1 灰色	シルト	炭化物(径1~20mm)多量、焼土粒・白色骨片少量を含む
合マド	9	10YR4/6 褐色	シルト	外縁が赤色に着色	30	10YR4/1 褐色	シルト	焼土多量を含む	
	10	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼土アロク少量含む	31	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	焼土アロク少量含む、焼土塊、赤褐色の炭化物、炭化物少量、焼土粒少量を含む	
	11	10YR2/2 黒褐色	シルト	焼土粒多量を含む、煤炭灰化、立脚に類似	32	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量、炭化物少量、焼土粒少量を含む	
	12	10YR3/4 暗褐色	シルト	煤炭灰化粒少量、焼土粒少量を含む	33	5YR4/4 濃い赤褐色	シルト	焼土粒少量を含む、焼熟している	
	13	10YR4/4 褐色	シルト	煤炭灰化粒少量を含む	34	7.5YR3/2 暗褐色	シルト	焼土粒少量含む	
	14	10YR4/4 褐色	シルト	20層焼土土粒少量を含む	35	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む	
	15	10YR2/3 暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物粒・焼土粒少量、20層焼土土粒少量を含む	36	10YR3/2 暗褐色	シルト	焼土アロク少量含む	
	16	10YR3/2 暗褐色	シルト	煤炭灰化粒多量、焼土粒少量を含む	37	5YR4/6 赤褐色	シルト	38層が焼熟したもの、5層に類似している	
	17	10YR3/3 暗褐色	シルト	煤炭灰化粒少量含む	39	10YR3/2 暗褐色	シルト		
	18	7.5YR3/2 暗褐色	シルト	焼土粒少量を含む	40	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物・焼土粒少量含む	
	19	10YR3/3 暗褐色	シルト	煤炭灰化粒少量、下層に焼土アロク多量を含む	41	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク多量、黒褐色土少量を含む	
	20	10YR3/4 暗褐色	シルト	煤炭灰化土焼土少量含む、下層煤炭灰化					
	21	10YR2/2 暗褐色	粘土質シルト	煤炭灰化粒少量、焼土粒多量を含む、下層煤炭灰化					

SI145 掘埋土柱記簿

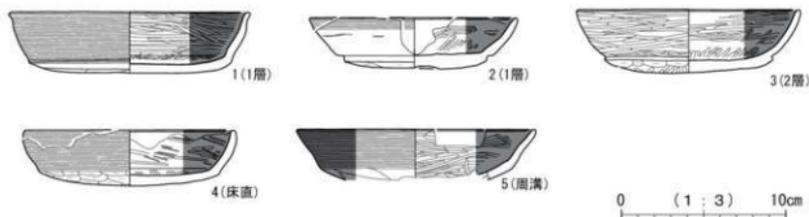
部位	層段	土色	土性	備考	部位	層段	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	住居層1層の成人土	P5	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
	2	10YR3/1 黒褐色	シルト	住居層1層の成人土		4	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山土少量、炭化物粒・焼土粒少量を含む
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト	しまり強い、湿性あり		5	10YR2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨片少量を含む
	4	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク少量、黒色土粒少量を含む		2	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山粒少量を含む
P2	1	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	住居層1層の成人土	P8	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨片少量を含む
	2	10YR3/1 黒褐色	シルト	住居層1層の成人土		3	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト	住居層1層の成人土		4	10YR2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒多量、焼土粒多量、骨片少量を含む
	4	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒少量を含む、湿性あり		1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む
P3	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	住居層1層の成人土	P12	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量を含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む		1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト	アライ化、しまりなし、湿性強い		1	10YR2/3 暗褐色	シルト	燻土穴
	4	2.5Y3/1 黒褐色	シルト			1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	地山アロク多量を含む
P4	1	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	住居層1層の成人土	P14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量含む
	2	10YR3/1 黒褐色	シルト	住居層1層の成人土		1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	地山アロク少量含む
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山粒少量、焼土粒少量を含む		1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	地山粒少量、黒褐色土アロク少量を含む
P5	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロク・地山粒少量を含む	P17	-	-	-	
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量、炭化物多量、焼土粒少量を含む	P18	-	-	-	

SI145 施設概要表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	75×70	60		P10	楕円形	74×55	30	灰澄めピット
P2	不整楕円形	75×62	66		P11	不整楕円形	78×69	13	灰澄めピット
P3	楕円形	75×52	71		P12	不整楕円形	64×39	22	
P4	円形	75×72	58		P13	楕円形	21×16	16	
P5	円形	85×85	19		P14	不整楕円形	97×66	12	
P6	楕円形	61×60	31		P15	楕円形	39×29	9	
P7	不整楕円形	50×44	5	灰澄めピット	P16	不整楕円形	53×25	13	
P8	楕円形	81×68	17	灰澄めピット	P17	(楕円形)	46×10	-	
P9	不整楕円形	78×63	17		P18	円形	16×16	12	

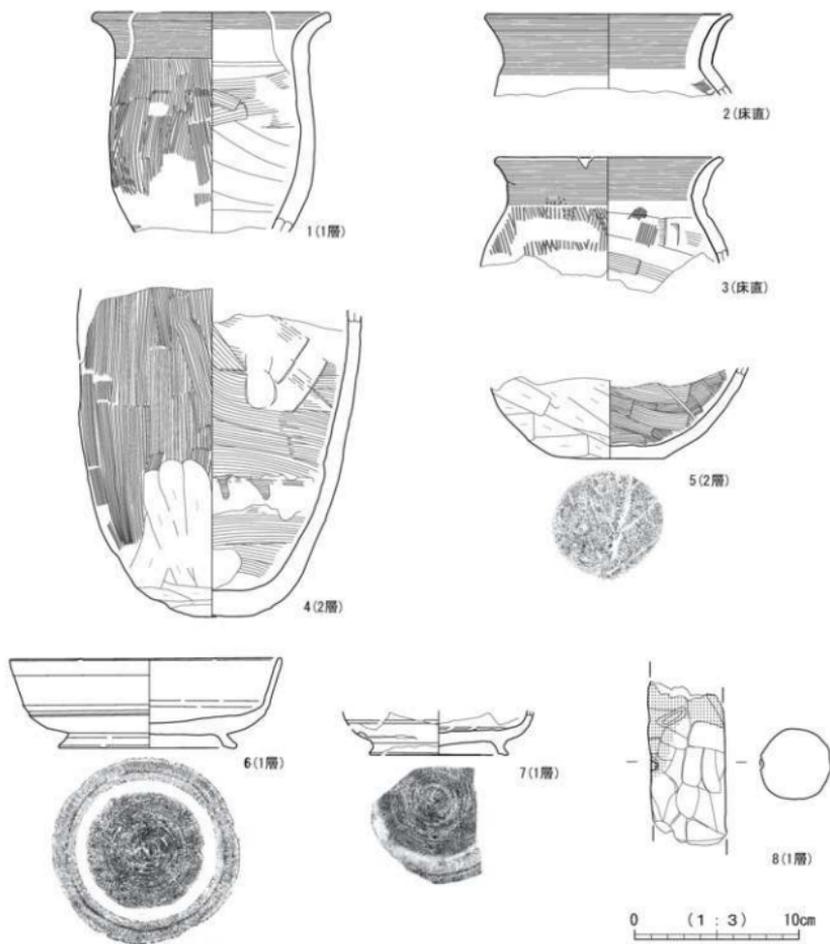


第114図 SI145竪穴住居跡(3)



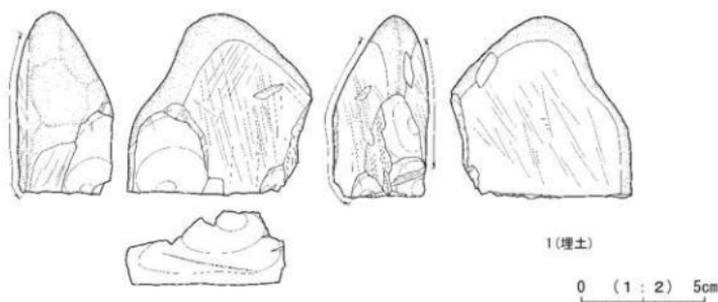
第115図 SI145出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版	
1	C-175	SI145	1層	土胎器	杯	14.4××3.7	口縁部R???, 底部~底部<sup>9</sup>E'9~<sup>9</sup>E'9	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8		内面黒色処理	113
2	C-176	SI145	1層	土胎器	杯	12.9××3.1	口縁部~底部<sup>9</sup>E'9, 外部と底部の境を攪拌状に区溝	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8		内面黒色処理	113
3	C-177	SI145	2層	土胎器	杯	13.4××3.9	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8		内面黒色処理	113
4	C-178	SI145	床直	土胎器	杯	12.7××3.4	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8		内面黒色処理	114
5	C-179	SI145	周溝	土胎器	杯	13.4××3.2	口縁部R???, 底部~底部<sup>9</sup>E'9	口縁部~底部<sup>9</sup>E'8		内面黒色処理	114



第116図 SI145出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺物	部位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-180	SI145	1層	土師器	甕	14.0 × - × (3.4)	口縁部△???, 胴部△?/?	口縁部△???, 胴部△???		114
2	C-182	SI145	床直	土師器	甕	14.0 × - × (5.0)	口縁部△???, 胴部△???	口縁部△???, 胴部△???		114
3	C-183	SI145	床直	土師器	甕	11.6 × - × (7.6)	口縁部△???, 胴部△?/?	口縁部△???, 胴部△???		114
4	C-181	SI145	2層	土師器	甕	- × - × (20.2)	胴部△?/?→下半部△???, 底部△???/?→△???	胴部~底部△???		114
5	C-184	SI145	2層	土師器	甕	- × 6.6 × (5.5)	胴部△???, 底部本葉直	胴部~底部△???	小砂雜多量に注意	114
6	E-47	SI145	1層	須恵器	高台付杯	(16.6) × 10.9 × 5.4	??調整, 杯部下端~底縁(6)△??/?→高台(6)付	??調整	石葉多量	114
7	E-48	SI145	1層	須恵器	高台付杯	- × 8.3 × (2.7)	??調整, 底縁(6)△??/?→高台(6)付	??調整		114
図版番号	登録番号	出土遺物	部位	種類	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備	考	写真掲載
8	P-19	SI145	1層	土師品	支脚	10.0 × 14.5	220.0	上半部焼熟前, 曲線調整		114

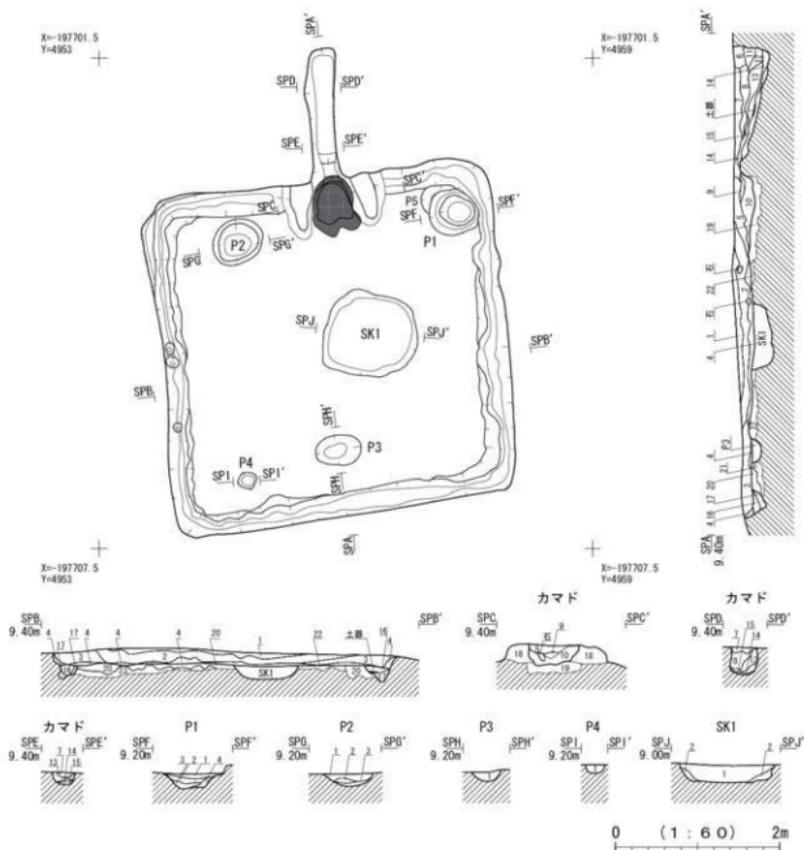


第117図 SI145出土遺物(3)

図録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載	
1	K0-019	SI145	埋土	石製品	砥石	6.4×7.1×2.1	130.5	凝灰岩	自然、数状、溝状痕あり	114

#### SI146 竪穴住居跡(第118～122図)

- [位置・確認面] 4 A区東側、73・87グリッドに位置する。
- [重複] SB14を切る。
- [規模・形態] 東西4.2m、南北4.1mを測り、ほぼ正方形を呈する。
- [方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-4°-Wである。
- [堆積土・構築土] 23層に分層した。1～4層は住居埋土である。1・2層は大量の炭化物とともに遺物を多く含む。5～17層はカマド関連層位である。5・9層は天井部崩落土と考えられる。10層は焼土と炭化物を主体とする層で、当初細分していたが炭化物主体層として一括した。10層下面は被熱により若干赤変している。16・17層は周溝内堆積土である。18層が袖の構築材であり、灰黄褐色地山を主体とし暗褐色土を含む粘性のある土質である。19～23層は掘り方埋土である。
- [壁面] 残存する壁高は東壁10cm、西壁18cm、南壁12cm、北壁19cmである。
- [床面] 19・20・22層上面を床面とし、ほぼ平坦である。しまりはあまり強くない。
- [周溝] カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅16～40cm、深さ11～16cmで、断面形はV字型に近い箇所が多い。
- [カマド] 北辺中央で検出した。両袖部が壁面から平行して65cm程延びており、高さは床面から20～25cm程残っている。燃焼部は奥行62cm、幅38～72cmを測る。周溝は一部袖下に潜り込んでいるため、周溝を埋めた後にカマドを構築したことがわかる。煙道部は長さ159cm、幅28～34cmで、先端に向かって低くなり、最深部で38cmの深さを測る。
- [その他の施設] 土坑1基(SK1)及びピット4基(P1～4)を検出した。P1の最上面(1層)は焼土と炭化物が覆っており、焼土は周溝上にも広がっている。
- [掘り方] 住居中央では掘り方が床面とほぼ変わらない箇所もあり、壁面に近づくにつれ深くなる。北西隅ではごく浅い土坑状の掘り込みを検出している。
- [出土遺物] 掲載した遺物出土状態図は、遺物の出土量が多かった1・2層における状況である。住居廃絶後の窪みに一括廃棄されたものと考えられる。床面からの遺物としては須恵器高台付盤(第120図-5)がある。また、第120図-6～8の須恵器環は、口径・底形ともにややバラつきが認められたが、器高は4.0cm前後とほぼ同一である。また内外面に火痺痕が顕著に認められた第120図-6・7は、第120図-8・9共々焼成が甘く、特に第120図-7は黄褐色に近い色合いを呈している。
- 4 A区竪穴住居出土遺物としては、最も新しい様相を呈する。



第118図 SI146竈穴住居跡(1)

SI146 埋土柱記簿

部号	層位	土色	土性	備考	部号	層位	土色	土性	備考
竈土	1	7.5YR3/1 黒褐色	シルト	炭化物・焼土多量、灰色粘土質(4)が多少量、遺物多量に含む	カマド	12	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	灰土層が目立つ
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量、遺物多量に含む		13	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土・灰土が少量に含む、下に3層埋層
	3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土粒微量、焼土粒少量、遺物多量に含む		14	5YR2/1 黒褐色	シルト	焼土・灰土が少量に含む
	4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土上少量含む		15	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土・灰土が少量含む
カマド	5	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土上多量、炭化物粒・焼土粒微量に含む、しまり強い、天井傾斜土か	同 溝	16	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	焼土粒含む
	6	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	下に灰土層が目立つ	17	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土・灰土・焼土粒を含む	
	7	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	しまり強い、煙道天井傾斜土か	18	10YR4/4 褐色	シルト	焼土粒上少量含む	
	8	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土・灰土を含む	19	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土・黒灰を含む	
	9	7.5YR4/2 灰褐色	粘土質シルト	焼土・灰土・炭化物・焼土粒を含む	20	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む	
	10	7.5YR3/1 黒褐色	シルト	炭化物多量、焼土少量含む	21	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物粒・焼土少量含む	
	11	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	灰土層が目立つ	22	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土・灰土が少量含む	
					23	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		

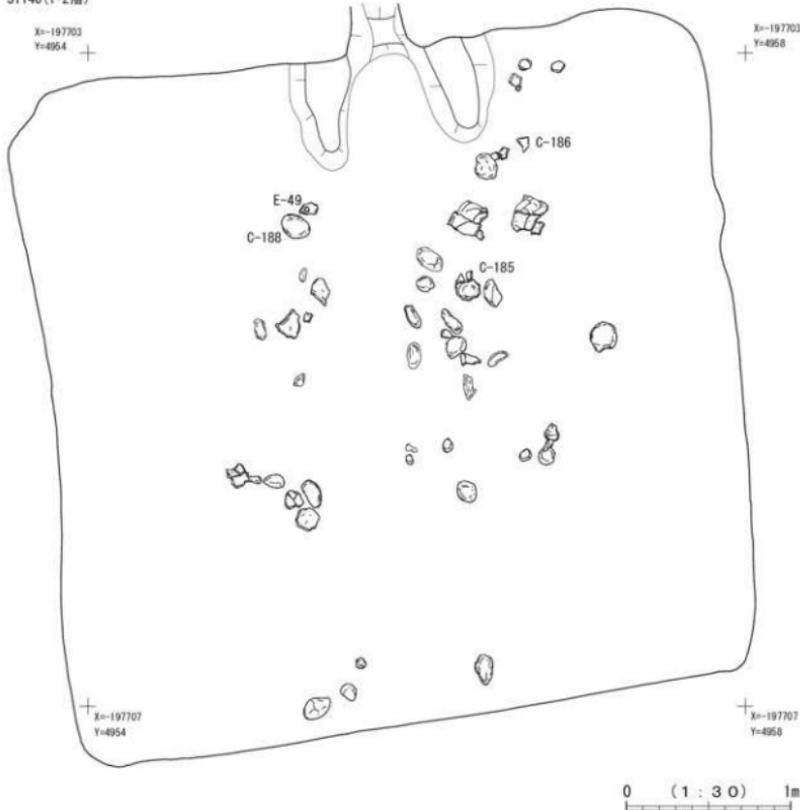
SI146 施設埋土誌記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/2 黒褐色	シルト		P2	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アロク多量、炭化物粒・焼土少量含む	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	焼土アロク多量に含む		P3	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山アロク含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山粒数多量、炭化物粒・焼土粒少量含む			P4	1	10YR3/3 暗褐色	シルト
	4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			SK1		1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト
P2	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む	2		10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山土多量、焼土アロク少量含む	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む						

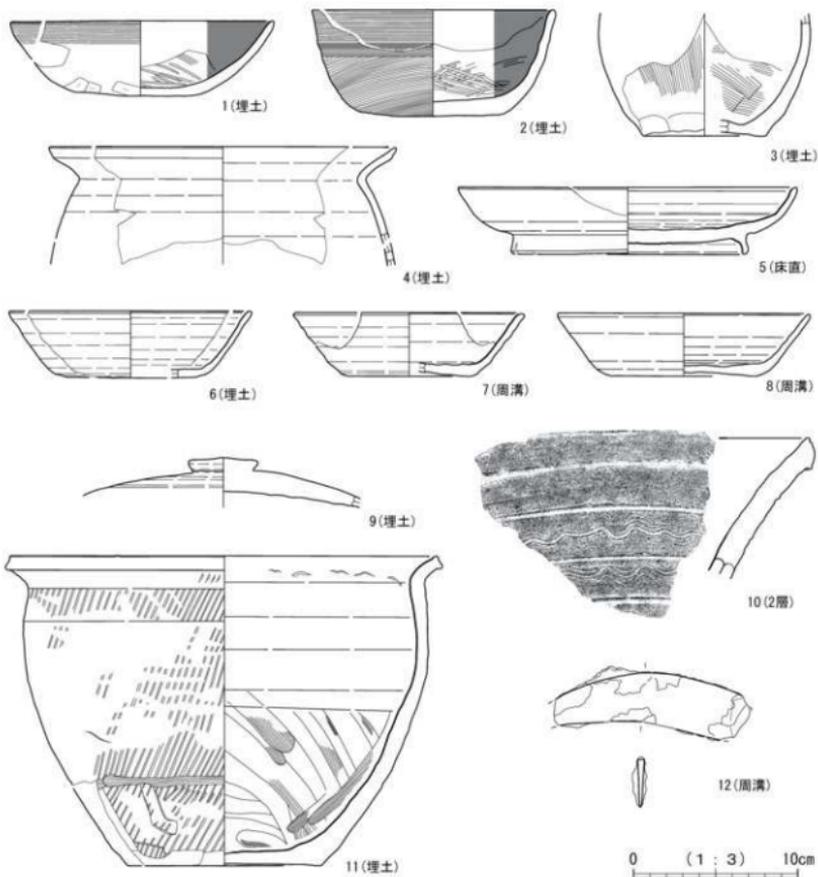
SI146 施設観察表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	60×55	18		P4	楕円形	23×21	6	
P2	楕円形	64×53	16		SK1	隅丸方形	112×104	23	
P3	楕円形	56×34	14						

SI146 (1・2層)

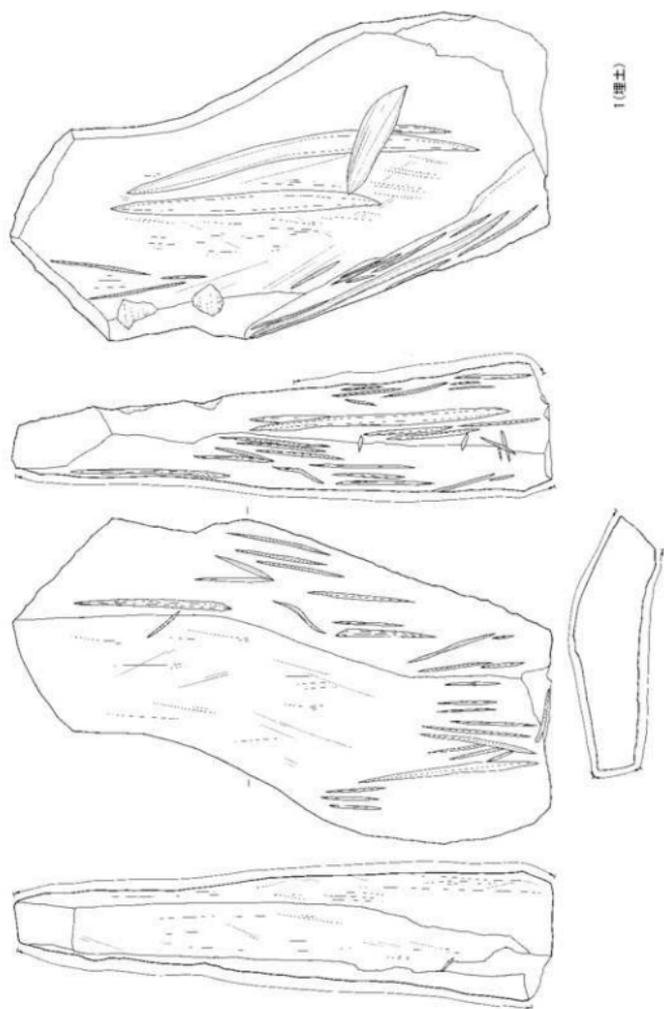


第119図 SI146型穴住居跡(2)



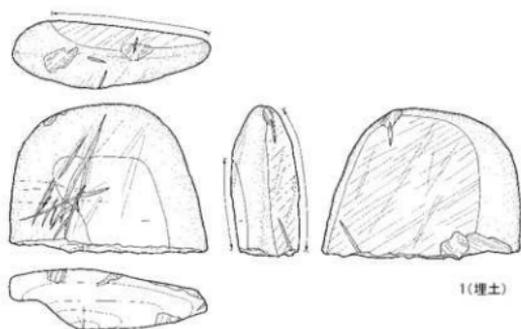
第120図 SI146出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真種別
1	C-186	SI146	埋土	土師器	杯	15.8×××4.6	磨製, 口縁部29F', 体部~底部29F'9→29F'	口縁部~底部29F'3	内面黑色処理	114
2	C-185	SI146	埋土	土師器	杯	(14.7)×8.6×6.5	磨製, 口縁部29F', 体部~底部29F'	口縁部~底部29F'3	内面黑色処理	114
3	C-188	SI146	埋土	土師器	壺	→7.5(7.3)	磨製29F', 底部本葉取	磨製~底部29F'		114
4	D-2	SI146	埋土	070土師器	壺	20.9×××(7.2)	070調整	070調整		114
5	E-53	SI146	床敷	灰土器	高台付壺	20.5×14.0×4.1	070調整, 底部斜転29F'9→高台付	070調整		114
6	E-50	SI146	埋土	灰土器	杯	(14.6)×8.0×4.1	070調整, 底部29F'	070調整	内・外面大樽痕	114
7	E-51	SI146	埋土	灰土器	杯	(13.8)×7.5×3.9	070調整, 29F'目割者, 底部斜転29F'9→29F'	070調整	内・外面大樽痕	115
8	E-52	SI146	埋土	灰土器	杯	(15.2)×9.0×3.8	070調整, 底部斜転29F'9→29F'	070調整		115
9	E-49	SI146	埋土	灰土器	壺	→××(3.1)	070調整, 天舟部斜転29F'9	070調整	足跡状29F'	115
10	E-54	SI146	埋土	灰土器	壺	→××(8.6)	070調整, 面部外縁多葉状文	070調整		115
11	E-87	SI146	埋土	灰土器	鉢	25.8×11.8×19.0	磨製平口縁3目29F'9; 底部手掛2, 29F'9	070調整→磨製手掛29F'		115
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考				写真種別
12	N-018	SI146	埋土	鉄製品	鏃	基部全1.8cm程削り折り曲げ。遺存長11.9、最大幅3.3、幅厚0.6cm				115



第121图 SI146出土遺物(2)

图版 番号	登録番号	出土遺構	方位	種別	器種	長さ×幅×厚5(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 図版
1	K3-021	SI146	埋土	石製品	砥石	21.8×10.3×6.2	1250.8	砂岩	面取り、板状、溝状痕あり、欠損品	113



0 (1:2) 5cm

第122図 SI146出土遺物(3)

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真図版
1	K4-022	SI146	埋土	石製品	砥石	6.1×8.0×2.8	115.1	凝灰岩	自然、板状、溝状痕あり	115

#### SI147 竪穴住居跡(第123~126図)

〔位置・確認面〕4 A区北側、72・86グリッドに位置する。上位を大きく削平されており、カマドや壁の大部分を失っている。

〔規模・形態〕東西3.8m、南北3.5mを測り、ほぼ正方形を呈する。

〔方向〕住居跡の南北軸は、東辺基準でN-43°-Wである。

〔堆積土・構築土〕4層に分層した。1層は床面上に薄く堆積していた埋土で、カマドより南側のみ認められた。地山ブロック・炭化物が混入しており、人為的埋土と考えられる。2層に含まれる炭化物は、カマドの被熱範囲から放射状に広がって検出された。3・4層は掘り方埋土で、3層は硬くしまり、4層は溝状に深く掘り込まれた部分に堆積する。本遺構付近にはグライ化した土壌が広がっており、分層・土層観察を充分に行うことができなかったことを付記する。

〔壁面〕残存する壁高は、東壁3cm、西壁3cm、南壁5cmで、北壁は殆ど残存しない。

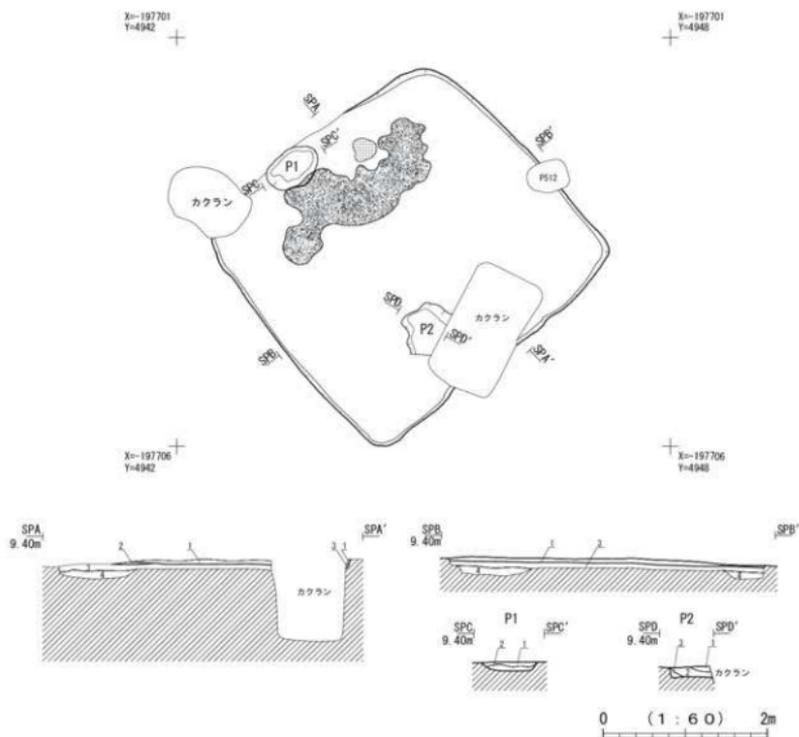
〔床面〕3層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔カマド〕検出できたのは31×28cmの被熱範囲と、カマド内堆積の掻き出しと考えられる炭化物層の広がり、軸石の可能性がある被熱した自然礫片のみである。

〔その他の施設〕ピット2基(P1・2)検出した。P1の埋土下層では炭化物を多く含んでおり、カマド内堆積物に由来するものと思われる。P2は床面下で検出しており、不整形を呈する。

〔掘り方〕掘り方底面は中央に200cm四方の範囲で島状に高まり、工具痕跡が明瞭に視認できた。床面から掘り方底面までの深さは、中央部で8cm前後、周囲の深いところで16cm前後である。

〔出土遺物〕いずれも床面上からの出土である。土師器坏には、内面がナゲ調整され口縁部が短く直立する関東系土師器が認められた。また、本住居跡を切る擾乱中から土製紡錘車と須恵器坏が出土している。これらは本来本住居跡に関連する遺物である可能性が高い。



第123図 SI147竪穴住居跡(1)

SI147 壕土柱記表

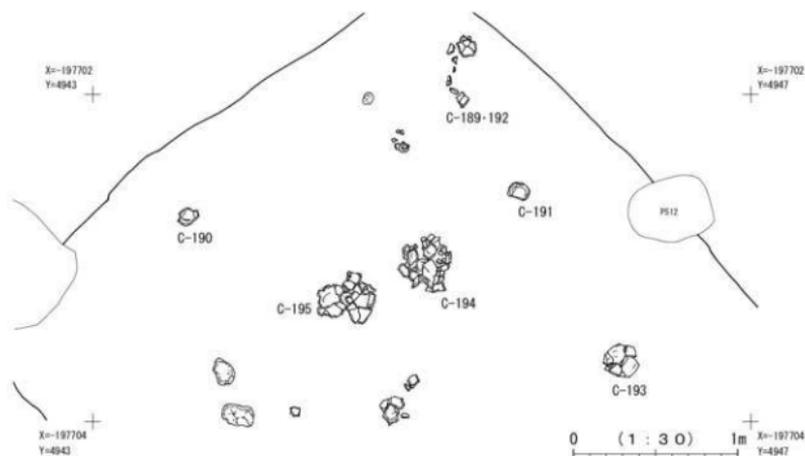
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
ホマト	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコナ灰化物微量に含む	廻り方	3	10YR3-2 暗褐色	シルト	地山アコナ灰化物微量に含む。L2が強い
	2	2.5Y2-1 灰色	シルト	粘土粘重。暗褐色土層少量。炭化層含む		4	10YR4-1 暗灰色	シルト	地山アコナ少量に含む

SI147 施設埋土柱記表

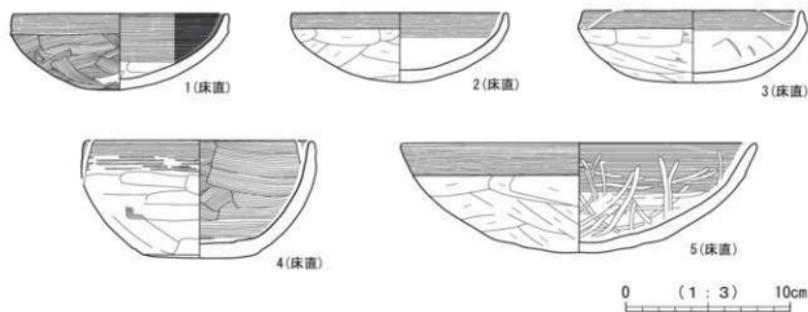
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコナ少量含む	P2	2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコナ少量に含む
	2	10YR3-2 暗褐色	シルト	炭化物・粘土粒少量含む		3	10YR4-1 暗灰色	シルト	
P2	1	10YR4-1 暗灰色	シルト	地山アコナ少量含む					

SI147 施設概観表

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P1	楕円形	60×66	12	灰田めビット	P2	不整形	56×66	11	廻り方埋土範囲中に検出

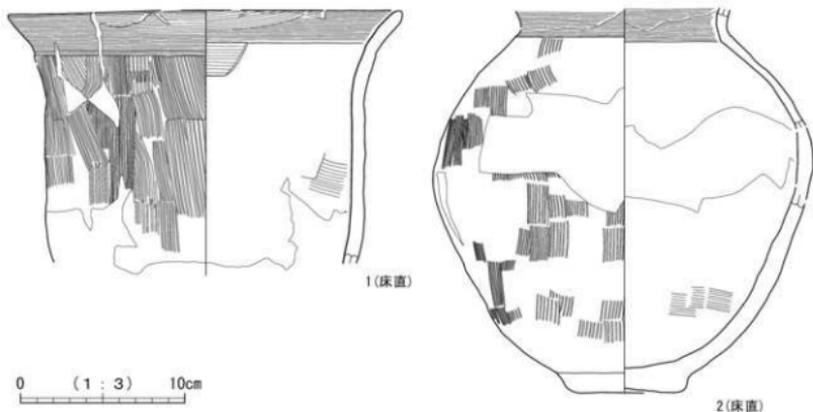


第124図 SI147竪穴住居跡(2)



第125図 SI147出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土遺物	形状	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-189	SI147	床直	土師器	坏	13.1×××4.7	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???	内面黑色処理	116
2	C-191	SI147	床直	土師器	坏	12.7×××4.3	滑減, 口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???		116
3	C-190	SI147	床直	土師器	坏	(13.1)×××4.4	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???	磨耗, 口縁部~底部 $\Delta$ ???		116
4	C-192	SI147	床直	土師器	坏	0.37×7.0×7.2	口縁部 $\Delta$ ???, 体部 $\Delta$ ???, 底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???		116
5	C-193	SI147	床直	土師器	坏	21.3×××6.7	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???	口縁部 $\Delta$ ???, 体部~底部 $\Delta$ ???		116



第126図 SI147出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-194	SI147	床直	土師器	壺	23.8××(16.2)	口縁部<math>\times</math>?、胴部<math>\times</math>?	口縁部<math>\times</math>?、胴部<math>\times</math>?		116
2	C-195	SI147	床直	土師器	類	>>7.0×(23.0)	胴部<math>\times</math>?、胴部<math>\times</math>?→下部<math>\times</math>底部<math>\times</math>?	胴部<math>\times</math>?、胴部<math>\times</math>?		116

SI148 竪穴住居跡(第127図)

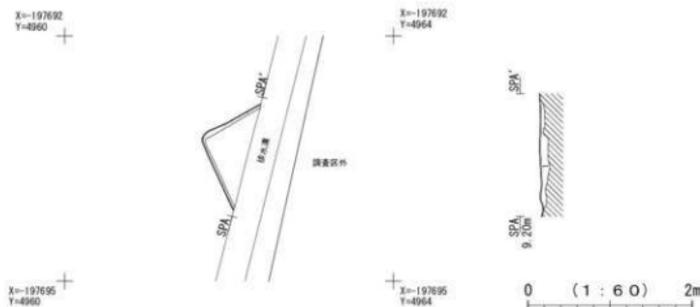
〔位置・確認面〕4A区北東、107グリッドに位置する。住居跡の大半が調査区外に位置し、検出部分は住居南西隅の僅かな範囲に限られる。

〔規模・形態〕調査区内での計測値は、住居西辺100cm、北辺82cmで、全体形は不明である。

〔方向〕住居跡の南北軸は、西辺基準でN・29°・Wである。

〔堆積土・構築土〕掘り方埋土のみを確認した。住居埋土は削平により全て失われている。

〔掘り方〕残存部に関する限り、平坦に掘られている。



第127図 SI148竪穴住居跡

SI148 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘り方	1	10YR3-4 粘褐色	シルト	地山?の(内径30-30cm)多量、少量散在に含む					

SI181 竪穴住居跡(第128～131図)

[位置・確認面] 4 B区南西、109・110グリッドに位置する。住居西側が攪乱により失われている。

[規模・形態] 東西4.7m、南北4.5mを測り、ほぼ方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-33°-Wである。

[堆積土・構築土] 4層に分層した。1～3層は住居埋土である。2・3層中には灰白色のシルト土が入る。4層は掘り方埋土で黄褐色のシルト土が主体を占める。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁6cm、西壁3cm、南壁7cm、北壁6cmである。

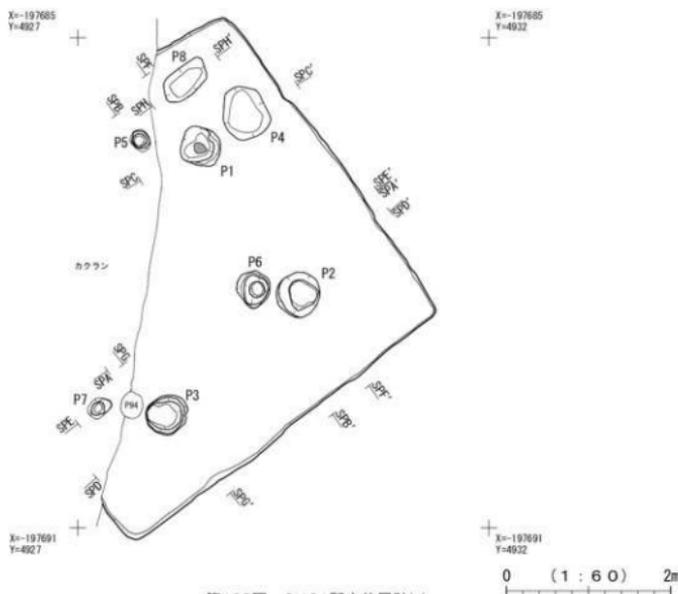
[床面] 4層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

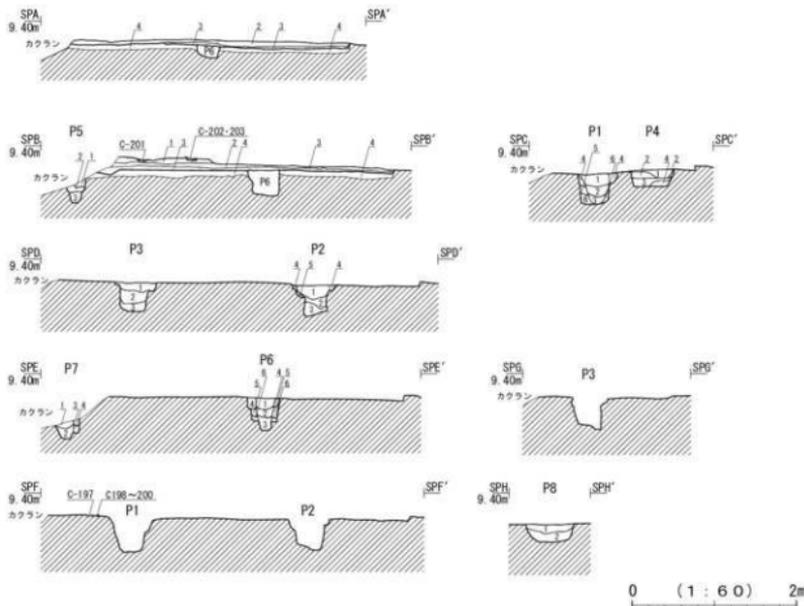
[柱穴] 配置・形状・規模からP1～3及びP5～7が主柱穴と考えられ、P1・6・7には柱痕跡が認められた。P1～3は床面で検出され、柱間寸法は2.2m内外である。深さは35cm程度、中位に緩い段を有する。P5～7はその後の精査により検出され、住居端部に位置している。柱間寸法は2.4m内外である。これらピットの位置・検出状況から、P5～7は建て替え前の柱穴であることが考えられる。

[その他の施設] ピット2基(P4・8)を検出した。P8は掘り方掘削中に検出した。両者とも埋土に焼土・炭化物を多く含んでおり、灰溜めピットとしての用途が考えられる。検出状況からP8を使用後にP4を使用したものと思われる。

[掘り方] 深さ6cm程度でほぼ平坦である。掘り方底面には工具痕跡が認められた。

[出土遺物] 住居北側で、在地系(第131図-3)と関東系(第131図-4・5)の土師器坏が、床面直上で重なった状態で確認された。第131図-4は薄手で、口縁部は内傾する。内外面ともに屈曲部の稜が明瞭である。第131図-5も口縁部は内傾気味となるが、厚手で屈曲部の稜に鋭さが無い。両者ともに内面調整はナデによる。





第129図 SI181竪穴住居跡(2)

SI181 埋土柱記表

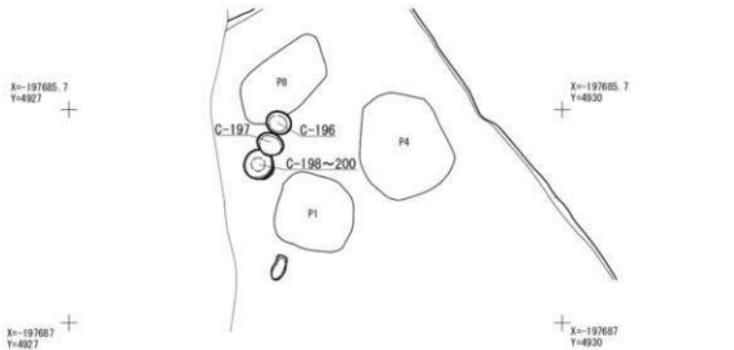
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	地山アコク少量含む	埋土	3	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク少量含む
	2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク少量含む		4	10YR5-6 黄褐色	シルト	地山アコク少量含む

SI181 施設埋土柱記表

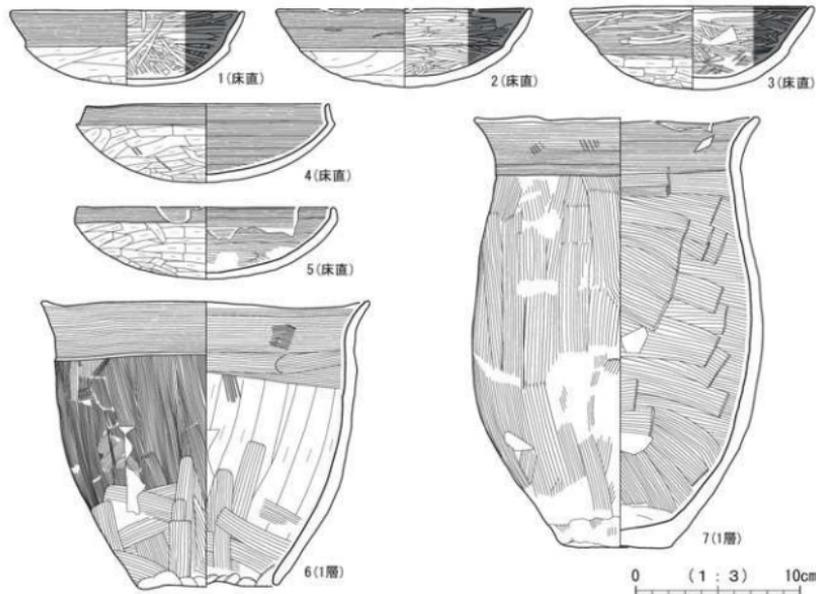
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4-1 褐色	シルト	地山アコク少量含む、柱痕跡	P4	4	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク微量少量含む
	2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク少量含む、柱痕跡		1	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アコク少量含む
	3	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アコク微量少量含む、柱痕跡		2	10YR4-1 褐色	シルト	地山アコク少量含む
	4	10YR5-1 褐色	シルト	地山アコク少量含む	3	10YR3-1 褐色	シルト	酸化鉄少量含む	
	5	10YR4-4 褐色	シルト	地山アコク少量含む	P6	1	10YR4-1 褐色	シルト	地山アコク少量含む、柱痕跡
6	10YR2-1 棕色	粘土質シルト	地山アコク微量少量含む	2		10YR4-1 褐色	シルト	地山アコク微量含む、柱痕跡	
P2	1	10YR4-1 褐色	シルト	地山アコク炭化物(15mm)少量含む	3	10YR3-2 黒褐色	シルト	酸化鉄少量含む、柱痕跡	
	2	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アコク少量含む	4	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アコク少量含む	
	3	10YR3-1 黒褐色	シルト	酸化鉄微量含む	5	10YR3-1 黒褐色	シルト	酸化鉄少量含む	
	4	10YR5-1 褐色	シルト	地山アコク炭化物(15mm)少量含む	6	10YR3-1 黒褐色	シルト	酸化鉄微量含む	
	5	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク少量含む	P7	1	10YR6-4 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク少量含む、柱痕跡
1	10YR5-1 褐色	シルト	地山アコク少量含む	2		10YR3-1 黒褐色	シルト	酸化鉄少量含む、柱痕跡	
P3	2	10YR4-1 褐色	シルト	地山アコク少量含む	3	10YR6-6 明黄褐色	シルト	酸化鉄少量含む	
	3	10YR3-1 黒褐色	シルト	酸化鉄微量含む	4	10YR2-1 棕色	シルト	酸化鉄少量含む	
P4	1	7.5YR3-2 黒褐色	シルト	炭アコク(10mm)炭化物(15mm)少量含む	P8	1	10YR4-1 褐色	シルト	炭土炭化物(15mm)微量を含む
	2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物(15mm)微量を含む		2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコク少量含む
	3	10YR3-1 黒褐色	シルト	地山アコク微量少量含む					

SI181 施設縦断面表

遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考
P1	円形	54×52	36		P5	楕円形	28×23	22	
P2	円形	56×54	36		P6	楕円形	46×40	38	
P3	円形	52×47	34		P7	楕円形	30×22	20	
P4	楕円形	66×54	20	灰皿めびつ	P8	楕円形	66×34	22	掘方際土酸化物に抽出、灰皿めびつ



第130图 SI181竖穴住居跡(3)



第131图 SI181出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-196	SI181	床直	土師器	杯	14.0 × × 4.6	口縁部2段折、体部~底部2段折	口縁部~底部2段折	内面黑色処理	116
2	C-197	SI181	床直	土師器	杯	15.2 × × 4.8	口縁部2段折、体部~底部2段折	口縁部~底部2段折	内面黑色処理	116
3	C-198	SI181	床直	土師器	杯	14.5 × × 5.1	口縁部~底部2段折	口縁部~底部2段折	内面黑色処理	116
4	C-199	SI181	床直	土師器	杯	14.6 × × 4.8	口縁部~底部2段折	口縁部~底部2段折	内面黒漆仕上げ	116
5	C-200	SI181	床直	土師器	杯	15.4 × × 4.4	口縁部2段折、体部~底部2段折	口縁部~体部2段折、底部2段折	内面黒漆仕上げ	116
6	C-203	SI181	1層	土師器	瓶	19.8 × 8.4 × 17.2	口縁部2段折、胴部2段折→下部2段折	口縁部2段折、胴部~底部2段折、乳突2段折	乳突	117
7	C-202	SI181	1層	土師器	壺	17.2 × 6.6 × 26.2	口縁部2段折、胴部2段折→下部2段折、底面2段折	口縁部2段折、胴部~底部2段折		117

SI182A 竪穴住居跡(第132～134図)

[位置・確認面] 4 B区南西、110・116グリッドに位置する。

[重複] SD102に切られる。

[規模・形態] 東西4.8m、南北4.2mを測り、方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-54°-Eである。

[堆積土・構築土] 16層に分層した。1～4層は住居埋土で、褐灰色シルト土を主体とする。5～9層はカマド内堆積土、10層はカマド袖構築土である。11～16層は掘り方埋土で、11層が被熱して変色、その他は黄褐色シルトが主体を占める。堆積状況から、SI182B廃絶後に新たな掘り方を構築し、より大型の住居を建造したものと思われる。

[壁面] やや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は、東壁12cm、西壁14cm、南壁7cm、北壁13cmである。

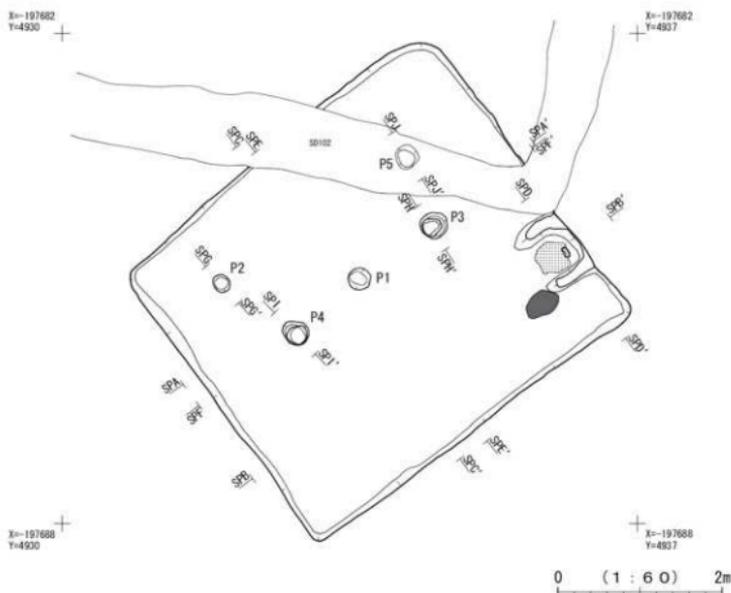
[床面] 11～14層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 床面精査時にP1を、掘り方埋土を掘り下げた段階でP3・4を検出した。これらは住居中央部に列をなしており、位置・規模から何らかの関連性があると思われる。柱間寸法は1.0～1.1mで、P4底面では柱痕跡が認められた。P2・5は住居西半に位置する主柱穴と考えられたが、対になる住居東半の主柱穴は確認できなかった。

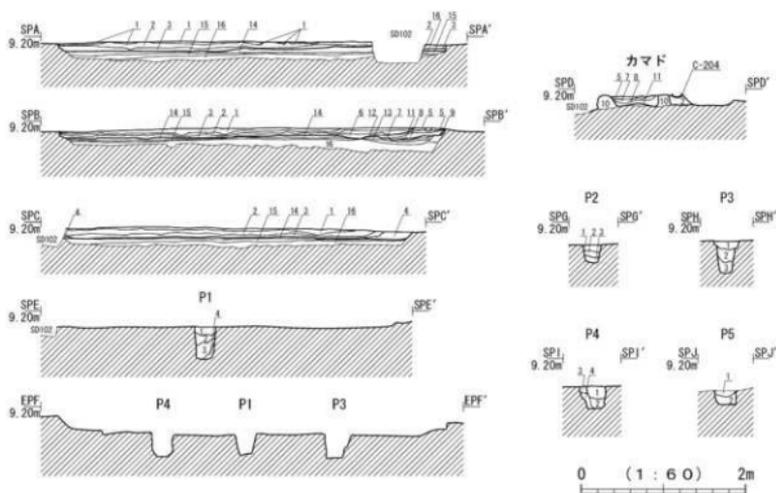
[カマド] 北辺東側で検出した。両袖部が壁面から平行して60cm程延びており、高さは床面から10～15cm程残っている。燃烧部は奥行64cm、幅56cmを測り、支脚の可能性が考えられる被熱した細長の自然礫が検出された。焚口付近では焼土が広がっており、カマド内堆積物を掻き出したものと思われる。

[掘り方] 深さ10～15cm程度であり起伏はみられず、底面には工具痕跡が認められた。

[出土遺物] 埋土1層出土の土師器坏1点を図示した。小型で全体に歪な器形である。



第132図 SI182A竪穴住居跡(1)



第133図 SI182A竪穴住居跡(2)

SI182A 埋土柱記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/1 陶灰色	シルト		カマド	9	2.5YR5/6 白色黄褐色	シルト	炭化物(径5mm)多量に含む
	2	10YR6/1 陶灰色	シルト		柱穴	10	10YR6/1 陶灰色	シルト	
	3	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト		掘り方	11	2.5YR4/4 にぶい赤褐色	シルト	焼熱部分
カマド	4	10YR4/1 陶灰色	シルト		12	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	焼土濃量に含む	
	5	2.5YR4/6 赤褐色	シルト	焼土アコハ(径5mm)少量含む	13	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト		
	6	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	シルト	炭化物(径5mm)多量に含む	14	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		
	7	2.5YR5/6 赤褐色	シルト	焼土アコハ(径5mm)少量含む	15	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト		
	8	2.5YR4/8 赤褐色	シルト	焼土アコハ(径5mm)-軽石少量含む	16	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト		

SI182A 施設埋土柱記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR5/1 陶灰色	シルト		P3	2	10YR4/1 陶灰色	シルト	地山アコハ(径5mm)少量含む
	2	10YR4/1 陶灰色	シルト			3	10YR2/1 黒色	シルト	地山アコハ(径5mm)少量含む
	3	10YR1.7/1 黒色	粘土質シルト		P4	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山アコハ(径5mm)少量含む、柱痕跡
	4	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			2	10YR3/2 黒褐色	シルト	柱痕跡
P2	1	10YR6/2 灰黄褐色	シルト		P5	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			4	10YR4/4 褐色	シルト	
P3	3	10YR4/1 陶灰色	シルト		1	10YR2/1 黒色	粘土質シルト		
	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山アコハ(径5mm)少量含む	2	10YR2/2 黒褐色	シルト		

SI182A 施設断記簿

遺構名	平面形	幅尺(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	幅尺(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	27×25	38		P4	楕円形	32×27	26	
P2	楕円形	24×18	31		P5	円形	27×25	18	
P3	円形	34×32	38						



1(1層)

0 (1:3) 10cm

第134図 SI182A出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考
1	C-204	SI182A	1層	土師器	杯	12.4××3.1	口縁部???、体部-底部?99?→99?	口縁部???、体部-底部?99?	116

SI182B 竪穴住居跡(第135図)

SI182A住居跡掘り方調査中に新たなプランを検出し、これを古い住居跡と考えSI182Bとした。SI182A構築の際、本住居跡の床面等は失われたものと考えられる。

[位置・確認面] 4B区南西、110・116グリッドに位置する。

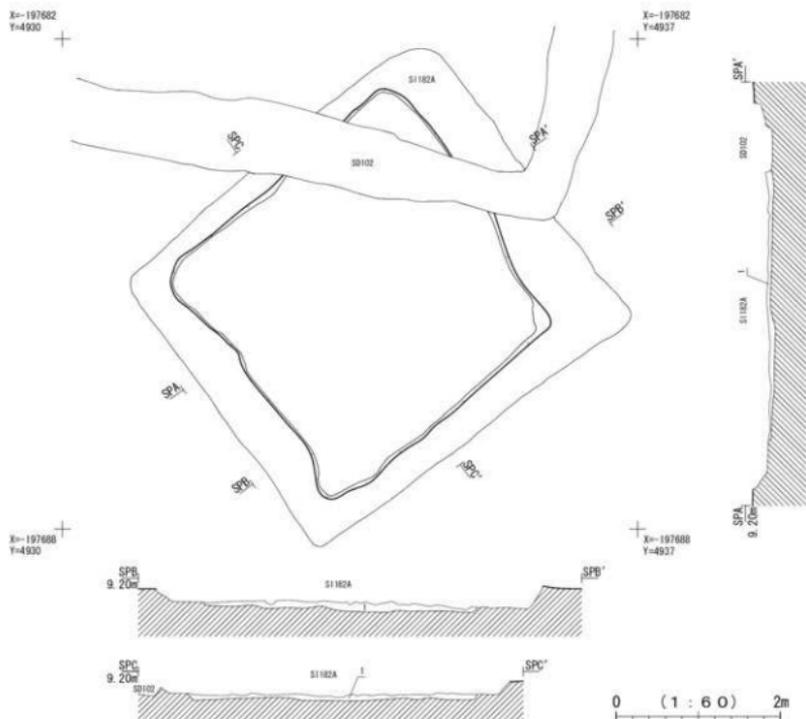
[重複] SD102に切られる。

[規模・形態] 東西3.5m、南北3.5mを測り、方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸はSI182Aと同じである。

[堆積土・構築土] 確認できたのは掘り方埋土1層のみである。

[掘り方] 6~17cm程度残存しており、起伏はあまりみられず、底面には工具痕跡が認められた。



第135図 SI182B 竪穴住居跡

SI182B 埋土目録表

掘り方	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位	層位
1	1	10YR5/6	黄褐色											

#### SI183 竪穴住居跡(第136・137図)

[位置・確認面] 4 B区南東、124・130グリッドに位置する。住居北東側が攪乱により失われており、その他の部分でも残存状況は極めて悪い。検出部分は住居全体の約1/3である。

[規模・形態] 残存値は北西-南東5.95m、南西-北東5.80mで、方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、南西辺基準でN-50°-Wである。

[堆積土・構築土] 南西部の一部を除いては、検出段階で既に床面が露出された状態であった。住居埋土が残っていた部分においても1層を確認したのみである。

[壁面] やや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は最も残りの良い南壁で5cmである。

[床面] 2層上面を床面にしたものと思われる。ほぼ平坦で、起伏は殆どない。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1・3~5が主柱穴と考えられ、P5以外には柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.9~3.0mである。またP9・10及びP11・12はそれぞれ住居南西・南東隅に位置しており、壁柱穴の可能性も考えられるが、北西隅からは同様のピットは検出されなかった。

[カマド] 北西辺中央で、24×16cmの焼土ブロック範囲を検出した。燃焼部の痕跡と考えられる。

[その他の施設] ピット4基(P2・6~8)を検出した。P6~8はいずれもカマド周辺に位置し、埋土にはカマドから掻き出されたものと思われる焼土ブロックを多く含む。

[掘り方] 南辺際では幅95~120cmの溝状の掘り込み(深さ12~28cm)が認められた。また、北西壁の中央付近にて工具痕跡が認められた。

[出土遺物] P3・4・6・8、掘り方埋土から遺物が出土したが、掲載遺物はない。

#### SI184 竪穴住居跡(第138~141図)

[位置・確認面] 4 B区北東、136・142グリッドに位置する。東側を攪乱により失う。その他の部分でも残存状況は極めて悪い。

[規模・形態] 北西-南東4.40m、南西-北東4.20mを測り、ほぼ方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、南西辺基準でN-46°-Wである。

[堆積土・構築土] 5層に分層した。1~3層は掘り方埋土上の窪みに堆積しており、焼土を多量に含む。カマドに関連するものと考えられる。4層は僅かに残存していた貼床土、5層は掘り方埋土である。

[床面] 上位に削平を受けるため、床面の殆どは残存しないものの、4層が貼床土と考えられること、遺物の出土状態等から、削平部分は床面からそれ程下がってはいないものと思われる。

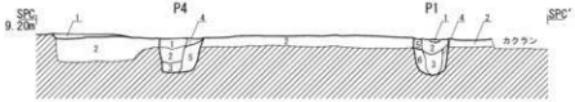
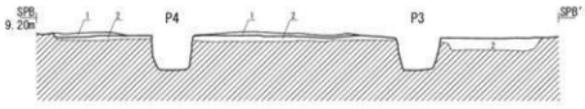
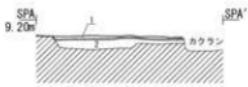
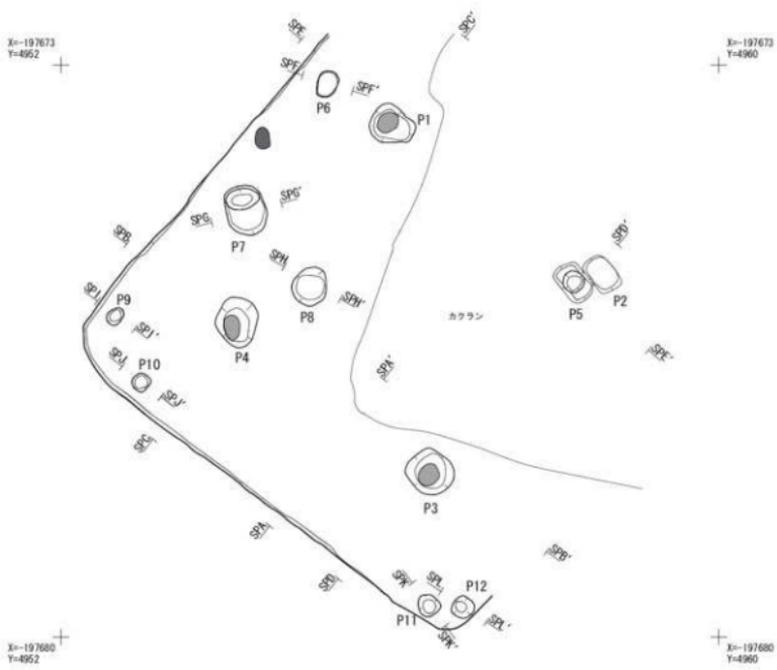
[柱穴] 配置・形状・規模からP1~4が主柱穴と考えられ、P2以外には柱痕跡が認められた。柱間寸法は1.8m内外である。各ピットの深さは40~50cmで、いずれも中位に段を有する。

[カマド] 北西辺中央やや南寄りに、被熱痕跡を伴う窪みを検出した。平面形は50×21cmの楕円形を呈する。カマド燃焼部の痕跡と思われる。

[その他の施設] ピット2基(P5・6)を検出した。P5は多量の焼土を含むため、灰溜めピットとしての用途が考えられる。P6は楕円形を呈し、規模は91×77cm、深さ21cmを測る。位置・規模から貯蔵穴と思われ、ほぼ完形の土師器甕が口縁部を下に伏せた状態で、また底面近くからは関東系土師器が出土している。

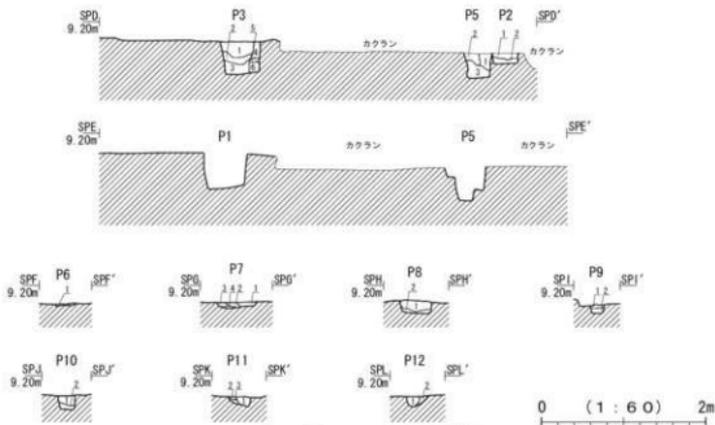
[掘り方] 掘り方底面は平坦に近いが、壁周辺部が中央付近と比較してやや深く、深さは7~11cmである。

[出土遺物] 図示した遺物は、いずれも住居北隅のP6内及びその周辺の床面からの出土である。土師器2点(第140図-1・2)は関東系土師器であり、第140図-2の内外面には漆が塗布されている。



第136図 SI183竪穴住居跡(1)





第137図 SI183竪穴住居跡(2)

SI183 埋土柱記簿

部位	部位	土色	土性	備考	部位	部位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)少量、焼土粒微量に含む。	埋土	2	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナに含む。

SI183 施設埋土柱記簿

部位	部位	土色	土性	備考	部位	部位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)少量、焼土粒微量に含む。柱痕跡	P5	2	10YR6/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径10mm)少量含む。	
	2	10YR4/3 灰黄褐色	シルト	地山アコナ多量に含む。柱痕跡		3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量含む。	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ多量に含む。柱痕跡	P7	1	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	焼土粒多量に含む。	
	4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量含む。柱痕跡		2	10YR6/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径10mm)微量、焼土粒少量含む。	
	5	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量含む。	3	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	焼土アコナ多量に含む。		
	6	10YR4/1 褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)多量に含む。	4	10YR6/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量、焼土粒微量に含む。		
P2	1	10YR2/2 暗褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)多量に含む。	P8	1	7.5YR4/3 褐色	粘土質シルト	地山アコナ・焼土多量に含む。	
	2	10YR2/2 暗褐色	シルト	地山アコナ(径10-20mm)多量に含む。		2	10YR6/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径10mm)少量、焼土粒微量に含む。	
	P3	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-20mm)多量に含む。柱痕跡	P9	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ多量、焼土アコナ少量含む。
		2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山アコナ(径5-10mm)多量に含む。柱痕跡		2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量、焼土アコナ少量に含む。
		3	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	地山アコナ(径10-20mm)少量含む。柱痕跡	P10	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ多量、焼土粒微量に含む。
		4	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径10-20mm)多量に含む。		2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量、焼土アコナ少量に含む。
5		10YR2/2 暗褐色	粘土質シルト	地山アコナ(径10-20mm)少量含む。	P11		1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)多量に含む。
6		10YR5/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	地山アコナ(径10mm)多量に含む。			2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)少量含む。
P4	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)多量に含む。柱痕跡	P12	1	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径5-10mm)多量に含む。	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山アコナ(径5-10mm)多量に含む。柱痕跡		2	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ(径10-20mm)少量含む。	
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト	地山アコナ(径10-20mm)少量含む。柱痕跡						
	4	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)多量、焼土粒微量に含む。						
	5	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アコナ(径5mm)少量含む。						
P5	1	10YR5/4 に近い黄褐色	粘土質シルト	地山アコナ(径10-20mm)多量に含む。						

SI183 施設観測簿

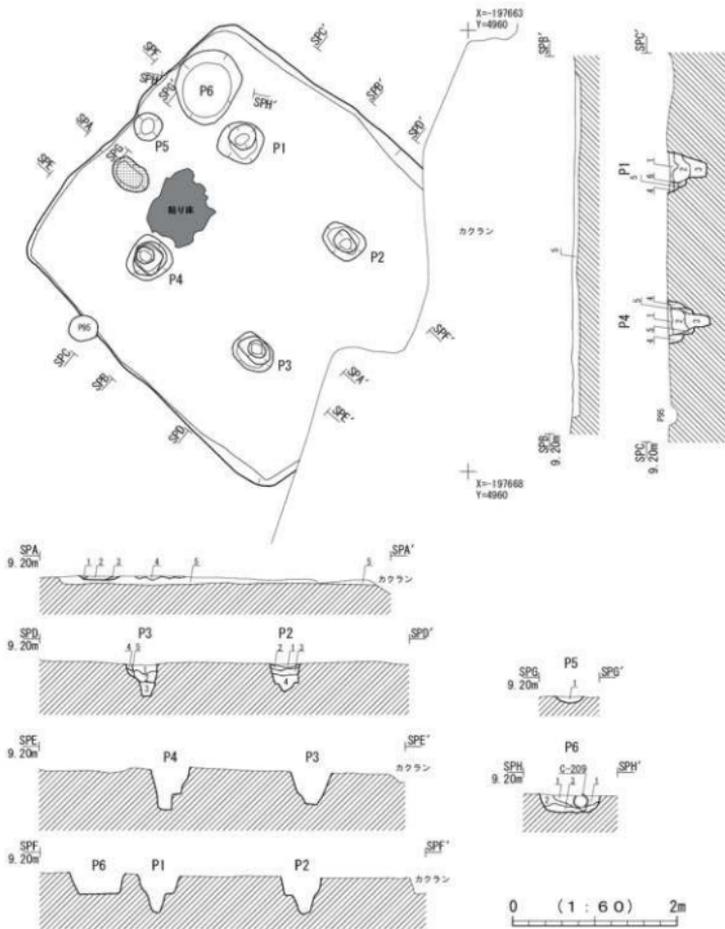
遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	不整形円形	54×47	47		P7	楕円形	38×49	16	灰函のピット
P2	楕円形	47×36	13		P8	楕円形	47×40	16	灰函のピット
P3	円形	37×34	41		P9	円形	23×18	11	
P4	不整形円形	41×51	43		P10	円形	23×22	18	
P5	楕円形	30×34	42		P11	不整形円形	27×25	12	
P6	楕円形	33×24	2	灰函のピット	P12	円形	29×26	13	

X=197663  
Y=4954

X=197663  
Y=4960

X=197668  
Y=4954

X=197668  
Y=4960



第138図 SI184竈穴住居跡(1)

SI184 埋土層記表

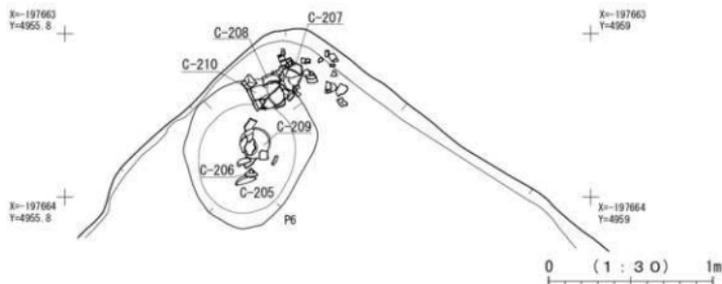
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
ホムツ	1	7.5YR5/4 に近い褐色	シルト	海山アコハ(厚30cm)埋土、焼土痕多量に含む	竈口床	4	2.5Y6/3 に近い黄色	シルト	炭化物・炭化材多量、焼土アコハ(厚5~10cm)少量含む	
	2	5YR6/8 褐色	シルト	海山アコハ(厚20cm)埋土、焼土痕多量に含む		掘り方	5	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	海山アコハ(厚10~20cm)少量含む
	3	7.5YR5/4 に近い褐色	シルト	炭化物多量、海山アコハ(厚5~10cm)焼土アコハ(厚10cm)少量含む						

S1184 施設・埋土誌記表

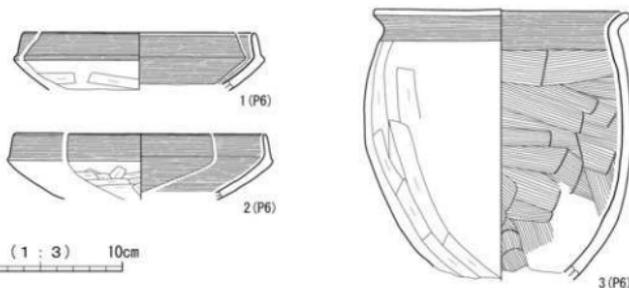
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量、焼土粒・炭化物微量を含む、柱状跡	P4	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量、炭化物・炭化材多量を含む、柱状跡	
	2	10YR5/4 じぶい黄褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量、焼土粒微量を含む、柱状跡		2	10YR4/3 じぶい黄褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量、焼土粒少量含む、柱状跡	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径5-10cm)多量を含む		3	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量含む、柱状跡	
	4	10YR5/3 じぶい黄褐色	シルト	地山アロハ多量を含む		4	10YR5/3 じぶい黄褐色	シルト	地山アロハ(径10-20cm)多量、焼土粒・炭化物微量を含む	
	5	10YR6/4 じぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径20-30cm)多量を含む		5	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径10-20cm)微量を含む	
	6	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	地山アロハ多量を含む		P5	1	7.5YR4/2 灰褐色	シルト	地山アロハ少量、焼土アロハ(径10cm)多量、炭化物微量を含む
P2	1	10YR6/4 褐色	シルト	地山アロハ(径5-20cm)少量、炭化物少量を含む	P6		1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量、炭化物微量を含む
	2	10YR5/3 じぶい黄褐色	シルト	地山アロハ(径5-20cm)少量、炭化物少量を含む			2	10YR6/4 じぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径5cm)少量を含む
	3	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径5-20cm)多量を含む			3	10YR5/4 じぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径5cm)少量、炭化物微量を含む
	4	10YR6/4 じぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量を含む						
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	地山アロハ(径10-20cm)多量を含む、柱状跡						
	6	10YR5/4 じぶい黄褐色	シルト	地山アロハ(径5-10cm)少量、焼土アロハ・炭化物微量を含む						

S1184 施設概観表

遺構名	平面形	風帆(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	風帆(m)	深さ(m)	備考
P1	不整形	53×50	44		P4	隅丸方形	53×50	51	
P2	楕円形	32×39	44		P5	円形	34×34	8	灰面付のピット
P3	楕円形	53×42	39		P6	楕円形	91×27	21	断破状、陶器系土層露出

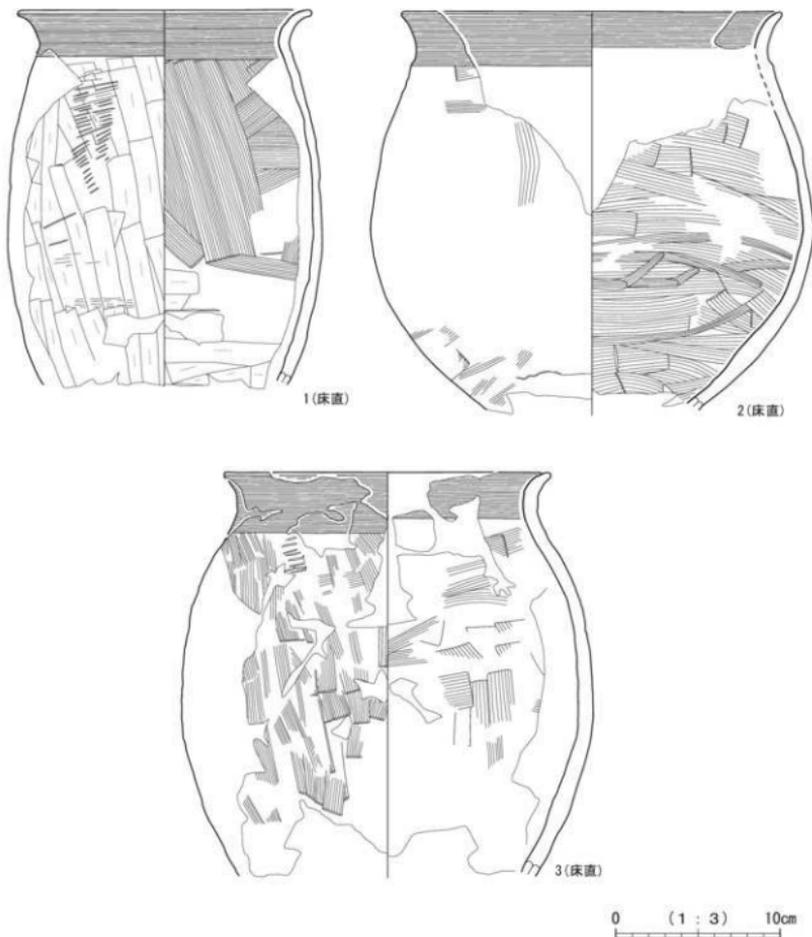


第139図 S1184竪穴住居跡(2)



第140図 S1184出土遺物(1)

採集番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-205	S1184	P6	土師器	杯	14.0×8.5×3.5	口縁部29°、体部-底部99°	口縁部29°、体部-底部99°		116
2	C-206	S1184	P6	土師器	杯	11.5×7.5×4.0	口縁部29°、体部-底部99°	口縁部-底面39°		背面面線付 117
3	C-209	S1184	P6	土師器	壺	15.3×8.5×16.0	口縁部29°、胴部99°	口縁部29°、胴部99°		小樽型に近 117



第141図 SI184出土遺物(2)

図面番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×口径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-210	SI184	床直	土師器	甕	17.8××(23.3)	口縁部 $\rightarrow$ ?, 胴上半部 $\rightarrow$ ?, 下半部 $\rightarrow$ ? 0	口縁部 $\rightarrow$ ?, 胴部 $\rightarrow$ ?, $\rightarrow$ ?		117
2	C-208	SI184	床直	土師器	甕	(22.8)××(24.7)	口縁部 $\rightarrow$ ?, 胴部 $\rightarrow$ ? $\rightarrow$ 全面 $\rightarrow$ ???	口縁部 $\rightarrow$ ?, 胴部 $\rightarrow$ ?		117
3	C-207	SI184	床直	土師器	甕	(19.8)××(21.8)	口縁部 $\rightarrow$ ?, 胴部 $\rightarrow$ ? 0 $\rightarrow$ ???	口縁部 $\rightarrow$ 胴部 $\rightarrow$ ???		118

SI185 竪穴住居跡(第142～145図)

[位置・確認面] 4 B区南西、122・123・128・129グリッドに位置する。

[重複] SB16・17、SD101・102に切られる。

[規模・形態] 北西-南東 2.9m、南西-北東 5.7mを測り、長方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-44°-Wである。

[堆積土・構築土] 7層に分層した。1層は住居埋土で、灰白色のシルト土を含む。2・3層はカマド内堆積土であり、4層はカマド袖構築土である。5～7層は掘り方埋土で、褐灰色のシルト土が主体である。

[床面] 5・6層上面を床面としたものと思われるが、詳細は不明である。

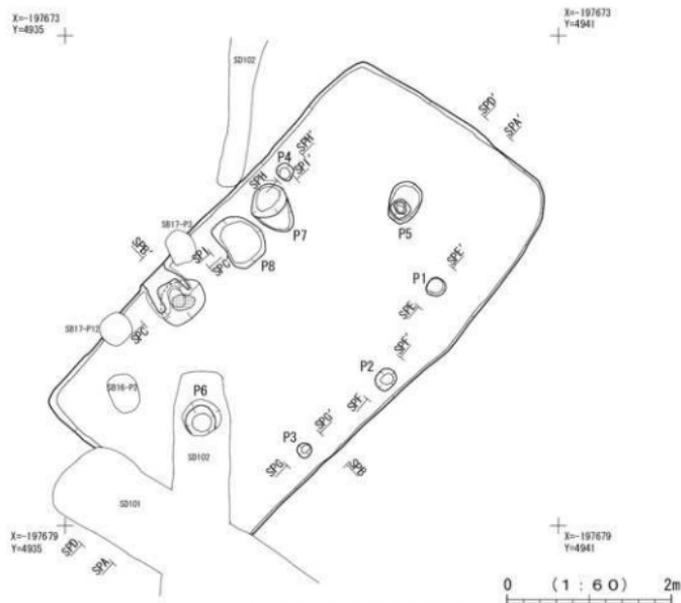
[柱穴] 柱穴としてはP1～6が検出され、配置・形状・規模からP5・6が主柱穴と考えられる。P5は段を持つビットで、柱痕跡が認められた。P1～4は小型のビットで、住居壁面に沿うように配置されている。住居の形状を考慮すると、P5・6が棟柱、P1～4が補助的な役目の柱である可能性も考えられる。

[カマド] 北辺中央からやや西に寄ったところで、両袖部及び26×22cmを測る燃焼部の窪みを検出した。窪み内には27×19cmの被熱痕跡が認められた。袖部はU字形に構築される。壁面から45cm程延びており、高さは床面から5cm程が残っている。

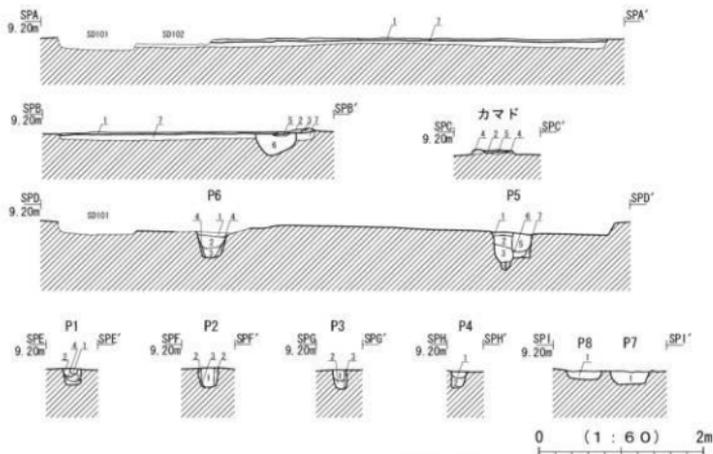
[床面施設] 柱穴同様、掘り方埋土を少し下げた段階で、ビット2基(P7・8)を検出した。埋土には焼土及び炭化物が多く含まれ、灰溜めビットの用途が考えられる。

[掘り方] 深さは概ね6cm程度であるが、北側及び南側ではやや深く掘り込まれている。

[出土遺物] 住居中央部で円柱状の主製支脚が出土し、土師器壺1点ともて図示した。



第142図 SI185竪穴住居跡(1)



第143図 SI185竪穴住居跡(2)

SI185 埋土層記号

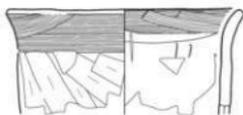
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘土	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	海山アコナ少量、炭化物・焼土アコナ(約5mm)含む	H1F 堀材 掘り方	4	10YR5-1 黒褐色	シルト	
	2	7.5YR3-2 黒褐色	シルト	炭化物、焼土アコナ(約5mm)少量含む		5	7.5YR3-2 黒褐色	シルト	境面
	3	5YR4-6 赤褐色	シルト	焼土アコナ(約5mm)少量含む		6	10YR4-1 黒褐色	シルト	焼土アコナ(約5mm)少量含む

SI185 掘跡埋土層記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	2.5Y5-1 黄灰色	シルト	海山アコナ少量含む	P5	2	10YR4-2 灰褐色	シルト	柱痕跡	
	2	2.5Y4-1 黄灰色	シルト			3	10YR2-2 黒褐色	シルト	海山アコナ少量含む、柱痕跡	
	3	2.5Y3-1 黒褐色	シルト			4	10YR1-7 灰色	粘土質シルト	焼化炭層を含む、柱痕跡	
	4	2.5Y2-1 灰色	シルト	海山アコナ少量含む		5	10YR3-1 黒褐色	シルト	海山アコナ少量含む	
P2	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	海山アコナ少量含む、柱痕跡	P6	1	10YR4-1 黒褐色	シルト	海山アコナ少量含む	
	2	10YR4-1 黒褐色	シルト			2	10YR3-1 黒褐色	シルト		
	3	10YR2-1 灰色	シルト			3	10YR2-1 灰色	シルト		
P3	1	10YR4-1 黒褐色	シルト	海山アコナ少量含む、柱痕跡	P7	1	5YR3-2 暗赤褐色	シルト	焼土アコナ炭化物(径30mm)多量を含む	
	2	10YR3-1 黒褐色	シルト	柱痕跡		P8	1	7.5YR4-1 灰褐色	シルト	焼土アコナ炭化物(径2-5mm)少量含む
	3	10YR3-2 黒褐色	シルト							
P4	1	10YR4-3 (こげい)黄褐色	シルト	海山アコナ少量含む						
	2	10YR3-2 黒褐色	シルト							
P5	1	10YR4-1 黒褐色	シルト	柱痕跡						

SI185 掘跡形状表

遺構名	平面形	掘尺 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	掘尺 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	24×23	18		P5	楕円形	50×38	45	
P2	楕円形	27×23	21		P6	円形	46×45	33	
P3	円形	18×17	24		P7	楕円形	63×46	15	灰器めビット
P4	楕円形	21×19	18		P8	楕円形	63×46	12	灰器めビット

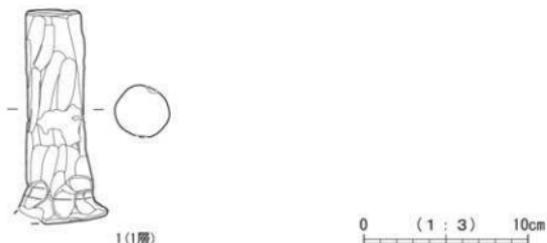


1 (3層)



第144図 SI185出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真
1	C-211	SI185	3層	土師器	甕	(0.4) × - × (6.5)	口縁部のみ、胴部のみ	口縁部のみ、胴部のみ		118



第145図 SI185出土遺物(2)

採取番号	発掘番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(m)	重量(g)	内面調整	写真掲載
1	P-20	SI185	1層	土製品	支脚	(33.0)×2.4×基部径(5.4)	240.3	焼熱痕あり、指痕調整	118

#### SI186 竪穴住居跡(第146図)

[位置・確認面] 4 B区北西、140・141・146・147グリッドに位置する。住居西側が攪乱により失われており、その他の部分でも残存状況は極めて悪い。

[重複] SB20に切られる。

[規模・形態] 残存値は東西2.1m、南北6.7mとやや大型を呈する。平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-28°-Eである。

[堆積土・構築土] 確認できたのは掘り方埋土1層のみである。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1・2が主柱穴と考えられ、P1には柱痕跡が認められた。柱間寸法は3.7m前後である。

[掘り方] 南壁付近では全体的に18cm前後の掘り込みが認められる。北東隅付近では幅100cm程の溝状に掘り込みしており、深いところで10cmを測る。

[出土遺物] P1、掘り方埋土から僅かに土師器片が出土したのみで、掲載遺物はない。

#### SI186 埋土柱記表

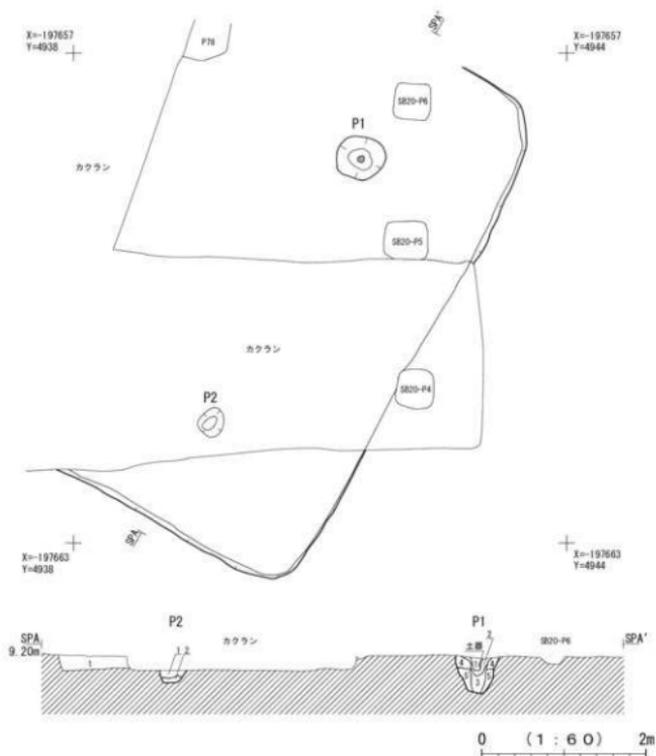
掘り方	層位	土色	土性	備考	層位	土色	土性	備考
1	10YR6/4	にじい・黄褐色	シルト	地山アゾノ多量に含む				

#### SI186 掘居埋土柱記表

層位	層位	土色	土性	備考	層位	層位	土色	土性	備考			
P1	1	10YR6/4	にじい・黄褐色	シルト	地山アゾノ多量、褐色焼土アゾノ(径10mm)懸濁を含む。柱痕跡	P1	4	10YB6/6	明黄褐色	シルト	地山アゾノ(径5~10mm)少量含む	
		2	7.5YR2/2	黒褐色			粘土質シルト	5	10YR5/4	褐色	シルト	地山アゾノ(径10~20mm)少量含む
		3	10YR4/2	灰黄褐色			粘土質シルト	1	10YR5/4	にじい・黄褐色	粘土質シルト	地山アゾノ(径5~10mm)少量含む
					2	10YR4/3	にじい・黄褐色	粘土質シルト	地山アゾノ(径5~10mm)少量含む			

#### SI186 掘居概形表

遺構名	平面形	幅(m)	長さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅(m)	長さ(m)	備考
P1	楕円形	5.9×3.3	6.5		P2	不整形楕円形	3.5×2.9	3.0	



第146図 SI186竪穴住居跡

#### SI187 竪穴住居跡(第147図)

〔位置・確認面〕 4 B区南西、110・111・116・117グリッドに位置する。

〔規模・形態〕 東西4.0m、南北3.9mを測り、方形を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-33°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 10層に分層した。1~3層は住居埋土である。1・2層では灰白色のシルト土を含む。4・5はカマド関連層位、6層は周溝内堆積土、7層はカマド袖構築土、8~10層は掘り方埋土である。

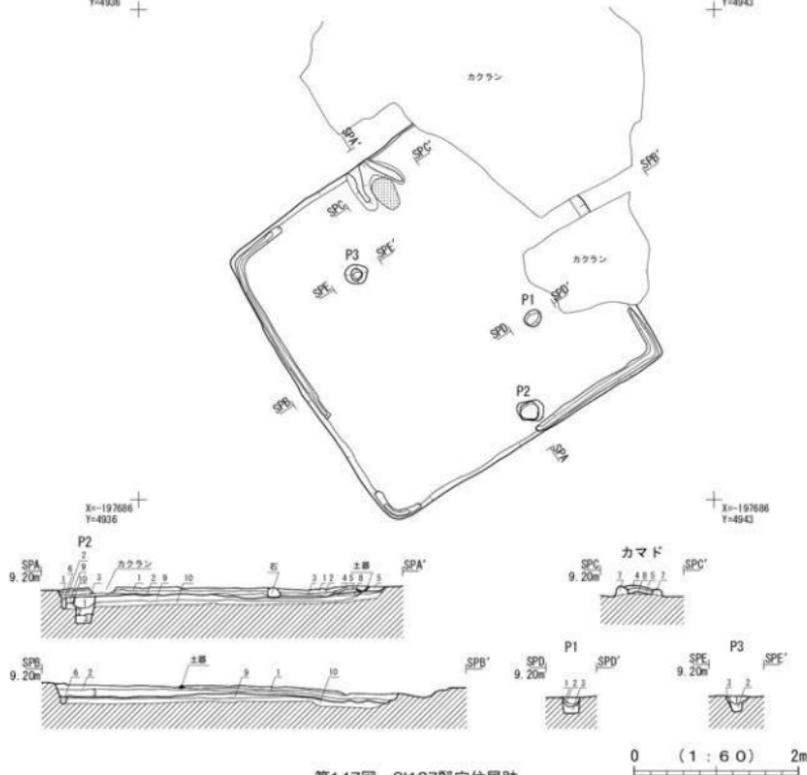
〔壁面〕 直立気味に或いはやや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は西壁20cm、南壁17cm、北壁19cmである。

〔床面〕 8・9層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔周溝〕 局所的にはあるが、全辺の壁面直下で検出した。深さ5~8cm、幅は12cm程度で、断面形はU字形である。

X=197680  
Y=4936

X=197680  
Y=4943



第147図 SI187竪穴住居跡

SI187 埋土証書

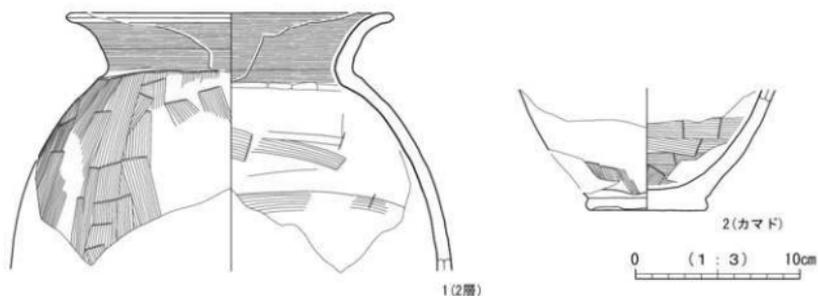
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
塚土	1	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む	周溝 P1 P2 P3	6	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む		7	2.5Y5/2 暗灰黄色	シルト	
	3	5Y5/2 灰アツ色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む		8	2.5YR4/6 赤褐色	シルト	焼物
カマド	4	2.5YR2/1 赤褐色	シルト	焼土(粒<5mm)粒数約1.5m埋込20%	9	2.5Y5/2 暗灰黄色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量を含む	
	5	2.5YR3/1 暗赤灰色	シルト	焼土粒(粒<5mm)少量含む	10	5Y5/3 灰アツ色	シルト	地山アロハ(85~10mm)微量状少量含む	

SI187 施設埋土証書

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/1 黒褐色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む	P2	3	10YR4/1 黒灰色	シルト		
	2	2.5YR4/4 褐色	シルト			P3	1	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む
	3	10YR5/1 黒灰色	シルト				2	10YR4/1 黒灰色	シルト	
P2	1	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト	地山アロハ(85~10mm)少量含む	3	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト			
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	焼土粒少量含む						

SI187 施設観察表

遺構名	平面形	風取(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	風取(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	24×18	18		P3	円形	26×24	18	
P2	楕円形	32×24	32						



第148図 SI187出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-212	SI187	2層	土師器	甕	φ19.0×φ×(15.7)	口縁部×99°, 胴部×99°	口縁部×99°, 胴部×99°		118
2	C-213	SI187	カマド	土師器	甕	→7.3×7.0	口縁、底部×99°	胴部→底部×99°		118

〔カマド〕北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、八字状に開く。袖部の長さは約55cm、高さは床面から5～10cm程残っている。燃燒部は奥行50cm、幅30cmを測り、底面の被熱範囲も認められた。

〔その他の施設〕ビット3基(P1～3)を検出した。

〔掘り方〕深さ10～15cmの掘り込みで、あまり起伏はみられない。底面では工具痕跡が認められた。

〔出土遺物〕土師器甕2点を図示した。第148図-2は、カマド底面の被熱部分である埋土8層から出土した。

#### SI188 竪穴住居跡(第149・150図)

〔位置・確認面〕4B区北西、135・141グリッドに位置する。削平により、検出部分は住居全体の約1/3である。

〔重複〕SB19・20に切られる。

〔規模・形態〕残存値は東西4.0m、南北5.0mで、平面形は不明である。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-56°-Wである。

〔堆積土・構築土〕4層に分層した。1～3層は被熱範囲が認められた窪みに堆積する土層で、カマドに関連するものと思われる。4層は掘り方埋土である。

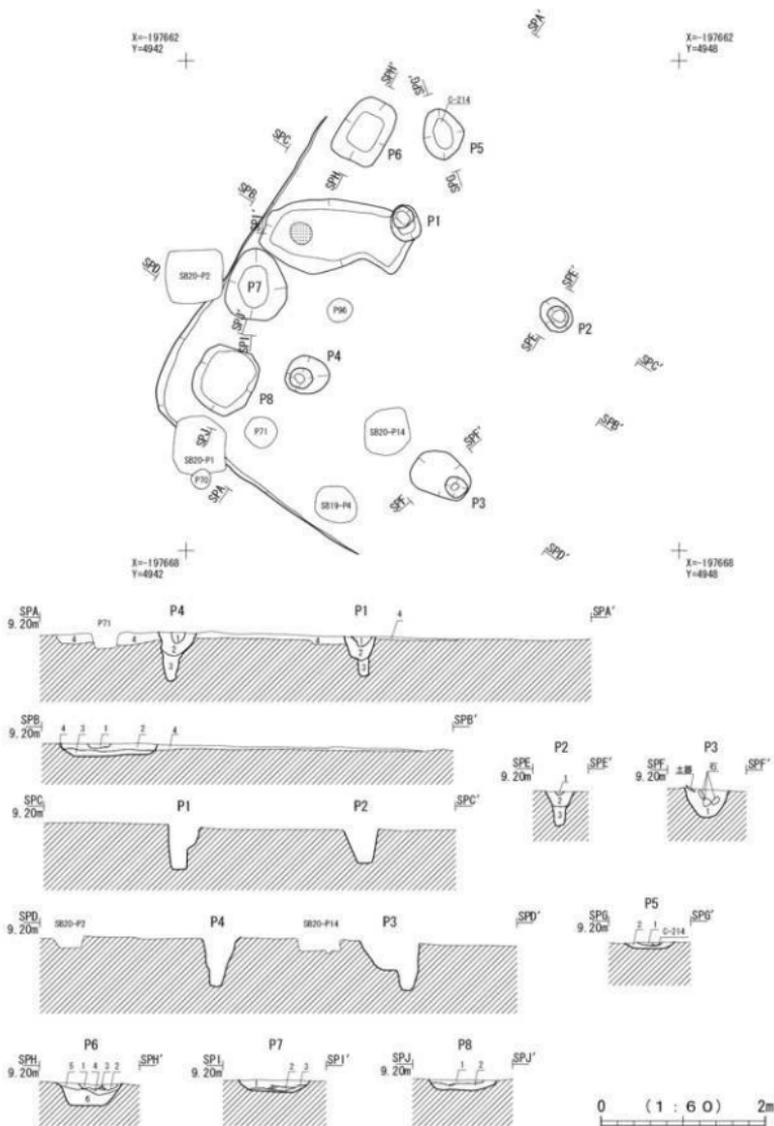
〔柱穴〕配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、柱間寸法は2.2～2.5mである。

〔カマド〕西辺中央で、195×92cmを測る不整形な窪みが検出され、その底面には28×24cmの被熱範囲が認められた。

〔その他の施設〕ビット4基を検出した。P5・7の埋土には炭化物・焼土が多量に含まれ、灰溜めビットとしての用途が考えられる。P8も埋土下位には同様の堆積が認められるが、埋土上位への炭化物・焼土の混入が極端に少ないため、上位は住居廃棄後に埋まったとも考えられる。P6は隅丸方形を呈し、規模は82×58cm、深さは28cmを測る。位置的に貯蔵穴の可能性がある。

〔掘り方〕南西及び北西壁付近は掘り込みが16cmとやや深い。掘り込みは北東に向かって徐々に浅くなるが、底面はほぼ平坦である。

〔出土遺物〕第150図-1は体部に明瞭な稜を持ち、口縁部が内傾気味に立ち上がる器形の土師器甕で、内面に黒色処理が施される。土師器甕第150図-3は、胴部外面がヘラケズリされている。



第149図 Si188竪穴住居跡

SI188 塚土層記述

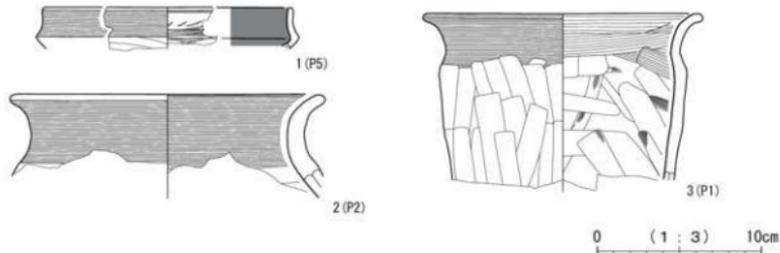
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
ホマド	1	10YR4/1 黒灰色	シルト	地山アコハ(15~10mm)少量含む	ホマド	3	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	地山アコハ(15~10mm)少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	地山アコハ(15~10mm)少量含む	掘り方	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコハ(15mm)少量含む

SI188 施設跡土層記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト	焼土アコハ・炭化物多量に含む	P6	2	5YR5/3 にぶい赤褐色	砂質シルト	焼土粒多量に含む
	2	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト	焼土アコハ少量含む		3	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	炭化物多量に含む
	3	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	焼土粒少量含む		4	5YR4/2 灰褐色	シルト	焼土粒・炭化物多量に含む
P2	1	7.5YR6/4 にぶい褐色	シルト	焼土アコハ(15~10mm)炭化物多量に含む	5	2.5YR7/6 褐色	砂質シルト	焼土粒多量に含む	
	2	10YR6/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	地山アコハ(15~10mm)炭化物少量含む	P7	6	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコハ(15~10mm)焼土粒・炭化物少量含む
3	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	地山アコハ(15mm)少量 炭化物少量含む	P7		1	5YR5/3 にぶい赤褐色	シルト	地山アコハ少量、焼土アコハ(15~10mm)少量を含む
P3	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト		地山アコハ(15mm)少量 焼土粒少量含む	2	5YR5/4 にぶい赤褐色	シルト	地山アコハ(15mm)少量、炭化物少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		焼土アコハ少量、焼土アコハ少量含む	3	2.5YR5/2 灰赤色	シルト	地山アコハ(15mm)少量含む
	3	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	焼土粒少量含む	P8	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	地山アコハ(15~10mm)少量、焼土粒少量含む
P4	1	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト	地山アコハ(15mm)焼土粒少量含む		2	7.5YR5/3 にぶい褐色	シルト	地山アコハ(15~10mm)少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	焼土アコハ少量、焼土アコハ少量含む					
P5	1	7.5YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	焼土粒少量、炭化物多量に含む					
	2	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコハ少量含む					
P6	1	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコハ少量、焼土粒少量含む					

SI188 施設跡断面

遺構名	平面形	風相(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	風相(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	44×35	47		P5	小形楕円形	62×48	9	灰澄めピット
P2	楕円形	42×35	42		P6	楕円形	82×58	28	貯蔵穴?
P3	楕円形	74×54	58		P7	小形楕円形	88×73	16	灰澄めピット
P4	楕円形	53×46	59		P8	楕円形	80×73	15	灰澄めピット



第150図 SI188出土遺物

採録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-214	SI188	P5	土師器	杯	(15.0 × × 42.5)	口縁部のみ、胴部のみ	口縁部のみ、胴部のみ	内面黒色地味	118
2	C-216	SI188	P2	土師器	壺	(18.0 × × 46.3)	口縁部のみ、胴部のみ	口縁部のみ、胴部のみ		118
3	C-213	SI188	P1	土師器	壺	(16.3 × × 110.0)	口縁部のみ、胴部のみ	口縁部のみ、胴部のみ		118

SI189 竅穴住居跡(第151図)

[位置・確認面] 4 B区北西、134・140グリッドに位置する。視乱により遺構の大半が失われている。

[重複] SB18に切られる。

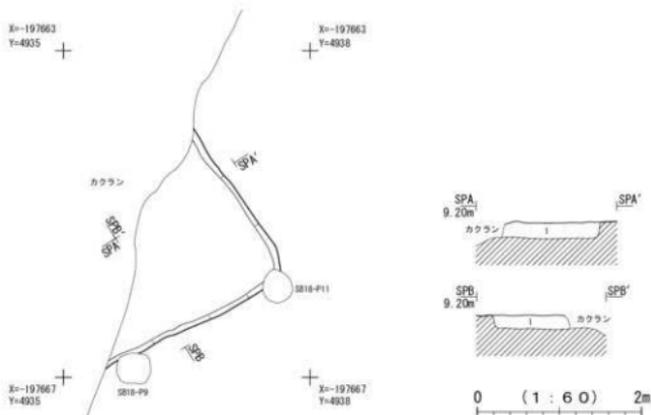
[規模・形態] 残存値は住居東辺20m、南辺2.5mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-63°-Eである。

[堆積土・構築土] 確認できたのは掘り方埋土1層のみである。

[掘り方] 深さは概ね18cm程度であり、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 土師器片が出土したが、掲載遺物はない。



第151図 SI189竪穴住居跡

SI189 埋土柱記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘り方	1	10YR4/1	褐色	シルト					

#### SI211 竪穴住居跡(第152・153図)

[位置・確認面] 4 C 西区南東、4グリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置しており、検出部分は住居北東隅のみである。

[規模・形態] 調査区内での計測値は、住居東辺2.2m、北辺2.1mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-12°-Eである。

[堆積土・構築土] 5層に分層した。1・2層は住居埋土で、1層からは完形に近い土師器甕が出土している。3層は周溝内堆積土、4・5層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁・北壁ともに11cmである。

[床面] 4・5層上面を床面とし、若干の起伏が認められる。

[周溝] 壁面直下で検出した。幅15~17cm、深さは4~5cmと浅く、緩やかに立ち上がる。

[その他の施設] ビット5基(P1~5)を検出した。P1の底面には炭化物が多量にみられる。全体規模は不明であるが、他のビットに比べて大きいことから、灰溜めビットとしての用途が考えられる。

[掘り方] 深さは概ね15cm程度であり、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器環1点、甕2点を図示した。第153図-1は内面黒色処理されており、底部に木炭屑を残す。また、土師器甕第153図-3は、口縁部径と下膨れの胴部下半部径がほぼ同じである。



第152図 SI211竪穴住居跡

SI211 埋土層記表

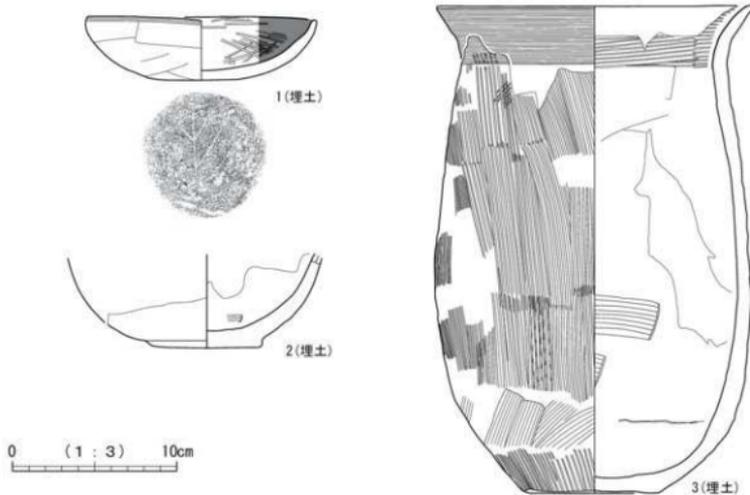
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		掘り方	4	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト			5	10YR6/6 褐色	砂質シルト	
掘溝	3	10YR3/4 暗褐色	シルト						

SI211 施設埋土層記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物多量(前面)に含む	P4	-	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	
P2	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P5	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P3	-	10YR4/4 褐色	シルト						

SI211 施設断層表

遺構名	平面形	風相(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	風相(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	46×26	12	炭屑めじり	P4	円形	7×6	7	
P2	楕円形	34×26	13		P5	円形	12×11	10	
P3	円形	22×20	10						



第153図 SI211出土遺物

探検番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-217	SI211	埋土	土師器	杯	13.8××3.8	口縁部～底部の9/10、底部本番直	口縁部～底部の9/10		内面白色処理	118
2	C-218	SI211	埋土	土師器	壺	→×6.6×(5.8)	胴部のみ、底部のみ	胴部～底部のみ			118
3	C-219	SI211	埋土	土師器	壺	(19.1)×8.3×29.7	口縁部のみ、胴部のみ、下部のみ、底部のみ	口縁部のみ、胴部のみ			119

#### SI212A 竪穴住居跡(第154～156図)

[位置・確認面] 4C西区東側、グリッド35・51に位置する。攪乱により住居東側が失われている。

[重複] SI213に切られ、SI220を切る。

[規模・形態] 残存値は東西4.2m、南北5.5mである。平面形は方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-98°-Wである。

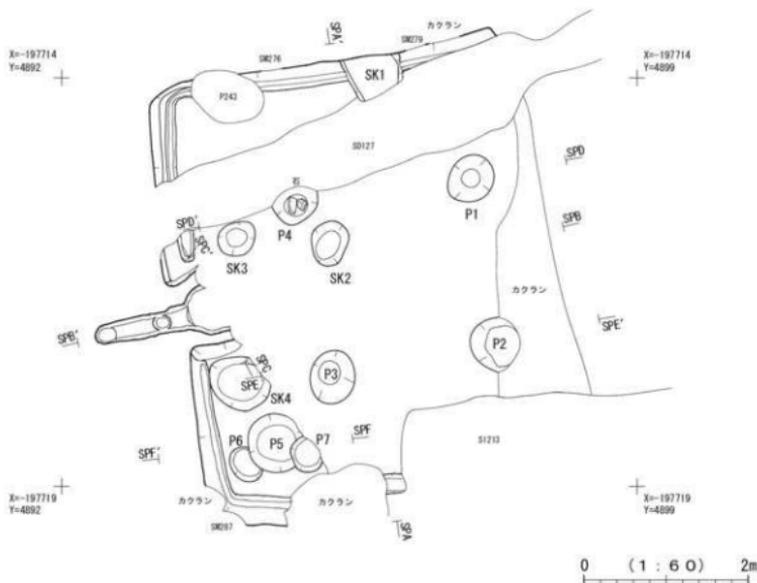
[堆積土・構築土] 21層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～4層は住居埋土である。5～14層及び17～19層はカマド関連層位で、うち14層は、煙道部ほぼ中央に位置するピット状の窪みに堆積する土層である。17～19層はカマド袖構築材で、燃焼部側に位置する18層は被熱赤変している。15層は周溝内堆積土である。20・21層は掘り方埋土で、本住居A・Bの床面間に堆積する土層であるが、20層としたものは燃焼部域における21層が被熱変質したものと推測された。

[壁面] やや外方に開きながら立ち上がる。残存する壁高は20cm前後である。

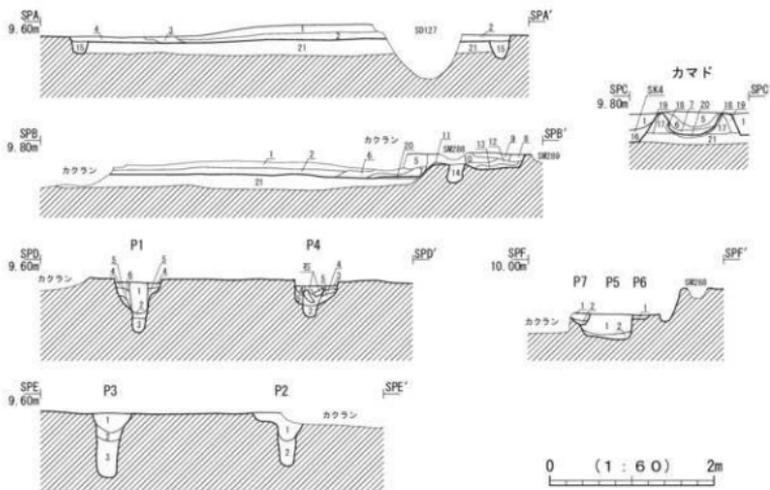
[床面] 21層上面を床面とし、南西方向に向かって緩やかな傾斜が認められる。

[柱穴] P1～4が主柱穴と考えられ、柱間寸法は2.1m内外である。P1・4には柱痕跡が認められた。

[周溝] カマド部分を除き残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅は南辺の最も広いところで35cmを測る他は、概ね10cm前後である。深さは約10cmで、断面形はU字形に近い。



第154図 SI212A 竪穴住居跡(1)



第155図 SI212A竪穴住居跡②

SI212A 埋土柱記表

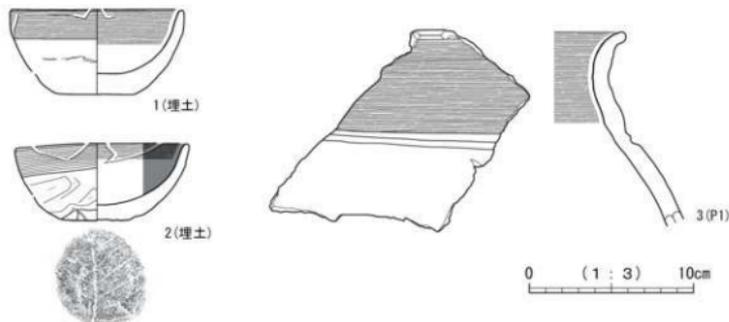
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
根上	1	25Y4/2 暗灰黄色	シルト	10YR5/2 灰黄褐色(4)少量含む	カマド	12	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	10YR4/2 灰黄褐色(4)少量含む		13	10YR3/1 暗褐色	シルト	炭化物少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	10YR4/3 に近い黄褐色(4)少量含む		14	10YR3/3 暗褐色	シルト	10YR5/4 黄褐色(4)少量含む
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR5/4 に近い黄褐色(4)少量含む		15	10YR3/4 暗褐色	シルト	
カマド	5	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK4	16	7.5YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物・焼土多量を含む
	6	10YR3/3 暗褐色	シルト		P/F材	17	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
	7	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	焼土多量を含む		18	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	焼熱部
	8	10YR4/3 暗褐色	シルト	炭化物多量を含む	19	10YR4/4 暗褐色	シルト		
	9	10YR4/4 暗褐色	シルト		掘り方	20	5YR4/6 赤褐色	シルト	焼熱部
	10	10YR3/3 暗褐色	シルト			21	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	11	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む					

SI212A 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	P17cmの継ぎ目、柱痕跡	P4	3	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
	2	10YR4/4 暗褐色	シルト	柱痕跡		4	10YR3/2 暗褐色	シルト	10YR4/4 暗褐色(4)少量含む
	3	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	柱痕跡		5	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト		P5	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	5	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	10YR4/6 暗褐色(4)少量含む		2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	6	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	炭化物少量含む		P6	1	10YR3/2 暗褐色	シルト
P2	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR4/2 灰黄褐色(4)少量含む	P7	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/4 暗褐色	シルト			2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P3	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR4/6 暗褐色(4)少量含む	SK1	-	-	-	炭化物少量含む
	2	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		SK2	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量含む
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト	10YR5/4 に近い黄褐色(4)少量含む	SK3	-	7.5YR5/6 明褐色	シルト	焼土多量を含む
P4	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	柱痕跡	SK4	-	-	-	(埋1.16に付記)
	2	10YR4/4 暗褐色	シルト	柱痕跡					

SI212A 施設観察表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	62×54	67		P7	(円形)	44×39	30	
P2	円形	68×61	68		SK1	(楕円形)	72×148	8	
P3	楕円形	66×54	80		SK2	楕円形	49×41	30	
P4	(円形)	58×144	45		SK3	楕円形	49×42	5	灰鋸めビット
P5	(円形)	72×49	31		SK4	楕円形	77×65	11	
P6	(楕円形)	45×27	8						



第156図 SI212A出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 採址
1	C-220	SI212A	埋土	土師器	坏	(10.5)×(4.8)×(高)	磨滅、口縁部399°、体部-底部399°?	磨滅、口縁部399°、体部-底部399°?		118
2	C-221	SI212A	埋土	土師器	坏	(10.5)×(4.3)×(4.8)	磨滅、口縁部399°、底部399°、底部本蓋部	磨滅、口縁部399°	内面着色処理	118
3	C-222	SI212A	P1	土師器	葉	(18.5)××(11.5)	口縁部磨り走し、口縁部399°、底部399°	口縁部399°、底部399°		118

〔カマド〕西辺中央で検出した。両袖部が不完全ではあるが残存しており、壁面から平行して伸びている。高さは床面から20～25cm程残っている。燃烧部は幅50cmを測る。煙道部は長さ115cm、幅25cm前後、深さ20cm前後で、ほぼ中央にビット状の落ち込みが認められた。

〔その他の施設〕土坑を4基(SK1～4)及びビット3基(P5～7)を検出した。SK3はカマド右方にあり、焼土を多量に含むため、灰溜めビットとしての用途が考えられる。

〔掘り方〕床面からSI212B掘り方埋土までは深さ15cm程である。

〔出土遺物〕図示した小型の坏2点は平底で、作りが非常に粗く厚手である。因分寺下層式に比定されるものと思われる。

#### SI212B 竪穴住居跡(第157図)

〔位置・確認面〕4C西区東側、グリッド35・5Iに位置する。SI212Aの掘り方埋土を掘削中、同居居改築以前のものと考えられる床面遺構を検出したため、これらをSI212Bとした。

〔重複〕SI213に切れ、SI220を切る。

〔規模・形態〕残存値は東西1.8m、南北4.2mである。平面形は方形を呈するものと思われる。

〔方向〕住居跡の南北軸は、SI212Aと同様である。

〔堆積土・構築土〕7層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1層は周溝内堆積土、4層は掘り方埋土である。

〔床面〕7層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

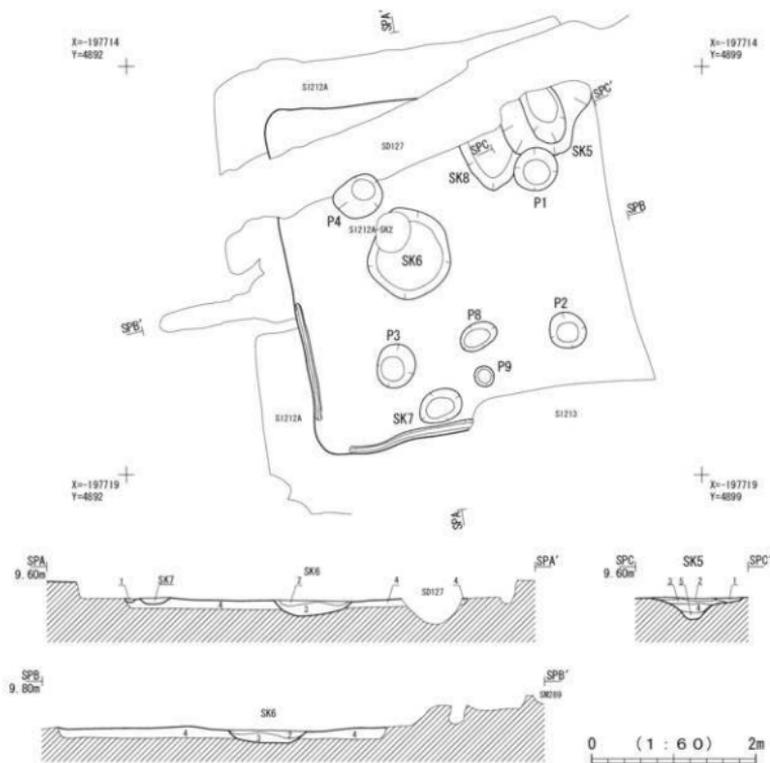
〔柱穴〕P1～4が主柱穴と考えられ、SI212A・Bで共用しているものと推定される。

〔周溝〕南辺と西辺南側の壁面直下で検出している。幅は7cm前後、深さは5cm前後と浅い。

〔その他の施設〕土坑4基(SK5～8)及びビット2基(P8・9)を検出している。

〔掘り方〕全体的に10～15cm程掘り込まれており、底面はほぼ平坦である。

〔出土遺物〕掘り方埋土から土師器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第157図 SI212B 竪穴住居跡

SI212B 埋土柱記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
SK6	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		SK6	3	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物微量に含む
	2	10YR4-6 褐色	シルト	炭化物微量に含む		掘り方	4	10YR6-8 褐色	シルト

SI212B 掘り埋土柱記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P8	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		SK5	4	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト			5	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	
SK5	1	10YR2-2 黒褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む	SK6	-	-	-	(層(1-2-3)対応)
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む	SK7	-	7.5YR3-4 紅褐色	シルト	焼土多量に含む
	3	10YR5-4 に近い黄褐色	シルト		SK8	-	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物少量含む

SI212B 掘り埋土柱記簿

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P8	楕円形	48×45	10		SK6	楕円形	112×100	19	
P9	円形	25×24	10		SK7	楕円形	55×39	10	
SK5	不整形	115×65	28		SK8	(楕円形)	65×65	1	



S213 埋土目録表

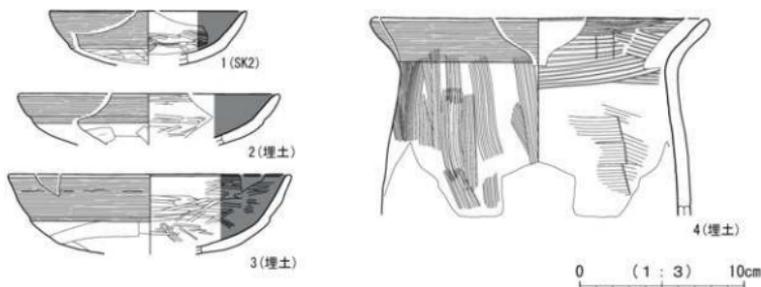
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3-3 紅褐色	シルト	油山アコウ少量、炭化物微量に含む	キマド (古)	8	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む		9	10YR3-4 紅褐色	シルト	
	3	10YR3-2 紅褐色	シルト			10	10YR4-4 褐色	シルト	
キマド (新)	4	7.5YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む	明溝 網り方	11	10YR3-3 紅褐色	シルト	10YR5-4 にぶい黄褐色は少量に含む
	5	10YR4-4 褐色	シルト	支脚跡	12	7.5YR5-6 明褐色	シルト	焼熟している	
キマド (古)	6	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物少量含む	13	10YR4-4 褐色	砂質シルト	10YR4-6 褐色は少量含む	
	7	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物多量に含む	14	10YR5-6 黄褐色	砂質シルト		

S213 施設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	10YR4-2 褐色少量含む、柱状跡	P7	-	10YR2-3 黒褐色	シルト	炭化物多量に含む
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物少量、焼土少量含む、柱状跡	P9	-	10YR2-3 黒褐色	シルト	
	3	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	柱状跡	P10	-	10YR3-3 紅褐色	シルト	
	4	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む	P11	-	7.5YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む
	5	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト		P12	-	10YR3-4 紅褐色	シルト	
	6	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物微量に含む	P13	-	10YR3-3 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む
	7	10YR4-4 褐色	砂質シルト	10YR4-6 褐色砂質は少量含む	P15	-	10YR3-4 褐色	シルト	
	8	10YR4-4 褐色	砂質シルト	10YR5-4 にぶい黄褐色は少量含む	P16	-	10YR4-4 褐色	砂質シルト	
P2	1	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物微量に含む	P17	-	10YR3-4 紅褐色	砂質シルト	
	2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	10YR4-6 褐色砂質は少量含む	P18	-	10YR3-4 紅褐色	砂質シルト	
	3	10YR4-4 褐色	シルト	～5cmの層含む	SK1	1	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量、厚10cmの層含む
P3	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		SK2	1	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む
	2	10YR3-2 黒褐色	シルト	10YR4-6 褐色は少量含む、柱状跡	SK3	1	7.5YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量、厚15cmの層含む
P4	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	10YR4-4 褐色は少量含む	SK4	1	10YR2-3 黒褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む、柱状跡
	2	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物少量含む		2	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む
P5	-	10YR3-3 紅褐色	シルト						
P6	-	10YR3-3 紅褐色	シルト						

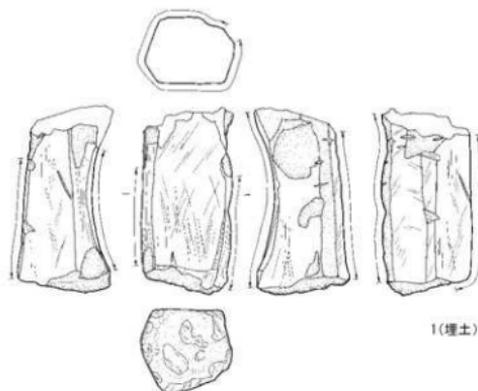
S213 施設観察表

遺構名	平面形	縦径 (cm)	横径 (cm)	備考	遺構名	平面形	縦径 (cm)	横径 (cm)	備考
P1	楕円形	57×43	51		P12	楕円形	16×12	10	
P2	楕円形	57×55	47		P13	楕円形	33×21	15	
P3	楕円形	32×29	45		P14	楕円形	33×18	15	灰澄めビッド
P4	楕円形	57×42	51		P15	楕円形	33×30	16	
P5	不整形	29×28	20		P16	円形	30×28	18	
P6	楕円形	33×32	18		P17	楕円形	31×27	6	
P7	不整形	36×24	15	灰澄めビッド	P18	不整形	57×30	41	
P8	-	-	-	欠番	SK1	楕円形	107×104	15	灰澄めビッド
P9	不整形	43×32	9		SK2	楕円形	123×107	15	灰澄めビッド
P10	円形	39×38	15		SK3	楕円形	119×100	10	灰澄めビッド
P11	楕円形	42×30	13	灰澄めビッド	SK4	不整形	57×42	31	井戸穴?



第159図 S1213出土遺物(1)

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-223	S213	SK2	土師器	杯	(11.9×××(13.0))	口縁部299°, 底部295°	口縁部-底部291°	内面黒色処理	119
2	C-224	S213	埋土	土師器	杯	(15.0×××(11.1))	口縁部297°, 底部293°	口縁部-底部293°	内面黒色処理	119
3	C-225	S213	埋土	土師器	杯	(17.0×××(14.9))	磨耗、口縁部-底部291°	口縁部-底部291°	内面黒色処理	119
4	C-226	S213	埋土	土師器	壺	(20.2×××(12.2))	口縁部-胴部294°	口縁部294°, 胴部297°		119



第160図 SI213出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真 掲載
1	K6-029	SI213	埋土	石製品	砥石	7.5×3.7×3.6	134.2	凝灰岩	取残り、柱状、欠損品	119

#### SI213 竪穴住居跡(第158～160図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、21・22・35・36グリッドに位置する。住居南側が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約3/4である。

[重複] SI212・221を切る。

[規模・形態] 東西4.9mを測り、平面形は方形に近いものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド(古)基準でN-5°-Wである。

[堆積土・構築土] 14層に分層した。1～3層は住居埋土で、竪穴内に広く堆積する2層の層厚は4.5cm程である。4・5層はカマド(新)関連層位、6～10層はカマド(古)の煙道部内堆積土、11層は周溝内堆積土である。12～14層は掘り方埋土で、12層はカマド(新)の被熱痕跡である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁で21cmである。

[床面] 概ね13層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～3、SK4が主柱穴と考えられ、P1・4、SK4に柱痕跡が認められた。SK4に隣接するP2は、補助柱穴である可能性がある。柱間寸法は東西方向で2.8m内外、南北方向で2.0～2.2mである。

[周溝] カマド部分を除き残存する全辺巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅10～30cm、深さ7～10cmで、断面形は逆台形に近い。

[カマド] 東辺中央からやや北に寄ったところにカマド(新)を、北辺中央からやや東に寄ったところにカマド(古)をそれぞれ検出した。カマド(新)としたのは燃焼部の被熱痕跡と袖部の範囲であるが、明瞭には判別できなかった。カマド(古)の煙道部は長さ136cm、幅32cm、深さ20cm前後で、先端部には深さ33cmのビット状の窪みが認められる。

[その他の施設] 土坑3基(SK1～3)及びビット13基(P5～7・9～18)を検出した。P7・11・14、SK1～3には多量の炭化食物或いは焼土が混入されており、灰溜めビットとしての用途が考えられる。

[掘り方] 全体的に20cm程度の深さに掘り込まれている。底面に若干の起伏が認められるものの、ほぼ平坦である。

[出土遺物] SK2から出土した第159図-1、及び埋土中から出土した第159図-2・3は、いずれも体部中位から下位にかけて屈曲部を持ち、内面に黒色処理が施されている。

SI214 竪穴住居跡(第161~163図)

[位置・確認面] 4 C 東区中央部、16・17・27・28グリッドに位置する。住居南側が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約1/3である。

[重複] SI215を切る。

[規模・形態] 東西6.3mと大型である。全体形は不明であるが、方形に近いものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-14°-Wである。

[堆積土・構築土] 18層に分層した。1・2層は住居埋土で、3~8層はカマド関連層位、9・10層は周溝内堆積土、11~15層はカマド袖構築土、16~18層は掘り方埋土である。

[壁面] 残存する壁高は東壁21cm、西壁8cm、北壁8cmである。

[床面] 17・18層上面を床面とし、部分的に起伏が認められる。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1が主柱穴、P6~10が壁柱穴と考えられる。

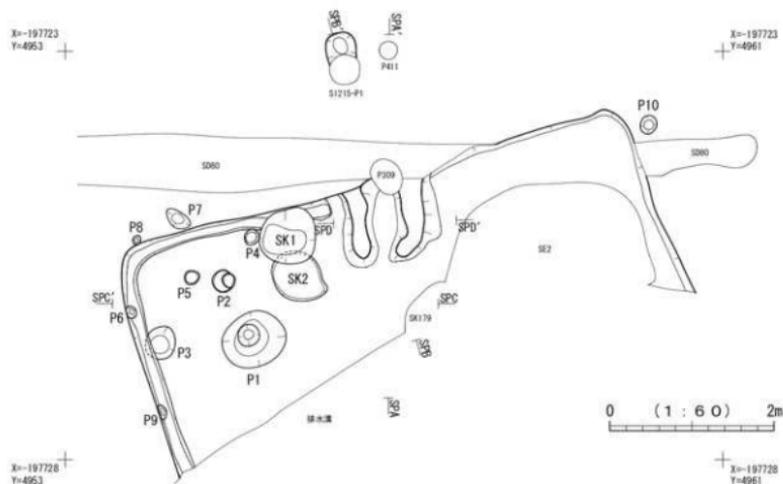
[周溝] 北辺の西側及び西辺の壁面直下で検出した。幅15cm前後、深さは10cm前後で、断面形はU字形に近い。カマドより東側では検出されなかった。

[カマド] 北辺中央で検出した。左袖部は壁面からほぼ垂直に延びるのに対し、右袖部は燃焼部を巻き込むようにL字に湾曲する。この右袖部からは、袖石と思われる10cm前後の自然礫が出土している。袖部の長さは100cm前後、高さは床面から10cm程残っている。燃焼部は奥行95cm、幅25cmを測り、中から骨片が検出している。北辺から130cm程離れたところで検出された煙出しは、幅約30cm、深さ18cmを測る。

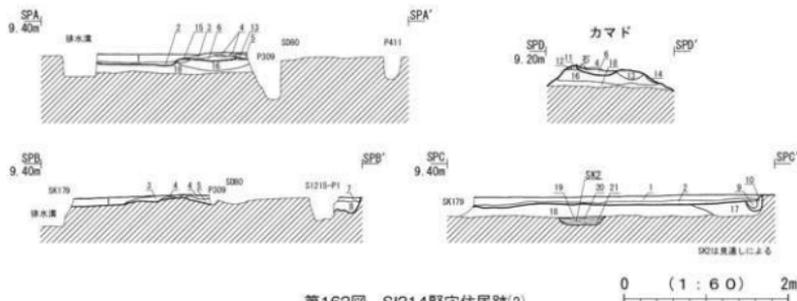
[その他の施設] 上記以外のピットが4基(P2~5)、加えて掘り方埋土完掘後に土坑2基(SK1・2)を検出した。P3は周溝下からの検出であるが、その性格や本遺構に伴うかどうかは不明である。

[掘り方] 全体的に15cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 煙道部から出土した土錘1点を図示した。



第161図 SI214竪穴住居跡(1)



第162図 SI214竪穴住居跡(2)

SI214 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	5YR5-2 灰褐色	シルト		P49 雑材	12	10YR5/4 にごい黄褐色	シルト	
	2	10YR5-2 灰黄褐色	シルト			13	7.5YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土痕跡を含む
カマド	3	2.5YR5-8 暗土褐色	シルト		14	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土痕跡を含む	
	4	2.5Y7/1 灰白色	シルト		15	10YR3/3 暗褐色	シルト		
	5	2.5Y3/1 灰褐色	シルト		掘り方	16	10YR4/4 褐色	シルト	
	6	5YR4/6 赤褐色	シルト			17	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	7	5YR5-2 灰褐色	シルト	焼土少量含む		18	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	間溝	8	10YR4/2 灰褐色	シルト		SK2	19	7.5YR3/4 暗褐色	シルト
9		10YR5-2 灰黄褐色	シルト	焼山? 砂含む	20		7.5YR3/3 暗褐色	シルト	
10		10YR4/2 灰褐色	シルト		21		10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
P49 雑材	11	7.5YR4/4 褐色	シルト						

SI214 掘跡埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P7	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			P8	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト
P2	-	10YR4/3 にごい黄褐色	シルト		P9	-	10YR4/3 にごい黄褐色	シルト	
	-	10YR4/4 褐色	シルト			P10	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト
P5	-	10YR4/4 褐色	シルト		SK1	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	-	10YR4/3 にごい黄褐色	シルト			SK2	-	-	-

SI214 掘跡観測表

遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	79×66	40		P7	楕円形	25×18	7	
P2	円形	28×27	5		P8	円形	13×10	5	
P3	(円形)	41×38	28	間溝下で検出	P9	楕円形	18×8	14	
P4	円形	20×17	18		P10	円形	23×20	10	
P5	円形	20×17	10		SK1	楕円形	68×68	19	掘り方埋土除去後に検出
P6	楕円形	17×13	2		SK2	(円形)	61×64	11	掘り方埋土除去後に検出



第163図 SI214出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	図様	長さ×幅×厚さ (mm)	重量 (g)	備考	写真掲載
1	P-21	SI214	埋土部	土製品	土師	65.2×41.7×0.4	14.1	断面調整	119

SI215 竪穴住居跡(第164図)

[位置・確認面] 4C 東区中央、16・27グリッドに位置する。

[重複] SH42・214に切られる。

〔規模・形態〕東西3.4m、南北4.0mを測り、平面形はやや台形に近い長方形を呈する。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-51°-Eである。

〔堆積土・構築土〕3層に分層した。1層は周溝内堆積土、2層はカマド煙道部内堆積土、3層は掘り方埋土である。

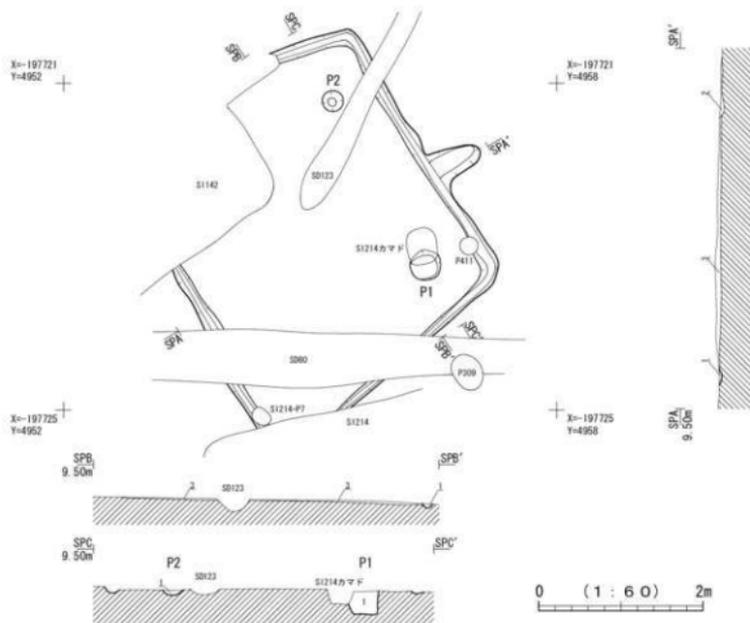
〔柱穴〕P1・2が位置的に主柱穴の可能性があるものの、明確にし得なかった。

〔周溝〕全週する周溝を壁面直下で検出した。幅15～24cm、深さは5cm前後である。

〔カマド〕煙道部の痕跡を東辺中央からやや南側に寄ったところで検出した。長さ58cm、幅38cm、深さ5cm前後を測る。

〔掘り方〕確認された掘り方埋土は浅く残存するに過ぎず、深さ等は不明である。底面は比較的平坦である。

〔出土遺物〕埋土中から骨片が出土している。掲載遺物はない。



第164図 SI215竪穴住居跡

SI215 埋土層記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
周溝	1	10YR4/3 にごい・黄褐色	シルト		掘り方	3	10YR4/4 褐色	シルト	
カマド	2	10YR4/3 にごい・黄褐色	シルト	地上階層に含む					

SI215 施設埋土層記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/6 褐色	シルト		P2	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	

SI215 施設観察表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	35×35	28		P2	円形	25×25	6	

SI216A 竪穴住居跡(第165・166図)

[位置・確認面] 4 C 東区中央、41・57グリッドに位置する。剖平により床面は失われている。

[重複] SB22に切られる。

[規模・形態] 東西4.5m、南北4.2mを測り、平面形はほぼ方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-14°-Wである。

[堆積土・構築土] 周溝内堆積土を2層に分層したのみである。

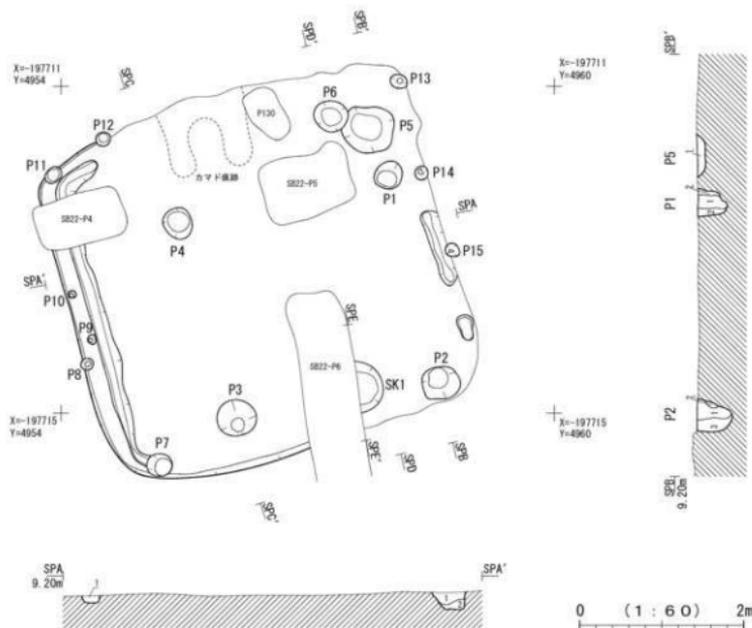
[柱穴] P1~4が主柱穴と考えられるが、その位置が竪穴プランに対して偏在しており、周溝の存在をも加味すると、やや疑問が残る。P1・2には柱痕跡が認められた。またP7~16は壁柱穴と考えられる。

[周溝] 西辺及び東辺の一部で検出した。西辺では竪穴プランより20cm程内側を巡っている。幅8~20cm、深さ5cm前後で、断面形はU字形~逆台形を呈する。

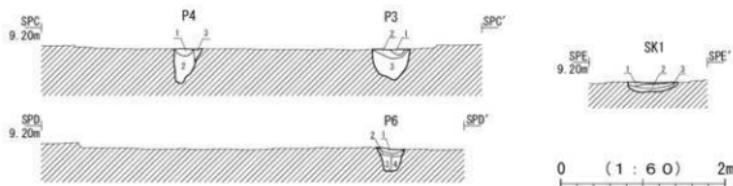
[カマド] 北辺中央部で袖の痕跡を検出した。北壁から平行に延びているようである。

[その他の施設] 土坑1基(SK1)及びピット2基(P5・6)を検出した。

[出土遺物] 埋土中から土師器・須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第165図 SI216A 竪穴住居跡(1)



第166図 SI216A竪穴住居跡(2)

SI216A 埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
前述	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	前述	2	10YR3/3	暗褐色	シルト

SI216A 掘跡埋土目録表

部位	層位	土色			土性	備考	部位	層位	土色			土性	備考		
		1	2	3					1	2	3				
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	シルト		P6	3	10YR3/3	暗褐色	シルト	シルト			
	2	10YR3/1	暗褐色	シルト				4	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト				
P2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	シルト		P7	-	10YR4/1	暗灰色	シルト	シルト			
	2	10YR4/2	灰黄褐色	シルト				P8	-	10YR4/2	灰黄褐色			シルト	
	3	10YR3/4	暗褐色	シルト				P9	-	10YR4/2	灰黄褐色			シルト	
P3	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	シルト		P10	-	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	シルト			
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト				P11	-	10YR4/2	灰黄褐色			シルト	
	3	10YR4/2	灰黄褐色	シルト				P12	-	10YR4/2	灰黄褐色			シルト	
P4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	シルト		P13	-	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	シルト			
	2	10YR4/2	灰黄褐色	シルト				P14	-	10YR4/1	暗灰色			シルト	10YR6/1 暗灰色(4)フコ少量含む
	3	10YR3/3	暗褐色	シルト				P15	-	10YR4/3	にぶい黄褐色			シルト	
P5	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	シルト		SK1	1	10YR5/3	にぶい黄褐色	シルト	シルト			
	2	2.5YR2/1	赤褐色	シルト				2	10YR3/3	暗褐色	シルト				
P6	1	2.5YR2/1	赤褐色	シルト	灰少量含む		3	10YR3/2	赤褐色	シルト	シルト				
	2	10YR4/2	灰黄褐色	シルト											

SI216A 掘跡断面表

遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考
P1	円形	35×34	35		P9	円形	12×12	6	
P2	円形	45×41	43		P10	円形	10×10	47	
P3	円形	47×44	36		P11	円形	20×18	22	
P4	楕円形	40×33	42		P12	円形	17×16	22	
P5	円形	60×60	19		P13	円形	18×16	21	
P6	円形	40×40	27		P14	円形	18×17	8	
P7	円形	30×29	17		P15	円形	16×16	15	

SI216B 竪穴住居跡(第167図)

〔位置・確認面〕 4 C 東区中央、41-57グリッドに位置する。SI216Aの掘り方調査中に新たなプランを検出し、これを古い住居跡と考えSI216Bとした。

〔重複〕 SB22に切られる。

〔規模・形態〕 東西3.3m、南北4.0mを測り、方形を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、SI216Aと同様である。

〔堆積土・構築土〕 7層に分層した。1～4層はSI216A・B床面間に堆積する土層であるが、B住居の床面がそのまま残存していたため、本住居の住居埋土として取り扱った。5-6層は周溝内堆積土、7層は掘り方埋土である。

〔床面〕 7層上面を床面とする。

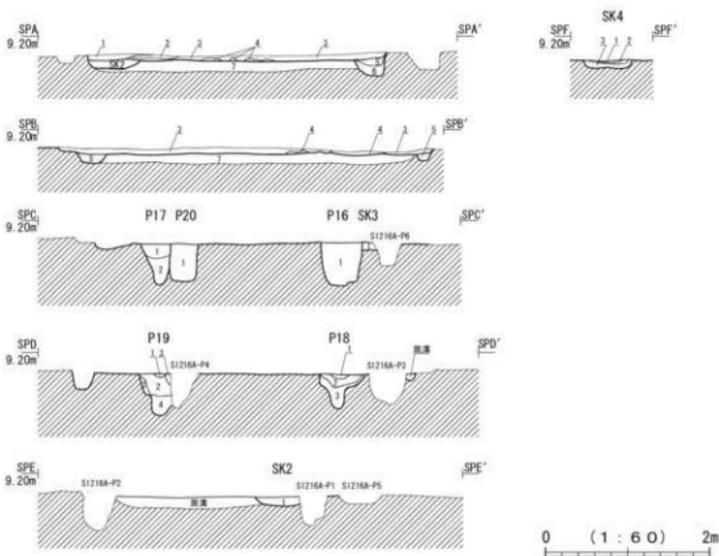
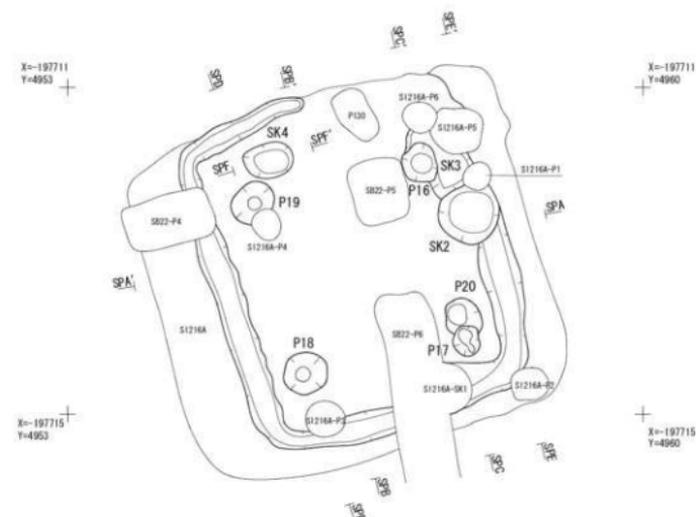
〔柱穴〕 配置からP16～20が主柱穴と考えられ、P17とP20は建て替えの可能性がある。

〔周溝〕 北辺東側を除いてほぼ全周する周溝を検出した。壁面が残存しないため、互いの位置関係は定かではない。幅40cm前後、深さは15cm前後である。

〔その他の施設〕 土坑3基(SK2～4)を検出した。

〔掘り方〕 深さは概ね10cm程度であり、底面は東側に向かってやや傾斜が認められる。

〔出土遺物〕 周溝及びSK5から土師器・須恵器片が出土したが、掲載遺物はない。



第167图 SI216B 竖穴住居跡

S216B 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		掘り方	5	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	10YR4-3に灰黄褐色(4)7%が少量含む		6	10YR4-4 褐色	シルト	
	3	10YR3-3 紅褐色	シルト			7	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	4	10YR5-6 黄褐色	シルト						

S216B 掘跡埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P16	1	10YR3-3 紅褐色	シルト		P19	3	10YR3-3 紅褐色	シルト	10YR4-3 灰黄褐色(4)7%が少量含む
	2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			4	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P18	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		P20	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3-3 紅褐色	シルト		SK2	1	10YR4-3 に灰黄褐色	シルト	
	3	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		SK3	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P19	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		SK4	1	10YR4-3 に灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3-3 紅褐色	シルト		2	10YR5-3 に灰黄褐色	シルト		
	2	10YR3-3 紅褐色	シルト		3	10YR3-1 原褐色	シルト		

S216B 掘跡観表

遺構名	平面形	風幅 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風幅 (cm)	深さ (cm)	備考
P16	不整形	30×41	52		P20	楕円形	44×35	45	
P17	円形	40×30	50		SK2	円形	75×70	11	
P18	円形	54×53	41		SK3	不整形	63×200	8	
P19	(円形)	32×400	50		SK4	楕円形	39×43	10	

## SI217 竪穴住居跡(第168図)

[位置・確認面] 4C西区南東、IIグリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置しており、検出されたのは住居北東隅のみである。

[規模・形態] 調査区内での計測値は、住居東辺1.8m、北辺1.6mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-5°-Eである。

[堆積土・構築土] 7層に分層し、1～6層は住居埋土である。7層は掘り方埋土で、やや砂質である。

[壁面] 外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は東壁24cm、北壁23cmである。

[床面] 7層上面を床面とする。

[掘り方] 深さは3cm前後と浅い掘り込みである。

[出土遺物] 埋土中から土師器・須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。

X=197725  
Y=4903



X=197725  
Y=4908



X=197728  
Y=4903

X=197728  
Y=4908

0 (1:60) 2m

第168図 SI217竪穴住居跡

SI217 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4-3 に灰黄褐色	シルト	掘山アコが少量含む	掘り方	5	10YR3-1 原褐色	粘土質シルト	
	2	10YR3-3 紅褐色	シルト	掘山アコが少量含む		6	10YR3-2 原褐色	シルト	10YR4-4 褐色土少量を含む
	3	10YR3-3 紅褐色	シルト			7	10YR4-6 褐色	砂質シルト	
	4	10YR4-4 褐色	シルト	10YR3-3 紅褐色土少量を含む					

SI218 竪穴住居跡(第169・170図)

[位置・確認面] 4 C 西区中央北側、65・78・79グリッドに位置する。住居北側が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約1/3である。

[重複] SI219・261を切る。

[規模・形態] 東西5.6mを測る。平面形は不明であるが、方形に近いものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-11°-Wである。

[堆積土・構築土] 12層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1・2層は住居埋土で、3層は周溝内堆積土、12層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁9cm、西壁7cm、南壁8cmである。

[床面] 12層上面を床面とする。若干の起伏が認められるものの、ほぼ平坦である。

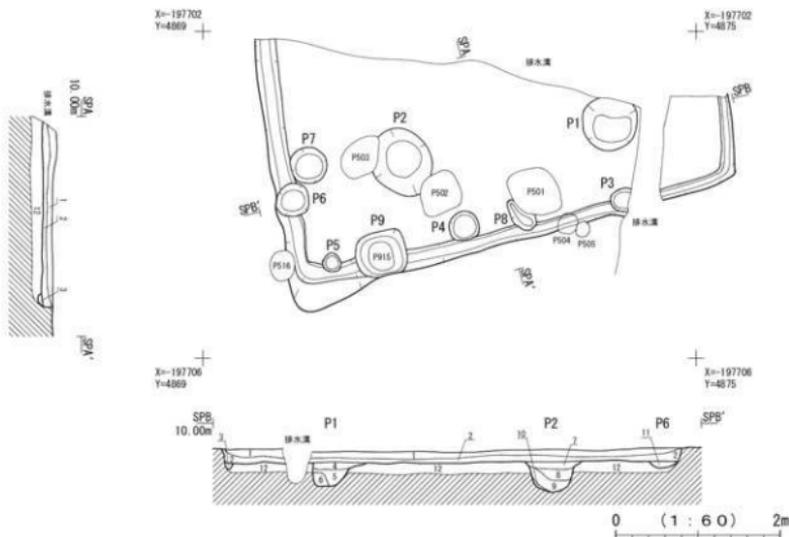
[柱穴] 配置・形状・規模からP1・2が主柱穴と考えられる。いずれも上端径60cm以上、深さ30cm前後で、柱間寸法は2.5m内外である。

[周溝] 検出した全辺の壁面直下で検出した。幅10~15cm、深さ10cm前後で、断面形は半円形に近い。

[その他の施設] ビット7基(P3~9)を検出した。

[掘り方] 全体的に10~15cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 土師器坏5点、甕1点、鉄鎌1点を図示した。床面から出土した第170図-5は、内面を磨いた後に黒色処理が施され、底部はヘラケズリにより平底を作り出している。須恵器の模倣と考えられ、8世紀中葉頃に帰属するものと思われる。



第169図 SI218竪穴住居跡

SI218 埋土層表

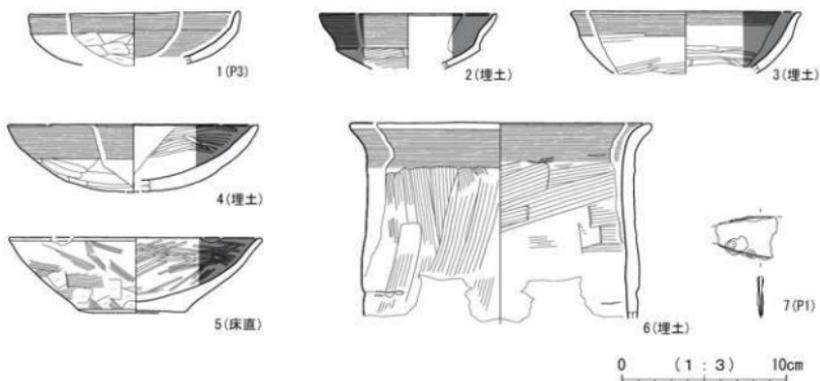
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/4 褐色	シルト	埋土7の7・地土微量を含む	P2	7	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3/4 紅褐色	シルト	埋土7の7層を含む		8	10YR6/6 明黄褐色	シルト	
周溝	3	10YR5/4 紅い黄褐色	シルト		9	10YR7/6 明黄褐色	シルト		
	4	10YR4/1 褐色	シルト		10	10YR8/8 黄褐色	シルト		
P1	5	10YR5/3 紅い黄褐色	シルト		P6	11	10YR6/6 明黄褐色	シルト	
	6	10YR6/6 明黄褐色	シルト			掘り方	12	10YR4/4 褐色	砂質シルト

SI218 施設埋土層表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	-	-	-	(埋土4-6に対応)	P6	-	-	-	(埋土11に对应)
P2	-	-	-	(埋土7-10に对应)	P7	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P3	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量を含む	P8	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P4	-	10YR5/3 紅い黄褐色	シルト		P9	-	10YR4/3 紅い黄褐色	シルト	
P5	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量を含む					

SI218 施設断面表

遺構名	平面形	長尺 (cm)	短尺 (cm)	備考	遺構名	平面形	長尺 (cm)	短尺 (cm)	備考
P1	円形	67×66	27		P6	円形	40×40	12	
P2	楕円形	85×71	33		P7	円形	43×42	22	
P3	不整形	26×21	17		P8	不整形	45×19	7	
P4	円形	35×35	18		P9	不整形	60×56	14	
P5	円形	22×22	17						



第170図 SI218出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整		内面調整		備考	写真掲載
1	C-229	SI218	P3	土師器	杯	0(2.7)××(3.2)	口縁部3???, 底部-底部5?1?*	口縁部-底部5?1?*				119
2	C-228	SI218	埋土	土師器	杯	0(1.8)××(3.3)	口縁部3???, 底部5?9?*, 底部5?9?*	口縁部-底部5?1?*			内面黑色処理	119
3	C-227	SI218	埋土	土師器	杯	0(3.7)××(3.8)	口縁部3???, 底部5?9?*	口縁部-底部5?1?*			内面黑色処理	119
4	C-231	SI218	埋土	土師器	杯	0(5.1)××(4.1)	口縁部3???, 底部-底部5?1?*	口縁部-底部5?1?*			内面黑色処理	119
5	C-230	SI218	床直	土師器	杯	1(5.2)×6.0×(4.0)	口縁部3???, 底部-底部5?1?*	口縁部-底部5?1?*			内面黑色処理	119
6	C-232	SI218	埋土	土師器	壺	0(8.0)××(12.0)	口縁部3???, 胴部5?9?*	口縁部3???, 胴部5?9?*				119
図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考					写真掲載	
7	N-044	SI218	P1	灰製品	鏝	遺存長37cm, 最大幅2.5, 壁厚0.3cm					119	

## SI219 竪穴住居跡(第171~173図)

[位置・確認面] 4C西区中央北側、64・65・78・79グリッドに位置する。

[重複] SI218に切られ、SI233・261を切る。

[規模・形態] 東西48m、南北47mを測り、ほぼ方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-18°-Wである。

[堆積土・構築土] 14層に分層した。1~3層は住居埋土、4~7層はカマド関連層位、8層は周溝内堆積土である。

9・10層はカマド構築土で、10層は被熱痕跡の認められる部分である。11～14層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁13cm、西壁14cm、南壁4cm、北壁19cmである。

[床面] 11～14層上面を床面とし、緩やかな起伏が認められる。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、P3以外には柱痕跡が認められた。いずれも上端径50～60cmで、深さは30～50cmである。柱間寸法は東西が2.0m内外、南北が1.8m内外を測る。

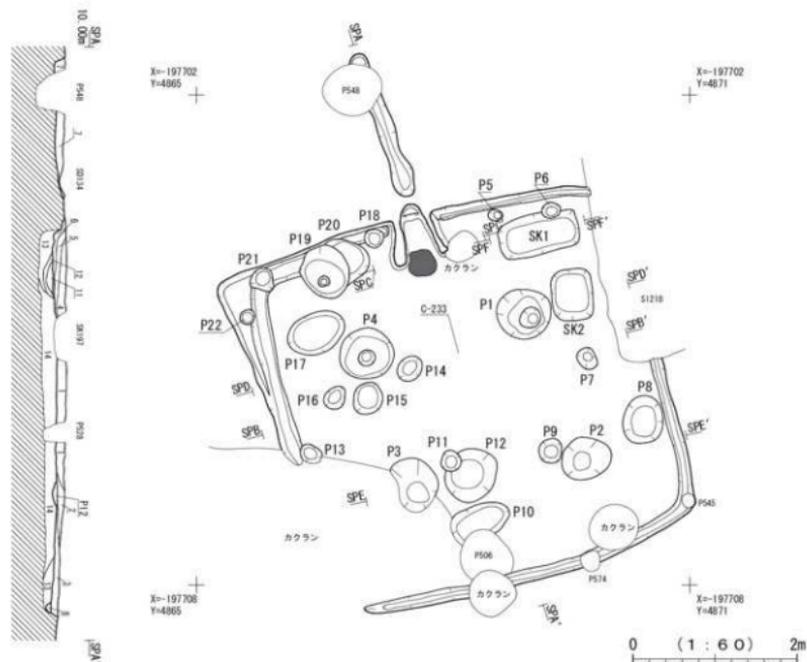
[周溝] カマド部分を除き残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。住居北西隅では堅穴プランより内側を巡る箇所も認められる。幅10～20cm、深さは10～15cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、ハ字状に開いている。袖部の長さは約60cm、高さは床面から10cm程残っている。燃焼部は奥行70cm、幅20～38cmを測る。煙道部は長さ190cm、幅30cm前後、深さ10cm前後で、先端部はP548により切られている。

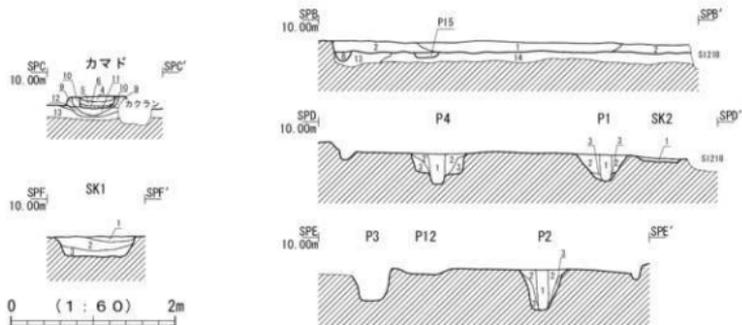
[その他の施設] 土坑2基(SK1・2)及びピット18基(P5～22)を検出した。SK1は上端100×50cmの長方形を呈し、カマド右方に位置し、貯蔵穴の可能性が考えられる。P8・10・12・17・19・20は、主柱穴としたP1～4と同程度の規模を持つ。また小規模なピットのうち、P5・6・13・18・22は壁柱穴の可能性もある。

[掘り方] 全体的に20～25cm程掘り込まれており、底面には床面同様、緩やかな起伏が認められる。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器1点を図示した。台付甕と思われるが、台部は丸みを有し、台としての用をなしていない。



第171図 SI219竪穴住居跡(1)



第172図 SI219竪穴住居跡(2)

SI219 埋土柱記表

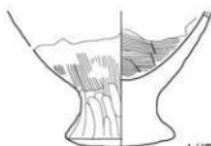
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
竪土	1	10YR4/4 褐色	シルト		洞溝	8	10YR4/6 褐色	シルト	
	2	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量、炭化物微量を含む		9	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	
	3	10YK3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む		10	7.5YK3/4 暗褐色	砂質シルト	焼土多量を含む
ホムド	4	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト・炭化物微量を含む	縦り方	11	7.5YK3/4 暗褐色	シルト	焼土多量を含む
	5	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト・炭化物・焼土微量を含む		12	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量を含む
	6	10YK3/2 暗褐色	シルト	炭化物多量を含む		13	10YR4/6 褐色	シルト	
	7	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量を含む		14	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	

SI219 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量、炭化物・焼土微量を含む、柱痕跡	P11	-	10YR4/6 褐色	シルト	地山アコト少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アコト少量、焼土微量を含む	P12	-	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト		P13	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む
P2	1	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト微量を含む、柱痕跡	P14	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト・焼土微量を含む	P15	-	10YR4/6 褐色	砂質シルト	
P3	3	10YR4/6 褐色	砂質シルト		P16	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量含む
	-	10YK3/4 暗褐色	シルト		P17	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量含む
P4	1	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量、炭化物微量を含む、柱痕跡	P18	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト少量、厚7cmの層を含む	P19	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物微量を含む	P20	-	10YK3/3 暗褐色	シルト	炭化物少量含む
P5	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量、焼土微量を含む	P21	-	10YK3/3 暗褐色	シルト	
	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	焼土微量を含む	P22	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	
P6	-	10YK3/4 暗褐色	シルト	焼土微量を含む	SK1	1	10YR4/4 褐色	シルト	焼土微量を含む
P7	-	10YK3/3 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む		2	10YK3/3 暗褐色	シルト	地山アコト・炭化物・焼土多量を含む
P8	-	10YR4/4 褐色	シルト		3	10YR4/6 褐色	シルト		
P9	-	10YR4/4 褐色	シルト		SK2	1	10YK3/4 暗褐色	シルト	地山アコト少量含む
P10	-	10YR4/4 褐色	シルト						

SI219 施設観察表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	65×60	30		P13	不整形	43×22	6	
P2	楕円形	62×55	50		P14	楕円形	33×25	11	
P3	楕円形	650×500	40		P15	楕円形	40×33	6	
P4	楕円形	65×60	35		P16	不整形	29×24	8	
P5	楕円形	18×14	25		P17	楕円形	71×50	13	
P6	楕円形	21×18	22		P18	円形	18×18	14	
P7	不整形	28×21	11		P19	楕円形	66×56	20	
P8	楕円形	37×47	16		P20	不整形	37×28	18	
P9	楕円形	43×26	5		P21	不整形	29×25	28	
P10	不整形	79×35	4		P22	円形	18×16	10	
P11	円形	24×22	6		SK1	長方形	100×51	25	貯蔵穴
P12	楕円形	64×60	6		SK2	長方形	65×50	5	

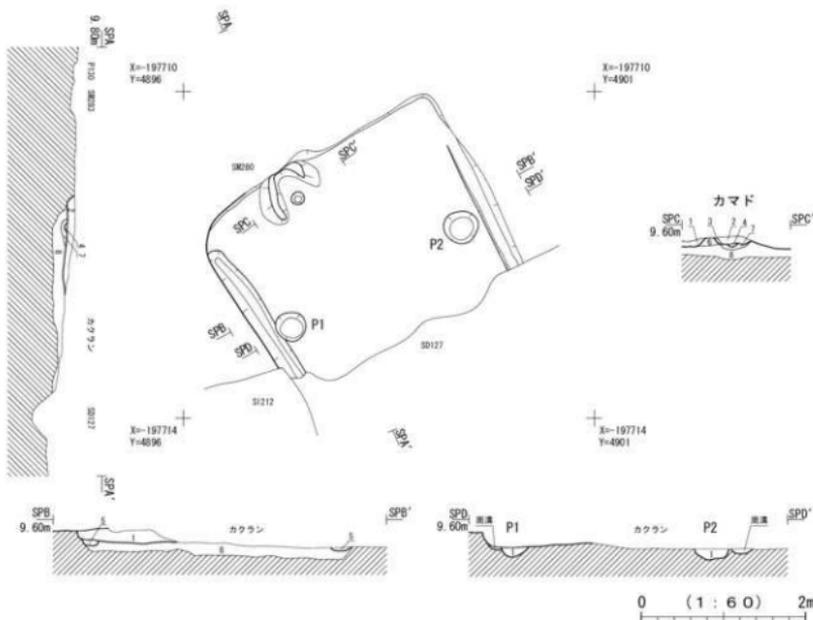


1(埋土)

0 (1:3) 10cm

第173図 SI219出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺構	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-223	SI219	埋土	土師器 台付甕	→6.5×6.3	磨光、刷毛→台部99°9'→99°7'	刷部99°		119



第174図 SI220竅穴住居跡

SI220 埋土柱記表

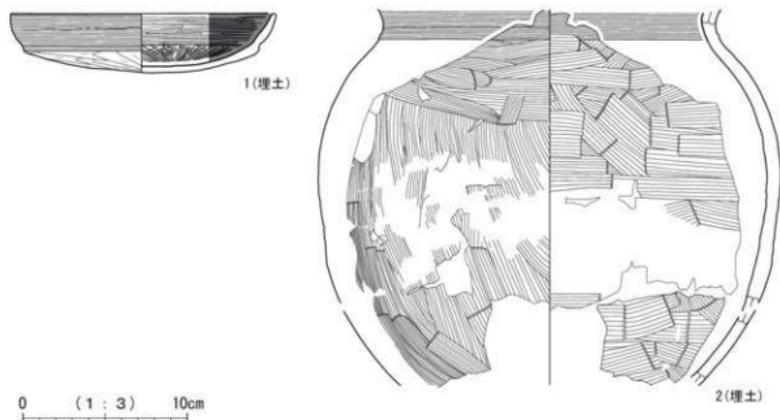
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アワツ少量、焼土微量に含む	洞溝	5	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アワツ少量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	焼土多量に含む		85°焼材	6	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト
カマド	3	7.5YR5/6 明褐色	シルト	焼土多量に含む	掘り方	7	7.5YR4/4 褐色	砂質シルト	
	4	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	焼土多量に含む、支脚痕跡		8	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	10YR5/4 に近い黄褐色は少量に含む

SI220 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR4/4 褐色は少量、炭化物多量に含む	P2	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR4/4 褐色は少量含む

SI220 施設観断面

遺構名	平面形	底径(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	底径(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	32×30	20		P2	楕円形	33×32	20	



第175図 SI220出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-234	SI220	埋土	土師器	杯	0.59×××0.66	口縁部~底部×9°、底部×9°×9°	口縁部~底部×9°×9°	内面黒色処理	119
2	C-235	SI220	埋土	土師器	类	××××25.0	肩部×9°×9°、胴部×9°×9°×9°	×9°×9°		119

#### SI220 竪穴住居跡(第174・175図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区東側、51・52グリッドに位置する。

〔重複〕 SI212に切られる。

〔規模・形態〕 東西3.3mを測り、平面形は方形に近いものと思われる。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-30°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 8層に分層した。1層は住居埋土、2~4層はカマド関連層位、5層は周溝内堆積土、6層はカマド袖構築土である。7・8層は掘り方埋土で、やや砂質を呈する。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁で約10cmである。

〔床面〕 概ね8層上面を床面とするものと思われる。

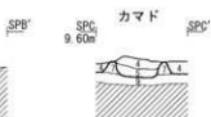
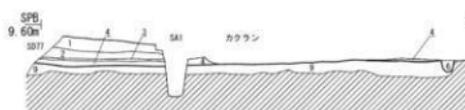
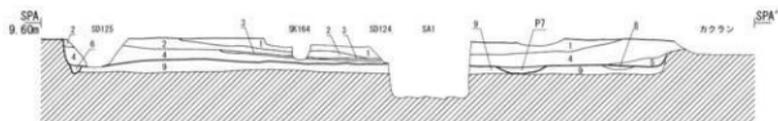
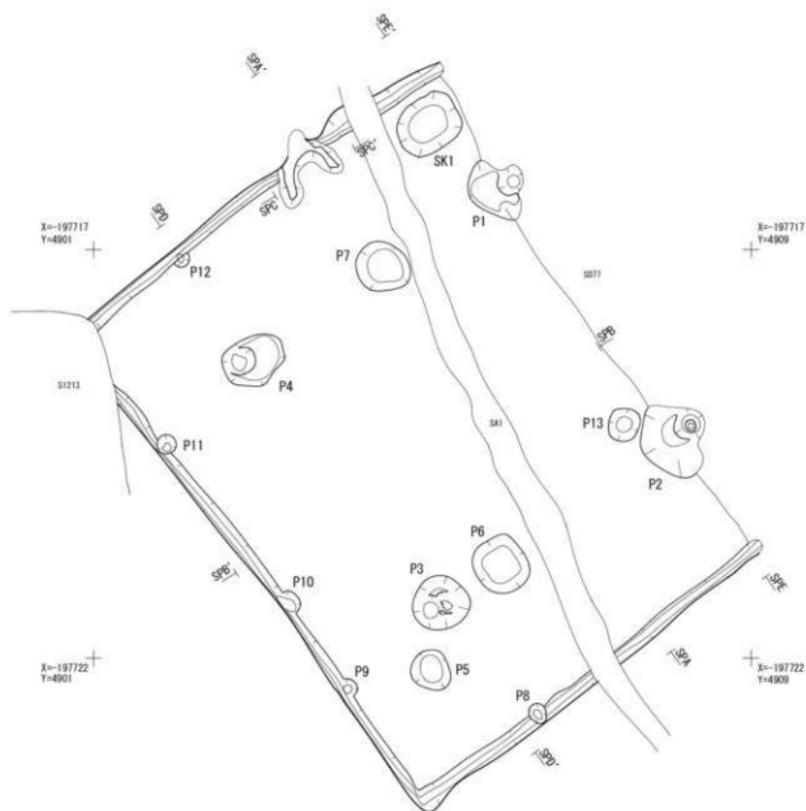
〔柱穴〕 東辺及び西辺の中央部でP1・2を検出した。位置から棟持の主柱穴と考えられる。

〔周溝〕 東辺及び西辺の壁面直下で検出した。幅は西辺が28cmとやや広く、西辺では12cm程度である。深さはいずれも5cm前後である。

〔カマド〕 北辺中央からやや西側に寄ったところで検出した。右袖部は残存状態が悪いが、左袖部の状況から考えるとハ字状に開くようである。左袖部の長さは約60cm、高さは床面から5~10cm程残っている。また、カマド焚口付近に径8cm、深さ10cm程の小穴が認められた。支脚痕跡であると考えられる。

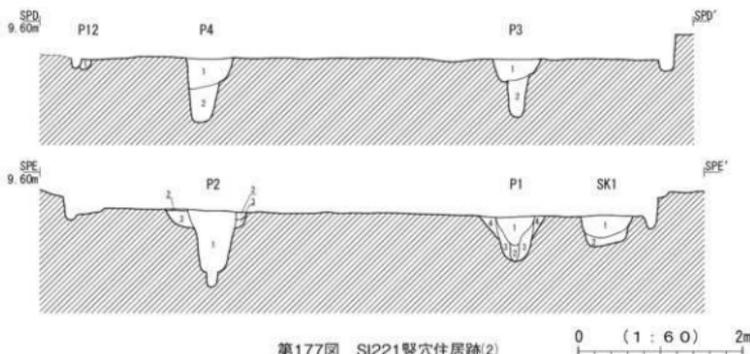
〔掘り方〕 皿状に掘り込まれている。住居北東側が段を持って深く掘り込まれているようである。

〔出土遺物〕 第175図-1は扁平な丸底の土師器杯で、内面は底部から体部にかけて10本近いヘラミガキを1単位として直交させている。また内面に黒色処理が施される。



0 (1:60) 2m

第176図 Si221 竪穴住居跡(1)



第177図 SI221竪穴住居跡(2)

SI221 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	10YR5-6 黄褐色	砂質シルト	10YR4-4 褐色(砂多量)を含む	洞溝	6	10YR3-4 暗褐色	シルト	10YR5-4 に近い黄褐色少量含む	
	2	10YR3-4 暗褐色	シルト			7	10YR5-4 に近い黄褐色	シルト		
	3	10YR1.7/1 灰色	-	炭化物含む		掘り方	8	7.5YR4-6 褐色	砂質シルト	
	4	10YR4-6 褐色	シルト	10YR5-6 黄褐色(砂少量)を含む			9	10YR4-6 褐色	砂質シルト	堆土少量を含む
	5	10YR3-2 黒褐色	シルト	炭化物・堆土多量を含む						

SI221 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物・堆土少量を含む、柱痕跡	P5	-	10YR3-3 暗褐色	シルト		
	2	10YR3-2 黒褐色	粘土	柱痕跡		P6	-	10YR3-4 暗褐色	シルト	10YR5-6 黄褐色(砂多量、炭化物影響)を含む
	3	10YR5-6 黄褐色	シルト	10YR3-4 暗褐色(砂多量)を含む		P7	-	10YR3-4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
	4	10YR3-4 暗褐色	シルト	10YR5-6 黄褐色(砂多量)を含む		P8	-	10YR4-4 褐色	砂質シルト	
P2	1	10YR3-4 暗褐色	シルト		P9	-	10YR3-4 暗褐色	シルト		
	2	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物少量を含む	P10	-	10YR3-4 暗褐色	シルト		
	3	10YR4-4 褐色	シルト	10YR3-2 黒褐色(砂少量)を含む	P11	-	10YR4-4 褐色	シルト		
P3	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	P12	-	10YR4-4 褐色	シルト	堆土少量を含む	
	2	10YR4-3 に近い黄褐色	シルト	10YR5-6 黄褐色(砂少量)を含む	P13	-	10YR3-3 暗褐色	シルト		
P4	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	10YR4-6 褐色(砂少量)を含む	SK1	1	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物少量、堆土多量を含む	
	2	10YR4-4 褐色	シルト	10YR4-6 褐色(砂多量)を含む		2	10YR3-4 暗褐色	シルト	炭化物多量を含む	

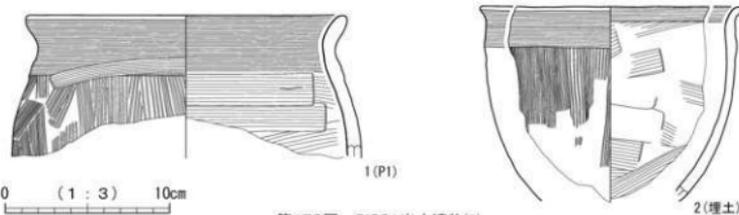
SI221 施設概要表

遺構名	平面形	幅(m)	長さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅(m)	長さ(m)	備考	
P1	不整形	84	60		P8	楕円形	20	9	15	
P2	不整形	100	77	47	P9	楕円形	17	15	16	
P3	楕円形	69	67	82	P10	楕円形	28	15	14	
P4	楕円形	75	57	84	P11	円形	23	22	13	
P5	楕円形	43	40	10	P12	円形	20	19	16	
P6	隅丸方形	68	59	20	P13	楕円形	40	36	14	
P7	楕円形	60	57	20	SK1	隅丸長方形	75	60	35	掘りぬき



第178図 SI221出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	形状	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-236	SI221	SK1	土師器	杯	(14.8 × × 3.6)	口縁部・体部299°, 底部299°	口縁部-底部91°	内面灰色地肌	120
2	C-237	SI221	埋土	土師器	杯	(15.0 × × 4.9)	口縁部299°, 体部-底部299°	口縁部299°, 体部-底部299°		120
3	C-239	SI221	SK1	土師器	甕	(19.8 × × 7.7)	口縁部299°, 胴部299°	口縁部299°, 胴部299°		120



第179図 SI221出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径・底径・器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-238	SI221	P1	土師器	甕	(19.1)×(8.7)	口縁部削平、胴部削平	口縁部削平、胴部削平		120
2	C-240	SI221	埋土	土師器	甕	(15.6)×(12.0)	口縁部削平、胴部削平	口縁部削平、胴部削平		120

### SI221 竪穴住居跡(第176~179図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、22・36・52グリッドに位置する。SD77に切れ、住居東側の約1/4が失われている。

[重複] SI213、SA1、SB23に切られる。

[規模・形態] 南北7.3mを測るかなり大型の住居で、平面形は方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・35°・Wである。

[堆積土・構築土] 9層に分層した。1~5層は住居埋土で、カマド付近に堆積する5層には多量の炭化物・焼土が混入していた。6層は周溝内堆積土、7層はカマド袖構築土である。8・9層は掘り方埋土で、やや砂質を呈する。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁8cm、南壁38cm、北壁4cmである。

[床面] 概ね9層上面を床面とし、南側でやや低くなるものの、全体としてはほぼ平坦である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1~4が主柱穴と考えられ、いずれからも柱の抜き取り痕跡が認められた。柱間寸法は38~40mである。P2~4は80cm以上の深い掘り込みを持つ。またP8~12は壁柱穴と考えられ、径15~20cm、深さ10~15cmを測る。

[周溝] カマド部分を除き残存する全辺において巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅10~20cm、深さは15cm前後で、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。袖部は削平されているものの、2/3程が残存しており、ハ字状に開いている。

[その他の施設] 土坑1基(SK1)及びピット4基(P5~7・13)を検出した。カマド右方にあるSK1の埋土には多量の焼土が含まれており、灰溜めピットとしての用途が考えられる。

[掘り方] 全体的に10~15cm程掘り込まれており、底面には若干の起伏が認められる。

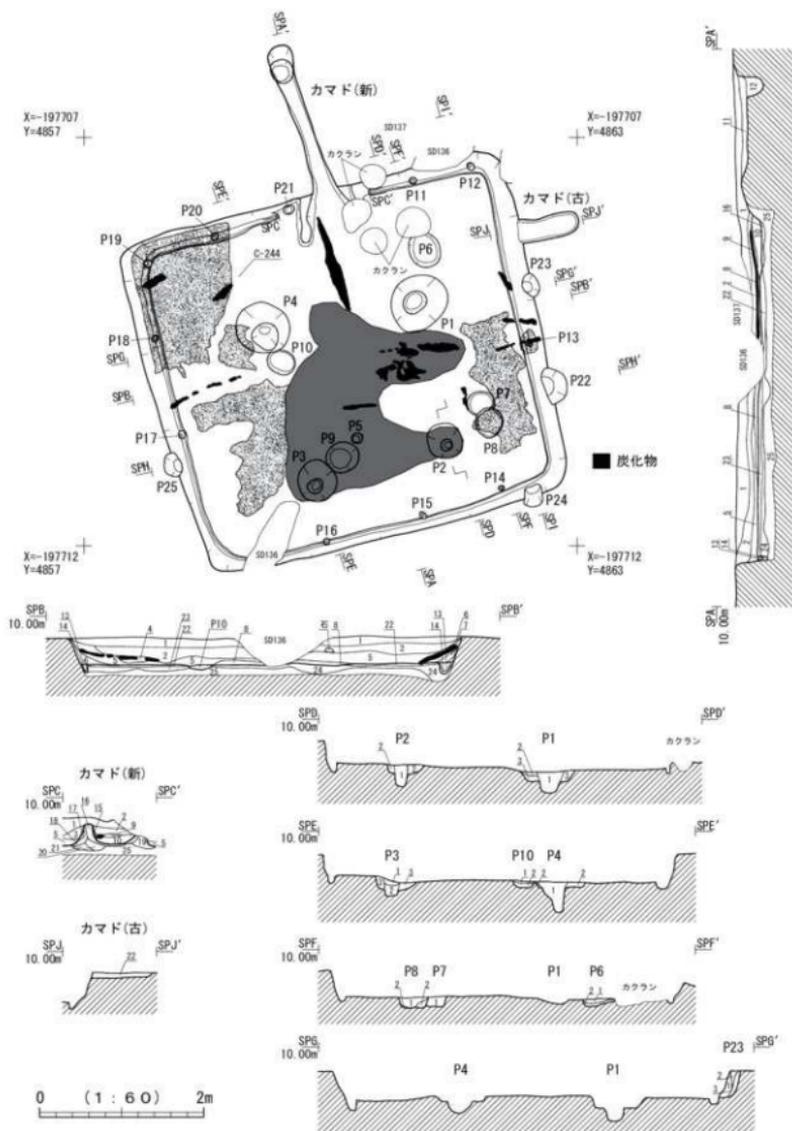
[出土遺物] 土師器環2点、甕3点を図示した。SK1から出土した第178図-1は、体部下位で屈曲し、外反気味に立ち上がる器形で、内面に黒色処理が施される。第178図-2は7世紀後半代の関東系土師器と思われるが、埋土中からの出土であり、本住居の構築年代を如実に示すものではない。しかし、本住居廃絶後の整地上に材木列SA1が構築されていることは、遺構の新旧関係から明白であり、本資料は寧ろ、材木列の構築年代を推定する上で重要な資料と言える。

### SI222 竪穴住居跡(第180~183図)

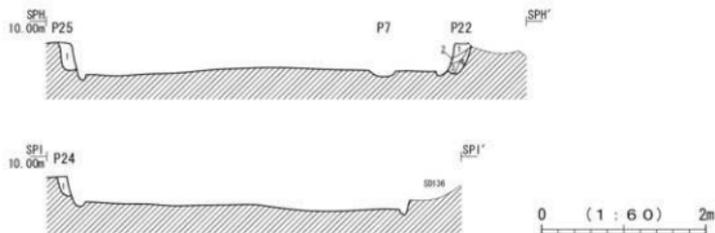
[位置・確認面] 4 C 西区中央、47・48・63・64グリッドに位置する。

[重複] SI223・235・238を切る。

[規模・形態] 東西4.8m、南北4.3mを測り、ほぼ方形を呈する。



第180図 SI222竪穴住居跡(1)



第181図 SI222竪穴住居跡(2)

S222 埋土目録表

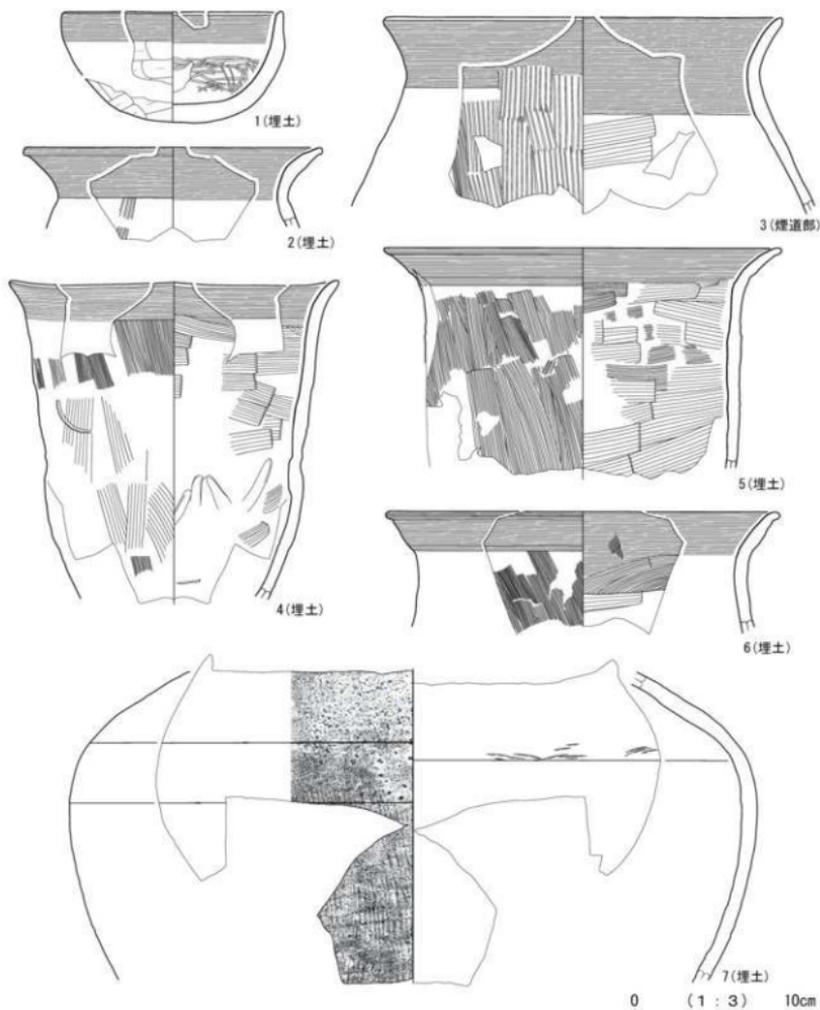
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	堆山ブナ少量含む	P7 P22	14	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物少量含む		15	2.5YR4/4 に近い赤褐色	シルト	焼熟している
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む		16	2.5YR3/2 暗赤褐色	シルト	焼熟している
	4	2.5YR3/2 暗赤褐色	シルト	焼土含む		17	10YR3/2 暗褐色	シルト	
	5	10YR3/3 暗褐色	シルト	堆山ブナ少量、炭化物・焼土多量を含む		18	2.5YR4/3 に近い赤褐色	シルト	
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト			19	10YR5/6 黄褐色	シルト	
	7	2.5YR3/2 暗赤褐色	シルト			20	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	
	8	2.5YR4/6 赤褐色	シルト			21	10YR5/6 黄褐色	シルト	
カマド (薪)	9	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む	カマド (古)	22	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物微量を含む
	10	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物多量、焼土多量を含む		23	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	貼床
	11	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量を含む		24	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	
	12	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物多量を含む		25	10YR6/6 明黄褐色	シルト	
	13	10YR4/4 褐色	シルト						

S222 埋設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	炭化物少量含む	P12	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	2	2.5YR4/2 灰赤色	シルト			P13	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
P2	1	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む	P14	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	焼土微量を含む		P15	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
P3	1	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		P16	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			P17	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト			P18	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
P4	1	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		P19	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト			P20	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
P5	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P21	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む		P22	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		2	10YR5/4 に近い黄褐色		シルト			
3	10YR4/4 褐色	シルト		3	10YR4/4 褐色		シルト			
P7	1	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	炭化物微量を含む	P23	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物微量を含む	
	2	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト			2	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		
P9	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P24	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	1	2.5YR4/2 灰赤色	シルト	炭化物多量を含む		P25	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
P11	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト							

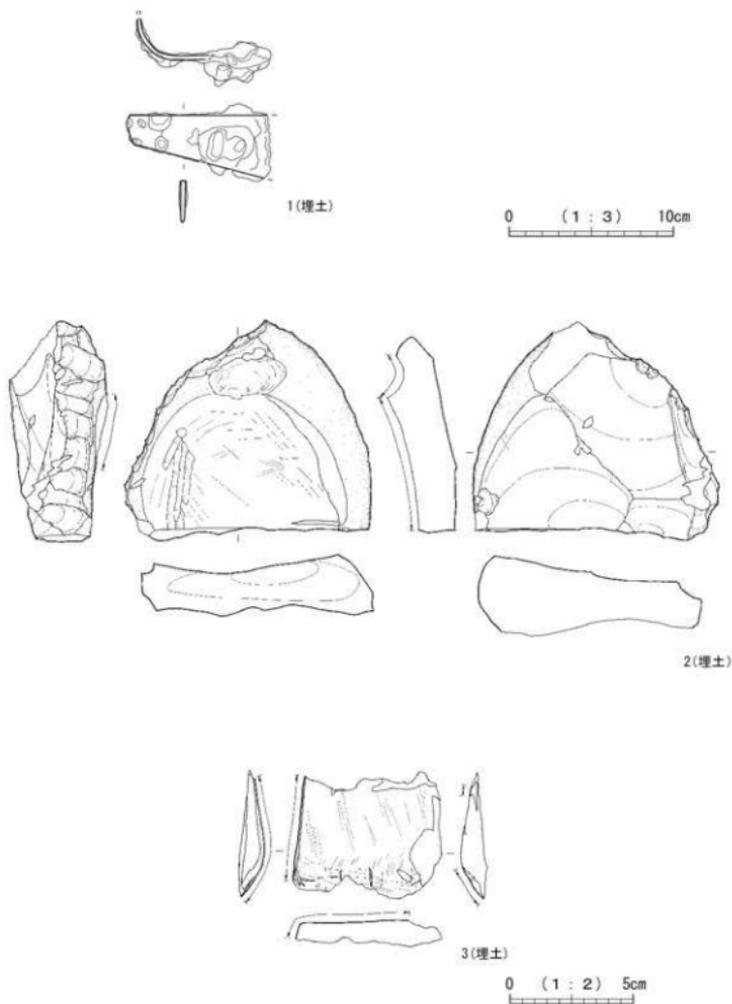
S222 施設概観表

遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	72×63	27		P14	円形	6×6	5	
P2	円形	40×40	28		P15	円形	8×7	5	
P3	円形	49×49	19		P16	円形	7×7	5	
P4	楕円形	66×59	35		P17	円形	8×8	5	
P5	円形	30×28	6		P18	円形	7×7	5	
P6	(楕円形)	169×38	8	灰層めビット	P19	円形	8×8	5	
P7	(円形)	34×(29)	9		P20	円形	8×7	5	
P8	円形	37×34	10		P21	(円形)	30×(29)	33	
P9	円形	42×37	25		P22	(円形)	45×(29)	36	副溝に切られる
P10	楕円形	36×30	8	灰層めビット	P23	(円形)	30×(29)	31	副溝に切られる
P11	円形	9×8	7		P24	(円形)	24×24	26	副溝に切られる
P12	円形	9×8	5		P25	円形	12×10	10	副溝に切られる
P13	円形	8×7	5						



第182図 SI222出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-241	SI222	埋土	土師器	環	131×××68	白緑部 <sup>222F</sup> 、体部 <sup>222F</sup> 、底部 <sup>222F</sup>	白緑部—底部 <sup>222F</sup>		120
2	C-245	SI222	埋土	土師器	甕	180×××68	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>		120
3	C-243	SI222	煙道部	土師器	甕	236×××120	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>		120
4	C-244	SI222	埋土	土師器	甕	198×××196	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup> →全面 <sup>222F</sup>	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>		120
5	C-242	SI222	埋土	土師器	甕	241×××142	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup> → <sup>222F</sup>		120
6	C-246	SI222	埋土	土師器	甕	236×××75	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>	白緑部 <sup>222F</sup> 、胴部 <sup>222F</sup>		120
7	E-55	SI222	埋土	須恵器	甕	×××196	平行帯目	白 <sup>222F</sup> ・赤 <sup>222F</sup>	外面調整済	121



第183図 SI222出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考				写真掲載
1	N-046	SI222	埋土	鉄製品	鎌	基部を3.0cm程折り曲げ、遺存長9.8cm、最大幅2.8、幅厚0.3cm				121
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(m)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
2	K6-030	SI222	埋土	石製品	砥石	8.4×10.0×3.5	169.1	黒閃石	面取り、板状、磨緑に加工あり	121
3	K6-031	SI222	埋土	石製品	砥石	5.1×5.8×1.0	28.6	砂質頁岩	面取り、板状、欠損品	121

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド(新)基準でN-16°-Wである。

[堆積土・構築土] 25層に分層した。1~8層は住居埋土であり、4・5層上面には多量の材を含む炭化物が広がっており、7層は住居壁際に、8層は住居中央部に堆積する焼土である。このことから4層以下の床面に至る土層は、住居焼失に関連するものと考えられる。9・10層はカマド内堆積土、11・12層は煙道部内堆積土、13・14層は周溝内堆積土である。カマド袖構築土は15~21層に細分でき、16層に被熱痕跡が認められる。22層はカマド(古)の煙道部内堆積土、23層は貼床、24・25層が掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁33cm、西壁40cm、南壁29cm、北壁40cmである。

[床面] 23・24層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1~4が主柱穴と考えられ、柱間寸法は1.7~2.0mである。またP22~25が壁柱穴、P11~21が補助的な壁柱穴と考えられる。

[周溝] 北辺のカマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。底面幅が3~8cmと狭く、深さは2~13cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央にてカマド(新)を、東辺北寄りにてカマド(古)を、それぞれ検出した。東辺のカマドは住居プランに切られているため、古段階のものと考えられる。カマド(新)では右袖部が攪乱によって若干尖わっているものの、両袖部が残存しており、ハ字状に開いている。袖部の長さは約60cm、高さは床面から5~20cm程残っている。煙道部は長さ185cm、幅20~30cm、深さ15cmで、先端部には深さ35cmのビット状の窪みが認められる。カマド(古)は煙道部の痕跡が僅かに認められた程度で、残存値で長さ75cm、幅28cmを測る。

[その他の施設] ビット6基(P5~10)を検出した。P6・10は灰溜めビットとしての用途が考えられる。

[掘り方] 全体的に10~20cm程掘り込まれており、底面には緩やかな起伏が認められる。

[出土遺物] 床面からの出土遺物はない。煙道部から第182図-3、埋土下層から第182図-4が出土した。

#### SI223 壁穴住居跡(第184・185図)

[位置・確認面] 4C西区中央、47・63・77グリッドに位置する。

[重複] SI222に切られ、SI235・238を切る。

[規模・形態] 東西4.8m、南北4.6mを測り、ほぼ方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-23°-Wである。

[堆積土・構築土] 17層に分層した。1~3層は住居埋土、4~10層はカマド関連層位、11層は周溝内堆積土、12・13層はカマド袖構築土、14~17層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁32cm、西壁30cm、南壁25cm、北壁30cmである。

[床面] 概ね17層上面を床面とする。床面には緩やかな起伏が認められる。

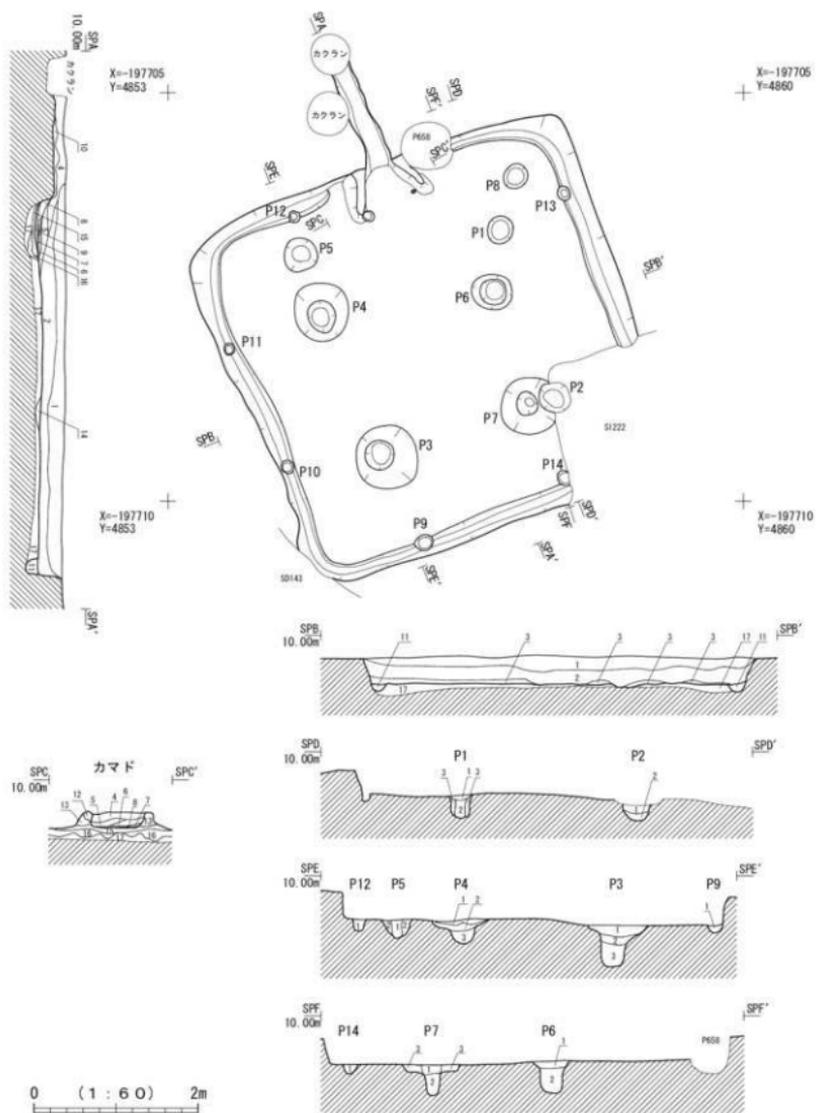
[柱穴] 配置・形状・規模からP1~4・7が主柱穴と考えられ、柱間寸法は1.8~2.3mである。またP9~14は、この主柱穴の軸線上に規則正しく配された壁柱穴と考えられる。

[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅10~15cm、深さは10~15cmで、断面形は半円形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、ハ字状に開いている。袖部の長さは約60~65cm、高さは床面から15~20cm程残っている。燃焼部は奥行70cm、幅37~73cmを測る。袖部付近の床面では袖石の可能性のある自然礫を検出している。煙道部は幅20cm前後、深さ15cm前後で、先端は攪乱により失われる。

[その他の施設] 4基のビット(P5~8)を検出した。

[掘り方] 周溝底面レベル付近までの掘り込みである。底面は中央部が緩やかに高まる形状である。



第184図 SI223竪穴住居跡

## S223 埴土日記表

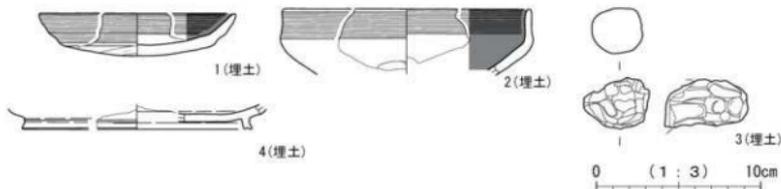
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
粗土	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		カマド	10	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	埴土少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	同層		11	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト			12	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	埴土微量を含む
ホマド	4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		網り方	13	10YR7/2 に近い黄褐色	シルト	炭化物微量を含む
	5	7.5YR4/1 褐色	シルト			14	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	埴土微量を含む
	6	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			15	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	
	7	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			16	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	8	7.5YR4/1 褐色	シルト			17	10YR7/4 に近い黄褐色	シルト	
	9	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト						

## S223 埴器埴土日記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	埴山アコケ含む	P6	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	埴山アコケ埴土微量を含む	
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	3	10YR7/6 明黄褐色	シルト			P7	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	埴山アコケ炭化物微量を含む
P2	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	埴山アコケ含む	2		10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		3		10YR5/3 に近い黄褐色	シルト		
P3	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	埴山アコケ含む	P8	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			P9	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
	3	10YR6/3 に近い黄褐色	シルト				P10	-	10YR6/1 褐色	シルト
P4	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P11	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		P12	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	3	10YR6/3 に近い黄褐色	シルト		P13	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
P5	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P14	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	埴山アコケ少量含む						

## S223 埴器観察表

遺構名	平面形	底径 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	底径 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	33×32	28		P8	円形	29×28	18	
P2	円形	38×35	25		P9	円形	19×20	7	
P3	隅丸方形	77×74	49		P10	円形	16×16	11	
P4	隅丸方形	73×66	31		P11	円形	16×14	7	
P5	円形	29×29	22		P12	円形	18×18	9	
P6	円形	46×46	42		P13	円形	18×16	11	
P7	円形	70×63	36		P14	(円形)	19×14	14	



第185図 SI223出土遺物

調査番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-248	S223	埴土	土師器	杯	φ1.9×××φ2.0	口縁部～体部まで、底部まで	磨耗、口縁部まで		内面黒色処理 121
2	C-247	S223	埴土	土師器	杯	φ5.0×××φ1.0	口縁部まで、体部～底部まで			内面黒色処理 121
3	C-249	S223	埴土	土師器	把子	××××	遺存長5.0、基部径3.0cm程を測る。指頭調整			121
4	E-56	S223	埴土	須恵器	高台付盤	××(14.0)×1.5	調整、底部径φ9.3→高台付	調整		121

〔出土遺物〕 図示した資料はいずれも埋土中から出土した破片資料である。第185図-4は須恵器高台付盤で、高台部は底部というより寧ろ体部下端に位置する。

## SI224A 竪穴住居跡(第186～188図)

〔位置・確認面〕 4 C西区中央南側、31・32・47・48グリッドに位置する。住居南側部分が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約2/3である。

〔重複〕 SI235を切る。

〔規模・形態〕 東西6.3mを測り、ほぼ方形を呈するものと思われる。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-16°-Wである。

[堆積土・構築土] 14層に分層した。1～3層は住居埋土、4～7層はカマド関連層位、8層は周溝内堆積土、9～11層はカマド袖構築土、12～14層は掘り方埋土で、SI224A・B床面間に堆積する。

[壁面] やや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は東壁21cm、西壁22cm、北壁21cmである。

[床面] 概ね13層上面を床面とする。起伏の認められる部分もあるが、ほぼ平坦である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1・2が主柱穴と考えられ、いずれにも柱痕跡が認められた。柱間寸法は3.5m内外である。また、P3・4はP1の補助柱穴、P5～9は壁柱穴と考えられる。

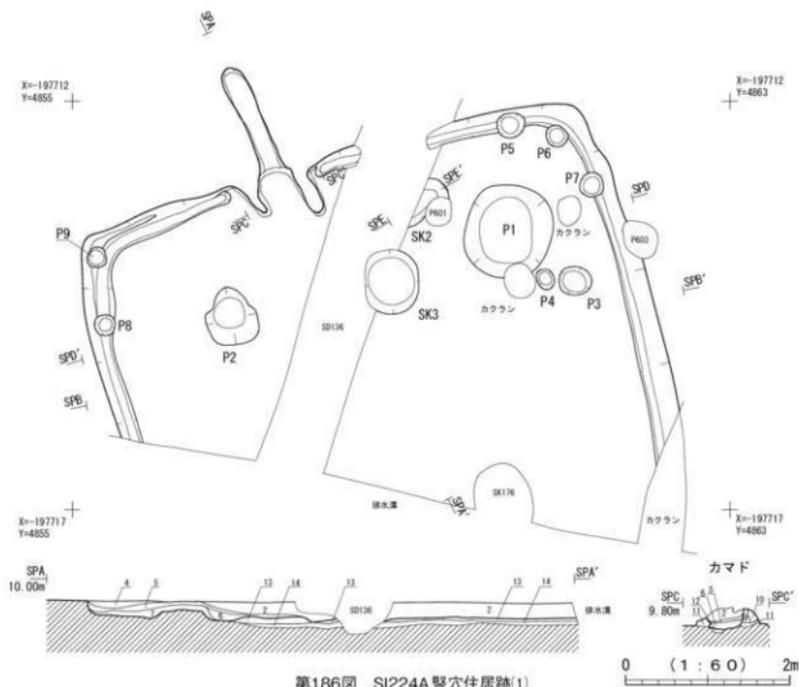
[周溝] カマド部分を除き残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅10～15cm、深さは10cm前後で、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央よりやや西側に寄ったところで検出した。両袖部とも残存しており、ハ字状に開く。袖部の長さは約45～55cm、高さは床面から10～20cm程残っている。燃烧部は奥行65cm、幅40cmを測る。煙道部は長さ147cm、幅25cm前後、深さ5cm前後で、先端部は窪まずに立ち上がる。

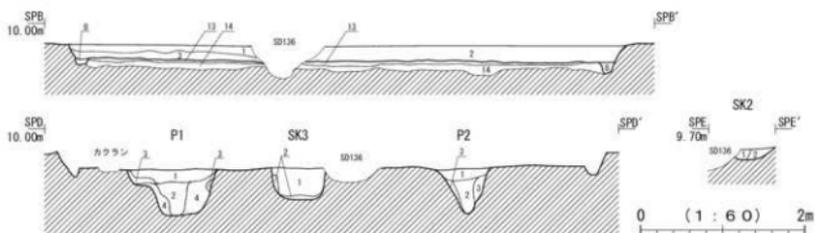
[その他の施設] 土坑2基(SK2・3)を検出した。

[掘り方] 周溝底面レベル付近までの掘り込みで、底面には起伏が認められる。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器坏2点、甕1点を図示した。第188図-1・2は両者ともに内面にヘラミガキが認められ、第188図-1はヘラミガキ後に黒色処理される。第188図-3は最大径が口縁部にあり、外面にはヘラナデ調整が施されている。



第186図 SI224A 竪穴住居跡(1)



第187図 SI224A竪穴住居跡②

SI224A 埋土柱記録表

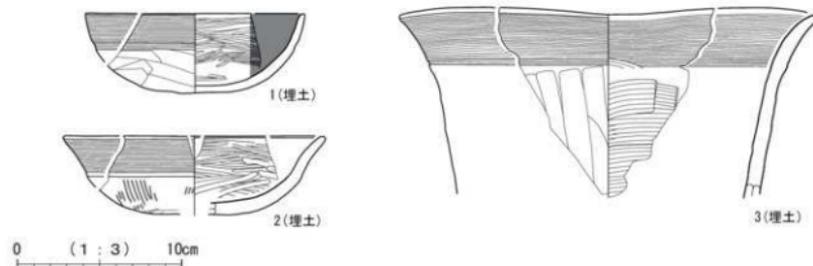
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P1	8	10YR4/3 じぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト			9	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物多量に含む
	3	10YR4/3 じぶい黄褐色	シルト			10	10YR5/6 黄褐色	シルト	炭化物微量に含む
キマド	4	10YR4/4 褐色	シルト		P2	11	10YR4/2 褐色	シルト	
	5	10YR3/2 暗褐色	シルト			12	10YR3/2 暗褐色	シルト	
	6	10YR3/2 暗褐色	シルト			13	10YR3/2 暗褐色	シルト	
	7	10YR3/2 暗褐色	シルト			14	10YR4/6 褐色	シルト	

SI224A 施設埋土柱記録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		P5	-	10YR3/4 じぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	柱痕跡	P6	-	10YR5/4 じぶい黄褐色	シルト	
	3	10YR3/1 暗褐色	シルト		P7	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	4	10YR4/4 褐色	シルト		P8	-	10YR5/4 じぶい黄褐色	シルト	
P2	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	柱痕跡	P9	-	10YR5/4 じぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	柱痕跡	SK2	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	
	3	10YR3/2 暗褐色	シルト		2	10YR4/4 褐色	シルト		
P3	-	10YR4/3 じぶい黄褐色	シルト	SK3	1	10YR3/2 暗褐色	シルト		
P4	-	10YR4/3 じぶい黄褐色	シルト	2	10YR4/6 褐色	シルト			

SI224A 施設柱記録表

遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	113×106	55		P7	円形	29×28	15	
P2	楕円形	91×71	54		P8	円形	25×24	14	
P3	楕円形	39×34	13		P9	円形	24×22	12	
P4	円形	34×22	10		SK1	円形	56×55	10	
P5	円形	33×29	10		SK2	楕円形	77×44	12	
P6	円形	26×25	18		SK3	円形	78×64	36	



第188図 SI224A出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-251	SI224A	埋土	土師器	杯	(33.2) × × (4.9)	口縁部297°、口縁部-底部縁に297°	口縁部-底部913°		内面茶色地層	121
2	C-250	SI224A	埋土	土師器	杯	(35.7) × × (4.8)	口縁部297°、後部-底部913°→297°	口縁部-底部913°			121
3	C-252	SI224A	埋土	土師器	羹	(25.2) × × (11.0)	口縁部297°、胴部297°	口縁部297°、胴部297°			121

SI224B 竪穴住居跡(第189～191図)

[位置・確認面] 4 C 西区中央南側、31・32・47・48グリッドに位置する。SI224A 掘り方調査中に別の床面遺構プランを検出し、これをSI224Bとした。

[重複] SI235を切る。

[規模・形態] 検出できた周溝外端間で東西5.0mを測る。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-16°-Wである。

[堆積土・構築土] 5層に分層した。1～3層はカマド煙道部内堆積土、4層は周溝内堆積土、5層は掘り方埋土である。

[床面] 5層上面を床面とするものと考えられるが、同層上面では大きな起伏が認められる。住居拡張時に床面の破壊があったものと思われる。

[柱穴] 位置的にP10・11が主柱穴の可能性ある。

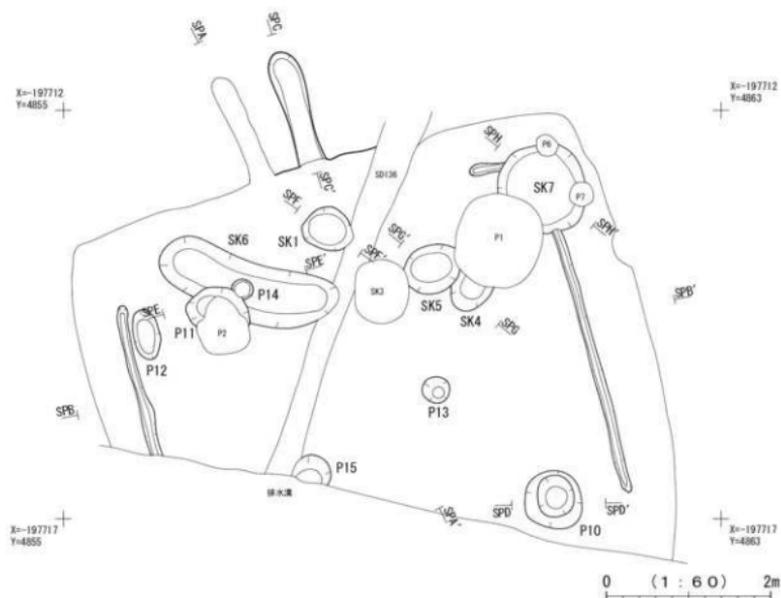
[周溝] 竪穴プランが検出できなかったため、周溝と壁面との位置関係は不明であるが、東・西辺と北辺の一部で検出した。拡張時に上位に削平を受けたものと思われるが、残存値で幅10cm前後、深さは5cm前後、断面形はU～V字形に近い。

[カマド] 北辺で、SI224A 竪穴プランに切られながらも煙道部を検出した。長さ138cm、幅40cm前後、深さ30cm前後である。SI224A 同様、先端は窪まずに立ち上がる。

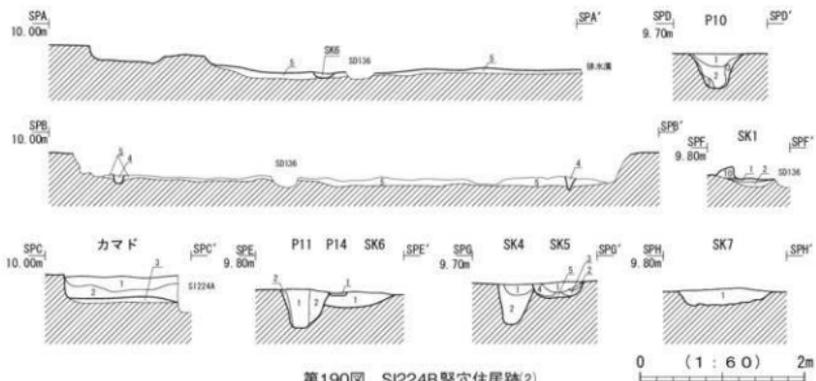
[その他の施設] 土坑5基(SK1・4～7)及びピット4基(P12～15)を検出した。

[掘り方] 周溝底面よりやや浅いところまでの掘り込みで、住居北西側が僅かに高まる形状を呈する。

[出土遺物] SK4から大型の土錘破片が出土した。外径2.6cm、孔径0.6cmを測る。



第189図 SI224B 竪穴住居跡(1)



第190図 SI224B竪穴住居跡(2)

SI224B 埋土柱記表

層位	層位	土色	土性	備考	層位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	10YR5-3 にぶい・黄褐色	シルト		相違	4	10YR3-3 暗褐色	シルト	
	2	10YR4-4 褐色	シルト		継り方	5	10YR5-4 にぶい・黄褐色	シルト	
	3	10YR3-4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む					

SI224B 埋土柱記表

層位	層位	土色	土性	備考	層位	層位	土色	土性	備考
P10	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		SK1	2	10YR3-4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4-4 褐色	シルト			SK4	1	10YR4-1 暗褐色	シルト
	3	10YR4-6 褐色	シルト		2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	炭化物微量を含む	
P11	1	10YR4-3 にぶい・黄褐色	シルト		SK5	1	10YR4-1 暗褐色	シルト	
	2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			2	10YR4-3 にぶい・黄褐色	シルト	
P12	1	10YR5-4 にぶい・黄褐色	シルト			3	10YR3-3 暗褐色	シルト	
	2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			4	10YR3-1 暗褐色	シルト	
P13	1	10YR5-3 にぶい・黄褐色	シルト			5	10YR5-4 にぶい・黄褐色	シルト	炭土微量を含む
P14	1	10YR5-3 にぶい・黄褐色	シルト		SK6	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
P15	1	10YR5-3 にぶい・黄褐色	シルト		SK7	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	
SK1	1	10YR2-2 暗褐色	シルト						

SI224B 埋土柱記表

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P10	円形	70×68	41		P15	円形	45×39	13	
P11	楕円形	60×149	47		SK4	(楕円形)	148×99	48	
P12	楕円形	60×31	4		SK5	楕円形	67×59	18	
P13	円形	33×32	12		SK6	楕円形	219×71	18	
P14	円形	32×28	3		SK7	円形	108×107	18	



1 (SK4)

0 (1:3) 10cm

第191図 SI224B出土遺物

発掘番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真掲載
1	P-22	SI224B	SK4	土製品	土師	(4.3×径2.0×孔径0.6)	27.5	断面調整	121

SI225 竪穴住居跡(第192～194図)

[位置・確認面] 4C西区中央、77・78・91グリッドに位置する。

[重複] SI227・238・239を切る。SI226とも僅かに切り合い、本住居が古いものとして調査を進めた。

[規模・形態] 東西4.7m、南北3.7mを測り、平面形は隅丸長方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-5°-Eである。

[堆積土・構築上] 13層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～3層は住居埋土、4～6層はカマド関連層位、

10層は周溝内堆積土、11層はカマド袖構築土、12・13層は掘り方埋土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁12cm、西壁13cm、南壁24cm、北壁10cmである。

〔床面〕12層上面を床面とする。僅かであるが住居中央部が高まる形状である。

〔柱穴〕ピットの検出状況及び規模から考えて、棟持柱タイプの住居構造と思われる。その場合東辺ではP16・17、住居中央ではP1・2、西辺ではP12・13が主柱穴と考えられる。P13は土層断面観察の結果、周溝よりも古いことが確認されている。東辺ではピットの切り合いが認められるため、建て替えの可能性が想定できる。また、P3～11・14は位置・規模から壁柱穴の可能性もある。

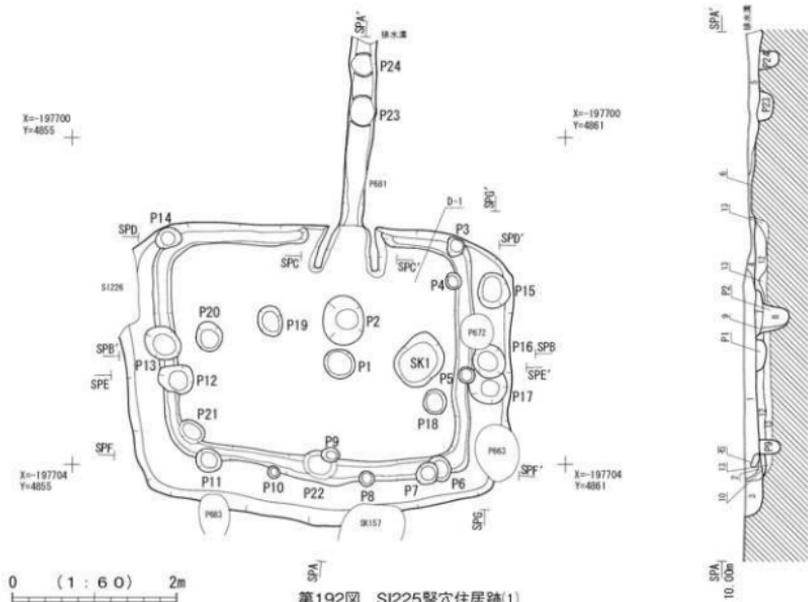
〔周溝〕カマド部分を除き全周する。北辺では壁面直下で検出されたもの、他辺では壁面から50～60cm離れた位置で検出された。幅20～30cm、深さは約20cmで、断面形はU字形に近い。

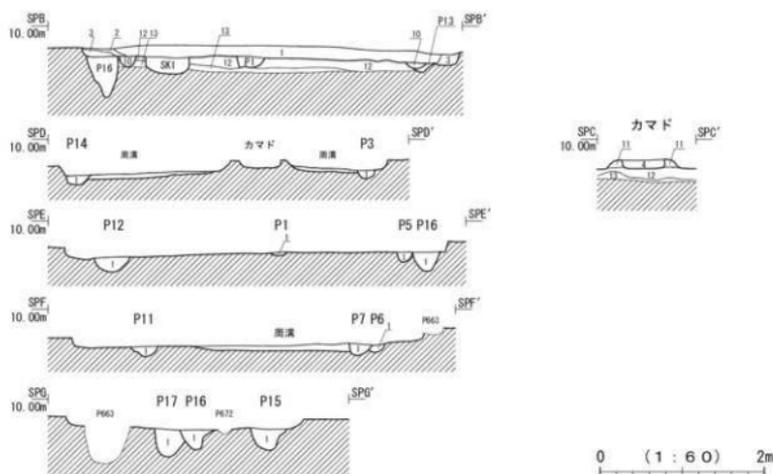
〔カマド〕北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部とも残存しており、ハ字状に開く。袖部の長さは約55cm、高さは床面から5～10cm程残っている。燃焼部は奥行65cm、幅30～58cmを測る。煙道部の先端は攪乱により失われるが、残存する長さは225cm、幅25～30cm、深さ10cm前後である。煙道部の途中には径約30cm、深さ20cm前後の2基のピットが認められた。

〔その他の施設〕上記以外に土坑1基(SK1)、ピット6基(P15・18～22)を検出した。P21・22は周溝の下から検出されており、P22はP1・2と一直線に並んでいる。

〔掘り方〕全体的に15～20cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

〔出土遺物〕床面からロクロ土師器甕が出土している他、埋土中から土師器環・須恵器環・土製紡錘車・鉄製刀子等が出土している。これら出土遺物全体から考えると、本住居は本遺跡では比較的新しい時期に帰属すると推測される。





第193図 SI225竪穴住居跡(2)

SI225 埋土目録表

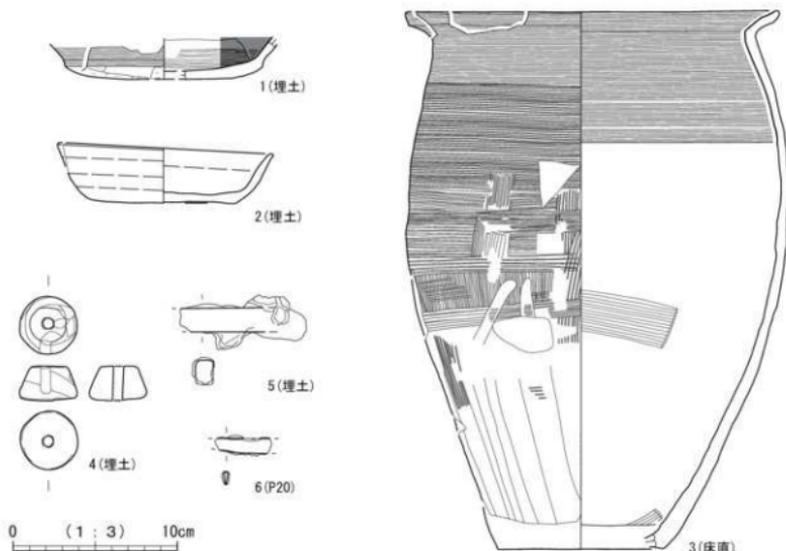
層位	層位	土色	土性	備考	層位	層位	土色	土性	備考
層1	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト		カマド	P2	8	10YR3/4 暗褐色	シルト
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土微量を含む		9	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土アツク少量、焼土微量を含む		10	10YR4/4 褐色	シルト	
カマド	4	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	焼土多量を含む	97F 基材	11	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土微量を含む
	5	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	炭化物多量を含む	掘り方	12	10YR4/6 褐色	砂質シルト	10YR3/4 暗褐色に少量、焼土微量を含む
	6	10YR4/6 褐色	シルト		13	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト		
	P2	7	10YR4/4 褐色	シルト					

SI225 施設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/4 褐色	シルト		P14	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	-	-	(層1.7~9Cに対応)	P15	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P3	1	-	-		P16	1	10YR4/4 褐色	シルト	
P4	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P17	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P5	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P18	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P6	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P19	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量を含む
P7	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		P20	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む
P8	-	10YR4/4 褐色	シルト		P21	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P9	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土微量を含む	P22	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土微量を含む
P10	-	10YR4/4 褐色	シルト		P23	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量を含む
P11	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む	P24	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む
P12	1	10YR4/4 褐色	シルト		SK1	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P13	-	10YR4/6 褐色	シルト						

SI225 施設概要表

遺構名	平面形	底長 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	底長 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	36×34	8		P14	楕円形	32×24	6	
P2	楕円形	59×49	34		P15	楕円形	42×36	26	
P3	不整形	22×21	15		P16	楕円形	42×36	23	
P4	円形	21×21	21		P17	楕円形	45×42	30	
P5	円形	19×18	15		P18	円形	28×27	16	
P6	楕円形	34×18	12		P19	楕円形	35×28	17	
P7	楕円形	31×27	11		P20	楕円形	34×32	5	
P8	円形	18×17	11		P21	楕円形	31×21	10	掘溝下で検出
P9	楕円形	21×17	17		P22	楕円形	36×32	5	掘溝下で検出
P10	円形	14×14	10		P23	楕円形	38×33	18	
P11	楕円形	32×27	11		P24	円形	33×30	24	
P12	不整形	45×32	18		SK1	掘丸状方形	64×52	8	
P13	楕円形	46×36	23	掘溝より含む					



第194図 SI225出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-253	SI225	埋土	土師器	杯	××××2.5	口縁部399°、底部391°	口縁部～底部398°	内面着色処理	122
2	E-57	SI225	埋土	須恵器	杯	13.2×8.6×3.7	979調整、底部96°→92°	979調整		122
3	D-1	SI225	床直	991層位	甕	22.5×10.2×32.8	979調整、胴部94°→下部991°	979調整		122
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真掲載
4	P-23	SI225	埋土	土製品	紡錘車	2.1×1.835×0.180.6	28.0	断面調整、399°		122
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考				写真掲載
5	N-048	SI225	埋土	鉄製品	不明	断面隅丸長方形。遺存長5.0以上、幅1.4、厚み1.3cm				122
6	N-050	SI225	P20	鉄製品	刀子	遺存長3.4、最大幅0.9、極厚0.3cm				122

#### SI226 竪穴住居跡(第195～198図)

〔位置・確認面〕4C西区西側、77・91グリッドに位置する。

〔重複〕SB27に切れ、SI227・228・239を切る。SI225とも僅かに切り合い、本住居が新しいものとして調査を進めた。

〔規模・形態〕東西3.8m、南北3.7mを測り、方形を呈する。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-12°-Wである。

〔堆積土・構築土〕16層に分層した。1～3層は住居埋土、4～9層はカマド関連層位、10層は周溝内堆積土、11・12層はカマド袖構築土、13～16層は掘り方埋土である。

〔壁面〕直立或いはやや開き気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁20cm、西壁26cm、南壁17cm、北壁25cmである。

〔床面〕概ね14層上面を床面とする。床面上には緩やかな起伏が認められる。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、柱間寸法は1.5～1.8mである。

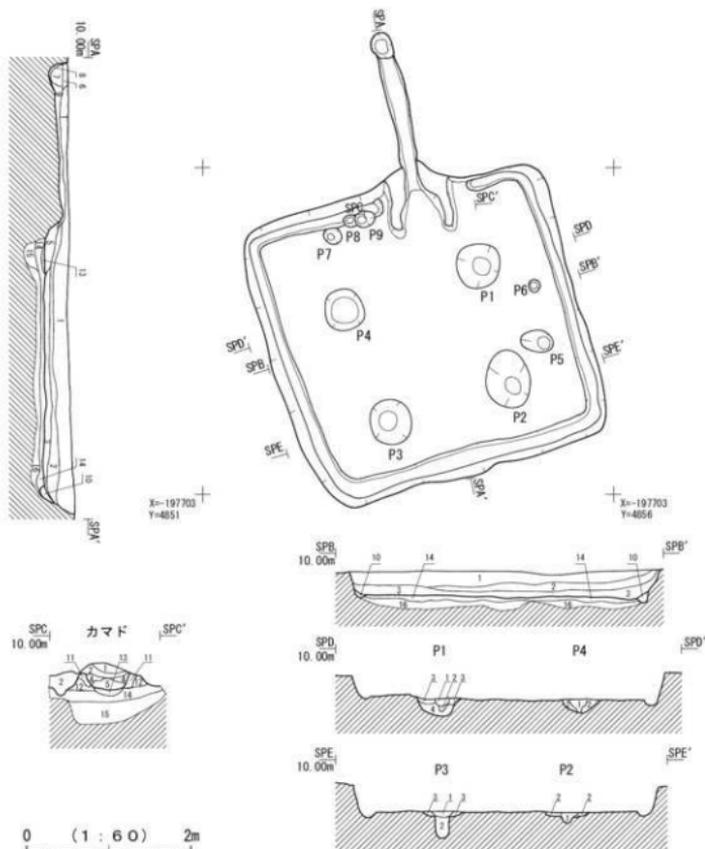
〔周溝〕 カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅15～20cm、深さは5cm前後で、断面形はU字形に近い。

〔カマド〕 北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部とも残存しており、壁面からはほぼ平行に並んで延びる。袖部の長さは約70～80cm、高さは床面から15～20cm程残っている。燃焼部は奥行き57cm、幅15～50cmを測る。煙道部は長さ183cm、幅18cm、深さ15cm前後を測る。先端は楕円形のビット状を呈し、深さ18cmを測る。

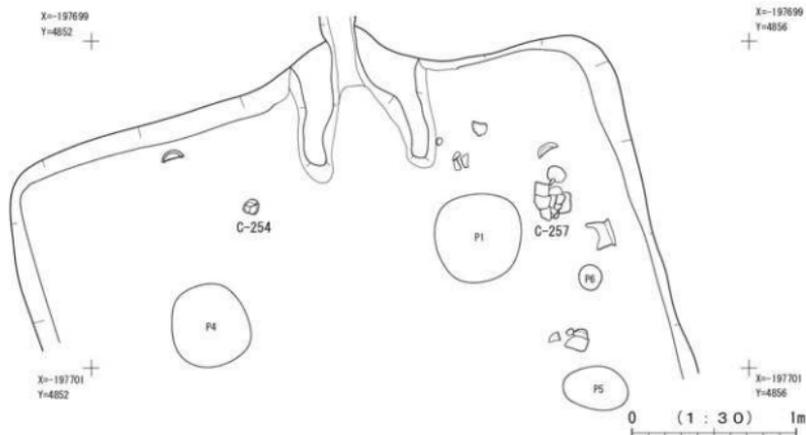
〔その他の施設〕 ビット5基(P5～9)を検出した。東辺に位置するP5・6は、出入口部に関連するものである可能性がある。またカマド左方に検出されたP7～9は、カマドに付随した施設であることが推測される。

〔掘り方〕 底面には大きな起伏が認められるが、全体として中央がやや高まる形状となっている。

〔出土遺物〕 床面から出土した土師器坏第197図-2は、底部がやや扁平で、内面に黑色処理が施される。また、P4からは破片ではあるが、内湾する体部から口縁部が短く直立する関東系土師器坏第197図-1が出土している。



第195図 SI226竪穴住居跡(1)



第196図 SI226竪穴住居跡(2)

SI226 埴土柱記表

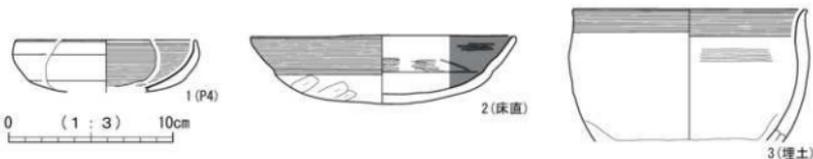
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埴土	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		カマド	9	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト			9a	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト			11	10YR3/3 暗褐色	シルト	
カマド	4	5YR6/2 灰褐色	シルト		掘方	12	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	5	7.5YR4/4 褐色	シルト	灰化物・焼土少量含む		13	7.5YR4/1 褐色	シルト	
	6	2.5YR4/6 赤褐色	シルト	焼土少量含む		14	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	7	7.5YR3/1 黒褐色	シルト			15	10YR3/2 黒褐色	シルト	
	8	7.5YR2/1 黒色	シルト			16	10YR6/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	

SI226 埴土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P3	3	10YR4/1 褐色	シルト	
	2	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト			P4	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト		2		10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
	4	10YR6/3 にぶい黄褐色	シルト		P5	-	10YR2/2 黒褐色	シルト	
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	-		10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		
P3	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		P7	-	2.5Y6/2 灰黄色	シルト	
	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		P8	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト		P9	-	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	

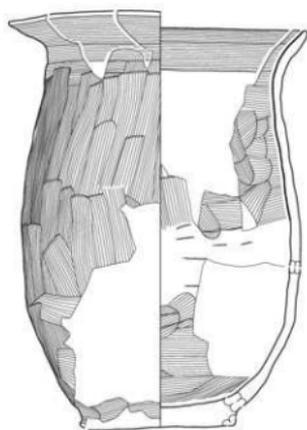
SI226 埴土柱記表

遺構名	平面形	底径 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	底径 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	54×52	25		P6	円形	15×14	4	
P2	楕円形	72×54	17		P7	楕円形	23×20	24	
P3	楕円形	55×49	37		P8	(円形)	15×(底)	11	
P4	円形	51×46	22		P9	楕円形	35×20	18	
P5	楕円形	39×27	19						

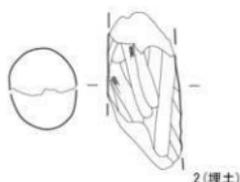


第197図 SI226出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	種類	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-255	S1226	P4	土師器	環	10.80××(底)1	口縁部399F、体部～底部399F	磨光、口縁部～底部399F	122
2	C-254	S1226	床直	土師器	環	16.0××(底)2	口縁部399F、底部399F	口縁部～底部399F	内面黒色処理 122
3	C-256	S1226	埴土	土師器	壺	14.0××(底)0	磨光、口縁部399F、胴部399F	口縁部399F、胴部399F	122



1(床直)



2(埋土)

0 (1:3) 10cm

第198図 SI226出土遺物②

図録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-257	SI226	床直	土師製 甕	191×93×25.1	11線部H99F、胴部H99F、底面本敷色	11線部H99F、胴部-底面H99F		122
図録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真 図版	
2	P-21	SI226	埋土	土製品 支脚	径約×厚1.5	131.1	焼熱痕あり、表面調整		122

#### SI227 竪穴住居跡(第199-200図)

[位置・確認面] 4C西区西側、77グリッドに位置する。

[重複] SI225・226・228に切られ、SI245を切る。

[規模・形態] 東西48mを測り、ほぼ方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-35°-Wである。

[堆積土・構築土] 7層に分層した。1~4層は住居埋土、5~6層は周溝内堆積土、7層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁31cm、南壁29cmである。

[床面] 7層上面を床面とし、ほぼ平坦面である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1~4が主柱穴と考えられ、柱間寸法は2.0~2.3mである。

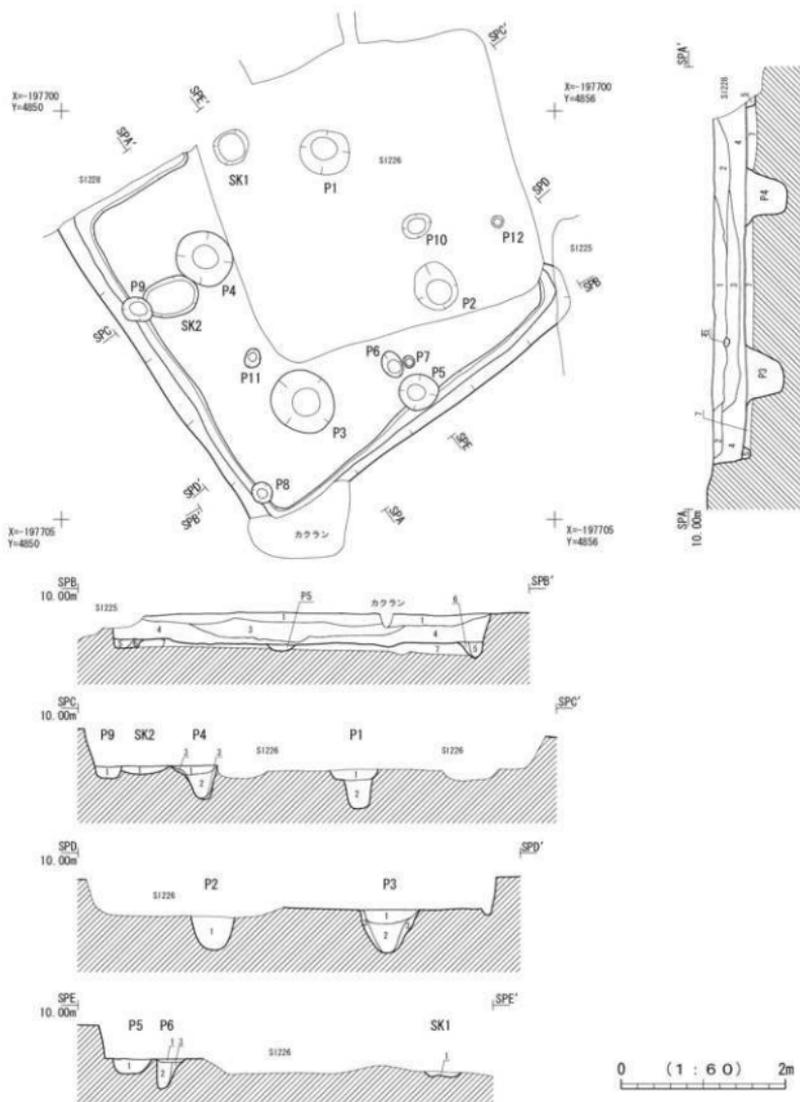
[周溝] 残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅10~15cm、深さは5~10cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央において、43×40cmを測る平面円形のSK1を検出した。SK1は焼土を多量に含んでおり、また周溝が本遺構の西側で途切れていることから、カマドと推測された。

[その他の施設] 土坑1基(SK2)及びピット8基(P5~12)を検出した。

[掘り方] 全体的に10cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 土師器壺1点、銅製耳環1点を図示した。耳環は埋土中からの出土であるが、今次調査で唯一の銅製品である。表面に僅かに金箔を残す。



第199図 Si227竪穴住居跡

## S227 埴土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘土	1	10YR4/4 褐色	シルト		同溝	5	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR4/4 褐色(4)70%少量含む		6	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト	
	3	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト		掘り方	7	10YR5/6 黄褐色	シルト	
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト						

## S227 施設埴土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P6	2	10YR4/4 褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト			3	10YR5/6 黄褐色	シルト		
P2	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P7	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト							
P3	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P8	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト			P9	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	3	10YR5/6 黄褐色	シルト				P10	-	10YR7/6 明黄褐色	シルト
P4	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P11	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト			P12	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	3	10YR5/6 黄褐色	シルト				SK1	1	10YR4/4 褐色	シルト
P5	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK2	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト							

## S227 施設軒巻表

遺構名	平面形	尺幅(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	尺幅(cm)	深さ(cm)	備考
P1	円形	59×54	47		P6	円形	25×24	16	
P2	楕円形	59×51	43		P9	楕円形	29×30	17	
P3	楕円形	79×73	54		P10	楕円形	37×30	7	
P4	楕円形	72×62	54		P11	楕円形	23×18	5	
P5	円形	48×44	13		P12	円形	15×15	6	
P6	楕円形	34×24	36		SK1	円形	44×41	7	カマド痕跡
P7	円形	14×13	7		SK2	(楕円形)	46×48	14	



1(埴土)



2(埴土)

0 (1:3) 10cm

第200図 SI227出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-258	SI227	埴土	土師器	甕	-×63×13.9	磨滅、胴部～底部のみ	胴部のみ		122
2	N-052	SI227	埴土	副葬品	耳環		表面鉄線輪首面あり、裡口に金筋遺存。遺存1.5、径0.6cm			122

## SI228A 竪穴住居跡(第201～205図)

〔位置・確認面〕4C西区西側、76・77・90・91グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察から、少なくともIVb層よりも上位からの掘り込みであることが確認できた。

〔重複〕SI226に切られ、SI227・243・245を切る。

〔規模・形態〕東西5.6m、南北5.9mを測り、やや歪な方形を呈する。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN・40°・Wである。

〔堆積土・構築土〕11層に分層した。1・2層は住居埋土、3～5層はカマド関連層位、6層は周溝内堆積土、7～9層はカマド袖構築土、10・11層は掘り方埋土で、SI228A・B床面間に堆積する土層である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がるが、東辺においては輪状になる部分もみられる。残存する壁高は東壁20cm、西壁37cm、南壁35cm、北壁26cmである。

[床面] 10層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

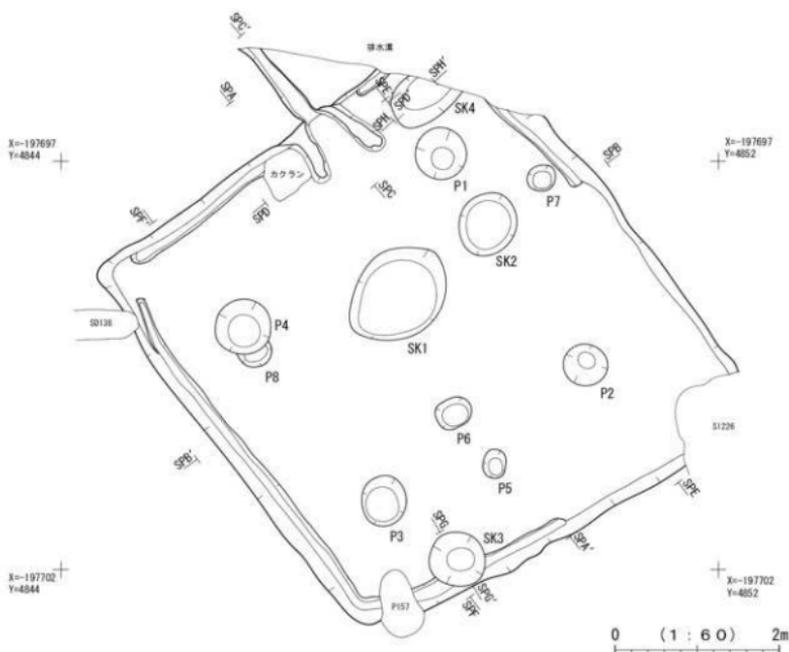
[柱穴] 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、柱間寸法は2.7～3.2mである。

[周溝] カマド部分・北西隅・東辺南半・南辺東半を除き、壁面直下で検出した。幅10～20cm、深さは4～6cmで、断面形はU字～逆台形に近い。

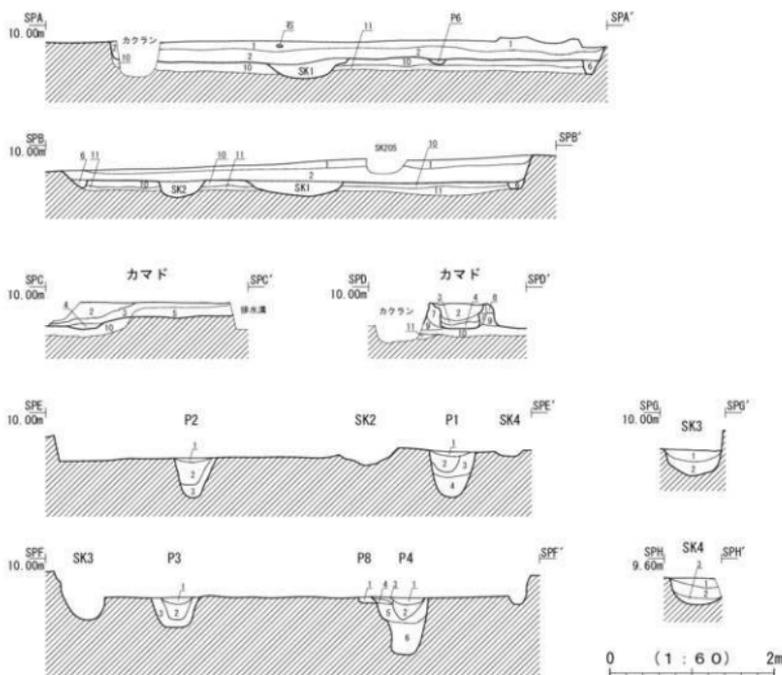
[カマド] 北辺中央からやや東に寄ったところで検出された。両袖部が残存しており、八字状に開く。袖部の長さは70～85cm、高さは床面から25cm程残っている。右袖部からは袖芯材と考えられる土師器甕が出土した。燃焼部は奥行80cm、幅20～55cmを測る。カマド中央左袖際からは、土師器坏・甕・高坏が重なって検出された。その検出状況から、支脚として使用されていた可能性が高い。煙道部は先端が調査区外に延びるため、先端形状は不明である。残存値は長さ125cm、幅18～24cm、深さ17cmを測る。

[その他の施設] 土坑4基(SK1～4)及びピット4基(P5～8)を検出した。

[出土遺物] カマド内から重なって出土した第204図-2・3・5、第205図-2は、高坏脚部片である第204図-5を最上位とし、破片を組み合わせて重ね、支脚として再利用したことが考えられる。またP8から出土した須恵器坏底面には、墨書らしき痕跡が認められる。



第201図 SI228A 竪穴住居跡(1)



第202図 SI228A竪穴住居跡(2)

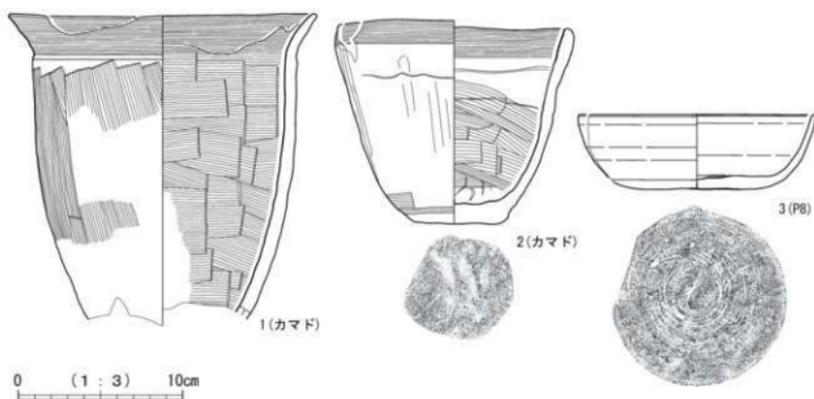
SI228A 埋土計記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
堀土	1	10YR4-4 褐色	シルト		H1 堀土	7	5YR4-3 に近い赤褐色	シルト	
	2	10YR3-4 暗褐色	シルト			8	10YR4-3 に近い赤褐色	シルト	
キマド	3	5YR3-4 暗赤褐色	シルト	焼土多量を含む	堀り方	9	10YR5-6 黄褐色	シルト	
	4	5YR3-6 暗赤褐色	シルト			10	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
	5	10YR5-6 黄褐色	シルト			11	10YR4-1 褐色	シルト	
回溝	6	10YR4-3 に近い赤褐色	シルト						

SI228A 発掘埋土計記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		P4	5	10YR2-1 灰色	シルト		
	2	10YR3-2 暗褐色	シルト			6	10YR2-2 暗褐色	シルト		
	3	10YR2-2 暗褐色	シルト			P5	-	10YR4-1 褐色	シルト	
	4	10YR2-1 灰色	シルト			P6	-	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
P2	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		P7	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR3-1 暗褐色	シルト		P8	1	5YR4-4 に近い赤褐色	シルト		
	3	10YR2-1 灰色	シルト		SK1	-	10YR3-3 暗褐色	シルト		
P3	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		SK2	-	10YR3-1 暗褐色	シルト		
	2	10YR3-1 暗褐色	シルト		SK3	1	5YR2-2 暗褐色	シルト	焼土少量含む	
	3	10YR2-1 灰色	シルト		2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			
P4	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		SK4	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR3-1 暗褐色	シルト			2	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		
	3	10YR4-3 に近い赤褐色	シルト			3	10YR4-1 褐色	シルト		
	4	5YR3-2 暗赤褐色	シルト	焼土少量含む						





第205図 SI228A出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-264	SI228A	ホマフ	土師器	釜	18.5××(19.1)	口縁部ホマフ、胴部ホマフ→下部ホマフ	口縁部ホマフ、胴部ホマフ		123
2	C-265	SI228A	ホマフ	土師器	釜	14.0×5.3×12.3	口縁部ホマフ、胴部ホマフ、底部木重直	口縁部ホマフ、胴部ホマフ、底部ホマフ		123
3	E-58	SI228A	P8	須恵器	鉢	14.2×6.5×4.6	口調整、底部下部→底部縁部ホマフリ	口調整		石浜多量 123

### SI228B 竪穴住居跡(第206図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区西側、76・77・90・91グリッドに位置する。SI228A掘り方調査中に別の床面遺構を検出し、これをSI228Bとした。

〔重複〕 SI2261に切られ、SI227・243・245を切る。

〔規模・形態〕 東西5.6m、南北5.9mを測り、やや長方形を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・40°・Wである。

〔堆積土・構築土〕 15層に分層した。1～3層はカマド煙道部内堆積土、4層は周溝内堆積土である。5～15層は掘り方埋土で、5・6層はカマド位置にあって被熱している。

〔床面〕 概ね7層上面を床面とし、西側が若干低くなる。

〔柱穴〕 P9～14が主柱穴と考えられ、P10・13及びP11・14は建て替えの関係にあると考えられる。柱間寸法は2.6～3.1mである。

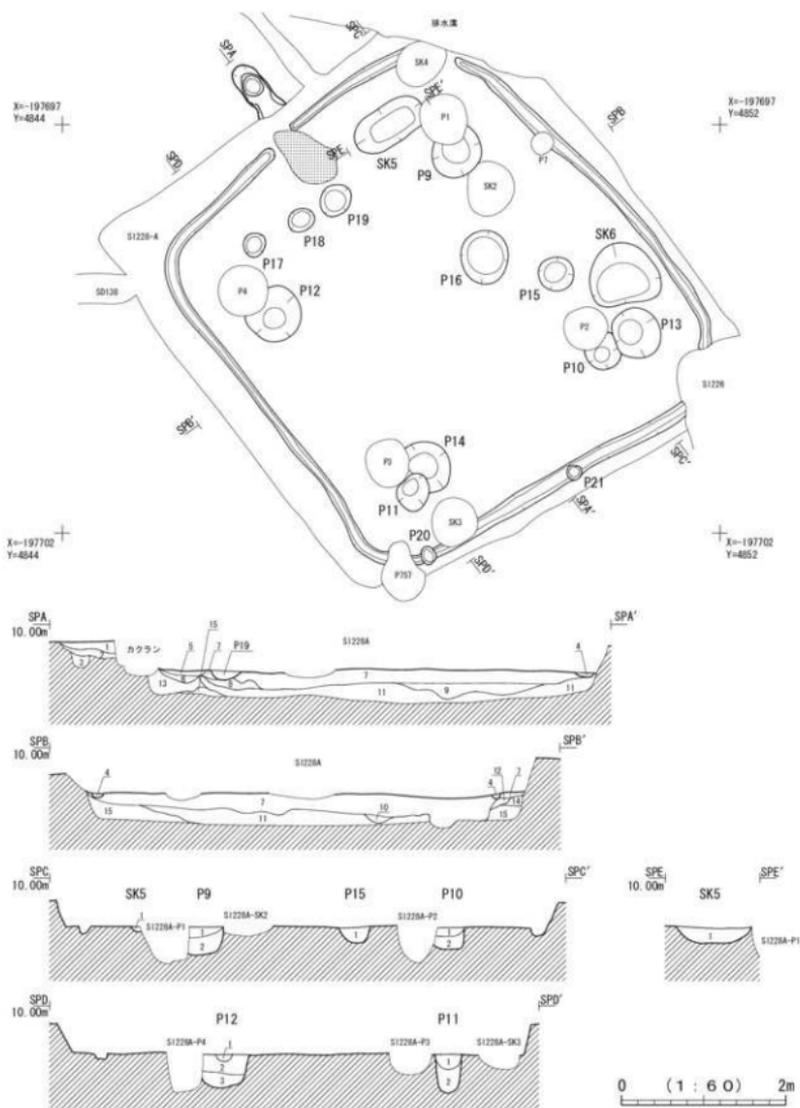
〔周溝〕 カマド部分を除き全周する周溝を検出した。幅10～23cm、深さは3～11cmで、断面形は半円形に近い。

〔カマド〕 北辺で88×32cmの被熱範囲と煙道部を検出した。煙道部は長さ100cm程度で、先端には深さ32cmのピット状の窪みがみられた。

〔その他の施設〕 土坑2基(SK5・6)及び7基(P15～21)を検出した。

〔掘り方〕 全体的に30～40cm程掘り込まれている。底面は南側がやや窪み形状である。

〔出土遺物〕 煙道部等から土師器片が出土したが、掲載遺物はない。



第206図 SI228B 竪穴住居跡

S2288 埋土跡調査

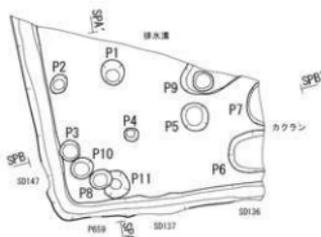
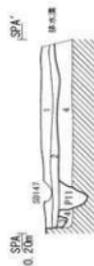
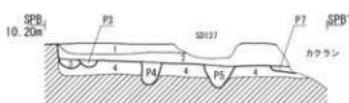
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
ホムド	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		掘り方	9	10YR7-6 明黄褐色	シルト	
	2	10YR3-2 灰褐色	シルト			10	10YR6-3 じぶい黄褐色	シルト	
	3	10YR2-1 灰色	シルト			11	10YR6-6 明黄褐色	シルト	
周溝	4	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト			12	10YR7-2 じぶい黄褐色	シルト	
	5	5YR5-8 明赤褐色	シルト			13	7.5YR4-1 黒灰色	シルト	
掘り方	6	5YR3-3 暗赤褐色	シルト			14	10YR8-1 灰白色	シルト	
	7	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			15	10YR5-1 黒灰色	シルト	
	8	10YR4-2 灰黄褐色	シルト						

S2288 施設埋土跡調査

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P9	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		P14	-	10YR3-1 灰褐色	シルト	
	2	10YR3-3 暗褐色	シルト		P15	1	10YR5-4 じぶい黄褐色	シルト	
P10	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		P16	-	5YR3-4 暗赤褐色	シルト	
	2	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト		P17	-	5YR3-6 暗赤褐色	シルト	
P11	1	10YR5-4 じぶい黄褐色	シルト		P18	-	5YR3-4 暗赤褐色	シルト	
	2	10YR3-1 灰褐色	シルト		P19	-	5YR3-6 暗赤褐色	シルト	
P12	1	10YR5-4 じぶい黄褐色	シルト		P20	-	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3-3 暗褐色	シルト		P21	-	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR4-2 灰黄褐色	砂質シルト		SK5	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P13	-	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト		SK6	1	5YR3-6 暗赤褐色	シルト	

S2288 施設跡調査

遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	備考
P9	(円形)	52×48	33		P17	円形	30×27	5	
P10	(円形)	40×30	27		P18	楕円形	32×27	14	
P11	円形	41×39	47		P19	楕円形	42×37	15	
P12	(円形)	68×48	40		P20	楕円形	23×18	10	
P13	円形	41×38	33		P21	円形	18×18	15	
P14	(円形)	68×50	52		SK5	楕円形	48×94	21	
P15	円形	43×43	20		SK6	不整形	86×73	34	
P16	円形	65×56	19						

X=197699  
Y=4860X=197699  
Y=4865X=197703  
Y=4860X=197703  
Y=4865

0 (1:60) 2m

第207図 S1229竪穴住居跡

SI229 埋土柱記録

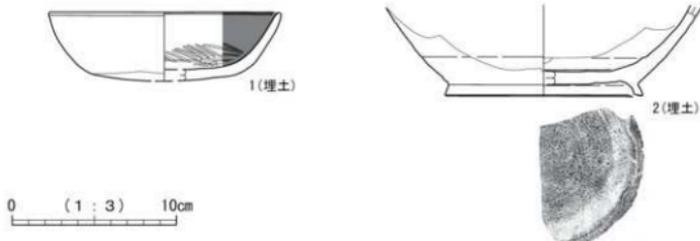
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	地山がわず少量、炭化物微量に含む	埋土	3	10YR4/4	褐色	シルト
	2	10YR3/3	暗褐色	シルト		掘り方	4	10YR4/6	褐色	砂質シルト

SI229 埋設埋土柱記録

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	P7	-	10YR3/4	暗褐色	シルト
P2	-	10YR3/4	暗褐色	シルト		P8	1	10YR3/4	暗褐色	シルト
P3	-	10YR3/4	暗褐色	シルト		P9	1	10YR3/4	暗褐色	シルト
P4	-	10YR3/4	暗褐色	シルト		P10	-	10YR4/4	褐色	シルト
P5	-	10YR3/4	暗褐色	シルト		P11	-	10YR4/4	褐色	シルト
P6	1	10YR3/4	暗褐色	シルト						径1cm大の砂粒少量含む

SI229 埋設鏡面表

遺物名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺物名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	32×28	23		P7	楕円形	48×19	7	
P2	楕円形	22×19	11		P8	円形	23×23	26	
P3	円形	22×22	8		P9	円形	22×22	14	
P4	円形	14×14	15		P10	円形	24×23	9	
P5	楕円形	32×30	21		P11	楕円形	33×24	33	
P6	不整形	48×41	11						



第208図 SI229出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	種類	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-267	SI229	埋土	土師器	杯	33.8××4.2	口縁部～体部磨光。底部<?>	磨光。口縁部～底部<?>の磨光	内面黒色処理	123
2	E-39	SI229	埋土	須恵器	壺	××0.20×0.50	<?>調整。底部回転<?>切り→高台貼付	<?>調整	内面自然磨付。右裏面磨	123

SI229 竪穴住居跡 (第207・208図)

[位置・確認面] 4 C 西区中央北側、78・92グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察から IVb 層上面からの掘り込みであることが確認できた。住居北半が調査区外に位置しており、また住居東側が攪乱により失われていたことから、検出部分は住居全体の約1/4である。

[重複] SI233を切る。

[規模・形態] 残存値は住居西辺2.5m、南辺2.4mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-12°-Wである。

[堆積土・構築土] 4層に分層した。1・2層は住居埋土、3層は周溝内堆積土、4層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁・南壁ともに15～20cmである。

[床面] 4層上面を床面とする。

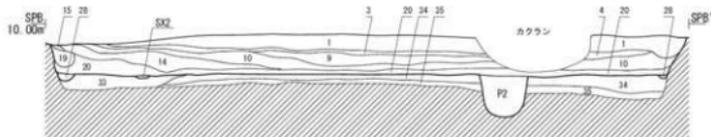
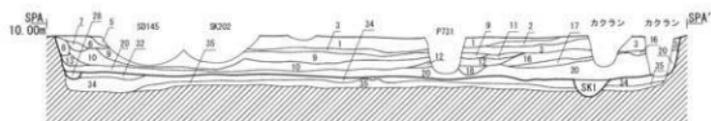
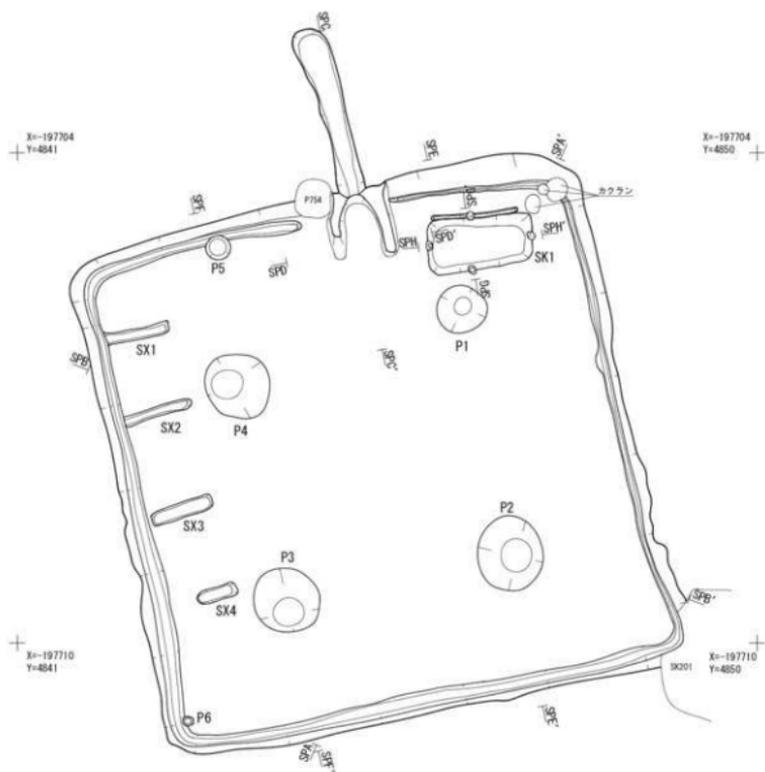
[周溝] 壁面直下で検出した。幅20～30cm、深さは10～15cmで、断面形は半円形に近い。

[その他の施設] ビット11基(P1～11)を検出した。

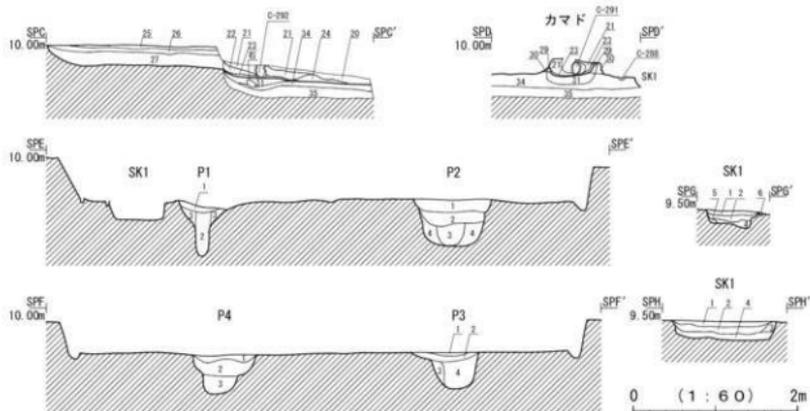
[掘り方] 30cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器杯1点、須恵器壺1点を図示した。第208図-1は内面に黒色処理が施される。

第208図-2は底部回転ヘラ切り後、高台を貼付する。



第209図 SI230竪穴住居跡(1)



第210図 SI230竪穴住居跡(2)

SI230 埋土目録表

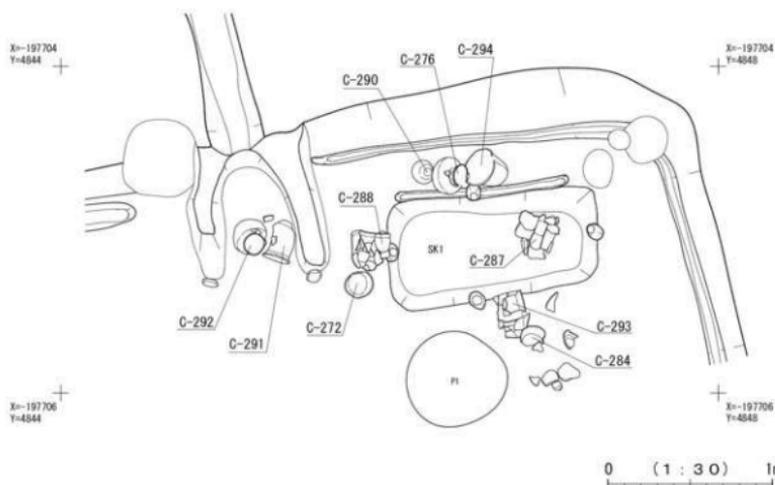
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト		カマド	19	10YR7/1 灰白色	シルト		
	2	7.5YR4/1 褐色	シルト			20	10YR2/1 黒色	シルト		
	3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			21	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト		
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト			22	10YR4/4 褐色	シルト		
	5	7.5YR4/1 褐色	シルト			23	5YR3/2 暗赤褐色	シルト		
	6	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト			24	10YR6/2 灰赤褐色	シルト		
	7	10YR5/1 褐色	シルト			25	10YR4/1 褐色	シルト		
	8	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			26	10YR3/1 暗褐色	シルト		
	9	7.5YR4/2 褐色	シルト			27	10YR3/3 暗褐色	シルト		
	10	10YR4/1 褐色	シルト			埋溝	28	10YR2/1 黒色	シルト	
	11	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			埋溝	29	5YR4/6 赤褐色	シルト	焼熟している
	12	10YR6/1 褐色	シルト			30	10YR6/3 にぶい黄褐色	シルト		
	13	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			隅り方	31	5YR3/4 暗赤褐色	シルト	焼熟している
	14	10YR6/8 明黄褐色	シルト				32	10YR5/1 褐色	シルト	
	15	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト				33	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	
	16	10YR6/8 明黄褐色	シルト				34	10YR7/6 明黄褐色	シルト	
	17	10YR5/2 灰黄褐色	シルト				35	10YR6/6 明黄褐色	シルト	
	18	10YR4/1 褐色	シルト							

SI230 施設埋土目録表

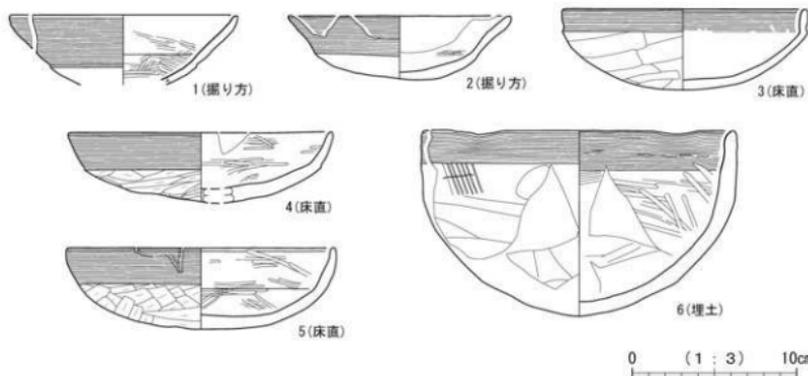
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR4/1 褐色	シルト		P4	3	10YR4/1 褐色	シルト		
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	柱痕跡		P5	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト			P6	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
P2	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		SK1	1	10YR7/1 灰白色	シルト		
	2	10YR4/6 褐色	シルト			2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト			3	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト		
	4	10YR4/4 褐色	シルト			4	10YR3/1 暗褐色	シルト		
5	10YR6/1 褐色	シルト		5		10YR3/2 暗褐色	シルト			
P3	1	10YR7/1 灰白色	砂質シルト		6	10YR5/1 褐色	シルト	壁材の柱跡		
	2	10YR4/1 褐色	シルト		SX1	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	3	10YR4/1 褐色	シルト		SX2	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
P4	4	10YR5/1 褐色	シルト		SX3	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		SX4	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR6/2 灰黄褐色	シルト							

SI230 施設観測表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	58×56	53		SK1	楕円長方形	90×47	25	貯蔵穴。周囲に4基の小穴あり
P2	楕円形	90×80	47		SX1	長方形	80×15	3	間仕切り壁
P3	楕円形	80×78	48		SX2	長方形	90×15	3	間仕切り壁
P4	楕円形	85×80	36		SX3	長方形	80×20	3	間仕切り壁
P5	円形	30×29	5		SX4	長方形	32×15	3	間仕切り壁
P6	円形	10×9	5						

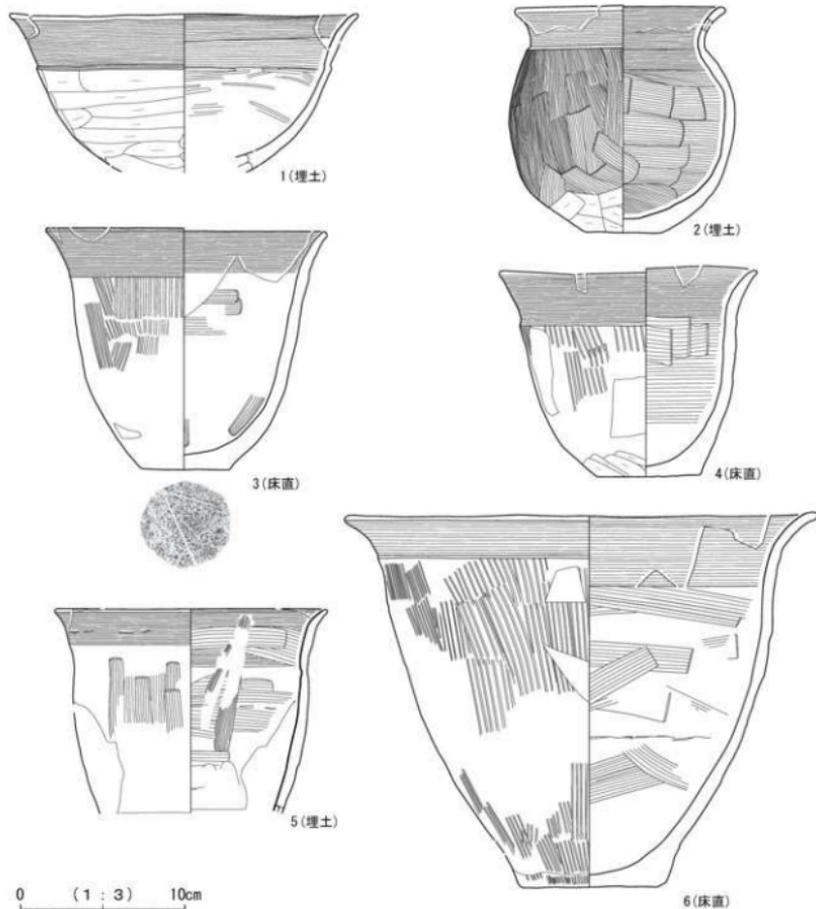


第211図 SI230竪穴住居跡(3)



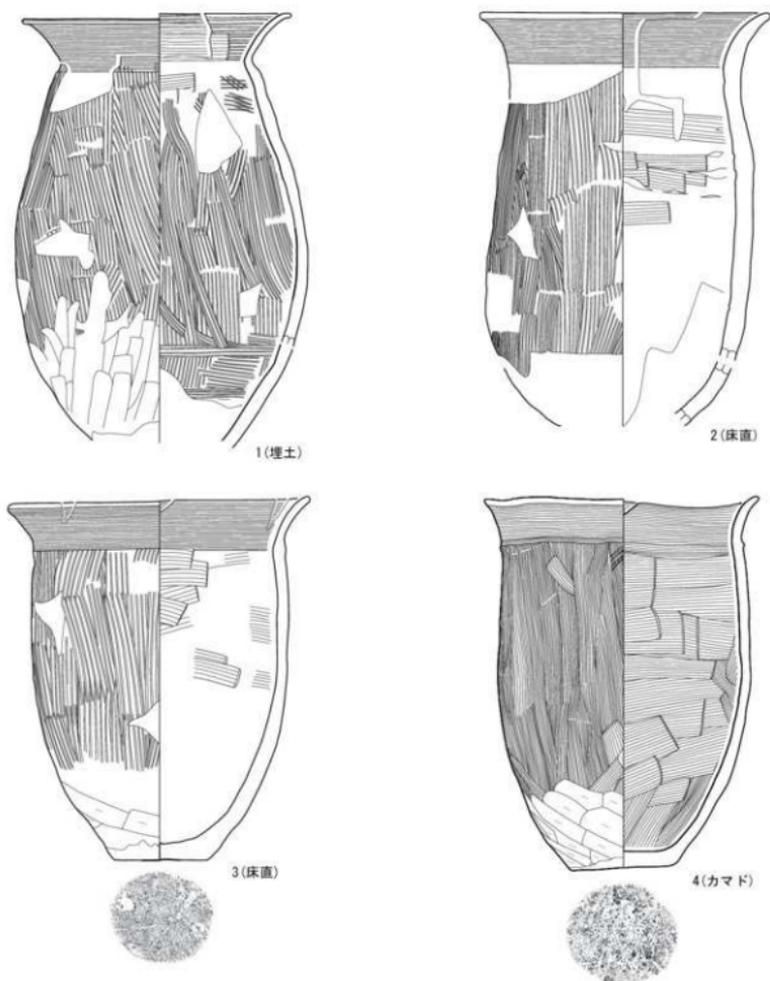
第212図 SI230出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-268	SI230	掘り方	土師器	坏	13.8 × × 14.3	磨耗, 口縁部 <sup>299</sup> ?	磨耗, 口縁部-底部 <sup>298</sup> ?		123
2	C-270	SI230	掘り方	土師器	坏	13.4 × × 3.9	磨耗, 口縁部 <sup>299</sup> ?, 底部-底部 <sup>299</sup> ?	磨耗, 口縁部-底部 <sup>299</sup> ?		123
3	C-273	SI230	床直	土師器	坏	14.6 × × 4.9	口縁部 <sup>299</sup> ?, 底部-底部 <sup>298</sup> ?	口縁部-底部 <sup>298</sup> ?		123
4	C-271	SI230	床直	土師器	坏	15.8 × × 4.3	磨耗, 口縁部 <sup>299</sup> ?, 底部-底部 <sup>298</sup> ?	磨耗, 口縁部-底部 <sup>298</sup> ?		123
5	C-272	SI230	床直	土師器	坏	16.1 × × 5.0	口縁部 <sup>299</sup> ?, 底部-底部 <sup>298</sup> ?	口縁部-底部 <sup>298</sup> ?		123
6	C-275	SI230	埋土	土師器	鉢	18.8 × × 11.0	口縁部 <sup>299</sup> ?, 底部-底部 <sup>299</sup> ?	口縁部 <sup>299</sup> ?, 底部-底部 <sup>299</sup> → <sup>298</sup> ?		121



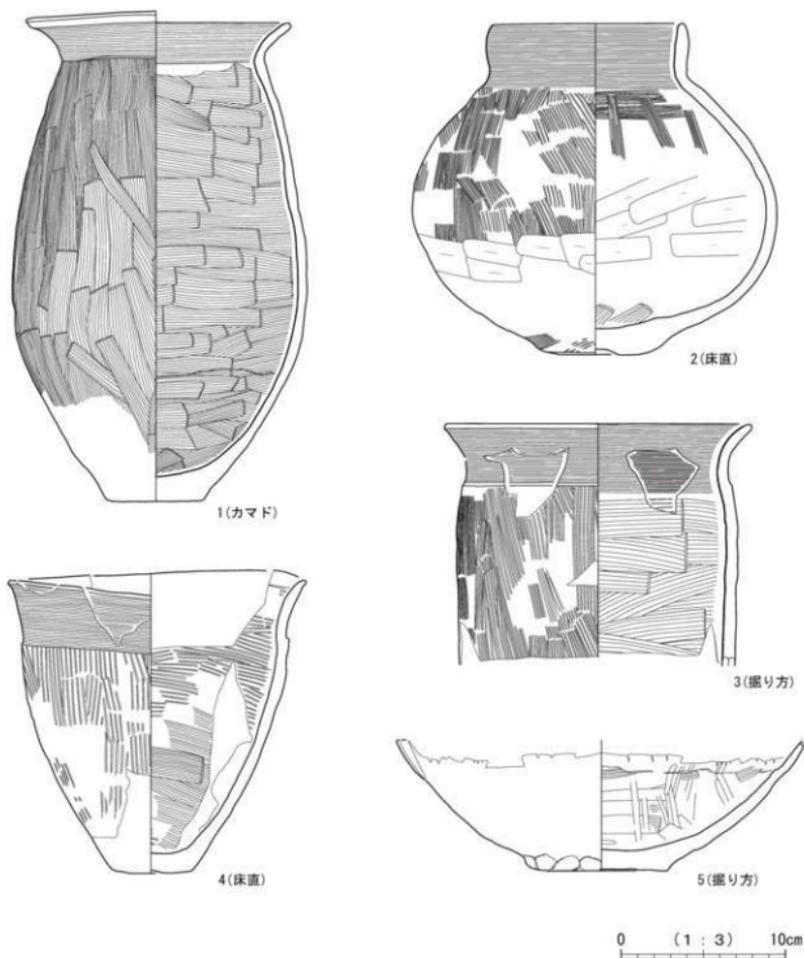
第213図 SI230出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-269	SI230	埋土	土師器	鉢	20.0φ × × 9.7	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部		124
2	C-285	SI230	埋土	土師器	甕	12.0 × 4.6 × 14.0	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部		124
3	C-290	SI230	床直	土師器	甕	17.0 × 5.2 × 14.8	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部		124
4	C-280	SI230	床直	土師器	甕	15.4 × 6.3 × 12.7	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部		124
5	C-281	SI230	埋土	土師器	甕	16.3 × × (12.5)	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部		124
6	C-286	SI230	床直	土師器	甕	29.0 × 9.0 × 22.7	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部	白線部×???, 胴部→胴部×???, 口部→口部		124



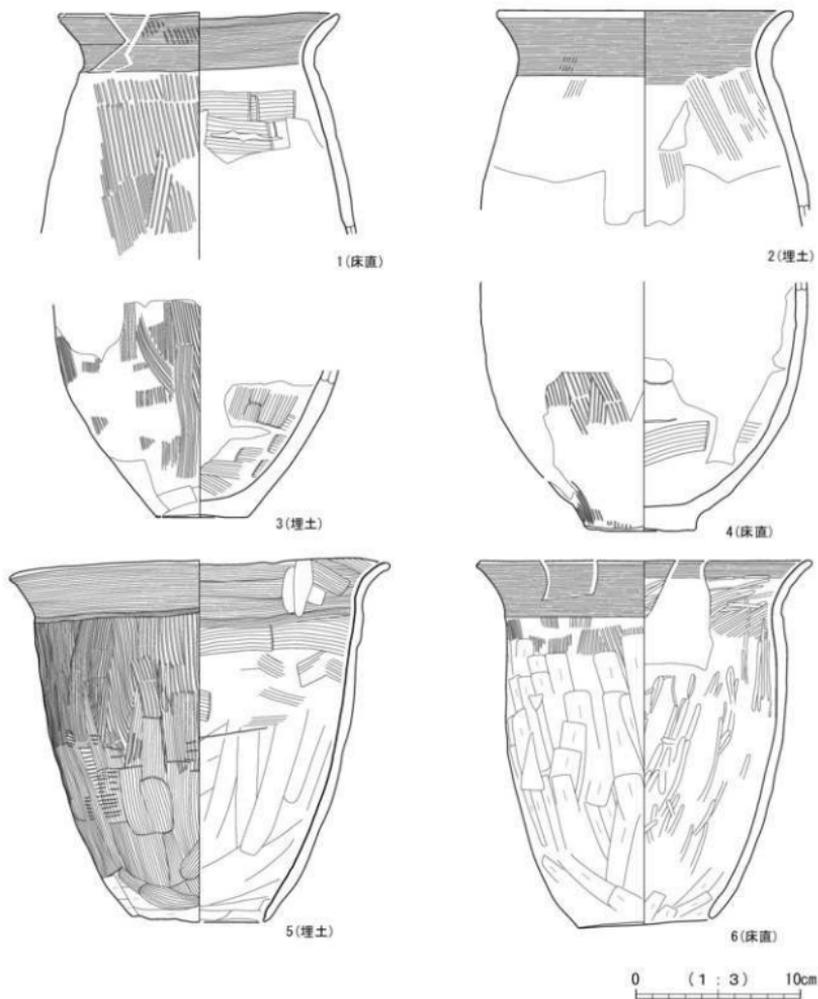
第214図 SI230出土遺物(3)

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-279	SI230	埋土	土師器	甕	(16.5) × × (26.5)	口縁部R???, 胴部A??→A??E?	口縁部-胴部A??, 胴下部A???		125
2	C-287	SI230	床直	土師器	甕	(17.3) × × (25.3)	口縁部R???, 胴部A??	口縁部R???, 胴部A???		125
3	C-288	SI230	床直	土師器	甕	17.8 × 5.6 × 22.1	口縁部R???, 胴部A??→?下部A???, 底部A??	口縁部R???, 胴部-底部A???		125
4	C-292	SI230	R???	土師器	甕	16.5 × 6.5 × 22.5	口縁部R???, 胴部A??→?下部A???, 底部A???	口縁部R???, 胴部-底部A???		125



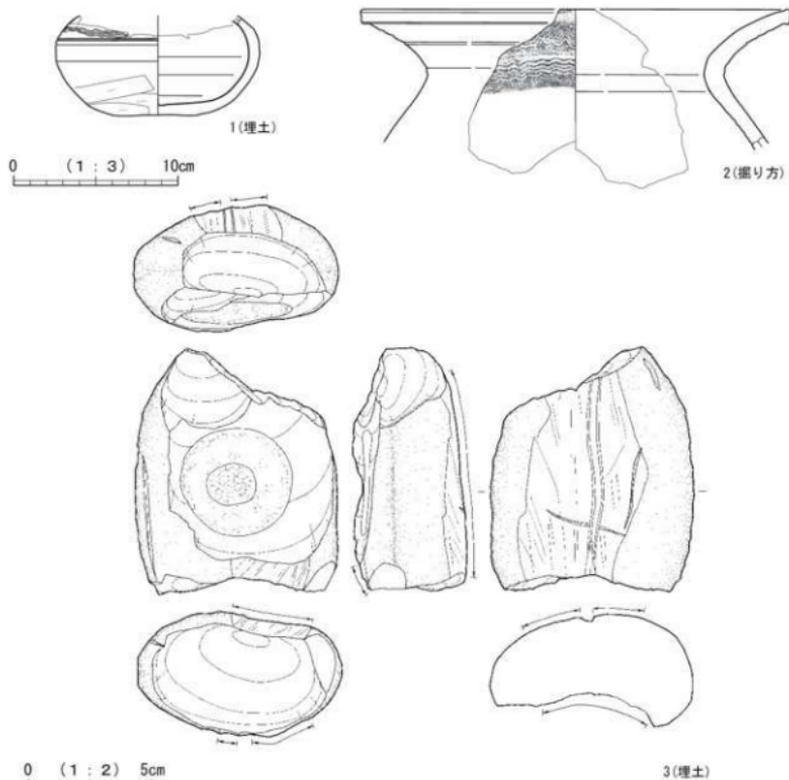
第215図 S1230出土遺物(4)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載
1	C-291	S1230	カマド	土師器	甕	16.0×5.5×206	口縁部①?、胴部①?→?下部①?、底面本妻敷	口縁部②?、胴部→底部①??		126
2	C-276	S1230	床直	土師器	杓	11.5×5.0×202	口縁部①?、口縁部→胴部①?→?下部①?、底部①??	口縁部①?→②?、胴部→底部①? →①? ①?		126
3	C-277	S1230	振り方	土師器	甕	18.4××(14.3)	口縁部②?、胴部①?	口縁部②?、胴部①??		126
4	C-282	S1230	床直	土師器	甕	17.6×(5.0)×18.8	口縁部③?、胴部①?→?下部①?、底部①??	口縁部→胴部①?→胴下部→底部①??		126
5	C-274	S1230	振り方	土師器	甕	→8.2×(6.0)	胴底、胴部①? →?底部①? ①?→①??	胴部→底部①??		124



第216図 SI230出土遺物(5)

図例番号	登録番号	出土遺構	部位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-264	SI230	床直	土師器	甕	16.8××(15.8)	口縁部3???, 胴部4??	口縁部3???, 胴部4???		126
2	C-280	SI230	埋土	土師器	甕	(17.0)××(13.2)	頸孔, 口縁部3???, 胴部4???	頸孔, 口縁部3???, 胴部4???		126
3	C-278	SI230	埋土	土師器	甕	××5.5×13.4	胴部4??→下半部4???	胴部4??→下半部4???		127
4	C-283	SI230	床直	土師器	甕	××6.6×(15.2)	胴部4??, 底部頸孔4???	胴部4??, 底部頸孔4???		127
5	C-294	SI230	埋土	土師器	甕	230×7.7×22.0	口縁部3???, 胴部4??→下半部4???	口縁部3???, 胴部4??→下半部4???	口縁部3???, 胴部4??→下半部4???	127
6	C-293	SI230	床直	土師器	甕	200×8.1×22.2	口縁部3???, 胴部4??→全体4???	口縁部3???, 胴部4??→全体4???	口縁部3???, 胴部4??→全体4???	127



第217図 SI230出土遺物(6)

採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	E-60	SI230	埋土	胎土器	小形壺 → 5.0×6.1	177調整、胎土器中層部を底状文、裏下平部～底部177調整	177調整		127
2	E-61	SI230	掘り方	胎土器	壺 (25.8) × → (8.6)	177調整、胎土器中層部を底状文、胎土器中層部を底状文	177調整、胎土器中層部を底状文		127
採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚S(cm)	産地tp	石材	備考	写真掲載
3	Nd-032	SI230	埋土	石製品	砥石 10.0×8.0×3.6	267B	磨崖石	自然、砥石、凹一削(深さ)磨、溝状痕あり	127

SI230 竪穴住居跡(第209～217図)

[位置・確認面] 4C西区西側、46・62・76グリッドに位置する。

[重複] SK201・P754に切られ、SI234を切る。

[規模・形態] 東西6.3m、南北6.5mを測り、ほぼ方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-11°-Wである。

[堆積土・構築土] 35層に分層した。1～20層は住居埋土、21～27層はカマド関連層位、28層は周溝内堆積土、29・

30層はカマド袖構築土、31～35層は掘り方埋土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁47cm、西壁40cm、南壁42cm、北壁53cmである。

〔床面〕31～34層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、P1には柱痕跡が、その他には柱の抜き取り痕跡が認められた。柱間寸法は2.8～3.1mである。

〔周溝〕カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅5～15cm、深さは5～10cmで、断面形は半円形に近い。

〔カマド〕北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部は壁面から平行して延びており、袖部の長さは80～90cm、高さは床面から10cm程残っている。両袖基部からは袖石と思われる被熱した細長の自然礫が検出された。燃焼部は奥行75cm、幅40cmを測り、中央から2個体の土師器長胴甕が出土している。煙道部は長さ210cm、幅30～40cm、深さ20～25cmを測り、先端部では多少幅が広がり、緩やかに立ち上がる。

〔その他の施設〕SK1は長方形を呈する土坑で、深さ25cm前後を測る。各辺中央に径10cm程度の小穴を伴い、北辺には間仕切りと思われる溝が検出された。位置・規模から貯蔵穴である可能性が考えられ、この周辺からの遺物出土が顕著であった。住居西側では、壁面に対して垂直方向に延びる長さ50～85cmの溝状遺構を4基検出し、SX1～4とした。各遺構の間隔は90～110cmで、間仕切りと推測された。その他ピット2基(P4・5)を検出した。

〔掘り方〕底面は住居中央がやや高まる形状である。

〔出土遺物〕カマドからはほぼ完形の土師器甕2点が出土しており、SK1周辺の床面からも多くの遺物が出土している。土師器甕類の最大径は、口縁部に位置するものと胴部に位置するものの2種類が認められる。また、土師器甕は素抜きの単孔で、第216図-6は外面にヘラケズリ調整がなされる。在地形の土師器環の内面には、その特徴である黒色処理は認められず、第212図-3のような関東系土師器も1点混じる。第217図-1は須恵器壺で、肩部に櫛描波状文を施す。

#### SI231 竪穴住居跡(第218～224図)

〔位置・確認面〕4 C 西区北西、75・76・89・90・100グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察からIVb層上面からの掘り込みであることが確認できた。

〔重複〕SI237を切る。

〔規模・形態〕東西7.4m、南北7.2mを測る大型の住居で、ほぼ方形を呈する。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-41°-Wである。

〔堆積土・構築土〕13層に分層した。1～3層は住居埋土、4～6層はカマド内堆積土、7層は周溝内堆積土、8～11層はカマド袖構築土、12・13層は掘り方埋土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁47cm、西壁39cm、南壁45cmである。

〔床面〕12・13層上面を床面とし、緩やかな起伏が認められる。

〔柱穴〕配置からP1～4が主柱穴と考えられるが、他の住居の主柱穴に比べ平面径が小さい。柱間寸法は3.9～4.1mである。また、位置的にP7・8・10・11も上部構造に関連する可能性がある。

〔周溝〕残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅15～40cm、深さは13～25cmで、断面形はU～V字形に近い。

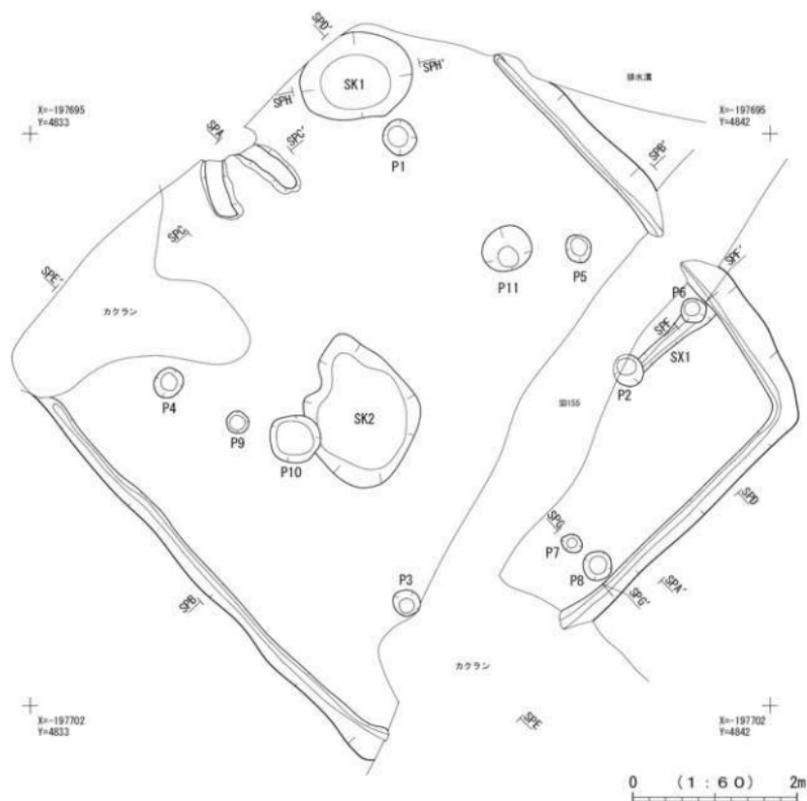
〔カマド〕北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、八字状に開く。袖部の残存長は約75cm、高さは床面から5cm程残っている。燃焼部は奥行90cm、幅45cmを測る。

〔その他の施設〕住居東側において、東辺に直交するように延びる溝状の遺構を検出し、これをSX1とした。主柱

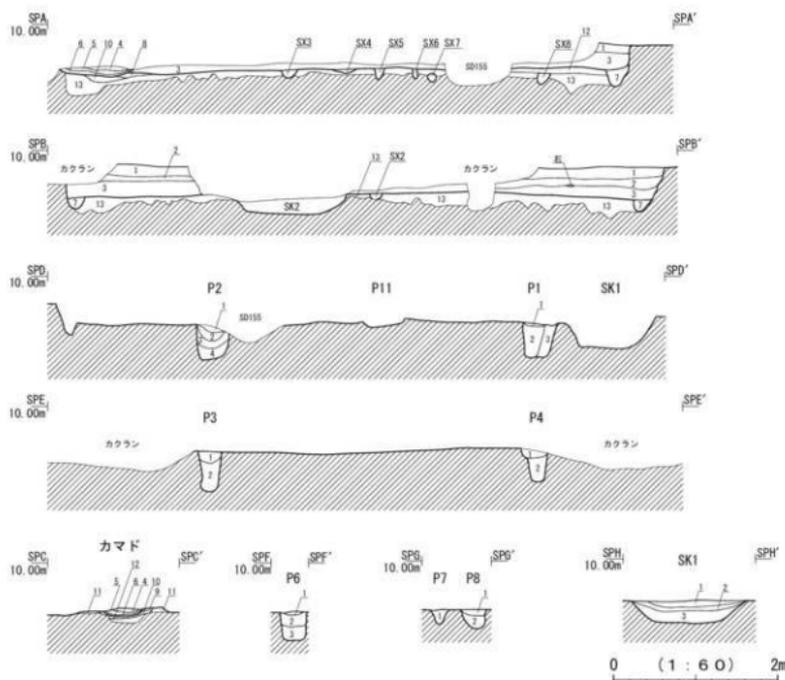
穴P2と東辺壁際のP6を結ぶ間仕切り施設と推測された。カマド東側では平面形が楕円形を呈する土坑(SK1)を検出した。深さは30cm程で、貯蔵穴の用途が考えられる。その他土坑1基(SK2)、ピット2基(P5-9)、性格不明遺構7基(SX2~8、土層断面でのみ確認)を検出した。

〔掘り方〕底面には激しい起伏がみられ、全体的には住居中央部が高まる形状である。

〔出土遺物〕土師器環は、やや扁平な丸底から稜を経て口縁部が外反する器形で、内面をヘラミガキされ黒色処理されるものが多い。その中で1点関東系土師器環第221図-1が混じる。土師器甕第222図-5、第224図-1は胴部下半に張りを持ち、第223図-1は胴部上半に最大径を有する。第224図-4は小型の須恵器蓋で、内面にカエリを持ち、外面全体に自然釉がかかる。



第218図 SI231 雙穴住居跡(1)



第219図 SI231竪穴住居跡(2)

SI231 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
竪土	1	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト		掘り方	8	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR4-1 褐色	シルト			9	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
	3	10YR3-1 灰褐色	シルト			10	10YR6-6 明黄褐色	シルト	
カマド	4	5YR4-6 赤褐色	シルト		11	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト		
	5	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	炭化物多量に含む	12	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		
	6	10YR3-3 灰褐色	シルト		13	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		
埋溝	7	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト						

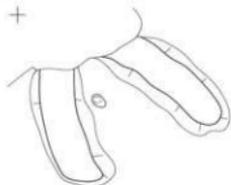
SI231 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR5-1 褐色	シルト		P8	2	10YR5-1 褐色	シルト	
	2	10YR3-2 灰褐色	シルト		P9	-	10YR2-3 灰褐色	シルト	
	3	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト		P10	-	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
P2	1	10YR4-1 褐色	シルト		P11	-	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR5-1 褐色	シルト		SK1	1	10YR3-2 灰褐色	シルト	
	3	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		2	10YR7-1 灰白色	シルト		
P3	4	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト		3	10YR6-3 にぶい黄褐色	シルト		
	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト		SK2	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3-1 灰褐色	シルト		SK1	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P4	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		SK2	-	10YR3-3 暗褐色	シルト	
	2	10YR2-1 灰色	シルト		SK3	-	10YR3-1 灰褐色	シルト	
P5	-	10YR6-3 にぶい黄褐色	シルト		SK4	-	10YR6-2 灰黄褐色	シルト	
P6	1	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト		SK5	-	10YR3-1 灰褐色	シルト	
	2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		SK6	-	10YR3-1 灰褐色	シルト	
	3	10YR2-3 灰褐色	シルト		SK7	-	10YR4-1 褐色	シルト	
P7	1	10YR2-2 灰褐色	シルト		SK8	-	10YR4-1 褐色	シルト	
P8	1	10YR4-1 褐色	シルト						

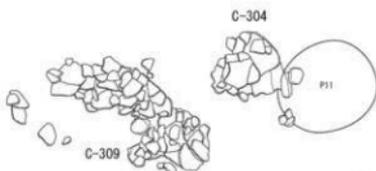
S1231 施設概要表

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P1	楕円形	41×35	45		SK1	楕円形	138×106	30	貯蔵穴
P2	楕円形	40×30	42	SX1内周	SK2	不整形	200×141	30	
P3	円形	31×30	10		SX1	溝状	-	-	筒状切り痕
P4	楕円形	40×31	30		SX2	-	-	-	断面でのみ確認
P5	楕円形	36×31	8		SX3	-	-	-	断面でのみ確認
P6	円形	22×31	22	SX1東端	SX4	-	-	-	断面でのみ確認
P7	楕円形	27×22	9		SX5	-	-	-	断面でのみ確認
P8	円形	27×36	15		SX6	-	-	-	断面でのみ確認
P9	円形	27×27	1		SX7	-	-	-	断面でのみ確認
P10	不整形	61×58	27		SX8	-	-	-	断面でのみ確認
P11	楕円形	61×54	9						

X=197695  
Y=4835



X=197695  
Y=4839

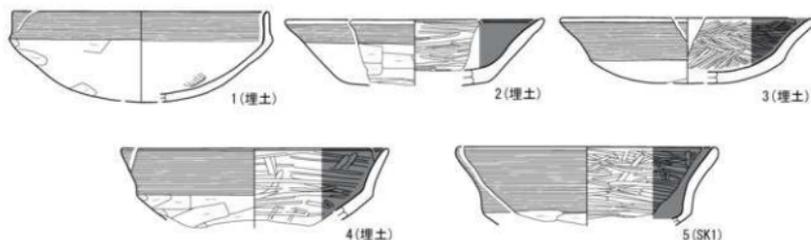


X=197697  
Y=4835

0 (1:30) 1m

X=197697  
Y=4839

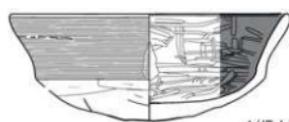
第220図 S1231 竪穴住居跡(3)



0 (1:3) 10cm

第221図 S1231出土遺物(1)

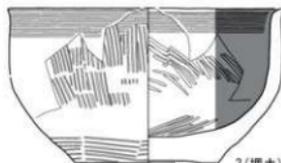
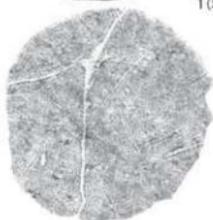
採取番号	登録番号	出土遺物	形状	材質	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-301	S1231	埋土	土師器	環	(15.0)××(5.0)	磨滅、口縁部***、底部~底面***?	磨滅、口縁部***、底部~底面***?		128
2	C-295	S1231	埋土	土師器	環	(15.0)××(4.0)	口縁部***、底部~底面***	口縁部~底面***		内面黒色処理 128
3	C-296	S1231	埋土	土師器	環	(15.0)××(4.0)	口縁部***、底部~底面***	口縁部~底面***		内面黒色処理 128
4	C-298	S1231	埋土	土師器	環	(16.0)××(4.8)	口縁部***、底部***	口縁部~底部***		内面黒色処理 128
5	C-297	S1231	SK1	土師器	環	(15.0)××(4.8)	口縁部***、底部***	口縁部~底部***		内面黒色処理 128



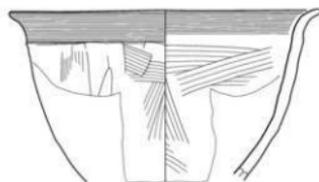
1(埋土)



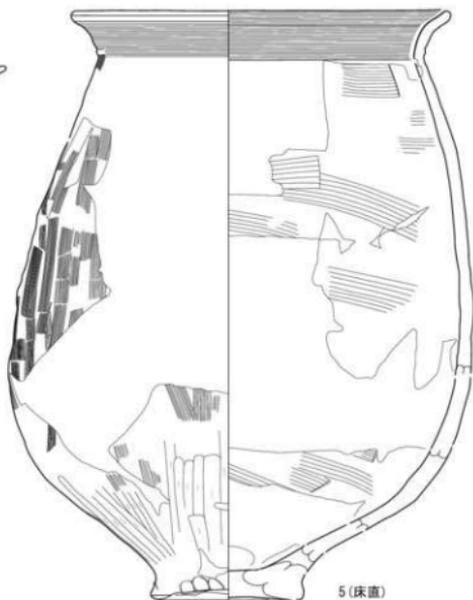
2(埋土)



3(埋土)



4(埋土)

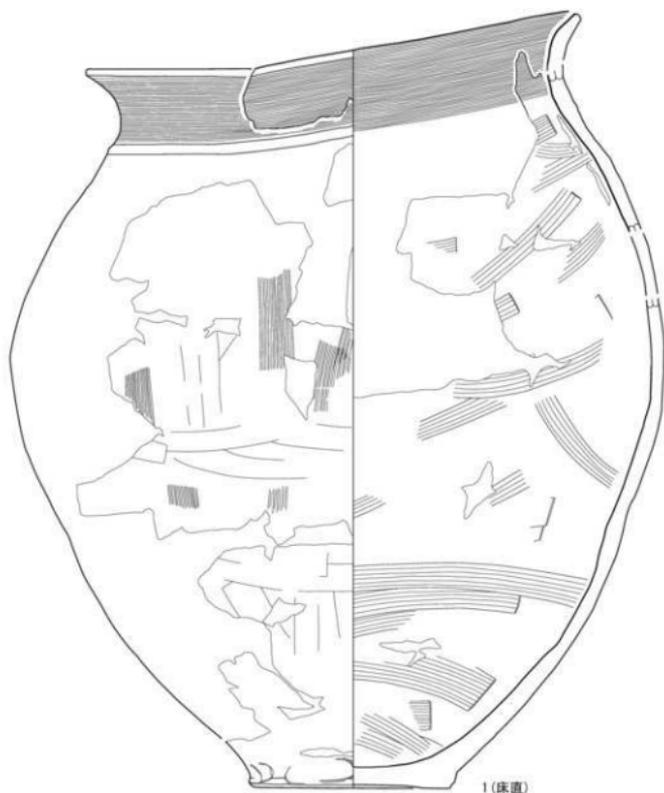


5(床直)

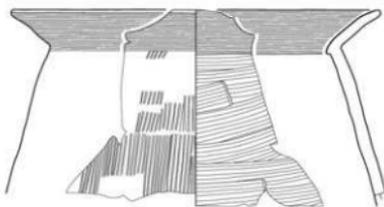
0 (1:3) 10cm

第222図 SI231出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-299	SI231	埋土	土師器	坏	(16.9) × × 6.6	口縁部29F、底部29F → 裏面29F(口) 磨面	口縁部-底部29F 磨		内面黑色処理	128
2	C-300	SI231	埋土	土師器	鉢	(14.8) × × (8.0)	磨面、口縁部29F、体部29F → 下部29F	口縁部-底部29F 磨		内面黑色処理	128
3	C-302	SI231	埋土	土師器	鉢	(16.5) × 8.6 × 9.5	口縁部29F、体部29F → 下部29F、底部29F	口縁部-底部29F 磨		内面黑色処理	128
4	C-308	SI231	埋土	土師器	甕	(18.8) × × (10.5)	磨面、口縁部29F、胴部29F	口縁部29F、胴部29F			129
5	C-309	SI231	床直	土師器	甕	(22.0) × 8.6 × 36.0	口縁部29F、胴部29F → 下部29F	口縁部29F、胴部-底部29F			128



1(床直)

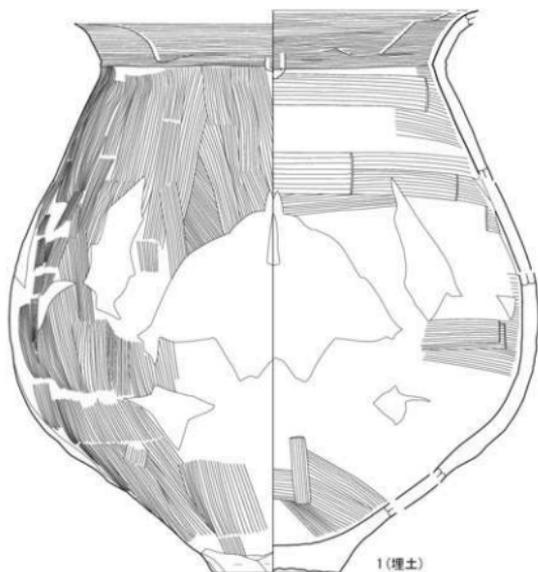


2(埋土)

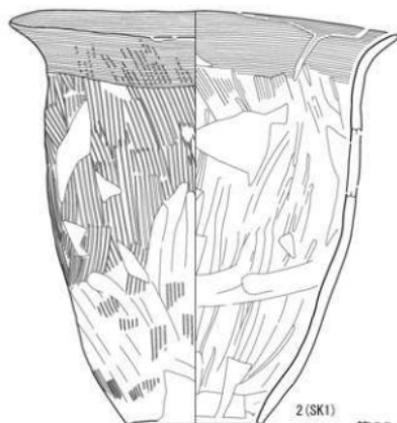
0 (1:3) 10cm

第223図 SI231出土遺物(3)

図版番号	登録番号	出土遺物	部号	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調査	内面調査	備考	写真掲載
1	C-304	SI231	床直	土師器	甕	(29.7) × 11.8 × 45.2	曹乳, 口縁部399°, 胴部399°~419°, 底面木彫彫	口縁部399°, 胴部399°		129
2	C-306	SI231	埋土	土師器	甕	(22.1) × × 12.0	口縁部399°, 胴部399°	口縁部399°, 胴部399°		129



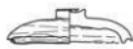
1(埋土)



2(SK1)

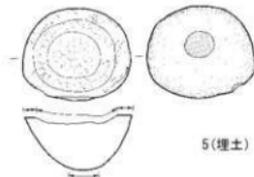


3(埋土)



4(埋土)

0 (1:3) 10cm

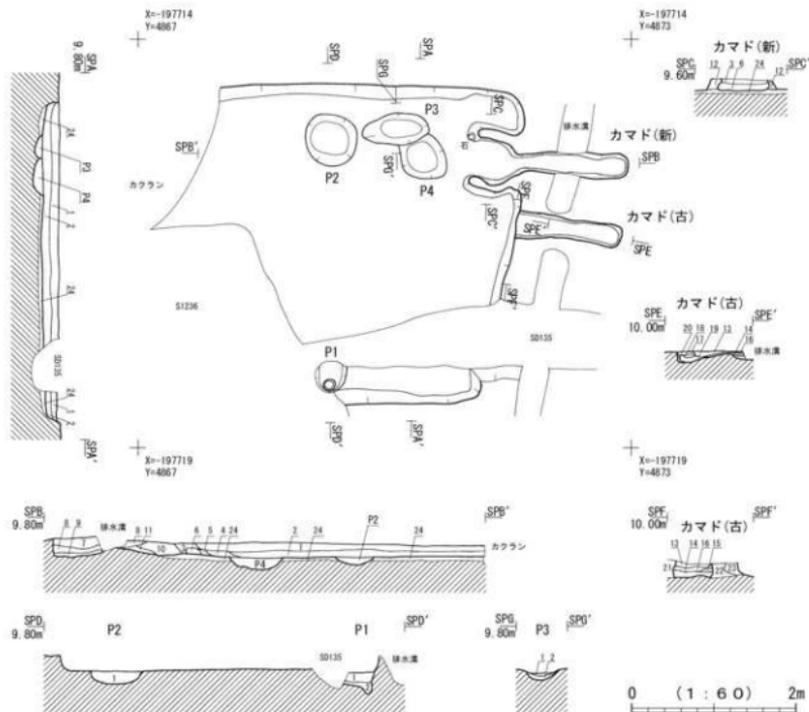


5(埋土)

0 (1:2) 5cm

第224図 SI231出土遺物4)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-305	SI231	埋土	土師器	甕	×7.5×34.9	口縁部①②③、胴部④⑤、底部⑥⑦⑧⑨	口縁部①②③、胴部④⑤⑥⑦⑧⑨		130
2	C-310	SI231	SK1	土師器	瓶	23.3×7.6×25.2	口縁部①②③、胴部④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	口縁部①②③、胴部④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	単孔	130
3	C-303	SI231	埋土	土師器	①②③④	4.3×4.4×4.7	断面調整	断面調整		130
4	E-62	SI231	埋土	須恵器	蓋	7.6××2.2	①②調整→天井部調整③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	①②調整	内面①②、内径自然磨行有	130
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
5	和2-033	SI231	埋土	石器	磨石	37×4.3×2.0	25.5	凝灰岩	磨二面(甲×凸)、磨一(單)調整(埋)	130



第225図 SI232竪穴住居跡

S1232 埋土封記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アノコ少量含む	カマド (新)	13	5YR4/2 灰褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む		14	5YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物多量を含む
カマド (古)	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む	15	5YR3/1 黒褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む	
	4	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む	16	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む	
	5	10YR3/4 暗褐色	シルト		17	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土多量を含む	18	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
	7	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		19	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	8	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		20	10YR3/3 暗褐色	シルト		
	9	10YR1.2/1 黒色	シルト		21	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	住居壁面に残る痕跡	
	10	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土多量を含む	22	10YR4/4 褐色	シルト	住居壁面に残る痕跡	
	付属	11	10YR3/3 暗褐色	シルト		23	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	住居壁面に残る痕跡
		12	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		掘り方	24	10YR4/4 褐色	砂混シルト

S1232 施設埋土封記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	P3	1	10YR2/1 黒色	シルト	炭化物多量を含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト			2	10YR4/4 褐色	シルト	
P2	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土少量含む	P4	-	10YR2/1 黒色	シルト	炭化物多量を含む

S1232 施設観察表

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P1	(円形)	39×28	12		P3	楕円形	80×39	13	灰層のピット
P2	円形	62×62	13		P4	(円形)	50×48	13	

#### SI232 竪穴住居跡(第225・226図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区中央南側、32・33・48・49グリッドに位置する。検出部分は住居全体の約1/3である。

〔重複〕 SI236に切れ、SI254～257を切る。

〔規模・形態〕 南北3.8mを測る。平面形は定かではないが、長方形に近いものと推測される。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-92°-Eである。

〔堆積土・構築土〕 24層に分層した。1・2層は住居埋土である。3～12層はカマド(新)関連層位で、7～11層は煙道部内堆積土、12層は袖構築土である。また、13～23層はカマド(古)関連層位で、1～8層は煙道部内堆積土、21～23層は住居壁面に僅かに残っていた袖構築土である。24層は掘り方埋土で、砂質を呈する。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁19cm、南壁14cm、北壁17cmである。

〔床面〕 24層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔カマド〕 東辺北端で2基のカマドを検出し、南カマドは竪穴プランに壊されているためカマド(古)、両袖部が残存する北カマドをカマド(新)とした。カマド(新)は両袖部が壁面から平行に延びている。袖部の長さは約60cm、高さは床面から10～15cm程残っている。燃焼部は奥行63cm、幅45cmを測る。煙道部は長さ126cm、幅24～28cm、深さ30cmを測る。カマド(古)では袖部は検出されず、煙道部のみを検出した。長さ128cm、幅20～30cm、深さ22cmを測る。カマド(新)・(古)とも煙道部の先端部は窪まずに立ち上がる。

〔その他の施設〕 ビット4基(P1～4)を検出した。P3の埋土上位には多量の炭化物が含まれ、灰溜めビットとしての用途が考えられる。

〔掘り方〕 深さが3～5cmと非常に浅い。底面には若干の起伏があるもののほぼ平坦である。

〔出土遺物〕 床面からの出土遺物はないが、P1から第226図-1・5が出土した。土師器環第226図-1～3は、やや扁平な丸底から弱い稜を経て口縁部が外傾する。内面はヘラミガキされるが、黒色処理は施されていない。また、埋土中から製作途上と思われる土製丸玉が出土した。第226図-8は上下に孔を穿とうとした痕跡があり、第226図-9は指頭調整のみで終了している。

#### SI233 竪穴住居跡(第227～229図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区中央北側、78グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察からIVb層上面からの掘り込みであることを確認した。住居北半は調査区外に位置する。

〔重複〕 SI219・229に切られる。

〔規模・形態〕 残存値は住居東辺2.0m、南辺2.4mで、平面形は不明である。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-21°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 4層に分層した。1・2層は住居埋土、3層は周溝内堆積土、4層は掘り方埋土である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁31cm、南壁21cmである。

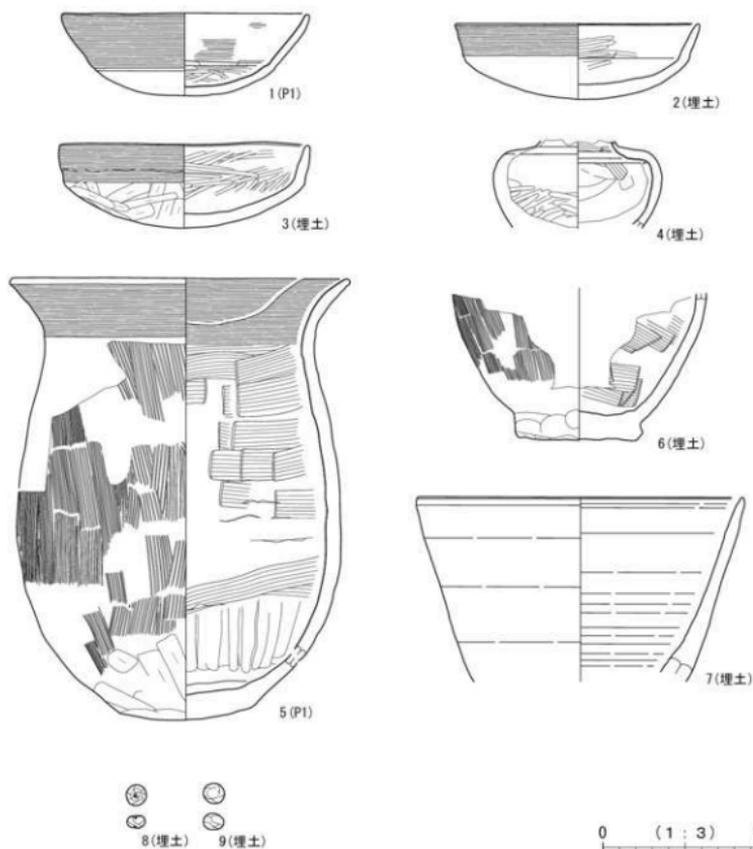
〔床面〕 4層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔周溝〕 残存する2辺の壁面直下で検出した。幅10cm前後、深さは5cm前後で、断面形は半円形に近い。

〔その他の施設〕 ビット8基(P1～8)を検出した。

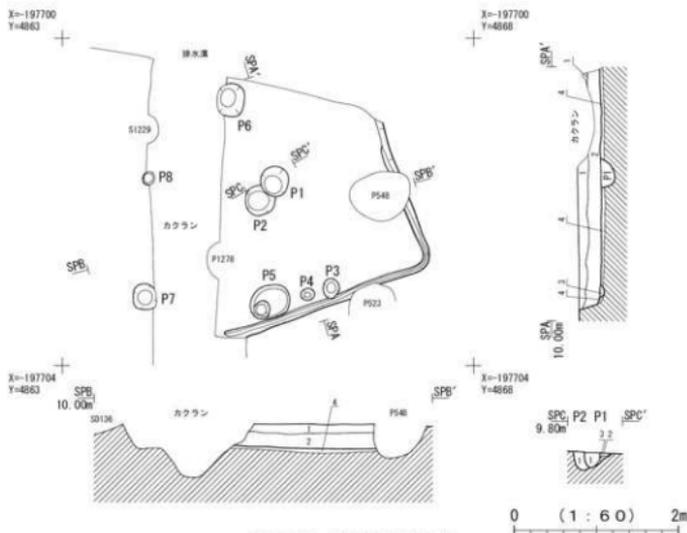
〔掘り方〕 深さは3cm程度と浅く、底面は比較的平坦である。

〔出土遺物〕 住居東側の床面から土錘がまとまって出土し、26点を図示した。長さは3.1～5.5cmとややばらつくが、径は1.1～1.4cm、孔径は0.4～0.5cmを測る。また、埋土中から完形の土師器甕・飯が出土しており、本遺構に伴うものと考えられる。



第226図 SI232出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺構	形状	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載
1	C-311	SI232	P1	土師器	杯	114.80×××65.0	磨減、口縁部399?	磨減、口縁部399?、底部918?4		131
2	C-312	SI232	埋土	土師器	杯	14.7×××4.6	磨減、口縁部399?、底部-底部999??	磨減、口縁部-底部918?4		131
3	C-313	SI232	埋土	土師器	杯	14.8×××5.0	口縁部399?、底部-底部999?→918?4	口縁部-底部918?4		131
4	C-314	SI232	埋土	土師器	壺	×××65.3	磨耗、胴部918?4	胴部999?		131
5	C-315	SI232	P1	土師器	壺	20.0×7.3×27.0	口縁部399?、胴部999?→?下部999?、底部999?	口縁部399?、胴部-底部999?		131
6	C-316	SI232	埋土	土師器	壺	××7.2×69.0	胴部999?、底部999?	胴部-底部999?		131
7	E-63	SI232	埋土	土師器	鉢	19.60×××11.3	399調整	399調整	磨耗顕著	131
図版番号	登録番号	出土遺構	形状	種類	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真 掲載
8	P-25	SI232	埋土	土製品	丸玉	0.8×18.12×孔18.0	1.1	製作途中?孔未完、表面調整		131
9	P-26	SI232	埋土	土製品	丸玉	1.0×18.13	1.5	未完成?表面調整		131



SI233 埴土封じ表

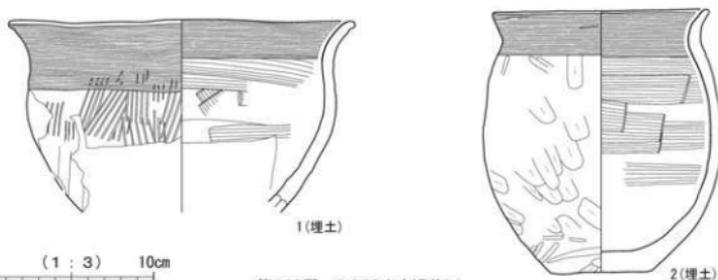
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
堀1	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	10YR4/4 褐色に少量含む	堀2	3	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む
	2	10YR3/4 紅褐色	シルト	10YR5/6 赤褐色に炭化物・焼土少量含む		4	10YR5/6 赤褐色	シルト	

SI233 雑踏埴土封じ表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/4 紅褐色	シルト		P4	-	10YR4/4 褐色	シルト		
	2	10YR3/4 紅褐色	シルト	10YR4/4 褐色に少量含む		P5	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	
	3	10YR4/3 に赤い黄褐色	シルト				P6	-	10YR4/4 褐色	シルト
P2	1	10YR4/4 褐色	シルト		P7	-		10YR3/3 紅褐色	シルト	
	-	10YR4/6 褐色	シルト	炭化物多量を含む		P8	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量を含む

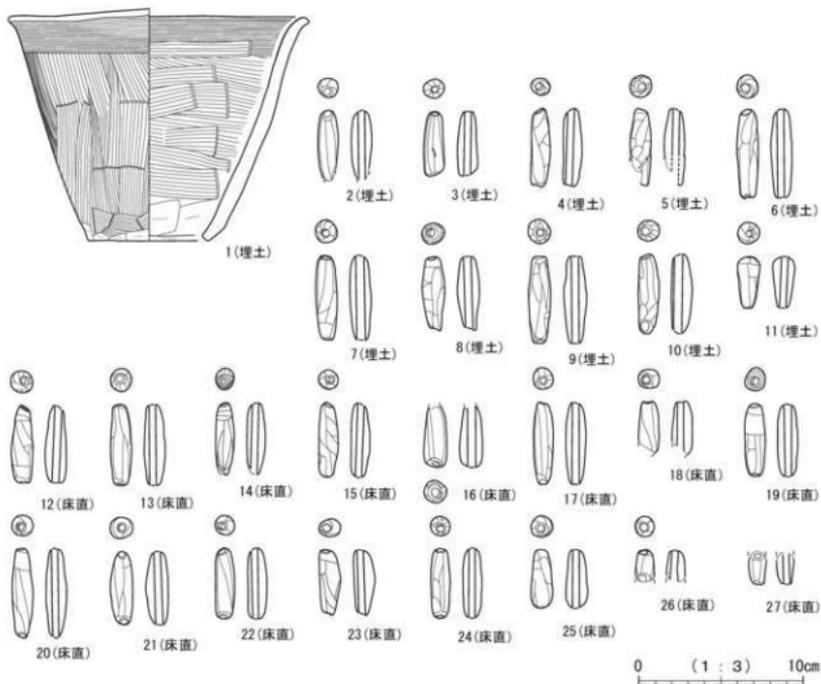
SI233 雑踏観察表

遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	37×34	22		P5	楕円形	49×41	18	
P2	円形	37×35	26		P6	楕円形	41×32	7	
P3	楕円形	25×20	7		P7	円形	32×28	14	
P4	楕円形	17×14	4		P8	円形	17×14	6	



第228図 SI233出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真
1	C-317	SI233	埴土	土師器	甕	20.0× $\phi$ ×(11.0)	口縁部2???, 胴部4??	口縁部2???, 胴部4???		131
2	C-318	SI233	埴土	土師器	甕	12.0×6.0×16.1	口縁部2???, 胴部~底部18'4枚の4???	口縁部2???, 胴部~底部18'4枚の4???		131



第229図 S1233出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺物	部位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-319	S1233	埋土	土師器	甗	17.8×7.3×14.3	口縁部299F、胴部299F、孔外縁299F	口縁部299F、胴部299F、孔外縁299F		131
採取番号	登録番号	出土遺物	部位	種類	器種	長さ×厚×孔径(cm)	重量(g)	備考		写真掲載
2	P-27	S1233	埋土	土師品	土錘	4.3×18.12×孔18.04	5.4	指痕調整		132
3	P-28	S1233	埋土	土師品	土錘	4.0×18.12×孔18.04	5.5	指痕調整		132
4	P-29	S1233	埋土	土師品	土錘	4.8×18.11×孔18.04	6.0	指痕調整		132
5	P-30	S1233	埋土	土師品	土錘	4.7×18.12×孔18.04	6.0	指痕調整		132
6	P-31	S1233	埋土	土師品	土錘	4.59×18.13×孔18.04	8.5	指痕調整		132
7	P-32	S1233	埋土	土師品	土錘	5.2×18.13×孔18.05	8.0	指痕調整		132
8	P-33	S1233	埋土	土師品	土錘	4.5×18.14×孔18.05	6.4	指痕調整		132
9	P-34	S1233	埋土	土師品	土錘	5.3×18.14×孔18.04	8.5	指痕調整		132
10	P-35	S1233	埋土	土師品	土錘	4.99×18.12×孔18.05	6.2	指痕調整		132
11	P-36	S1233	埋土	土師品	土錘	3.1×18.13×孔18.04	4.6	指痕調整		132
12	P-37	S1233	床直	土師品	土錘	4.8×18.13×孔18.04	6.7	指痕調整		132
13	P-38	S1233	床直	土師品	土錘	4.9×18.13×孔18.04	7.1	指痕調整		132
14	P-39	S1233	床直	土師品	土錘	4.1×18.11×孔18.04	5.3	指痕調整		132
15	P-40	S1233	床直	土師品	土錘	4.6×18.12×孔18.04	5.7	指痕調整		132
16	P-41	S1233	床直	土師品	土錘	4.71×18.14×孔18.05	6.5	指痕調整		132
17	P-42	S1233	床直	土師品	土錘	5.0×18.12×孔18.04	7.2	指痕調整		132
18	P-43	S1233	床直	土師品	土錘	4.29×18.12×孔18.04	4.1	指痕調整		132
19	P-44	S1233	床直	土師品	土錘	4.4×18.12×孔18.04	6.8	指痕調整		132
20	P-45	S1233	床直	土師品	土錘	5.5×18.13×孔18.04	7.2	指痕調整		132
21	P-46	S1233	床直	土師品	土錘	4.0×18.13×孔18.04	7.1	指痕調整		132
22	P-47	S1233	床直	土師品	土錘	4.3×18.12×孔18.04	5.3	指痕調整		132
23	P-48	S1233	床直	土師品	土錘	4.0×18.13×孔18.04	4.9	指痕調整		132
24	P-49	S1233	床直	土師品	土錘	4.3×18.12×孔18.04	5.2	指痕調整		132
25	P-50	S1233	床直	土師品	土錘	3.6×18.12×孔18.04	3.4	指痕調整		132
26	P-51	S1233	床直	土師品	土錘	4.08×18.11×孔18.04	1.8	指痕調整		132
27	P-52	S1233	床直	土師品	土錘	4.08×18.11×孔18.04	2.1	指痕調整		132

SI234 竪穴住居跡(第230~235図)

[位置・確認面] 4C西区中央、76グリッドに位置する。

[重複] SI230に切られる。

[規模・形態] 東西5.0m、南北3.0mを測り、長方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-32°-Wである。

[堆積土・構築土] 16層に分層した。1~3層は住居埋土、4~9層はカマド関連層位、10~13層はカマド袖構築土、14~16層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁21cm、西壁15cm、北壁19cmである。

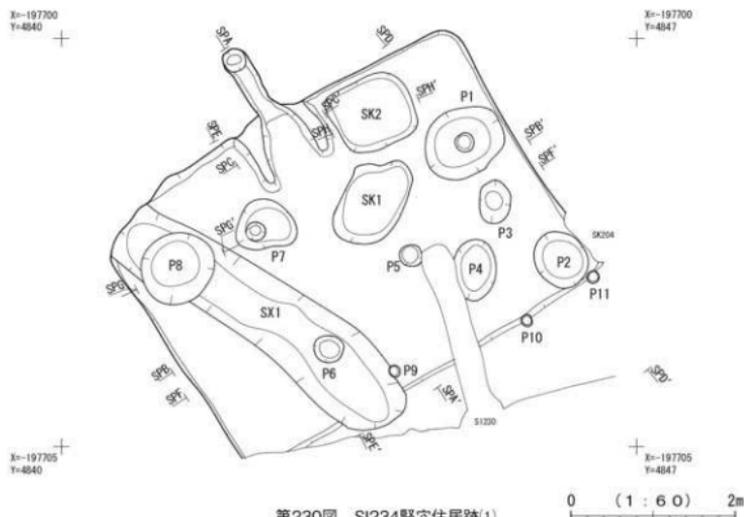
[床面] カマド周辺で14・15層、その他は概ね16層上面を床面とする。僅かな起伏は認められるものの、ほぼ平坦である。

[カマド] 北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、壁面から平行して延びている。袖部の長さは75~85cm、高さは床面から15~20cm程残っている。燃烧部は奥行80cm、幅30~58cmを測る。大型の被熱した自然礫が焚口を塞ぐような状態で出土しており、落下した天井石と推測される。また両袖基部から袖石と考えられる細長の自然礫が、燃烧部内には直立した2個体の土師器甕が出土した。煙道部は長さ88cm、幅25cm前後、深さ5cm前後を測り、先端は僅かに窪む。

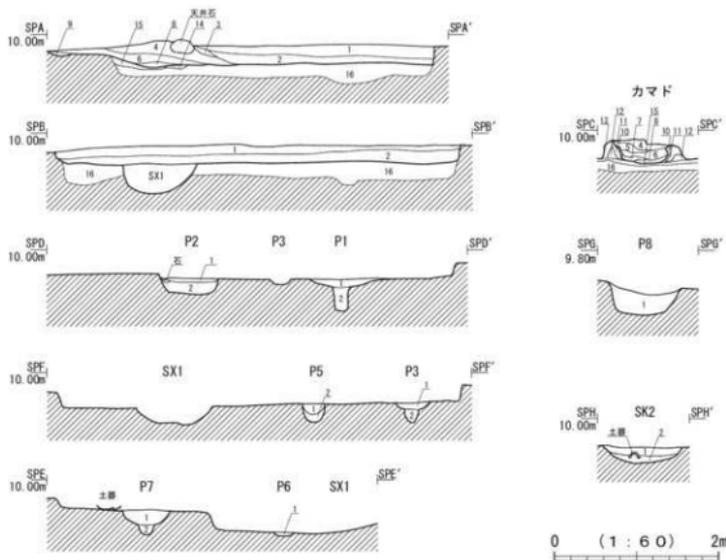
[その他の施設] カマド右方で隅丸方形を呈する土坑(SK2)を検出した。深さ20cmを測り、貯蔵穴の用途が考えられる。また、住居北西隅~南辺に渡る溝状遺構を検出し、これをSX1とした。幅80cm前後、深さ約30cmを測るが、その性格は不明である。その他、土坑1基(SK1)及びピット11基(P1~11)を検出した。

[掘り方] 深さは10~30cmであり、底面には凹凸が認められる。住居の壁際は比較的深くなっている。

[出土遺物] 遺物出土状態図中の遺物は全て床面上からの出土である。カマドからは比較的依存状態の良い土師器甕2点が出土している。第234図-3は長胴、第234図-4は胴部下位に最大径を持つ。埋土中から出土した塊状の第233図-4、関東系土師器第233図-2、稜を有する第233図-3は内面のヨコナテ幅が広く、第233図-3は外面のヨコナテ幅も広い。口縁部がやや内傾気味に立ち上がる第233図-1は、内面を黒色処理される。



第230図 SI234竪穴住居跡(1)



第231図 S1234鑿穴住居跡(2)

S1234 埋土柱記簿

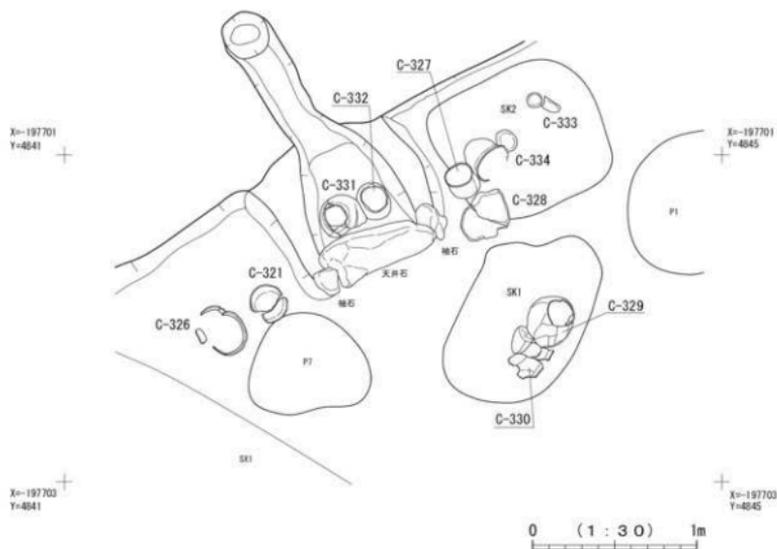
層位	部位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		カマド	9	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山?の砂・焼土少量含む	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			10	5YR4/6 赤褐色	シルト	焼土層含む	
	3	10YR6/2 灰黄褐色	シルト			11	10YR4/1 褐色	シルト		
カマド	4	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			12	10YR5/3 に近い黄褐色	砂質シルト		
	5	10YR6/3 に近い黄褐色	シルト			13	7.5YR5/1 褐色	シルト		
	6	10YR3/2 灰褐色	シルト			掘り方	14	5YR5/6 明赤褐色	シルト	焼土層含む
	7	10YR3/1 灰褐色	シルト				15	10YR5/4 に近い黄褐色	砂質シルト	
	8	7.5YR5/2 灰褐色	シルト				16	10YR6/2 灰黄褐色	シルト	

S1234 施設埋土柱記簿

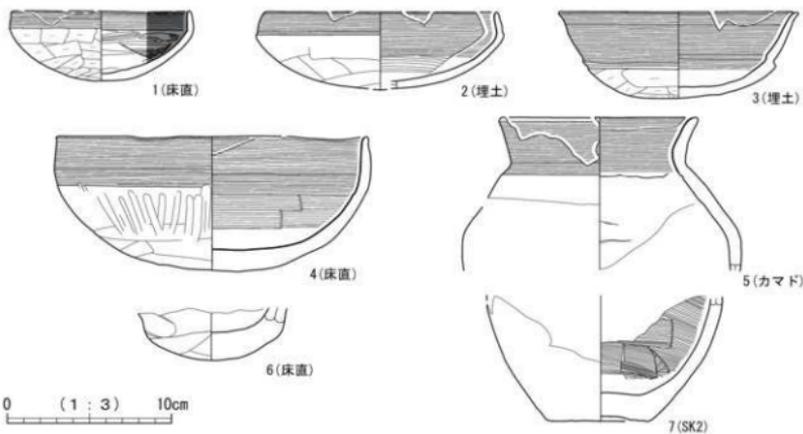
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P7	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト			2	10YR5/6 黄褐色	シルト	
P2	1	10YR4/6 褐色	シルト		P8	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
	2	10YR2/2 灰褐色	シルト			P9	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト
P3	1	10YR3/2 灰黄褐色	シルト		P10		-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P11	-	10YR5/1 褐色	シルト	
	-	10YR4/6 褐色	シルト		SK1	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
P4	1	10YR6/8 明黄褐色	シルト			SK2	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト
	2	10YR5/3 に近い黄褐色	シルト		2		10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P5	1	10YR5/6 黄褐色	シルト		SKX1	-	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト						

S1234 施設観測簿

遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	103×83	39		P8	円形	93×85	60	
P2	楕円形	72×62	19		P9	円形	13×14	4	
P3	楕円形	54×38	26		P10	円形	13×13	11	
P4	(楕円形)	75×49	25		P11	円形	13×14	12	
P5	(円形)	68×27	25		SK1	不整形	115×73	12	
P6	円形	37×34	6		SK2	隅丸方形	96×86	20	貯蔵穴
P7	不整形	75×59	32		SKX1	溝状	1409×83	33	

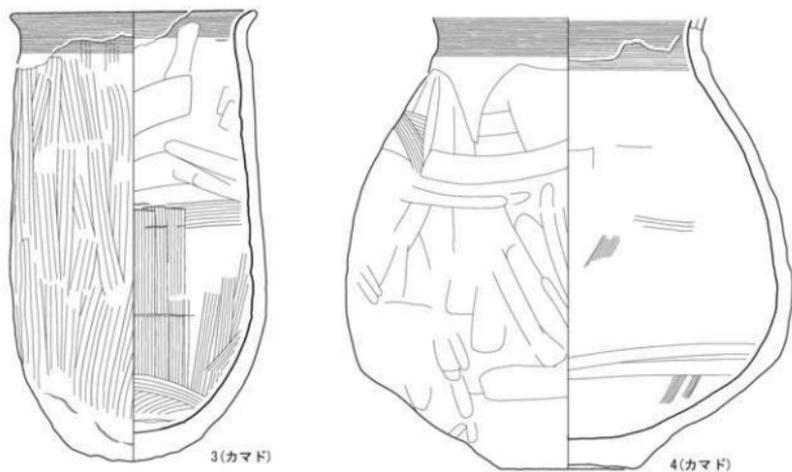
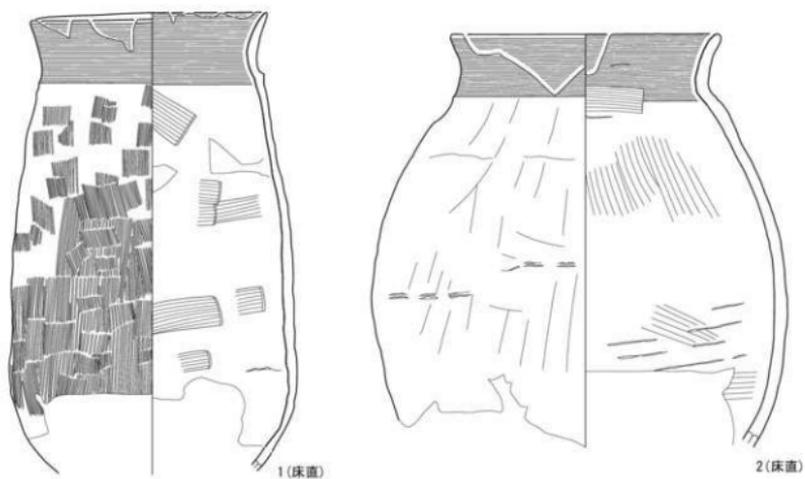


第232図 SI234竪穴住居跡(3)



第233図 SI234出土遺物(1)

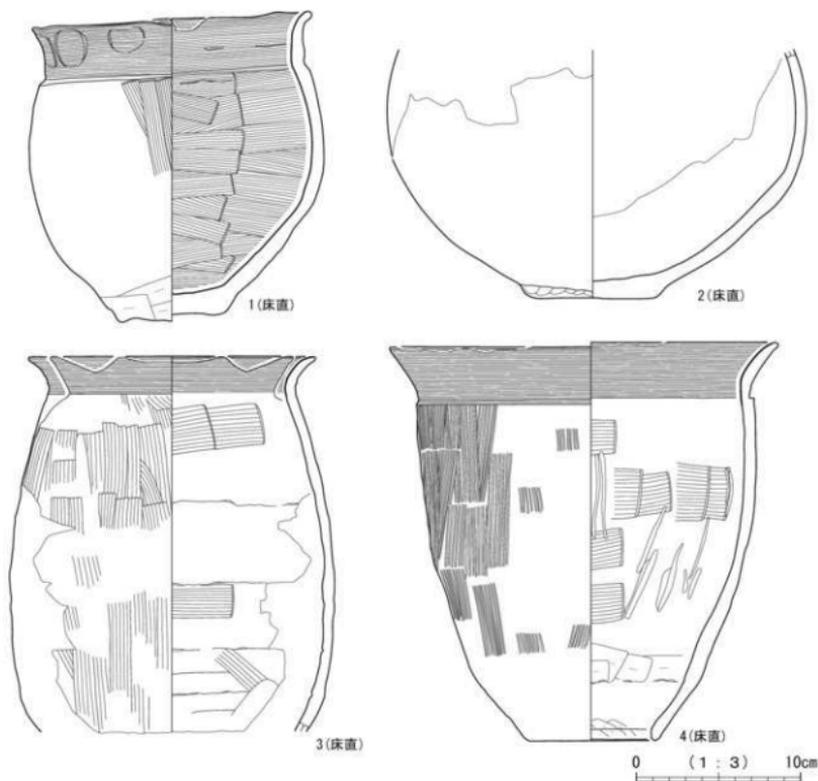
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-330	SI234	床直	土師器	坏	10.8××4.3	口縁部399°, 体部999°, 底部991°	磨光, 口縁部-底部918°	内面黑色処理	132
2	C-323	SI234	埋土	土師器	坏	(14.1)××(4.8)	口縁部399°, 体部-底部991°→999°	口縁部-体部399°, 底部999°		132
3	C-322	SI234	埋土	土師器	坏	14.1××5.2	口縁部399°, 体部-底部991°→999°	口縁部399°, 体部-底部999°		132
4	C-321	SI234	床直	土師器	坏	18.8××8.1	口縁部399°, 体部999°, 底部991°	磨光, 口縁部-底部999°→918°		132
5	C-325	SI234	カマド	土師器	釜	11.8××9.5h	口縁部399°, 胴部999°→999°	磨光, 口縁部399°, 胴部999°		132
6	C-333	SI234	床直	土師器	釜	×××(3.1)	底部999°	底部999°		132
7	C-324	SI234	SK2	土師器	釜	××6.2×(7.7)	胴下平部999°, 下腹部999°, 口縁部991°	胴部-底部999°		132



0 (1 : 3) 10cm

第234図 SI234出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺物	形状	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-330	SI234	床直	土師器	甕	14.1××(28.0)	磨孔、口縁部×99°、胴部×99°	磨孔、口縁部×99°、胴部×99°		133
2	C-329	SI234	床直	土師器	甕	16.2××(25.3)	輪彫×直線差、口縁部×99°、胴部×99°	磨孔、口縁部×99°、胴部×99°		133
3	C-331	SI234	カマド	土師器	甕	(14.6)××27.4	口縁部×99°、胴部×99°×99°、底部×99°	磨孔、口縁部×99°、胴部×底部×99°		133
4	C-332	SI234	カマド	土師器	甕	→8.3×(27.3)	磨孔、胴部×99°、胴部×99°×99°×99°、底部×99°	磨孔、胴部×99°、胴部×底部×99°		133



第235図 SI234出土遺物(3)

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図説
1	C-327	SI234	床直	土師器	甕	168×62×18.4	巻孔、口縁部 <sup>237F</sup> 、胴部 <sup>237F</sup> 、底部 <sup>237E</sup>	口縁部 <sup>237F</sup> 、胴部 <sup>237F</sup> 、底部 <sup>237F</sup>		131
2	C-326	SI234	床直	土師器	甕	→75×116.0	巻孔、胴部 <sup>237F</sup> → <sup>237F</sup> ? 底部 <sup>237F</sup>	巻孔、胴部 <sup>237F</sup> → <sup>237F</sup> ?		131
3	C-328	SI234	床直	土師器	甕	17.3×→22.9	口縁部 <sup>237F</sup> 、胴部 <sup>237F</sup> →上平部 <sup>237F</sup>	巻孔、口縁部 <sup>237F</sup> 、胴部 <sup>237F</sup>		131
4	C-334	SI234	床直	土師器	甕	23.5×7.7×24.3	口縁部 <sup>237F</sup> 、胴部 <sup>237F</sup> → <sup>237F</sup>	巻孔、口縁部 <sup>237F</sup> 、胴部 <sup>237F</sup> 、乳母肩 <sup>237F</sup>		131

SI235 竪穴住居跡(第236～238図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区中央、47・63グリッドに位置する。

〔重複〕 SI222～224に切られる。

〔規模・形態〕 東西4.6m、南北4.5mを測り、方形に近い平面形状を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・18°・Wである。

〔堆積土・構築土〕 15層に分層した。1～3層は住居埋土、4～9層はカマド関連層位、10層は周溝内堆積土、11・12層はカマド袖構築土、13～15層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁46cm、南壁39cm、北壁15cmである。

[床面] 13・14層上面を床面とし、緩やかな起伏が認められる。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、いずれにも柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.0～2.2mである。

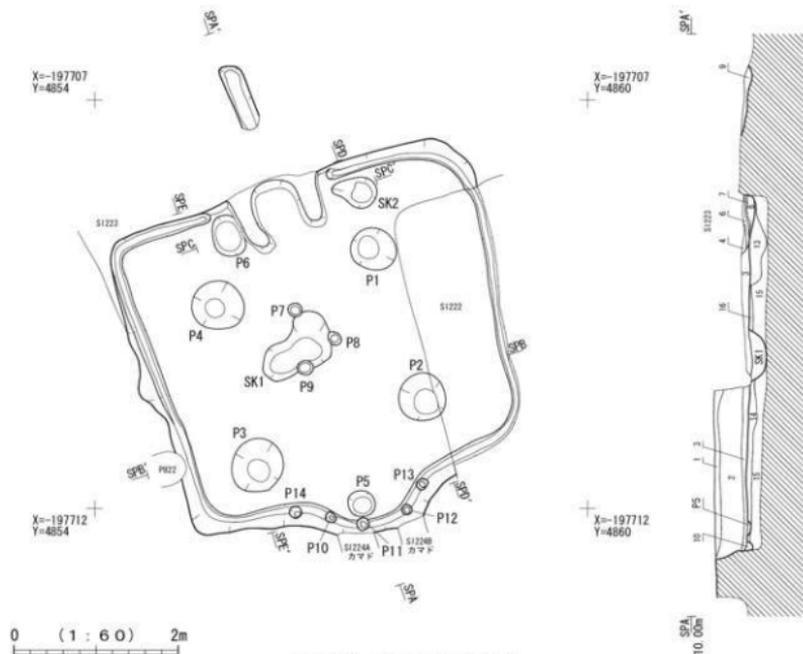
[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅10～14cm、深さは5cm前後で、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、壁面から平行して延びている。袖部の長さは65～80cm、高さは床面から10～15cm程残っている。燃焼部は奥行65cm、幅48cmを測る。煙道部はSI223切れ、一部失われている。幅28cm、深さ8cmで、先端は窪まずに立ち上がる。

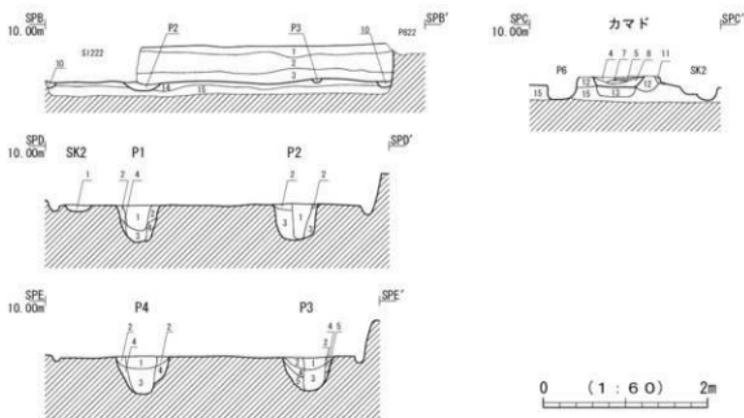
[その他の施設] 住居中央に不整形の土坑(SK1)とそれを取り巻くような形でピット3基(P7～9)を検出した。用途は不明であるが、互いに何らかの関連性があるものと思われる。住居南辺中央は40cm程張り出してあり、この張り出し部分の周溝内から、50cm前後の間隔を持つP10～14が検出された。出入口に伴う施設であろうか。その他、土坑1基(SK2)及びピット2基(P5・6)を検出した。

[掘り方] 全体的に20cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 土師器環は、扁平な底部から稜を経て口縁部が内湾気味に立ち上がる器形で、内面をヘラミガキした後、黒色処理されている。



第236図 SI235竪穴住居跡(1)



第237図 S1235竪穴住居跡(2)

S1235 埋土目録表

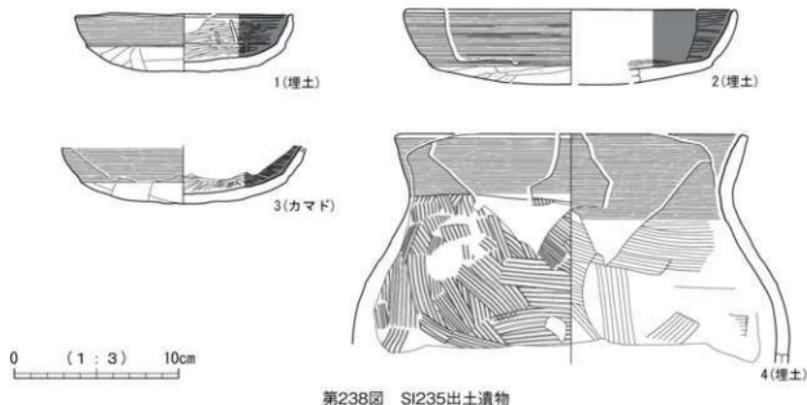
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘土	1	10YR2/4 暗褐色	シルト		カマド	9	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト			10	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト	
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト			11	10YR6/4 濃い黄褐色	シルト	炭化物少量含む
カマド	4	10YR6/4 濃い黄褐色	シルト		12	10YR6/4 濃い黄褐色	シルト		
	5	10YR7/4 濃い黄褐色	シルト		13	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アロク炭化物少量含む	
	6	10YR7/4 濃い黄褐色	シルト	機土微量を含む	14	10YR3/3 暗褐色	シルト		
	7	10YR6/1 褐色	シルト		15	10YR4/3 濃い黄褐色	砂質シルト		
	8	10YR7/4 濃い黄褐色	シルト	炭化物機土少量含む					

S1235 施設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	地山アロク少量含む	P4	3	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			4	10YR7/6 明黄褐色	砂質シルト		
	3	10YR6/6 明黄褐色	シルト			P5	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	
	4	10YR7/6 明黄褐色	シルト			P6	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	
P2	1	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト		P7	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P8	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	3	10YR7/6 明黄褐色	シルト		P9	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
P3	1	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト		P10	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P11	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	3	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト		P12	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	4	10YR6/6 明黄褐色	砂質シルト		P13	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
	5	10YR7/6 明黄褐色	砂質シルト		P14	-	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト		
P4	1	10YR4/4 褐色	シルト		SK1	-	10YR6/6 明黄褐色	シルト	地山アロク炭化物微量を含む	
	2	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト		SK2	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		

S1235 施設詳細表

遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	56×52	34		P9	楕円形	16×14	5	SK11に付属?
P2	楕円形	37×56	41		P10	円形	14×13	7	
P3	楕円形	47×61	43		P11	円形	14×14	5	
P4	楕円形	63×60	44		P12	円形	14×12	7	
P5	楕円形	24×22	13		P13	円形	14×14	7	
P6	楕円形	36×26	18		P14	円形	14×14	5	
P7	楕円形	15×14	6	SK11に付属?	SK1	不整形	54×38	12	
P8	楕円形	16×14	3	SK11に付属?	SK2	不整形	98×63	10	



第238図 SI235出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-317	SI235	埋土	土師器	杯	33.0××3.5	磨滅、口縁部2??、底部-底面?9???	口縁部~底部?9?#?	内面黒色処理	134
2	C-315	SI235	埋土	土師器	杯	19.9××3.4	口縁部~底部2??、底部?9?#?	口縁部~底部?9?#?	内面黒色処理	134
3	C-336	SI235	カマド	土師器	灰	×××3.4	口縁部2??、底部-底面?9??	口縁部~底部?9?#?	内面黒色処理	134
4	C-338	SI235	埋土	土師器	壺	(20.0)××(14.0)	口縁部2??、胴部?#?	口縁部2??、胴部?9?#?→?9??		134

### SI236 竪穴住居跡(第239・240図)

[位置・確認] 4C西区中央南側、32グリッドに位置する。住居南側が調査区外に位置しているため、検出部分は住居全体の約1/3である。

[重複] SI232を切る。

[規模・形態] 東西3.4mを測る。平面形は不明であるが、方形に近いものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-10°-Wである。

[堆積土・構築土] 11層に分層した。1~3層は住居埋土、4~7層はカマド関連層位、8層は周溝内堆積土、9層はカマド袖構築土、10-11層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味或いはやや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は東壁22cm、西壁29cm、北壁25cmである。

[床面] 概ね10層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

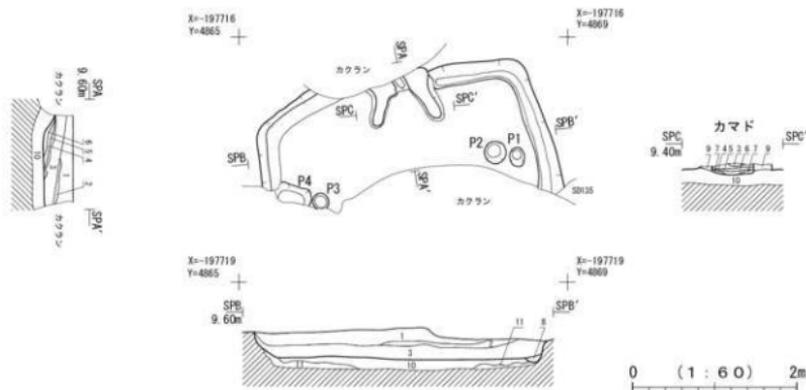
[周溝] 北辺東側と東辺の壁面直下で検出した。幅20~25cm、深さは20~25cmで、断面形は半円形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。両袖部が残存しており、ハ字状に開く。袖部の残存長は50~70cm、高さは床面から5cm程残っている。燃焼部は奥行50cm、幅27~55cmを測る。

[その他の施設] ビット4基(P1~4)を検出した。

[掘り方] 全体的に10~15cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器杯1点、須恵器杯2点、土鍾1点を図示した。内面黒色処理された土師器杯第240図-1は、共存して出土した須恵器杯に器形が近く、内面には使用痕が認められた。須恵器杯第240図-2底部には回転ヘラ切り痕、第240図-3は体部下端~底部をヘラケズリした後、ナデを施す。土鍾は大型で、孔径も1cm近い。その他骨片も出土している。



第239図 SI236竪穴住居跡

SI236 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3-4 紅褐色	シルト	堆石?の?、炭化物・焼土微量を含む	カマド	7	10YR4-4 褐色	シルト	
	2	10YR3-3 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む		8	10YR4-4 褐色	シルト	
	3	10YR4-4 褐色	シルト	焼土微量を含む		9	10YR4-6 褐色	砂質シルト	
カマド	4	5YR3-6 暗赤褐色	シルト		9	10YR3-4 紅褐色	シルト	10YR4-6 褐色砂質(少)少量含む	
	5	7.5YR3-2 黒褐色	シルト	炭化物少量含む	10	10YR3-4 紅褐色	シルト		
	6	10YR3-4 紅褐色	シルト		11	10YR4-6 褐色	砂質シルト		

SI236 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		P3	1	10YR3-3 紅褐色	シルト	
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト			P4	1	10YR3-4 紅褐色	シルト

SI236 施設積層表

遺構名	平面形	風船(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	風船(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	24×17	5		P3	楕円形	21×18	5	
P2	楕円形	28×25	5		P4	不整形	28×19	5	



第240図 SI236出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-339	SI236	埋土	土師器	杯	15.2×××4.2	磨耗、口縁部???, 底部~底部???	口縁部~底部???	内面黒色地味、非 底~黒地味	133
2	E-64	SI236	埋土	灰土器	杯	××12.0×2.9	??調整、底部輪転少型リ→??	??調整		133
3	E-65	SI236	埋土	灰土器	杯	14.9×8.0×3.7	??調整、底部下端~底部???	??調整	底人物少ない	133
採取番号	登録番号	出土遺構	層位 <td>種別</td> <td>器種</td> <td>長さ×幅×厚さ(cm)</td> <td>重量(g)</td> <td>備考</td> <td></td> <td>写真掲載</td>	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真掲載
4	P-53	SI236	埋土	土製品	土師	3.9×径3.2×孔径0.9	46.0	断面調整		133

SI237 竪穴住居跡(第241~243図)

[位置・確認面] 4 C 西区北西、89・90グリッドに位置する。視乱により住居の約1/3を失う。

[重複] SI231に切られる。

[規模・形態] 南北4.2mを測り、平面形は方形に近いものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-142°-Wである。

[堆積土・構築土] 12層に分層した。1層は住居埋土、2~6層はカマド関連層位、7~10層はカマド袖構築土、11・12層は掘り方埋土である。

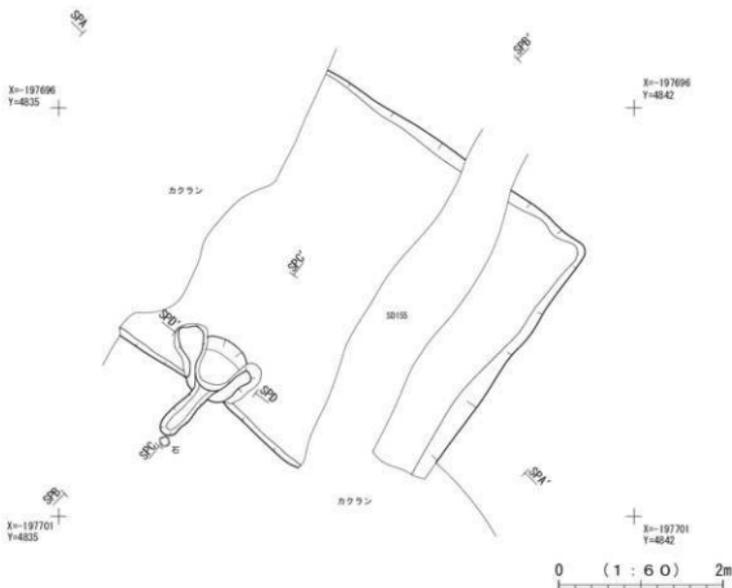
[壁面] やや外傾しながら立ち上がる。

[床面] 11・12層及び地山上面を床面とし、僅かではあるが西側に向かったの傾斜が認められる。

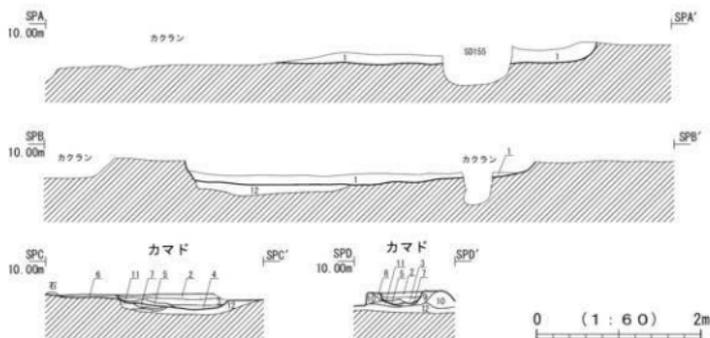
[カマド] 南辺で検出した。両袖部が残存しており、ハ字状に開く。袖部の長さは約70cm、高さは床面から10~20cm程残っている。燃烧部は奥行58cm、幅35~64cmを、煙道部は長さ73cm、幅22~25cm、深さ14cmを測る。煙道部先端付近で径10cm程の自然礫を検出しており、これは煙道施設の一部である可能性がある。

[掘り方] 南辺のカマド周辺においてのみ、10cm程度の浅い掘り込みがみられた。

[出土遺物] 図示した遺物は全て埋土中からの出土である。土師器壊はいずれも、体部の弱い後から口縁部が外傾する器形で、第243図-1・3はヘラミガキ後に内面を黒色処理される。第243図-2はヘラミガキされるものの、黒色処理は認められない。第243図-4・5は底部が肥厚する小型の土師器甕で、第243図-4は頸部に括れがなく、外面調整は主にハケメである。



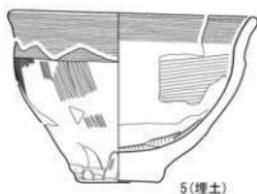
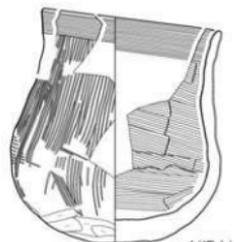
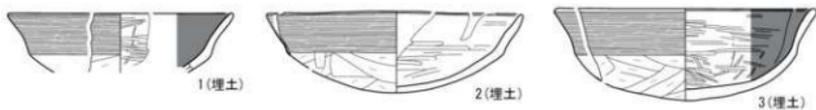
第241図 SI237竪穴住居跡(1)



第242図 SI237竈穴住居跡(2)

SI237 埴土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		カマド	7	10YR4-6 褐色	シルト	焼熱部含む
	2	10YR5-2 灰黄褐色	シルト			8	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
	3	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			9	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
	4	10YR4-1 褐色	シルト			10	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
	5	5YR6/8 赤褐色	シルト			11	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト	
	6	7.5YR3-4 暗褐色	シルト			12	10YR6-2 灰黄褐色	シルト	



第243図 SI237出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-340	SI237	埴土	土師器	杯	03.9 × × 0.5	口縁部R277、体部-底部準純、V992 0?	準純、口縁部-底部R18 1		内面黒色地埋	135
2	C-341	SI237	埴土	土師器	杯	15.5 × × 0.9	口縁部R277、体部-底部R18 0	口縁部-底部R18 4			135
3	C-342	SI237	埴土	土師器	杯	05.9 × × 0.5	口縁部R277、体部-底部R18 0	口縁部-底部R18 4		内面黒色地埋	135
4	C-344	SI237	埴土	土師器	甕	00.7 × × 14.0	口縁部R277、胴部R18-胴下部-底部R18 0	口縁部R277、胴部R18、胴下部-底部R18 4			135
5	C-343	SI237	埴土	土師器	甕	05.1 × 4.8 × 10.2	口縁部R277、胴部R18-胴下部R18、底部R18 1	口縁部R277、胴部-底部R18 0			135

SI238 竪穴住居跡(第244~247図)

[位置・確認面] 4C西区中央、63・64・77グリッドに位置する。

[重複] SI222・223・225に切られる。

[規模・形態] 残存値は住居東辺4.9m、北辺3.2mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-43°-Wである。

[堆積土・構築土] 6層に分層した。1・2層は住居埋土、3~5層はカマド関連層位、6層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁で約30cmである。

[床面] 6層上面を床面とする。残存部分は広くないが、ほぼで平坦である。

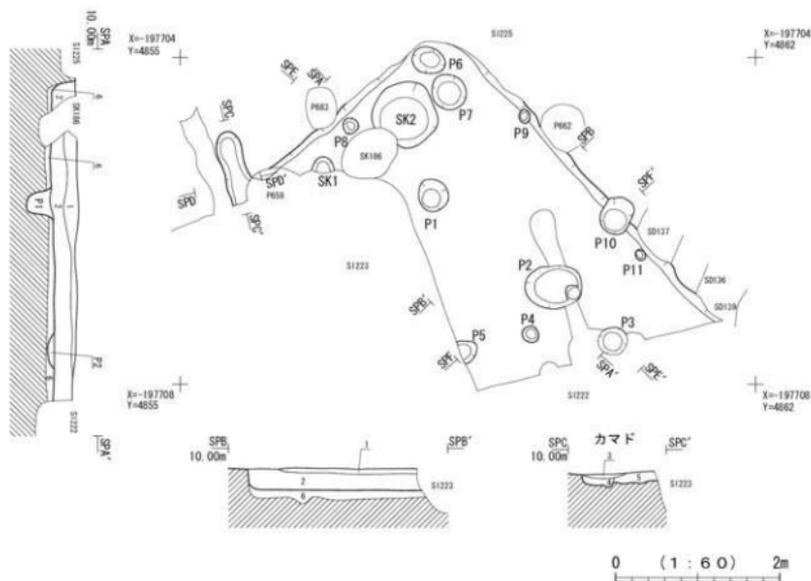
[柱穴] 配置・形状・規模からP1・3が主柱穴と考えられる。また、P6・10は大型の壁柱穴、P8・9・11は小型の壁柱穴と考えられる。

[カマド] 北辺で煙道部を検出し、長さ91cm、幅25cm前後、深さ約30cmを測る。北側にやや湾曲し、底面には起伏が認められる。

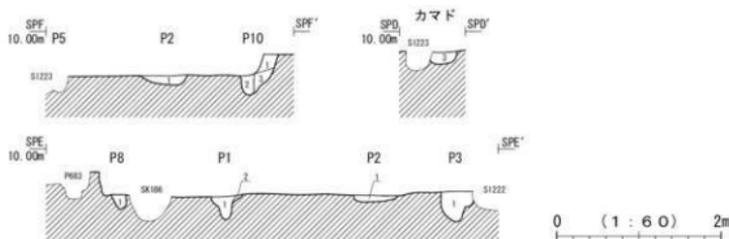
[その他の施設] 土坑2基(SK1・2)及びピット4基(P2・4・5・7)を検出した。多量の炭化物・焼土が検出されたSK1は灰溜めピット、土師器甕が横転して出土したSK2は貯蔵穴としての用途が考えられる。

[掘り方] 全体的に5~15cm程掘り込まれており、底面には起伏が認められる。

[出土遺物] 土師器坏1点、甕1点を図示した。坏第247図-1は底部薄く、小さく外反する口縁部は肥厚する。



第244図 SI238竪穴住居跡(1)



第245図 SI238竪穴住居跡(2)

SI238 埋土柱記表

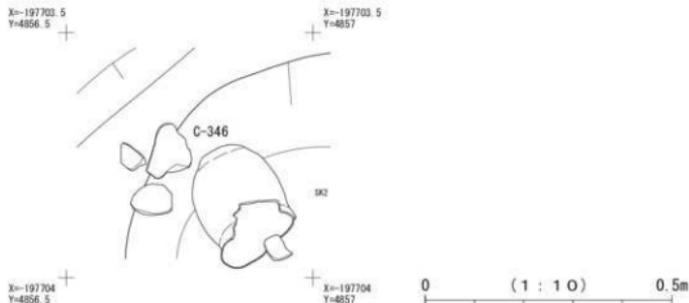
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		カマド	4	10YR3-3 紅褐色	シルト	
	2	10YR4-4 褐色	シルト	堆山アサコ多量、炭化物微量に含む		5	10YR4-6 褐色	シルト	10YR5-6 黄褐色微量に含む
カマド	3	10YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量、埴10cmの層含む	掘り方	6	10YR4-3 にぶい黄褐色	硬質シルト	炭化物・焼土微量に含む

SI238 施設埋土柱記表

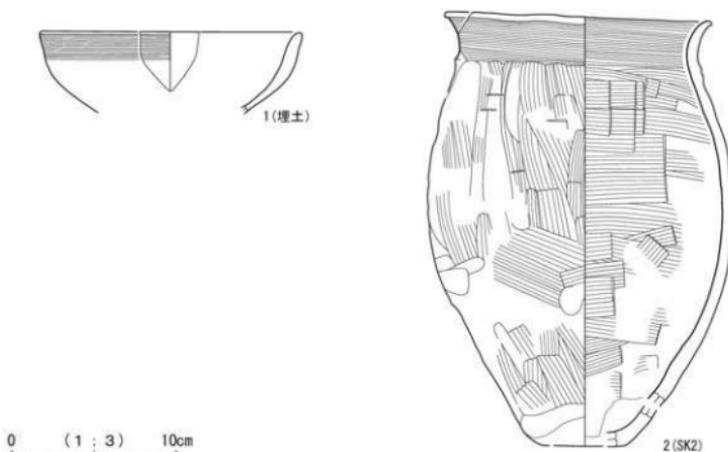
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		P8	1	10YR3-4 紅褐色	シルト	
	2	10YR4-4 褐色	シルト			P9	-	10YR3-4 紅褐色	シルト
P2	1	10YR4-6 褐色	シルト		P10	1	10YR4-4 褐色	シルト	
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト			2	10YR3-4 紅褐色	シルト	
P3	1	10YR3-4 紅褐色	シルト		3	10YR4-4 褐色	シルト	10YR5-6 黄褐色少量含む	
P4	-	10YR3-4 紅褐色	シルト		P11	-	10YR3-4 紅褐色	シルト	
P5	-	10YR3-4 紅褐色	シルト		SK1	-	7.5YR3-4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む
P6	-	10YR4-6 褐色	シルト		SK2	-	10YR3-3 紅褐色	シルト	炭化物少量、焼土微量に含む
P7	-	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む					

SI238 施設輪郭表

遺構名	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	備考	遺構名	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	備考
P1	円形	39×33	28		P8	円形	32×32	15	
P2	楕円形	69×52	19		P9	楕円形	17×12	6	
P3	円形	35×34	33		P10	不整形	46×36	7	
P4	楕円形	21×18	15		P11	楕円形	14×11	5	
P5	不整形	25×12	18		SK1	不整形	28×14	9	灰溜めピット
P6	楕円形	40×32	24		SK2	不整形	83×76	20	貯蔵穴
P7	楕円形	46×40	18						



第246図 SI238竪穴住居跡(3)



第247図 SI238出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載地
1	C-345	SI238	埋土	土師器	甕	(5.2)×( )×(5.0)	口縁部***、底部~底部***	口縁部***、底部~底部***		135
2	C-346	SI238	SK2	土師器	甕	16.0×(5.0)×26.3	口縁部***、胴部***、底部~底部***	口縁部***、胴部~底部***		135

#### SI239 竪穴住居跡(第248・249図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区中央北側、77・91グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察から、少なくともIVb層以上からの掘り込みであることが確認できた。住居北側が調査区外に位置するため、検出部分は住居全体の約1/4である。

〔重複〕 SI225・226、SB27に切られる。

〔規模・形態〕 調査区内での計測値は、住居西辺4.9m、南辺2.8mで、平面形は不明である。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-40°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 10層に分層した。1~7層は住居埋土、8層は周溝内堆積土、9・10層は掘り方埋土である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁22cm、南壁22cmである。

〔床面〕 概ね10層上面を床面とする。住居中央に向かって僅かに傾斜が認められる。

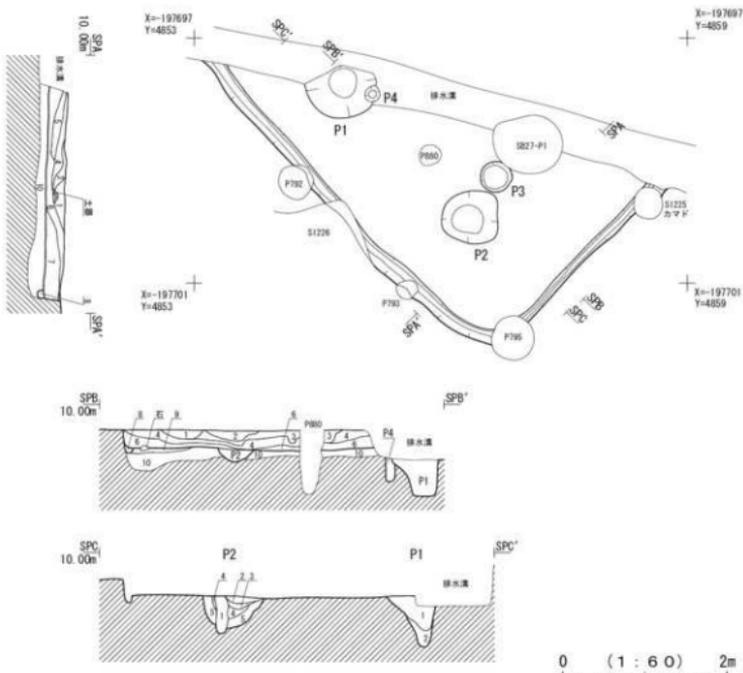
〔柱穴〕 配置・形状・規模からP1・2が主柱穴と考えられ、P2には柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.3m内外である。

またP3・4はいずれも主柱穴に接して検出されており、補助柱穴である可能性がある。

〔周溝〕 残存する2辺の壁面直下で検出した。幅10~15cm、深さは10~15cmで、断面形はU字形に近い。

〔掘り方〕 底面は住居中央が高まる形状である。

〔出土遺物〕 埋土中から出土した土師器甕1点、甕3点を図示した。第249図-1は、丸みを持った底部から口縁部が直線的に外傾する器形で、内面をハラミガキした後に黒色処理が施される。また、土師器甕3点の胴部には張りがなく、口縁部で大きく外反する。



第248図 S1239竪穴住居跡

S1239 埋土目録表

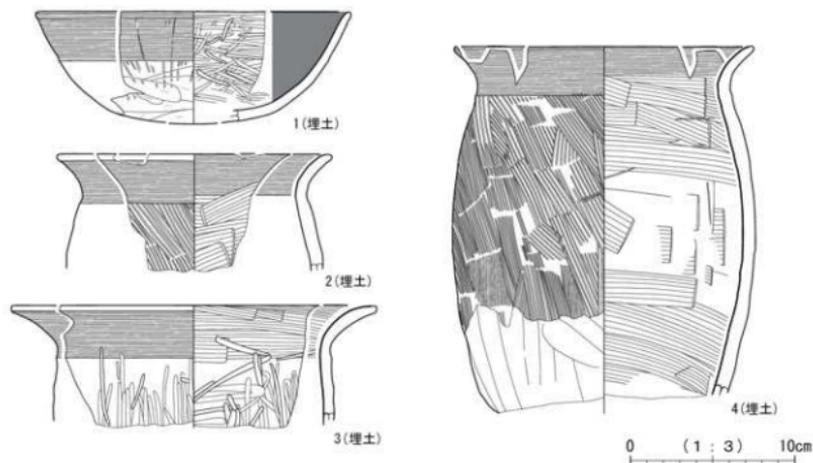
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
埋土	1	10YR3-3 紅褐色	シルト		埋土	6	10YR4-4 褐色	シルト		
	2	10YR3-4 紅褐色	シルト			7	10YR4-6 褐色	シルト		
	3	10YR3-4 紅褐色	シルト			河床	8	10YR3-4 紅褐色	シルト	
	4	10YR4-4 褐色	シルト			掘り方	9	10YR4-4 褐色	砂質シルト	
	5	10YR3-4 紅褐色	シルト			10	10YR4-6 褐色	砂質シルト		

S1239 施設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3-3 紅褐色	シルト		P2	4	10YR4-4 褐色	シルト		
	2	10YR4-4 褐色	砂質シルト			5	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト		
	3	10YR4-4 褐色	シルト							
P2	1	10YR3-3 紅褐色	シルト		P3	-	10YR3-4 紅褐色	シルト		
	2	10YR5-6 黄褐色	シルト			P4	-	10YR3-4 紅褐色	シルト	
	3	10YR4-4 褐色	シルト	10YR4-6 褐色に少量含む						

S1239 施設観察表

遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風乾 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	不整形	82×63	62		P3	円形	33×32	42	
P2	不整形	67×64	45		P4	円形	19×19	15	



第249図 SI239出土遺物

器物番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-347	SI229	埋土	土師器	杯	(18.0) × (×) 6.0	口縁部×???, 体部~底部×?→×???	口縁部~底部×?/?		内面黒色処理	135
2	C-348	SI229	埋土	土師器	壺	(16.3) × (×) 7.2	口縁部×???, 胴部×?/?	口縁部×???, 胴部×???			135
3	C-349	SI229	埋土	土師器	壺	(22.0) × (×) 7.4	口縁部×???, 胴部×?/?	口縁部~胴部×?/?			135
4	C-350	SI229	埋土	土師器	壺	(18.0) × (×) (22.4)	口縁部×???, 胴部×?→胴下半部×???	口縁部×???, 胴部×???			135

#### SI240 竪穴住居跡(第250図)

[位置・確認面] 4 C 西区西側、61・75グリッドに位置する。住居西半に擾乱を受けており、床面の大半を失う。

[規模・形態] 東西4.5m、南北4.0mを測り、ほぼ方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-102°-Eである。

[堆積土・構築土] 5層に分層した。1・2層はカマド内堆積土、3層は周溝内堆積土、4・5層は掘り方埋土である。

[床面] カマド付近では4層、それ以外では5層上面を床面とするものと思われる。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1~3が主柱穴と考えられ、柱間寸法は1.8~1.9mである。

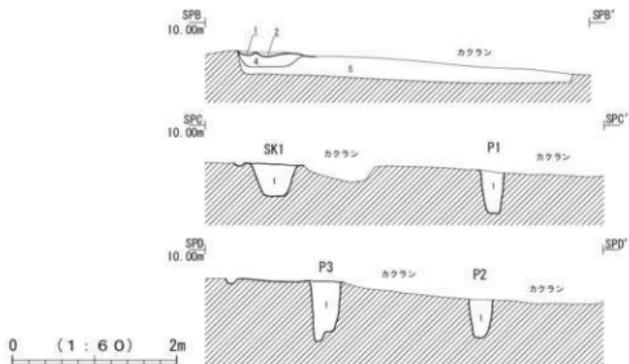
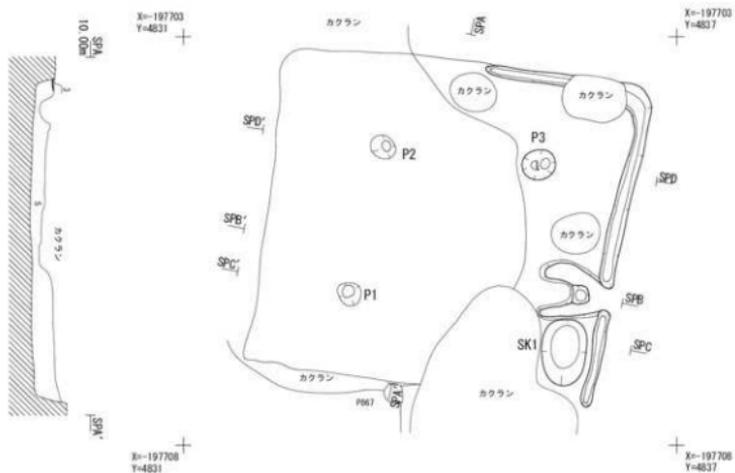
[周溝] 北辺東側及び東辺で検出した。残存部分で幅15~20cm、深さは5cm前後である。

[カマド] 東辺で両袖部の痕跡を検出した。袖はU字状に開いており、燃焼部は奥行42cm、幅30cmを測る。

[その他の施設] 右袖右方に楕円形を呈する土坑(SK1)を検出した。上端径80×54cm、深さ40cmを測る。貯蔵穴の用途が考えられる。

[掘り方] 床面に削平を受けているため深さは不明であるが、残存値で概ね20~25cm程度であり、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] カマド・SK1・掘り方埋土から土師器・須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第250図 SI240竪穴住居跡

SI240 博士誌記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
キマド	1	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	機土微量を含む	振り方	4	10YR5/6 黄褐色	シルト	
	2	5YR4/4 に近い赤褐色	シルト			5	10YR4/4 褐色	シルト	
前溝	3	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト						

SI240 施設博士誌記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	機土少量含む	P1	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		SK1	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	

SI240 施設観察表

遺構名	平面形	幅長 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	幅長 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	30×28	53		P2	円形	41×35	75	
P2	楕円形	31×27	48		SK1	楕円形	80×54	40	貯蔵穴

#### SI241 竪穴住居跡(第251図)

[位置・確認面] 4 C 西区西側、60・61グリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置する。

[規模・形態] 調査区内での計測値は、住居東辺1.6mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-28°-Wである。

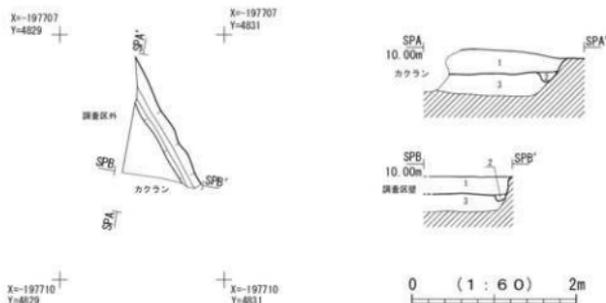
[堆積土・構築土] 3層に分層した。1層は住居埋土、2層は周溝内堆積土、3層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁で約20cmである。

[床面] 3層上面を床面とする。

[周溝] 壁面直下で検出した。幅25cm、深さは10cm前後で、断面形は半円形に近い。

[掘り方] 深さは概ね20cm程度であり、底面は比較的平坦である。



第251図 SI241竪穴住居跡

SI241 埋土経記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		掘り方	3	10YR5/6 黄褐色	シルト	
周溝	2	10YR4/3 濃い黄褐色	シルト						

#### SI242 竪穴住居跡(第252～255図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、50・66グリッドに位置する。

[重複] SI248・258・259を切る。

[規模・形態] 東西4.5m、南北4.6mを測り、ほぼ方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-3°-Wである。

[堆積土・構築土] 23層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1・2層は住居埋土、3～11層はカマド関連層位、12層は周溝内堆積土、17～20層はカマド袖構築土、21～23層は掘り方埋土である。

[床面] 21・22層上面を床面とする。床面上は住居中央が僅かに高まる形状である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、P2以外には柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.1～2.3mである。

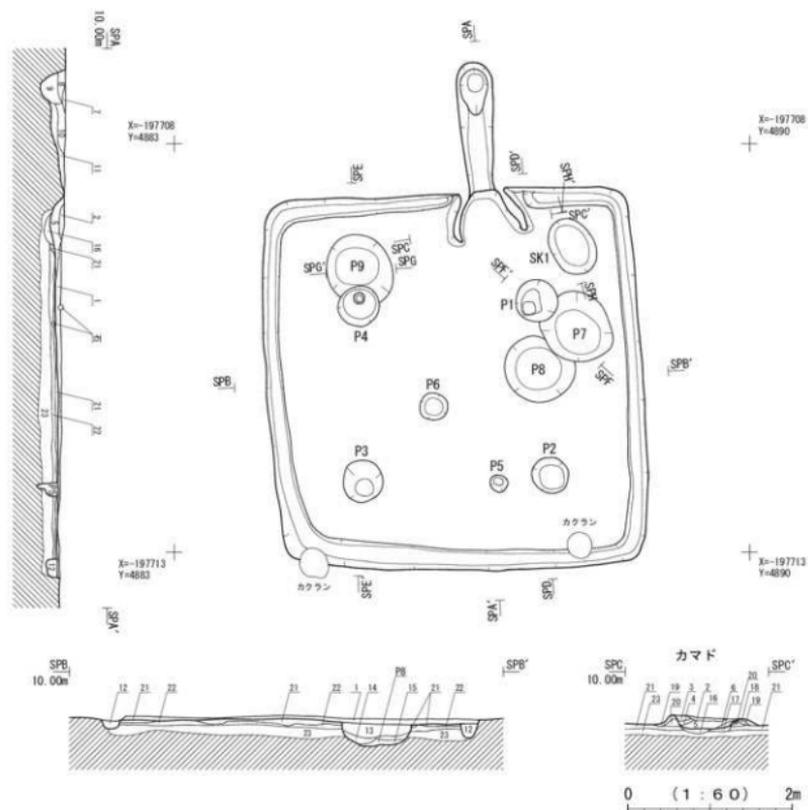
[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を検出した。幅15～30cm、深さは15～20cmを測り、断面形はU字～逆台形に近い。

[カマド] 北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部が残存し、ハ字状に開く。袖部の長さは65cm前後、高さは床面から10cm程残っている。燃焼部は奥行66cm、幅26～63cmを測る。煙道部は長さ170cm、幅28～42cmで、先端部に楕円形のビット状の窪みが認められる。窪みの深さは33cmである。

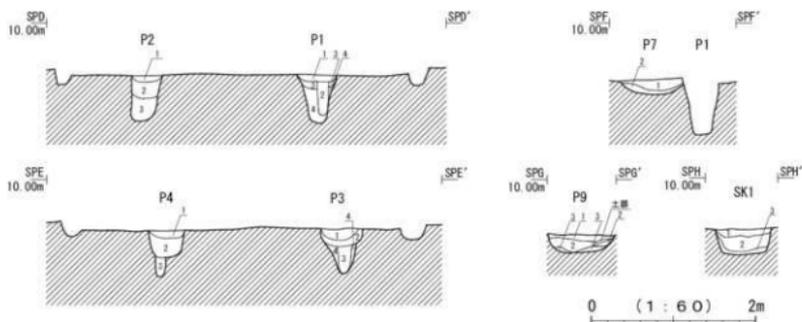
[その他の施設] カマド右方に楕円形の土坑(SK1)を検出した。深さは35cmを測り、貯蔵穴の用途が考えられる。その他ビット5基(P5～9)を検出している。

[掘り方] 全体的に15～20cm程掘り込まれており、底面には緩やかな起伏が認められる。

[出土遺物] 土師器坏第254図-1は内面を黒色処理、第254図-2は内外面ともにヘラミガキされた後黒色処理される。また、埋土中からではあるが平瓦片が1点出土した。今回検出された竪穴住居跡からの唯一の出土例である。周溝内からは断面形が台形を呈する石製紡錘車が出土している。



第252図 SI242竪穴住居跡(1)



第253図 SI242竪穴住居跡(2)

SI242 埋土跡記表

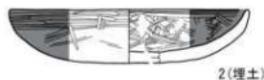
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考		
埋土	1	10YR3-1 黒褐色	シルト		P8	13	10YR3-1 黒褐色	シルト			
	2	10YR3-2 黒褐色	シルト			14	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	焼土少量含む		
カマド	3	10YR3-3 暗褐色	シルト	焼土少量含む	P9	15	10YR3-2 黒褐色	シルト			
	4	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物微量、焼土少量含む		16	5YR4-6 赤褐色	シルト	燃焼層含む		
	5	10YR3-4 暗褐色	シルト			17	5YR4-2 灰褐色	シルト			
	6	10YR5-4 濃い黄褐色	シルト			18	10YR4-3 濃い黄褐色	シルト			
	7	10YR3-1 黒褐色	シルト			19	10YR4-4 褐色	シルト			
	8	10YR2-1 灰色	シルト			20	10YR6-3 濃い黄褐色	シルト			
	9	10YR2-2 灰褐色	シルト	炭化物少量含む		掘り方	21	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		
	10	10YR3-3 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む			22	10YR3-3 濃い黄褐色	シルト		
	11	10YR4-4 褐色	シルト	炭化物少量含む			23	10YR4-1 暗灰色	シルト		
	埋土	12	10YR4-4 褐色	シルト							

SI242 掘土埋土記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3-2 黒褐色	シルト		P4	3	10YR2-2 黒褐色	シルト		
	2	10YR3-3 暗褐色	シルト			P5	-	10YR3-1 黒褐色	シルト	
	3	10YR3-1 黒褐色	シルト			P6	-	10YR3-1 黒褐色	シルト	
	4	10YR3-4 暗褐色	シルト			P7	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P2	1	10YR4-3 濃い黄褐色	シルト		2		10YR4-3 濃い黄褐色	シルト		
	2	10YR3-2 黒褐色	シルト		P8	-	-	-	(層13-15に対応)	
	3	10YR3-3 暗褐色	シルト		P9	1	10YR2-1 黒褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む	
P3	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト			2	10YR4-1 暗灰色	シルト	炭化物・焼土少量含む	
	2	10YR3-3 暗褐色	シルト			3	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		
P4	3	10YR2-1 灰色	シルト		SK1	1	10YR4-3 濃い黄褐色	シルト		
	4	10YR3-2 黒褐色	シルト			2	10YR3-2 黒褐色	シルト		
	1	10YR4-3 濃い黄褐色	シルト			3	10YR4-1 暗灰色	シルト		

SI242 施設輪廓表

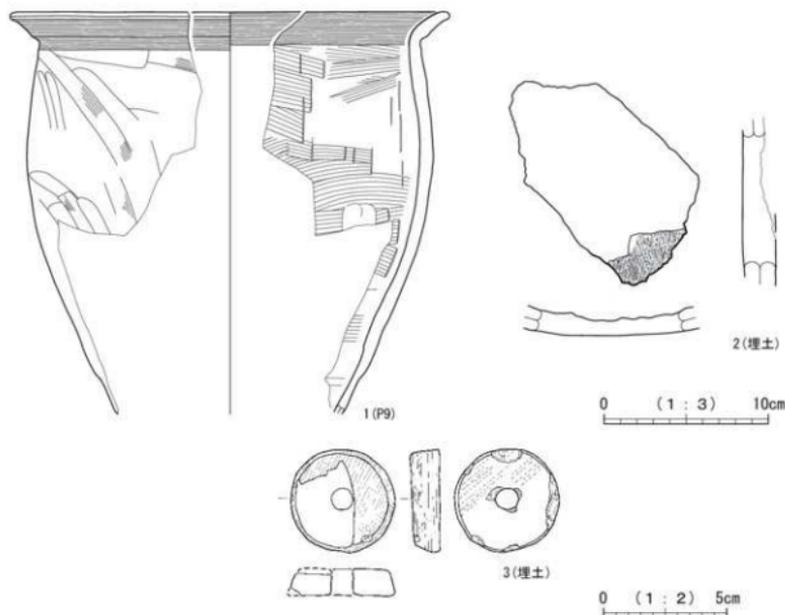
遺構名	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	備考	遺構名	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)	備考
P1	円形	43×42	37		P6	円形	9×8	12	
P2	円形	43×42	36		P7	不整形	78×74	37	
P3	円形	46×45	35		P8	楕円形	76×74	26	
P4	円形	46×45	36		P9	楕円形	84×74	30	
P5	楕円形	11×9	36		SK1	楕円形	78×52	35	貯蔵穴



0 (1:3) 10cm

第254図 SI242出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-351	SI242	埋土	土師器	杯	(15.7)××(4.1)	磨肌、口縁部377°、底部0°	口縁部-底部0°	内面白色処理	136
2	C-352	SI242	埋土	土師器	杯	(14.6)××(3.2)	口縁部-底部0°	口縁部-底部0°	内面白色処理	136



第255図 SI242出土遺物(2)

採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-353	SI242	T9	土師器 壺	口径×底径×器高(cm) (26.2) × ( ) × (24.5)	T1縁部<???, 胴部<???	T1縁部<???, 胴部<???		136
採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
2	G-6	SI242	埋土	瓦 平瓦	口径×底径×厚さ(cm) (12.6) × (11.6) × 2.1	赤目肌	<???		136
採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
3	K6-034	SI242	埋土	石製品 紡錘車	直径4.2×厚さ1.2	34.8	結晶内岩		136

#### SI243 竪穴住居跡(第256・257図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区西側、76・90グリッドに位置する。

〔重複〕 SI228に切られる。

〔規模・形態〕 東西3.7m、南北5.1mを測り、平面形は長方形を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・40°・Wである。

〔堆積土・構築土〕 27層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～5層は住居埋土、6～12層はカマド関連層位、13層は周溝内堆積土、20層はカマド袖構築土、21～24層及び27層は掘り方埋土である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁29cm、北壁26cmである。

〔床面〕 21・22・24・27層上面を床面とし、全体に緩やかな起伏が認められる。

〔周溝〕 カマド部分を除き残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅20～25cm、深さは10～15cmで、

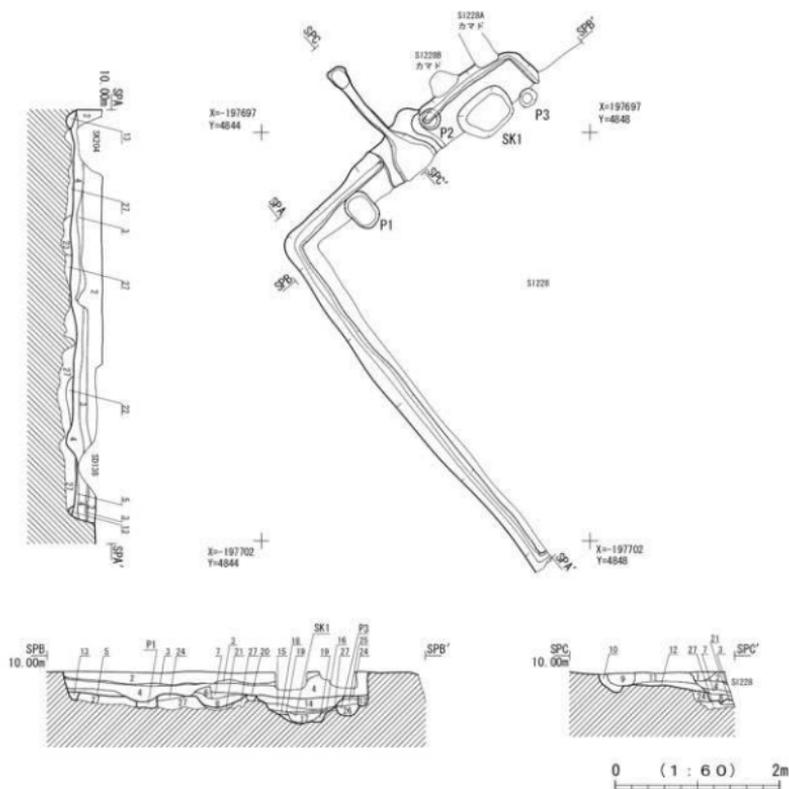
断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央で検出した。両袖の端部はS1228に切られているものの、ハ字状に開いているのが看取され、燃焼部は幅43cmを測る。煙道部は長さ121cm、幅12cm前後で、先端部が径25×14cm、深さ25cmのビット状を呈している。

[その他の施設] カマド右方に隅丸方形の土坑(SK1)を検出した。深さは30cmを測り、貯蔵穴の用途が考えられる。その他ビット3基(P1~3)を検出した。

[掘り方] 確認された狭小の底面には比較的大きな起伏が認められる。

[出土遺物] 土師器環第257図-1はカマドから、他はSK1からの出土である。第257図-2は平底の底部から体部へ直線的に外傾し、口縁部で小さく外反する。第257図-4は小型の土師器甕で、胴部に指頭痕を残し、肥厚する底部には木葉痕が残る。



第256図 S1243竈穴住居跡

SI243 埴土柱記事

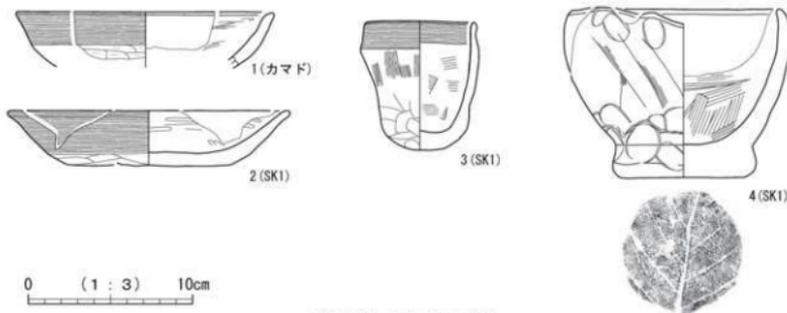
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
瓶土	1	10YR4/1 黒灰色	シルト		SK1	15	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			16	10YR2/1 黒色	シルト		
	3	10YR3/2 黒褐色	シルト			17	10YR3/1 黒褐色	シルト		
	4	10YR3/2 黒褐色	シルト			18	10YR2/2 黒褐色	シルト		
	5	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト			19	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
カマド	6	10YR5/6 黄褐色	シルト		P1	20	10YR4/4 褐色	シルト		
	7	10YR4/6 褐色	シルト			21	5YR3/2 暗赤褐色	シルト		
	8	5YR4/6 赤褐色	シルト			22	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		
	9	10YR4/4 褐色	シルト			23	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト		
	10	10YR2/1 黒色	シルト		24	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			
	11	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		P3	25	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	掘り方から切り込む	
	12	10YR4/1 黒灰色	シルト			26	10YR6/6 明黄褐色	シルト		
	13	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			掘り方	27	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	前溝									
	SK1	14	10YR4/2 灰黄褐色	シルト						

SI243 施設埴土柱記事

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		P3	-	-	-	(層土25-26に対応)
P2	-	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		SK1	-	-	-	(層土14~19に対応)

SI243 施設軒巻表

遺構名	平面形	直径 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	直径 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	隅丸方形	45×35	14		P3	円形	21×21	22	掘り方埋土断面中に検出
P2	円形	25×24	5		SK1	隅丸方形	64×49	30	貯蔵穴



第257図 SI243出土遺物

採集番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-355	SI243	カマド	土師器	坏	(5.0 × × × 6.0)	口縁部のみ収にコナリ、胴部-底部のみナリ	口縁部-底部のみナリ		136
2	C-354	SI243	SK1	土師器	甕	(16.0 × 10.0 × 3.4)	胴部、口縁部-底部のみナリ、底部のみナリ	口縁部-底部のみナリ		136
3	C-357	SI243	SK1	土師器	土師器	17.7 × 6.5 × × × 8.6	胴部、口縁部-底部のみナリ、胴部-底部のみナリ	胴部-底部のみナリ		136
4	C-356	SI243	SK1	土師器	甕	(12.0 × 7.3 × 10.3)	口縁部-胴部のみナリ、底部のみナリ	口縁部-底部のみナリ		136

SI244 竪穴住居跡(第258・259図)

〔位置・確認面〕 4C西区南西、45グリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置しており、検出部分のごく僅かである。

〔規模・形態〕 調査区内での計測値は、住居北辺30mで、平面形は不明である。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、北辺基準でN-82°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 9層に分層した。1~7層は住居埋土、9層は掘り方埋土である。

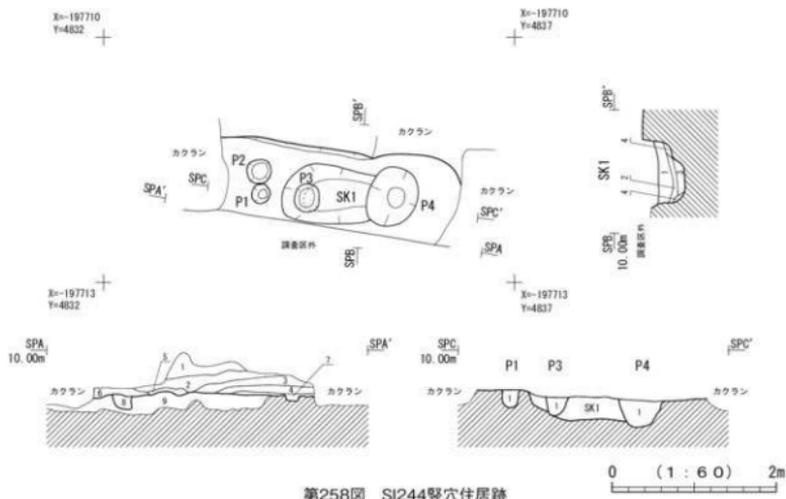
〔壁面〕 残存する壁高は15cm程度である。

〔床面〕 9層及び地山上面を床面とし、起伏が認められる。

〔その他の施設〕 土坑1基(SK1)及びピット4基(P1~4)を検出した。

〔掘り方〕 深さは概ね20cm程度であり、底面には大きな起伏が認められる。

〔出土遺物〕 埋土下層から出土した器高の低い土師器鉢1点を図示した。



第258図 SI244竪穴住居跡

SI244 埋土目録表

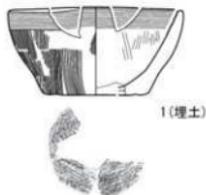
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/4 褐色	シルト		掘り方	6	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	地山アノク少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	地山アノク少量含む		7	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物微量に含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト			8	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	ピット番号なし、断面でのみ確認
	4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む		9	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	5	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物少量含む					

SI244 施設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		SK1	1	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む		2	10YR2/4 暗褐色	シルト		
	P2	1	10YR4/4 褐色	シルト			3	10YR5/2 灰褐色	シルト	
		1	10YR3/4 暗褐色	シルト			4	10YR6/6 明黄褐色	シルト	

SI244 施設観察表

遺構名	平面形	縦尺 (cm)	横尺 (cm)	備考	遺構名	平面形	縦尺 (cm)	横尺 (cm)	備考
P1	円形	25	22	35	SK1	楕円形	103	59	37
P2	円形	29	29	12					
P3	楕円形	34	30	21					



第259図 SI244出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-359	SI244	埋土	土師器	鉢	(10.3) × (6.6) × 5.5	口縁部39°、胴部39°→39°、底部39°	口縁部39°、胴部39°→39°、	口縁部39°、胴部39°→39°、	136

### SI245 竪穴住居跡(第260図)

[位置・確認面] 4 C 西区西側、76・77グリッドに位置する。検出部分はごく僅かである。

[重複] SI227・228に切られる。

[規模・形態] 残存壁は住居西辺0.4m、南辺3.0mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、南辺基準でN-74°-Eである。

[堆積土・構築土] 8層に分層した。1・2層は住居埋土、3層は周溝内堆積土、4～8層は掘り方埋土である。

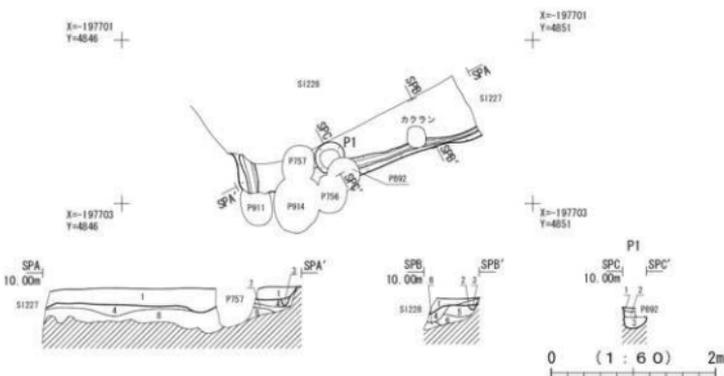
[壁面] やや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は西壁11cmである。

[床面] 4・5層上面を床面とし、起伏が認められる。

[周溝] 残存する2辺の壁面直下で検出した。幅12～14cm、深さは10cm前後で、断面形はU字形に近い。

[その他の施設] ビット1基(P1)を検出した。

[掘り方] 深さは20～30cmで、底面には大きな起伏が認められる。



第260図 SI245竪穴住居跡

SI245 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3-4 暗褐色	シルト		掘り方	5	10YR3-3 暗褐色	シルト	
	2	10YR4-6 褐色	シルト			6	10YR5-3 にふい黄褐色	シルト	
	3	10YR3-3 暗褐色	シルト			7	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコク少量含む
4	10YR4-4 褐色	シルト		8		10YR3-4 暗褐色	シルト		

SI245 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4-1 暗灰色	シルト		P1	3	10YR5-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3-1 暗褐色	シルト						

SI245 施設輪郭表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	36×23	23						

### SI246 竪穴住居跡(第261図)

[位置・確認面] 4 C 西区中央、49・65グリッドに位置する。上面を削平されており、床面も残存していない。

[重複] SI256・261を切る。

[規模・形態] 東西4.4m、南北3.5mを測り、平面形は東西に長い長方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でほぼN-0°である。

〔堆積土・構築土〕12層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1~4層はカマド煙道部内堆積土、7~9層は掘り方埋土である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1~6が主柱穴と考えられる。柱間寸法は東西方向で1.1~1.6m、南北方向で2.0m内外である。

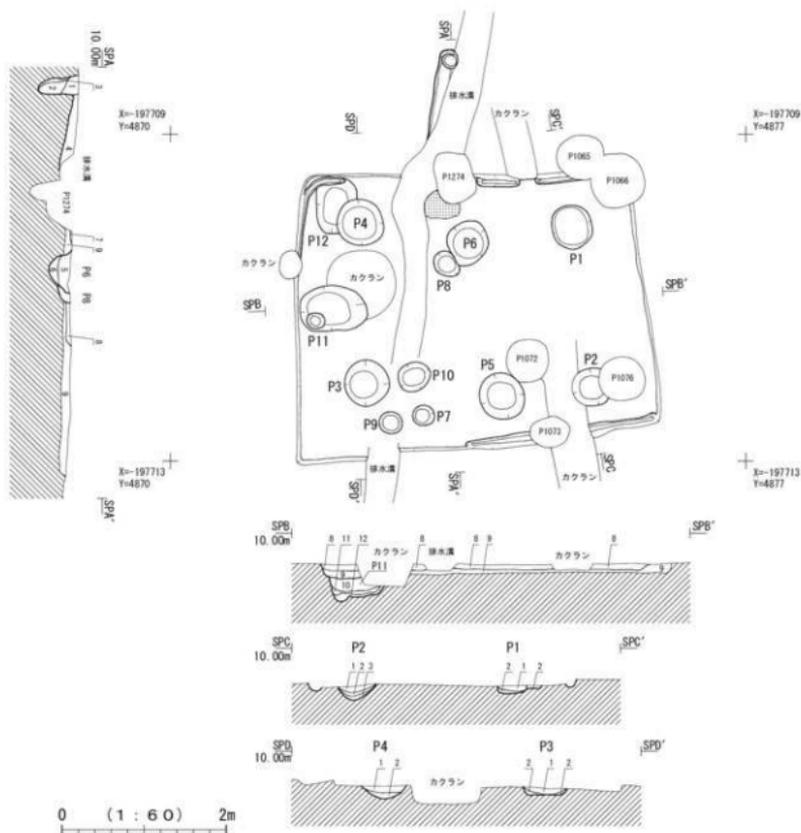
〔周溝〕西・北・南辺の一部で検出した。残存値は幅5~10cm、深さは5cm前後で、断面形状はU字形に近い。

〔カマド〕北辺中央で被熱範囲と煙道部の一部を検出した。煙道部の先端は径30cmのビット状を呈している。

〔その他の施設〕ビット6基(P7~12)を検出した。

〔掘り方〕残存する深さは概ね10cm程度であり、底面は比較的平坦である。

〔出土遺物〕土師器・須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第261図 SI246竪穴住居跡

S246 埋土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	25YR3-3 暗赤褐色	シルト		掘り方	7	5YR2-6 暗赤褐色	シルト	焼熱硬化
	2	10YR3-3 暗褐色	シルト			8	10YR3-3 暗褐色	シルト	
	3	10YR2-3 暗褐色	シルト			9	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト	
	4	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト			P11	10	10YR3-1 黒褐色	シルト
5	10YR4-1 暗灰色	シルト		11	10YR3-3 暗褐色		シルト		
6	10YR4-3 にぶい黄褐色	シルト		12	10YR3-2 暗褐色		シルト		

S246 施設埋土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P1	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		P5	-	10YR3-3 暗褐色	シルト		
	2	10YR6-6 明黄褐色	シルト			P6	-	-	-	(埋土5-6に対応)
P2	1	10YR6-4 にぶい黄褐色	シルト		P7	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		
	2	10YR5-4 にぶい黄褐色	シルト			P8	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR4-4 褐色	シルト			P9	-	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト	
P3	1	10YR5-2 灰黄褐色	シルト		P10		-	10YR3-1 黒褐色	シルト	
	2	10YR4-4 褐色	シルト		P11	-	-	-	(埋土10=12に対応)	
P4	1	10YR6-4 にぶい黄褐色	シルト		P12	-	10YR4-4 褐色	シルト		
	2	10YR5-3 にぶい黄褐色	シルト							

S246 施設軒巻表

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P1	楕円形	55×48	11		P7	円形	27×21	21	
P2	(円形)	45×(32)	20		P8	楕円形	35×27	9	
P3	円形	58×55	12		P9	円形	27×28	25	
P4	円形	56×56	17		P10	楕円形	41×34	11	
P5	円形	56×54	15		P11	楕円形	80×55	31	掘り方埋土除去後に検出
P6	楕円形	58×54	23		P12	(楕円形)	67×49	24	

## SI247A 竪穴住居跡(第262～267図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区東側、33・34・49・50グリッドに位置する。

〔重複〕 SB25に切られる。

〔規模・形態〕 東西4.6m、南北4.4mを測り、方形を呈する。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド(新)基準でN-26°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 15層に分層した。1・2層は住居埋土、3・4層はカマド(新)関連層位、5層は周溝内堆積土、6・7層はカマド(新)袖構築土、8層はカマド(古)煙道部内堆積土、9～15層は掘り方埋土で、SI247A・Bの床面間に堆積する土層である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁35cm、西壁29cm、南壁32cm、北壁27cmである。

〔床面〕 概ね14層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕 配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、P4以外には柱痕跡が認められた。柱間寸法は1.9m内外である。

〔周溝〕 カマド(新)部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅12～18cm、深さは5～17cmで、断面形はU字形に近い。この周溝は西辺においてカマド(古)の被熱痕跡を切っており、後述するSI247B期の周溝を新たに規模を縮小して付設したものと考えられる。

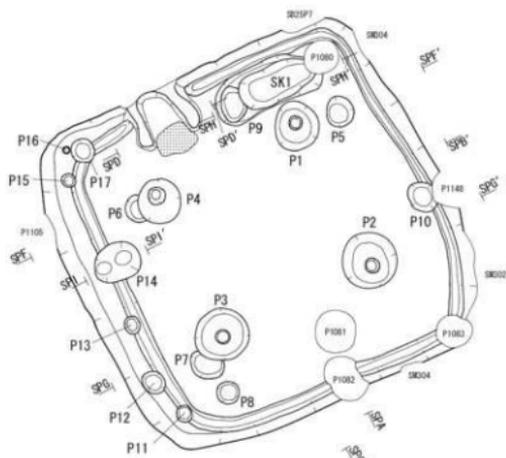
〔カマド〕 カマド(新)は、北辺中央からやや西に寄ったところで検出した。両袖部が残存しており、壁面から平行に延びている。袖部の長さは60～65cm、高さは床面から10cm程残っている。燃焼部は奥行64cm、幅36cmを測る。袖と被熱範囲を除去したところ、袖に対して直交するような不整形円形の窪みを検出した。カマド(古)は、西辺中央で55×50cmの被熱範囲と煙道部を検出した。煙道部は長さ110cm、幅28cm、深さ6～15cmを測り、先端にはビット状の窪みが認められる。

〔その他の施設〕 土坑1基(SK1)及びビット14基(P5～18)を検出している。SK1は貯蔵穴の用途が考えられる。

〔出土遺物〕 カマド(新)周辺、特に左袖左方の床面からの出土が多かった。土師器第265図-1・2はいずれも内面を黒色処理され、体部外面をヘラナデにより沈線状に区画される。第265図-3は土師器鉢で、内面に放射状のミガキがみられる。また、カマド内からではないが、土製支脚3点が出土している。

床面(カマド(新)段階)  
X=197712  
Y=4875

X=197712  
Y=4882

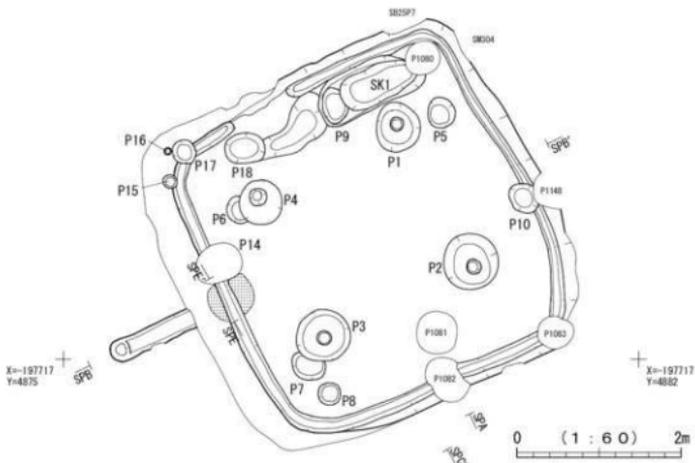


X=197717  
Y=4875

X=197717  
Y=4882

カマド(新)除去後  
X=197712  
Y=4875

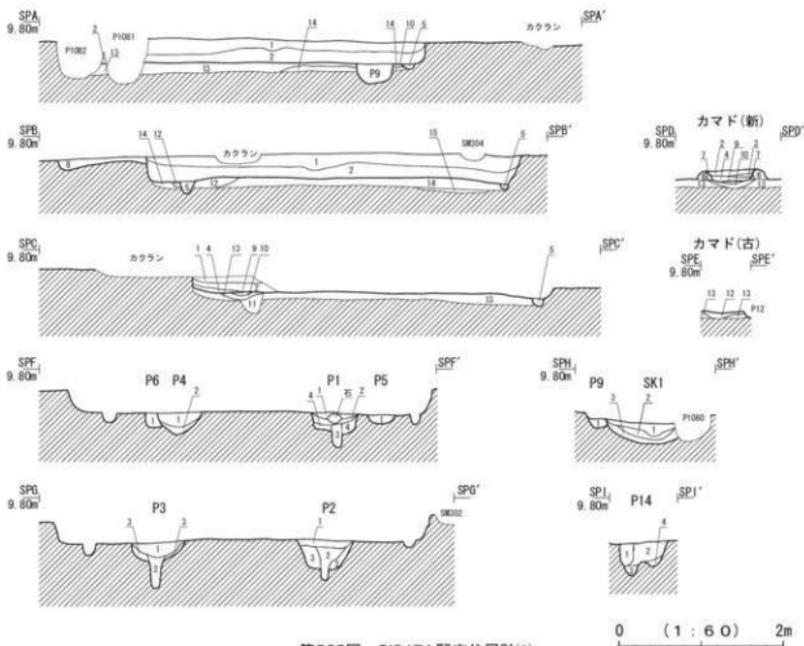
X=197712  
Y=4882



X=197717  
Y=4875

X=197717  
Y=4882

第262図 SI247A 竪穴住居跡(1)



第263図 SI247A竪穴住居跡②

SI247A 埋土柱記表

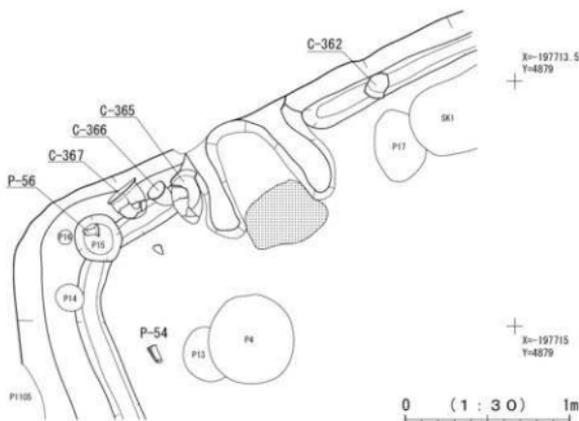
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
竪穴	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト少量、炭化物微量に含む	掘り方	9	5YR4/6 赤褐色	シルト	
	2	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト、炭化物・焼土微量に含む		10	5YR4/4 にぶい赤褐色	シルト	
	3	7.5YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む		11	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量に含む
カマド(新)	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む		12	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物多量、焼土微量に含む
	5	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量に含む		13	10YR4/4 褐色	シルト	
	6	10YR3/6 黄褐色	シルト	炭化物多量に含む	14	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む	
カマド(古)	7	7.5YR3/6 明褐色	シルト		15	10YR3/4 紅褐色	シルト		
	8	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト少量、炭化物多量に含む					

SI247A 掘跡埋土柱記表

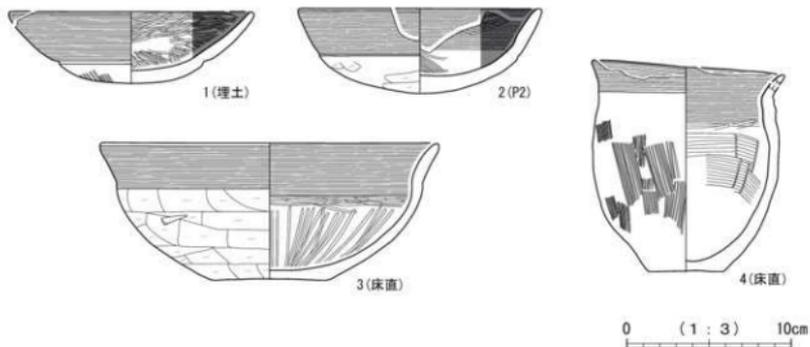
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/4 褐色	シルト	焼土微量に含む	P10	-	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト、炭化物少量含む
	2	10YR3/4 紅褐色	シルト		P11	-	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山アコト微量含む、柱痕跡	P12	-	10YR4/6 褐色	シルト	地山アコト少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アコト少量含む	P13	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト、炭化物微量に含む
P2	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト、炭化物微量含む	P14	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト微量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト少量含む、柱痕跡	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト、炭化物微量に含む	
	3	10YR4/6 褐色	砂質シルト	地山アコト少量含む	3	10YR4/6 褐色	シルト	地山アコト少量含む	
P3	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト、焼土微量に含む	4	10YR4/6 褐色	シルト	地山アコト少量含む	
	2	10YR3/3 紅褐色	砂質シルト	地山アコト、炭化物微量含む、柱痕跡	P15	-	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト微量に含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山アコト少量含む	P16	-	10YR4/6 褐色	シルト	
P4	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	焼土微量に含む	P17	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト		P18	-	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコト微量、炭化物・焼土少量含む
P5	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アコト少量含む	P19	-	-	-	欠落
P6	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量に含む	SK1	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物微量に含む
P7	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量に含む		2	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	
P8	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	炭化物多量に含む		3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物微量に含む
P9	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む					

SI247A 施設観察表

遺構名	平面形	幅 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	幅 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	60×56	39		P11	円形	17×17	10	
P2	楕円形	69×66	49		P12	楕円形	28×23	5	
P3	楕円形	66×63	53		P13	楕円形	21×18	10	
P4	円形	55×53	36		P14	楕円形	60×42	30	
P5	楕円形	39×31	22		P15	円形	15×14	13	
P6	楕円形	33×14	20		P16	円形	8×8	10	
P7	楕円形	41×25	21		P17	楕円形	28×26	12	
P8	円形	26×25	15		P18	楕円形	48×35	30	
P9	楕円形	42×26	21		P19	-	-	-	欠番
P10	楕円形	36×28	12		SK1	小形貯	68×46	27	貯蔵穴

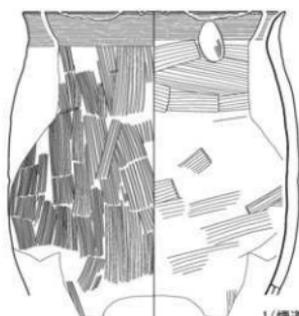
X=197713.5  
Y=4875X=197715  
Y=4875

第264図 SI247A 竪穴住居跡(3)

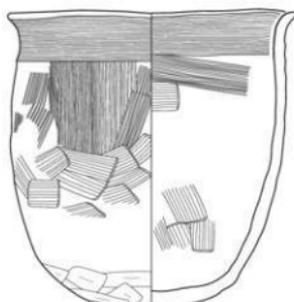


第265図 SI247A 出土遺物(1)

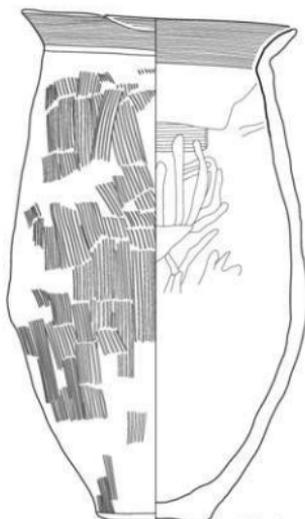
図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-360	SI247A	埋土	土師器	杯	14.6×××4.5	磨耗、口縁部>91°、体部-底部>91°	磨耗、口縁部-底部>91°		内面黑色処理	136
2	C-361	SI247A	P2	土師器	杯	14.6×××5.2	磨滅、口縁部-体部>91°、底部>91°	磨滅、口縁部-底部>91°		内面黑色処理	136
3	C-362	SI247A	床直	土師器	鉢	20.4×7.0×8.3	口縁部>91°、体部>91°、底部>91°	磨耗、口縁部-底部>91°			136
4	C-366	SI247A	床直	土師器	壺	11.5×4.6×12.5	口縁部>91°、腹部>91°、体部>91°、底部>91°	磨耗、口縁部>91°、腹部-底部>91°			136



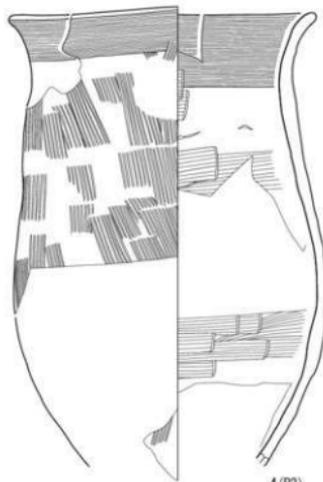
1(埴道郡(古))



2(床直)



3(床直)

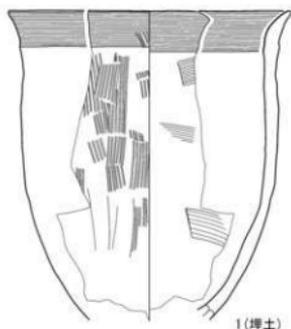


4(P2)

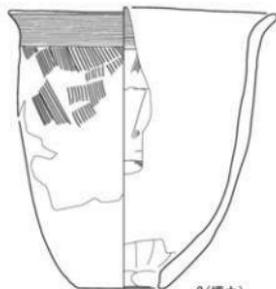
0 (1 : 3) 10cm

第266図 SI247A 出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-364	SI247A	埴道郡古	土師器	甕	15.9××(18.6)	口縁部3?、胴部0?	口縁部0?、胴部0??		137
2	C-367	SI247A	床直	土師器	甕	17.3××18.0	口縁部0?、胴部0?→下平部0?、底部0?	口縁部0?、胴部0??		137
3	C-365	SI247A	床直	土師器	甕	16.6×6.6×30.8	口縁部0?、胴部0?→下平部0?、底部0?	口縁部0?、胴部0??		137
4	C-358	SI247A	P2	土師器	甕	18.5××(28.0)	口縁部0?、唇部-底部0?→0??	唇部、口縁部0?唇部-底部0??		137



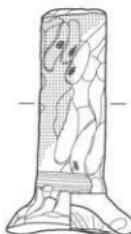
1(埋土)



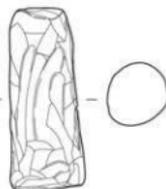
2(埋土)



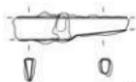
3(P17)



4(周溝)



5(床直)



6(床直)

0 (1:3) 10cm

第267図 SI247A出土遺物(3)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 採地
1	C-363	SI247A	埋土	土師器	甕	17.0h × × (19.0)	口縁部399'、胴部499'→下半部499'	口縁部299'、胴部499'→918'4		138
2	C-368	SI247A	埋土	土師器	瓶	15.8 × (5.1) × 17.2	口縁部299'、胴部299'→全体299'、底部499'	頸部199'、胴部499'、口外縁499'	穿孔	138
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	長さ×幅×厚5(cm)	重量(g)	備考		写真 採地
3	P-56	SI247A	P17	土師品	支脚	14.5×18.9×基部径7.1	325.7	上半部焼熱痕顕著、面滑調整、499'		138
4	P-55	SI247A	周溝	土師品	支脚	13.2×18.0×基部径7.8	327.2	上半部焼熱痕顕著、面滑調整、499'		138
5	P-54	SI247A	床直	土師品	支脚	11.1 × 18.4.2	253.1	焼熱痕弱い、面滑調整		138
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	備考				写真 採地
6	N-062	SI247A	床直	鉄製品	刀子	片削?刃部遺存長3.8、最大幅1.0、幅厚0.4cm、基部遺存長3.3、最大幅0.8、幅厚0.4cm				138

SI247B 竪穴住居跡(第268・269図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、33・34・49・50グリッドに位置する。SI247の掘り方調査中に別の床面遺構を検出し、これを更に古い住居跡に伴うものと考え、SI247Bとした。

[重複] SB25に切られる。

[規模・形態] 東西・南北ともに3.8mの方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN・26°・Wである。

[堆積土・構築土] 6層に分層した。1～3層はカマド煙道部内堆積土、4層は周溝内堆積土、5・6層は掘り方埋土である。

[床面] 5・6層上面を床面とする。両者ともほぼ平坦である。

[柱穴] SI247A・Bを通じて、配置・形状・規模からP1～4が支柱穴と考えられる。

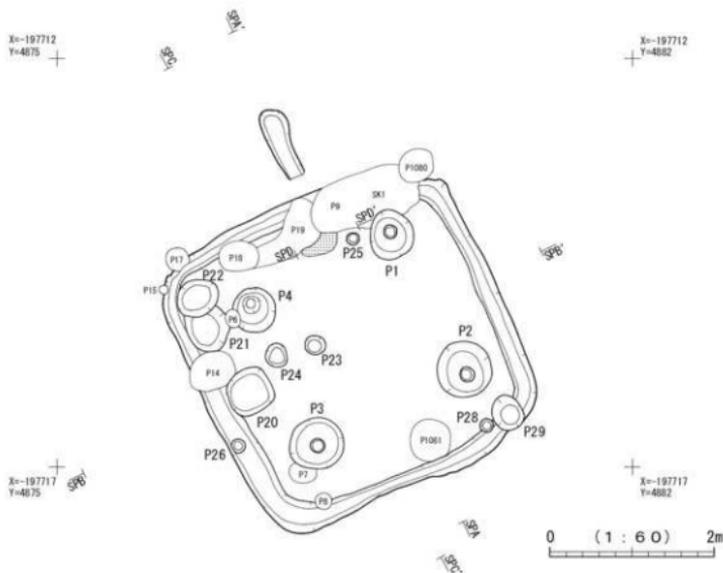
[周溝] 残存する全辺を巡る周溝を検出した。幅15～35cm、深さは3～10cmで、断面形は半円形に近い。

[カマド] 北辺中央で被熱範囲と煙道部を検出した。被熱範囲は径約55cmを測る円形を呈する。煙道部の先端はやや幅広になっており、窪まずに立ち上がる。残存値は長さ88cm、幅23～34cm、深さ5～18cmである。

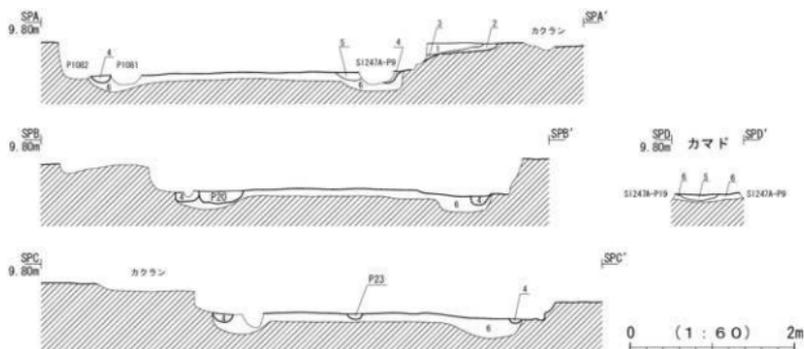
[その他の施設] ビット9基(P20～26・28・29)を検出している。

[掘り方] 壁際から60～80cmの幅で深く掘り込まれている。深いところで20～25cm、住居中央の浅いところで概ね10cm程度である。

[出土遺物] 床面遺構から土師器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第268図 SI247B竪穴住居跡(1)



第269図 SI247B 竪穴住居跡(2)

SI247B 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
カマド	1	10YR4/4	にぶい黄褐色	シルト	掘り方	4	10YR4/4	褐色	炭化物少量含む	
	2	10YR2/3	暗褐色	シルト		5	5YR4/6	赤褐色	シルト	
	3	10YR3/4	暗褐色	シルト		6	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	

SI247B 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
P20	-	10YR4/4	褐色	シルト	P25	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	炭化物少量含む
P21	1	10YR4/2	灰黄褐色	シルト	P26	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	
P22	1	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	P27	-	-	-	-	欠番
P23	1	10YR4/4	褐色	シルト	P28	1	10YR4/4	褐色	シルト	施設アノコ少量を含む
P24	1	10YR4/4	褐色	シルト	P29	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト	炭化物少量を含む

SI247B 施設観測表

遺構名	平面形	縦横(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	縦横(m)	深さ(m)	備考
P20	圓丸方形	54×52	12		P25	円形	15×15	10	
P21	楕円形	409×429	12		P26	円形	15×14	20	
P22	楕円形	52×42	30		P27	-	-	-	欠番
P23	円形	14×14	5		P28	楕円形	24×21	5	
P24	楕円形	28×21	5		P29	楕円形	30×26	5	

## SI248 竪穴住居跡(第270～272図)

[位置・確認面] 4C 西区南東、34・50・51・66・67・80グリッドに位置する。

[重複] SI242・253、SB25・26に切られ、SI258～260を切る。

[規模・形態] 東西7.7m、南北8.0mとかなりの大型を呈する。平面形は方形である。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-24°-Wである。

[堆積土・構築土] 20層に分層した。1・2層は住居埋土、3～11層はカマド関連層位、12層は周溝内堆積土、13～15層はカマド袖構築土、16～20層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味或いは外傾しながら立ち上がるようである。残存する壁高は東壁18cm、西壁5cm、南壁24cm、北壁25cmである。

[床面] 16～18層上面を床面とし、部分的に強い起伏が認められる。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～4・9・15が主柱穴と考えられ、P3・9には柱痕跡が認められた。P2・15及びP4・9はそれぞれ切り合っており、P15→P2、P9→P4の建て替えが確認できる。柱間寸法は3.8～4.3mである。

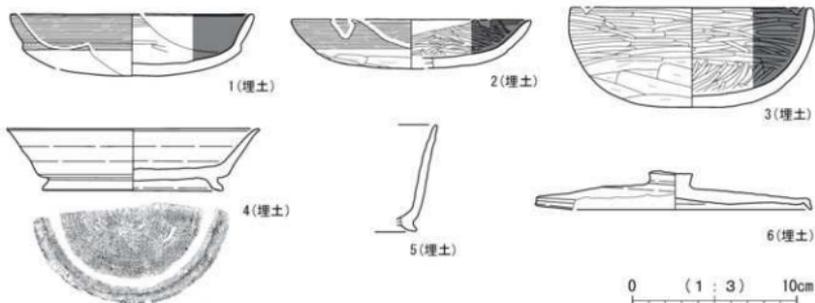
[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅10～30cm、深さは2～21cmで、断面形はU字形に近い。

SI248 舞鈴埴土埴記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト		P10	1	10YR4-1 赭灰色	シルト	
	2	10YR3-1 黒褐色	シルト			2	10YR3-1 黒褐色	シルト	
	3	10YR5-4 じぶい黄褐色	シルト			3	10YR4-6 褐色	シルト	
P2	1	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト		P11	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR3-2 黒褐色	シルト			P12	-	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト
	3	10YR5-3 じぶい黄褐色	シルト		P13	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	
P3	1	10YR3-1 黒褐色	シルト		P14	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	2	10YR2-1 紫色	シルト	柱状跡	P15	1	10YR5-3 じぶい黄褐色	シルト	
	3	10YR6-4 じぶい黄褐色	シルト		2	10YR3-2 黒褐色	シルト		
P4	1	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト		P16	-	10YR4-1 赭灰色	シルト	
	2	10YR3-3 暗褐色	シルト		P17	1	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト	
P5	-	10YR3-2 黒褐色	シルト		P18	1	10YR4-3 じぶい黄褐色	シルト	
	1	10YR5-1 暗灰色	シルト		P19	-	10YR4-4 褐色	シルト	
P6	2	10YR5-4 じぶい黄褐色	シルト	塊土少量含む	P20	-	10YR4-4 褐色	シルト	
	3	10YR3-1 黒褐色	シルト	塊土少量含む	P21	-	10YR4-1 赭灰色	シルト	
	1	10YR3-1 黒褐色	シルト		P22	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P7	2	10YR3-3 暗褐色	シルト		P23	-	10YR4-1 赭灰色	シルト	
	3	10YR2-2 黒褐色	シルト		P24	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト		P25	-	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	
P8	2	10YR6-4 じぶい黄褐色	シルト		P26	-	10YR3-2 黒褐色	シルト	
	3	10YR3-2 黒褐色	シルト		SK1	1	5YR4-3 じぶい赤褐色	シルト	塊土少量含む
	1	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	柱状跡	2	5YR4-4 じぶい赤褐色	シルト	塊土少量含む	
P9	2	10YR4-2 灰黄褐色	シルト	塊山アコウ少量含む	3	10YR3-2 黒褐色	シルト	塊土少量含む	
	3	10YR5-6 黄褐色	シルト						

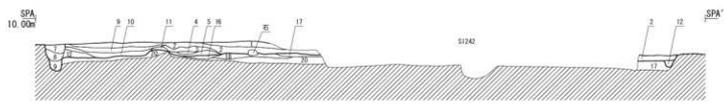
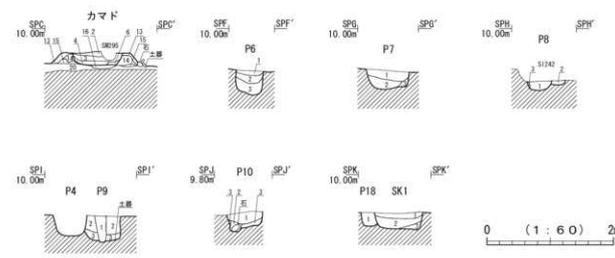
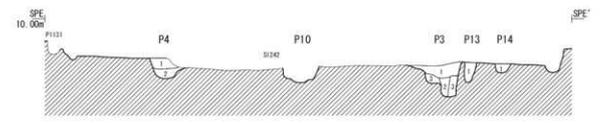
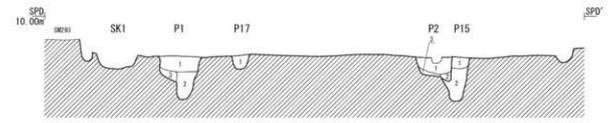
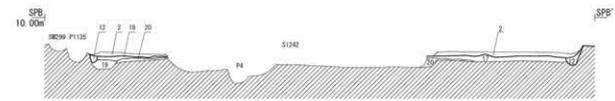
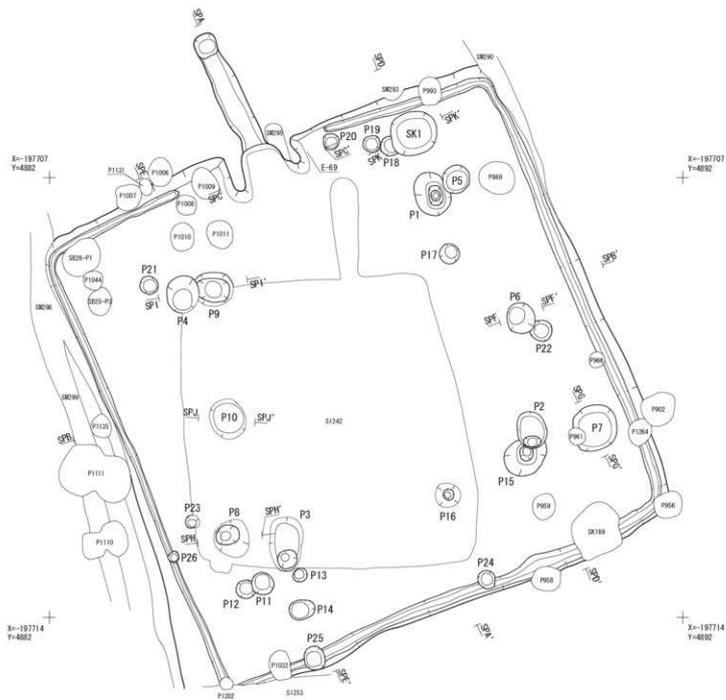
SI248 舞鈴軒倉表

遺構名	平面形	風積 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風積 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	52×51	29		P15	楕円形	66×59	26	
P2	楕円形	42×34	43		P16	円形	28×27	5	
P3	楕円形	61×37	26		P17	円形	23×23	22	
P4	円形	42×35	66		P18	(円形)	23×(13)	26	
P5	円形	32×30	24		P19	円形	20×18	29	
P6	楕円形	35×30	30		P20	円形	18×17	28	
P7	円形	52×48	30		P21	円形	21×20	12	
P8	楕円形	59×58	29		P22	円形	11×30	10	
P9	(楕円形)	138×38	44		P23	楕円形	25×21	11	
P10	楕円形	46×39	30		P24	円形	21×20	7	
P11	円形	25×24	5		P25	円形	27×23	19	
P12	(円形)	(18)×21	10		P26	円形	13×11	10	
P13	円形	17×15	10		SK1	円形	52×48	25	
P14	楕円形	28×21	14						



第270図 SI248出土遺物(1)

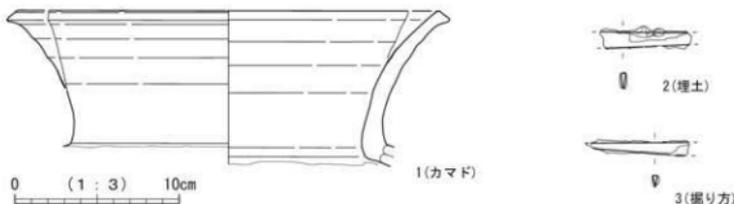
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-371	SI248	埋土	土師器	杯	11.4φ×××11.0φ	口縁部5777、底部-底部5977	磨托、口縁部-底部5974	内面赤色地埋	138
2	C-370	SI248	埋土	土師器	杯	11.4φ×××11.0φ	口縁部5777、底部-底部5977	磨托、口縁部-底部5974	内面赤色地埋	138
3	C-369	SI248	埋土	土師器	杯	11.4φ×××11.0φ	口縁部-底部5974	口縁部-底部5974	内面赤色地埋	138
4	E-70	SI248	埋土	灰土器	高台付杯	11.5φ×11.0×3.8	579調整、底部斜転5977→高台付	579調整	内面直土盛り、砥、石肌多い	138
5	E-68	SI248	埋土	灰土器	高台付杯	11.5φ×11.0×6.6	579調整、高台付	579調整	砥、石肌多い	138
6	E-66	SI248	埋土	灰土器	蓋	16.8φ×××2.1	579調整、879底771	579調整	内面直土盛り	138



SI248 埋土封込表

階号	層位	土色	土性	備考	層号	層位	土色	土性	備考
カマド	1	10YR8/3	紅い黄褐色	シルト	観測	31	10YR2/3	黒褐色	シルト
	2	10YR3/2	黒褐色	シルト		32	10YR3/3	暗褐色	シルト
	3	2.5YR3/1	暗赤褐色	シルト		33	10YR3/4	暗褐色	シルト
	4	5YR2/1	黒褐色	シルト		34	10YR3/5	紅い黄褐色	シルト
	5	2.5YR1/1	赤褐色	シルト		35	10YR3/4	暗褐色	シルト
	6	10YR3/2	暗褐色	シルト		36	2.5YR4/6	赤褐色	シルト
	7	5YR3/2	暗赤褐色	シルト		37	10YR3/1	黒褐色	シルト
	8	5YR1/1	赤褐色	シルト		38	10YR3/2	暗褐色	シルト
	9	10YR3/1	紅い黄褐色	シルト		39	10YR3/1	黒褐色	シルト
	10	5YR2/1	暗褐色	シルト		40	10YR7/4	紅い黄褐色	シルト

第271図 SI248竪穴住居跡



第272図 SI248出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺物	種別	類別	器種	口径×底径×部高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真採地
1	E-69	SI248	炉	須恵器	竈	(25.6×××6.6)	砂調整	砂調整		138
採取番号	登録番号	出土遺物	種別	類別	器種	備考				写真採地
2	N-063	SI248	埋土	瓦製品	刀子	遺存長5.6、最大幅1.0、幅厚0.3cm				138
3	N-066	SI248	掘り方	瓦製品	刀子	遺存長6.0、最大幅0.8、幅厚0.3cm				138

〔カマド〕北辺中央で検出した。若干の攪乱を受けるものの両袖部が残存しており、壁面から平行して延びている。袖部の長さは約60～75cm、高さは床面から15～20cm程残っている。燃焼部は奥行68cm、幅45～80cmを測る。煙道部は長さ195cm、幅35～43cm、深さ22cmで、先端には深さ30cmのビット状の窪みが認められる。

〔その他の施設〕土坑1基(SK1)及びビット20基(P5～8・10～14・16～26)を検出した。

〔掘り方〕南辺付近では周溝底面レベルより深く掘り込まれるものの、その他は概ね周溝よりも浅い掘り込みである。残存部分のみを限り、底面は比較的平坦である。

〔出土遺物〕須恵器蓋第270図-6口縁部外面には、剥落した重ね焼痕が認められ、外面全体に濃い緑色に発色した自然釉を残す。この自然釉は、須恵器高台付坏第270図-4の内面にも残っていた。またこの内面には、第270図-6同様に重ね焼痕が認められ、他の土器の欠落部が遺存している。この遺存する欠落部は坏底部や高台部のそれと異なるものであり、蓋口縁部と看取された。このため1/2程の残存である第270図-6との接合の可能性を模索したが、接合しなかった。両者の胎土は在地産と推測された。

#### SI249 竪穴住居跡(第273・274図)

〔位置・確認面〕4C西区中央北側、65・66・79・80グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察からIVc層上面からの掘り込みであることが確認できた。住居北側が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約2/3である。

〔重複〕SB26に切られる。また、SI260とも切り合い関係にあり、当初は本遺構の方が新しいものとして掘削を先行したが、調査区壁面土層の再観察の結果、その関係は逆転するものと判断した。

〔規模・形態〕東西5.8m、南北6.3mを測り、平面形はやや歪な方形であるものと思われる。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN・39°・Wである。

〔堆積土・構築土〕9層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～3層は住居埋土、4層は周溝内堆積土、7～9層は掘り方埋土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁44cm、西壁36cm、南壁39cm、北壁37cmである。

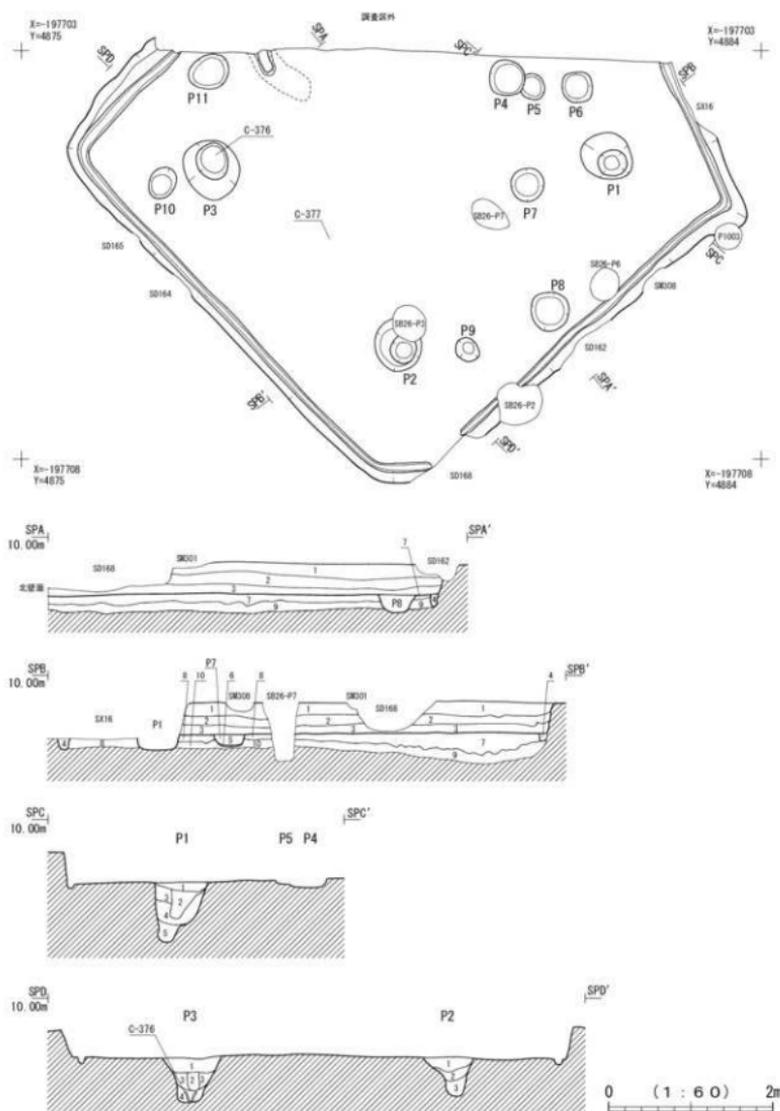
〔床面〕概ね7層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1～3が主柱穴と考えられ、柱間寸法は3.3m内外である。

〔周溝〕残存する全辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅10cm前後、深さ10cm前後で、断面形はU字形に近い。

〔カマド〕北辺で左袖の一部を検出した。

〔その他の施設〕ビット8基(P4～11)を検出した。



第273図 SI249竪穴住居跡

S1249 埋土柱記述

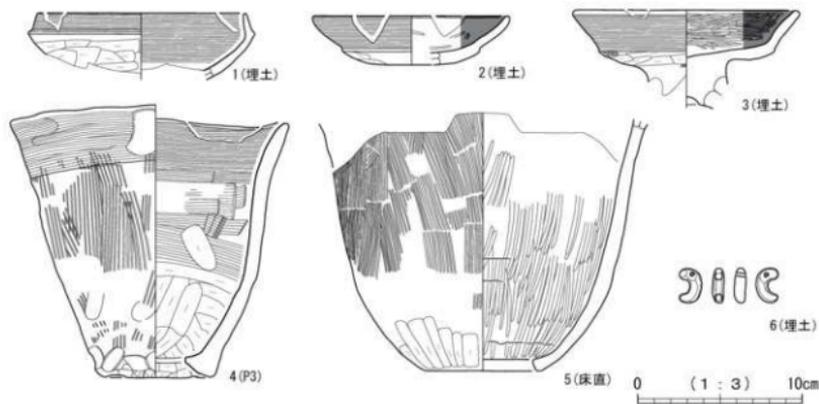
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/4 褐色	シルト		掘り方	P7	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
	2	10YR5/6 黄褐色	シルト			7	10YR4/4 褐色	シルト	一部グライ化
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト			8	10YR3/4 暗褐色	シルト	
埋土	4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P9	9	10YR3/4 暗褐色	シルト	一部グライ化
	5	10YR4/2 灰黄褐色	シルト						

S1249 埋土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	柱痕跡	P3	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR3/1 黒色	シルト			4	10YR4/4 褐色	シルト	砂質シルト
	3	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト			P4	10YR4/1 暗灰色	シルト	
	4	10YR2/1 黒色	砂質シルト			P5	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	
	5	10YR4/4 褐色	砂質シルト			P6	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
P2	1	5BG3/1 青灰色	シルト	グライ化	P7	-	-	-	(層1.5-6.1対応)
	2	5BG3/1 暗青灰色	シルト	グライ化	P8	10YR5/1 暗灰色	シルト		
	3	5BG6/1 青灰色	シルト	グライ化	P9	5BG5/1 青灰色	シルト		
P3	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P10	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物少量含む	
	2	10YR3/1 黒褐色	シルト	柱痕跡	P11	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		

S1249 施設概観表

遺構名	平面形	直径(cm)	深さ(cm)	備考	遺構名	平面形	直径(cm)	深さ(cm)	備考
P1	楕円形	65×56	73		P7	円形	41×41	15	
P2	楕円形	63×56	51		P8	円形	48×46	17	
P3	楕円形	73×65	57		P9	楕円形	32×27	30	
P4	円形	42×42	23		P10	楕円形	41×31	11	
P5	(円形)	31×29	18		P11	楕円形	51×42	22	
P6	円形	37×37	12						



第274図 S1249出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-374	S1249	埋土	土師器	杯	12.6×××(1.1)	口縁部→P7、底部→P10→P11(埋)→P7	磨孔、口縁部→P10→P11		139
2	C-373	S1249	埋土	土師器	杯	(11.6)×××(3.0)	口縁部→P7、底部→P10→P11	磨孔、口縁部→P10→P11	内面黒色処理	139
3	C-375	S1249	埋土	土師器	杯	13.5×××(6.0)	口縁部→P7、底部→P10→P11	磨孔、口縁部→P10→P11	内面黒色処理	139
4	C-376	S1249	P3	土師器	瓶	16.6×6.5×16.4	口縁部→P7、腹部→P10→P11、孔周囲→P7	口縁部→P7、腹部→P10→P11	磨孔	139
5	C-377	S1249	床直	土師器	瓶	×××(15.8)	口縁部→P7、下部→P7、孔周囲→P7	口縁部→P7→P11、孔周囲→P7	磨孔	139
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	産葉up	備考	写真図版	
6	P-57	S1249	埋土	土師器	写玉	21×0.7×孔径0.2	1.6	表面調整、赤彩?		139

〔掘り方〕東辺付近では周溝底面レベルまでの掘り込みであるが、西辺においては約40cmの深さまで大きく掘り込まれている。

〔出土遺物〕床面及びP3から土師器瓶がそれぞれ1点ずつ出土している。いずれも単孔で、外面にハケメ調整が施される。他の図示資料はいずれも埋土中からの出土である。

SI250 竪穴住居跡(第275・276図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、80グリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約1/5である。

[重複] SI260を切る。

[規模・形態] 東西4.4mを測り、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、南辺基準でN・82°・Eである。

[堆積土・構築土] 8層に分层した。1～5層は住居埋土、6層は周溝内堆積土、7・8層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は西壁35cm、南壁35cmである。

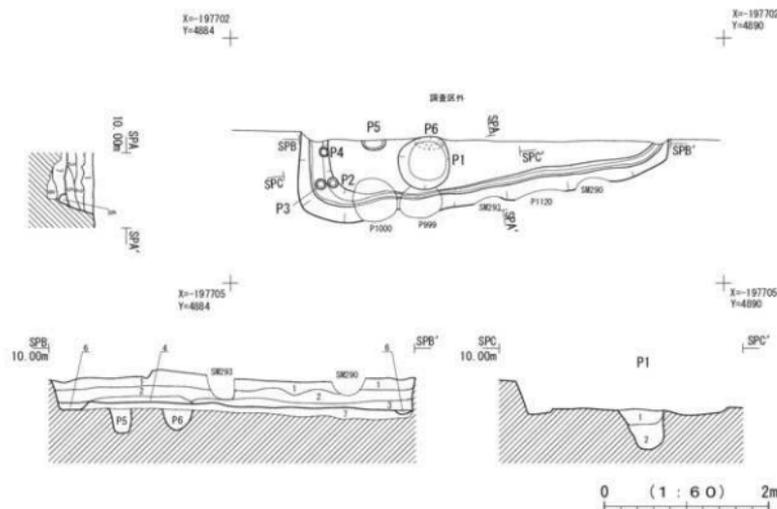
[床面] 概ね7層上面を床面とし、緩やかな起伏が認められる。

[周溝] 壁面直下で検出した。幅7～10cm、深さ10cm前後で、断面形は皿状に近い。

[その他の施設] ビット6基(P1～6)を検出した。P5・6は掘り方埋土除去後に検出している。

[掘り方] 深さは10～20cmであり、底面は起伏が認められる。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器鉢1点、甕1点を図示した。鉢第276図-1は肥厚した底部から体部へ内湾気味に外傾する。底面には木葉痕を残す。



第275図 SI250竪穴住居跡

SI250 埋土柱記表

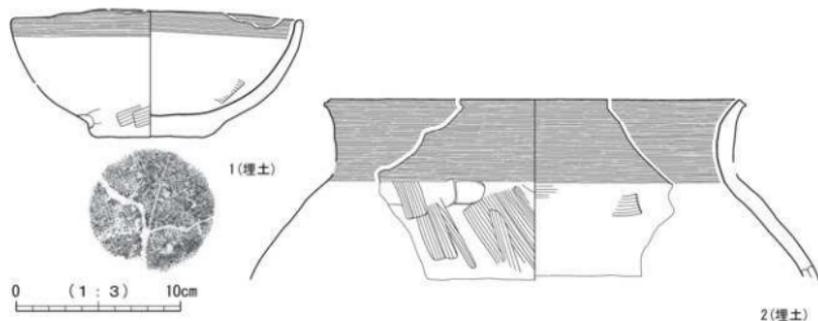
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/4 褐色	シルト	堆山アコク少量、炭化物微量に含む	埋土	5	10YK3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/3 に濃い黄褐色	シルト			6	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR4/3 に濃い黄褐色	シルト	10YR4-2 灰黄褐色に多量に含む		7	10YR5/4 に濃い黄褐色	砂質シルト	
	4	10YR4/4 褐色	シルト	堆山アコク少量含む		8	10YR5/6 黄褐色	シルト	

## SI250 施設・埋土記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	(約30cm大の礫含む)	P4	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト		P5	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P2	-	10YR4/4 褐色	シルト		P6	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P3	-	10YR4/6 褐色	シルト						

## SI250 施設輪郭表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	65×61	52		P4	円形	11×10	3	
P2	円形	13×11	14		P5	(円形)	28×(13)	22	掘り方埋土除去後に検出
P3	円形	13×13	20		P6	(円形)	38×(14)	23	掘り方埋土除去後に検出



第276図 SI250出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高 (cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-378	SI250	埋土	土師器	鉢	17.5×6.5×(7)角	磨孔、口縁部399°、肩部399°、底部本重	磨孔、底部-底部399°		130
2	C-379	SI250	埋土	土師器	甕	(24.0)××(11.0)	口縁部399°、胴部399°	口縁部399°、胴部399°		130

## SI251 竪穴住居跡(第277・278図)

[位置・確認] 4C西区東側、67・81グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察からIVa層上面からの掘り込みであることが確認でき、集落の中では新しい群に属するものと考えられる。住居北半が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約1/2である。

[重複] SI252に切られる。

[規模・形態] 東西4.3mを測る。平面形は不明であるが、方形に近いものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-8°-Wである。

[堆積土・構築土] 5層に分層した。1~3層は住居埋土、4層は周溝内堆積土、5層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味或いは外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は東壁11cm、西壁12cm、南壁11cmである。

[床面] 5層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

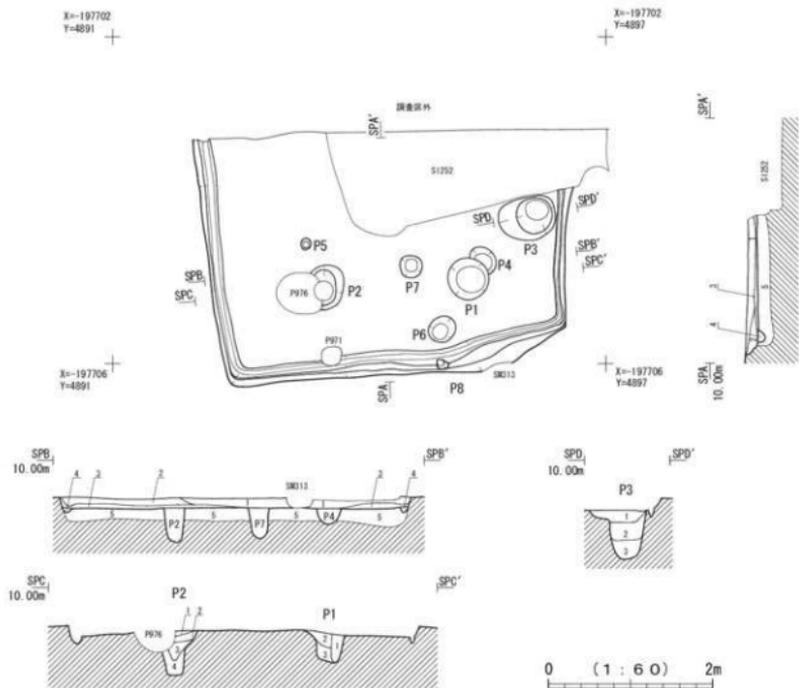
[柱穴] 配置・形状・規模からP1・2が主柱穴と考えられ、柱間寸法は1.8m内外である。

[周溝] 残存する3辺を巡る周溝を、壁面直下で検出した。幅7~20cm、深さ7cm前後で、断面形はU字形に近い。

[その他の施設] ビット6基(P3~8)を検出した。

[掘り方] 全体的に15cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土中から出土した土師器杯2点を図示した。第278図-2は今回の出土資料中唯一、高台を有する土師器杯である。



第277図 SI251竪穴住居跡

SI251 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/4 紅褐色	シルト		回溝	4	10YR3/4 紅褐色	シルト	
	2	10YR4/6 褐色	シルト	地山アロク少量含む	掘り方	5	10YR4/3 濃い黄褐色	砂質シルト	
	3	10YR4/4 褐色	シルト						

SI251 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アロク・炭化物・焼土微量を含む	P3	2	10YR3/4 紅褐色	シルト	地山アロク微量、炭化物・焼土少量含む
	2	10YR4/6 褐色	砂質シルト	地山アロク少量、炭化物微量を含む		3	10YR3/4 紅褐色	砂質シルト	
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山アロク微量を含む	P4	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物少量含む
P2	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物微量を含む	P5	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR3/4 紅褐色	シルト		P6	-	10YR3/4 紅褐色	シルト	
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山アロク少量含む	P7	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	4	10YR3/4 紅褐色	シルト		P8	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P3	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク少量含む					

SI251 施設柱記表

遺構名	平面形	風相 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風相 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	51×51	32		P5	楕円形	15×12	5	
P2	(楕円形)	55×41	64		P6	楕円形	35×31	14	
P3	楕円形	49×52	58		P7	円形	28×26	37	
P4	(楕円形)	35×49	18		P8	楕円形	15×11	13	



第278図 SI251出土遺物

採取番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-381	SI251	埋土	土師器 耳	(径6.8×径5.5)	口縁部→???, 底部→???	口縁部→底部→1.8×		内面黒色処理	139
2	C-380	SI251	埋土	土師器 高台付耳	→ (径10×径6)	底部→底部→???, 高台→???	轆轤, 底部→1.8×			139

SI252 竪穴住居跡(第279図)

[位置・確認面] 4C西区東側、81グリッドに位置する。調査区壁面の土層観察からIVa層上面からの掘り込みであることが確認でき、SI251同様、集落の中では新しい群に属するものと考えられる。住居の大半が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約1/3である。

[重複] SI251を切る。

[規模・形態] 東西3.3mを測り、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-15°-Wである。

[堆積土・構築土] 8層に分層した。1~5層は住居埋土、6層は周溝内堆積土、7-8層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味或いは外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は東壁16cm、西壁11cm、南壁10cmである。

[床面] 7層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

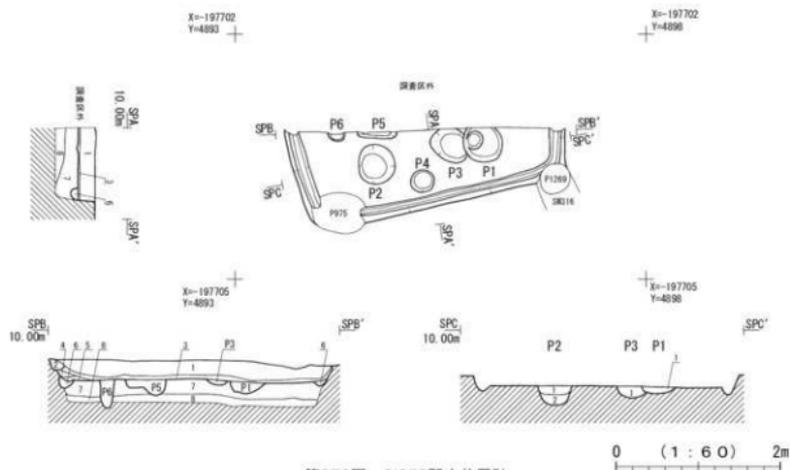
[柱穴] 配置・形状・規模からP1・2が主柱穴と考えられ、柱間寸法は1.3m内外である。

[周溝] 壁面直下で検出した。幅10~20cm、深さは10~20cmで、断面形は半円形に近い。

[その他の施設] ビット4基(P3~6)を検出した。

[掘り方] 深さは概ね30cm程度であり、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土及びP2から土師器・須恵器片が出土したが、掲載遺物はない。



第279図 SI252竪穴住居跡

## S252 埴土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
順土	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量を含む	掘り方	5	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アーク少量含む		6	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む		7	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山アーク微量を含む		8	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	

## S252 施設埴土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/6 褐色	シルト		P4	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土微量を含む		P5	-	10YR4/6 褐色	シルト
P3	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		P6	-	10YR4/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物微量を含む					

## S252 施設観察表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	52×66	11		P4	楕円形	42×25	5	
P2	楕円形	34×31	20		P5	(楕円形)	49×7	8	
P3	楕円形	34×28	10		P6	(円形)	19×10	5	

## SI253A 竪穴住居跡(第280～283図)

[位置・確認面] 4C西区東側、20・34グリッドに位置する。

[重複] SI248を切る。

[規模・形態] 東西5.7m、南北5.3mを測り、方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-87°-Eである。

[堆積土・構築土] 29層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～3層は住居埋土、4～12層はカマド関連層位、13層は周溝内堆積土、23～26層はカマド袖構築土、27～29層は掘り方埋土で、SI253A・B床面間に堆積する土層である。

[壁面] 直立気味或いはやや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は東壁23cm、西壁23cm、南壁27cm、北壁27cmである。

[床面] カマド周辺で27・28層、その他概ね29層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

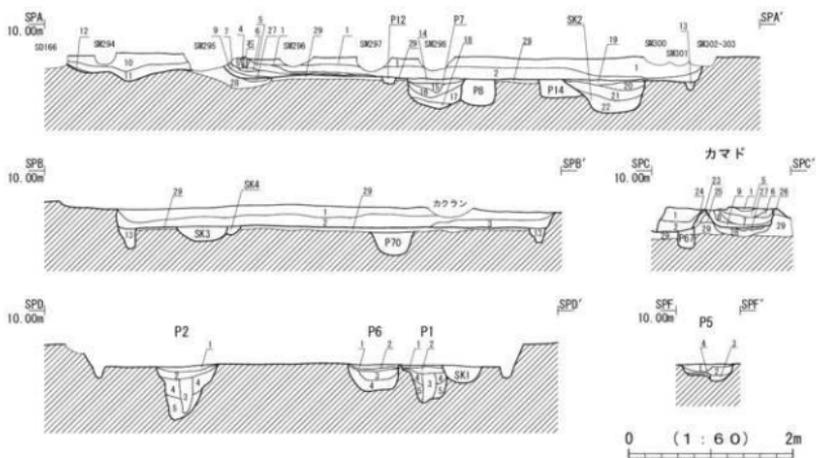
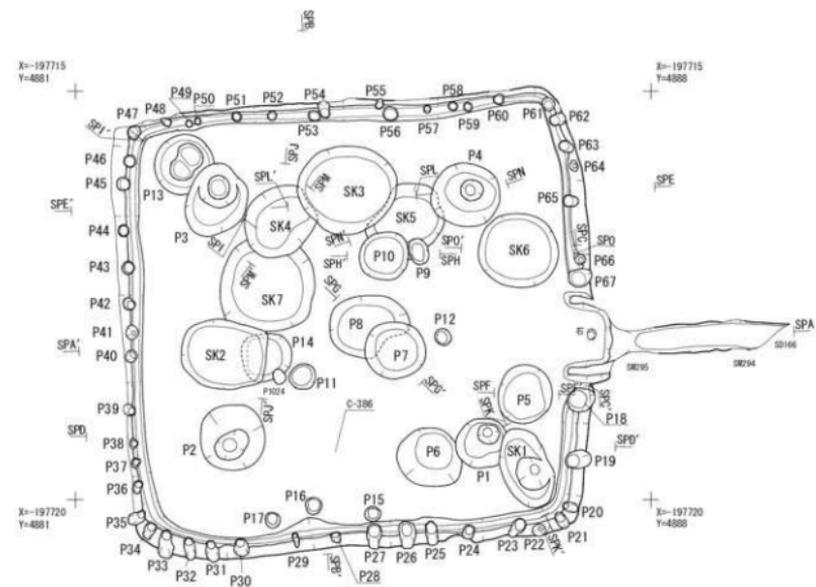
[柱穴] P1～4が主柱穴と考えられ、いずれにも柱痕跡が認められた。柱間寸法は3.0～3.2mである。また、カマドを除く全辺に整然と配されたP18～67は壁柱穴である。

[周溝] カマド部分を除き全周する周溝を、壁面直下で検出した。幅10～25cm、深さ4～14cmで、断面形はU字形に近い。

[カマド] 東辺中央からやや南に寄ったところで検出した。両袖部が残存しており、壁面からはほぼ平行して延び、コ字形を呈する。袖部の長さは35～55cm、高さは床面から5～15cm程残っている。燃焼部は奥行48cm、幅65cmを測る。煙道部は幅25～35cm、深さ19～35cmで、先端はSD166に切られる。

[その他の施設] 土坑7基(SK1～7)及びピット13基(P5～17)を検出した。

[出土遺物] 床面や床面遺構内からの出土が多い。図示した土師器坏3点のうち、小型の第282図-1と内面黒色処理される塊状の第282図-3は平底である。同じく塊状の第282図-2を含め、いずれも稜を有さず外傾する体部から口縁部で短く直立気味となる。また、土師器甕は大型の第282図-4を除き、口縁部の屈曲や胴部の張りが弱い。また、8点の須臾器を図示したが、今回報告する住居跡中では、その量は最も多い。



第280図 SI253A 竪穴住居跡(1)

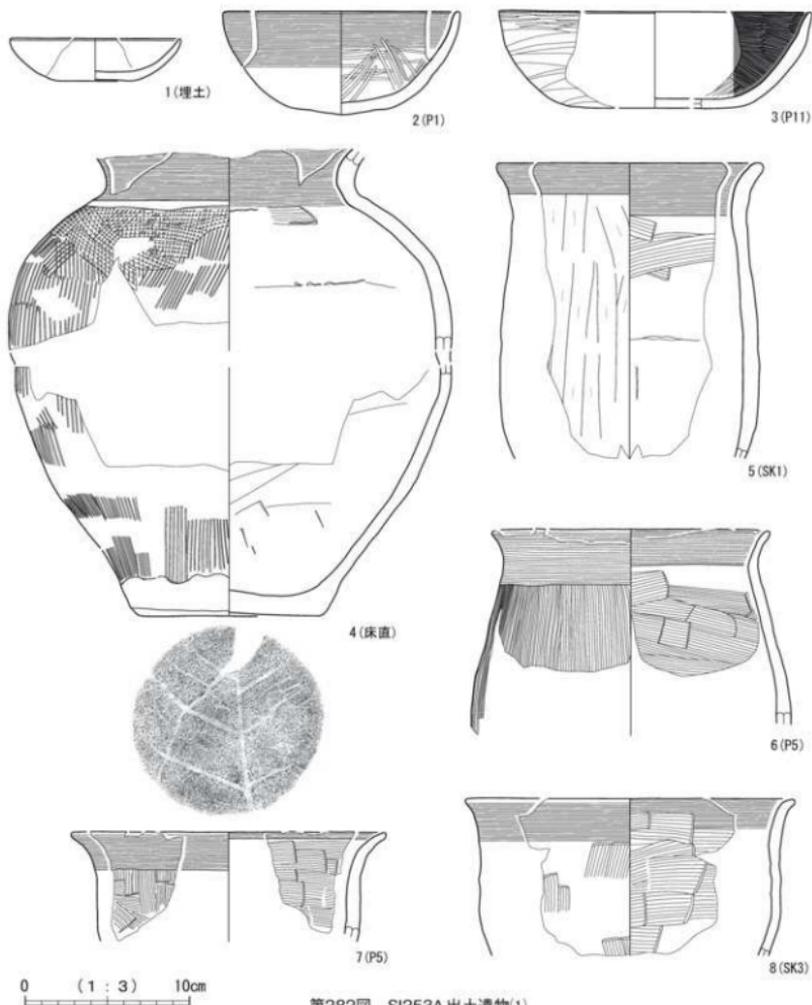


S253A 施設竣工記録表2)

部屋	種別	主色	主性	備考	部屋	種別	主色	主性	備考	
P14	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山70%少量、炭化物・焼土微量に含む	P48	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山70%少量、炭化物微量、焼土少量含む		P49	-	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む
	3	10YR4/4 褐色	シルト			P50	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P15	4	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物多量、焼土少量含む	P51	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量に含む	
	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P52	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P16	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P53	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P17	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む	P54	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P18	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	P55	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P19	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	P56	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P20	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P57	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P21	-	10YR4/4 褐色	シルト		P58	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P22	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P59	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む	
P23	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P60	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P24	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P61	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P25	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P62	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P26	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	P63	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	
P27	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	P64	-	10YR4/6 褐色	シルト		
P28	-	10YR4/6 褐色	シルト		P65	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P29	-	10YR4/4 褐色	シルト		P66	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		
P30	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P67	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量含む	
P31	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	SK1	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物多量、焼土少量含む	
P32	-	10YR4/4 褐色	シルト			2	10YR4/4 褐色	シルト	地山70%炭化物・焼土少量含む	
P33	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む	3	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物・焼土微量に含む		
P34	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		4	10YR4/6 褐色	砂質シルト	地山70%少量含む		
P35	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK2	-	-	(層19～22に対応)		
P36	-	10YR4/4 褐色	シルト			SK3	1	7.5YR3/3 暗褐色	シルト	地山70%少量、炭化物・焼土多量に含む
P37	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	2	7.5YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む		
P38	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK4	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む	
P39	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む		2	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む	
P40	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK5	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山70%少量、炭化物微量に含む	
P41	-	10YR3/4 暗褐色	シルト			2	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山70%少量、炭化物少量含む	
P42	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量に含む	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山70%少量、炭化物微量に含む		
P43	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	4	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト			
P44	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	SK6	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山70%少量、炭化物多量、焼土少量含む	
P45	-	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む		2	10YR4/4 褐色	シルト	地山70%炭化物・焼土微量に含む	
P46	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK7	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山70%少量、炭化物少量、焼土微量含む	
P47	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土微量に含む		2	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山70%少量、炭化物・焼土多量に含む	

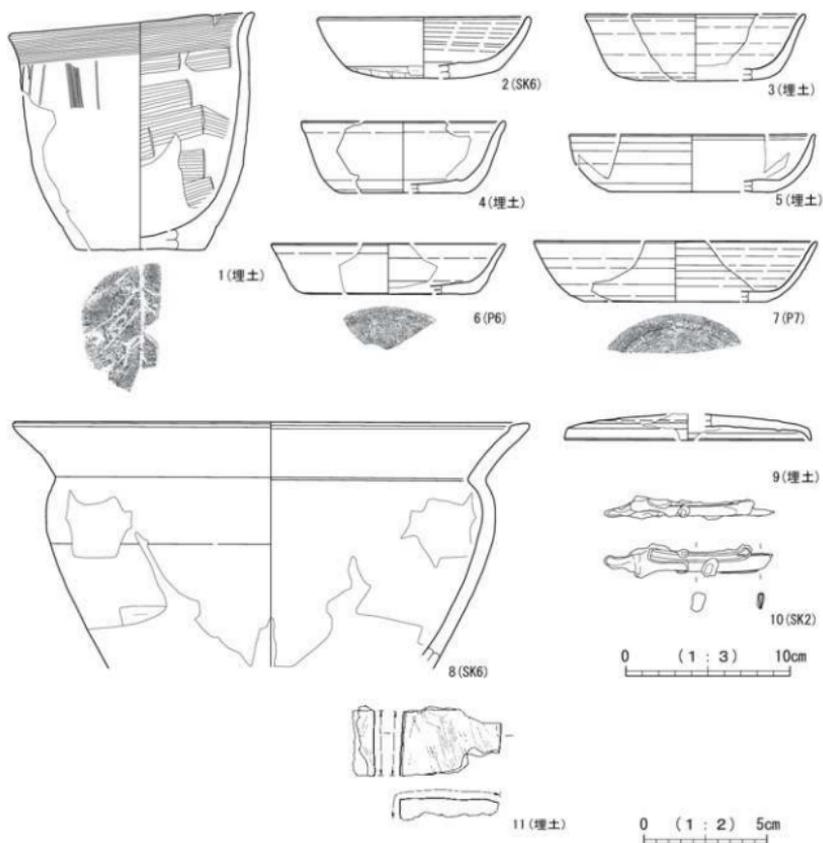
S253A 施設観測表

遺構名	平面形	縦長 (cm)	横長 (cm)	備考	遺構名	平面形	縦長 (cm)	横長 (cm)	備考
P1	円形	60×560	46		P38	円形	10×10	24	
P2	円形	80×72	67		P39	円形	14×14	24	
P3	楕円形	90×72	61		P40	円形	14×14	9	
P4	円形	79×73	62		P41	円形	14×14	12	
P5	円形	72×65	24		P42	円形	14×14	25	
P6	円形	76×70	34		P43	円形	14×14	24	
P7	円形	72×72	40		P44	円形	14×14	30	
P8	(円形)	86×(55)	37		P45	円形	15×15	19	
P9	円形	30×28	34		P46	円形	15×14	10	
P10	円形	60×58	21		P47	円形	15×14	11	
P11	円形	31×31	5		P48	円形	10×8	7	
P12	円形	21×18	8		P49	円形	9×9	11	
P13	(円形)	73×(59)	35		P50	円形	9×9	14	
P14	円形	62×56	18		P51	円形	10×10	22	
P15	円形	14×14	20		P52	円形	10×10	29	
P16	円形	14×14	12		P53	円形	12×11	10	
P17	円形	14×14	12		P54	楕円形	20×12	15	
P18	円形	32×30	16		P55	円形	10×8	12	
P19	楕円形	31×20	30		P56	円形	16×14	12	
P20	楕円形	19×12	3		P57	円形	9×9	17	
P21	楕円形	30×12	16		P58	円形	10×10	21	
P22	円形	14×14	1		P59	円形	9×9	13	
P23	楕円形	25×15	29		P60	円形	12×11	20	
P24	楕円形	15×12	21		P61	円形	15×14	10	
P25	楕円形	30×15	13		P62	楕円形	20×14	22	
P26	楕円形	33×20	22		P63	楕円形	18×13	16	
P27	楕円形	30×18	10		P64	円形	12×10	11	
P28	円形	10×10	19		P65	円形	16×14	16	
P29	楕円形	14×5	8		P66	円形	11×11	9	
P30	楕円形	22×15	15		P67	楕円形	28×20	22	
P31	楕円形	24×12	16		SK1	楕円形	100×60	28	
P32	楕円形	29×12	11		SK2	(円形)	88×(70)	40	
P33	楕円形	35×15	11		SK3	楕円形	116×107	16	
P34	楕円形	24×12	13		SK4	楕円形	84×80	27	
P35	楕円形	31×12	30		SK5	円形	96×95	45	
P36	円形	10×10	16		SK6	円形	78×(70)	23	
P37	円形	10×10	14		SK7	円形	113×(90)	18	



第282図 SI253A 出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土遺構	部位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	C-382	SI253A	埋土	土師器	杯	(0.2) × × (2.6)	磨減	磨減		130
2	C-384	SI253A	P1	土師器	杯	(1.2) × × 6.3	口縁部 <sup>29F'</sup> 、底部-底部 <sup>29F'</sup>	口縁部-底部 <sup>29F'</sup>		130
3	C-383	SI253A	P11	土師器	鉢	(18.6) × × 5.9	磨耗、口縁部 <sup>29F'</sup> 、底部-底部 <sup>29F'</sup> ?	口縁部-底部 <sup>29F'</sup>	内面至色処理	130
4	C-386	SI253A	床直	土師器	甕	× × 11.5 × (28.4)	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup> 、底 <sup>29F'</sup> 、底部木葉痕	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部-底部 <sup>29F'</sup>		140
5	C-391	SI253A	SK1	土師器	甕	(15.8) × × (18.2)	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup> ?	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>		140
6	C-387	SI253A	P5	土師器	甕	(16.5) × × (12.7)	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>		130
7	C-388	SI253A	P5	土師器	甕	(18.9) × × (6.7)	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>		130
8	C-389	SI253A	SK3	土師器	甕	(19.4) × × (9.6)	磨減、口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>	口縁部 <sup>29F'</sup> 、胴部 <sup>29F'</sup>		130



第283図 SI253A出土遺物(2)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-385	SI253A	埋土	土師器	甕	14.8×7.8×13.9	新乳, 口縁部299°, 胴部499°, 底部木蓋付	口縁部399°, 胴部-底部999°		140
2	E-77	SI253A	SK6	須恵器	杯	(12.0)×(9.2)×3.7	970調整, 体部下端-底部手持ち599°	970調整	器中込, 注経	140
3	E-72	SI253A	埋土	須恵器	杯	(13.2)×(8.0)×4.0	970調整, 体部下端-底部99°	970調整		140
4	E-74	SI253A	埋土	須恵器	杯	(12.2)×(7.6)×4.4	970調整, 体部下端-底部99°	970調整		140
5	E-73	SI253A	埋土	須恵器	杯	(14.8)×(10.0)×3.5	970調整, 底部99°	970調整		140
6	E-75	SI253A	T6	須恵器	杯	(14.1)×(10.0)×3.1	970調整, 底部99°	970調整	石炭多し	140
7	E-76	SI253A	T7	須恵器	杯	(17.1)×(11.2)×3.7	970調整, 体部下端-底部99°	970調整	炭人物少なし	140
8	E-89	SI253A	SK6	須恵器	鉢	(31.0)××(15.0)	970調整	970調整		140
9	E-71	SI253A	埋土	須恵器	蓋	(14.0)××(1.0)	970調整	970調整	内面自然磨り 差, 石炭多し	140
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考				写真掲載
10	N-009	SI253A	SK2	鉄製品	刀(1号)	刀身ほぼ完成, 刃・基部詳細不明。遺存長10.0, 刃部幅1.0, 同種厚0.2cm。前面長方形, 遺存長6.0cm程の不明鉄製品が張り付く				140
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
11	K6-103	SI253A	埋土	石製品	砥石	2.8×4.1×0.8	90	湖灰岩	面取り, 砥状, 欠損品	140

SI253B 竪穴住居跡(第284・285図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、20・34グリッドに位置する。SI253A 掘り方調査中に別の床面及び遺構を検出し、これを古い住居跡に伴うものと考え、SI253Bとした。

[重複] SI248を切る。

[規模・形態] 東西5.5m、南北5.1mを測り、方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-93°-Wである。

[堆積土・構築土] 11層に分層した。1~6層はカマド煙道部内堆積土、7層はカマド燃焼部窪み内の堆積土、8層は周溝内堆積土、9~11層は掘り方埋土である。

[床面] 概ね9・10層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] SI253A・Bを通じてP1~4が主柱穴と考えられる。また、四隅を中心に配されたP78~107は壁柱穴と考えられる。

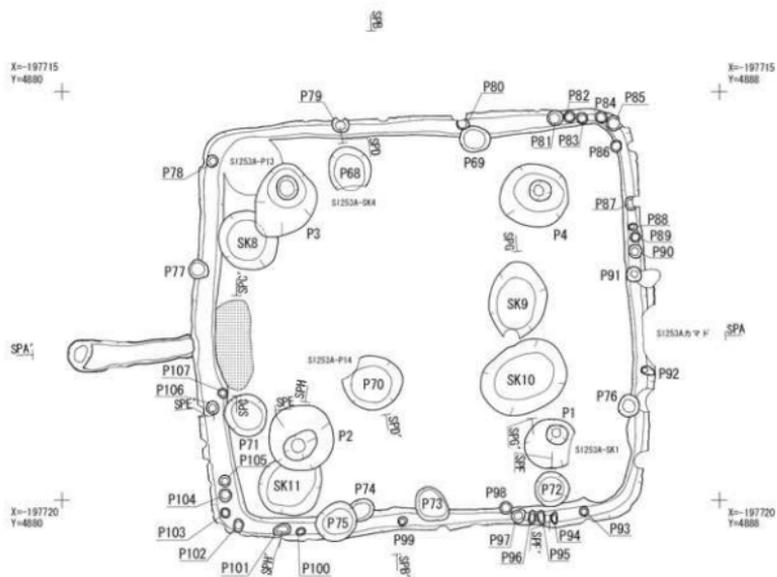
[周溝] 全周する周溝を検出した。幅20~35cm、深さ2~9cmである。

[カマド] 西辺中央で110×43cmの被熱範囲と煙道部を検出した。煙道部は長さ150cm、幅23~38cm、深さ17cmで、先端には深さ23cmのビット状の窪みが認められる。

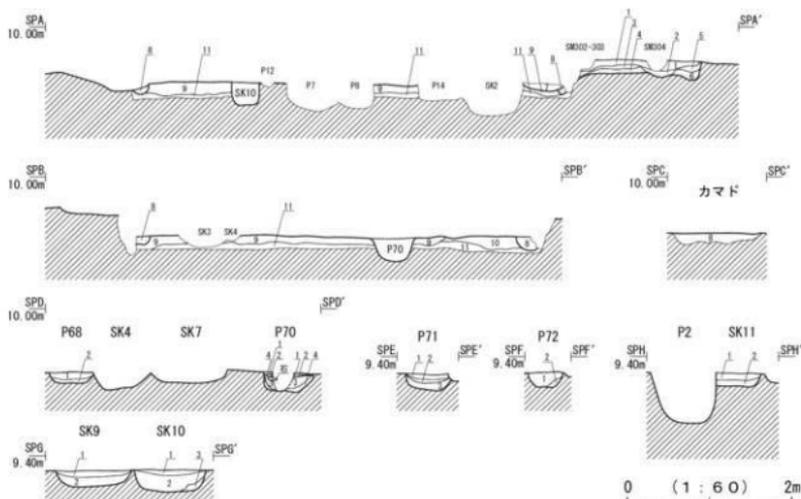
[その他の施設] 土坑4基(SK8~11)及びビット10基(P68~77)を検出した。カマド左方のSK11・P71は灰溜めビットの用途が考えられる。

[掘り方] 全体的に20cm程掘り込まれており、底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土及び床面遺構から土師器・須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第284図 SI253B竪穴住居跡(1)



第285図 Si253B 竪穴住居跡(2)

Si253B 埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
カマド	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物・焼土少量含む	カマド 掘り方	7	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク、炭化物少量含む		8	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物少量、焼土少量を含む		9	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物・焼土少量を含む
	4	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む		10	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	10YR4/4 褐色に焼土少量含む
	5	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物多量を含む		11	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	
	6	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物多量を含む					

Si253B 施設埋土目録表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P68	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物少量を含む	P89	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク少量含む	P90	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P69	1	10YR4/4 褐色	シルト		P91	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む
	2	10YR4/6 褐色	シルト	焼土少量を含む	P92	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む
	3	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物多量、焼土少量含む	P93	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
P70	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アロク少量、P85a大の礫含む	P94	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	焼土少量を含む	P95	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土多量を含む	P96	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
	3	10YR4/6 褐色	砂質シルト	地山アロク少量含む	P97	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P71	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	地山アロク少量含む	P98	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR4/6 褐色	砂質シルト	地山アロク少量含む	P99	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P72	1	10YR5/3 土灰黄褐色	シルト	地山アロク少量含む	P100	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
	2	10YR4/6 褐色	砂質シルト		P101	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P73	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む	P102	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P74	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	P103	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P75	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物少量を含む	P104	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P76	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P105	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む
P77	-	10YR3/4 暗褐色	シルト		P106	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P78	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量を含む	P107	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P79	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	SK8	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む
P80	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	SK9	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物・焼土少量含む
P81	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	SK10	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アロク少量、炭化物少量を含む
P82	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む		3	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アロク多量を含む
P83	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む	SK11	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	炭化物多量、焼土多量を含む
P84	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む		2	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	地山アロク少量含む
P85	-	10YR4/4 褐色	シルト						
P86	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む					
P87	-	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量を含む					
P88	-	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物多量を含む					

SI253B 施設概要表

遺構番号	平面形	幅長(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅長(m)	深さ(m)	備考
P68	円形	50×48	13		P90	円形	16×16	16	
P69	円形	38×32	14		P91	円形	18×18	19	
P70	円形	75×65	9		P92	楕円形	15×11	6	
P71	円形	52×51	18	灰溜めピット	P93	円形	11×10	9	
P72	円形	43×41	13		P94	楕円形	14×6	7	
P73	円形	39×41	17		P95	楕円形	16×8	8	
P74	円形	26×20	7		P96	楕円形	16×8	7	
P75	円形	30×49	11		P97	円形	18×15	8	
P76	円形	27×25	2		P98	円形	14×14	9	
P77	円形	24×25	10		P99	円形	11×10	11	
P78	円形	15×13	15		P100	円形	11×10	8	
P79	円形	20×15	18		P101	楕円形	20×15	16	
P80	円形	13×12	14		P102	楕円形	15×11	12	
P81	円形	19×18	15		P103	円形	12×11	12	
P82	円形	13×13	22		P104	円形	15×15	13	
P83	円形	13×13	17		P105	円形	14×14	21	
P84	円形	14×14	13		P106	円形	15×15	17	
P85	円形	18×18	11		P107	円形	12×12	10	
P86	円形	14×13	14		SK8	円形	73×72	16	
P87	円形	16×9	11		SK9	楕円形	90×70	19	
P88	円形	10×8	7		SK10	楕円形	106×84	26	
P89	円形	12×12	8		SK11	円形	74×65	15	灰溜めピット

## SI254 竪穴住居跡(第286・287図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区中央南側、32・33グリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置しており、検出部分は住居全体の約1/5である。

〔重複〕 SI232に切られ、SI255を切る。

〔規模・形態〕 残存値は住居東辺0.5m、北辺4.2mで、平面形は不明である。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-14°-E、北辺基準でN-84°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 14層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～4層は住居埋土、5～8層はカマド関連層位、9層は周溝内堆積土、12-13層はカマド袖構築土、14層は掘り方埋土である。

〔壁面〕 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は北壁17cmである。

〔床面〕 14層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔周溝〕 カマドを除いた部分の壁面直下で検出した。幅5cm前後、深さ5cm前後で、断面形はU字形に近い。

〔カマド〕 北辺で左袖部と煙道部を検出した。右袖部は排水溝攪乱によって失われている。袖部の高さは床面から17cm程残っている。煙道部は長さ210cm、幅28cm、深さ12cmを測り、先端部は緩やかに立ち上がる。

〔その他の施設〕 ピット5基(P1～5)を検出した。

〔掘り方〕 カマド付近では浅いものの、その他は概ね20cm程度である。底面には緩やかな起伏が認められる。

〔出土遺物〕 埋土中から出土した土師器鉢1点を図示した。器面の磨耗が激しく、調整等の観察は困難であったが、内面には黒色処理が施されている。

## SI255 竪穴住居跡(第288～290図)

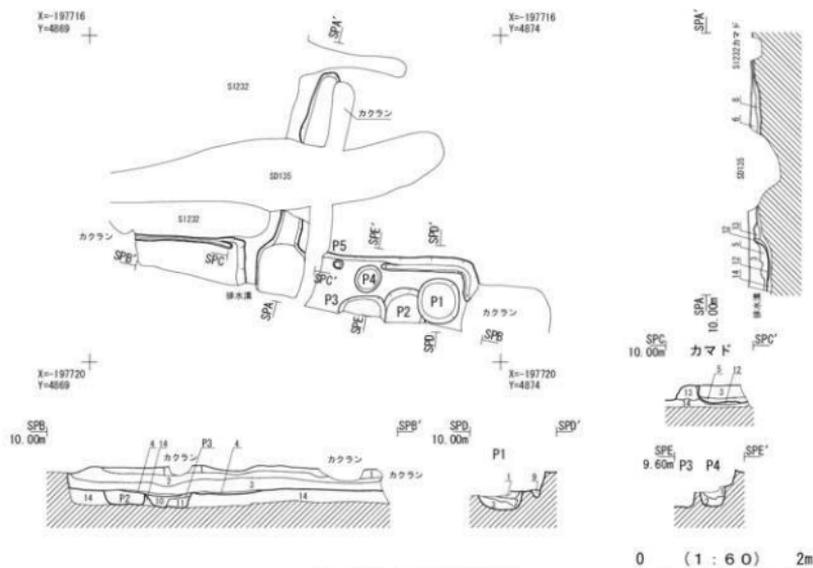
〔位置・確認面〕 4 C 西区中央南側、32・33・48・49グリッドに位置する。

〔重複〕 SI232・254に切られ、SI256を切る。

〔規模・形態〕 残存値は住居東辺2.7m、北辺3.2mである。平面形は不明であるが、方形に近いものと思われる。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-3°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 9層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1層は住居埋土、2層は煙道部内堆積土、3層は周溝内堆積土、6～9層は掘り方埋土である。



第286図 SI254竈穴住居跡

SI254 埋土柱記表

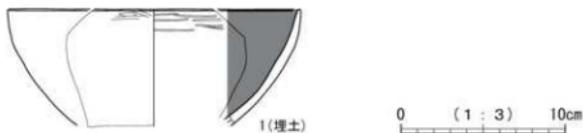
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
竈土	1	10YR4/4 褐色	シルト		カマド	8	10YR4/3 じさい黄褐色	シルト		
	2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			9	10YR5/3 じさい黄褐色	シルト	(P1断面同参照)	
	3	10YR3/4 褐色	シルト			P3	10	10YR7/1 灰白色	シルト	
	4	10YR1.7/1 黒色	シルト	炭化物層		11	10YR5/3 じさい黄褐色	シルト		
カマド	5	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物層・焼土多量に含む	12	2.5YR2/3 黒暗赤褐色	シルト	焼熱部含む		
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト		13	10YR3/4 暗褐色	シルト			
	7	10YR3/3 暗褐色	シルト		掘り方	14	10YR4/3 じさい黄褐色	シルト		

SI254 施設・埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/1 黒褐色	シルト		P4	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	(埋土10-11に付記)
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト			2	10YR3/1 黒褐色	シルト	
	3	10YR4/3 じさい黄褐色	シルト			P5	-	10YR4/3 じさい黄褐色	シルト
P2	-	10YR6/4 じさい黄褐色	シルト						

SI254 施設観測表

遺構名	平面形	風見(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	風見(m)	深さ(m)	備考
P1	楕円方形	55×50	22		P4	円形	33×30	22	
P2	楕円方形	43×40	18		P5	円形	10×10	13	
P3	楕円方形	58×65	13						



第287図 SI254出土遺物

採集番号	登録番号	出土遺構	種別	器種	口径×底径×部高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-392	SI254	埋土	土師器	鉢	口径×底径×部高(cm) (17.0×××7.1)	新製, 口縁部のみ	新製, 口縁部-底部のみ	内面黒色処理 141

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁17cm、北壁24cmである。

〔床面〕6・7層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

〔柱穴〕配置・形状・規模からP1～4が主柱穴と考えられ、P2以外には柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.3～2.5mである。またP8はP2・3の中間に構築され、柱痕跡も認められた。補助柱穴と推測される。

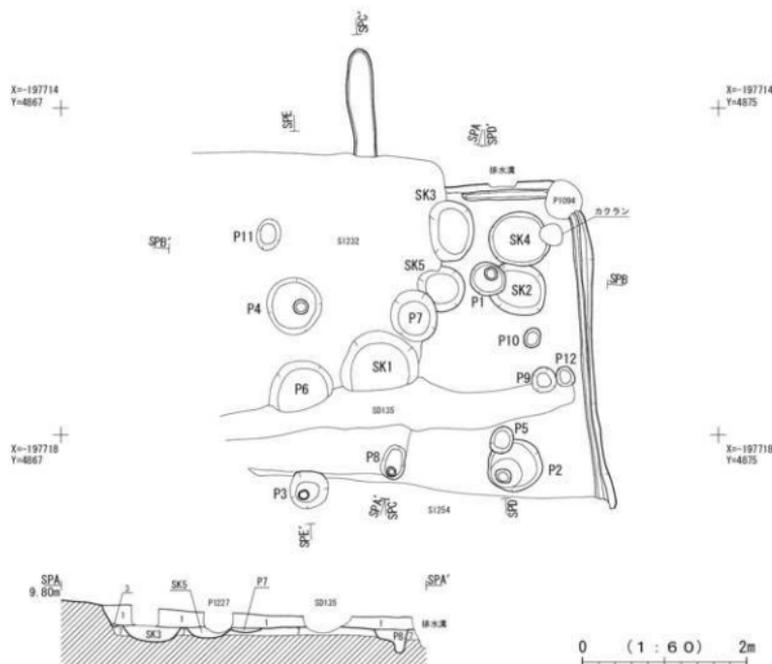
〔周溝〕東・北辺の壁面直下で検出した。幅20～30cm、深さ5cmで、断面形は半円形に近い。

〔カマド〕北辺中央で煙道部を検出した。残存値は長さ133cm、幅20cm前後、深さ10cm前後を測り、先端は直立気味に立ち上がる。

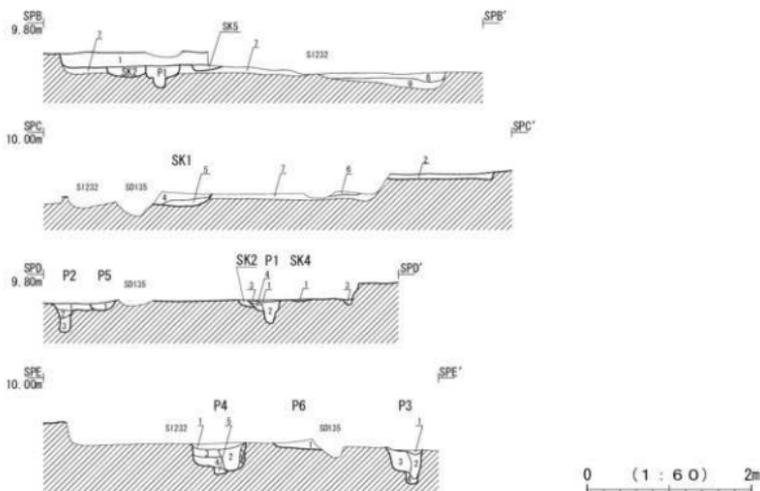
〔その他の施設〕土坑5基(SK1～SK5)及びピット7基(P5～7・9～12)を検出した。SK1は灰溜めピットの用途が考えられる。

〔掘り方〕深さは概ね10cm程度であるが、西側はやや深くなるようである。

〔出土遺物〕第290図-1は、胴部中に櫛波状文を巡らす須恵器高台付小型壺で、肩部以上に自然軸がかかる。胎土・自然軸ともに、今回出土している須恵器とは異質なもので、仙台市内出土須恵器と比較検討したところ、胎土・器形などが「上手内遺跡」(1992)2号横穴墓出土の小型壺と相似している可能性が考えられた。その年代については、同道跡報告書のなかで、8世紀第2四半期とされている。



第288図 SI255壁穴住居跡(1)



第289図 SI255竪穴住居跡(2)

S255 埋土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		掘り方	6	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト			7	10YR5/3 12.5Y-黄褐色	シルト	
	3	10YR5/4 12.5Y-黄褐色	シルト			8	10YR2/3 黒褐色	シルト	
両溝	3	10YR4/3 12.5Y-黄褐色	シルト			9	10YR5/6 黄褐色	シルト	
	4	10YR4/3 12.5Y-黄褐色	シルト						
SK1	4	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物・焼土多量に含む					
	5	10YR4/4 褐色	シルト						

S255 溝跡埋土柱記述

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		P4	5	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	柱痕跡		6	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR5/4 12.5Y-黄褐色	シルト			7	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	
	4	10YR4/3 12.5Y-黄褐色	シルト			8	10YR4/4 褐色	シルト	
P2	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		9	10YR3/3 12.5Y-黄褐色	シルト		
	2	10YR4/4 褐色	シルト		10	10YR3/3 12.5Y-黄褐色	シルト		
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト		11	10YR2/2 灰黄褐色	シルト		
	4	10YR3/3 暗褐色	シルト						
P3	1	10YR4/4 褐色	シルト		P11	1	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR4/6 褐色	シルト	柱痕跡	P12	1	10YR4/3 12.5Y-黄褐色	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK1	-	-	-	(層土4-5に付記)
	4	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト		SK2	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山?ロツ多量に含む
P4	1	10YR3/2 暗褐色	シルト		SK3	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物多量に含む
	2	10YR2/3 暗褐色	シルト	柱痕跡	SK4	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物多量に含む
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK5	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物多量に含む
	4	10YR2/3 暗褐色	シルト						

S255 溝跡断面表

遺構名	平面形	幅尺 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	幅尺 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	43×41	28		P10	円形	24×20	1	
P2	円形	60×64	34		P11	楕円形	40×29	1	
P3	円形	49×46	40		P12	円形	25×22	4	
P4	円形	70×65	38		SK1	(円形)	96×71	16	炭燼のビツト?
P5	円形	38×31	4		SK2	(円形)	68×62	9	
P6	(円形)	68×60	10		SK3	楕円形	75×52	13	
P7	楕円形	64×55	20		SK4	円形	70×68	14	
P8	楕円形	42×29	28		SK5	(円形)	60×55	19	
P9	円形	30×30	3						



第290図 SI255出土遺物

図版番号	発掘番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	E-79	SI255	埋土	煎煮器	小型煎	67×6.8×7.0	①②調整、胴部中心部磨き面状文、胴下平部～底面にかけて③④～高台部分付	①②調整	内外面に自然焼成面あり	141
2	E-78	SI255	掘り方	煎煮器	高台付煎	～×10.11×2.50	①②調整、底部下底～底面30㎝×97°～高台部分付	①②調整	石灰多い	141
図版番号	発掘番号	出土遺物	層位	種別	器種	備考		写真図版		
3	N-072	SI255	P5	煎煮品	針	基部をはは直角に折り曲げる、遺存長10.7、最大幅3.7、線厚0.3mm		141		

#### SI256 竪穴住居跡(第291・292図)

〔位置・確認面〕4 C西区中央、48・49グリッドに位置する。住居南半は調査区外に位置しており、検出されたのは住居全体の約1/2である。

〔重複〕SI232・246・255に切られ、SI257を切る。

〔規模・形態〕東西4.2mを測り、平面形は方形に近いものと思われる。

〔方向〕住居跡の南北軸は、カマド基準でN-11°-Wである。但し、カマドは住居辺に対してやや西に傾くため、住居全体としての向きは真北に近い。

〔堆積土・構築土〕21層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～3層は住居埋土と判断したが、2・3層については貼床土である可能性がある。4～10層はカマド関連層位、11層は周溝内堆積土、19～21層はカマド袖構築土である。

〔壁面〕直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁14cm、北壁14cmである。

〔床面〕地山上面を床面とするが、前述のように2・3層が貼床となる可能性がある。この場合、床面には多少の起伏が認められることとなる。

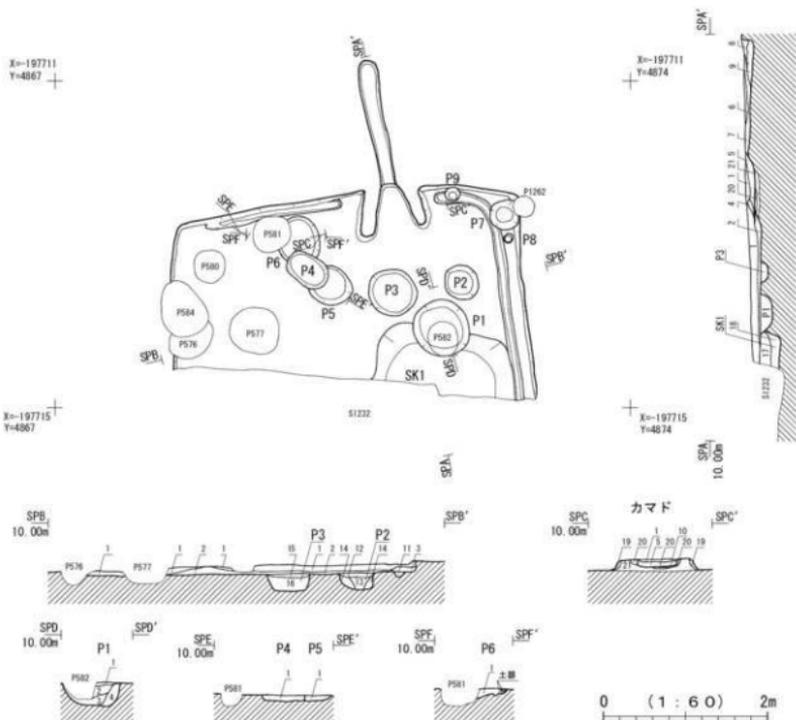
〔柱穴〕主柱穴は検出されなかったが、P8・9は壁柱穴と考えられる。

〔周溝〕東辺では住居壁面から20cm程内側で、北辺では壁面直下で検出した。幅10～15cm、深さは5cm前後で、断面形は半円形に近い。

〔カマド〕北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。両袖部が残存しており、八字状に開く。袖部の長さは50～65cm、燃燒部は奥行58cm、幅16～55cmを測る。煙道部は住居辺に対してやや西に傾いており、長さ153cm、幅20cm前後、深さ10cm前後である。

〔その他の施設〕ビット7基(P1～7)及び径160cm以上を測る大型土坑1基(SK1)を検出した。カマド左前方のP5は灰溜めビットの用途が考えられる。

〔出土遺物〕第292図-1は、磨耗・剥落が顕著で、器面観察が充分に行うことができなかった。またカマド煙道部から鉄鏝が、埋土中からは骨片が出土している。



第291図 Si256竪穴住居跡

SQ56 埋土柱記表

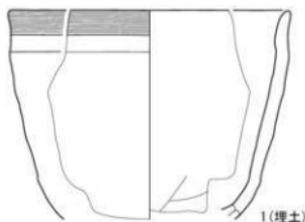
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アコナ堆土微量に含む	P2	12	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アコナ微量に含む、炭灰の可能性あり		13	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR5/6 黄褐色	シルト	炭灰の可能性あり		14	10YR3/3 暗褐色	シルト	
カマド	4	10YR5/6 黄褐色	シルト		P3	15	10YR4/1 暗灰色	シルト	
	5	10YR2/3 暗褐色	シルト			16	2.5YR4/2 灰褐色	シルト	グライ化
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト		SK1	17	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山アコナ少量含む
	7	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物少量含む		18	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アコナ少量含む
	8	10YR2/2 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む	P4/P5	19	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
	9	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物微量に含む		20	2.5YR3/2 暗赤褐色	砂質シルト	
	10	10YR5/2 灰黄褐色	シルト			21	10YR5/6 黄褐色	砂質シルト	
	瓦溝	11	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト					

S256 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山アコナ少量含む	P5	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物・地山・地山アコナ多量に含む
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト			16	10YR3/3 暗褐色	シルト	堆土微量に含む
	3	10YR4/4 褐色	シルト		P7	1	10YR4/4 褐色	シルト	
	4	10YR5/6 黄褐色	シルト			18	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P2	-	-	-	(埋土12-14に対応)	P9	-	-	-	(埋土15-16に対応)
P3	-	-	-	(埋土12-14に対応)	SK1	-	-	-	(埋土17-18に対応)
P4	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・地山・地山アコナ多量に含む					

## S256 施設概要表

遺構名	平面形	幅径 (cm)	深さ (cm)	備 考	遺構名	平面形	幅径 (cm)	深さ (cm)	備 考
P1	円形	42×42	29		P6	円形	37×40	14	
P2	円形	42×41	21		P7	円形	35×35	15	
P3	円形	57×57	21		P8	円形	12×12	5	
P4	楕円形	47×25	7		P9	円形	18×18	5	
P5	(円形)	35×(25)	7	灰皿めビット	SK1	(不整形)	178×164	24	大型



1(埋土)



2(煙道部)



第292図 SI256出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-393	SI256	埋土	土師器	壺	φ6.8×××0.28	磨粒・滑磨調整、口縁部***、胴部***?	磨粒、口縁部***、胴部***?		141
2	N-073	SI256	煙道部	鉄製品	皿	遺存長3.3、最大幅2.4、遺存厚0.2cm				141

## SI257 竪穴住居跡(第293～296図)

〔位置・確認面〕 4 C 西区中央、32・33・48・49グリッドに位置する。

〔重複〕 SI232・256に切られる。

〔規模・形態〕 壁面を検出できた範囲は、東辺3.4m、北辺1.4m程度であるが、僅かに残る埋土の痕跡から、推定1辺6m前後の規模が考えられる。

〔方向〕 住居跡の南北軸は、東辺基準でN-22°-Wである。

〔堆積土・構築土〕 13層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1～3層は住居埋土、4層は周溝内堆積土、12・13層は掘り方埋土である。

〔壁面〕 やや外傾しながら立ち上がる。残存する壁高は北壁15cmである。

〔床面〕 12層上面を床面とする。

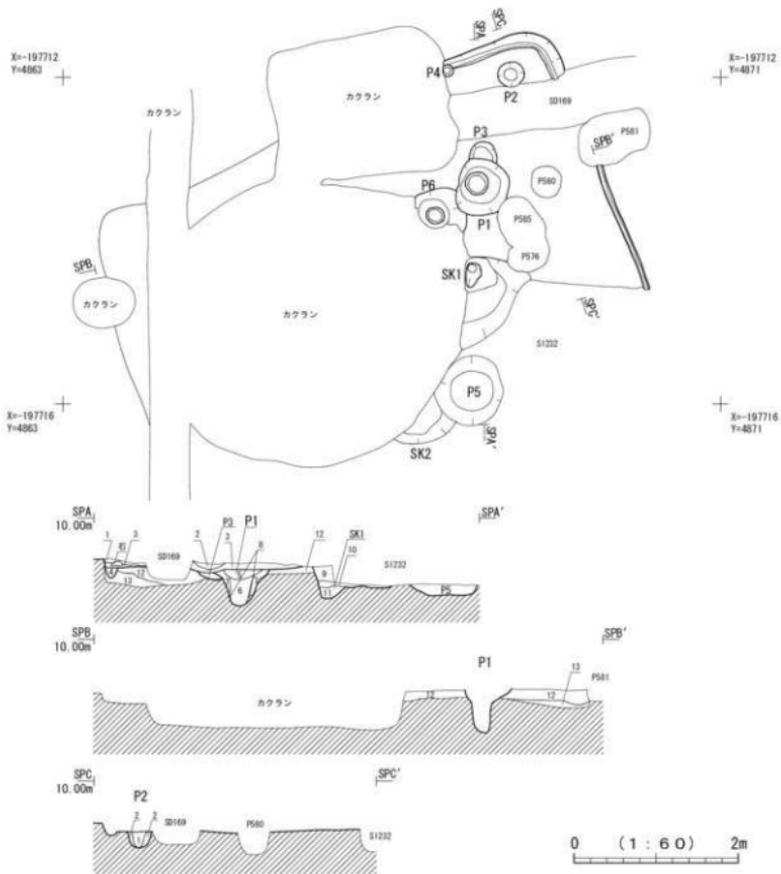
〔柱穴〕 断定はできないが、柱痕跡の残るP1は、位置・規模から主柱穴の可能性が高い。

〔周溝〕 残存する東・北辺の一部の壁面直下で検出した。幅13～17cm、深さ5cm前後で、断面形はU字形に近い。

〔その他の施設〕 土坑2基(SK1・2)及びビット5基(P2～6)を検出した。

〔掘り方〕 残存部分が少なく詳細は不明であるが、住居壁面近くが掘り窪まれて中央が高まる形状のようである。

〔出土遺物〕 第295図-2は掘り方埋土、それ以外は床面上からの出土である。第295図-1は全体に肥厚気味で、体部中位で屈曲し、口縁部は外反する。内面はヘラミガキされるものの黒色処理は施されていない。第296図-2は内外面をヘラミガキされる単孔の瓶である。



第293図 SI257竪穴住居跡(1)

S1257 埋土柱記表

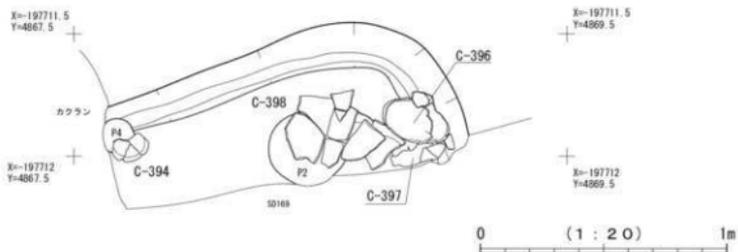
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
埋土	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		SK1	8	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼土多量を含む		9	10YR4/1 褐色	シルト	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			10	10YR4/1 褐色	シルト	地山? ロック少量含む
周溝	4	10YR4/4 褐色	シルト		11	10YR4/4 褐色	シルト	地山? ロック多量を含む	
	5	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト		12	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山? ロック少量を含む	
P1	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	柱痕跡	13	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト		
	7	10YR3/2 暗褐色	シルト						

S1257 施設埋土柱記表

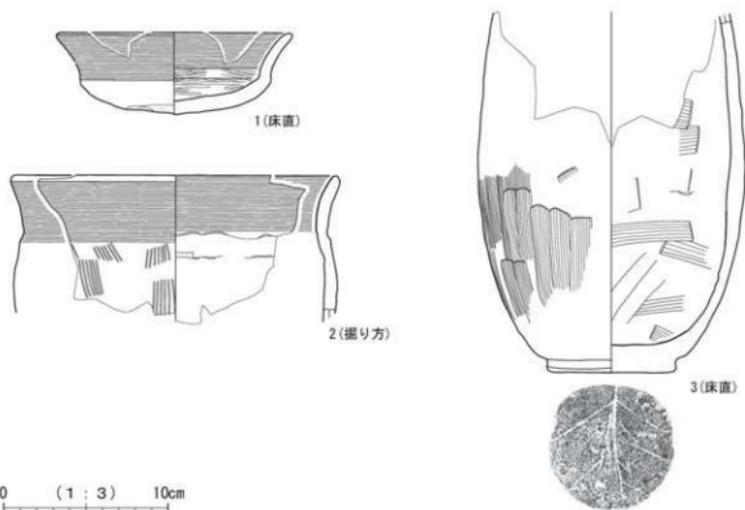
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	-	-	-	(層1.5~8に対応)	P5	-	10YR3/3 暗褐色	シルト	
P2	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		P6	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト		SK1	-	-	-	(層1.5~11に対応)
P3	-	10YR4/4 褐色	シルト		SK2	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P4	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト						

## SI257 施設概要

遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	幅(m)	深さ(m)	備考
P1	楕円方形	71×64	46		P5	円形	85×85	113	
P2	円形	34×38	21		P6	(楕円方形)	57×60	55	
P3	(円形)	25×(15)	7		SK1	(不整形)	(12)×80	56	
P4	円形	14×14	9		SK2	(円形)	60×60	6	

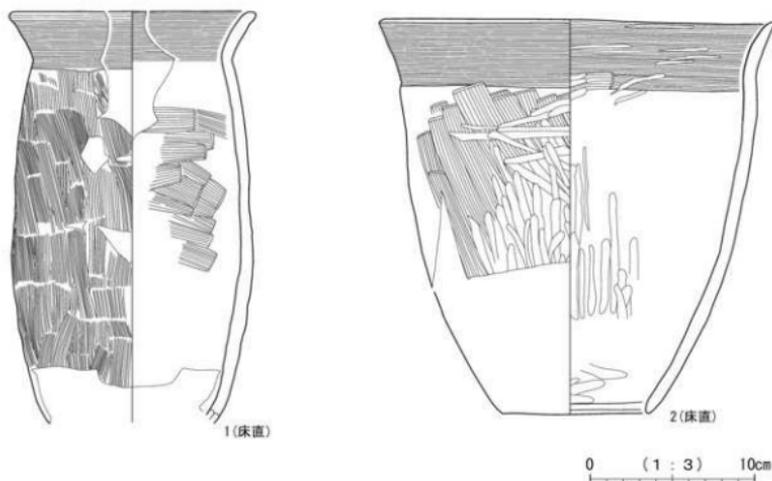


第294図 SI257竪穴住居跡(2)



第295図 SI257出土物(1)

図面番号	登録番号	出土遺構	方位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図取
1	C-394	SI257	床直	土師器	坏	φ14.0××5.0	磨耗, 口縁部***, 底部~底部***?	磨耗, 口縁部~底部***?		141
2	C-395	SI257	掘り方	土師器	甕	(19.5)××(9.1)	口縁部***, 胴部**	磨耗, 口縁部***, 胴部***		141
3	C-396	SI257	床直	土師器	甕	×7.2×(22.3)	胴部***, 底部本形直	胴部~底部***		141



第296図 SI257出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載
1	C-397	SI257	床直	土師器	甕	14.0××(25.2)	口縁部397F、胴部49F→下半部497F	口縁部397F、胴部497F		141
2	C-398	SI257	床直	土師器	瓶	23.8×8.8×24.1	口縁部397F、胴部497F	口縁部-乳部-孔497F	穿孔	141

#### SI258 竪穴住居跡(第297・298図)

[位置・確認面] 4 C 西区東側、50・51・66・67グリッドに位置する。

[重複] SI242・248に切られ、SI259を切る。

[規模・形態] 東西4.3m、南北4.4mを測り、方形を呈する。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-20°-Wである。

[堆積土・構築土] 11層に分層した(一部床面施設の埋土を含む)。1層は住居埋土、2層はカマド煙道部内堆積土、3層は周溝内堆積土、4・5層はカマド袖の痕跡、6~11層は掘り方埋土である。

[床面] 6~8・10層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1~4が主柱穴と考えられ、P1以外には柱痕跡が認められた。柱間寸法は2.6~2.9mである。

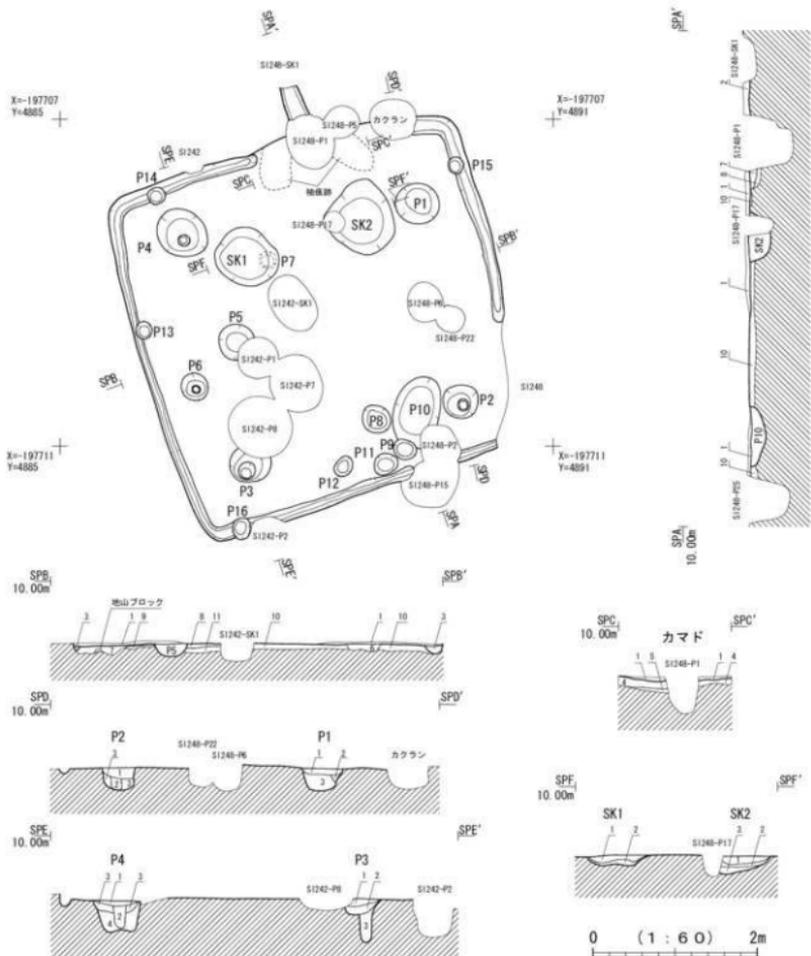
[周溝] カマドを除き全周する周溝を検出した。幅20cm前後、深さは5cm前後で、断面形はU字形に近い。

[カマド] 北辺中央からやや東に寄ったところで検出した。袖部はその痕跡のみが確認でき、ハ字状に開くようである。煙道部は幅20cm前後、深さ10cm前後で、先端は失われている。

[その他の施設] 土坑2基(SK1・2)及びピット12基(P5~16)を検出した。

[掘り方] 浅い掘り込みであり、底面には起伏が認められる。

[出土遺物] 掘り方埋土から出土した土師器杯第298図-1は、扁平な底部から直線的に外傾し口縁部に至る。内面はヘラミガキされた後、黒色処理が施される。



第297図 SI258竪穴住居跡

SI258 埋土層記表

層位	層位	土色	土性	備考	層位	層位	土色	土性	備考
掘土	1	10YR4/4 褐色	シルト		掘り方	7	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	池山アコブ様土少量含む
カマド	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物少量含む		8	10YR4/1 陶灰色	シルト	
洞溝	3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			9	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
カマド	4	10YR3/3 紅褐色	シルト			10	10YR3/1 黒褐色	シルト	
機軸跡	5	10YR3/2 赤褐色	シルト			11	10YR6/4 にぶい黄褐色	シルト	
掘り方	6	10YR3/3 紅褐色	シルト	ベトナムの落ち込み、断面でのみ確認					

SI258 施設・埋土記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト		P7	-	10YR3/1 黒褐色	シルト	
	2	10YR2/1 黒色	シルト		P8	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR4/4 褐色	シルト		P9	-	10YR4/4 褐色	シルト	
P2	1	10YR3/2 黒褐色	シルト		P10	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト		P11	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR3/1 黒褐色	シルト		P12	-	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P3	1	10YR4/4 褐色	シルト		P13	-	10YR3/2 黒褐色	シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		P14	-	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR3/2 黒褐色	シルト	柱状跡	P15	-	10YR3/2 黒褐色	シルト	
P4	1	10YR3/3 褐色	シルト		P16	-	10YR4/4 褐色	シルト	
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト		SK1	1	10YR6/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR5/6 黄褐色	シルト		2	10YR5/2 灰黄褐色	シルト		
P5	4	10YR3/4 に近い黄褐色	砂質シルト		SK2	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	
	-	10YR3/2 黒褐色	シルト		2	10YR4/4 褐色	シルト		
P6	-	10YR3/2 黒褐色	シルト		3	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト		

SI258 施設概観表

遺構名	平面形	風尺 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	風尺 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	円形	31×31	27		P10	円形	32×37	20	
P2	円形	42×42	42		P11	他円形	28×22	10	
P3	他円形	30×42	33		P12	他円形	26×21	5	
P4	他円形	64×57	35		P13	円形	21×21	25	
P5	円形	42×42	11		P14	円形	21×21	20	
P6	円形	25×24	13		P15	円形	21×20	17	
P7	円形	21×21	13		P16	他円形	28×22	10	
P8	円形	35×35	12		SK1	円形	75×53	12	
P9	円形	28×28	8		SK2	円形	84×77	21	



1 (掘り方)

0 (1:3) 10cm

第298図 SI258出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-399	SI258	掘り方	土師器	杯	口径×底径×器高(cm)	11縁部～底部V字↑	11縁部～底部V字↑	内面灰色処理	142

SI259 竪穴住居跡(第299・300図)

[位置・確認面] 4 C 西区南東、66・67・80グリッドに位置する。

[重複] SI242・248・258に切られ、SI260を切る。

[規模・形態] 東西3.2mを測り、平面形は長方形を呈するものと思われる。

[方向] 住居跡の南北軸は、カマド基準でN-68°-Eである。

[堆積土・構築土] 9層に分層した。1～4層は住居埋土、5～6層はカマド煙道部内堆積土、7層は周溝内堆積土、8～9層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁22cm、西壁24cm、北壁30cmである。

[床面] 8層上面を床面とし、緩やかな起伏が認められる。

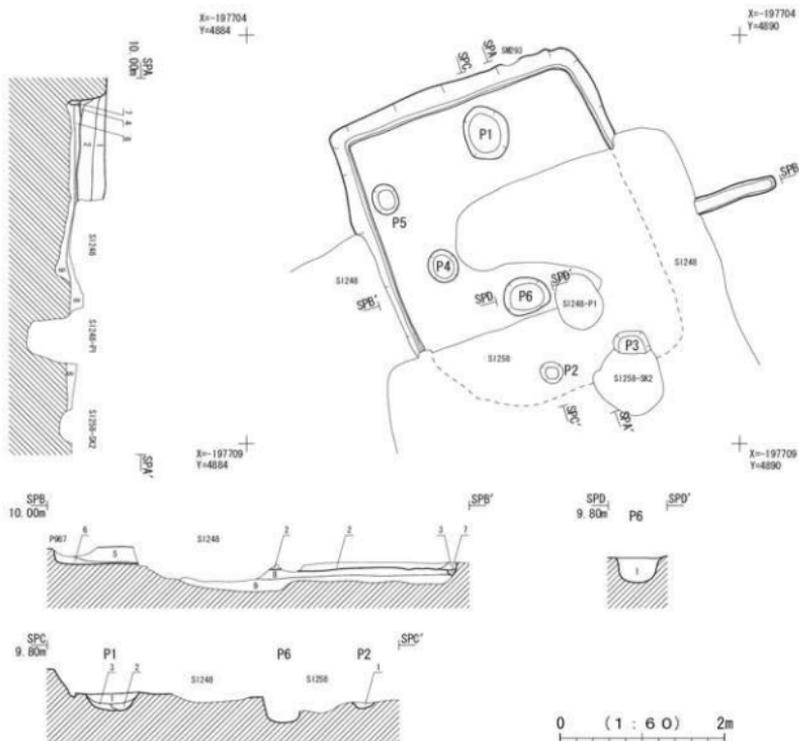
[周溝] 残存する3辺を巡る周溝を壁面直下で検出した。幅8cm前後、深さ5cm前後で、断面形はV字形に近い。

[カマド] 東辺で煙道部を検出した。幅17cm、深さ15cm前後、長さは160cm程である。先端は窪まずに立ち上がる。

[その他の施設] ビット6基(P1～6)を検出した。

[掘り方] 全体的に5～15cm程掘り込まれており、底面には大きな起伏が認められる。

[出土遺物] P6から土師器杯が出土している。体部外面に稜を持ち、体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。内外面ともにヘラミガキされる。



第299図 SI259竪穴住居跡

SI259 埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考	
南マF	1	10YR4-3 に少し黄褐色	シルト		南マF	6	10YR17-1 灰色	シルト	炭化物微量に含む	
	2	10YR3-4 暗褐色	シルト	炭化物多量に含む		洞溝	7	10YR4-2 灰青褐色	シルト	
	3	10YR4-1 暗灰色	シルト			溝の方	8	10YR6-3 に少し黄褐色	シルト	
	4	10YR3-1 灰褐色	シルト			9	10YR6-4 に少し黄褐色	シルト		
南マF	5	10YR4-2 灰青褐色	シルト							

SI259 施設埋土柱記表

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	1	10YR3-4 暗褐色	シルト		P3	-	10YR4-1 暗灰色	シルト	
	2	10YR4-2 灰青褐色	シルト		P4	-	10YR4-1 暗灰色	シルト	
	3	10YR3-2 灰褐色	シルト		P5	-	10YR3-1 暗褐色	シルト	
P2	1	10YR4-2 灰青褐色	シルト		P6	1	10YR3-2 暗褐色	シルト	炭化物微量に含む

SI259 施設概要表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	66×53	21		P4	楕円形	40×35	10	
P2	円形	27×25	7		P5	楕円形	37×30	30	
P3	(隅丸方形)	40×27	20		P6	楕円形	55×44	29	



第300図 SI259出土遺物

図取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図表
1	C-400	SI259	IV	土師器	杯	(13.3)×(8.5)	口縁部～底部のぼり	口縁部～底部のぼり		内面黒色処理 142

SI260 竪穴住居跡(第301・302図)

[位置・確認図] 4C西区東側、80グリッドに位置する。住居の大半が調査区外に位置している。

[重複] SI248・250・259に切られる。また、SI249とも切り合い関係にあり、当初は本遺構の方が古いものとして調査を行ったが、調査区壁面上層の再観察の結果、その関係は逆転するものと判断した。

[規模・形態] 残存値は東西3.1mで、平面形は不明である。

[方向] 住居跡の南北軸は、南辺基準でN・82°・Eである。

[堆積土・構築土] 6層に分層した。1～3層は住居埋土、4層は周溝内堆積土、5・6層は掘り方埋土である。

[壁面] 直立気味に立ち上がる。残存する壁高は東壁20cm、南壁28cmである。

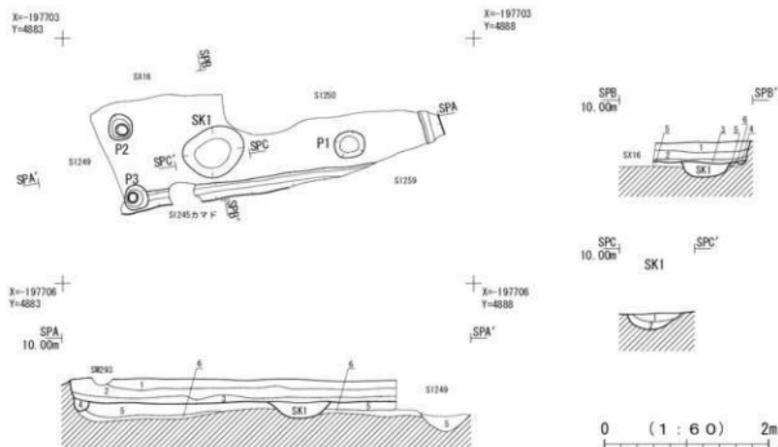
[床面] 5層上面を床面とし、ほぼ平坦である。

[周溝] 壁面直下で検出した。幅15～17cm、深さは13cmで、断面形はU字形に近い。

[その他の施設] 土坑1基(SK1)及びピット3基(P1～3)を検出した。

[掘り方] 深さは5～25cmで、底面には緩やかな起伏が認められる。

[出土遺物] 土師器杯2点、壺1点、甕1点を図示した。いずれも埋土中からの出土で、甕以外は磨耗している。第302図・1・2は内面に黒色処理が施されている。



第301図 SI260竪穴住居跡

## S260 埋土柱記号

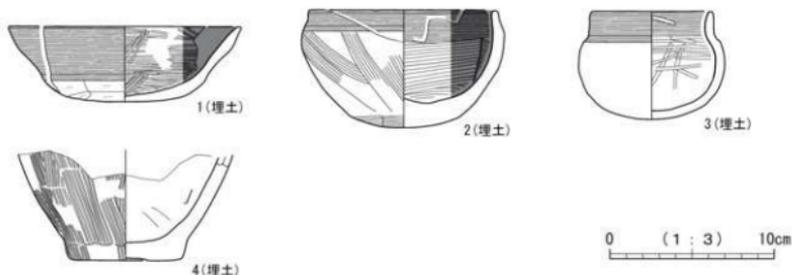
部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘土	1	10YR4/1 黒褐色	シルト		掘り方	4	10YR6/4 濃い黄褐色	シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト			5	10YR3/1 黒褐色	シルト	
	3	10YR4/4 褐色	シルト			6	10YR4/1 黒褐色	砂質シルト	

## S260 掘跡埋土柱記号

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
P1	-	10YR3/2 黒褐色	シルト		SK1	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
P2	-	10YR3/2 黒褐色	シルト			2	10YR4/1 黒褐色	シルト	
P3	-	10YR3/1 黒褐色	シルト						

## S260 掘跡断面表

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考	遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	備考
P1	円形	36×32	6		P3	円形	30×28	25	
P2	円形	31×27	15		SK1	円形	72×61	14	



第302図 S1260出土遺物

調査番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-401	S260	埋土	土師器	杯	13.9××14.0	磨耗, 口縁部???, 底部-底部???	口縁部-底部?13.4	内面黑色処理	142
2	C-402	S260	埋土	土師器	杯	11.3××7.3	磨耗, 口縁部???, 底部-底部???	磨耗, 口縁部-底部??? →?13.4	内面黑色処理	142
3	C-403	S260	埋土	土師器	壺	7.2××6.6	磨耗, 口縁部???, 底部-底部?13.4?	口縁部-底部?13.4		142
4	C-404	S260	埋土	土師器	壺	→×6.8×前高	胴部??, 底部???	胴部-底部???		142

## S1261 竈穴住居跡(第303図)

[位置・確認面] 4C西区中央、64・65・79グリッドに位置する。

[重複] S1218・219・246に切られる。

[規模・形態] 東西4.3mを測り、平面形はほぼ方形を呈するものと思われる。

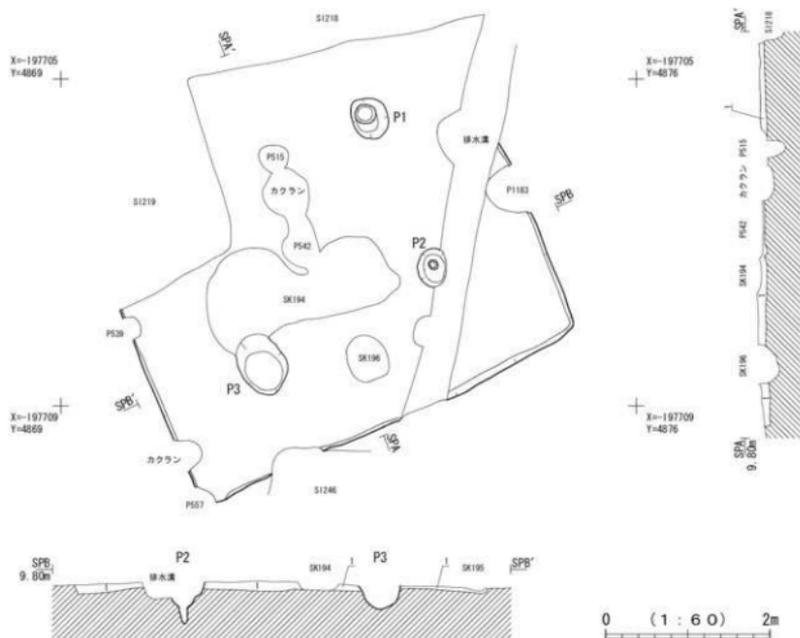
[方向] 住居跡の南北軸は、西辺基準でN-22°-Wである。

[堆積土・構築土] 確認できたのは掘り方埋土1層のみである。

[柱穴] 配置・形状・規模からP1～3が主柱穴と考えられる。

[掘り方] 底面は比較的平坦である。

[出土遺物] 埋土中から土師器・須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第303図 SI261竅穴住居跡

SI261 埋土柱記簿

部位	層位	土色	土性	備考	部位	層位	土色	土性	備考
掘り方	I	10YR4/4 褐色	シルト	掘山アコク多量に含む					

SI261 施設観研表

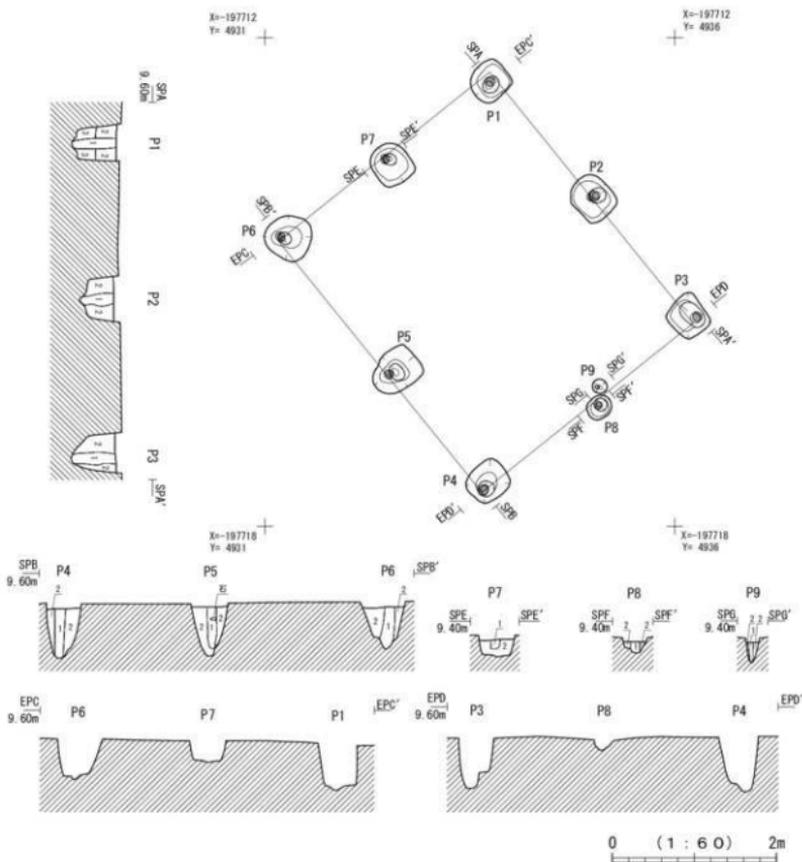
遺構名	平面形	幅長 (cm)	深さ (cm)	備考	遺構名	平面形	幅長 (cm)	深さ (cm)	備考
P1	楕円形	52×45	23		P3	楕円形	76×55	29	
P2	楕円形	45×36	30						

## (2) 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は4A～4C区のはほぼ全域で検出されており、竅穴住居跡同様、区画施設(SD66・SA1)の東側では通路状遺構の延長部分に分布の空白域が認められた。建物は真北に対して傾きを持つタイプと、真北を指向するもタイプとに大別され、遺構重複例では後者が新しい。この重複結果は、安易に全ての掘立柱建物跡に当てはめることはできないが、隣接する郡山官衙におけるⅠ期→Ⅱ期という変遷に関連する可能性が充分にあると推測される。また、竅穴住居跡と重複する例や並列して検出された例もあり、長町駅東遺跡における集落の変遷を解明する上で重要な遺構群と言える。

SB11 掘立柱建物跡(第304・305図)

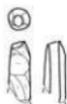
4 A区39・55グリッドに位置する。東西2間、南北2間の南北棟で、方向は桁行基準でN-39°-Wである。桁行は総長390cmで、東辺の柱間寸法は195cmの等間であるが、西辺では210cm、180cmと北側が間広となる。梁行は総長330cmで、北辺の柱間寸法は165cmの等間であるが、南辺ではP8を中柱とした場合、180cm、150cmと西側が間広となる。各柱穴の平面形は、P1~7がやや角張った楕円形、他の柱穴に比べて規模が小さいP8・9はほぼ円形を呈する。柱穴の深さは概ね50~60cmで、特に四隅の柱穴の底面レベルはほぼ同一である。P1~7は柱痕跡が明瞭で、径10~12cmを測る。堆積土は暗褐色を呈し、地山土を多く含んでいる。P4から出土した土鏝を図示した他、P1~7から土器片、P4~6から自然礫が出土した。



第304図 SB11掘立柱建物跡

SB11掘立柱建物跡 埋土柱記号

遺構名	平面形	風程 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	隅丸方形	47×44	59	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	炭化物粉塵量に含む、柱痕跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山較硬に少量、炭化物粉少量・焼土粒少量含む
				3	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山土多量に含む
P2	隅丸方形	55×46	49	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10-10mm)多量に含む
P3	隅丸方形	48×43	62	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む
P4	隅丸方形	50×44	66	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10-10mm)多量に含む
P5	隅丸方形	60×48	67	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10-10mm)多量に含む
P6	楕円形	55×52	57	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10-10mm)少量含む
P7	隅丸方形	51×45	28	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10mm)少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコウ(径10-10mm)少量含む
P8	円形	30×30	18	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	炭化物粉塵量に含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山較少量含む
P9	円形	17×17	32	1	10YR4-2 灰黄褐色	粘土質シルト	鉄分の沈着目立つ、しまりぬい、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山較少量含む

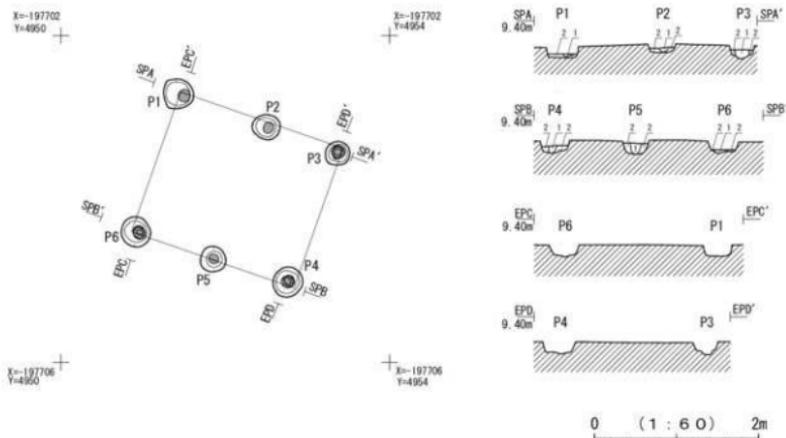


1 (P4)

0 (1 : 3) 10cm

第305図 SB11出土遺物

探検番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真掲載
1	P-02	SB11	P4	土製品	土練	径30×厚13×孔径0.6	5.0	指環調整	142



0 (1 : 60) 2m

第306図 SB12掘立柱建物跡

SB12 掘立柱建物跡(第306図)

4 A区73-87グリッドに位置する。東西2間、南北1間の東西棟で、方向は桁行基準でN-70°-Wである。桁行は総長210cmで、柱間寸法が110cm、100cmと西側が僅かに間広となる。梁行は180cmである。各柱穴の平面形は円形を呈し、深さは10~15cmで、底面レベルはほぼ一致する。全ての柱穴において柱痕跡が明瞭であり、径13~15cmを測る。堆積土は暗褐色土で地山土を多く含んでいる。P1~3から土器片が出土したが、掲載遺物はない。

SB12掘立柱建物跡 埋土柱記表

遺構名	平面形	縦長 (cm)	横長 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	円形	34×34	13	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、しまりなし、柱痕跡	
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト		
P2	円形	32×32	10	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、しまりなし、柱痕跡	
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト		
P3	円形	28×28	15	1	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山粒層状に少量含む、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山アーク少量含む	
P4	円形	37×37	14	1	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山粒層状に少量含む、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山アーク少量、炭化物アーク微量を含む	
P5	円形	30×30	13	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、しまりなし、柱痕跡	
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト		
P6	円形	35×35	14	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、しまりなし、柱痕跡	
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト		

SB13 掘立柱建物跡(第307-308図)

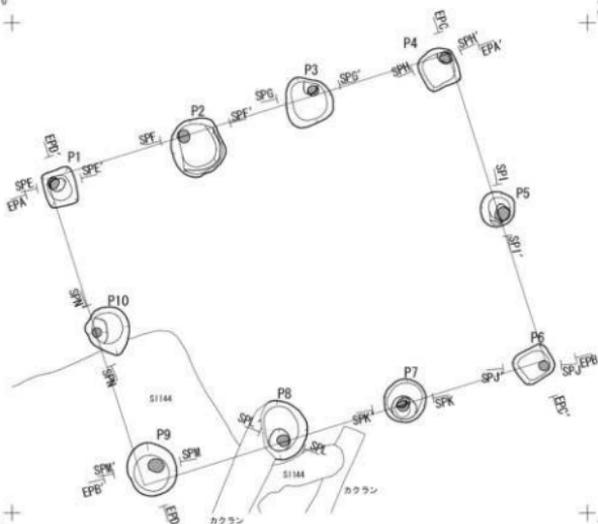
4 A区40-56グリッドに位置する。南西隅のP9はS114-P4に切られる。東西3間、南北2間の東西棟で、方向は桁行基準でN-107°-Wである。桁行は総長510cmで、柱間寸法は170cmの等間となる。梁行は総長390cmで、西辺の柱間寸法は195cmの等間であるが、東辺では210cm、180cmと北側が間広になる。柱穴の平面形は、隅柱であるP1・4・6が方形、それ以外は円形~楕円形を呈する。柱穴の深さは30~50cmで、底面レベルはほぼ一致する。全ての柱穴で柱痕跡が認められ、径12~18cmを測る。全ての柱穴から土器片が出土しており、土師器甕破片1点を図示した。

SB13掘立柱建物跡 埋土柱記表

遺構名	平面形	縦長 (cm)	横長 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	方形	44×39	30	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒少量含む、下位は褐色粘土質A3に転質、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山粒層状に微量、炭化物粒少量、焼土粒微量を含む	
P2	楕円形	70×61	29	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒少量含む、下位は褐色粘土質A3に転質、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒層状に微量、炭化物粒少量を含む	
				3	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山土層状を含む、炭化物粒微量を含む	
P3	楕円形	60×56	31	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒少量含む、下位は褐色粘土質A3に転質、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山粒層状に微量、炭化物粒少量、焼土粒微量を含む	
P4	方形	43×46	38	1	HVRC3/1 黒褐色	粘土質シルト	しまりなし、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山粒層状に微量、炭化物粒少量、焼土粒微量を含む	
P5	円形	41×40	31	1	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山粒層状に少量含む、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒層状に少量含む	
P6	方形	45×39	30	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒少量含む、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む	
				3	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アーク層状を含む、炭化物粒・焼土粒少量含む	
P7	楕円形	53×49	31	1	HVRC3/1 黒褐色	粘土質シルト	しまりなし、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・焼土粒微量を含む	
P8	楕円形	72×54	54	1	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山土層状に少量、焼土粒微量を含む、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山土層状に少量、炭化物粒少量、焼土粒少量含む	
				1	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山アーク、しまりなし	
P9	楕円形	65×58	31	2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	しまりなし、柱痕跡	
				3	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山アーク	
				4	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山アーク層状を含む	
				5	HVRC3/3 暗褐色	シルト	しまり弱い	
P10	楕円形	53×52	37	6	HVRC3/1 黒褐色	粘土質シルト	地山土層状に少量含む	
				7	HVRC3/1 黒褐色	粘土質シルト	地山アーク	
P10	楕円形	53×52	37	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒少量含む、下位は褐色粘土質A3に転質、しまり弱い、柱痕跡	
				2	HVRC3/2 黒褐色	シルト	地山粒層状に微量、炭化物粒少量、焼土粒微量を含む	

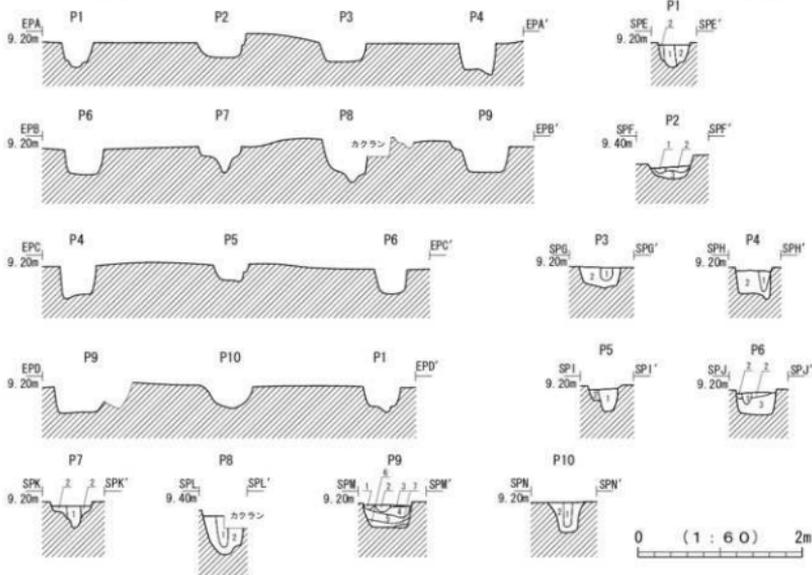
X=197710  
Y=4940

X=197710  
Y=4947

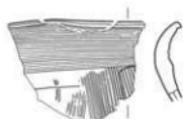


X=197716  
Y=4940

X=197716  
Y=4947



第307図 SB13掘立柱建物跡



1 (P9)

0 (1 : 3) 10cm

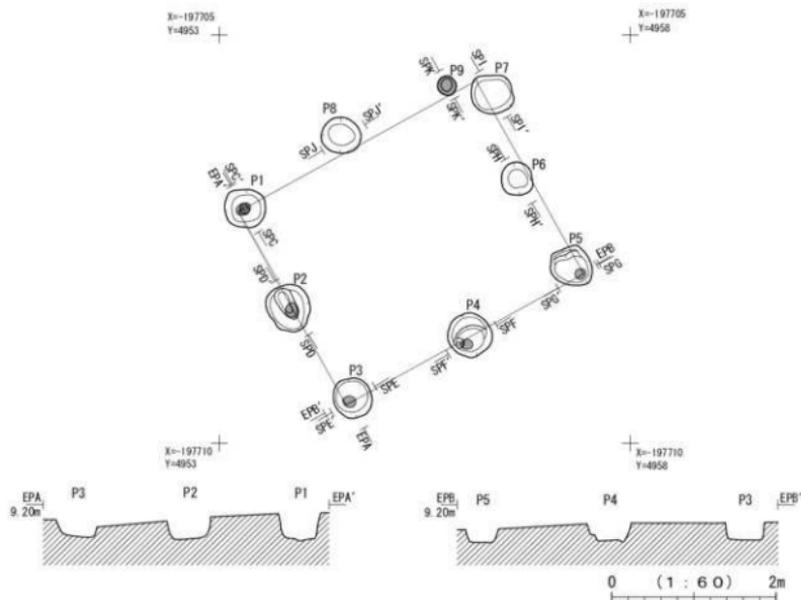


第308図 SB13出土遺物

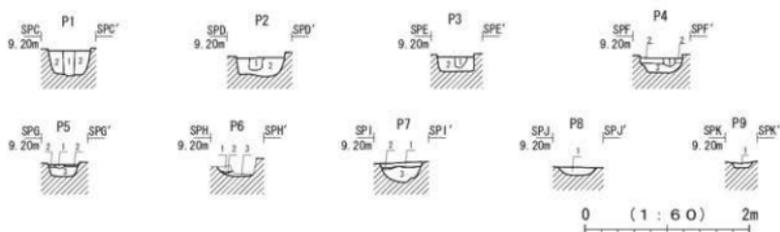
図録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版	
1	C-006	SB13	P9	土師器	壺	→×→(61)	口縁部削り、胴部削り	磨減調整		142

SB14 掘立柱建物跡(第309・310図)

4 A区73グリッドに位置し、S1146に切られる。東西2間、南北2間の東西棟で、方向は桁行基準でN-119°-Wである。桁行は総長330cm、北辺の柱間寸法が東側から150cm、180cmで、南辺では東側から170cm、160cmとなる。梁行は総長270cmで、東辺の柱間寸法が北側から130cm、140cm、西辺では北側から140cm、130cmとなる。北東隅の柱穴にはP7・9の2つを充てているが、P7は他の柱穴と堆積土・深さが類似しているものの、梁行・桁行から偏在しており、P9は堆積土・規模が他と異なる。各柱穴の平面形は円形を呈し、深さは20~30cmで、底面レベルはほぼ同一である。P1~5で柱痕跡が認められ、径14~18cmを測る。P1~5から土器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第309図 SB14掘立柱建物跡(1)



第310図 SB14掘立柱建物跡(2)

SB14掘立柱建物跡 埋土跡記表

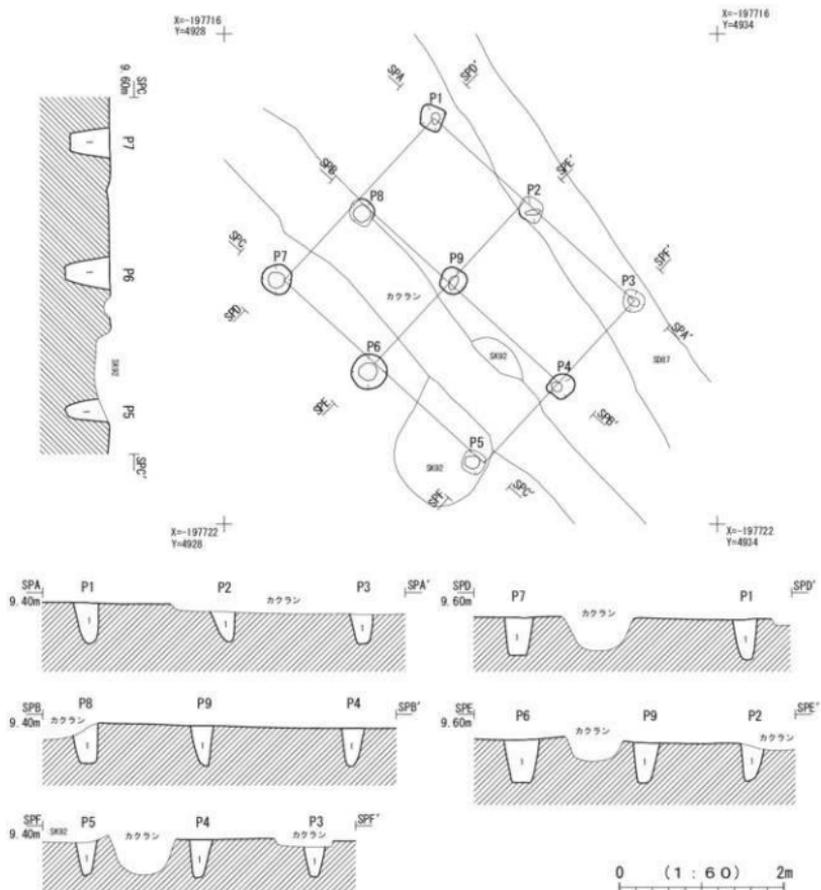
遺構名	平面形	風楕 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	楕円形	49×47	33	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山砂少量含む。しまりなし、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワの多量を含む
P2	楕円形	58×51	25	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山砂少量含む。しまりなし、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワの多量を含む
P3	円形	46×46	21	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山砂少量含む。しまりなし、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワの多量を含む
P4	円形	50×50	20	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山砂少量含む。しまりなし、柱痕跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	灰化物アワの砂粒少量含む。しまり強い
				3	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワの多量を含む。しまり強い
P5	楕円形	50×47	17	1	10YR3-1 黒褐色	シルト	灰化物砂少量含む。しまり強い、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山砂少量含む
				3	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワの多量を含む。しまり強い
P6	円形	52×52	12	1	10YR3-1 黒褐色	粘土質シルト	地山アワの多量を含む
				2	10YR3-3 に近い黄褐色	粘土質シルト	地山アワの多量を含む
				3	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	地山アワの多量を含む
P7	楕円形	48×46	22	2	10YR3-2 黒褐色	シルト	地山アワの多量を含む
				3	10YR3-3 に近い黄褐色	粘土質シルト	地山アワの多量を含む
P8	楕円形	52×48	9	1	10Y6-2 灰黄褐色	シルト	地山アワの多量を含む
				2	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	しまり強い、柱痕跡
P9	円形	48×48	7	1	10YR3-2 黒褐色	粘土質シルト	しまり強い、柱痕跡

### SB15 掘立柱建物跡(第311図)

4 A区24・25・38・39グリッドに位置する。当初P44・201・202・399・400・401・386・427・511として掘削・調査した9基のピットが、掘立柱建物跡と確認された。桁行・梁行ともに2間の縦柱建物跡で、方向は桁行基準でN-47°-Wである。桁行は総長330cmで、柱間寸法が東側から150cm、180cmである。梁行は総長270cmで、柱間寸法は135cmの等間となっている。柱穴の平面形は、P1がやや方形、その他は円形を呈する。深さは35～50cm、底面レベルはほぼ同一である。柱痕跡は認められなかった。P3・6～8から土器片が出土しているが、掲載遺物はない。

### SB16 掘立柱建物跡(第312図)

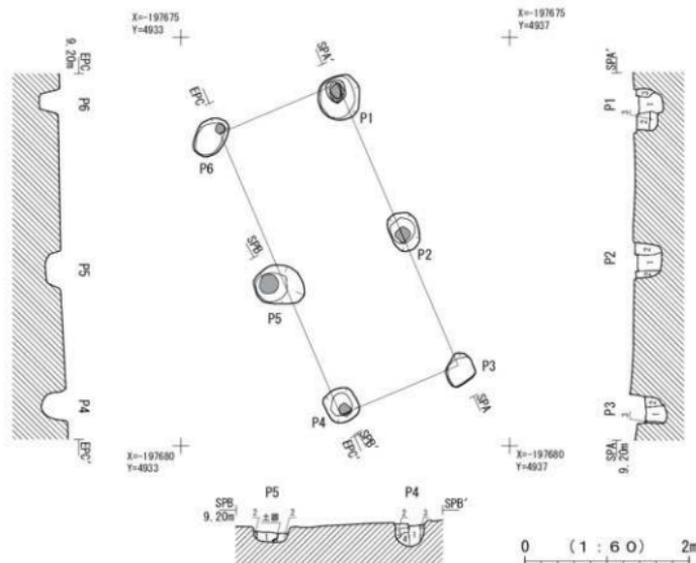
4 B区南西側、122グリッドに位置する。SH185、SD101・102を切っており、SB17とも重複する。南北2間、東西1間の南北棟で、桁行基準でN-24°-Wである。桁行は総長375cmで、柱間寸法が北側から200cm、175cmとなる。梁行は150cmである。各柱穴の平面形は隅丸方形或いは楕円形を呈し、規模は長軸36～62cm、短軸35～50cm、深さ19～44cmである。P3は断面のみでの確認であるが、全ての柱穴で柱痕跡が認められ、径12～26cmを測る。P2・3・5から土器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第311図 SB15掘立柱建物跡

SB15掘立柱建物跡 埋土封記表

遺構名	平面形	幅 (cm)	長さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	楕円形	29×29	50	1	HOYR3/2 黒褐色	粘土シスト	炭化物粒・焼土粒微量に含む
P2	楕円形	33×30	35	1	HOYR3/3 暗褐色	シルト	焼山アコク少量含む
P3	楕円形	25×25	35	1	HOYR3/2 黒褐色	シルト	焼山粒多量、炭化物粒・焼土粒少量含む
P4	楕円形	30×28	45	1	HOYR3/3 暗褐色	シルト	焼山アコク多量に含む
P5	楕円形	27×26	34	1	HOYR3/2 黒褐色	シルト	焼山アコク多量に含む
P6	円形	43×43	53	1	HOYR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒 (10-20mm) 少量含む
P7	円形	36×36	47	1	HOYR3/4 暗褐色	粘土シスト	炭化物粒・焼土粒少量含む
P8	楕円形	34×28	48	1	HOYR3/3 暗褐色	シルト	焼山アコク少量含む
P9	楕円形	32×31	45	1	HOYR3/2 黒褐色	粘土シスト	焼山アコク少量含む



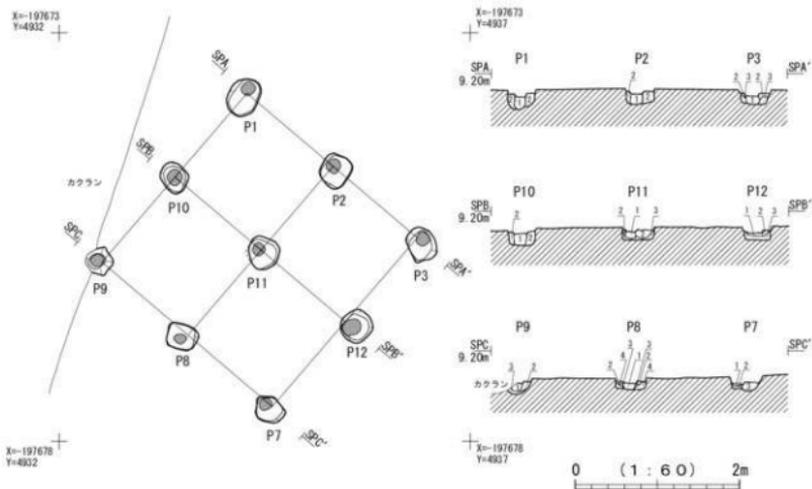
第312図 SB16掘立柱建物跡

SB16掘立柱建物跡 埋土誌記表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	層位	土色	土性	備考
P1	円形	53×50	35	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アワケ含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワケ含む
				3	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワケ含む
P2	隅丸方形	48×35	34	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山小アワケ含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山粒少量含む
P3	隅丸方形	36×36	44	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山粒少量含む
				3	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワケ多量に含む
P4	隅丸方形	43×40	30	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山粒少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-6 黄褐色	シルト	
				3	10YR3-3 暗褐色	シルト	
				4	10YR3-4 暗褐色	シルト	
P5	楕円形	62×48	19	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山小アワケ少量含む、柱痕跡
				2	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山アワケ多量、礎土粒微量に含む
P6	楕円形	51×36	19	-	-	-	崩落のための断面図・土層記号なし

#### SB17 掘立柱建物跡(第313図)

4 B区南西側、122-128グリッドに位置する。SI185を切っており、SB16とも重複する。方形を呈する2間の総柱建物跡で、方向は北辺基準でN-49°-Wである。桁梁ともに総長270cmで、柱間寸法は全て135cmの等間である。各柱穴の平面形は、P8が隅丸方形である他は楕円形を呈し、規模は長軸30～48cm、短軸30～37cm、深さ14～25cmである。全ての柱穴で柱痕跡が認められ、径14～23cmを測る。P1・12から土師器片が出土しているが、掲載遺物はない。



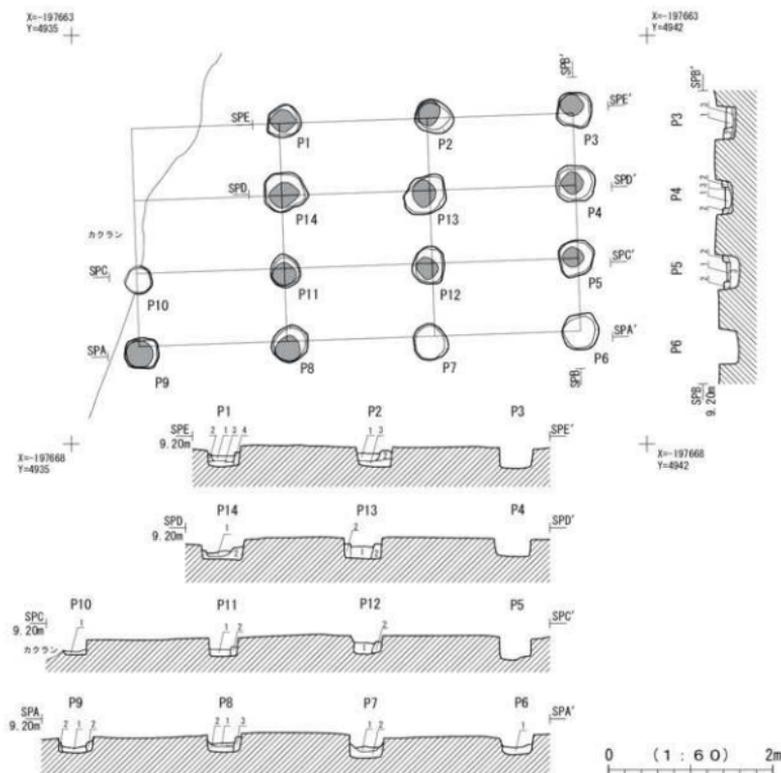
第313図 SB17掘立柱建物跡

SB17掘立柱建物跡 埋土証記表

遺構名	平面形	縦横 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土質	備考
P1	楕円形	48×36	25	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山較多量に含む
P2	隅丸方形	40×36	20	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山較多量に含む、柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山較多量に含む
P3	隅丸方形	41×32	18	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコケ、炭化物・焼土粒微量に含む
				3	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコケに含む
P4	-	-	-	-	-	欠番	
P5	-	-	-	-	-	欠番	
P6	-	-	-	-	-	欠番	
P7	不整形	36×31	19	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山較多量に含む、柱痕跡
				3	75YR3-4 暗褐色	シルト	
P8	隅丸方形	38×31	14	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、柱痕跡
				2	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、1層よりしり強い
				3	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコケ多量に含む
				4	75YR4-3 褐色	砂質シルト	地山較多量に含む
P9	隅丸方形	30×30	19	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコケ多量に含む
				3	75YR4-3 褐色		地山較多量に含む
P10	隅丸方形	40×30	20	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山アコケ多量に含む
P11	不整形	40×37	16	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山較多量に含む
				3	75YR4-3 褐色	シルト	
P12	隅丸方形	38×36	16	1	75YR3-3 暗褐色	シルト	地山アコケ含む、柱痕跡
				2	75YR3-4 暗褐色	シルト	地山較多量に含む
				3	75YR4-3 褐色		

SB18 掘立柱建物跡(第314図)

4 B区西側、134・135・140・141グリッドに位置する。SI189、SB19を切っており、西側は視乱により失われている。東西3間以上、南北3間の東西棟掘立柱建物跡で、方向は桁行基準でN-92°-Wである。桁行は総長540cmで、柱間寸法は180cmの等間である。梁行は総長270cmで、柱間寸法が90cmの等間である。各柱穴の平面形はほぼ円形で、規模は長軸58~35cm、短軸48~34cm、深さ30~18cmである。P6・7・10を除く柱穴で柱痕跡が認められ、径24~34cmを測る。柱痕跡の規模はかなり大きく、その堆積土が褐灰色の砂質シルトであること、梁・桁の柱間に明瞭な差異が認められることから、他の掘立柱建物跡とは様相が異なる。出土遺物はない。



第314図 SB18掘立柱建物跡

SB18 竪立柱建物跡 埋土柱記簿

遺構番号	平面形	縦横 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土質	備考
P1	円形	43×38	36	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
				4	HVYR5/6 黄褐色	シルト	
P2	隅丸方形	47×40	24	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
P3	隅丸方形	42×42	25	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
P4	隅丸方形	47×43	20	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
P5	隅丸方形	43×42	30	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
P6	円形	44×44	24	1	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				2	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	
P7	円形	44×42	28	1	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山小ゴワケ含む
				2	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	
P8	円形	46×41	23	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
				3	HVYR5/6 黄褐色	シルト	
P9	隅丸方形	42×37	30	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P10	円形	35×34	18	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む
				2	HVYR4/3 暗褐色	シルト	
P11	円形	40×36	21	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P12	隅丸方形	46×39	23	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P13	不整形	58×46	35	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P14	不整形	51×48	22	1	HVYB6/1 褐色色	砂質シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	

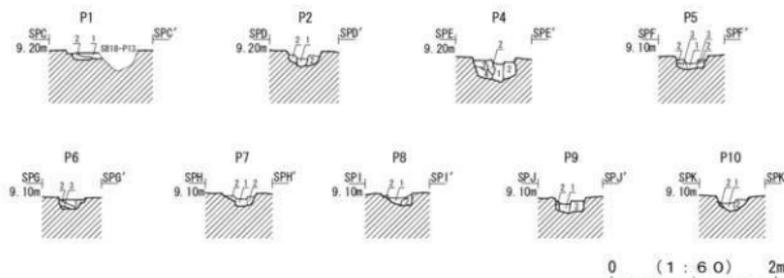
SB19 掘立柱建物跡(第315・316区)

4 B区西側、128・129・133・135・140グリッドに位置する。SB18・20に切られ、SI188を切る。東西4間、南北2間の東西棟で、方向は桁行基準でN-60°-Wである。西側梁行の間には柱穴を検出できなかった。桁行は総長約720cmで、北辺の柱間寸法は180cmの等間に近いものと考えられるが、南辺では西側から150cm、210cm、180cm、180cmとなる。梁行は総長465cmで、東辺の柱間寸法は180~285cmである。各柱穴の平面形は、方形ないしは楕円形を呈す。規模は長軸34~53cm、短軸32~46cm、深さ12~30cmである。P1・6・11を除く柱穴で柱痕跡が認められ、径16~29cmを測る。P4から土師器片が出土しているが、掲載遺物はない。

SB19 掘立柱建物跡 埋土柱記簿

遺構番号	平面形	縦横 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土質	備考
P1	(隅丸)方形	52×52D	12	1	HVYR2/4 暗褐色	シルト	地山粒多量に含む
				2	HVYR4/6 褐色色	シルト	
P2	方形	46×44	30	1	HVYR2/3 暗褐色	シルト	地山粒・焼土小ゴワケ量に含む、柱痕跡 地山粒多量に含む
				2	HVYR4/3 に近い黄褐色	シルト	
P3	-	-	-	-	-	-	次巻(SB20・P1)により失われていると考えられる)
				1	HVYR3/3 暗褐色	シルト	
P4	隅丸方形	53×46	30	1	HVYR2/4 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒・焼土粒多量に含む 地山ゴワケ含む
				2	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
				4	HVYR2/4 暗褐色	シルト	
P5	楕円形	49×42	16	1	HVYR4/1 褐色色	黄(質)シルト	地山小ゴワケ含む、柱痕跡 地山粒多量、炭化物少量含む
				2	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
				3	HVYR4/2 灰黄褐色	シルト	
P6	隅丸方形	34×32	14	1	HVYR2/4 暗褐色	シルト	地山ゴワケ多量に含む
				2	HVYR4/6 褐色色	シルト	
				3	HVYR2/4 暗褐色	シルト	
P7	楕円形	43×36	15	1	HVYR2/3 暗褐色	シルト	地山ゴワケ量に含む、柱痕跡 地山ゴワケ多量に含む
				2	HVYR3/3 暗褐色	シルト	
P8	隅丸方形	40×34	14	1	HVYR4/1 褐色色	シルト	地山粒含む、柱痕跡 地山粒多量に含む
				2	HVYR3/3 暗褐色	シルト	
P9	隅丸方形	45×41	17	1	HVYR2/3 暗褐色	シルト	地山粒に含む、柱痕跡 地山ゴワケ多量に含む
				2	HVYR5/6 黄褐色	シルト	
				3	HVYR3/4 暗褐色	シルト	
P10	方形	43×41	18	1	HVYR3/3 暗褐色	シルト	地山粒含む、柱痕跡 地山ゴワケ多量に含む
				2	HVYR4/1 褐色色	シルト	
P11	方形	39×39	12	-	-	-	崩落のため断面・土層記述なし





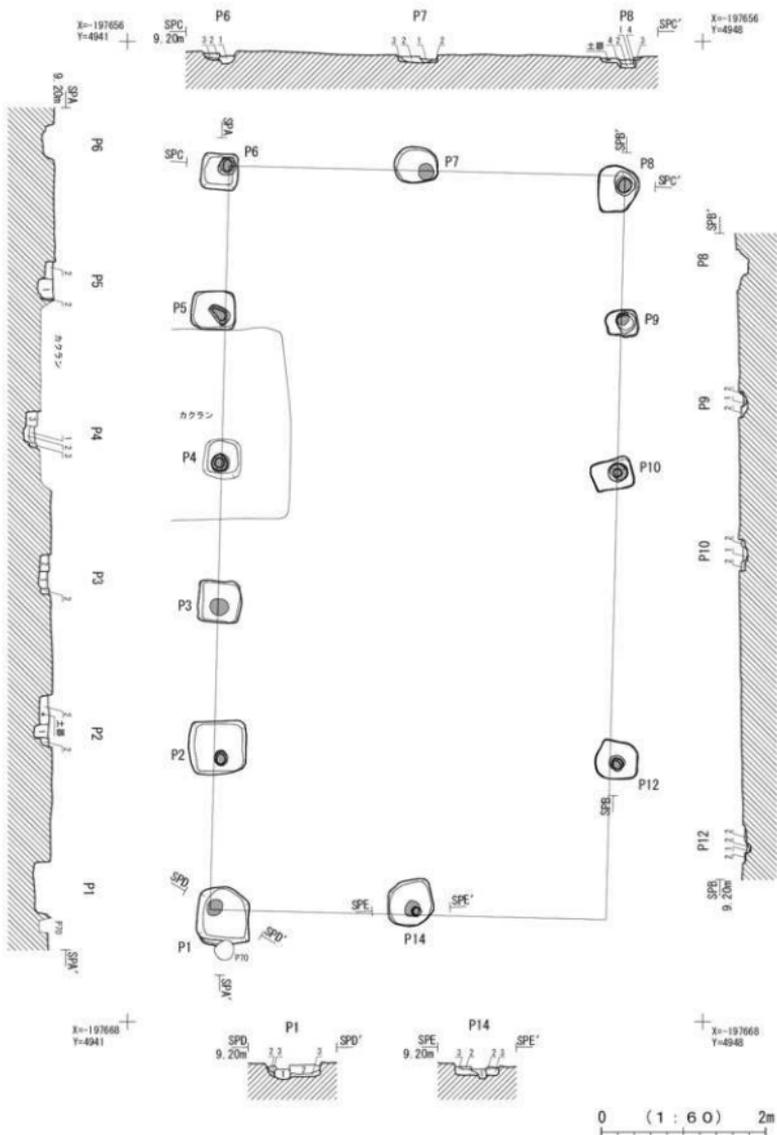
第316図 SB19掘立柱建物跡②

### SB20 掘立柱建物跡(第317図)

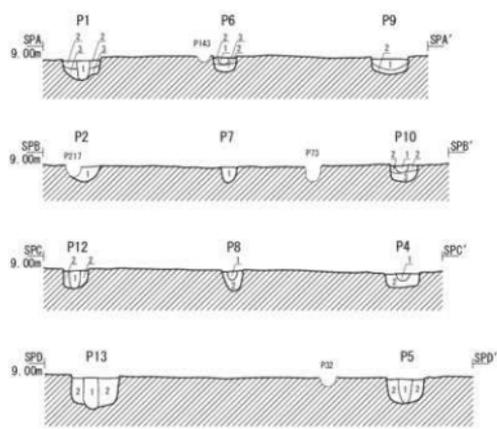
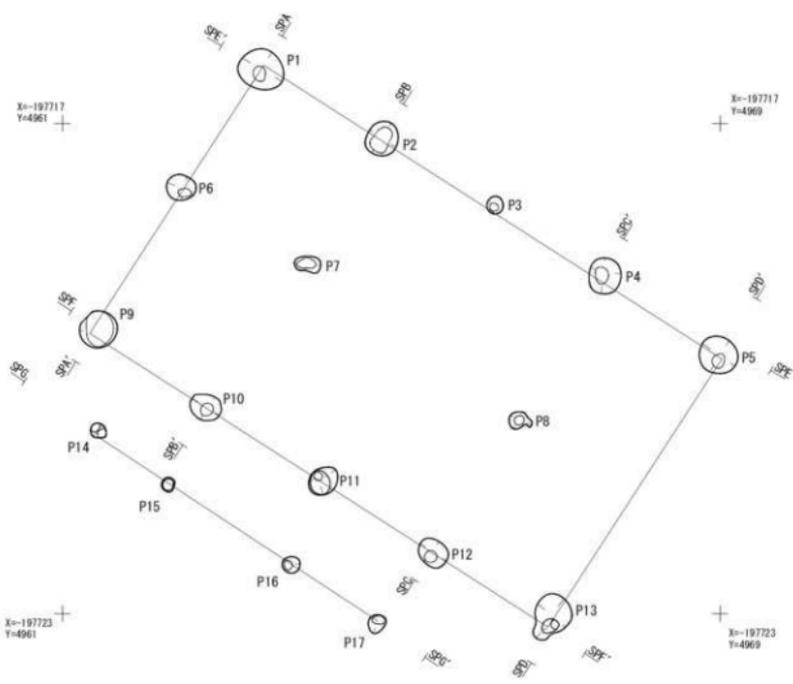
4 B区西側、135-141-147グリッドに位置し、SI186-188、SB19を切っている。南北5間、東西2間の南北棟で、方向は桁行基準でN-2°-Eである。桁行は総長900cm、全ての柱穴が検出された西辺の柱間寸法は180cmの等間となっている。梁行は総長480cmで、柱間寸法は240cmの等間である。各柱穴の平面形は方形に近いものが多く、特に西側桁行でそれが顕著である。規模は長軸37~72cm、短軸33~62cm、深さ9~22cmである。多くの柱穴底面には柱による落ち込みが確認された。全ての柱穴で柱痕跡が認められ、径16~26cmを測る。多くの柱痕跡には炭化物や焼土を含んでいる。P4・9・10・12以外の柱穴から土師器片が、P2・5から鉄屑が出土しているが、掲載遺物はない。

SB20掘立柱建物跡 埋土柱記表

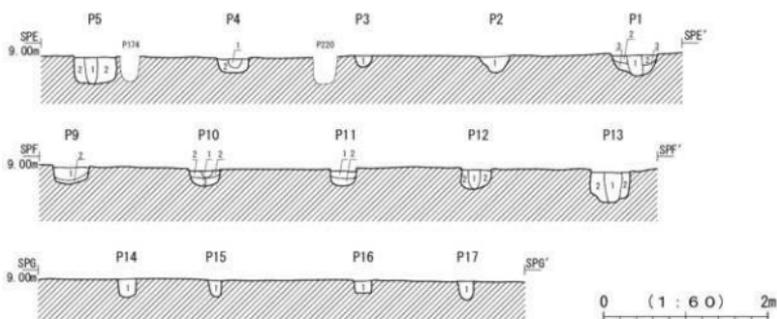
遺構名	平面形	幅元 (cm)	長さ (cm)	層位	土色	土質	備考
P1	方形	72×62	30	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山粒・焼土粒微量に含む、柱痕跡
				2	HVRC4/4 暗褐色	シルト	地山粒・炭化物粒・焼土粒に含む
				3	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ含む
P2	方形	69×65	22	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土小アコケ含む、柱痕跡
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ含む
P3	方形	52×50	16	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	炭化物多量、焼土小アコケ含む、柱痕跡
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ含む
P4	方形	48×45	21	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	柱痕跡
				2	HVRC4/2 灰黄褐色	シルト	柱痕跡
				3	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ含む
P5	方形	53×46	21	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	炭化物多量に含む、柱痕跡
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト	焼土粒微量に含む
P6	方形	44×44	15	1	HVRC4/2 灰黄褐色	砂質シルト	炭化物・焼土粒微量に含む、柱痕跡
				2	HVRC4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	炭化物・焼土粒少量含む
				3	HVRC4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山粒多量に含む
P7	隅丸方形	52×44	10	1	7SVR4/1 黒灰色	砂質シルト	下面が礫化している、柱痕跡
				2	7SVR4/3 褐色	シルト	地山粒多量に含む
				3	HVRC5/6 黄褐色	シルト	柱痕跡
P8	隅丸方形	57×49	14	1	HVRC4/2 灰黄褐色	砂質シルト	柱痕跡
				2	HVRC4/1 黒灰色	シルト	礫化済み、柱痕跡
				3	HVRC4/4 褐色	シルト	地山アコケ含む
				4	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ多量に含む
P9	方形	37×33	10	1	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ多量、礫化済み、柱痕跡
				2	HVRC3/3 暗褐色	シルト	地山アコケ多量に含む
P10	方形	49×36	10	1	HVRC4/2 灰黄褐色	砂質シルト	炭化物多量に含む、柱痕跡
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケ多量に含む
P11	-	-	-	-	-	-	欠番
P12	方形	50×46	9	1	HVRC4/1 黒灰色	シルト	炭化物少量含む、柱痕跡
				2	HVRC4/3 にぶい黄褐色	シルト	柱痕跡
P13	-	-	-	-	-	-	欠番
P14	隅丸方形	55×54	10	1	HVRC3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土粒多量に含む、柱痕跡
				2	HVRC3/4 暗褐色	シルト	地山アコケに含む
				3	HVRC4/3 にぶい黄褐色	シルト	地山粒含む



第317図 SB20振立柱建物跡



第318圖 SB21掘立柱建物跡(1)



第319図 SB21掘立柱建物跡(2)

SB21掘立柱建物跡 埋土誌記表

遺構名	平面形	見積 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土質	備考
P1	円形	54×50	23	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	柱痕跡
				2	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
				3	10YR5-4 に濃い黄褐色	シルト	
P2	円形	38×29	18	1	10YR4-3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
P3	円形	22×30	18	1	10YR5-6 黄褐色	シルト	地山アロク少量含む
P4	円形	44×38	17	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
				2	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P5	円形	48×46	22	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	柱痕跡
				2	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P6	楕円形	36×32	18	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	
				3	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P7	円形	32×16	28	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
P8	不整形	30×26	24	2	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
				1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P9	円形	48×46	27	1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	
P10	楕円形	38×30	21	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山アロク少量含む
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	
				3	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P11	円形	40×32	21	1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	地山アロク少量含む
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	
P12	円形	40×30	24	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	柱痕跡
				2	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P13	円形	48×42	46	1	10YR3-2 黒褐色	シルト	柱痕跡
				2	10YR3-3 暗褐色	シルト	
P14	円形	22×20	22	1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P15	円形	18×16	21	1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P16	円形	22×20	16	1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	
P17	円形	22×20	24	1	10YR4-3 に濃い黄褐色	シルト	

#### SB21 掘立柱建物跡(第318・319図)

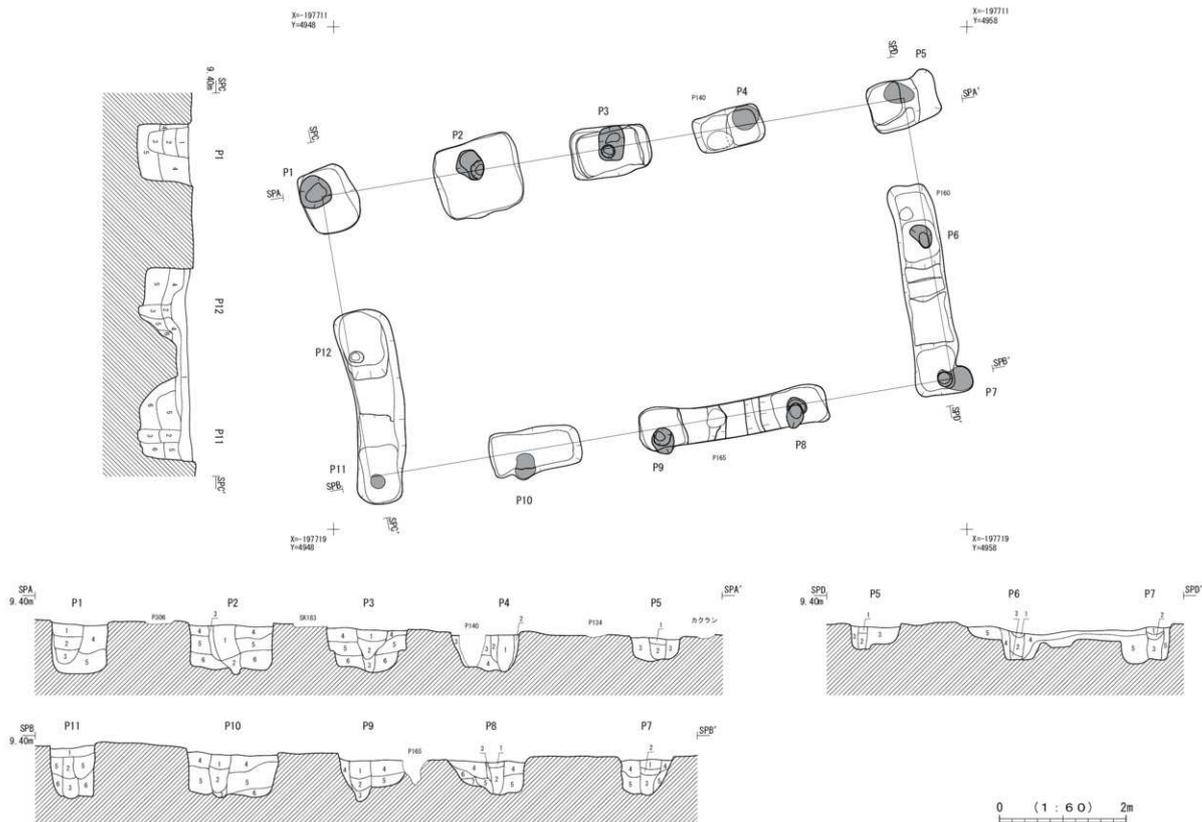
4C東区28・42グリッドに位置する。東西4間、南北2間の東西棟で、方向は桁行基準でN・55°・Wである。また南辺から外側110cm程離れて、平行して4基の小穴(P14～17)を検出したことから、廂を有する建物と考えられる。桁行は、北辺の総長658cm、柱間寸法が西側から170cm、158cm、154cm、168cmで、梁行は、西辺の総長370cm、柱間寸法が北側から170cm、200cmである。各柱穴の平面形は円形～楕円形を呈し、規模は長軸22～54cm、短軸16～50cm、深さ17～46cmである。P1・5・12・13で柱痕跡が認められたが、実測は行っていない。出土遺物はない。

## SB22 掘立柱建物跡(第320図)

4 C東区40-41-56-57グリッドに位置し、SI142-216を切っている。東西4間、南北2間の東西棟で、方向は桁行基準でN-100°-Wである。桁行は総長930cmで、柱間寸法が西側から240cm、210cm、210cm、240cmとなる。梁行は総長450cmで、西辺の柱間寸法は北側から260cm、190cmとなり、東辺では北側から210cm、240cmとなっている。各柱穴は溝状の掘り方内に構築され、P6-7、P8-9、P11-12はそれぞれ同一の掘り方内に構築されている。規模は、単

SB22掘立柱建物跡 埋土封込表

遺構名	平面形	幅 (cm)	長さ (cm)	層位	土色	土性	備考	
P1	隅丸方形	52×50	83	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	25V8-6	黄褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
P2	方形	52×40	80	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	25V8-6	黄褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
				6	10YR6-8	明黄褐色	シルト	
P3	長方形	46×40	51	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	25V8-6	黄褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
P4	長方形	42×40	73	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	
				4	25V8-6	黄褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
P5	不整形方形	48×30	31	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	
				4	25V8-6	黄褐色	シルト	
P6	長方形	40×26	36	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
P7	方形	58×26	61	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	P6-4層と同一層
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	P6-5層と同一層
P8	長方形	36×24	57	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	
				4	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
				6	10YR6-8	明黄褐色	シルト	
				7	25Y5-4	黄褐色	シルト	
P9	方形	44×34	43	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	
P10	長方形	38×30	73	1	10YR6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				4	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				5	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	
				6	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
P11	長方形	24×22	104	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	柱遺跡
				2	25V6-6	明黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-1	黄灰色	シルト	柱遺跡
				4	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
				6	10YR6-8	明黄褐色	シルト	
P12	隅丸方形	22×18	103	1	25V6-3	にぶい黄褐色	シルト	P11-1層と同一層
				2	25V5-2	黄褐色	シルト	柱遺跡
				3	25V5-4	黄褐色	シルト	柱遺跡
				4	7.5YR5-2	灰褐色	シルト	P11-4層と同一層
				5	10YR6-6	明黄褐色	シルト	
6	10YR6-8	明黄褐色	シルト					

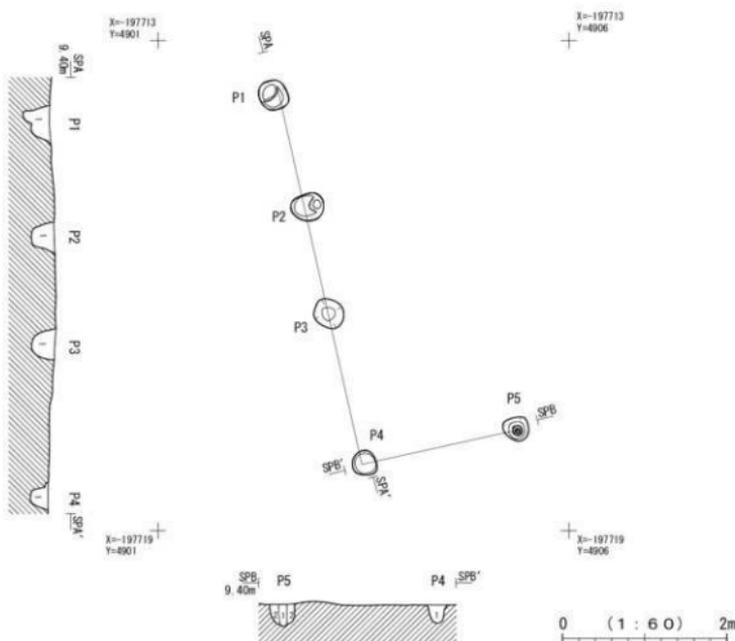


第320圖 SB22掘立柱建物跡

独の柱を持つもので長軸106～145cm、短軸62～117cm、深さ40～77cm、2本の柱を持つもので長軸296～339cm、短軸52～85cm、深さ31～71cmである。2本の柱の掘り方は対辺で対になっているようで、P8・9の対辺にあるP3・P4も、本来同一掘り方であった可能性がある。全ての柱位置で柱痕跡が認められ、径10～58cmを測る。全ての柱穴から土師器片が、またP1・6・7・10～12からは須恵器片が出土したが、掲載遺物はない。

#### SB23 掘立柱建物跡(第321図)

4C西区東側、36・52グリッドに位置する。SI221、SA1を切っている。南北3間、東西1間の並びとして検出され、方向は桁行基準でN-13°-Wである。桁行は総長465cm、柱間寸法が北側から150cm、120cm、195cmで、梁行は総長195cmである。各柱穴の平面形は円形～楕円形を呈し、規模は長軸32～40cm、短軸30～34cm、深さ20～36cmである。P5で柱痕跡が認められた。P3～5から土師器片が出土したが、掲載遺物はない。



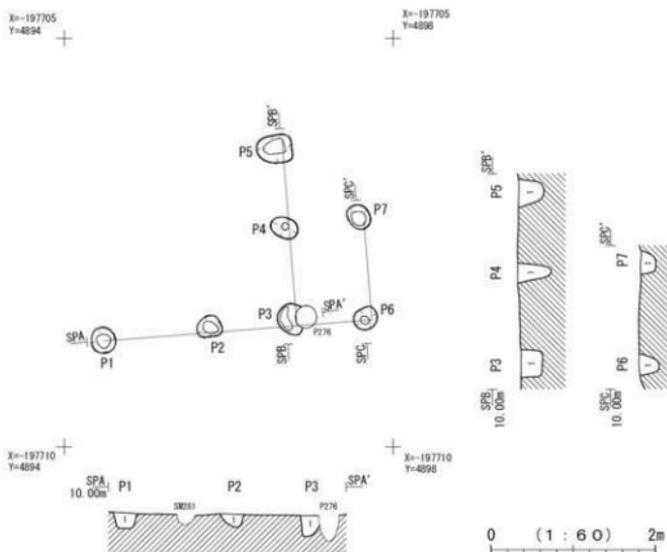
第321図 SB23掘立柱建物跡

SB23掘立柱建物跡 埋土柱記表

遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(m)	層位	土色	土性	備考
P1	円形	40×34	36	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P2	楕円形	40×30	27	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P3	円形	40×34	28	1	10YR4/4 褐色	シルト	
P4	円形	32×30	20	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P5	円形	38×30	27	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	10YR3/4 褐色(4)少量を含む。柱痕跡
				2	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR3/4 褐色(4)少量。炭化物微量を含む

### SB24 掘立柱建物跡(第322図)

4 C 西区東側、67・81グリッドに位置する。東西3間、南北2間に並ぶ柱穴を検出し、方向は桁行基準でN-95°-Wである。桁行は総長315cmで、柱間寸法は西側から120cm、105cm、90cmとなっている。梁行の検出総長225cmで、柱間寸法が北側から105cm、120cmである。P3・4及びP6・7の柱間寸法はともに120cmと等間である。各柱穴の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸26～44cm、短軸22～32cm、深さ14～41cmである。P1・4を除く柱穴から土師器片が、またP2からは須恵器片が出土しているが、掲載遺物はない。



第322図 SB24掘立柱建物跡

SB24掘立柱建物跡 埋土誌記表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	円形	32×30	21	1	HV/R3/4 暗褐色	シルト	
P2	不整形	30×28	14	1	HV/R3/4 暗褐色	シルト	
P3	円形	40×23	24	1	HV/R3/4 暗褐色	シルト	
P4	楕円形	36×24	41	1	HV/R3/4 暗褐色	シルト	
P5	楕円方形	44×32	30	1	HV/R3/4 暗褐色	シルト	
P6	円形	30×24	23	1	HV/R3/4 暗褐色	シルト	
P7	円形	32×26	16	1	HV/R4/4 褐色	シルト	

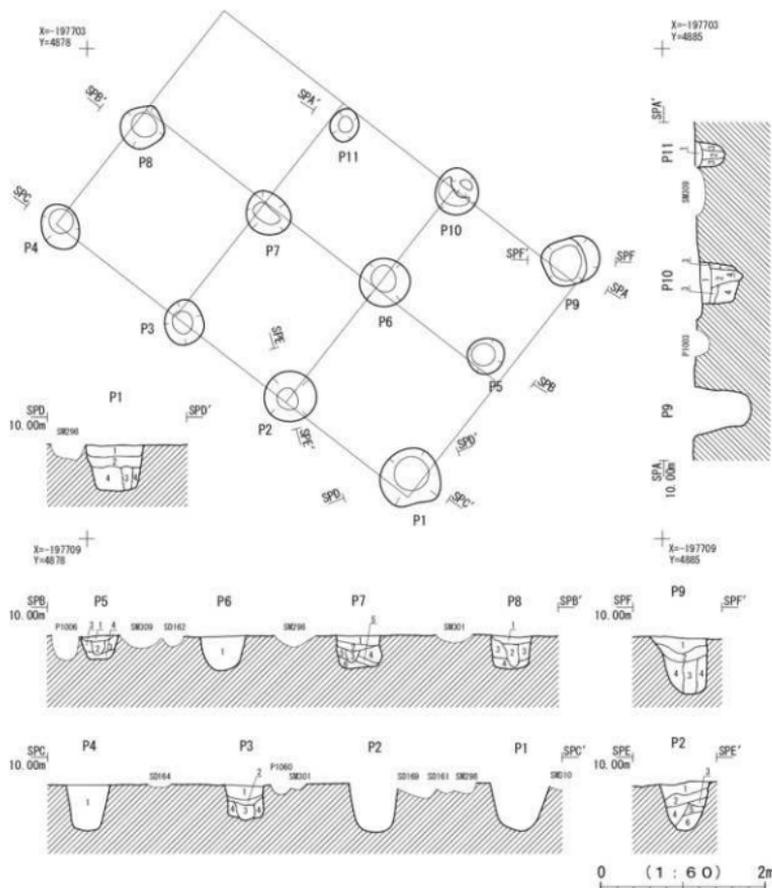
### SB25 掘立柱建物跡(第323図)

4 C 西区中央、49・50・65・66グリッドに位置し、SI247・248を切っている。東西2間、南北2間のほぼ方形の掘立柱建物跡で、方向は桁行基準でN-92°-Wである。桁行は総長390cmで、柱間寸法は西側から210cm、180cmである。梁行は総長360cmで、柱間寸法は180cmの等間となっている。各柱穴の平面形は楕円形を主とし、規模は長軸34～11cm、短軸34～99cm、深さ21～67cmである。P3で柱痕跡が認められたが、実測は行っていない。P1～3から土師器片が、P1・3から須恵器片が出土したが、掲載遺物はない。



SB26 掘立柱建物跡(第324図)

4 C西区中央、65・66・79・80グリッドに位置する。SI248・249を切っている。東西3間、南北2間の東西棟総柱建物跡で、方向は桁行基準でN-51°-Wである。桁行は総長540cmで、柱間寸法は180cmの等間となる部分と、150cmの柱間になる部分が認められる。梁行は総長330cmで、柱間寸法が北側から150cm、180cmである。各柱穴の平面形は円形ないしは楕円形を呈し、規模は長軸37~73cm、短軸32~68cm、深さ32~88cmである。P1・4・8~11から土師器片が、またP4から須恵器片が出土したが、掲載遺物はない。



第324図 SB26掘立柱建物跡

SB26 掘立柱建物跡 埋土日記表

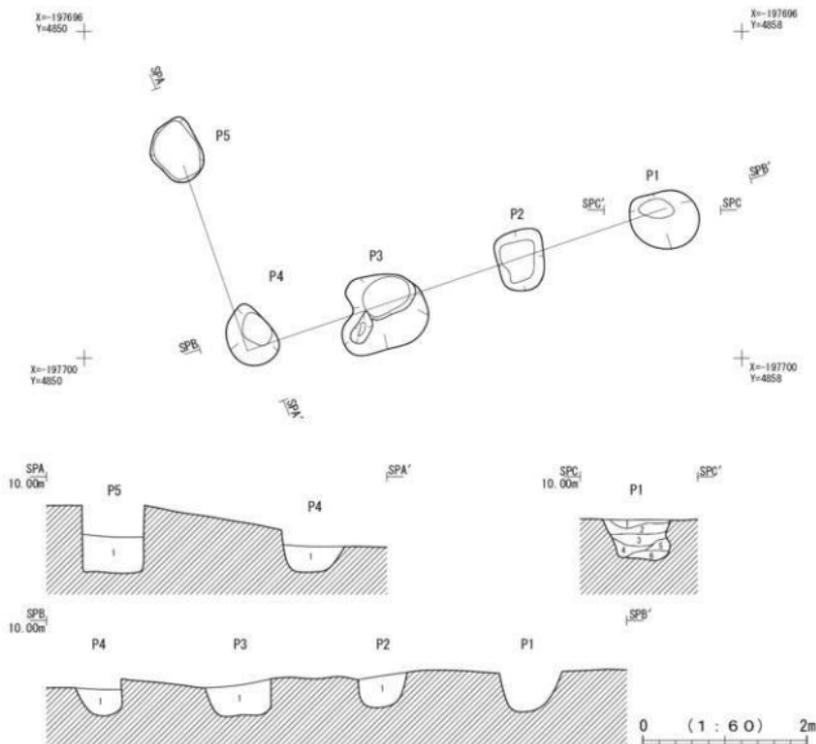
遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	層位	土色	土性	備考
P1	円形	73×68	56	1	10YR4/4 褐色	シルト	
				2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アワツ少量を含む
				3	10YR4/4 褐色	シルト	地山アワツ少量含む
				4	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P2	円形	63×62	51	1	5Y3/2 オリーブ灰色	シルト	
				2	5Y3/1 オリーブ灰色	粘土	
				3	5Y4/2 灰オリーブ色	粘土	
				4	7.5Y4/2 灰色	粘土	
				5	5Y2/2 オリーブ灰色	粘土	
				6	5Y4/2 灰オリーブ色	粘土	
P3	円形	69×46	59	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	10YR4/2 灰黄褐色)4)少量含む
				2	10YR4/4 褐色	シルト	
				3	10YR3/4 暗褐色	シルト	
				4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
P4	隅丸方形	56×44	59	1	5G6/1 緑灰色	シルト	
				1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
P5	円形	45×44	32	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	
				3	10YR3/3 暗褐色	シルト	
				4	10YR4/4 褐色	シルト	
				1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P7	不整形	56×49	59	1	5Y3/2 オリーブ灰色	シルト	
				2	5Y3/2 オリーブ灰色	シルト	5Y2/2 灰)少量を含む
				3	5Y2/2 オリーブ灰色	シルト	
				4	5Y3/2 オリーブ灰色	シルト	5Y4/2 灰)少量を含む
				5	5Y2/2 オリーブ灰色	シルト	5Y4/2 灰)少量を含む
				6	2.5Y3/2 暗褐色	粘質シルト	
P8	円形	56×54	45	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	10YR4/4 褐色)4)少量含む
				2	10YR3/4 暗褐色	シルト	
				3	10YR2/3 暗褐色	シルト	
				4	10YR2/3 暗褐色	シルト	10YR4/4 褐色)4)少量含む
P9	隅丸方形	70×56	68	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
				2	10YR4/4 褐色	シルト	
				3	10YR4/6 褐色	シルト	
				4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	
P10	円形	55×54	88	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	灰化物少量を含む
				2	10YR3/2 暗褐色	シルト	
				3	10YR2/3 暗褐色	シルト	
				4	10YR3/1 暗褐色	シルト	10YR3/4 暗褐色)4)少量含む
P11	円形	37×37	58	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
				2	10YR2/3 暗褐色	シルト	
				3	10YR3/2 暗褐色	シルト	

## SB27 掘立柱建物跡(第325図)

4C西区91グリッドに位置し、S1226-239を切っている。東西3間以上、南北1間以上の建物跡と推測され、方向は南辺基準でN-108°-Wである。南辺は総長540cmで、柱間寸法は180cmの等間となる。西辺の総長は240cmである。各柱穴の平面形は楕円形を主とし、規模は長軸72～113cm、短軸56～86cm、深さ36～82cmである。P1～4から土師器片が出土したが、掲載遺物はない。

## SB28 掘立柱建物跡(第326図)

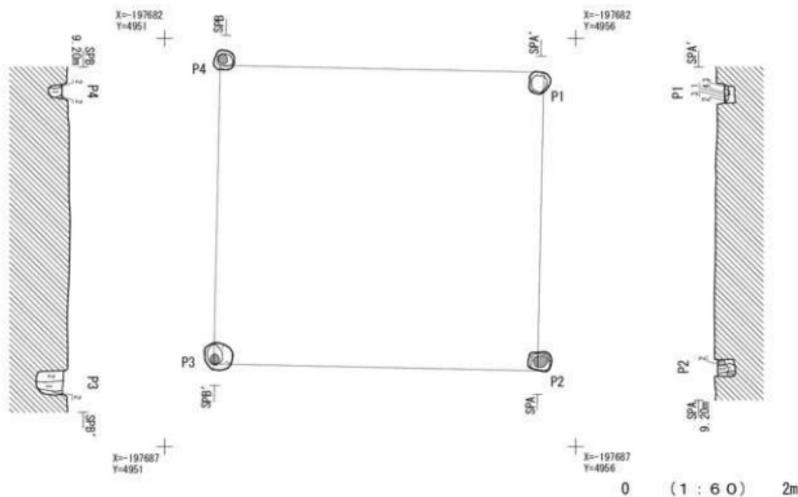
4B区南東側、112-118グリッドに位置する。東西1間、南北1間のほぼ方形の掘立柱建物跡で、方向は西辺基準でN-1°-Wである。桁行390cm、梁行360cmである。各柱穴の平面形は円形ないしは楕円形を呈し、規模は長軸24～37cm、短軸24～34cm、深さ22～38cmである。P2～4で柱痕跡が認められ、径12～16cmを測る。出土遺物はない。



第325図 SB27掘立柱建物跡

SB27掘立柱建物跡 埋土層記表

遺構名	平面形	縦横 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	不整形	75×72	51	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山アツク少量含む
				2	10YR4/4 褐色	シルト	地山アツク少量を含む
				3	10YR4/3 じぶい黄褐色	シルト	地山アツク少量を含む
				4	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山アツク少量含む
				5	10YR5/4 じぶい黄褐色	シルト	
				6	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P2	隅丸長方形	75×56	43	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	10YR4/4 褐色アツク少量含む
P3	不整形	113×86	36	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P4	不整形	72×56	51	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物微量を含む
P5	円形	76×54	42	1	10YR4/4 褐色	シルト	



第326図 SB28掘立柱建物跡

SB28掘立柱建物跡 埋土記記表

遺構名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
P1	隅丸方形	27×26	22	1	10YR4-1 褐色色	砂質シルト	酸化鉄含む
				2	10YR4-1 褐色色	シルト	地山砂少量含む
				3	10YR3-4 暗褐色色	シルト	地山小アゴの少量含む
				4	10YR3-4 暗褐色色	シルト	
P2	隅丸方形	28×24	25	1	10YR3-4 暗褐色色	シルト	柱痕跡
				2	10YR3-3 暗褐色色	シルト	柱痕跡
				3	10YR4-1 褐色色	シルト	地山小アゴの少量含む
P3	円形	37×34	38	1	10YR3-4 暗褐色色	シルト	柱痕跡
				2	10YR4-1 褐色色	シルト	地山小アゴの少量含む
P4	隅丸方形	26×24	23	1	10YR2-3 黒褐色色	シルト	地山小アゴの少量含む、柱痕跡
				2	10YR4-1 褐色色	シルト	

### (3) 区画施設 (第434図)

前年度3B区の調査では、集落を区画する施設と考えられる大溝跡(SD66)・材木列(SA1)・一本柱列4列(SA2~5)が、ほぼ同方向に並走する形で検出された。SD66の東側に位置するSA2・3の帰属時期は不明であるが、SA4・5についてはSD66に先行するという知見が得られている。このことから、それぞれの構築・廃絶時期には、多少の時間差がある可能性も考えられる。

本調査区でも、3B区の区画施設遺構の延長部分にてSD66及びSA1を検出したが、大溝を長さ約4mにわたって土橋状に掘り残した部分が確認されたことは大きな成果と言える。この掘り残し部分は集落の出入りに関連するものと考え、「通路状遺構」と呼称している。また、並走して延びる材木列SA1も、この通路状遺構とはほぼ同位置で途切れることが確認できた。なお、一本柱列SA2~5については、今次調査区では検出されなかった。

#### SD66 溝跡・通路状遺構 (第327~341図)

4A及び4C区の1・5・6・12・13・23・36・37・52・53・68・82グリッドに位置する。SD42・77・85・86・124・129・130・173よりも古く、SII20・136、SD131を切る。調査区をN-34°-Wの方向に走る。検出総長は約33mで、前年度調査区である3B区で検出された長さを含めると60mを超える。上端幅は約4m、下端幅1m前後、深さ約1.7mを測る。断面形

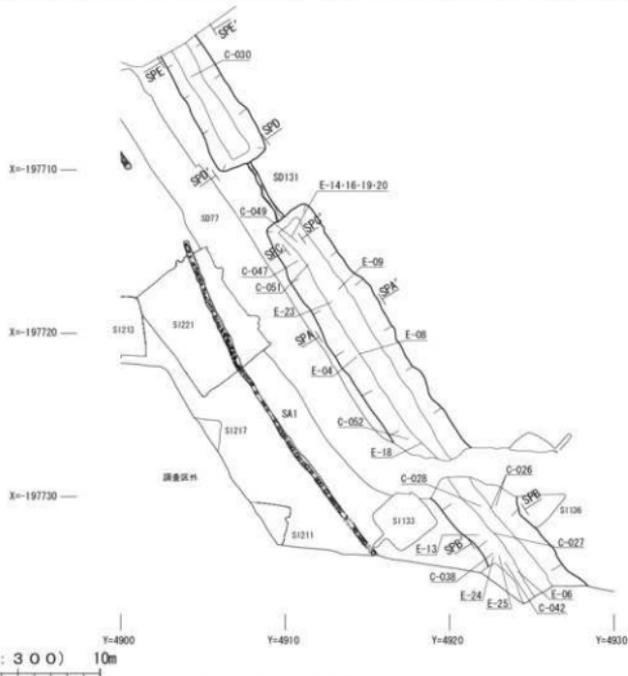
は逆台形を呈している。底面は北西から南東方向へ若干の傾斜が認められた。

通路状遺構は52・53グリッドに位置し、地山を土橋状に4m程掘り残して構築されている。また、この通路状遺構の南縁に沿って3基のピット(P342～344)が連なって検出されたものの、それに続くものがみつからなかったため、これらのピットが本遺構に伴うかどうかは判然としない。

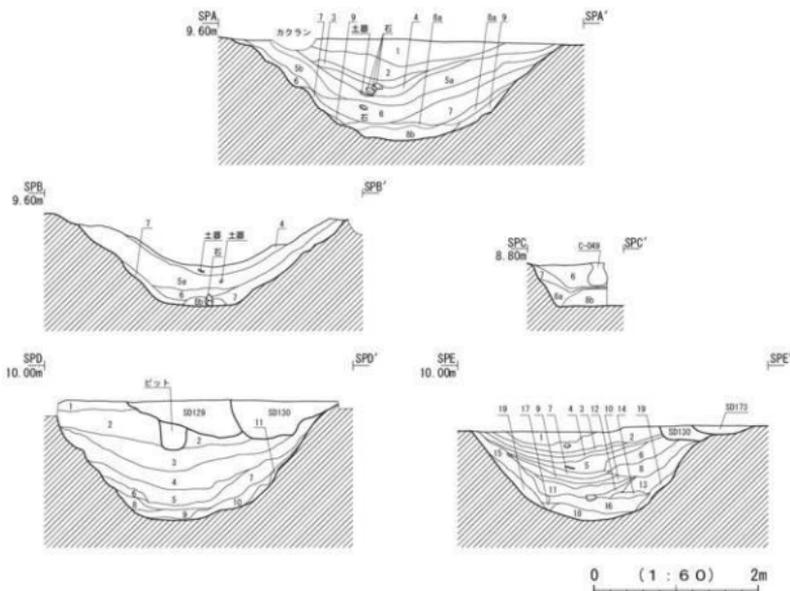
SD66堆積土は4 A区では9層に大別分層した(断面図A-A'～C-C')。4層は遺物を非常に多く含む層で、特に南側では炭化物とともに大量の土師器等が出土した。6層も4層同様に遺物を多く包含しており、通路状遺構付近では完形に近い土師器甕第340図-1が出土した。8層は黒褐色のシルトであるが、下位ではグライ化し、変色している。通路状遺構を挟んで北側の4 C区では、断面観察用ベルトごとに相対して分層を行っており、多いところで19層に細分している(断面図D-D'・E-E')。

出土遺物は、集落が大きく展開する調査区南西部に近い溝西辺寄り、また溝南部4 A区4層からの出土量が突出して多く、一括性が高いと推測された。そのため、遺物掲載にあたっては4 A区分層に則り、上層(1～3層)・4層・下層(5層以下)に分け、計79点を図示した。

上層からの出土遺物として、土師器杯・高坏・甕・瓶・ミニチュア土器、須恵器壺・円面硯、砥石の13点を図示した。土師器杯第331図-1は、扁平な丸底で弱い稜を持ち、内面黒色処理される。第331図-2は内外面が磨耗し、器形は球状に近く口縁部が直立気味である。高坏第331図-3は脚部が「ハ」の字状に開き、坏部は脚接合部から直線的に外傾する。坏部・脚部共に内外面を丁寧にヘラミガキが施される。甕は、下半部が急に窄まり瓶の可能性ある第331図-7



第327図 SD66溝跡(1)



第328図 SD66溝跡(2)

SD66 溝跡埋土封記表(A-A'～C-C')

層位	土色	土性	備考	層位	土色	土性	備考
1	10YR3/3 暗褐色	シルト		6	10YR2/3 暗褐色	粘土質シルト	
2	10YR3/4 暗褐色	シルト		7	10YR4/4 褐色	シルト	
3	10YR4/1 暗灰色	粘土質シルト		8a	7.5YR3/2 暗褐色	シルト	
4	10YR3/4 暗褐色	シルト		8b	5Y4/1 灰色	粘土質シルト	
5a	10YR3/3 暗褐色	シルト		9	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	
5b	10YR3/4 暗褐色	シルト					

SD66 溝跡埋土封記表(D-D')

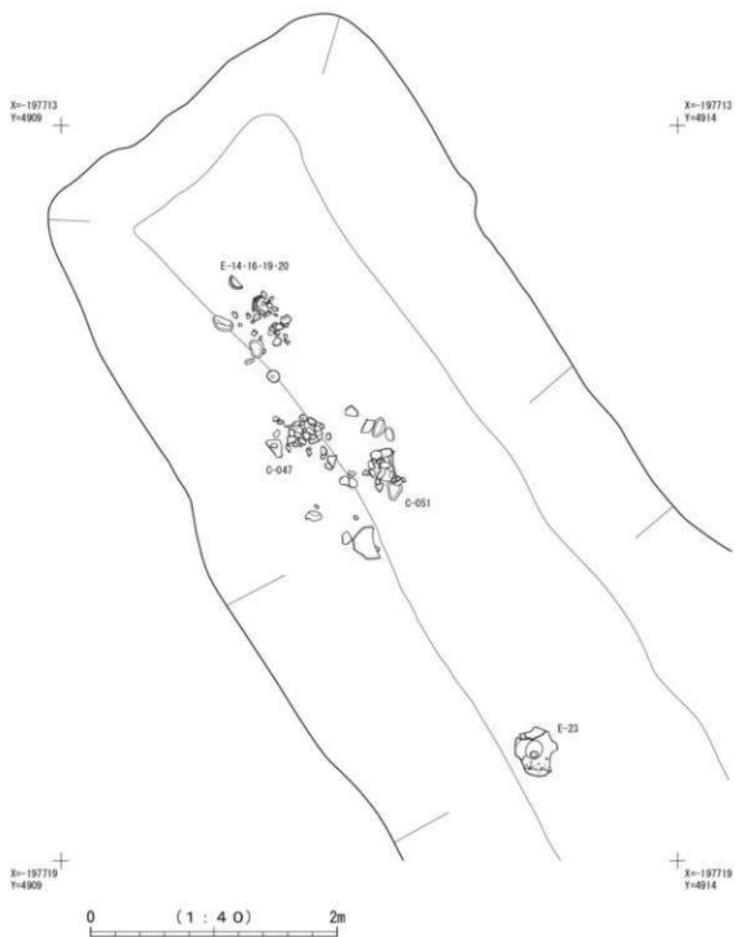
層位	土色	土性	備考	層位	土色	土性	備考
1	10YR5/4 にぶい青褐色	シルト		7	10YR4/4 褐色	シルト	
2	10YR3/3 暗褐色	シルト		8	10YR5/4 にぶい青褐色	シルト	
3	10YR3/2 暗褐色	シルト		9	10YR4/4 褐色	シルト	
4	10YR3/3 暗褐色	シルト		10	10YR4/6 褐色	シルト	
5	10YR4/4 褐色	シルト		11	10YR5/6 青褐色	砂質シルト	
6	7.5YR4/4 褐色	砂質シルト					

SD66 溝跡埋土封記表(E-E')

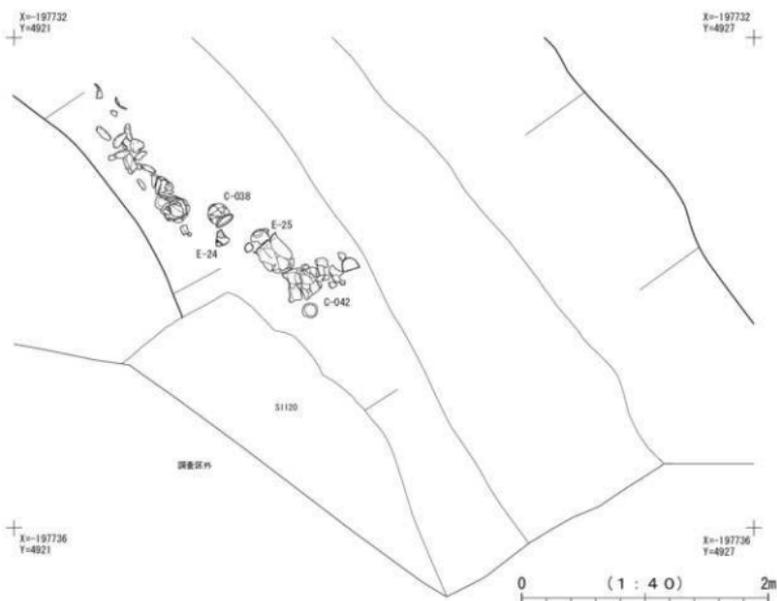
層位	土色	土性	備考	層位	土色	土性	備考
1	10YR5/4 にぶい青褐色	シルト		11	10YR5/4 にぶい青褐色	シルト	
2	10YR4/4 褐色	シルト		12	10YR4/4 褐色	シルト	
3	10YR3/4 暗褐色	シルト		13	10YR4/6 褐色	シルト	
4	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		14	10YR4/6 褐色	シルト	
5	10YR3/3 暗褐色	シルト		15	10YR3/4 暗褐色	シルト	
6	10YR3/3 暗褐色	シルト		16	10BG5/1 青灰色	砂質シルト	
7	10YR3/2 暗褐色	シルト		17	10YR4/6 褐色	砂質シルト	
8	10YR4/4 褐色	シルト		18	10G5/1 青灰色	シルト	
9	10YR4/4 褐色	シルト		19	10YR4/6 褐色	砂質シルト	
10	7.5YR4/4 褐色	砂質シルト					

を除き、第331図4・6・第332図-1はいずれも胴部に張りを持つ。特に第331図-4・第332図-1は胴部球状に近く、他が外面ハラナデ調整であるのに対しハケム調整である。

第332図-5は大型の円面視脚部破片である。ハラケズリにより面取りされた透かし部は縦6.8cm、上辺2.8cm以下、下辺3.9cm以下とほぼ同一で、型抜き後面取りされた可能性がある。



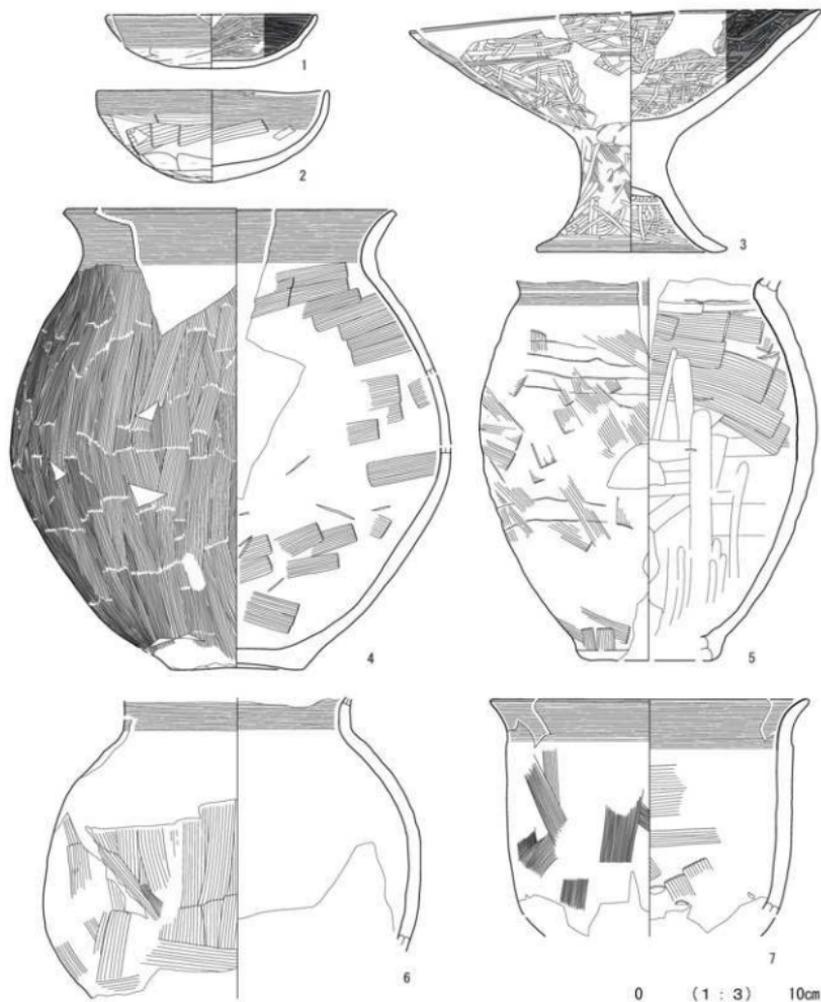
第329図 SD66溝跡(3)



第330図 SD66溝跡(4)

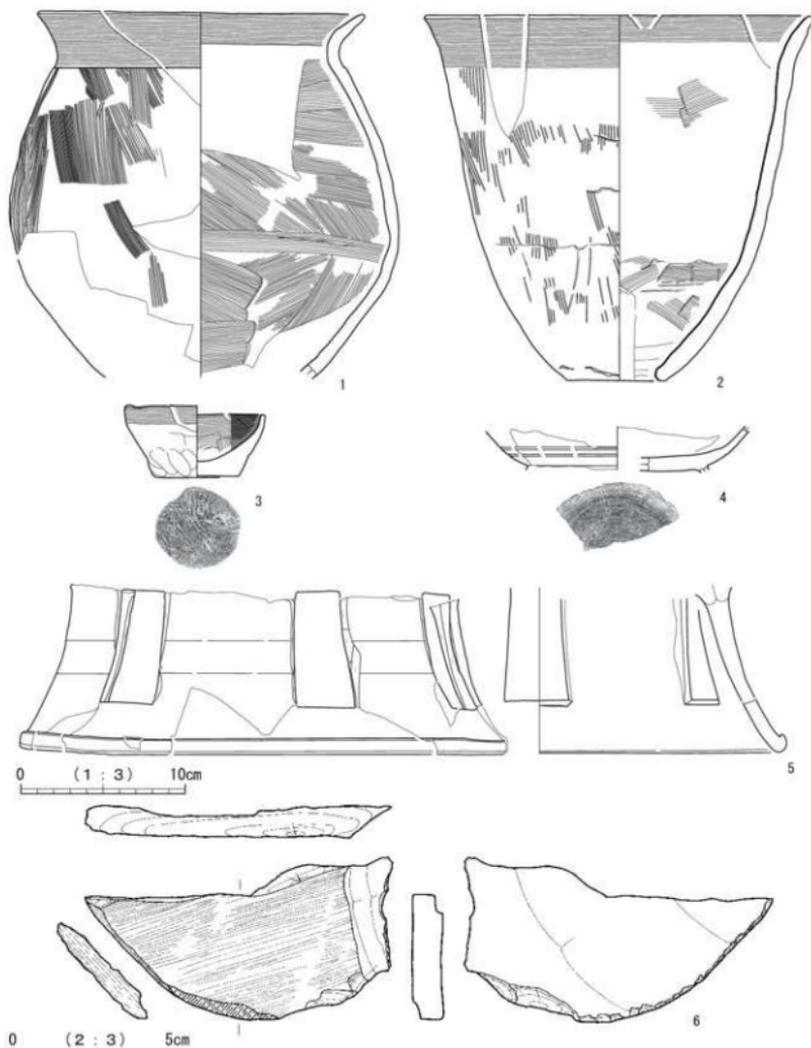
4層からの出土遺物として、土師器環・高環・甕・瓶・ミニチュア土器、須恵器環・高台付盤・壺・甕・円面硯、土鏃、羽口、鉄製紡錘車、砥石の57点を図示した。土師器環は内面が磨耗した第333図-9～11を除き、全てヘラミガキ後内面に黒色処理が施され、第333図-7・8は外面に稜を持たない平底、体部と底部の境に稜を持つ第333図-6は底部扁平な器形、他は丸底である。4点図示した高環は、全て坏部がヘラミガキ後に内面を黒色処理されており、脚部の大半を失う第334図-1には、透かし3孔が坏部底面を抉るように穿たれていた。甕は、タイプ別に長胴系・球胴系(第334図-2～6)に分けられ、前者はさらに口縁部が大きく外反するもの(第335図-2・3・5、第336図-1)と、短く外反するもの第335図-4、第336図-2に分けられる。第335図-1は、甕第336図-3にその形状に近い。須恵器環は、前述した土師器環より全体に小振りで、扁平な丸底の第336図-11以外は体部下端に丸みを有する平底である。第336図-11は外傾する体部から口縁部が短く直立し、第336図-9・12は体部との境に稜を有し、口縁部が直立気味に内傾する。盤第336図-13・14は底部を回転ヘラケズリされる。第337図-1は高台を有する盤で、底部外縁より内に高台を貼付する。第337図-2は、上層出土の第332図-5よりも小振りな円面硯脚破片である。透かしは縦型の第332図-5と異なりアーチ状の横型で、ヘラケズリにより同じく面取りされるが、その大きさは不明である。甕はいずれも胴部が大きく張り出す器形である。他に円盤を有する鉄製紡錘車も出土している。

下層からの出土遺物として、土師器甕・瓶、須恵器環・甕、鉄製刀子、砥石の9点を図示した。甕類が大半を占める中、第340図-2は小型の坏で、SD66の底面に近い6層から出土している。その器形から、大阪府陶邑窯編年では、中村編年のⅡ型式第4段階、田辺編年のTK43型式のもので、年代は6世紀末と考えられる。この他、7層から大型甗(ウシorウマ)下顎骨片も出土している。



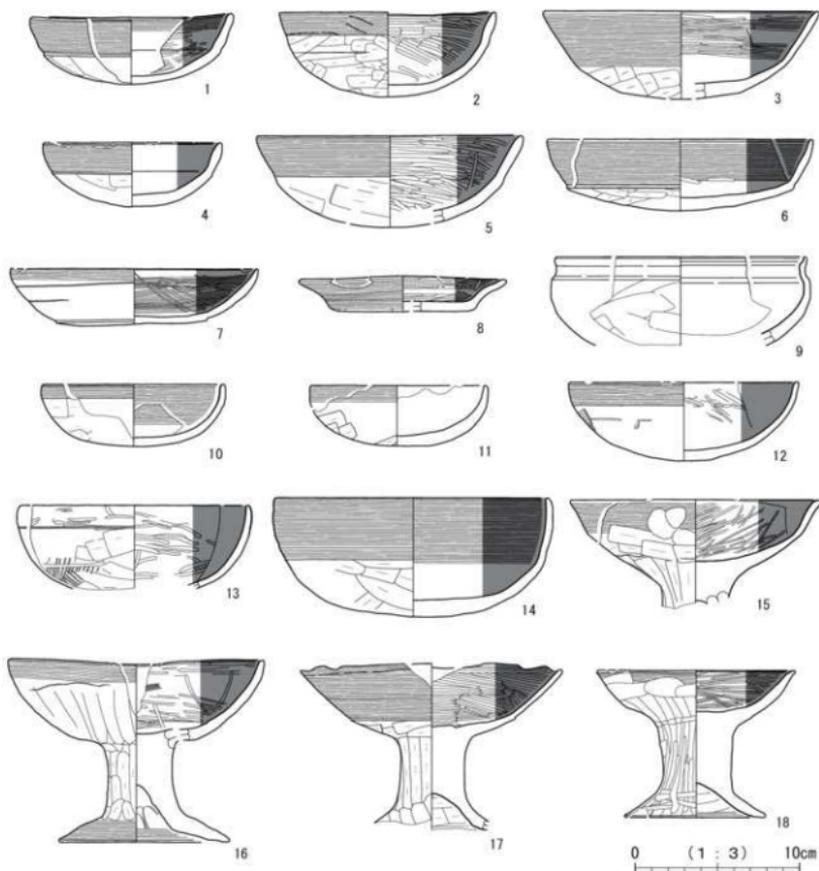
第331图 SD66出土遺物(上層①)

採取番号	発跡番号	出土遺物	單位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載	
1	C-007	SD66	ⅡB-K	土師器	杯	11.1××3.2	口縁部2???, 肩部???, 底部????	全面(窄台?1?×)		内面白色施	142
2	C-008	SD66	ⅡB-K	土師器	杯	14.0××5.5	口縁部2???, 肩部???, 底部????	磨減跡, 口縁部2???, 肩部???			142
3	C-024	SD66	ⅡB-K	土師器	高杯	25.0×11.5×14.7	磨耗, 杯底→胴部?1?×)	杯部?1?×), 胴部?1?×)		内面内白色施	142
4	C-033	SD66	ⅢB	土師器	甕	198×8.0×28.0	口縁部2???, 胴部?1?×, 底部?1?×?	口縁部2???, 胴部?1??			143
5	C-034	SD66	ⅡB-K	土師器	甕	××(86×23.5)	胴部2???, 胴部?1??	胴部?1??			142
6	C-030	SD66	ⅡB-K	土師器	甕	×××(18.5)	磨耗, 口縁部3???, 胴部?1?×?→?1??	磨耗, 口縁部3???, 胴部?1??		小口径非直口甕	142
7	C-031	SD66	ⅡB	土師器	甕	19.2××(14.3)	磨減, 口縁部2???, 胴部?1?×→???	磨耗, 口縁部2???, 胴部?1??			143



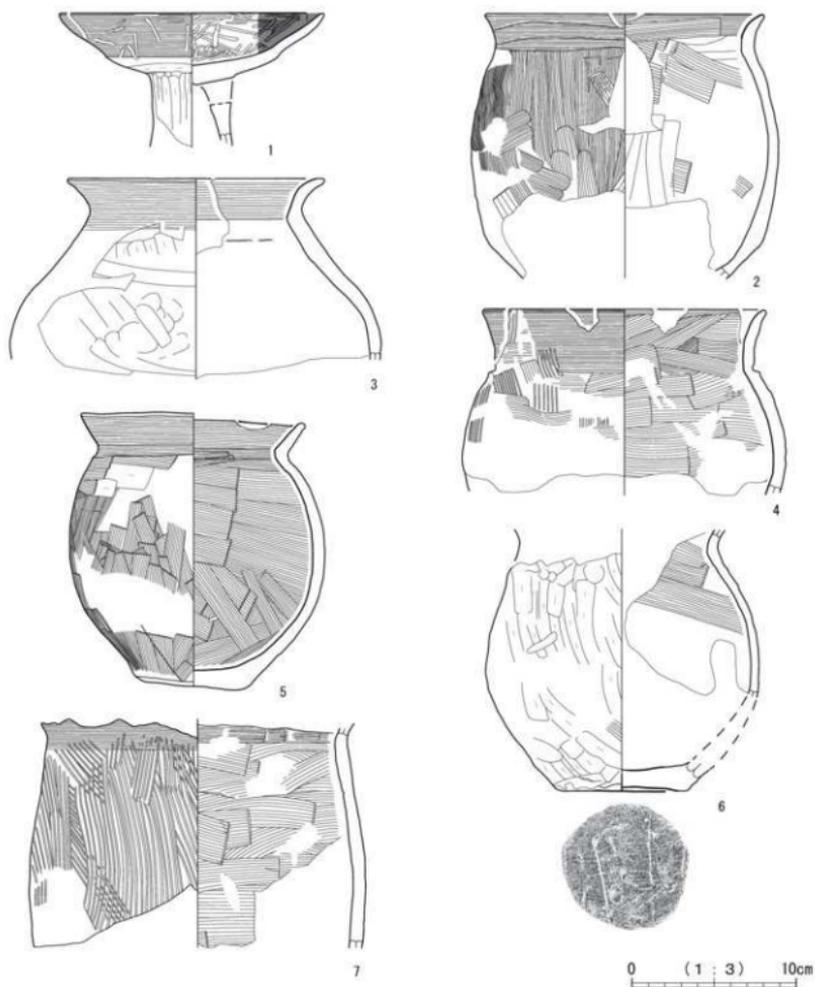
第332図 SD66出土遺物(上層②)

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真関係
1	C-035	SD66	3層	土師器	甕	39.6×××22.5	口縁部削片、胴部削片→下半部削片	口縁部削片、胴部削片		143
2	C-050	SD66	3層	土師器	甕	23.4×10.0×22.4	口縁部削片、胴部削片→下半部削片	口縁部削片、胴部削片、孔φ32mm	単孔	143
3	C-054	SD66	3層	土師器	土師器	8.4×5.1×4.4	口縁部削片、底部削片、側面削片、胴部削片	口縁部削片、底部削片、胴部削片	内面着色処理	143
4	E-15	SD66	1層	土師器	管	×××2.0	口部調整、底部削片φ32mm→高台削片	口部調整		143
5	E-27	SD66	1層	土師器	円形皿	××29.0×10.0	口部調整、通孔上部φ32mmにて削取	口部調整、通孔上部φ32mmにて削取	通孔下部φ6mm	144
採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	産地tp	石材	備考	写真関係
6	E-040	SD66	2層	石製品	砥石	4.3×9.1×1.0	31.0	凝灰岩	面取り、軌状、側面二次加工	143



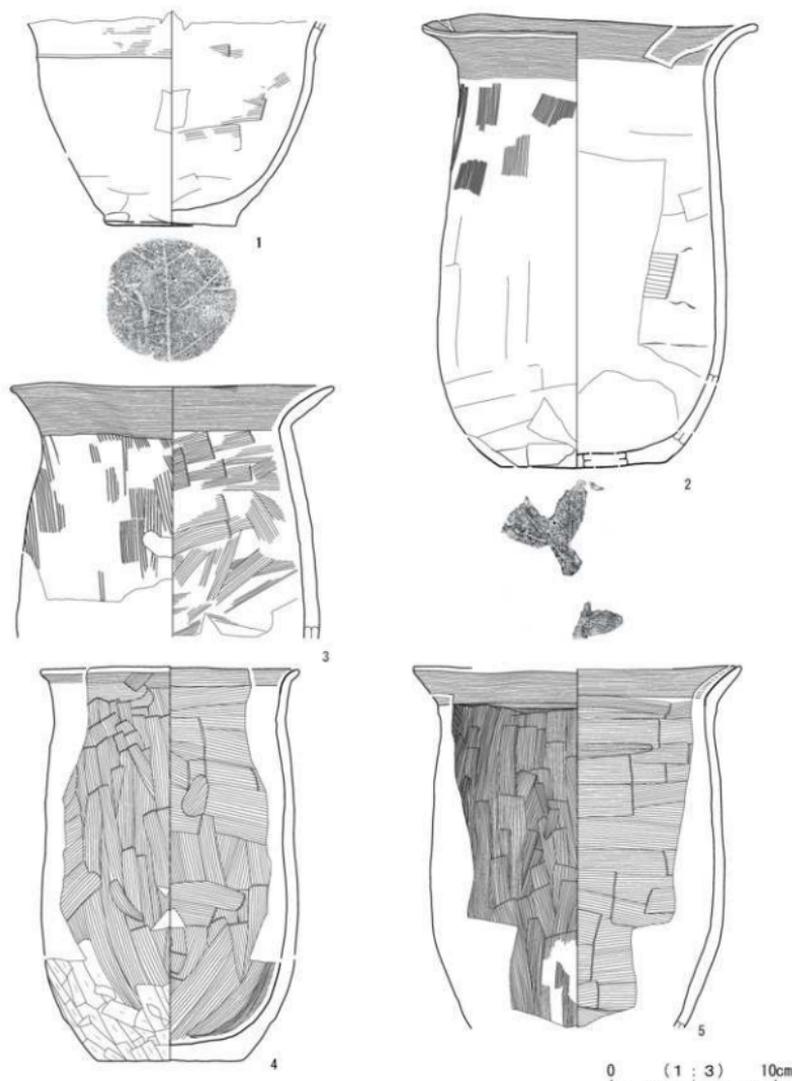
第333图 SD66出土遺物(4層①)

編號 番号	登錄番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-016	SD66	4層	土胎器	坏	12.0××4.0	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup> → <sup>297</sup>	磨耗、 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
2	C-013	SD66	4層	土胎器	坏	13.0××5.2	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	<sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
3	C-011	SD66	4層	土胎器	坏	16.6××3.9	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	磨耗、 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
4	C-021	SD66	4層	土胎器	坏	10.6××3.9	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部磨耗 <sup>297</sup> → <sup>297</sup> ↑	磨耗		内面黑色施理 141
5	C-014	SD66	4層	土胎器	坏	(16.0)××5.5	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部磨耗 <sup>297</sup>	<sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
6	C-017	SD66	4層	土胎器	坏	16.0××4.3	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部磨耗 <sup>297</sup> ↑	磨耗、口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
7	C-012	SD66	4層	土胎器	坏	14.9×9.1×3.4	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	丁字金 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
8	C-020	SD66	4層	土胎器	坏	(12.3)×(8.0)×2.2	口緣部-体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup> → <sup>297</sup>	<sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
9	C-023	SD66	4層	土胎器	坏	(15.1)××(6.4)	口緣部 <sup>297</sup> 、体部-底部 <sup>297</sup> ↑	磨耗顯著		141
10	C-015	SD66	4層	土胎器	坏	(10.8)××3.8	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	磨耗、 <sup>297</sup>		141
11	C-009	SD66	4層	土胎器	坏	10.6××3.6	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	磨滅顯著、口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup>		141
12	C-018	SD66	4層	土胎器	坏	(13.7)××4.7	口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	<sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
13	C-019	SD66	4層	土胎器	坏	(13.7)××(6.0)	口緣部-底部 <sup>297</sup> → <sup>297</sup> ↑→ <sup>297</sup> ↑	磨耗、 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
14	C-010	SD66	4層	土胎器	坏	16.5××7.2	口緣部-底部全面 <sup>297</sup> ↑→口緣部 <sup>297</sup>	磨滅顯著、口緣部 <sup>297</sup> 、体部 <sup>297</sup>		内面黑色施理 141
15	C-026	SD66	4層	土胎器	高环	(15.1)××(6.0)	环部 <sup>297</sup>	环部 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
16	C-028	SD66	4層	土胎器	高环	(15.2)×(10.2)×1.0	磨滅、环部 <sup>297</sup> 、体部-底部 <sup>297</sup> 、底部 <sup>297</sup>	环部 <sup>297</sup> ↑		内面黑色施理 141
17	C-029	SD66	4層	土胎器	高环	×××(10.1)	磨滅、环部 <sup>297</sup> 、体部-底部 <sup>297</sup>	环部 <sup>297</sup> ↑、底部 <sup>297</sup>		内面黑色施理 141
18	C-027	SD66	4層	土胎器	高环	11.9×9.0×0.5	环部 <sup>297</sup> 、体部-底部 <sup>297</sup> ↑	环部 <sup>297</sup> ↑、底部 <sup>297</sup>		内面黑色施理 141



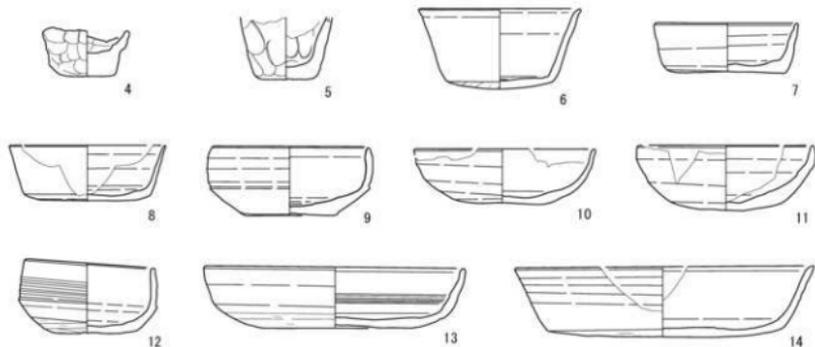
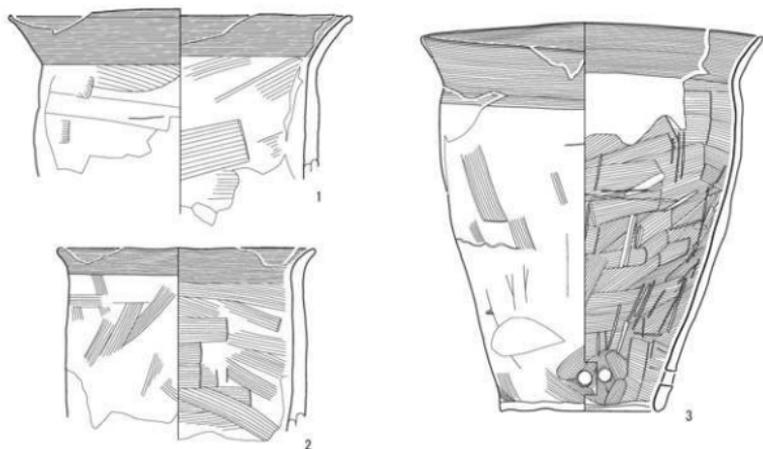
第334図 SD66出土遺物(4層②)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
1	C-025	SD66	4層	土師器	高坏	(15.9) × × (8.1)	坏部1線部3???, 体部-脚部1? 4線3???	坏部→1? 4, 脚部磨減		原部/体部3色処理	145
2	C-037	SD66	4層	土師器	甕	(16.9) × × (16.2)	1線部3???, 胴部→? → 下半部??	1線部3???, 胴部→???			145
3	C-032	SD66	4層	土師器	甕	15.4 × × 12.2	1線部3???, 胴部→???	胴部磨減, 1線部3???, 胴部→???			145
4	C-040	SD66	4層	土師器	甕	(17.8) × × (11.4)	1線部3???, 胴部→???	1線部3???, 胴部→???			145
5	C-038	SD66	4層	土師器	甕	13.5 × 3.5 × 16.7	1線部3???, 胴部→???, 底部本無装	1線部3???, 胴部→???			145
6	C-045	SD66	4層	土師器	甕	- × 8.1 × (16.0)	胴部3???, 胴部1? 4線3???, 底部本無装	胴部→???			145
7	C-041	SD66	4層	土師器	甕	- × × (14.8)	胴部3???, 胴部→??	胴部3???, 胴部→???			145



第335図 SD66出土遺物(4層③)

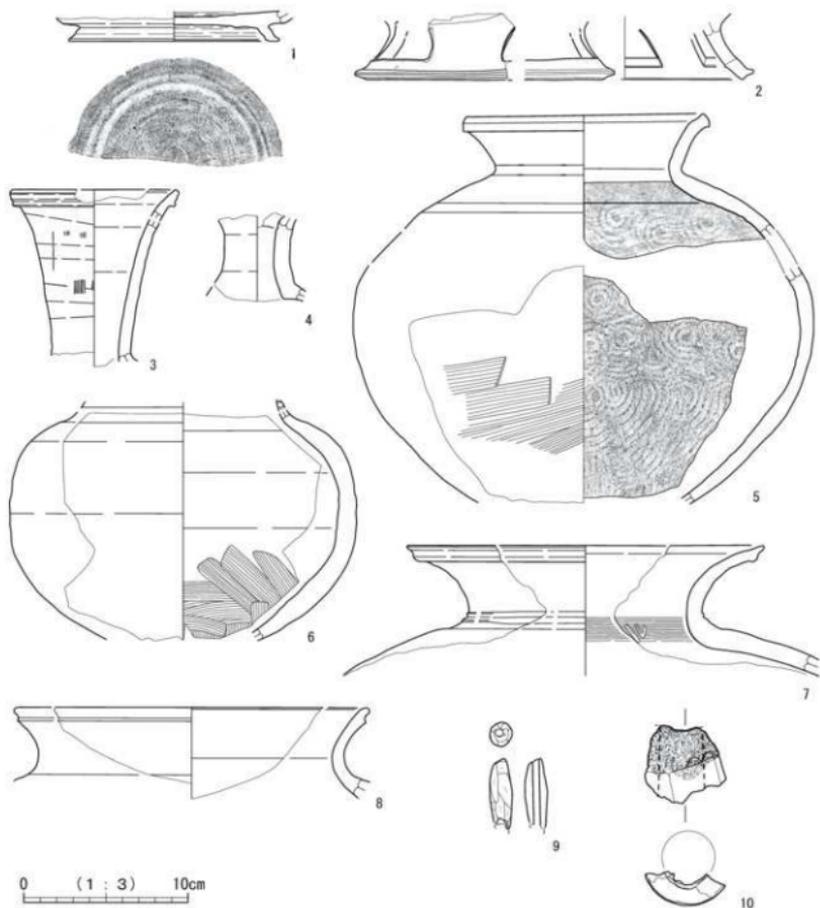
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-047	SD66	4層	土師器	甕	×7.9×(13.1)	口縁部39°, 胴部39°15'→39°	口縁部39°, 胴部39°		145
2	C-036	SD66	4層	土師器	甕	202×(10.1)×26.6	素肌, 口縁部39°, 胴部39°, 底部本葉直	口縁部39°, 胴部39°	右肩多数に含む	146
3	C-044	SD66	4層	土師器	甕	19.4××(15.5)	口縁部39°, 胴部39°	口縁部39°, 胴部39°		146
4	C-046	SD66	4層	土師器	甕	(15.8)×8.7×24.1	口縁部39°, 胴部39°15'→上半部39°	口縁部39°, 胴部39°		146
5	C-039	SD66	4層	土師器	甕	(19.8)××(21.9)	口縁部39°, 胴部39°→下部39°	口縁部39°, 胴部39°		146



0 (1:3) 10cm

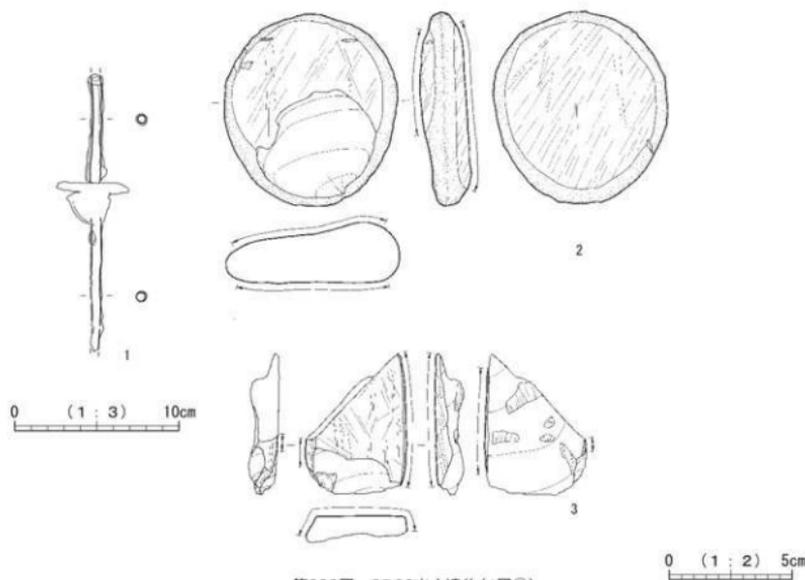
第336図 SD66出土遺物(4層④)

図版番号	登録番号	出土遺物	形状	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-042	SD66	4層	土師器	甕	20.5××(12.5)	口縁部377'、胴部499'	口縁部377'、胴部499'		146
2	C-043	SD66	4層	土師器	甕	15.5××(11.6)	磨減、口縁部377'、胴部499'	口縁部377'、胴部499'		147
3	C-051	SD66	4層	土師器	瓶	20.8×9.5×23.0	磨減、口縁部377'、胴部-底部499'	口縁部377'、胴部499'→4914'、穿孔4914'	底径12.6cm、口径9.5cm	147
4	C-053	SD66	4層	土師器	鉢	5.2×2.9×2.7	拍漉調整	拍漉調整		147
5	C-055	SD66	4層	土師器	鉢	5.1×2.7×3.1(3.8)	拍漉調整	拍漉調整		147
6	E-07	SD66	4層	灰土器	杯	9.7×6.4×4.9	磨耗、口70調整、底部71'	磨耗、口70調整	裏人物少女1	147
7	E-06	SD66	4層	灰土器	杯	8.7×7.2×2.9	口70調整、底部70調整→979'	口70調整	裏人物少女1	147
8	E-11	SD66	4層	灰土器	鉢	6.6×(7.7)×3.4	口70調整、底部70調整→979'	口70調整	裏人物少女1	147
9	E-16	SD66	4層	灰土器	鉢	9.5×5.6×4.3	口70調整、底部71'	口70調整	種名不明	147
10	E-10	SD66	4層	灰土器	鉢	10.0×8.4×3.4	口70調整、底部70調整→979'	口70調整	石見寺量	147
11	E-12	SD66	4層	灰土器	鉢	10.6××4.0	口70調整、底部70調整→979'	口70調整		147
12	E-13	SD66	4層	灰土器	鉢	7.8×4.7×4.3	口70調整、底部70調整→979'	口70調整		147
13	E-04	SD66	4層	灰土器	鉢	15.8×9.2×3.8	口70調整、底部70調整→979'→高径7.5→底径6.6→979'	口70調整		147
14	E-08	SD66	4層	灰土器	鉢	18.2×14.4×4.4	口70調整、底部70調整→979'	口70調整、口70面取り	新池、石見寺	147



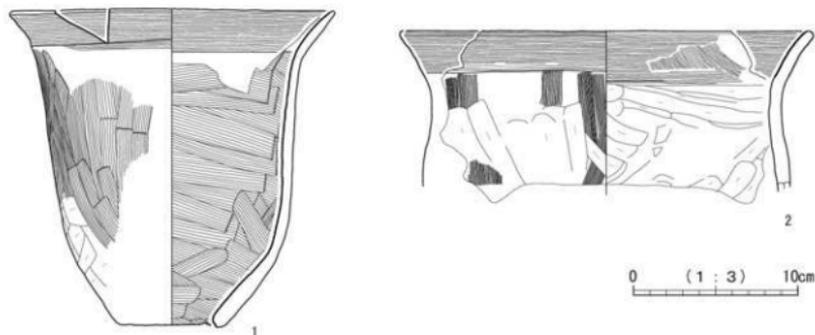
第337図 SD66出土遺物(4層⑤)

図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整		内面調整		備考	写真掲載
1	E-14	SD66	4層	瓶底器	高付盤	- × (12.7) × (1.8)	①②調整、底面回転A95°9→高台粘付	①②調整→底面中央にF1'			147	
2	E-26	SD66	4層	瓶底器	円面碗	- × (15.8) × (1.8)	①②調整、底面回転A95°9にて面取り、底面F1'	①②調整、通し器A95°9にて面取り	通し器A95°9にて面取り		147	
3	E-17	SD66	4層	瓶底器	壺	10.0 × × 10.9	①②調整	①②調整		右側多量	147	
4	E-20	SD66	4層	瓶底器	壺	- × × (5.2)	①②調整	①②調整			147	
5	E-24	SD66	4層	瓶底器	壺	14.4 × × (23.8)	平行叩き目→F1'		青海文文		148	
6	E-19	SD66	4層	瓶底器	壺	- × × (4.5)	①②調整	①②調整、胴下半部A4°F1'		厚子	148	
7	E-21	SD66	4層	瓶底器	壺	(2)身 × × (8.0)	①②調整、胴上半部F11目→①②F1'	①②調整、青海文文		自然色塗装時	148	
8	E-22	SD66	4層	瓶底器	壺	(2)身 × × (5.6)	①②調整	①②調整		自然色塗装時	148	
図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚5(cm)	重量(g)	備考		写真掲載		
9	P-03	SD66	4層	土製品	土鉢	(4.0) × (11.3) × 孔(10.4)	6.5	指頭調整		147		
10	P-04	SD66	4層	土製品	①②部	(1.8) × (1.6) × 孔(13.3)	30.5	先端部焼熱痕跡あり、A95°		147		



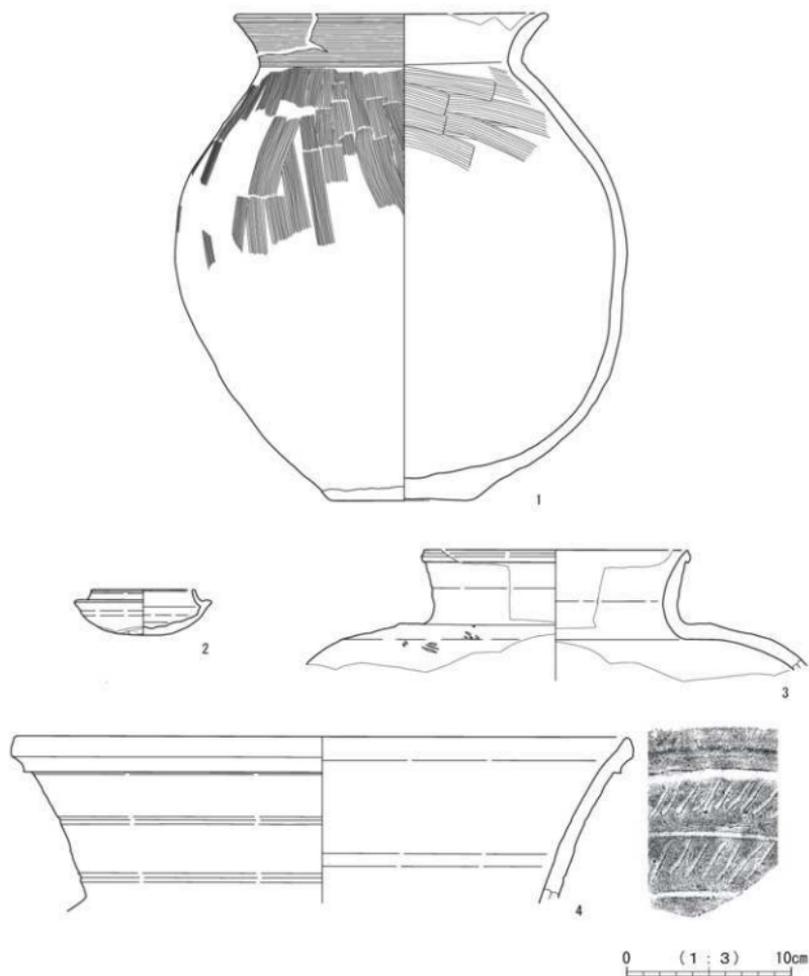
第338図 SD66出土遺物(4層⑥)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考	写真掲載			
1	N-002	SD66	4層	鉄製品	鉄針	遺存長16.9、円盤遺存径4.5、円盤遺存厚0.2、断面形状を示す芯棒径60cm	148			
図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
2	Kd-008	SD66	4層	石製品	砥石	7.8×7.0×2.0	84.2	凝灰岩	自然、板状	148
3	Kd-100	SD66	4層	石製品	砥石	5.4×4.1×1.2	22.1	凝灰岩	面取り、板状、欠損品	148



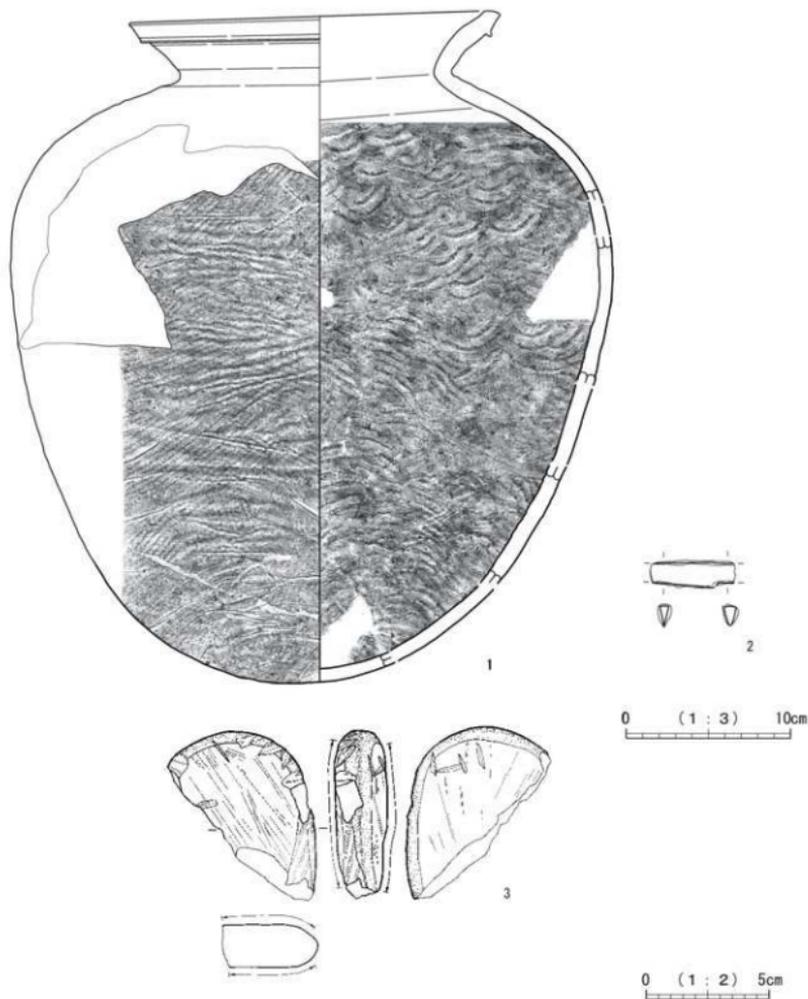
第339図 SD66出土遺物(下層①)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-032	SD66	6層	土師器	瓶	19.6×6.1×19.5	磨光、口縁部3??、胴部59.1?→10??	口縁部3??、胴部9??、乳9??	乳孔	149
2	C-048	SD66	7層	土師器	壺	(24.0)×××(10.0)	口縁部3??、胴部9?→10??	口縁部3??、胴部9??		149



第340図 SD66出土遺物(下層②)

図版番号	登録番号	出土遺構	層位	類別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 図版
1	C-049	SD66	6層	土師器	甕	188×83×29.7	口縁部39F、胴部49F→下部49F、乳部59F	口縁部29F、胴部49F		149
2	E-09	SD66	6層	土師器	钵	6.2××2.8	370調整、体部下部→底部下移5→39F	370調整	右向き多量	149
3	E-18	SD66	6層	土師器	甕	116.0××8.0	370調整、胴部阿古目→370F	370調整	右向き多量	149
4	E-28	SD66	6層	土師器	甕	437.1××110.2	370調整、4傾き支	370調整		149



第341图 SD66出土遺物(下層③)

採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載	
1	E-23	SD66	7層	磁器器 壺	22.6××40.6	079調整、胴部平行印5目→07977	079調整、首面漉文		整理済5枚C319 130	
採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	備 考					
2	N-004	SD66	6層	鉄製品 刀子	両側、刃部遺存長4.1、最大幅1.5、棟厚0.5cm、基部遺存長1.1、最大幅1.2、棟厚0.7cm					149
採取番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚5(cm)	産葉地	石材	備 考	写真 掲載	
3	K6-009	SD66	7層	石製品 砥石	7.1×4.6×1.9	576	湖床岩		149	

#### SA1 材木列(第342・343図)

4 A及び4 C区の5・11・12・22・36・52・67・68・81グリッドに位置する。SB23に切られ、SI221を切る。SD66の上端から西側に約5m離れて併走している。通路状遺構部分では途切れており、調査区内での総長は、北部では約6m、南部では約32mで、3 B区で検出された長さを含めると総延長70mを超える。上幅20～40cm程の溝状の掘り方と、径20cm前後の柱痕跡を検出した。掘り方の底面レベルはほぼ一定している。柱痕跡の間隔には疎密がみられ、疎らな部分では20～30cmの間隔が空くところもある。柱の抜き取り痕は認められない。

当初の検出段階では、本遺構の北端はSI221の南辺付近に止まっていた。しかしその後のSI221埋土掘り下げ時に、更に北に伸びるプランを検出したことから、本遺構には造り替えによる新古があるものと判断し、その結果古段階の材木列は、SD66通路状遺構の中央付近まで延びることを想定していた。また、北側部分でも柱列が確認され、それに伴う溝状のプランも検出したため、本遺構はSD66と同様に通路状部分で一旦途切れ、再度展開することがわかった。北側の材木列と南側の新段階材木列の空白地の長さは約11.5mを測り、その中間点はSD66通路状遺構の中央延長線とほぼ同じである。このことから調査時点では古段階材木列が設置された後、区画大溝及び通路の構築に伴って新段階材木列が新たに造り直された可能性が考えられた。

しかし、この古段階とした材木列は丁度SI221堅穴住居跡の範囲に立地しており、上位から複数の遺構による攪乱を受けていること、また材木列掘り方埋土とSI221埋土が類似した土質であることにより、この付近での材木列検出作業が困難であったことを考えると、上記のような検出状況の違いが、造り替えに伴うものとは考えられなくなる。この部分の掘り方及び柱痕跡が深くなっているのは、SI221を埋め戻し整地した後の、相対的に軟弱な地盤に構築されたためとも考えられる。本遺構に造り替えがないものとして考えた場合、材木列の空白地の長さは約5.5mとなる。SD66通路状遺構の幅値には近くなるが、その位置はやや北側にずれる。

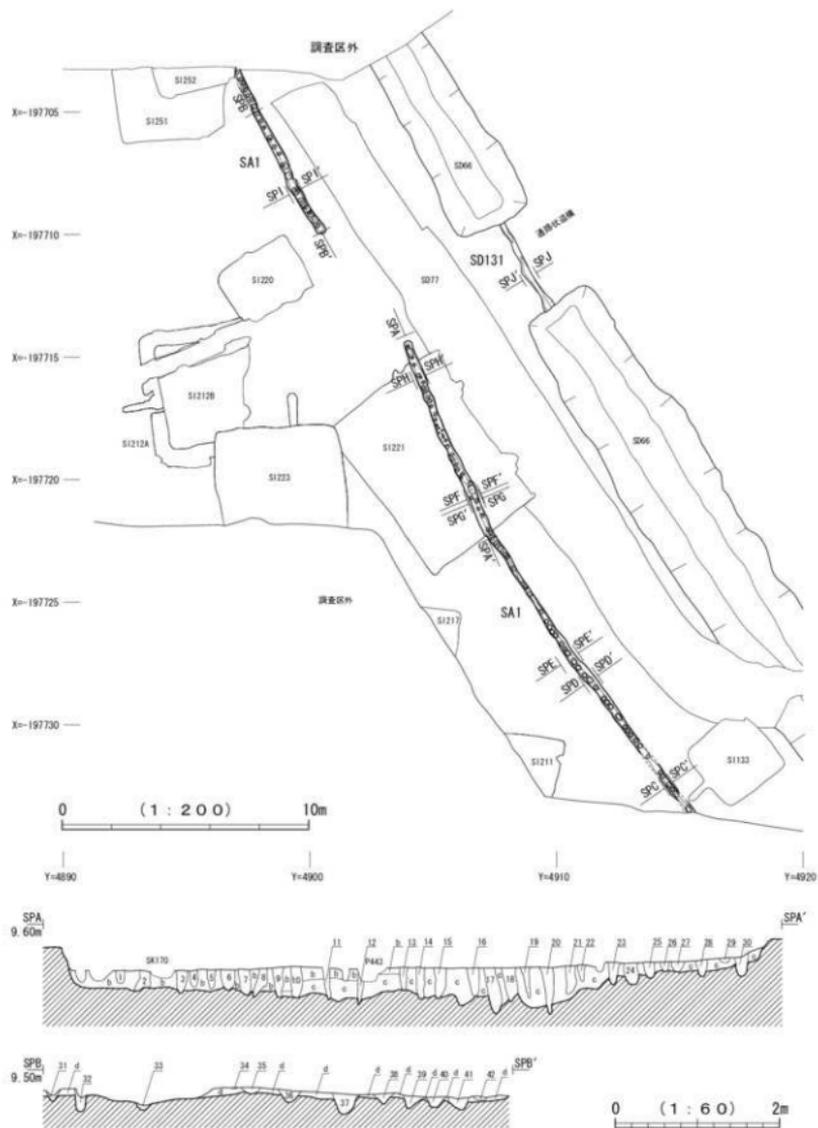
#### SD131 溝跡(第342・343図)

4 A及び4 C区の52・68グリッドに位置し、SD66・81・124・129に切られる。SD66通路状遺構のほぼ中央をSD66と同方向に走り、同溝跡によって溝両端を失われる。幅約20cm、深さ約20cmを測る。当初は、通路状遺構に伴う何らかの遮蔽施設の可能性も考えたが、溝跡の周囲や底面などに柱痕跡がみられず、堆積土の観察からSD66に切られている可能性が高いことから、SD66に先行して構築されたものとした(写真図版65)。その方向からみて、SD66・SA1に関連する遺構である可能性もあるが、詳細は不明である。遺物は出土していない。

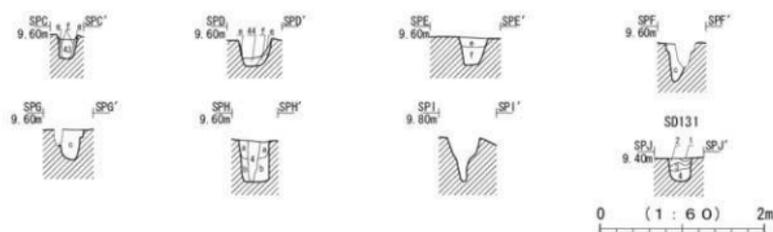
### (4) 河川跡

#### SR1 河川跡(第344図)

4 B区北側においてはほぼ東西に走る自然流路の痕跡を検出し、SR1としてA～Eの5箇所のトレンチを設定し調査を行った。河川両端は本調査区内では確認できなかったが、少なくとも幅25m以上を測り、最深部では270cmを超える。堆積土は68層に分層し、最深部に近い63層は灰白色の火山灰である。全体的に有機質の遺物が多く保存されており、その殆どは植物繊維・木片・木葉・種実(クリ・桃核等)・昆虫遺体等の自然遺物であるが、30層から漆器碗が、26・61層から板状木製品が出土した。漆器碗はあまりにも脆く、写真のみ掲載した(写真図版151)。



第342図 SA1材木列・SD131溝跡(1)



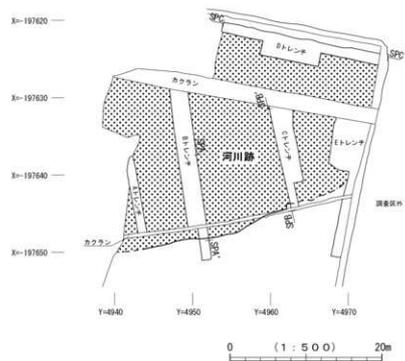
第343図 SA1材木列・SD131溝跡(2)

SA1 材木列観察表

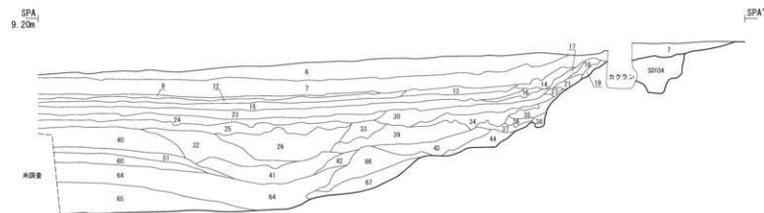
遺構名	平面形	縦横 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
柱穴 1	円形	14×13	15	IVR2/1	褐色	シルト	
柱穴 2	円形	13×13	25	IVR4/1	褐色	シルト	
柱穴 3	隅丸方形	18×15	28	IVR3/1	褐色	シルト	
柱穴 4	円形	12×12	20	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 5	楕円形	15×13	23	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 6	円形	18×17	25	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 7	円形	16×14	31	IVR2/1	褐色	シルト	
柱穴 8	円形	15×15	33	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 9	円形	18×17	38	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 10	円形	14×13	38	IVR2/1	褐色	シルト	
柱穴 11	楕円形	18×14	39	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 12	楕円形	12×7	41	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 13	円形	13×12	29	IVR3/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 14	円形	14×12	39	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 15	円形	17×15	38	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 16	円形	13×15	33	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 17	円形	14×14	56	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 18	楕円形	18×13	41	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 19	円形	11×10	38	IVR2/1	褐色	シルト	
柱穴 20	円形	15×14	57	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 21	円形	14×13	34	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 22	円形	14×13	20	IVR3/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 23	隅丸方形	16×13	28	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 24	楕円形	16×13	27	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 25	円形	15×14	20	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 26	円形	12×12	12	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 27	楕円形	17×13	12	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 28	円形	15×13	20	IVR1/1	褐色	シルト	
柱穴 29	楕円形	21×12	6	IVR3/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 30	円形	16×15	28	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 31	(円形)	19×13	15	IVR2/4	褐色	シルト	
柱穴 32	楕円形	17×14	28	IVR2/4	褐色	シルト	
柱穴 33	楕円形	24×19	9	IVR2/4	褐色	シルト	
柱穴 34	-	-	-	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	断面のみ確認
柱穴 35	楕円形	32×25	8	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 36	楕円形	30×27	17	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 37	円形	31×30	26	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 38	楕円形	30×27	14	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 39	楕円形	31×28	16	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 40	円形	25×22	13	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 41	楕円形	29×25	16	IVR3/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 42	楕円形	20×16	5	IVR2/2	灰黄褐色	シルト	
柱穴 43	楕円形	25×18	36	IVR2/3	暗褐色	シルト	地山アサギ少量、樹上炭層、炭分の沈着有
柱穴 44	楕円形	28×23	11	IVR2/2	暗褐色	シルト	地山アサギ、炭化層、樹上炭少量
掘り方 a	-	-	-	IVR2/4	褐色	シルト	地山アサギ含む
掘り方 b	-	-	-	IVR2/2	暗褐色	粘土質シルト	
掘り方 c	-	-	-	IVR2/3	暗褐色	シルト	
掘り方 d	-	-	-	IVR2/4	褐色	シルト	
掘り方 e	-	-	-	25Y4/3	オリーブ褐色	シルト	地山アサギ、黒褐色土少量
掘り方 f	-	-	-	25Y4/2	暗灰黄色	シルト	地山アサギ、黒褐色土少量、しまり強い

SD131 溝跡観察表

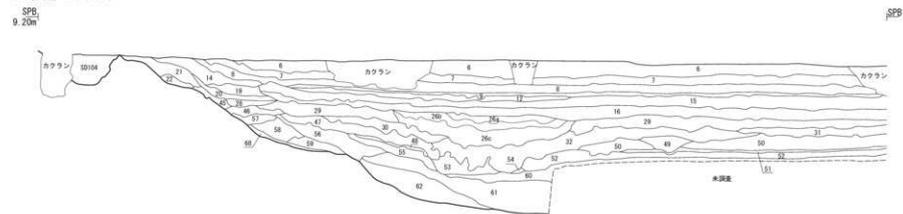
遺構名	グリッド	重	縦	方向	縦横 (m)			掘土			備考		
					長さ	上幅	下幅	深さ	層位	土色		土性	
SD131	52-66	SD66-81-126-1241	切られる	N-28°W	4500	20~47	7~22	23	1	IVR2/4	褐色	シルト	IVR6-6明褐色色40~45混
									2	IVR2/4	褐色	シルト	
									3	IVR2/3	にこい黄褐色	シルト	
									4	IVR2/4	暗褐色	シルト	



SR1河川跡 Bトレンチ

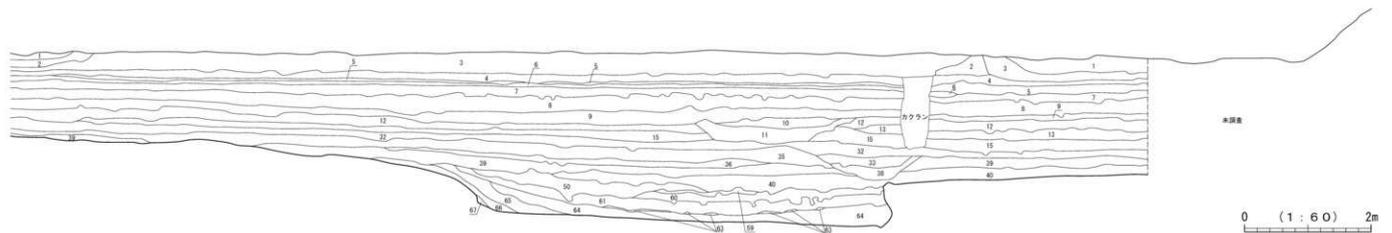


SR1河川跡 Cトレンチ



SR1河川跡 Dトレンチ

SPC  
10.40m



第344図 SR1河川跡

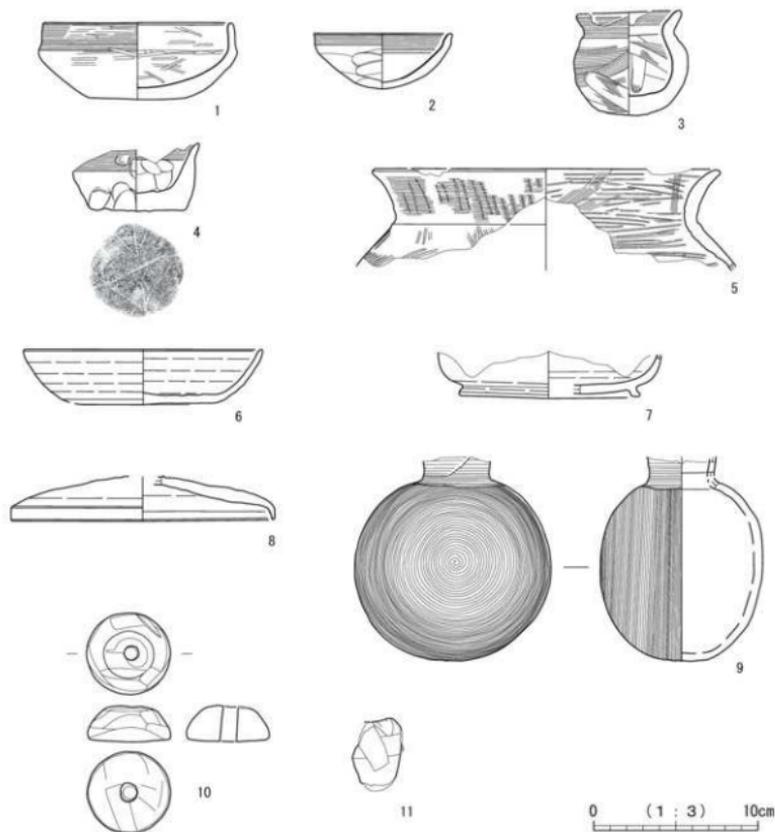
SR1河川跡 埋土発露

層位	土色	土性	備考	層位	土色	土性	備考
1	25YR4/3 にぶい赤褐色	シルト	礫化混含む	36	10YR8/1 灰白色	粘土	埋込色土含む
2	25YR4/4 にぶい赤褐色	シルト	礫化混含む	37	10YR17/1 黒色	粘土	灰白色粘土含む
3	5YR5/1 埋込色	シルト		38	10YR17/1 黒色	粘土	
4	5YR4/1 埋込色	シルト	礫化混含む	39	25YR4/2 灰赤色	シルト	植物遺体少量含む
5	10YR4/1 埋込色	シルト		40	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	互層、細砂
6	5YR4/1 埋込色	シルト	礫化混含む	41	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	細砂少量含む
7	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	礫化混含む	42	25YR4/3 赤灰色	粘土質シルト	細砂含む
8	10YR5/1 埋込色	シルト	礫化混含む	43	10YR3/1 黒褐色	シルト	細砂・植物遺体含む
9	5YR3/2 暗赤褐色	シルト	灰白色火山灰・埋込色土・植物遺体少量含む	44	10YR3/1 黒褐色	シルト	細砂含む
10	5YR5/1 埋込色	シルト		45	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	植物遺体少量含む
11	5YR6/1 埋込色	シルト		46	25YR3/1 暗赤褐色	粘土質シルト	細砂含む
12	25YR5/1 赤灰色	シルト	にぶい赤褐色が少量含む	47	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	互層
13	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	埋込色土・礫化混多量に含む	48	25YR3/3 にぶい赤褐色	砂質シルト	
14	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰含む	49	10YR2/1 黒褐色	粘土質シルト	粗砂多量に含む、下面に植物繊維含む
15	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	黒褐色土を部分的に含む	50	25YR3/3 にぶい赤褐色	砂	粗砂
16	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト		51	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	
17	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	灰白色火山灰含む	52	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	細砂含む
18	25YR4/1 赤灰色	シルト	灰白色火山灰含む	53	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	
19	10YR17/1 黒色	粘土質シルト	灰白色火山灰含む	54	5YR2/1 黒褐色	粘土質シルト	
20	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰・植物遺体含む	55	5YR4/1 埋込色	シルト	
21	25YR3/1 暗赤褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰・炭化物含む	56	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	細砂・黒色がコア含む
22	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰含む	57	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	細砂含む
23	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	細砂を混、暗褐色小コア少量含む	58	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	炭化物含む
24	25YR4/2 灰赤色	シルト		59	25YR3/3 にぶい赤褐色	シルト	細砂含む
25	25YR4/1 赤灰色	シルト	細砂コア・植物遺体少量含む	60	25YR3/3 にぶい赤褐色	砂	粗砂、植物繊維との互層
26	25YR4/2 灰赤色	シルト	黒色がコア・植物遺体少量含む	61	10YR3/1 黒褐色	泥炭質粘土	泥炭質粘土
27	10YR3/1 黒褐色	シルト	灰白色火山灰・埋込色土・植物遺体含む	62	10YR17/1 黒色	泥炭質粘土	赤大の円環を数個含む
28	5YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰含む	63	10YR8/1 灰白色	火山灰	
29	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	植物遺体多量に含む	64	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	互層、細砂
30	10YR3/1 黒褐色	シルト	灰白色火山灰・埋込色土・植物遺体少量含む	65	25YR3/3 にぶい赤褐色	砂	
31	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	細砂多量、植物遺体含む	66	10YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	細砂・黒色がコア含む
32	10YR6/2 灰黄褐色	砂	細砂、黒褐色コアを含む	67	25YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	細砂含む
33	25YR4/2 灰赤色	粘土質シルト	灰白色火山灰・細砂・黒色がコア含む	68	25YR3/3 にぶい赤褐色	シルト	細砂含む
34	25YR4/1 赤灰色	シルト	灰白色火山灰を含む、植物遺体少量含む				
35	10YR8/1 灰白色	粘土					

## (5) 遺構外出土遺物(第345・346図)

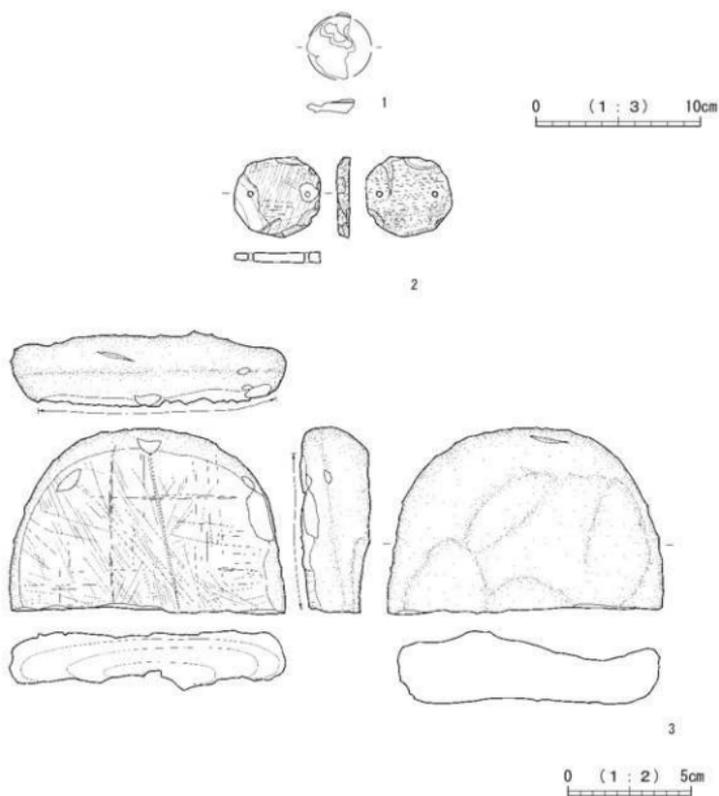
古代遺構の検出作業にあたっては、IVc層上面を有効な検出面と設定し、その直上までは調査員立会いの下に重機による掘り下げを行った。その結果、検出面に至るまで顕著な遺物包含層がみられなかったため、遺構外における遺物の出土も少なかった。掲載図示可能な遺物は以下の14点である。

土師器環第345図-1は体部と口縁部との境に稜を有し、口縁部が直立気味に内傾する。底部は平底で、内外面ともにヘラミガキされる。第345図-2~4はミニチュア土器である。いずれも口縁部がヨコナデされ、体部から底部を指頭調整されているが、第345図-4は底部に木葉痕を残す。土師器甕第345図-5は、口縁部が「く」の字状に屈曲し、胴部が張る。須恵器高台付環第345図-7は、内面に自然軸を残す。底部回転ヘラケズリ後に高台を貼付するが、その位置は底部外端よりも内側である。また環第345図-6は、底部回転ヘラ切り後、雑にナデ調整されている。第345図-9はミニチュアの提瓶で、胴部は完存するものの、口頭部で全損する。非常に精緻な作りである。第345図-10はほぼ完形に近い土製紡錘車で、SI147を切る攪乱から出土したものである。第346図-1は鉄製紡錘車の円盤部で、表裏面の錆による剥落顕著である。第346図-2は石製模造品で、2孔を穿つ。



第345図 遺構外出土遺物(1)

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-420	横溝	-	土師器	埴	11.4×5.9×4.7	口縁部→底部→918°	口縁部→底部→918°		150
2	C-422	結合	-	土師器	口フタ	8.2×××3.4	口縁部→918°、体部→底部指調整	口縁部→底部→918°		150
3	C-423	カタラン	-	土師器	口フタ	6.1×××6.3	口縁部→918°、体部→底部指調整	口縁部→918°、体部→底部指調整		150
4	C-424	結合	-	土師器	口フタ	(7.6)×5.5×3.8	口縁部→918°、体部指調整、底部木葉痕	口縁部→底部指調整		150
5	C-421	結合	-	土師器	甕	(20.8)×××(6.2)	口縁部→918°、胴部→918°	口縁部→胴上半部→918°		150
6	E-88	結合	-	灰土器	埴	(14.4)×8.3×3.4	918°調整、底面回転→918°	918°調整	右長多し	151
7	E-85	結合	-	灰土器	高台付	×××(10.8)×(2.8)	918°調整、底面回転→918°→高台貼付	918°調整	両面白粉着色	151
8	E-67	結合	-	灰土器	蓋	(16.6)×××2.7	918°調整、足付蓋回転→918°	918°調整	両面白粉着色	151
9	E-86	カタラン	-	灰土器	甕	××××(12.5)	918°調整、818°	918°調整	外面丸磨致	151
図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考	写真掲載	
10	P-58	カタラン	-	土製品	紡錘車	高22×径15.1×孔径0.9	56.1	→918°		151
11	P-59	結合	-	土製品	土鏝	(4.0×径)0.5×孔径1.0	32.8	指調整		151



第346図 遺構外出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	備考		写真掲載	
1	N-020	精舍	-	磁製品	結縁車	断面円径3.8、最大厚0.5cm		131	
採取番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	長さ×幅×厚S(mm)	重量(g)	備考	写真掲載
2	Kd-105	精舍	-	石製品	磨造品	3.2×3.4×0.6	8.8	結晶片質	131
3	Kd-038	精舍	-	石製品	砥石	7.6×11.2×2.8	178.4	凝灰岩	131



---

仙台市文化財調査報告書第315集

## 長町駅東遺跡第4次調査

—仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書1—

[第1分冊]

2007年3月

発行 仙台市教育委員会

宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7-1

文化財課 022(214)8894

印刷 株式会社 東北プリント

仙台市青葉区立町24-24

---

